公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター
本館外来他レイアウト変更工事

図面リスト

図番	図面名称	縮尺
	表紙・図面ﾘｽﾄ	—
RA-001	工事概要書	—
RA-002	改修特記仕様書（１）	—
RA-003	改修特記仕様書（２）	—
RA-004	改修特記仕様書（３）	—
RA-005	改修特記仕様書（４）	—
RA-006	改修特記仕様書（５）	—
RA-007	改修特記仕様書（６）	—
RA-008	工事区分表 （1）	—
RA-009	工事区分表 （2）	—
RA-010	案内図・配置図	1/600
RA-011	仕上特記	—
RA-012	記号凡例	—
RA-013	間仕切壁ﾘｽﾄ	1/5
RA-014	ｴﾚﾒﾝﾄﾘｽﾄ・仕上材料表	—
RA-015	仕上表（１）(改修前・改修後)	—
RA-016	仕上表（２）(改修前・改修後)	—
RA-017	地下1階平面図・天井伏図	1/150
RA-018	地下1階ISS平面図	1/150
RA-019	1階平面図(改修前・仮設計画図)	1/150
RA-020	1階平面図(改修後)	1/150
RA-021	1階ISS平面図	1/150
RA-022	2階平面図(改修前・仮設計画図)	1/150
RA-023	2階平面図(改修後)	1/150
RA-024	2階ISS平面図	1/150
RA-025	6階平面図	1/150
RA-026	6階ISS平面図	1/150
RA-027	7階平面図(改修前・仮設計画図)	1/150
RA-028	7階平面図(改修後)	1/150
RA-029	断面図（１）	1/200
RA-030	断面図（２）	1/200
RA-031	1階平面詳細図(精神科)(改修前)	1/50
RA-032	1階平面詳細図(精神科)(改修後)	1/50
RA-033	1階平面詳細図(精神科：改修前)(皮膚科：改修後)	1/50
RA-034	2階平面詳細図(皮膚科：改修前)(内分泌・糖尿・腎内：改修後)	1/50
RA-035	2階平面詳細図(内分泌・糖尿・腎内、外来化学療法室)(改修前)	1/50
RA-036	2階平面詳細図(外来化学療法室)(改修後)	1/50
RA-037	7階平面詳細図(改修前・改修後)(建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ)	1/50
RA-038	1階天井解体図	1/150
RA-039	1階天井伏図(改修後)	1/150
RA-040	2階天井解体図・天井伏図(改修後)	1/150

図番	図面名称	縮尺
RA-041	7階天井解体図・天井伏図(改修後)	1/150
RA-042	展開図（１）	1/50
RA-043	展開図（２）	1/50
RA-044	展開図（３）	1/50
RA-045	建具特記仕様書	—
RA-046	1階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ(既設・撤去・改修・新設)	1/100
RA-047	2階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ(既設・撤去・改修・新設)	1/100
RA-048	建具表(既存・撤去)	1/100
RA-049	建具表(新設・改修)	1/100
RA-050	建具詳細図（１）	図示
RA-051	建具詳細図（２）	図示
RA-052	処置室無影灯架台図	図示
RA-053	雑詳細図（１）	図示
RA-054	雑詳細図（２）	図示
RA-055	雑詳細図（３）	図示
RA-056	雑詳細図（４）(撤去)	図示
RA-057	雑詳細図（５）(撤去)	図示
RA-058	自走台車ｽﾃｰｼｮﾝ移設図（１）	図示
RA-059	自走台車ｽﾃｰｼｮﾝ移設図（２）	図示
RA-060	自走台車ｽﾃｰｼｮﾝ移設図（３）	図示
RA-061	1階ｻｲﾝｷｰﾌﾟﾗﾝ	1/100
RA-062	2階ｻｲﾝｷｰﾌﾟﾗﾝ	1/100
RA-063	ｻｲﾝ詳細図	図示
RA-064	1階精神科ﾛｰﾃｰｼｮﾝ計画図（１）	1/100
RA-065	1階精神科ﾛｰﾃｰｼｮﾝ計画図（２）・工事工程表	1/100
RA-066	2階外来化学療法室ﾛｰﾃｰｼｮﾝ計画図(仮設間仕切り)	1/100
RA-067	仮設計画(外部)	1/400
RA-068	1階区画図(改修後)	1/150
RA-069	2階区画図(改修後)	1/150
RA-070	7階区画図(改修後)	1/150

項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。
特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印と ◉ 印の付いた場合は、ともに適用する。
・ 印のものは、適用しない。

工事概要

1 工事名称　公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

2 工事場所（地名地番）***
（住居表示）神奈川県横浜市南区浦舟町4丁目57番地

3 建築主　公立大学法人　横浜市立大学　理事長

4 工事期間　契約締結日　から　令和　5年　12月　28日（予定）

5 関係法令・条例等（設計条件として特別なもの）
⊙建築基準法
⊙消防法
⊙医療法
⊙バリアフリー法

6 建物概要

（1）敷地面積	18,493.50 ㎡	（	坪）
（2）建物用途	病院		
（3）建築面積	9,629.15 ㎡(改修対象建物)	（	坪）
（4）延べ面積	73,946.24 ㎡(改修対象建物)	（	坪）
（5）構造	⊙ 鉄骨造 ⊙ 鉄骨鉄筋コンクリート造 ・ 鉄筋コンクリート造		
	・ その他 （ ）		
（6）階数	地下 2 階　地上 15 階　塔屋 1 階		

7 主要設備の概要
（1）空気調和換気設備
熱源方式　モジュール型空冷ヒートポンプチラー（300USRT）
空調方式　外気調和機＋空冷ヒートポンプパッケージエアコン（放射線部門、診療部門、研究部門）
全熱交換機＋ファンコイルユニット（事務部門）
単一ダクト＋RI排気（RI部門）
（2）給排水衛生設備
給水　加圧給水方式（既設本館受水槽より分岐）
給湯　中央方式：ガス焚真空温水器（186KW）×2台、個別方式／電気温水器
排水設備　雨水：既設排水槽へ接続
汚水：既設排水槽へ接続、RI排水：貯留・半減後既設RI貯留槽へ接続
都市ガス設備　既設敷地内中圧ガス配管より分岐減圧後引込
医療ガス設備　酸素・空気・吸引・笑気（既設本館より分岐）、炭酸ガス（ボンベ庫を新設）
（3）防災設備
消火設備　スプリンクラー（既設本館より分岐）、連結送水管
排煙設備　自然排煙、機械排煙併用
防災設備　非常放送設備・火災報知設備
（4）電気設備
受変電設備　~~既設特高受電設備より分岐　設備容量（6250KW）~~
非常用発電機　~~ガスタービン式　500KVA~~
直流電源設備　~~MSE-300~~
無停電電源設備　~~100KVA~~
照明設備　LED
幹線方式　単相三線200/100V・三相三線200V、~~400V（医療動力）~~
弱電設備　電気時計設備~~・インターホン設備・ナースコール設備~~・テレビ共聴設備
電話・情報・呼出し
（5）昇降機設備　エレベーター：乗用 *台、寝台用 *台、非常用 *台、物品用 *台、小荷物用昇降機 *台、
エスカレーター *台
（6）その他設備　自走台車設備

8 発注方式　・分離 ⊙一括

9 発注区分・工事施工者
建築工事　：未定
耐震補強工事　：－
空調設備工事　：未定
給排水衛生設備工事：未定
電気設備工事　：未定
外構工事　：－

10 工事内容

⊙改修面積　611.39 ㎡(下記合計)	
⊙本館１階：精神科(118.46㎡)	精神科へ小児精神神経科を移設し改修
⊙本館１階：皮膚科(135.46㎡)	小児精神神経科跡地を皮膚科に改修
⊙本館２階：外来(内分泌・糖尿・腎内)(131.34㎡)	皮膚科跡地を外来(内分泌・糖尿・腎内)に改修
⊙本館２階：外来化学療法室(183.07㎡)	外来(内分泌・糖尿・腎内)跡地を外来化学療法室に拡張
⊙本館７階：プレイセラピー(43.06㎡)	病室(空き部屋)をプレイセラピー(小児精神神経科)に改修
⊙上記に伴う、空調設備・給排水衛生設備・電気設備の改修	

11 工事範囲
※「9 発注区分・工事施工者」のすべてを工事範囲とする。
・「9 発注区分・工事施工者」のうち工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。

工事種目 ／ 工事項目				
② 仮設工事				
3 防水改修工事				
4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁				
4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁				
4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁				
4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁				
⑤ 建具改修工事				
⑥ 内装改修工事				
⑦ 塗装改修工事				
8 耐震改修工事 耐震改修範囲以外の躯体改修工事				
9 環境配慮改修工事				

12 その他の関連工事（別途工事）　医療機器設置工事、医療情報設備工事、~~テナント工事、家具・~~備品工事、~~アート設置工事~~
消火器
（詳細は工事区分表による）

① 設計条件等

1 立地条件等

（1）設計降雨量
（ｱ）一般降雨条件
（a）とい設計用　（ *** ）mm／時間
（b）敷地排水設計用　（ *** ）mm／時間
（ｲ）瞬間降雨条件　（ *** ）mm／10分　（適用範囲：　　）
（ｳ）雨水流出抑制　・要　・不要
（a）必要雨水貯留量　（ *** ）㎥
貯留方法　・建屋内　・敷地内　・
（b）必要雨水浸透量　（ *** ）㎥/hr
（c）許容放流量　（ *** ）㎥/s
オリフィス径　（ *** ）φ
（2）設計用地下水位　GL－（ *** ）m
（3）浸水対策　・要　・不要
（ｱ）想定冠水レベル　GL＋（ *** ）m未満　***ハザードマップより
（ｲ）防水堤レベル　GL＋（ *** ）m
（4）寒冷地対策　・要　・不要
（ｱ）凍結深度　地表面仕上－（ *** ）m
（ｲ）その他凍害等対策と範囲は設計図による。
（5）その他

2 構造設計条件

（1）設計荷重
（ｱ）主要部分積載荷重

棟	室名	積載荷重(N/㎡) 床用	架構用	地震力用	適用
		1,300	1,300	1,300	***
		***	***	***	***
		***	***	***	***
		***	***	***	***
		***	***	***	***
		***	***	***	***
		***	***	***	***
		***	***	***	***

（ｲ）積雪荷重
（a）垂直積雪量　（ *** ）cm
（b）積雪の単位重量　（ *** ）N／㎡・cm
（c）積雪荷重（水平面に対して）（ *** ）N／㎡
（d）多雪地域指定の有無　・あり　・なし
（e）勾配面における積雪荷重並びに他の外力との組み合わせによる応力計算の扱い方は、建築基準法施行令第3章第8節による。
（ｳ）風圧力（特記仕様書各章に別の記載があるものを除く）
（a）設計用風圧力算定基準は、建築基準法・同施行令第82条の4及び同告示（平12建告第1454号・同第1458号）により、算定条件は次による。
Vo　（ *** ）m/s
非構造部材・設備機器設計用風速の割増し
※なし　・あり　R = 1.07（再現期間100年相当）　（告示第1454号）
Vr = Vo × R = （ *** ）m/s
注）Voを再現期間50年相当として、日本建築学会「建築物荷重指針・同解説1993年版」第6章による再現期間換算係数を乗じたものとする。告示第1458号による速度圧算定式において、Voをこれに読み替える。
地表面粗度区分　・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ
注）（地表面祖度区分Ⅳの場合）非構造部材・設備機器設計用は、Ⅲとする。（告示第1454号）
風力係数　※告示による　・風洞実験による　・
（b）他の外力との組合せによる応力計算の扱い方は、建築基準法施行令第3章第8節による。
（ｴ）地震荷重
（a）地域係数 Z　・1.0　・0.9　・0.8　・0.7
（b）地盤種別　・第1種　・第2種　・第3種
（c）地震力の割増し係数 I　・1.0　・1.25　・1.5　・
（d）他の外力との組合せによる応力計算の扱い方は、建築基準法施行令第3章第8節による。
（2）構造耐震性能
（ｱ）確認の方法は、次による。
※許容応力度計算又は保有水平耐力計算
・限界耐力計算
・時刻歴応答解析
・
（ｲ）許容応力度等計算又は保有水平耐力計算による耐震計算ルート等

棟名称		耐震計算ルート	一次設計用標準せん断力係数	適用
	X	3	0.2	
	Y	3	0.2	

③ 耐震設計条件

（1）計画建物の耐震グレードは次による。

棟名称	耐震等級（割増係数）	設備耐震等級	備考
本館	・Ⅰ ⊙Ⅱ ・Ⅲ	・S ⊙A ・B	
	・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ	・S ・A ・B	
	・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ	・S ・A ・B	

※設計当時、上記の定めがなく用途係数に1.1倍されていることからⅡ類相当とした。

（2）建物に作用する層間変位及び地震力は次による。

想定地震規模	大地震	中地震
設計用層間変形角（H=階高）	H/100（○○○棟）	H/200（○○○棟）
設計用地震力	部材又は機器の自重（W）× 設計用震度 × Z　地域係数（Z）は、1.0以上とする。	

設計用震度（建物各部での設計用震度）

階	水平震度（K_H）非構造部材	設備機器 S	A	B	鉛直震度（K_V）	備考
塔屋階	1.0	2.0	1.5	1.0	$\frac{K_H}{2}$	
上層階	1.0	2.0	1.5	1.0	$\frac{K_H}{2}$	
中間階	1.0	1.5	1.0	0.6	$\frac{K_H}{2}$	
地 階	0.6	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)	$\frac{K_H}{2}$	（ ）内の値は水槽の場合に適用する

（ｱ）階の定義は、次による。
塔屋階：塔屋部分
上層階：最上階から数えて4層の階（階数が12階建以下の場合は上層3階、9階以下の場合は上層2階、6階以下の場合は最上階のみとする。）
中層階：1階・地下階と上層階を除く階
地 階：1階・地下階
（ｲ）設備における耐震措置は、原則として日本建築センター「建築設備耐震設計・施工指針」最新版に準拠する。
（ｳ）設備機器でクラスA、Bの内、防振支持の機器の場合は、クラスを1ランク上げる。
（ｴ）免震構造上のものはクラスを1ランク下げてよい。
（ｵ）機器に接続されている電気配線・配管・ﾀﾞｸﾄ類については、機器の耐震ｸﾗｽに準じるものとする。
（ｶ）上表において耐震ｸﾗｽBと設定された場合においても、天井設置機器については耐震ｸﾗｽAとする。

（3）免震クリアランス・あり ⊙なし

		水平方向（mm）	鉛直方向（mm）
クリアランス	設計値	***	***

（4）特定天井・耐震天井
特定天井（告示771号）の適用　・あり（室名：○○○○○○○○　）⊙なし
耐震天井（告示771号対象外）の適用・あり（室名：○○○○○○○○　）⊙なし

~~（5）エレベーター　耐震クラス　※A14　・S14~~

4 設備設計条件

（1）BCP対策　・あり　・なし
電　気　非常用発電機により3日分の機能を確保
熱　源　中圧ガス遮断時、油燃料（3日分）に切替
給　水　雨水貯留槽に災害時必要水量の3日分を備蓄。上水は浄化して利用想定
排　水　地下ピットに災害時用排水槽を整備
医療ガス　7日分の供給量確保（JIS基準）
都市ガス　耐震性の高い中圧管での引込
食料・水　防災倉庫や災害備蓄保管庫に3日分確保

（2）騒音規制　・騒音規制法　・条例（○○市環境確保条例）　・該当なし

区域	午前6時から午前8時まで	午前8時から午後6時まで	午後6時から午後9時まで	午後9時から翌日午前6時まで
・第1種区域	45デシベル	50デシベル	45デシベル	40デシベル
・第2種区域	50デシベル	55デシベル	50デシベル	45デシベル
・第3種区域 A	55デシベル	60デシベル	55デシベル	50デシベル
・第3種区域 B	60デシベル	65デシベル	60デシベル	55デシベル
・第4種区域 A	60デシベル	65デシベル	60デシベル	55デシベル
・第4種区域 B	65デシベル	70デシベル	65デシベル	60デシベル

2 非構造部材・建築設備機器及び同架台等の共通特記仕様

1 非構造部材

（1）屋根葺材（長尺金属板葺き　・折板葺　・粘土瓦葺）　・外装材　・屋外に面する帳壁及び屋内外のすべての非構造部材の支持構造部及び建築物の構造耐力上主要な部分に緊結する部位は、施行令第83～88条の規定による固定荷重・積載荷重・積雪荷重・風圧力・地震力・層間変位を考慮し、施行令第82条による組合せ応力に対して、構造耐力上安全であることとする。
また、避難の支障となる損傷がないものとする。

（2）支持金物（取付ボルトやナット含む）は、該当各章の規定により、ステンレス・亜鉛めっき、錆止め塗装等の防錆処理を施したものとする。

2 設備機器及び同架台等

（1）建築設備（昇降設備を除く）の支持構造部及び構造本体との緊結金物は、次による。
（ｱ）施行令第83～88条の規定による固定荷重・積載荷重・積雪荷重・風圧力・地震力・層間変位を考慮し、施行令第82条による組合せ応力に対して、構造耐力上安全であることとする。
（ｲ）耐震の措置は、本工事概要書「1.設計条件等　3.耐震設計条件のb 2)」による。
また、機器本体の耐震性能は、製造者により確認されているものとする。
（ｳ）建築設備の支持構造部及び構造本体との緊結金物等は、所定の防錆処理を行う。
（ｴ）給湯設備は前述「a 1)～3)」及び平12建告第1388号 第5による。

（2）屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものの支持構造部及び建築物の構造耐力上主要な部分に緊結する部位は、次による。
（ｱ）「1.設計条件等　3.耐震設計条件」に規定した荷重による応力に対し、構造耐力上安全なものとする。
ただし、採用する荷重は、平12建告第1389号に定める規定値を下回ってはならない。
（ｲ）支持構造部及び緊結金物の防錆仕様は、前項「a 3)」と同一とする。

（3）煙突の屋上突出部の高さは、鉄製の補強がない場合、900mm以下とする。
また、室内の煙突部分の鉄筋のかぶり厚さは50mm以上とする。

（4）建築物に設ける給水、排水その他の配管設備その他これらに類するものの支持構造部及び建築物の構造耐力上主要な部分に緊結する部位は、次による。
（ｱ）風圧・土圧・水圧・地震その他の震動及び衝撃に対して、安全上支障のない構造とする。
（ｲ）風圧力及び地震力により建築物に生ずる層間変形に対しても追従でき、安全上の支障のない構造とする。
（ｳ）建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設けるなど、有効な管の損傷防止のための措置を講ずる。
（ｴ）管の伸縮その他の変形により当該管に変形が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可とう継手を設けるなど、有効な損傷防止のための措置を講ずる。
（ｵ）管を支持又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いるなど、有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずる。

③ その他

① 設置基準

（1）本工事において、居室の床面積、廊下幅、階段幅等は医療法上の施設基準に適合するものとする。

（2）施設基準は下記の数値による。
病室内法面積　※6.4㎡以上／床かつ平均8.0㎡以上／床　・6.4㎡以上/床
病棟食堂内法面積　※0.5㎡以上／床　・1.0㎡以上/床
廊下幅（手摺内法）　病棟で片側居室のもの　※1.8m以上
病棟で両側居室のもの　※2.1m以上　※2.7m以上
病棟以外で片側居室のもの　※1.2m以上　・
病棟以外で両側居室のもの　※1.6m以上　・
老健で片側居室のもの　※1.5m以上　・
老健で両側居室のもの　※1.8m以上　・
階段幅（壁内法）　※1.2m以上

※居室においては固定家具等の面積を除いた数値とする。

（3）受注者は工事に先立ち施工図等で前項の寸法を必ず確認し、数値が基準以下となる場合は、速やかに監督職員に報告し、指示に従うこと。

2 空気清浄度クラス

・機械設備図 特記仕様書による

空気清浄度クラス	室名
クラス100,000（ISOクラス8）	
クラス10,000　（ISOクラス7）	
クラス1,000　（ISOクラス6）	
クラス100　（ISOクラス5）	

3 陰圧管理室

種別	概要	排気HEPAﾌｨﾙﾀｰ	室名
・ＲＩ管理区域	区域全体で陰圧（区域内は空調図参照）	○	
・第1種感染症病室	廊下－前室－病室 -20Pa -20Pa	○	
・第2種感染症病室（空気感染）	廊下－前室－病室 -20Pa -20Pa	○	
・第2種感染症病室	廊下より陰圧	－	
・結核患者管理病室	陰圧 -2.5Pa以上	○	
・陰圧病室（ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ、麻疹、風疹）	陰圧（常時は等圧）	－	
・感染対応室	陰圧	○	
	陰圧（陰陽圧切替）	－	
・バイオハザード室	Ｐ2	○	

建築改修工事仕様

1. 共通仕様

（1）図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年度版）」（以下、「改修標仕」という。）により、改修標仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年度版）」（以下、「標仕」という。）による。

（2）図面及び仕様書の記載事項の優先順位は、質疑回答書、現場説明書、改修特記仕様書、図面、改修標仕、標仕の順序とする。

2. 特記仕様

（1）項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙ 印と ㊟ 印の付いた場合は、共に適用する。

（3）特記事項に記載の［　］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（4）特記事項に記載の（　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（5）Ⓖ 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。

（6）同等品の取り扱い
※ 材料製品ならびにその製造所及び施工業者を、図面または特記仕様、別表で指示している場合には、「同等以上」または「同等品」という記載のある場合に限って、同等以上と認められるものを、監督職員の承諾を受けて用いることが出来る。

（7）CADデータの受け渡し
（ｱ）CADデータの利用については、利用目的を明確化し、目的外の利用及び第三者への譲渡・転貸を禁止する。
（ｲ）CADデータの受け渡しは、DVD-R又はCD-Rとし、ファイル方式は下記とする。
※ AutoCAD ファイル形式（DWG、2013/LT2013形式以上）
・ DXFファイル方式（R14J以上）
・ 協議による

章	項目	特記事項

① 各章共通事項

① 適用基準等
※建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修）（平成28年版）
※工事写真撮影ガイドブック（建築工事編及び解体工事編）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）（平成30年版）
※建築工事監理指針（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修）（令和元年版）
※建築改修工事監理指針（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修）（令和元年版）
・建築物解体工事共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）（平成31年版）

② 官公署その他への届出手続等 ［1.1.3］
本工事に必要な関係法令に基づく官公署その他への手続は、全て受注者等が行う。

③ 申請、検査手続への協力
発注者などが行う、建築基準法に基づく計画変更申請、中間検査、完了検査(許可、認定申請等を含む)、その他建築関係法令に基づく申請、検査、および各種補助金等にかかわる申請、検査等に必要な手続、資料作成(申請書、図面、積算書等)に協力すること。

4 完了検査等手数料
建築基準法に基づく計画変更申請、中間検査、完了検査等(許可、認定申請等を含む)の手数料負担者
(受注者等の希望による設計変更に起因する計画変更申請を除く)
※発注者 ・受注者等

5 昇降機確認申請
昇降機の確認申請は、昇降機設備専門業者が建築主の代理者として行い、申請およびこれにかかわる検査に要する費用は、受注者等の負担とする。

⑥ 工事実績情報サービス(CORINS)への登録 ［1.1.4］
※登録する ・登録しない

⑦ 設計図書等の取扱い ［1.1.6］
設計図書は、主要な部位、事項についての設計意図を示すものであり、必ずしも工事の完成に必要なすべての情報を網羅するものではない。
受注者等は、設計図書に示された情報をもとに、製造者などの特定を経て、工程や下地などを考慮のうえ、責任を持って生産設計、製作、施工を行い、工事の適切な遂行と完成に必要なすべてのものを供給する。
※設計図書及び設計図書において適用される必要な図書を工事現場に備える。

⑧ 設備工事との取合 ［1.1.7］
（1）施工範囲
・ 図示した鉄骨、鉄筋コンクリート部の貫通口、開口部のスリーブ、型枠及びその補強。
・ 図示した軽量鉄骨下地天井、壁ボード類の下地補強を要する切込み及び補強。
・ 自動閉鎖装置取付箇所の仕組み及び補強。
・ 意匠図あるいは構造図中に表示がない場合でも機械設備図又は電気、その他図面にて必要となる開口、スリーブ、その他取り合いに必要なものはこれを本工事に含むものとする。
※ 工事区分表に示すもの
（2）設備機器類の位置、取り合いなどの検討が出来る施工図を作成して、監督職員の承諾を受ける。
その施工図は下記とする。
※ 総合プロット図（※平面図※天井伏図・監督職員が位置指定する展開図）

⑨ 軽微な変更
現場の納り及び取合いなどから生じる、材料の寸法、形状、数量等の軽微な変更については、請負金額の範囲内で処理する。

⑩ 設計変更
発注者の希望により、標準仕様書1.1.8(疑義に対する協議等)に該当しない設計変更、追加工事を委嘱された時には、あらかじめ見積書を提出して監督職員の承諾を受けた上で工事に着手する。
この場合は特約のない限り各工事種目共、契約時の単価により監督職員の承諾する数量で請負金額の増減を行い、総合仮設及び経費については契約時の率にて増減する。

⑪ 特許に関する注意
材料、機構または工法等が第三者の所有する特許に触れる場合は、あらかじめその権利の使用に対する必要な手続きを完了した後、受注者等の費用負担として、これを採用する。決してその権利を侵害するような行為をしてはならない。万一、その特許権を侵害するような事態が生じた場合はその動機の故意と不注意のいかんにかかわらず、受注者等は自己の負担でこれを解決しなければならない。

⑫ 施工図等 ［1.2.3］
工事の施工上、監督職員の承諾を必要とする製作図(以下「施工図」等)は受注者等が遅滞なく作成し、監督職員はこれを照査の上、受理印を押印して返却する。
なお、返却後1週間以内に監督職員が書面をもって異議の申し立てを行わない場合には施工図等は承諾されたものとみなし、受注者等はその施工図等に基づいて工事を行う事ができる。
施工にあたり別途関連工事の受注者等と協力して総合図を作成し、監督職員の承諾を得ること。

⑬ 工事の記録 ［1.2.4］
※工事月報(月末締、工事写真及び工事出来高表等添付)3部を監督職員の指示により作成し提出する。
（提出は月初め5日までとする。）
・工事半月報
※工事写真の対象は工事写真撮影ガイドブック（建築工事編及び解体工事編）平成30年版に準ずるとともに、改修標仕[1.2.4.(4)]の内容が確認できる様にすること。

⑭ 電気保安技術者 ［1.3.3］
工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
⊙ 要　工事専用の受変電設備を設置する場合
・ 不要　上記以外

⑮ 施工条件 ［1.3.5］
施工日及び施工時間などは、次による。
（1）設計図書または工事現場近隣の住民との間で交わされる工事に関する協定(以下、近隣協定という)に、作業内容、作業日、時間などについての定めがある場合は、それを遵守する。
（2）休日、祝日または夜間に施工を行う場合は、あらかじめ理由を付した書面によって監督職員に通知する。
標仕[1.3.5(1)]以外の施工条件は、次による。
※なし　・あり （着工前、周辺説明、協議等により適宜判断すること。）
下記を含め現場説明書による。
⊙工事用車両の駐車場所　※図示 ⊙ 院内駐車場は利用出来ない
⊙資機材置場　※図示 ・
・ 建設発生土仮置場　※図示 ・

⑯ 災害防止
本工事の物件に対する火災保険は、工事請負契約約款記載の該当事項によるが、受注者等はあらかじめ作業場の内外を問わず、工事実施にともなう危険防止、騒音防止、火災防止、風水害防止等のため、建築基準法、労働基準法、消防法、電気工作物規則その他関係法規に従って、常に遺漏のないよう適切な方策を講ずる。他に損害を与えた場合は、受注者等はその責を負わなければならない。
また、当該工事の関係者以外の第三者の生命、身体及び財産に関する危害並びに迷惑を防止するために、建設工事公衆災害防止対策要綱建築工事編（平成5年1月12日の建設省経建発第1号）に準ずること。

17 近隣調査
工事に先立ち、敷地周辺道路および近隣家屋等の内外の写真撮影等調査を行うこと。
・調査の範囲は敷地境界線から ○○ｍの範囲とする。
・着工前、周辺説明、協議等により、適宜判断すること。
工事完了後も同様の調査を行い、工事中および工事完了後の破損または汚損等により紛争が生じた場合、適切な処置を行う。

⑱ 火災保険
火災保険契約書の写しを、監督職員に提出のこと。

⑲ 発生材の処理等 ［1.3.12］
・発注者に引渡しを要するもの　（・金属類 ・PCB含有物　）
・特別管理産業廃棄物　（・廃石綿 ・　・　）
・現場において再利用を図るもの　（　）
⊙再資源化を図るもの　（⊙石膏ボード、鉄くず等　）
・PCB含有シーリング材の処理
・第一次判定：現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。
採取箇所数　計（　）箇所
採取箇所　※図示 ・
・第二次判定：専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。
分析個数　計（　）箇所
・除去処理工事
除去範囲　※図示 ・
※建設廃棄物の施工計画調査、処理計画、保管並びに運搬及び処理の委託等
※特別管理産業廃棄物の施工計画調査、処理計画、保管並びに運搬及び処理の委託等

⑳ 材料の品質等 ［1.4.2］
（1）本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
（2）図中に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。
（3）本工事に使用する材料のうち、（4）に指定する材料の製造業者等は、次の（ｱ）から（ｶ）の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関[（一社）公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」]の評価書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。
ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
（ｱ）品質及び性能に関する試験データを整備していること。
（ｲ）生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
（ｳ）安定的な供給が可能であること。
（ｴ）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
（ｵ）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
（ｶ）販売、保守等の営業体制を整えていること。
（4）製造業者等に関する資料の提出を求める材料
床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、押出し成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材、陶磁器・せっ器質タイル、既調合モルタル、既調合目地材、ルーフドレン、吸水調整材、アルミニウム製建具、樹脂製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類、クローザ類、自動扉機構、自閉式上吊り引戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、ガラス、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、エポキシ樹脂、タイル部分張替え用接着剤、ポリマーセメントモルタル
（5）工事現場でのコンクリートに使用するせき板の材料として合板を使用する場合は、グリーン 購入法の基本方針の判断の基準に従い、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のための ガイドライン」に準拠した内容の板面表示等により合法性を確認し、監督職員に報告する。

㉑ 見本の提出 ［1.4.2(6)］
設計図書に定める各材料ごとに、複数種の見本を提出し、材質、仕上げの程度、色、柄等について監督職員の指示を受ける。

22 特別な材料の工法
改修標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

23 支給材料
支給材料の引き渡しを受ける場合は、原則として監督職員立合いのうえ検査し検査後はその保管を行う。

㉔ 建築材料の製造所製品および施工方法
建築材料の製造所、製品及び施工法、施工業者等の指示については、仕上特記事項、仕上材料表による。

㉕ 検査または試験の費用
検査または試験の費用は、すべて受注者等の負担とし検査項目は下記とする。
・アルミ製建具 ・鋼製建具
・製作建具 ・ ・ ・

㉖ 技能士 ［1.6.2］

適用工事種別	
防水改修工事	※防水施工技能士 ・建築板金技能士 ※左官技能士
外壁改修工事	※タイル張り技能士 ※樹脂接着剤注入施工技能士 ※左官技能士
建具改修工事	・カーテンウォール施工技能士 ※サッシ施工技能士 ※自動ドア施工技能士 ㊟ガラス施工技能士 ⊙建具製作技能士 ・畳製作技能士 ・表装技能士
内装改修工事	⊙内装仕上げ施工技能士（⊙プラスチック系床仕上げ工事作業 ⊙鋼製下地工事作業 ⊙ボード仕上げ工事作業 ・カーテン工事作業） ・建築大工技能士 ・建築板金技能士 ⊙家具製作技能士 ・熱絶縁施工技能士
塗装改修工事	※塗装技能士 ・塗料調色技能士
躯体工事	※鉄筋施工技能士 ※型枠施工技能士 ・とび技能士 ※コンクリート圧送施工技能士
ブロック、ALC工事	※ブロック建築技能士 ※エーエルシーパネル施工技能士
石工事	・石材施工技能士
植栽工事	・造園技能士
その他	・

27 見本施工 （1.5.5）
特に見本施工を要するもの
・モックアップルーム
施工前にモックアップルームを作成し、建築主、施設利用者、監督職員、受注者立会いのもと、使用材料、納まり、寸法、建具、家具、電気・空調・衛生設備等の検討確認を行い施工を行うこと。
モックアップルームには本工事に含まれる家具、造作の他、電気、空調、衛生設備機器を仮設置する。
作成範囲:
設置場所:
設置期間:
・外壁モックアップ

㉘ 完成写真
工事の完成後、60日以内に完成写真を下記により提出する。
※フォトブック形式とする
（1）撮影カット数は下記による。
（ｱ）フォトブック掲載カット数は 20 カット（・ 航空写真　カットを含む）とする。
（ｲ）実撮影カット数は、掲載カット数の1.5倍とし、フォトブックに採用するカットは監督職員と協議する。
（ｳ）フォトブックに採用するカットのうち、10カット程度のデジタル処理を見込むこと。
（2）フォトブックの体裁は下記による。
（ｱ）提出部数は 2 部とし、工事概要、各階平面図を記すこと。
（ｲ）A4サイズ(見開きA3・フルフラットタイプ)とし、装丁は上製本・固定セパリ式製本とする。
（ｳ）掲載カット数の60～70%程度のページ数にて作成する。
（ｴ）ページレイアウト(校正)データ作成は撮影者とし、レイアウトは監督職員と協議する。
（ｵ）デザインデータはPhotoshop又はIllustratorで作成し、出力解像度は600dpi以上とする。
（ｶ）出力用紙は、カラープリント（印画紙両面印刷・半光沢）とする。
・アルバム形式とする
（1）撮影箇所数、原版の大きさ、モノクローム、カラーの別、焼付大きさは下記による。

分類・規格		撮影箇所数	原版の大きさ(ｍｍ)
カラー	・ 四切り	** 枚	60×90以上
	・ 六切り	** 枚	
	・ キャビネ版	** 枚	
	・ 手札版	** 枚	24×36以上

・航空写真 ** カットを含む
（2）提出部数は ** 部とし、工事概要を記しアルバムに整理して提出する。
（3）主要なカットのポジフィルム(5カット程度)を1部提出する。
・原版提出とする
竣工写真に関する共通事項
（1）全撮影カットのデジタル画像データ及び、フォトブック形式の場合はデザインデータを DVD-Rにて 2 部提出する。
（ｱ）デジタルデータは撮影カットすべて長辺2880ピクセル以上、TIF形式及び、JPG形式で提出する。
（ｲ）JPGデータの圧縮率は低圧縮(最高画質)とする。
（ｳ）ネガ等からのデジタルデータ入力はフィルムスキャニングとする。
（2）撮影者は下記とする。
※監督職員の承諾を受けたもの（建築写真専門家）
（3）カメラはアオリのきくものを用いる。
（4）デジタルカメラ撮影の場合は35mmフルサイズ以上の撮像素子を有する2000万画素以上のもの、ネガ撮影場合は6×9cm版以上のカメラを使用する。
（5）デジタルカメラ撮影の場合はRAWデータ撮影とする。

㉙ 完成図等 ［1.8.2］
完成図書は竣工検査時に提出し、部分完成・仮使用の場合は、その検査毎に提出する。最終の検査時には全ての完成図書を合せて提出すること。ただし、製本された完成図の提出期日は下記による。
※竣工検査より14日以内
・監督職員の指示する期日
（1）完成図等は下記設計図書を最終の状態に訂正し提出のこと。
※（ｱ）設計図書・施工図併用
（a）設計図書の訂正：配置図及び案内図、各階平面図、立面図、断面図、矩計図、矩計詳細図、各種求積図、面積表、仕上表、外構図 構造図、電気設備図、機械設備図、確認申請平面図（区画図カラー刷り）
（b）平面詳細図（仕上げ、レベル、建具符号）は施工図を利用し完成図に添付すること。
（c）建具図、サイン図、家具図、金物関連図、他監督職員の指示する施工図をCAD化し提出のこと。
（d）(a)(b)の添付図書により図面リストを訂正し、(c)は図面リストに種別と枚数を記載し DVD-Rに種別ごとのフォルダーを作成し提出のこと。
・（ｲ）全ての設計図書、確認申請平面図（区画図カラー刷り）
・（ｳ）建築主・監督職員の指示する仕様

（2）完成図の提出は、下記の仕様による。
※CADデータ　：AutoCADデータ（・およびJW_CADデータ）およびDXFデータをDVD-Rにて 2部提出。
※PDFデータ　：解像度を600dpiとし、オリジナルCADデータより直接書き出したもの（ただし表紙のみ施工者の押印したものをスキャニング）をDVD-Rにて 2部提出。
・原図　：a. による訂正完成原図一式 （A1サイズとする）
・マイクロフィルム　：3.5mmフィルムを使用し、リストを付けロールにて1部提出。
（監督職員の指定する業者にて作成の事。）
（3）製本の表紙は工事名称、竣工年月、建築主、設計、監理、施工者名の文字入りとする。
※A3版縮小図（黒表紙、白焼、確認申請平面図の区画図はカラー刷り）　2部
（監督職員の指定する体裁とする事）
（複写図・白焼）
・A1版見開き製本（複写図・白焼）　1 部　・A1版見開き製本（青図）　1 部
・A3版縮小見開き製本（複写図・白焼）　2 部　・A3版縮小見開き製本（青図）　部
・A4版又はB5版製本（黒表紙金文字入原紙大青図折込）　1 部
・監督職員の指示による図面（施工図・製作図等）のA1版見開き製本(青図)　2 部
（4）国土交通省「営繕工事電子納品要領」に準じる電子成果品について。
⊙必要　・不要
（5）監督職員の指定する施工図、製作図、総合図等のAutoCAD（又はDXF）データ及びPDFデータを DVD-Rにて 2部提出。

㉚ 完成時提出書類 ［1.8.1］
完成写真、完成図とは別に下記書類を合本又はファイリングの上、2部提出する。
（1）竣工届、竣工引渡書、受領書
（2）~~確認通知書(写)~~ 諸官署届出一切の許認可書類及び写し、各種検査済証及び写し
（3）~~施工図（構造躯体及びカーテンウォール）~~
（4）~~施工計画書（カーテンウォール）~~
（5）改修特記仕様書に示す各種材料の保証書及び写し
（6）各種材料・機器試験報告書、保証書
（7）取扱い説明書、部品(工具)、引渡書(一覧表)
（8）メーカーリスト表
（9）受注者等の竣工後の連絡先
（10）協力業者名簿
（11）鍵リスト、鍵引渡書、受領書
（12）保全に関する資料
※建築物等の利用に関する説明書作成は「建築物等の利用に関する説明書作成の手引き」（国土交通省 平成28年12月改定）による。
※建築主への説明を実施すること。
・保全マニュアル
・長期修繕計画

31 設計GL
※図示 ・

㉜ 著作権
設計者が創造するデザインや建物は著作権法で保護されており、主に建物及び図面については設計者が著作権を有する。建物引き渡し後もその著作権は設計者が有する。

㉝ 仮使用
本工事に伴い、施工建物または、既設建物部分に仮使用が発生する場合、受注者等は監督職員の指示に従い安全計画書を作成し必要な措置を講ずるものとする。

㉞ 竣工後検査
工事目的物を建築主へ引き渡したのち、工事請負契約書に契約不適合責任期間内に、工事目的物について、調査を行う。

35 その他
○○市○○まちづくり条例に基づき、○○市長と取り交わした「○○○○○○」の内容を遵守すること。
○○県○○条例に基づき、○○知事と取り交わした「○○○○○○」の内容を遵守すること。

㊱ 既設躯体の確認
本図は既存図面を参照の上作図したものであるため、改修工事着工にあたり主要な躯体寸法は確認すること。

㊲ 調査範囲 ［1.5.2］
図示の範囲と施工計画を立案する上で必要な範囲

㊳ 調査方法 ［1.5.2］
・図示 ⊙現地調査

39 調査のための破壊部分への補修 ［1.5.3］
・図示

㊵ 環境への配慮 ［1.4.1］
（1）総則
（ｱ）室内空気汚染対策(ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物)については、他の項の適用による他、屋内仕上については本項の内容を厳守すること。
また、屋外仕上についても使用材料等を吟味し、化学物質の放散に十分に留意すること。
（ｲ）建材、施工材の使用材料の選定においては、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物を放散しないか、放散が十分少ないものをJASまたはJIS等を参考に適切に選択すること。
（ｳ）仕上塗材、塗料、シーリング材、接着剤その他の化学製品の選択及び取扱いに当たっては、当該製品の製造所が作成した製品安全データーシート(PRTR法による)の内容を把握するとともに、現場に常備し、記載内容の周知徹底を図ること。ただし、製品安全データシートの成分表示には表記されない揮発性有機化合物が含まれている可能性もあるため、疑いのある製品の使用については十分に考慮すること。
（ｴ）施工中、接着剤、塗料等の塗布に当たっては、使用方法や塗布量を十分に管理し適切な乾燥時間をとること。また、施工時、施工後の通風、適切な換気を十分に行い、室内に放散した溶材成分等の希釈を図ること。
（ｵ）各建材、材料について、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物に関する規格の等級、又は安全を証明する試験データ等は、写真又は書類として監督職員へ報告し、保管すること。
（ｶ）内装仕上げに用いる建築材料の取付状況の写真撮影を行い、官庁による中間検査、完了検査時に提出すること。
（2）ホルムアルデヒドに関する等級について
（ｱ）合板類、木質系フローリング、集成材、単板積層材(LVL)、OSBに関する
ホルムアルデヒド放散量のJASで定める等級は下記とする。
※F☆☆☆☆　・F☆☆☆　・図示
（ｲ）MDF、パーティクルボード、壁紙、接着剤、保温材、断熱材、塗料に関する
ホルムアルデヒド放散量のJISで定める等級は下記とする。
※F☆☆☆☆　・F☆☆☆　・図示
（3）木工事
（ｱ）接着剤(主剤、可塑剤、硬化剤共)は、環境配慮型のものとすること。
（ｲ）木材保存剤
（a）木材保存剤(木材の防腐・防蟻処理)は非有機リン系とし、クロルピリホスを使用しないものとする。
（b）防腐、防蟻処理の方法
建材は工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。
ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて木材保存剤を塗布することとする。
（4）塗装工事
（ｱ）塗装はホルマリン不検出で、水性系のものまたは環境配慮型のものとし、水性系塗料は日本塗料工業会「VOCを標準とした室内塗料分類」W-1に準じ、または同等以上とすること。
・厚生労働省の定める指定13物質全て不検出とする。
・天然系塗料とする。
・錆止め塗料は、鉛、クロム等の有害な重金属を含まない無公害型のものとする。
（5）内装工事
（ｱ）接着剤、シーラー、プライマー
全ての内装工事に用いる接着剤等(シーラー、プライマー含む)は、ホルマリン不検出のもので、水性系のものまたは環境配慮型のものとすること。(主剤、可塑剤、硬化剤共)
・トルエン、キシレン、アセトアルデヒド、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-ブチル不検出とする。
（ｲ）壁紙
ホルムアルデヒドの放散量等が「生活環境の安全に配慮したインテリア材料に関するガイドライン(ISM、壁装材料協定制定)」あるいはそれと同等の基準、性能に適合するもの。
また、接着剤はホルマリン不使用が明記されたもの(ゼロホルム製品)を使用すること。
（6）ユニット及びその他工事
本工事における収納、造作家具及びこれらに類するもの
（ｱ）合板類
ホルムアルデヒド放散量のＪＡＳで定める等級は下記とする。
（ｲ）ミディアムデンシティーファイバーボード(MDF)及びパーテイクルボード
ホルムアルデヒドの放散量のJISで定める等級は下記とする。
※F☆☆☆☆　・F☆☆☆　・図示
（ｳ）二次製品についても基材と同等の等級であることが表記され、確認できること。
・二次製品の組立てにおいては、接着剤の使用を控えること。
（7）保管管理
ホルムアルデヒド使用建材及び使用建材及び二次製品については出荷前の保管時及び運搬時に他等級の製品とは分けて保管し管理すること。

㊶ 化学物質の濃度測定 ［1.6.9］
（1）ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定
測定 ※行う　・行わない
工事完成前(別途工事家具等備品搬入前)に、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定を行い、測定結果報告書を監督職員に提出すること。
また、測定の結果が、厚生労働省が設定した化学物質の室内濃度の指針値を超えた場合は、監督職員と是正方法を協議し、対策を施した後、再測定をおこなうこと。
（ｱ）測定を行う部屋　（計　10 ヶ所）
※測定室の候補は、偏らない選出とし、監督職員との協議の上、決定する。
⊙仕上表参照
・設備関連諸室、各シャフト類、倉庫をのぞく全ての室（計　** ヶ所）
（ｲ）測定対象物質
※ホルムアルデヒド　・アセトアルデヒド　※トルエン　※キシレン
※パラジクロロベンゼン　※エチルベンゼン　※スチレン
・クロルピロホス　・フタル酸ジ-n-ブチル　・テトラデカン
・ダイアジノン　・フェノブカルブ　・フタル酸ジ-2-エチルヘキシル
・厚生労働省の定める13物質（上記）及びTVOC
（ｳ）測定方法
（a）第三者機関により、厚生労働省の定める「室内空気中化学物質の測定マニュアル」の標準的方法を準用すること。
（b）空気の採取:採取時間について、パッシブ方式は（※8　・24）時間以上、アクティブ方式は30分間、2回以上とする。
※パッシブ方式（※測定バッジ　・ パッシブサンプラー　・ パッシブガスチューブ）
・ アクティブ方式　・ 検知管法(簡易測定法)
（c）測定、分析は、厚生労働省が室内空気中化学物質の濃度を測定するための標準的方法として示した以下の方法によって行う。または、以下の相関の高い方法によって行うこともできる。
ホルムアルデヒド　高速液体クロマトグラフ法
揮発性有機化合物　ガスクロマトグラフィー質量分析法
（2）ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の発散
工事完成前に、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の発散のため室内暖房および換気を行うこと。
（ｱ）発散を行う部屋　※全室　・ 1-41-1による測定を行う室
（ｲ）発散方法
（a）室内の設定温度を30℃に設定し1日8時間の暖房運転を行う。
（b）暖房運転終了後直ちに換気を行う。換気時間　8時間
（c）上記工程を3回以上繰り返す。
（d）換気(自然、機械共)は引渡しまでの間、常時行うこととする。

① 各章共通事項

（3）建材の安全性に関する確認
使用する建材に含まれるホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物について、製造所が作成した安全データシート、試験データ等により成分が確認できない場合は、チャンバー法による材料の試験を行い、安全性を確認のうえ使用すること。
（4）準用すべき規格、基準
※ 木質建材:JAS　※ 工業製品:JIS　壁紙等:(※ISM ・SV)　※ 接着剤:JAI
※ 日本塗料工業会目標基準　・ 学校環境衛生の基準[教室等の空気]
・ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律　・ 住宅品質確保の促進等に関する法律
・ 厚生労働省事務連絡「ホルムアルテヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」
・ 国土交通省住宅局住宅総合整備課通知「公営住宅における化学物質の室内濃度測定方法等」

② 仮設工事

① 騒音・粉じん等の対策 [2.1.3]
（1）騒音・粉じん等の対策は、次の(ｱ)又は(ｲ)により、適用は特記による。
なお、シート類は防炎処理されたものとする。
(ｱ) 防音パネルは、隙間なく取り付ける。
(ｲ) 防音シートは、重ねと結束を十分に施し、隙間なく取付ける。
（2）防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲等は、特記による。
足場等は、防音パネル等の取付けに適した材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。
（3）ブレーカー、穿孔機、破砕機、圧砕機等による粉じん発生部には、飛散防止対策を行う。

② 足場等 [2.2.1]
内部足場　種別 ㊟脚立、足場板等　⊙ローリングタワー　・図示
外部足場　種別 ※
工事用シート（※メッシュシート・防音用パネル）による養生　※行う　・行わない
材料、撤去材等の運搬 [表2.2.1]
・A種　※B種　・C種　・D種　・E種
※「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
※足場、作業構台、仮囲い等は労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。

③ 既存部分の養生 [2.3.1]
既存部分の養生　※ビニルシート等　・耐水合板　・図示
既存家具等の養生　※ビニルシート等　・図示
固定家具等の移動　※行わない　・行う（図示）

④ 仮設間仕切 [2.3.2]
仮設間仕切り等の種別 [表2.3.1]

種　別	下　地	仕上材（厚さ　mm）	充填材	塗　装
・A種	※軽量鉄骨	・合板（※9.0　・　　）	・GW t50	※無し
・B種	・木下地	※石膏ﾎﾞｰﾄﾞ（※9.5　・12.5　）	※不要	・片面
※C種	単管下地	防炎シート		
仮設扉	※木製扉	※合板張り程度　・		※無し
	・鋼製扉	※片面フラッシュ程度　・		・有り

⊙図示

⑤ 監督職員事務所の設置規模及び仕上げの程度 [2.4.1]
・10㎡ 程度　・20㎡ 程度　※35㎡ 程度　・65㎡ 程度　・80㎡ 程度　・115㎡ 程度
・上記のほか
・会議室（受注者等と共用で可、100㎡程度）
・女性専用更衣室（※5㎡　・10㎡）
・女性専用（施工者と併用）更衣室
・女性専用トイレ
・女性専用（施工者と併用）トイレ
⊙特に設ける必要はない

6 監督職員事務所の設備・備品等 [2.4.1]
（1）監督職員事務所には次の備品を置くこと。数量は監督職員の指示による。
・畳敷の更衣室　・便所　※流し　※冷暖房設備　※電話
※机（　人分）　※いす（　人分）　※会議テーブル　※書棚　※見本棚　※図面架
・A3カラー複合機（プリンター、コピー、コピー用紙、スキャナー、ファックス機能付き）、OA機器のメンテナンス、消耗品、雑材費を含む。
・A1カラープリンター（請負者と兼用可）
※ロッカー（　人分）（ロッカーあたりハンガー2つ設置）
※ゴム長靴　※雨がっぱ　・墜落制止用器具　※安全靴　※防寒着（左記 ** 人分）
※白板　・製図板　・デジタルカメラ　・携帯灯具　・冷蔵庫　・電子レンジ　・電気ポット
※掛時計　※各種文房具
・その他監督職員の指示するもの
（2）監督職員事務所には次のOA環境を備えること。
※パソコン一式 ** セット（・うち **セットはノートパソコンとする）
OS　：※Windows 11 Professional 64bit
CPU　：※Core i5 以上　・Core i7 以上
メモリ：※8GB以上　・16GB以上
HDD　：※500GB 以上　・1TB 以上
光学ドライブ：※DVDスーパーマルチドライブ
ディスプレイ：（デスクトップ型）※21インチ FHD 以上
（ノート型）・15インチ FHD 以上　・17インチ FHD 以上
グラフィック性能　※導入するソフトのメーカー標準動作性能を満たすもの
・その他監督職員の指示するもの
※ソフト（バージョン等は監督職員の指示によるが、基本的に最新バージョンとする）
※Outlook　※Word　※Excel　・PowerPoint
・AutoCAD　※AutoCAD LT　・Vectorworks　・Revit　・GLOOBE
※Acrobat Standard　・Photoshop　・Illustrator
※セキュリティ（ウイルス）対策ソフト（McAfee VirusScan Enterprise 同等程度）
・その他監督職員の指示するもの
※ネットワーク
※インターネット回線への接続（光回線）（プロバイダー及び回線使用料を含む）
※適切なセキュリティを確保できるネットワーク構成とすること

⑦ 工事用水
構内既存の施設　※利用できない　⊙利用できる（㊟有償　・無償）（メーター設置にて精算）

⑧ 工事用電力
構内既存の施設　※利用できない　⊙利用できる（㊟有償　・無償）（メーター設置にて精算）

3 防水改修工事

1 一般事項 [3.1.2]
防水に関しては受注者・メーカー・施工者の3社連名の保障書を提出すること
保障期間は下記による
※アスファルト防水：10年　※合成高分子系ルーフィングシート防水：10年
※塗膜防水：10年　※ケイ酸質系塗布防水：10年
・　防水：　年

防水の水張り試験　※行う（部位：全面）　・行わない

2 降雨時に対する養生方法 [3.1.3]
降雨等に対する養生方法は、特記による。特記がなければ、次による。
（1）降雨等のおそれがある日は、既存の防水層及び外部に面するシーリング材の撤去等の作業は行わない。
（2）一日の作業終了後は、原則として、降雨等に対して漏水のないようにシート等の養生を行う。
ただし、アスファルト防水で、新規防水層の１層目のアスファルトルーフィング類の張付け（砂付あなあきルーフィングを用いる絶縁工法は２層目）まで行う場合は、養生を省略することができる。
（3）（2）以外の特定の養生を必要な場合は、監督職員と協議する。

3 既存防水層等の撤去 [3.2.3～5]
既存保護層（平場）の撤去　・行う（範囲　・図示　・　　）
既存防水層（平場）の撤去　・行う（範囲　・図示　・　　）
立上り部の防水層撤去 [表3.1.1]
・行う（・POS（機械）　・POSⅠ（機械）　・M4S　・M4S
・S4S（機械）　・S4SⅠ（機械）　・図示　）
露出防水層表面の仕上げ塗装除去
・行う（・M4AS　・M4ASⅠ　・M4C　・M4DⅠ　・L4X　・図示）
改修用ドレン
・設ける（・POAS　・POASⅠ　・POD　・PODⅠ　・POS　・POSⅠ・POX　・図示）

4 既存下地の処理 [3.2.6]
既存下地の処理方法　※改修標仕[3.2.6]による　・図示
既存下地の処理箇所、範囲、数量等　※図示　・

5 断熱材 [3.3.2(8)(9)] [3.4.2(3)] [3.5.2(3)]
断熱工法の断熱材　厚さ（mm）
※既存に合わせる（t=　）
・25mm
・25mm＋25mm（目地違い）（省ｴﾈRC住宅）
・25mm＋25mm＋25mm（目地違い）
・25mm＋25mm＋40mm（目地違い）（省ｴﾈ・再ｴﾈ東京仕様）
・図示
断熱材の種類
保護防水　※押出法ポリスチレンフォーム断熱材３種ｂＡ（スキン層あり防水用：JIS A 9521）
露出防水　※硬質ウレタンフォーム保温板２種１号

6 アスファルト防水 [3.3.2～5]
[表3.1.1] [表3.3.3～10]

防水改修工法の種類		施工箇所	新規防水層の種別
保護防水	・P1B		・B－1　※B－2　・B－3
	・P1BI　・T1BI		・BI－1　※BI－2　・BI－3
	・P2AI		・AI－1　※AI－2　・AI－3
	⊙P2A	屋上機械基礎下部	⊙A－1　※A－2　・A－3
露出防水	・M4C		・C－1　※C－2　・C－3　・C－4
	・M3D　・POD		・D－1　※D－2　・D－3　・D－4
屋内防水	・P1E　・P2E		・E－1　※E－2（保護層は図示による）

アスファルトの種類　※３種　・４種（寒冷地）
[3.3.2(13)] 保護コンクリートのコンクリート種類　※無筋コンクリート
コンクリートの厚さは、特記による。特記がなければ、こて仕上げの場合は、80mm 以上とし、床タイル張り等の仕上げの場合は、60mm 以上とする。保護コンクリートは、所定の勾配に仕上げる。
コンクリートの仕上がりの平たんさの種別は[表8.1.5]による
ＰＯＤ工法の二重ドレン　※設けない　・設ける
Ｍ３Ｄ、ＰＯＤ工法の脱気装置　※設けない　・設ける
既存露出防水層表面の仕上げ塗装（Ｍ４Ｃ工法の場合）　・除去する
[3.3.5(5)] 立上り部の保護
・れんがの種類　※見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんが形コンクリートブロックとする。
・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ１５mm

7 改質アスファルトシート防水 [3.4.2～4]
[表3.1.1] [表3.4.1～3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	厚さ（mm）
・M4AS工法		・AS－T1　・AS－T2　・AS－J2	
・M3AS工法 ・P0AS工法		・AS－T3　・AS－T4　・AS－J1 ・AS－J3	
・M3ASI工法 ・M4ASI工法 ・P0ASI工法		・ASI－T1　・ASI－J1	

脱気装置　※設けない　・設ける

8 合成高分子系ルーフィングシート防水 [3.5.2～4]
[表3.1.1] [表3.5.1～表3.5.3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料等	使用分類
・POS工法 ・S4S工法 ・S3S工法 ・	バルコニー 屋外機置場	・S－F1　・S－M1 ・S－F2　・S－M2 ・S－M3	・カラー ・シルバー	※非歩行 ・軽歩行
・M4S工法		・S－M1　・S－M2		
・POSI工法 ・S3SI工法 ・S4SI工法 ・M4SI工法	屋上	・SI－F1　・SI－M1 ・SI－F2　・SI－M2		
・P1S工法	屋内防水	・SC－1		

脱気装置　・設ける　・設けない
目地処理　ＡＬＣ及びＰＣコンクリートの場合は図示による
Ｓ-Ｃ１の下地処理　※モルタル金鏝t30　・　・

9 塗膜防水 [3.6.2～3]
[表3.1.1] [表3.6.1～2]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料塗り
・P0X工法		※X－1　・X－2	・シルバー
・L4X工法	昇降口庇	・X－1　※X－2	・カラー
・P1Y工法 ・P2Y工法	屋内防水	・Y－2	

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装（Ｌ４Ｘ工法の場合）　・除去する
脱気装置　※設けない　・設ける

10 脱気装置 [3.3.3] [3.4.3] [3.5.3]

種　類	材　質	設置数量
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂　・ＡＢＳ樹脂 ※ステンレス　・鋳鉄	※50㎡当たり１箇所 ・図示
・立上がり部脱気型	・合成ゴム　・塩化ビニル樹脂 ※ステンレス　・銅	※50㎡当たり１箇所 ・図示

11 シーリング [3.7.2～8]
シーリング改修工法の種類 [表3.1.2]
・シーリング充填工法　※シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法
シーリング材の種類、施工箇所
※下表以外は、改修標仕表３.７.１を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
図示	

[3.7.2] 異種シーリング材が接する場合は、監督職員と協議する。
[3.7.8] シーリング材の試験
外部に面するシーリング材の接着性試験
※簡易接着性試験
・引張接着性試験

ＰＣＢ含有シーリング調査
１９７２年以前に着工した建物で２成分形ポリサルファイド系シーリング材の使用が認められる場合
・１次分析（ＰＣＢ含有分析の要否判定）
工事に先立ち、工事範囲のシーリング材を各部位毎に採取し、シーリング材種についての判定を行うこと。
なお、判定結果は速やかに監督職員に報告し、ＰＣＢ含有分析が必要な場合は監督職員と協議する。
・２次分析（ＰＣＢ含有分析）
ＰＣＢの含有について分析を行うこと。なお、分析結果は速やかに監督職員に報告すること。
（1）採取箇所　計　** 箇所
（2）採取方法　分析機関の指定する方法により採取する
（3）分析方法　ＧＣ－ＥＣＤ法による（ＪＩＳ Ｋ ０１１４）
シーリングにＰＣＢが含有していた場合の措置
（1）除去方法　改修標仕３.７.５（ａ）による
（2）処理方法　関係法令により適切に処理すること。また、密封できる容器に保管し、採取時期、使用部位、ＰＣＢが含有していること等を明記の上、施設管理者へ引き渡す。

12 とい [3.8.2～3]
といの材種　屋内用　※耐火二層管（内部VP）・配管用鋼管 [表3.8.1]
屋外用　・硬質ポリ塩化ビニル管（・VP　・RF-VP Ⓖ）・ステンレス製　・アルミ製
鋼管製といの防露巻き [表3.8.3～4]
※適用する（・　）
・適用しない

ルーフドレン

種　別	施工箇所
・ろく屋根用（・縦型　・横型）	図示
・バルコニー用	図示
・バルコニー中継用	図示

ルーフドレインの材質　・図示　※鋳鉄製　(JCW301)

13 アルミニウム製笠木 [3.9.2～3]
種類　・250形　・300形　・350形　・100形　・400形　・板材折曲げ形
表面処理　種別（　）種　皮膜等の種類（※[表5.5.2]による　・　）
着色（・アンバー　・ブロンズ　・ブラック系　・ステンカラー）
笠木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）
・適用しない
※コーナー部、突当り部等の役物は本体製作所の仕様による。
※20mを超え設置する笠木（※むね上げ導体仕様　・電気工事による導体）

14 折板葺 (13.2.2) (13.2.3)
(表13.2.1)

施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分 山高	山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能
	※重ね形	図示	図示		※JIS G 3322	・0.6	※有り	※30分
	・はぜ締め形			（　）種	※JIS G 3314	・0.8	・無し	・無し
	・かん合形				※JIS G 3317	・1.0		
	・			・	・			

断熱材　・有り（種別：　厚さ(mm)：　防火性能：　時間）
・無し
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）
・適用しない

4 外壁改修工事 共通事項

1 施工数量調査 [1.5.2]
調査範囲　※外壁改修範囲　・図示の範囲
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
調査報告書の部数　※２部　・

2 改修材料 [4.2.2]
・既製調合モルタル

保水率（％）	単位容積質量（kg/ℓ）	接着強さ（N/mm²）標準時	接着強さ（N/mm²）温冷繰り返し後	長さ変化率（％）	曲げ強さ（N/mm²）
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上

・パテ状エポキシ樹脂

初期硬化性（標準）	接着強さ（標準）	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0N/mm²以上	6.0N/mm² 以上	50.0N/mm² 以上	30.0N/mm² 以上	3.0（％）以下

（1）均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
（2）対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
（3）常温・常湿（温度５℃～３５℃、湿度４５％～８５％）において製造所の指定する期間又は製造後６か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。
（4）試験方法は、ＪＩＳ　Ａ　６０２４（建築補修用注入エポキシ樹脂）に準ずる。

・可とう性エポキシ樹脂

性　能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性	
引張強さ	1.0N/mm² 以上	1.0N/mm² 以上	1.0N/mm² 以上	最大引張応力	1.0N/mm² 以上
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び	10%以上

比重　表示値±0.10
押出し性　60秒以下
スランプ　3mm以下
加熱減量　5%以下
（1）均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
（2）対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
（3）常温・常湿（温度５℃～３５℃、湿度４５％～８５％）において製造所の指定する期間又は製造後６か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・タイル部分張替え工法用材料

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度（N/mm²）	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
凝集破壊率（％）	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ（N/mm²）	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上
伸び（％）	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上

貯蔵安定性　容積と粘度に著しい変化がないこと。
耐熱性　ＪＩＳ Ａ ５５４８に準じた試験において、８０℃で４週間、９.８Ｎおもりで安定していること。
（1）外観は、均質で、有害と認められる異物の混入がないこと。
（2）タイル、石材、下地等を侵すものでないこと。
（3）「化学物質の審査および製造等の規則に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
（4）常温・常湿（温度５℃～３５℃、湿度４５％～８５％）において製造後６か月保存しても上記の品質性能に適合していること。
（5）ずれ抵抗性があること。
（6）混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。

・エポキシ樹脂モルタル

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0N/mm² 以上	20.0N/mm² 以上	10.0N/mm² 以上

（1）こて塗りが容易で､かつ､硬化後の仕上がりが良好であること。
（2）均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
（3）「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第１種有機溶剤を使用しないこと。
（4）形状に異常が無く、だれが生じないこと。
（5）常温・常湿（温度５℃～３５℃、湿度４５％～８５％）において製造後６か月保存しても上記の品質性能に適合していること。

・ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの種類
合成ゴム系、アクリル系、エチレン－酢ビ系等

曲げ強さ（N/mm²）	圧縮強さ（N/mm²）	接着強さ（N/mm²）標準時	湿潤時	低温時
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

（1）表面状態　だれの下がり量は５mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。
（2）透水性　裏面の濡れ、水滴の付着がないこと。
（3）均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
（4）ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルションは、常温常湿において製造後６か月間保存しても変質しないこと。

・ポリマーセメントスラリー

広がり速度（cm/s）	長さ変化率（収縮）	引張接着性（材齢28日）	曲げ性能（材齢28日）	吸水性（72時間）	耐久性（劣化曲げ強さ）
3以上	3%以下	0.5N/mm² 以上	5.0N/mm² 以上	15%以下	5.0N/mm² 以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

・吸水調整材

項目	全固形分（％）	吸水性（ｇ）	接着強度（N/mm²）	界面破断率（％）
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁

1 ひび割れ部改修工法 [4.1.4]
※樹脂注入工法（主に副が0.2mm～1.0mm以下）

注入工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）	備　考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.05～0.2未満	※200～250	※	
	0.2～1.0以下	※250～300	・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2～0.3未満	※50～100	※40　・	
	0.3～0.5未満	※100～200	※70　・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5～1.0以下	※150～250	※130　・	
		・	・	

[4.2.2] 注入材料
※建築補修用注入エポキシ樹脂（ＪＩＳ Ａ ６０２４低粘度形又は中粘度形）
・0.5mm未満のひび割れ：低粘度形
・0.5mm以上のひび割れ：中粘度形

[4.3.4(6)] 検査（コア抜取り）　※行う（・抜取り部の補修方法：エポキシ樹脂モルタル充填　・図示）
・行わない
検査個数　・500mに1ヶ所　・各立面　・図示

[4.1.4] [4.2.2] [4.3.5] ・Ｕカットシール材充填工法（主に幅が1.0mmを超える）

充填材料	品質・規格等	備　考
※シーリング用材料	※１成分形又は２成分形ポリウレタン系シーリング材 ・	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う（漏水、浮きがある場合）
・可とう性エポキシ樹脂	・JIS A 6024	

[4.1.4] [4.2.2] [4.3.6] ・シール工法（主に幅が0.2mm未満）
・パテ状エポキシ樹脂（JIS A 6024）
※可とう性エポキシ樹脂（JIS A 6024）

2 欠損部改修工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.7] [4.4.8]
※充填工法（欠損部の面積1ヶ所当たり0.25㎡以下の場合）
※エポキシ樹脂モルタル（JIS A 6024）：欠損箇所に適用
・ポリマーセメントモルタル：仕上厚30mm以下の部分に適用
但し鉄筋が露出している場合は適用しない

4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁

1 既存モルタル塗りの撤去
・行う（■全面 ・図示の範囲）
撤去部分の補修は、3,欠損部改修工法による

2 ひび割れ部改修工法
■樹脂注入工法（主に幅が0.2mm～1.0mm以下）
（■既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面）

注入工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）	備考
■自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.05～0.2未満	■200～250	■	
[4.1.4]	0.2～1.0以下	■250～300	・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2～0.3未満	■50～100	■40 ・	
[4.4.5]	0.3～0.5未満	■100～200	■70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5～1.0以下	■150～250	■130 ・	
[4.2.2]		・	・	

注入材料
■建築補修用注入エポキシ樹脂（ＪＩＳ Ａ ６０２４低粘度形又は中粘度形）
・

[4.3.4] 検査（コア抜取り） ■行う（抜取り部の補修方法：エポキシ樹脂モルタル充填 ・図示）
・行わない
検査個数 ・500mに1ヶ所 ・各立面 ・図示

[4.1.4] ・Uカットシール材充填工法（主に幅が1.0mmを超える）

充填材料	品質・規格等	備考
[4.2.2] ■シーリング用材料	■１成分形又は２成分形 ポリウレタン系シーリング材 ・	ポリマーセメントモルタルの充填 ■行わない ・行う（膨水、浮きがある場合）
[4.3.5] ・可とう性エポキシ樹脂	・JIS A 6024	

[4.1.4] ・シール工法（主に幅が0.2mm未満）
[4.2.2] （■既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面）
[4.4.7] ・パテ状エポキシ樹脂
■可とう性エポキシ樹脂

[4.4.2] ■既存塗り仕上げ材の撤去及び補修
[4.6.3] （補修工法は[4.6.3]による）
■既存塗り仕上げ材再仕上
・図示

3 欠損部改修工法
既存モルタル面の欠損部

改修工法の種類	材料	品質・規格等
[4.1.4] ・充填工法	ポリマーセメントモルタル	
[4.4.8] [4.4.9] ・モルタル塗替え工法	改修標仕[4.2.2(7)]による	塗り厚25mmを超える場合の補強 ■行う ・行わない ・図示
[4.4.2] 既製目地材 ・適用する（形状 ■図示 ・ ）		

4 浮き部改修工法
（既存モルタルを撤去しない場合）
[4.1.4]
[4.5.9～15]

[表4.4.3～4]

改修工法の種類	アンカーピンの本数（本/m²） 一般部	アンカーピンの本数（本/m²） 指定部	注入口の箇所数（箇所/m²） 一般部	注入口の箇所数（箇所/m²） 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	■16 ・	■25 ・			■25ml ——
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	■13 ・	■20 ・	■12 ・	■20 ・	■25ml ・
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	■13 ・	■20 ・	■12 ・	■20 ・	■50ml ・
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	■9 ・	■16 ・			■25ml ・
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	■9 ・	■16 ・	■9 ・	■16 ・	■25ml ・
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	■9 ・	■16 ・	■9 ・	■16 ・	■50ml ・

[4.2.2] アンカーピン
材質 ■ステンレスＳＵＳ３０４、呼び径4mmの丸鋲で全ネジ切り加工したもの
・
[4.2.2] 注入口付アンカーピン
材質 ■ステンレスＳＵＳ３０４、呼び径外径6mm
・

[4.4.4] ■既存塗り仕上げ材の撤去及び補修
[4.6.3] （補修工法は[4.6.3]による）
■既存塗り仕上げ材再仕上
・図示

4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁

1 既存タイル張りの撤去
・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲
撤去範囲 ■下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ

2 ひび割れ部改修工法
改修箇所 ■既存タイル張り面
・既存タイル撤去面（・コンクリート面 ・モルタル面）
[4.1.4] [4.3.4] ■樹脂注入工法 （主に幅が0.2mm～1.0mm以下）

注入工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）	備考
[4.5.5] ■自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.05～0.2未満	■200～250	■	
	0.2～1.0以下	■250～300	・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2～0.3未満	■50～100	■40 ・	
	0.3～0.5未満	■100～200	■70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5～1.0以下	■150～250	■130 ・	
[4.2.2]		・	・	

注入材料
■建築補修用注入エポキシ樹脂（ＪＩＳ Ａ ６０２４低粘度形又は中粘度形）
・

[4.3.4] 検査（コア抜取り） ■行う（抜取り部の補修方法：エポキシ樹脂モルタル充填 ・図示）
・行わない
検査個数 ・500mに1ヶ所 ・各立面 ・図示

・Uカットシール材充填工法（主に幅が1.0mmを超える）

充填材料	品質・規格等	備考
[4.1.4] ■シーリング用材料	■１成分形又は２成分形 ポリウレタン系シーリング材 ・	ポリマーセメントモルタルの充填 ■行わない ・行う（膨水、浮きがある場合）
[4.2.2] [4.3.5] [4.3.6] ・可とう性エポキシ樹脂	・JIS A 6024	

3 欠損部改修工法
[4.1.4] [4.2.2] [4.5.7]
・タイル部分張替え工法（張替え面積が1箇所当たり0.25㎡以下）

接着材の種類	品質・規格等
■ポリマーセメントモルタル	
・タイル部分張替え工法用接着剤	「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』（建設大臣官房技術調査室監修 平成９年２月）」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準（案）」に基づく品質性能試験に適合するタイプⅠであり監督職員の承諾するもの又は特記による。

[4.1.4] ・タイル張替え工法
[4.5.8] 伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地
位置 ■改修標仕表4.5.1による ・図示

4 浮き部改修工法
[4.1.4]
[4.5.9～15]

[表4.4.3～4]

改修工法の種類（タイルを撤去しない場合）	アンカーピンの本数（本/m²） 一般部	アンカーピンの本数（本/m²） 指定部	注入口の箇所数（箇所/m²） 一般部	注入口の箇所数（箇所/m²） 指定部	充填量 注入量
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	■16 ・	■25 ・			■25ml ——
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	■13 ・	■20 ・	■12 ・	■20 ・	■25ml ・
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	■13 ・	■20 ・	■12 ・	■20 ・	■50ml ・
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	■9 ・	■16 ・			■25ml ・
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	■9 ・	■16 ・	■9 ・	■16 ・	■25ml ・
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	■9 ・	■16 ・	■9 ・	■16 ・	■50ml ・
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入タイル固定工法	■9 ・	■16 ・	■9 ・	■16 ・	■50ml ・

[4.2.2] アンカーピン
材質 ■ステンレスＳＵＳ３０４、呼び径外径6mm
・

[4.2.2] 注入口付アンカーピン
材質 ■ステンレスＳＵＳ３０４、呼び径4mmの丸鋲で全ネジ切り加工したもの
・

5 目地改修工法
[4.1.4] ■目地ひび割れ部改修工法
[4.5.16] ・伸縮目地改修工法
[3.7.2] シーリング用材料
種類 ■改修標仕表3.7.1による

6 タイル張り
[4.5.2] 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
位置 ■改修標仕表4.5.1による ・図示

共通事項

主な用途による区分（JIS A 5209）				
	1.内装壁ﾀｲﾙ	5.外装壁タイル	9.内装壁ﾕﾆｯﾄﾀｲﾙ	13.外装壁ﾕﾆｯﾄﾀｲﾙ
	2.内装壁ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ	6.外装壁ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ	10.内装壁ﾓｻﾞｲｸﾆｯﾄﾀｲﾙ	14.外装壁ﾓｻﾞｲｸﾆｯﾄﾀｲﾙ
	3.内装床ﾀｲﾙ	7.外装床タイル	11.内装床ﾆｯﾄﾀｲﾙ	15.外装床ﾆｯﾄﾀｲﾙ
	4.内装床ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ	8.外装床ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ	12.内装床ﾓｻﾞｲｸﾆｯﾄﾀｲﾙ	16.外装床ﾓｻﾞｲｸﾆｯﾄﾀｲﾙ

セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	主な用途による区分	形状寸法（mm）	再生材の適用 G	吸水率による区分 I類	II類	III類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
[4.2.2] [4.5.7] [4.5.8] ・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な凹がりの役物は一体成形とする
試験張り ■行わない ・行う（外壁タイル ）
見本焼き ■行う（■外壁タイル ・ ） ・行わない
モルタル塗りのコンクリート素地面の処理
・MOR工法 ■目荒し工法（高圧洗浄） ・
・MOR工法を行う場合は、せき板面にMOR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上り面凹凸状態とする。
・目荒し工法（高圧水洗）を行う場合は、水圧50N/㎟以上、かつ、2.5ℓ/㎡とし、 (15.3.4)
施工計画書を監督職員に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。
壁タイル張りの工法
外装タイル ・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り ・はるかべ工法
内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り
・既調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、
混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
既調合目地材

有機系接着剤によるタイル張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	主な用途による区分	形状寸法（mm）	再生材の適用 G	吸水率による区分 I類	II類	III類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
[4.2.2] [4.5.7] [4.5.8] ・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な凹がりの役物は一体成形とする
試験張り ■行わない ・行う（外壁タイル ）
見本焼き ■行う（■外壁タイル ・ ） ・行わない
接着剤のホルムアルデヒド放散量
■規制対象外（外装）
■F☆☆☆☆ （内装）
外装壁タイル接着材張りにおける目地のシーリング材
打継ぎ目地 ■ポリウレタン系シーリング材
ひび割れ誘発目地 ■ポリウレタン系シーリング材
伸縮調整目地 ■変成シリコーン系シーリング材
その他の目地 ■変成シリコーン系シーリング材
下地調整材塗りを行うコンクリート素地面の処理
・MOR工法 ・目荒し工法（高圧洗浄）
（一社）全国タイル業協会「Q-CAT工事標準仕様書・同解説」の適用
■適用する ・適用しない

4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁

1 既存塗膜等の除去及び下地処理
[4.6.3]
既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [表4.6.1～2]

工法	処理範囲	下地面の補修
■サンダー工法	■既存仕上面全体 ・	・ひび割れ部改修工法
・高圧水洗工法 加圧力 ■５０MPa程度	■既存仕上面全体 ・	・浮き部改修工法
・塗膜はく離剤工法	■既存仕上面全体 ・	・欠損部改修工法
・水洗い工法	■上記処理範囲以外の既存仕上面全体 ・	

[4.6.3(イ)] 高圧水洗機は、粉化物、付着物等の除去に適したものとする。
[4.2.2] 塗膜はく離剤の種類（下地への影響を確認すること）
■アルコール系の塗膜はく離剤＋高圧水洗機併用
・塩化メチル系の塗膜はく離剤＋高圧水洗機併用

2 下地調整塗材
[4.2.2] ■セメント系下地調整塗材 ・C-1 ■C-2（塗厚 0.5～1）
[4.6.4] ・セメント系下地調整塗材 ・CM-1 ・CM-2（塗厚 3～10）
・下地調整塗材E
・ポリマーセメントモルタル
■下地の不陸調整厚さが3mm～10mmの場合はCM-2とする

3 仕上げ塗材仕上げ
[4.1.5] [4.2.2]
種類、仕上げの形状、工法 [表4.2.4]

種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・	・砂壁状
	・可とう形外装薄塗材Si	・	・ゆず肌状（・吹付け ・ローラー塗り）
	・外装薄塗材E	・	・さざ波状
	・可とう形外装薄塗材E	・	・平たん状
	・防水形外装薄塗材E	・	・凹凸状（・吹付け ・こて塗り）
	・外装薄塗材S	・	・着色骨材砂壁状（・吹付け ・こて塗り）
	・内装薄塗材C	・	・砂壁状じゅらく
	・内装薄塗材L	・	・京壁状じゅらく
	・内装薄塗材Si	・	
	・内装薄塗材E	・	吸放湿性 ・適用する ・適用しない
	・内装薄塗材RE	・	耐湿性 ・適用する ・適用しない
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状
	・外装厚塗材Si	・	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし
	・外装厚塗材E	・	
	・内装厚塗材C	・	吸放湿性 ・適用する ・適用しない
	・内装厚塗材L	・	上塗材 ・適用する ・適用しない
	・内装厚塗材G	・	
	・内装厚塗材Si	・	
	・内装厚塗材E	・	
・複層仕上塗材	・複層塗材CE	・	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様
	・複層塗材Si	・	
	・複層塗材E	・	上塗材
	・可とう形複層塗材CE	・	耐候性 ■耐侯形３種 ・
	■複層塗材RE	・	溶 媒 ■水系 ・溶剤系
	・防水形複層塗材CE	・	樹 脂 ■アクリル系 ・
	・防水形複層塗材E	・	外 観 ■つやあり ・つやなし ・メタリック
	・防水形複層塗材RE	・	増塗材 ■適用する ・適用しない
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E	・	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状
	・可とう形改修塗材RE	・	
	・可とう形改修塗材CE	・	
・軽量骨材仕上塗材	■吹付用軽量塗材	・	砂壁状
	・こて塗用軽量塗材	・	平たん状

[4.2.2] 防火材料の指定が必要な場合
■建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。
[表4.2.6]

[4.2.2]

種類	仕上の形状	工法
・外壁用塗膜防水材	・凸凹状凸部処理	・吹付
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー

5 建具改修工事
① 改修工法の適用
[5.1.3]

建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	補修	備考
・アルミニウム製建具	外部	・	・	・	
	内部	・	・	・	
・樹脂製建具	外部	・	・	・	
	内部	・	・	・	
⊙鋼製建具	外部	・	・	・	
	内部	・	⊙	⊙	
⊙鋼製軽量建具	外部	・	・	・	
	内部	・	⊙	⊙	
・ステンレス製建具	外部	・	・	・	
	内部	・	・	・	
・木製建具	内部	・	・	・	
・建具用金物		・	・	・	
・自動ドア開閉装置		・	・	・	
⊙自閉式上吊り引戸装置		・	⊙	⊙	
・重量シャッター	外部	・	・	・	
	内部	・	・	・	
・軽量シャッター	内部	・	・	・	
・オーバーヘッドドア	外部	・	・	・	
・メタルカーテンウォール	外部	・	・	・	

新規建具を設ける壁の改修範囲
■枠から600mm程度とし、既存仕上に準じた仕上を行う
・図示の範囲

② 性能及び構造他
■建具特記仕様書による

6 内装改修工事
① 改修範囲
[6.1.3]
既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
■壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
⊙図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
■壁面より高側６００mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
⊙図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
■既存のまま
⊙図示の範囲

② 既存床の撤去並びに下地補修
[6.2.2]
ビニル床シート等の除去 ■仕上げ材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（■図示の範囲 ・除去範囲全て）
合成樹脂塗り床材の除去工法 ・機械的除去工法 ■目荒工法
改修後の床の清掃範囲 ■改修箇所の室内 ・図示

③ 既存壁の撤去並びに下地補修
[6.3.2]
[4.4.9]
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
■図示
・モルタル塗替え工法（塗り厚25mmを超える場合の補強 ■行う ・行わない）

④ 木下地等
[6.5.1]
機械加工による仕上げの程度 [表6.5.1]

表面仕上げの種別	適用箇所
・A種	
■B種	全て
・C種	

・手加工による仕上げは[表6.5.2]による

[6.5.2(1)] 施工一般
■材料のホルムアルデヒド放散量は、「Ｆ☆☆☆☆」とする
■表示の無い場合、塗装していないものは「非ホルムアルデヒド系接 着剤使用」、
塗装したものは「非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用」、
化粧加工したものは「非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用」とする

[6.5.2(2)] 製材（丸太を縦挽きした木材製品） G
■「製材の日本農林規格」による下地用計業製製材

施工箇所	樹種	寸法（mm）	等級	形状	含水率	開伏材等の適用
図示			■２級 ・		■A種 ・B種	・
			■２級 ・		■A種 ・B種	・
			■２級 ・		■A種 ・B種	・

■「製材の日本農林規格」による造作用計業樹製材

施工箇所	樹種	寸法（mm）	等級（目視）	形状	含水率	開伏材等の適用
枠,額縁,敷居 鴨居,框 の見えがかり			・無節 ■上小節 ・小節		■A種 ・B種	・ ・ ・
上記以外			・無節 ・上小節 ■小節		■A種 ・B種	

■「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法（mm）	等級	形状	含水率	開伏材等の適用
図示			■１等 ・		■10%以下	・

・「製材の日本農林規格」以外の製材 [表6.5.4]

施工箇所	樹種	寸法（mm）	材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	開伏材等の適用
図示			造作材の場合（■A種 ・B種）	■適用する ・適用しない	■適用する ・適用しない	■A種 ・B種 ・	
枠,額縁,敷居 鴨居,框 の見えがかり			造作材の場合（■A種 ・B種）	■適用する ・適用しない	■適用する ・適用しない	■A種 ・B種 ・	・
押入,戸棚等の内面造作の類			造作材の場合（■A種 ・B種）	■適用する ・適用しない	■適用する ・適用しない	■A種 ・B種 ・	・ ・

・代用樹種を使用できない箇所（ ）

[6.5.2(3)] 造作用集成材 G
■「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法（mm）	見付け材面の品質	開伏材等の適用
図示	■タモ ・ナラ		■1等 ・2等	・
				・

■「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面の品質	開伏材等の適用
敷居、かまち、階段板上面	化粧薄板： 芯材：	図示	3.0以上	■1等 ・2等	・
くつずり	化粧薄板： 芯材：	図示	3.0以上		・
柱、枠、額縁	化粧薄板： 芯材：	図示	1.2以上		・
敷居の溝底	化粧薄板： 芯材：	図示	5.0以上		
その他（ ）	化粧薄板： 芯材：	図示	0.6以上		

■「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	開伏材等の適用
図示	化粧薄板： 芯材：			・
	化粧薄板： 芯材：			・
	化粧薄板： 芯材：			・

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録 第233442号 和田 雅彦
一級建築士登録 第226323号 菊地 徹実

公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事
改修特記仕様書（3）
2022.03
A1：-
A3：-
RA － 004

[6.5.2(3)] ・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法（mm）	見付け材面の品質	含水率	劣化対等の適用
	※タモ ・ナラ			※15%以下 ・	・
				※15%以下 ・	・
				※15%以下 ・	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面の品質	含水率	劣化対等の適用
図示	化粧薄板： 芯材：				※15%以下	・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面の品質	含水率	劣化対等の適用
図示	化粧薄板： 芯材：				※15%以下	・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下	・

[6.5.2(4)] 造作用単板積層材（LVL） G

・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ（mm）	表面の化粧加工	防虫処理	劣化対等の適用
図示		※有り （加工： ※天然木化粧加工 ・塗装加工）	・適用する ・適用しない	・
		・無し （等級： ）		
		・有り （加工： ・天然木化粧加工 ・塗装加工）	・適用する ・適用しない	・
		・無し （等級： ）		

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ（mm）	表面の化粧加工	含水率	防虫処理	劣化対等の適用
図示		・有り （加工：・天然木化粧加工 ・塗装加工）	※14%以下 ・	・適用する ・適用しない	・
		・無し（ ）			
		・有り （加工：・天然木化粧加工 ・塗装加工）	※14%以下 ・	・適用しない	・
		・無し（ ）			

劣化材等：劣化材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比率合が10%以上であること。

[6.5.2(5)] 直交集成材（CLT） G

・「直交集成材の日本農林規格」による造作用単板直交材

[6.5.2(6)] 下地用合板等

※「合板の日本農林規格」による普通合板 G

施工箇所	厚さ（mm）	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防炎処理	劣化対等の適用
（床）	※5.5 ・	※しな	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上	※適用する ・適用しない	※適用する ・適用しない	※適用する ・適用しない	・
（壁、天井）	・	・ﾗﾜﾝ ・しな	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上	※適用する ・適用しない	※適用する ・適用しない	※適用する ・適用しない	・
	・		・1類 ・2類	・	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 G

施工箇所	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ（mm）	有効断面係数比	防虫処理	強度等級	劣化対等の適用
（床）	※2級以上 ・1級	※ﾗﾜﾝ	※1類 ・特類	※C-D以上 ・	※12 ・		※適用する ・適用しない	・適用する（ ） ・適用しない	・
	・2級 ・1級		・1類 ・特類	・	・		・適用する ・適用しない	・適用する（ ） ・適用しない	・
	・2級 ・1級		・1類 ・特類	・	・		・適用する ・適用しない	・適用する（ ） ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 G
・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 G
・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 G

・パーティクルボード JIS A 5908 G

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ（mm）
図示		※13タイプ ・	※P ・M-V		※15 ・
					・

・「構造用パネルの日本農林規格」による構造用パネル

施工箇所	等級	厚さ(mm)
	・4級	・9.0 ・9.5 ・10.5 ・11.0
・一般床下地	※3級	・11.0 ・11.5 ※12.0 ・12.5 ・14.5
・床下地	・2級	※15.0 ・15.5 ・16.0 ・18.0
	・1級	・18.0 ・18.5 ・24.0 ・28.0

・ミディアムデンシティーファイバーボード（MDF） JIS A 5905
・フローリングは[6.11]による

[6.5.3(3)] 接着剤
※接着剤のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。

[6.5.5] 防腐・防蟻・防虫処理
・防腐・防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材
適用部位：（ ）

※薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部位	条件	保存処理性能区分
	・屋内一般	・K1 ※K3
	・低温高耐久	・K2
	・土台等	・K3
	・屋外露出等	・K4
	・屋外露出高耐久	・K5

・薬剤の塗布処理による防腐・防蟻処理
・ボード原料接着材への薬剤混入による防腐・防蟻処理
適用部位：（ ）
※防虫処理
・防虫処理した材料
・図示

⑤ 軽量鉄骨天井下地 [6.6.2～4]

野縁等の種類 屋外 ※25型 ・19型 屋内 ※19型 ・25型 [表6.6.1]

耐震性能
（1）耐震性能
（ｱ）設計用の地震力に対して各部材は許容応力度以内とし、天井の脱落がないものとする。
（ｲ）耐震性能検討書を作成し、監理者の承認を受ける。
（2）設計用地震力
（ｱ）設計用震度
※「特記仕様書(1)(工事概要書)」の非構造部材による。
（ｲ）天井の自重には、当該天井材、下地材一式のほか、天井に支持された間仕切壁がある場合はその自重の1/2を含む。

屋外の軒天井、ピロティ天井等
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）
・適用しない

耐風圧性能
耐風圧計算書を作成し、監理者の承認を受ける。
（1）設計用風圧力
※「特記仕様書(1)(工事概要書)」による。
※設計用風圧力の最小値は、±2,000Paとする。
（2）材料は、次による。 （単位 mm）

種類	種類		備考
シングル野縁	25×25×0.7以上		
ダブル野縁	50×25×0.7以上		
野縁受	40×20×1.6以上		
野縁受ハンガー	厚さ2.3以上		ボルト固定・開頭型
クリップ	厚さ2.0程度		ボルト固定型
吊りボルト	1/2"(12φ)		
水平つなぎ材 ブレース材	[-40×20×1.6以上		天井ふところが1.0m以上
耐震ブレース	同上		

（3）工法
（ｱ）野縁の間隔は、300ｍｍ以内かつ耐風圧性能を確保できるものとする。
（ｲ）風圧力による吊ボルトの座屈止めとして、剛性の大きいアングル、パイプなどの補強材をバランス良く設置する。
（ｳ）天井のふところが1.0m以上の場合は、縦横間隔1.8ｍ程度で均等に[-40×20×1.6(ｍｍ)以上を用いて水平つなぎ材を設ける。
・特定天井 「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方式を定める件」

6 軽量鉄骨下地適用外特殊天井

・特殊天井
（1）適用範囲
本項は次の範囲に適用する。
（ｱ）一区画の面積が200㎡以上かつ天井高6m以上の天井（特定天井） ※適用する（室名 ）
（ｲ）木製天井、金属天井、装飾天井などの重量天井（20kg/㎡超える天井）※適用する（室名 ）
（ｳ）傾斜、段差、曲面等の水平でない天井 ※適用する（室名 ）
（2）耐震性能
（ｱ）所定の地震力に対して、各部材は許容応力度以内とする。また、他部材との衝突などにより天井各部材の脱落を生じないものとする。
（3）設計用地震力
「平成25年 国土交通省告示 第771号」による。
（4）材料
（ｱ）野縁受の連結材は、ボルト固定、締付け、溶接などによるずれ防止タイプとする。
（ｲ）野縁クリップは、ボルト固定などによるボルトの開き、ずれ防止タイプとする。
（5）工法
（ｱ）天井仕上材および天井下地材は、壁との間に次のクリアランスを設ける。
※設計図による ・60mm ・層間変形角(1/100)×天井ふところ高さ±50mm

・システム天井
（1）適用範囲・図示
（2）仕様 ・図示

[6.6.4(1)(ｱ)(ｳ)] ○既存の埋込インサート ●使用する（※吊ボルトの確認試験を行う） ・使用しない
[6.6.4(1)(ｲ)(ｳ)] ・あと施工アンカーの引抜き試験 ※行う ○行わない

⑦ 軽量鉄骨壁下地 [6.7.3～4]

スタッドランナーの種類
※[表6.7.1]によるスタッド高さによる区分に応じた種類 ・図示
スタッドの高さが5ｍを超える場合
※ 図示
・[- 100×50×20×2.3（スタッド）@300上下L 100×100によるボルト止め
振れ止めはスタッド同材を中央に設け、開口部補強スタッド同材とする。
出入口及びこれに準じる開口部の補強
※[6.7.4(5)]による

⑧ ビニル床シート張り G [6.8.2～3]

種類	JIS記号	施工箇所	色柄	厚さ（mm）	備考
・発泡層のないもの	※FS（複層） ・TS	図示	※無地 ・マーブル柄	※2.0 ・2.5	
・発泡層のあるもの	・HS ・KS	図示	・無地 ※柄物	※2.8	
○図示	図示	図示	図示		

目地処理工法 ※熱溶接工法 ・突付け（施工箇所： ）
特殊機能
・帯電防止床シート ・導電床シート ・防滑性床シート
・耐動荷重床シート ・耐薬品性床シート ・抗菌性床シート

⑨ ビニル床タイル張り G [6.8.2～3]

JIS記号	施工箇所	色柄	寸法（mm）	厚さ（mm）	備考
・FT（複層）	図示	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	※2.0 ・2.5	
・KT（コンポジション）	図示	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・3.0 ※2.0	
・FOA（置敷き）	図示	・無地 ・柄物	・500×500 ・	・3.0 ・	
○図示	図示	図示		図示	

特殊機能
・帯電防止床タイル ・導電床タイル ・視覚障害者用床タイル
・防滑性床タイル ・蛍光誘導床タイル
・耐酸ビニル床タイル ・耐油ビニル床タイル ・放射線防護ビニル床タイル

10 視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材） [6.8.2(9)]

施工箇所		種類	寸法（mm）	厚さ（mm）
屋内		※塩化ビニル製	※300×300 ・	※7.0 ・
		・磁器質タイル ・せっ器質タイル	※300×300 ・	・
		・レジンコンクリート製 ・コンクリート製	※300×300 ・	・
屋外		・磁器質タイル ・せっ器質タイル	※300×300 ・	・
		※レジンコンクリート製 ・コンクリート製	※300×300 ・	※30

ブロックパターンは JIS T 9251 による

⑪ ビニル幅木 [6.8.2(4)]

材質 ※軟質 ・硬質
高さ（mm） ※60 ・70 ・100 ・300
厚さ（mm） ※2.0 ・1.5

⑫ カーペット敷き G [6.9.3～4]

・敷じゅうたん（JIS L 4404） [表6.9.1]

種別	パイル長さ(mm)	パイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備考
・A種	・12	・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	・ｳｨﾙﾄﾝｶｰﾍﾟｯﾄ	※無地	※適用する	
・B種	・10	・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	・ﾀﾌﾃｯﾄﾞﾌｪｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ	・柄物	（性能：※人体帯電圧3kV以下 ・ ）	
・C種	・ 7	・ｶｯﾄ､ﾙｰﾌﾟ併用	・ｱｷｽﾐﾝｽﾀｰｶｰﾍﾟｯﾄ	（標準品）	・適用しない	

下敷き材 ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ8mm ・

・タフテッドカーペット（JIS L 4405）

パイル形状	パイル長さ（mm）	工法	帯電性	備考
・カットパイル	※5～7 ・	※全面接着工法	※適用する	
・ループパイル	※4～6 ・	・グリッパー工法	（性能：※人体帯電圧3kV以下 ・ ）	
・レベルループパイル	※4 ・		・適用しない	
・カット、ループ併用	・			

下敷き材（グリッパー工法の場合）
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ8mm ・

・ニードルパンチカーペット
厚さ（mm） （ ）
帯電性 ※適用する（性能：※人体帯電圧3kv 以下 ・ ）
・適用しない
備考 （ ）

○タイルカーペット（JIS L 4406）

パイル形状	種類	施工箇所	寸法（mm）	総厚さ（mm）	備考
※ループパイル	・第一種 ・第二種	図示	※500×500 ・	※6.5 ○図示	
・カットパイル	・第一種 ・第二種	図示	※500×500 ・	※6.5 ・	
・カット、ループ併用	・第一種 ・第二種	図示	※500×500 ・	※6.5 ・	

タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・
階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・

見切り、押え金物 ・適用する（材質、形状等 ※図示 ・ ）
○適用しない

帯電性 ○人体帯電圧3kV以下（フリーアクセスフロア敷設範囲）
防炎性能 ※防炎表示

13 合成樹脂塗り床（有機系） [6.10.2～3]

[表6.10.1～8]

種類	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床材 （耐摩耗性能）	図示	・[表6.10.4]	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂塗床材 （耐薬品性能）	図示	・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材 エポキシ樹脂塗床材	図示	・薄膜型塗床工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材 ｱｸﾘﾙ樹脂塗床材 （JIS K 5970）	図示		・平滑仕上げ
・仕上特記事項による	図示		・

・無機系塗り床は特記による

14 フローリング張り [6.11.2～7]

単層フローリング G 基準 ※1等 ・2等 [表6.11.1～5]

種類	工法	樹種	厚さ（mm）	大きさ（mm）	仕上塗装	劣化対等の適用
・フローリングボード	・釘留め工法（根太張り）	※なら ・	※15 ・	幅 75以上 板長さ 400以上	※塗装品 ・無塗装品	・
	・釘留め工法（直張り）	※なら ・	※12以上 ・	幅 75以上 板長さ 400以上		・
	・接着工法	※なら ・	※8以上 ・	幅 75以上 板長さ 400以上		・
・フローリングブロック	・接着工法	※なら ・	15	303×303 ・	※塗装品 ・無塗装品	・

天然木化粧複合フローリング G [表6.11.2～6]

種類	工法	樹種	厚さ・大きさ（mm）	種別	防湿処理	仕上塗装	劣化対等の適用
・複合フローリング	・釘留め工法（根太張り）	※なら ・	※板厚15以上 板幅75以上 板長さ900以上	※A種 （土足用）	・適用する ・適用しない	※塗装品 ・無塗装品	・
			※板厚12以上 板幅75以上 板長さ900以上	・B種 （再塗装不可） ・C種 （上履き住宅用）			
	・釘留め工法（直張り）	※なら ・	※板厚12以上 板幅75以上 板長さ900以上	※A種 （土足用） ・B種 （再塗装不可） ・C種 （上履き住宅用）			
	・接着工法	※なら ・	・板厚12以上 板幅75以上 板長さ450以上	※A種 （土足用） ・B種 （再塗装不可）			
			・板厚12以上 板幅75以上 板長さ900以上	・C種 （上履き住宅用）			

複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・特記
接着工法の場合の緩衝材 ※合成樹脂発泡シート ・
現場塗装仕上 ・行う（施工箇所 ）
・ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り
・行わない
劣化材等：劣化材、合板、製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木等を使用していること。
仕上げ塗装 ・塗装品（※UV塗装 ・ ）
釘止め工法（直張り）の下地
※乾式二重床 ・発泡プラスチック床 ・鋼製床 ・木床
接着工法の下地
※モルタル塗り ・セルフレベリング材塗り ・合板

15 畳敷き [6.12.2]

[表6.12.1]
種別 ・A種 ・B種 ※C種（縞わらサンドイッチ畳）・D種（畳床：・Ⅰ型 ・Ⅱ型 ・Ⅲ型 ・K型 ※N型）
下地の種類 ・改修標仕様表6.5.10による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン G ）
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

⑯ せっこうボードその他のボード張り [6.13.2]

[表6.13.1]

種類	JIS記号	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板 G	HW	・15 ・20 ・25 ・
・中質木毛セメント板 G	MW	・15 ・20 ・25 ・
・普通木毛セメント板 G	NW	・15 ・20 ・25 ・
・硬質木片セメント板 G	HF	・12 ・15 ・18 ・21 ・
・普通木片セメント板	NF	・30 ・
○けい酸カルシウム板	0.6FK 1.0FK	ﾀｲﾌﾟ2（無石綿） ・6 ・8
○ｼｯｸｽｰﾙ化粧吸音板	DR	○ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ（○ｼ （不燃）・12・ ） ・凹凸ﾀｲﾌﾟ（・12（不燃）・15・ ）
・ロックウール化粧吸音ボード1号	RW-B	・25 ・
・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ32K	GW-B	※図示 ・25（ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包） ・
○せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	GB-R	※図示 ・12.5（不燃）・15（不燃）・
○不燃繊層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	GB-NC	9.5（不燃）化粧無（下地張り用） 化粧有（ﾄﾗﾊﾟｰﾝ模様）
○ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ	GB-S	※図示 ・12.5（不燃）
○強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	GB-F	※図示 ・12.5（不燃）・15（不燃）
・せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ	GB-L	9.5
・化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（木目）	GB-D	12.5（不燃） 幅440mm程度 模様（・柾目 ・板目）専用下地材有り

⑥ 内装改修工事

⑯ せっこうボードその他のボード張り [6.13.2]

[表6.13.1]

種 類	JIS記号	厚さ（mm）、規格等
・普通合板 Ⓖ		表面の材種 生地、透明塗料塗り （※ラワン程度 ・ ） 不透明塗料塗り （※しな程度 ・ ） 板面の品質（※A－A ・特記 ） 厚さ(mm)（ ） 接着の程度（※1類 ・2類 ） ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理
⊙天然木化粧合板 Ⓖ		樹種名（ ） 接着の程度（※1類 ・2類 ） 厚さ(mm)（ ） ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理
・特殊加工化粧合板 Ⓖ		化粧加工の方法 （・オーバーレイ ・プリント ・塗装） 表面性能（※F ・特記 ）タイプ 接着の程度（※1類 ・2類 ） 厚さ(mm)（ ） ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による厚さ（※1.2・ ）
・ポリエステル樹脂化粧板		
・ミディアムデンシティファイバーボード Ⓖ	MDF	・素地MDF（RS）・化粧MDF（・DV ・DO ・DC） ・3 ・7 ・9 ・12 ・
・単板張りパーティクルボード Ⓖ		・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18 ・
・化粧パーティクルボード Ⓖ		・単板オーバーレイ ・プラスチックオーバーレイ ・塗装 ・10（難燃）・12（難燃）・
・ハードボード（素地） Ⓖ	HB	・無研磨板（・スタンダード ・テンパード） ・研磨板 （・スタンダード ・テンパード） ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
・ハードボード（化粧） Ⓖ		・内装用 ・外装用 ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
・インシュレーションボード Ⓖ	IB	A級（・天井仕上 ・内装仕上 ・ ） ・9 ・12 ・15 ・18

せっこうボード等の下地は図示による。
遮音シール材 ⊙適用する（※シーリング材 ・ジョイントコンパウンド）
・適用しない
合板類の張付け ※B種 ・A種
せっこうボードの目地工法 ⊙仕上げ表による
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
※適用する（※シーリング材 ・ジョイントコンパウンド） ・適用しない
石膏ボード目地処理 [表6.13.5]
※ 継目処理工法 ・ 突付けV目地工法 ・ 突付け工法 ・ 目透し工法

⑰ 壁紙張り [6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考
	紙	繊維（織物）	プラ（ビニル）	その他（化学繊維）	無機質		
※仕上表による	・	・	⊙	・	・	⊙不燃・準不燃・難燃	
・各 室	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	

壁の仕様・抗菌仕様・表面強化・汚れ防止・消臭⊙図示
[6.14.3] 下地調整（素地ごしらえ）
モルタル、プラスター面 ※RB種 ・RA種 ・RC種（施工箇所： ）
コンクリート押出成形セメント板面 ※RB種 ・RA種 ・RC種（施工箇所： ）
せっこうボード面 ※RB種 ・RA種 ・RC種（施工箇所： ）

⑱ モルタル塗り [6.15.3]

既製目地材 ・設ける 施工箇所（ ） 形状（※図示 ・ ）
※設けない
床目地 ※設ける（工法※押し目地 ・ ）
⊙設けない
外壁タイル張り下地の均しモルタルの接着力試験
・適用する
・適用しない
吸水調整材

全固形分（%）	吸水量（g）	接着強度（N/mm²）	界面破断率（%）
表示値±1.0	30分で1g以下	0.98以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
防水剤（防水モルタル塗りの混入剤）
防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤（JIS A 1404による試験）

混合割合	凝 結 時 間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント重量の5%以下	JIS R 5201の試験において 始発 1時間以上 終結 10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下

安定性、膨張性のひび割れおよびそりがないこと。

⑲ タイル張り [6.16.3]

タイルの形状、寸法等

施工箇所	主な用途による区分	形状寸法（mm）	再生材の適用 Ⓖ	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

セメントモルタル陶磁器質タイル張り
標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ※行わない ・行う(・)
見本焼き ※行う(・)・行わない
モルタル塗りのコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（高圧洗浄） ・
・目荒し工法(高圧水洗)を行う場合は、水圧50N/m㎡以上、かつ、2.5分/㎡とし、
施工計画書を監督職員に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。
壁タイル張りの工法
内装タイル ・改良積上げ張り
・既製調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
・既製調合目地材

[6.16.4] 有機系接着剤による陶磁器質タイル張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	主な用途による区分	形状寸法（mm）	再生材の適用 Ⓖ	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ※行わない ・行う(・)
見本焼き ※行う(・) ・行わない
壁タイル張工法 ・内装壁タイル接着材張り

20 セルフレベリング材塗り [6.17.2]

・せっこう系（施工箇所及び厚さ ※仕上表による ・図示 ・ ）
※セメント系（施工箇所及び厚さ ※仕上表による ・図示 ・ ）

21 断熱材 (19.9.2) (19.9.3)

・断熱材打込み工法（省エネ地域区分5～7：内断熱）

種 類		厚さ（mm）	施工箇所	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温材	※保温板（3種b）	※既存に合わせる （t= ） ・25（省エネRC住宅） ・30 ・50（ZEB） ・70 （省エネ・再エネ東京仕様）	※外壁	ノンフロン λ=0.028以下
	※保温板（3種b）（スキン層付き）	※既存に合わせる （t= ） ・25 ・50 ・70（省エネRC住宅） ・100（省エネ・再エネ東京仕様、ZEB）	※屋根（保護コン）	
		※既存に合わせる （t= ） ・25 ・30 ・40（省エネRC住宅）	※床（接地部分・ピット）	
		※既存に合わせる （t= ） ・25 ・30 ・70（省エネRC住宅、省エネ・再エネ東京仕様）	※床（外気部分）	
・硬質ウレタンフォーム保温材	※保温板（2種1号）	※既存に合わせる （t= ） ・25 ・50 ・70（省エネRC住宅） ・100 （省エネ・再エネ東京仕様）	※屋根（露出）	ノンフロン λ=0.023以下
・断熱材兼用型枠		※40以下	※外壁	U=0.9以下（W/㎡・K） λ=0.024以下
		製造所 建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの		

λ：熱伝導率
U：熱貫流率
厚さ：部位熱貫流率計算による

・断熱材現場発泡工法（省エネ地域区分4～7：内断熱）

種 類	厚さ（mm）	施工箇所	品質等
※A種1	※既存に合わせる （t= ） ・25 ・50 ・90（省エネRC住宅） ・120 （省エネ・再エネ東京仕様）	※屋根（露出）	ノンフロン λ=0.034以下
	※既存に合わせる （t=15 ） ・25 ・30（省エネRC住宅） ・80 （省エネ・再エネ東京仕様）	※外壁	
・A種1H	※既存に合わせる （t= ） ・25 ・50 ・70（省エネRC住宅） ・90 （省エネ・再エネ東京仕様）	※屋根（露出）	ノンフロン λ=0.026以下
	※既存に合わせる （t= ） ・25（省エネRC住宅） ・30 ・60 （省エネ・再エネ東京仕様）	※外壁	

λ：熱伝導率
・燃焼性能（・難燃性 ・不燃性 ・不燃認定品 ※図示）

22 浴室天井材

市販品

材質		性能	幅(mm)	備考
・アルミニウム製	※焼付け塗装品 ・アルマイト処理品	不燃品	※200 ・100	回り縁はとい付きとし、製造所の標準品とする。
※硬質塩ビ製	※塗装品 ・木目調		※300 ・100	

㉓ フリーアクセスフロア (20.2.2)

(20.2.2)

施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備考
図示	・パネル構法 ・溝構法 ⊙図示	⊙500×500	図示	・1.0G ・0.6G ・図示	・3,000N ・5,000N ・6,000N ・図示	⊙帯電防止床タイル ⊙タイルカーペット ・FA用床タイル ・図示	

耐震性能6,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
帯電防止性能(U値) ・0.6以上 ・1.2以上
感電防止性能 （漏えい抵抗 R≧1×10 Ω^{6}）
寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(オ)(a)～(c)による
厚さ ±0.5mm
平坦度 パネル周辺部 1.0mm以下
図心と各頂点を結ぶ線上部 2.0mm以下
表面仕上材の品質、性能は、標準仕様書19章による。
構成材の材質 ・アルミニウム製 ・鋼製（仕上げ： ）・ケイ酸カルシウム板 ・GRC ・図示
スロープ及びボーダー ※製造所の仕様による ・図示
配線用取り出しパネル
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※20～30パーセント ・50%
配線取り出し開口 ※パネル1枚につき、40mm×80mm 程度の開口1箇所以上 ・図示
空調用吹き出し（吸い込み）パネル ※なし ・あり（ ※固定式 ・可変式）（形式、施工箇所：図示）
コンセント等の取付け対応 ※製造所の仕様による（コンセント本体は別途設備工事）
コンセントの箇所数 ※図示(電気図参照のこと)
ローリングロード性能 ※適用する ・適用しない
ウィスカ対策（施工箇所：床下空調の電算室等） ※適用する

㉔ 可動間仕切壁 (20.2.3)

⊙図示 (20.2.3)

構造形式	構成機材の種類 スタッド	パネル	総厚さ(mm)	表面仕上材 材質	厚さ(mm)	パネル表面仕上げ	遮音性能(dB/500Hz)	防火性能
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式			・70 ・80 ・	※鋼板 ・	※0.6 ・0.8	※メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付け ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具 ⊙あり（※図示 ・ ）・なし
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による
パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・F☆☆☆☆

25 移動間仕切 (20.2.4)

・図示 (20.2.4)

走行方向	操作方法	圧縮装置の操作方法	総厚さ(mm)	表面仕上材 材質	パネル表面仕上げ	遮音性(dB/500Hz)
・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式 ・	図示	※鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・メラミン不燃化粧板	・36未満 ・36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能 標準仕様書19章による
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする
性能
パネルをランナーに取り付ける部品 ※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるものとする。
ハンガーレール ※ランナーに取り付けた状態でパネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする。
ランナー ※パネル重量の5倍の荷重をパネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする。
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
・図示

26 トイレブース (20.2.5)

・図示 (20.2.5)

表面材 材質	厚さ	脚部 形状	ドアエッジ 形状	材質
※メラミン樹脂系化粧板	・t30	※幅木タイプ	・標準	・アルミニウム製
・ポリエステル樹脂系化粧板	・t40	・支柱タイプ	・R	・ステンレス製
・メラミン樹脂単板	・t13			・表面材と同材

パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・規制対象外

27 階段滑り止め (20.2.6)

・図示 (20.2.6)

材種	幅(mm)	取付け工法	端部フラットエンド	
※ステンレス製（SUS 304）ビニルタイヤ入り	・約35 ・図示	※接着工法 ・埋込み工法	※あり	※ビニル製 ・ステンレス製
・アルミ製ビニルタイヤ入り			・なし	－

㉘ 手すり

※図示

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・集成材	・CL ・UC	・35 ・45		
・ステンレスパイプ	・HL	・42.7φ t 2.0		
・鋼製パイプ	・EP-G ・SOP	・42.7φ t 2.3		
・ビニル製手すり（歩行補助手すり）	・塩ビ製	・34φ ・w50 ・57φ ・w60	・トイレ	・全てエンドキップ付
・ビニル製手すり（動作補助手すり）	・塩ビ製	・34.0φ ・27.2φ	・トイレ	・全て抗菌剤入り

29 黒板及びホワイトボード Ⓖ (20.2.8)

・図示 (20.2.8)

種類		寸法(mm)	色彩	形式	
・黒板	※ほうろう		・緑 ・黒	・平面 ・曲面	・スクリーン付き引分け ・スクリーン上下スライド
・ホワイトボード	※ほうろう		・白	・平面 ・曲面	・スクリーン付き引分け ・スクリーン上下スライド

罫線 ・有り ・無し

㉚ 鏡 (20.2.9)

取付箇所 （ ※図示 ） (20.2.9)
寸法(mm) ⊙図示 ・その他の材質 ・SUS 304 t2.0 #800 （防錆処理）
厚さ(mm) ⊙図示 ・5

㉛ 表示 (20.2.10)

※図示 (20.2.10)

区分	材質	寸法(mm)	厚さ(mm)	取付高さ(mm)	備考
・衝突防止表示（・両面 ・片面）	・ステンレス製 ・図示	・30φ	・市販品	・図示	
・室名札	・アクリル板	・図示	・図示 ・5	・図示	
・ピクトグラフ	・アクリル板	・図示	・図示 ・5	・図示	
・とびら番号	・アクリル板	・図示	・図示 ・5	・図示	
・全館案内板	・アクリル板	・図示	・図示 ・5	・図示	
・各階案内板	・アクリル板	・図示	・図示 ・5	・図示	

案内用図記号はJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とする。
色、書体、印刷等の種別、取付け形式等は図示による。
衝突防止表示 ※建具特記 14.4).bによる（ガラススクリーン部）

32 ブラインド (20.2.12)

・図示 (20.2.12)

形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	ボックス・レールの材種	寸法・取付箇所
※横型	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・遮熱コート・有り・無し	※25 ・35	※鋼製	・図示
	・電動	－				
・縦型	・手動	※2本操作コード ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット ・遮熱コート・有り・無し	・80 ・100	アルミニウム合金製	・図示
	・電動	－				

アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 Ⓖ

33 ロールスクリーン Ⓖ (20.2.13)

・図示 (20.2.13)

材種	操作方式	遮光性能	寸法(mm)	取付箇所	備考
・ポリエステル ・綿	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級	・図示	・図示	防炎性能 ・あり

※巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料は製造所の仕様による。

34 カーテン (20.2.14)

・図示 (20.2.14)

形式		開閉操作	ひだの種類（表20.2.1）	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ（2.5倍） ・箱ひだ、つまひだ(2倍) ※プレーンひだ、片ひだ(1.5倍)	・ドレープ ・プリント ・ケースメント ・レース ・遮光用	・図示	
						（暗幕）

暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上

㉟ カーテンレール (20.2.14)

⊙図示 (20.2.14)
材種 ※アルミニウム製 ・ステンレス製
形式 ・シングル ・ダブル
・片引き ・引分け（※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする）
強さによる区分 ※10-90
仕上げ ※ホワイト ・アンバー ・シルバー
形状 ・角形 ・C形 ※D形 ・I形 ・図示
取付箇所 ・図示 ・全てのカーテンボックス

㊱ ブラインドボックス及びカーテンボックス

※図示（建具特記他） ・下記による
溝幅×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材（仕上げ： ）
・アルミニウム製 押出し型材（市販品）
表面処理・C-1
・C-2（・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー）
皮膜等の種類 ・標準仕様書表14.2.1による
・鋼製（仕上げ： ）

㊲ 天井点検口

⊙図示

枠の材質	寸法	形式		外枠	内枠	色
※アルミニウム製	・450×450 ※600×600 ・図示	・一般形	・屋内外用 ・屋内用	・額縁タイプ ・目地タイプ	・額縁タイプ ・目地タイプ	・シルバー ・ホワイト
		・密閉形				

数量 ※図示 ・450×450： ** か所 600×600： ** か所

所定の開口補強を施し、点検口表面仕上は天井同材とする

38 床点検口

・図示

材種	寸法	形式			備考
・アルミニウム製 ※ステンレス製 ・鋳鉄製 ・鋼製	・450×450 ・600×600 ・図示	・一般形 ・密閉形 ・結露防止形	・屋内外用 ・屋内用	・張物用 ・充填用 ・張物･充填兼用	・鍵付き

㊴ 壁点検口

⊙図示

材質	寸法	形式			外枠	内枠	備考
・アルミニウム製 ※樹脂製	・300×300 ・450×450 ※600×600 ・図示	・一般形 ・密閉形	・屋内用	・張物用 ・充填用 ・張物･充填兼用	・額縁タイプ ・目地タイプ	・額縁タイプ ・目地タイプ	・鍵付き

40 鋼製書架及び物品棚

・図示

種類	規格等	耐荷重による種類
・鋼製書架	JIS S 1039による	・1種 ・2種 ・3種
・鋼製物品棚		・4種 ・5種 ・6種

6 内装改修工事

41 くつふきマット

※図示

材種	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ※ステンレス鋼（SUS 304）製（ノンスリップ細目タイプ）	※ステンレス鋼（SUS 304） ・硬質アルミニウム合金	

42 流し台ユニット（既製品）

品質・性能　JIS A 4420による
形状　※図示

43 屋内掲示板

※図示
枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り

44 洗面カウンター

※図示
材種　・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　・人工大理石
奥行き(mm)　・約450　・約600

45 収納家具

・図示　(12,2,2)(19,7,2)
材質
形状・寸法　・図示
合板、集成材、MDF、パーティクルボード等のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・規制対象外

7 塗装改修工事

① 材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　(18,1,3)
※F☆☆☆☆　・規制対象外
・防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：　）

② 下地調整 [7.2.1～7.2.7]

既存塗膜の除去範囲（塗替えRB種の場合）
※塗替え面積の30%　・図示

下地調整の種別等 [表7.2.1～7.2.7]

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
木部	※RB種 ・ ・RA種 ・RC種	
鉄鋼面	※RB種 ・ ・RA種 ・RC種	
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具を除く）	※RB種 ・ ・RA種 ・RC種	
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※RB種 ・ ・RA種 ・RC種	
モルタル面、プラスター面	※RB種 ・ ・RA種 ・RC種	・行う
コンクリート面、ALCパネル面（2-UE,2-ASE,2-FUEは除く）	※RB種 ・ ・RA種 ・RC種	・行う
コンクリート面、押出成形セメント板面（2-UE,2-ASE,2-FUEの場合）	※RB種 ・ ・RA種 ・RC種	・行う
せっこうボード面、その他ボード面	※RB種 ・ ・RA種 ・RC種	

③ 錆止め塗料塗り [7.3.3]

錆止め塗料塗りの種別等 [表7.3.3～7.3.4]

塗装面		塗料種別	工程種別	備考
鉄鋼面	屋外・屋内	※A種 ・B種	※A種（見え掛り） ※B種（見え隠れ）	
	屋内	※B種	※B種（見え隠れ）	
	屋内	・A種 ※B種	※C種（塗替え）	EP-Gの場合
亜鉛めっき鋼面	塗替え	※A種 ・B種	※C種 ・	EP-Gの場合
		※C種		
	新規（鋼製建具を除く）	※A種 ・B種	※A種 ・B種 ・C種	EP-Gの場合
	新規鋼製建具	※A種 ・B種	※A種 ・B種 ・C種	2-UE,2-ASE,2-FUEは除く

新規鉄骨等の鉄鋼面の錆止め塗料塗りは、(7,3,3(2))による。

④ 塗装 [7.4.1～7.15.1] [7.4.1～7.15.2]

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	工程 新規
⊙合成樹脂調合ペイント塗り（SOP） 塗料の種類　※1種 ・	木部	※B種 ・	※A種（屋外） ・B種（屋内）
	鉄鋼面	※B種 ・	・A種 ※B種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具を除く）	※B種 ・	※B種 ・
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※A種 ・	※B種 ・
・クリヤラッカー塗り（CL）	木部	・A種 ※B種	・A種 ※B種
・フタル酸樹脂エナメル塗り（FE）	屋内木部	※B種 ・	・A種 ・B種
	屋内鉄鋼面	※B種 ・	・A種 ・B種
	屋内亜鉛めっき鋼面	※B種 ・	・A種 ・B種
・アクリル樹脂系非水分散系塗料塗り（NAD）	屋内コンクリート面	※B種 ・A種	※B種 ・A種
	屋内モルタル面	※B種 ・A種	※B種 ・A種
・耐候性塗料塗り（DP） 中塗り・上塗り塗料 ※A：ふっ素樹脂 ・B：アクリルシリコン樹脂 ・C：ポリウレタン樹脂	屋外鉄鋼面	※A種	※A種
	屋外亜鉛めっき鋼面	※A種	※A種
	屋外コンクリート面	※A種-1種	
	屋外押出成形セメント板面	・A種-2種	
	下地調整　種別 RB種 → 1種 RC種 → 2種	・B種-1種 ・B種-2種 ・C種-1種 ・C種-2種	
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP-G）	屋内木部	※B種 ・	※A種 ・B種
	屋内鉄鋼面	※B種 ・	・A種 ※B種
	屋内亜鉛めっき鋼面	※B種 ・	・A種 ※B種
	コンクリート面	※B種 ・	・A種 ※B種
	モルタル面・プラスター面	※B種 ・	・A種 ※B種
	せっこうボード面 その他ボード面	※B種 ・	・A種 ※B種
⊙合成樹脂エマルションペイント塗り（EP）	コンクリート面	※B種 ・	・A種 ※B種
	モルタル面・プラスター面	※B種 ・	・A種 ※B種
	せっこうボード面 その他ボード面	※B種 ・	・A種 ※B種
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り（EP-T）	屋内のコンクリート面・モルタル面・プラスター面・せっこうボード面等　下地調整 RA種	※B種 ・	・A種 ※B種
	RB種	※A種	・A種 ※B種
	RC種	※B種 ・C-3種	・A種 ※B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）	木部	・A種 ※B種	・A種 ※B種
・ラッカーエナメル塗り（LE）	木部	・A種 ※B種	・A種 ※B種
・オイルステイン塗り（OS）	木部		
・木材保護塗料塗り（WP）		・A種 ※B種	・A種 ※B種
・マスチック塗材塗り A種及びB種の凸面処理 ・行う ・行わない	コンクリート面	・	・
	押出成形セメント板面	・	・
	モルタル面	・	・
	ALCパネル面	・	・

8 耐震改修工事 共通事項

1 適用範囲 [8.1.1] [8.21.1] [8.22.1] [8.23.1] [8.24.1] [8.25.1] [8.26.1] [8.27.1] [8.28.1]

工事内容　耐震改修工事に伴う以下の工事に適用する
・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事
・鉄骨ブレースの設置工事
・柱補強工事
・連続繊維補強工法
・耐震スリット新設工事
・免震改修工事
・制振改修工事
・土工事及び地業工事

工事種別　・施工調査（施工計画調査、施工仮置調査、調査のための破壊部分の補修）
・鉄筋工事
・あと施工アンカー工事
・コンクリート工事
・鉄骨工事
・グラウト工事
・連続繊維補強工事
・スリット新設工事
・免震改修工事
・制振改修工事
・土工事及び地業工事
・撤去工事（設備機器配管及び仕上げの取壊し・撤去（下地の一部又はすべてを含む）、構造体のはつり）
・その他工事

8-1 耐震改修工事 鉄筋工事

1 鉄筋の種類 [8.2.1] [8.2.3]

※図示
・下表による（JIS G3112） [表8.2.1]

種類の記号	呼び名(mm)
SD295A	D16以下
SD345	D19～D25
SD390	D29～D35

2 溶接金網 [8.2.2]

網目の形状、寸法等
※図示（JIS G 3551）
・下表による（JIS G 3551）

種類	網目の形状、寸法等(縦×横)(mm)	鉄線の径又は呼び名(mm)
※溶接金網	100×100	6.0
・鉄筋格子	250×250	D10

3 鉄筋の加工及び組立 [8.3.1～3]

※図示 [表8.3.1]

4 鉄筋の継手及び定着 [8.3.4]

継手方法等
※図示 [図8.3.1～8.3.4]
・下表による [表8.3.2～8.3.5]

部位	継手方法	呼び名(mm)
柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手	
その他の鉄筋（　）	※重ね継手 ・	

鉄筋の重ね継手の長さ、継手位置
※図示
鉄筋の定着長さ、定着方法
※図示

5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 [8.3.5～6]

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは目地底から算定する。
※図示
・耐久性上不利な部分の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。 [表8.3.6]

施工箇所	最小かぶり厚さに加える厚さ(mm)
・柱、梁、壁及び底等の外気に接する面	※10 ・
・	

鉄筋相互のあき
※図示

6 壁の配筋及び補強 [8.3.7]

各部配筋
※図示

7 ガス圧接 [8.3.8]

外観検査　※行う（全数）
抜取試験　試験方法　※超音波探傷試験 ・引張試験
抜取数　※全数 ・図示

8 機械式継手 [8.4.2]

使用箇所
※図示
H12建告第1463号に適合する性能
※図示 ・A級
機械式継手の種類及び工法
※図示
品質の確認方法、不良となった継手の修正方法等
※施工計画書により監督職員の承諾を得た方法 ・図示

9 溶接継手 [8.4.3]

使用箇所
※図示
H12建告第1463号に適合する性能
※図示 ・A級
継手の工法
※図示
品質の確認方法、不良となった継手の修正方法等
※施工計画書により監督職員の承諾を得た方法 ・図示

8-2 耐震改修工事 コンクリート工事

1 コンクリートの種類及び強度 [8.1.3～4] [8.6.1～5]

※図示（普通コンクリートの気乾単位容積質量は2.3t/m³程度とする）
・下表による
普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc(N/mm²)	気乾単位容積質量 (t/m³)	スランプ (cm)	適用箇所
・21	2.3程度	18	
・18	2.3程度	18	

[8.9.1～5] 軽量コンクリートの設計基準強度等 [表8.9.1]

設計基準強度 Fc(N/mm²)	種　別	気乾単位容積質量 (t/m³)	スランプ (cm)	適用箇所
・21	・1種 ・2種	1.9程度	18	

2 コンクリートの類別 [8.1.3] [8.5.1～4]

類別　※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート） [表8.1.1]
・Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）

3 セメント [8.2.5]

種類 [表8.2.3]
※普通ポルトランドセメント（JIS R 5210）使用部位（図示　）
・高炉セメント（・A種 ・B種）G　（JIS R 5211）使用部位（　）
・シリカセメントA種　（JIS R 5212）使用部位（　）
・フライアッシュセメント（・A種 ・B種）G　（JIS R 5213）使用部位（　）
・普通エコセメント　（JIS R 5214）使用部位（　）

4 骨材 [8.2.5]

砕石及び砕砂のアルカリシリカ反応性による区分　※A ・B
アルカリシリカ反応試験成績表を提出する事。

5 混和材料 [8.2.5]

混和材料　※混和剤（JIS A 6204）
・AE剤　※AE減水剤　・高性能AE減水剤
・混和材
・膨張剤（JIS A 6202、添加量：20kg/m³）

6 寒中コンクリート

適用期間　・（　）
・積算温度を基に定める場合（　）

7 暑中コンクリート [8.10.1～4]

構造体強度補正値　※6N/mm²

8 無筋コンクリート [8.11.1～3]

設計基準強度等
※図示
・下表による

種類	設計基準強度 (N/mm²)	スランプ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)	適用箇所
※普通コンクリート	※18	※15又は18	※25	
・軽量コンクリート	・	・	・20	

9 あと施工アンカー工事 [8.2.4] [8.12.1～8]

材料等
・金属系アンカー
セット方式　※本体打込み式
引張耐力　※図示
せん断耐力　※図示
接合筋の種類、径、長さ　※図示
性能確認試験　※実施する（試験方法及び試験数　図示）　・実施しない
・接着系アンカー [表8.2.2]
アンカーの種類　※カプセル方式
引張耐力　※図示
せん断耐力　※図示
接着剤の品質　※有機系　・無機系
アンカー筋の種類　※図示
性能確認試験　※実施する（試験方法及び試験数　図示）　・実施しない

[8.12.4] 穿孔
探査範囲
※あと施工アンカー施工部分すべて
・図示
探査方法
※鉄筋探査機（金属探知機）等により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う
・はつり出しによる
・

[8.12.7～8] 施工確認試験
試験の適用
※実施する（試験方法　※引張試験　・　）
確認強度　※図示　・
・実施しない

[8.7.6] 型枠工事
シアコネクタとセパレーターの兼用　※兼用してもよい　・兼用しない

10 コンクリートの仕上り [8.1.4]

部材の位置及び断面寸法の許容差
合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ [表8.1.3～4]

種別	適用箇所
・A種	化粧打放し仕上げの部分
※B種	上記以外の部分
・C種	

仕上がりの平たんさ [表8.1.5]
・a種 ・b種 ・c種 （適用箇所：　）

11 打増し厚さ

外部に面する部分
※図示 ・20mm
内部に面する部分
※図示 ・10mm

12 型枠 [8.2.7] [8.7.8]

せき板の材料及び厚さ
※改修標準仕様書8.2.7による ・図示
断熱材の兼用
・行う ※行わない
MCR工法シート
・用いる（打増し厚さ20mm） 打増し範囲（図示）
※用いない
スリーブの材質
※改修標準仕様書8.2.7(1)、表8.2.6による

13 コンクリートの試験等 [8.8.1～6]

フレッシュコンクリートの試験 [表8.8.1]
コンクリートの強度試験 [表8.8.2]
構造体コンクリート仕上りの確認

14 コンクリートの単位水量測定

単位水量測定
※行わない
・行う
(1) 単位水量測定は、150m³に1回以上及び荷卸し時に品質の以上が認められた時に実施する。
(2) 単位水量測定の上限は改修標準仕様書8.2.5(e)(Ⅱ)による。（指定値がある場合は指定値による）
(3) 単位水量測定の管理目標値は次の通りとして施工する。
(ア) 測定した単位水量が、配合計画書の設計値（以下設計値という）±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま打設する。
(イ) 測定した単位水量が、設計値±15kg/m³を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。
その後、設計値±15kg/m³以内に安定するまで、運搬車3台毎に1回、単位水量測定を行う。
(ウ) 測定した単位水量が、設計値±20kg/m³を超える場合は、その運搬車は打込まずに持ち帰らせ水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示する。
その後、設計値±20kg/m³以内になるまで、全運搬車の単位水量測定を行う。
さらに設計値±15kg/m³以内に安定するまで、運搬車3台毎に1回、単位水量測定を行う。
(エ) (ウ)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。
(4) 単位水量管理の記録を書面（配合計画書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等）と写真により提出する。
(5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法（電子レンジ法）、エアメータ法または静電容量測定法による。また試験機関は該当コンクリート製造者以外の機関とする。

8-3 耐震改修工事 鉄骨工事

1 鉄骨製作工場 [8.1.5] [8.13.1～11]

鉄骨製作工場の加工能力
※図示
・建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センターおよび(株)全国鉄骨評価機構（旧（社）全国建築工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める（　）グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
・監督職員の承諾する工場（改修標準仕様書7.1.1以外の適用範囲に限る）

2 施工管理技術者 [8.1.6]

※適用する ・適用しない

3 鋼材 [8.2.8] [8.2.14]

鋼材の材質等 [表8.2.7]
※図示 ・下表による

種類の記号	適用箇所	規格等
		※JIS規格による

4 高力ボルト [8.2.9] [8.14.1～9]

ボルトの区分 [表8.2.8]
※図示
・トルシア形高力ボルト　セットの種類（S10T）、大臣認定品
・JIS形高力ボルト　セットの種類　2種（F10T）
高力ボルト径、ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
※図示
すべり係数試験
※行わない ・行う（試験方法等：　）

5 普通ボルト

ボルト及びナットの材料、座金
※図示
ボルト径、ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
※図示

6 溶融亜鉛めっき高力ボルト [8.2.9] [8.20.5～7]

セットの種類
※図示 ・1種（F8T相当）、大臣認定品
溶融亜鉛めっきボルトのめっき前の孔径
※審査（評定または大臣認定）を受けた内容による ・図示
ボルト径、ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
※図示
摩擦面の処理
※ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上)
・ブラスト処理以外の特別な処理方法
すべり耐力等の確認方法　※すべり係数試験
（試験計画書を作成の上監督職員の承諾を得ること）
・図示

7 アンカーボルト

構造用アンカーボルト
セットの種類　※図示
・ABR400 ・ABR490 （JIS B 1220又はJIS Ⅱ 13-2004）
形状、寸法　※図示
建方用アンカーボルト
種類　※図示

8 溶接材料 [8.2.10]

溶接材料
※表8.2.9による ・図示

9 スタッド [8.2.11] [8.16.4～7]

材質、形状及び寸法　※図示（頭付きスタッド JIS B 1198）

10 柱底均しモルタル及びグラウト材 [8.2.12]

モルタルの種類
※無収縮モルタル [表8.2.10]
・図示
グラウト材の種類
※無収縮グラウト材

11 工作図 [8.13.2]

現寸検査　※行わない ・行う
※既存取り合い等のある場合は、現場実測の上作成を行うこと

建築工事・電気設備工事・給排水衛生設備工事（衛生）・空調設備工事・昇降機設備工事・別途工事　標準施工区分表

この表は，設計図等で示される一般的工事範囲を補足するもので，関連工事とのとりあい部分についてその施工区分担を示すものである。設計図中に表記があるものは、設計図を優先する。

共通

項目		内容	建築	電気	機械 衛生	機械 空調	昇降機	別途	備考
1	一般事項	(1) 地中障害物撤去工事						○	
		(2) 電波障害調査費		○					工事仮設による障害は、受注者の範囲とする
		(3) 電波障害対策工事						○	
		(4) 工事上の各種申請に係わる費用	○	○	○	○	○		
		(5) 埋蔵文化財調査費						○	
		(6) 土壌汚染調査及び対策費						○	
		(7) 近隣対策費						○	
		(8) 家屋調査費	○						
2	仮設	(1) 共通足場、作業構台、揚重運搬機械	○						
		(2) 各工事用足場作業構台	○	○	○	○			
		(3) 仮囲い、車両入りゲート	○						
		(4) 監督職員事務所	○						備品等含む
		(5) 受注者事務所、材料置場	○	○	○	○			
		(6) 材料場外処分	○	○	○	○			
		(7) 掘削残土の場外処分	○						
		(8) 工事用仮設電力・用水	○	○	○	○			一括発注の場合は建築工事
		(9) 電力・ガス・水道等の本設後引渡しまでの基本料金	○	○	○	○			
		(10) 電力・ガス・水道等の本設後引渡しまでの使用料金	○	○	○	○			試運転用も含む
		(11) 電力・ガス・水道等の本設引込みに伴う負担金						○	
3	各種水槽・ピット（建物と一体構造のもの）	(1) 受水槽・排水槽・汚水槽等でコンクリート造のもの	○						
		(2) コンクリート造の各種水槽釜場	○						
		(3) コンクリート造の受水槽の入孔蓋(防水型)及びタラップ、排水槽・汚水槽等の人孔蓋(防臭型)及びタラップ	○						
		(4) 最下階便所のピット、人孔蓋(防臭型)及びタラップ	○						
		(5) 二重床点検口	○						
		(6) 二重底盤内通気管・通水管	○						
		(7) 二重壁内の点検口	○						
		(8) 二重壁内の水抜管	○						
4	トレンチ・排水溝	(1) 各種トレンチ蓋及び人孔蓋・タラップ	○						
		(2) トレンチ内配管支持材		○	○	○			支持する配管の区分による
		(3) 屋内排水溝及び人孔蓋	○						
5	機器等の基礎（建物と一体構造のもの）	(1) 機器用基礎（コンクリート打ち）	○						
		(2) 屋上水槽の基礎（コンクリート打ち）	○						
		(3) 二重床下部分の機器用基礎（コンクリート打ち）	○						
		(4) 機器、水槽等のアンカー及び基礎仕上げ	○	○	○	○			基礎仕上げは建築工事
		(5) 医療機器用架台及びアンカーボルト取付	○						
		(6) 発電機用防油堤	○						
		(7) 屋上設備取出口	○						
		(8) 機器搬出入用フック	○						
		(9) 避雷針（自立型支持管）取付用基礎	○						
6	スリーブ及び補強	(1) 各種配管用スリーブ		○	○	○			
		(2) ダクト、ガラリ用スリーブ	○			○			
		(3) 衛生器具（大便器）取付け用箱入れ			○				
		(4) 埋込型屋内消火栓取付け穴等の箱入れ			○				
		(5) 分電盤取付け穴等の箱入れ		○					
		(6) 各種スリーブの補強	○						
		(7) 外壁貫通スリーブまわりの防水	○						貫通するものの区分による
		(8) 床貫通スリーブまわりの防水	○						防水層を貫通する場合
		(9) 貫通穴及びダクト空隙充填		○	○	○			
		(10) 床・壁貫通スリーブ・箱入れ部分の補強	○						
		(11) 穴埋後の仕上げ補修	○						
		(12) 設備機器のための床・梁補強	○						
		(13) 設備機器取付用ALC版・ブロック等の穴あけ及び補強・補修	○						
7	天井切込及び換気扇取付け枠	(1) 埋込照明器具、スピーカー、空調換気用吹出口等埋込器具類取付けのための天井切込み及び下地補強	○						
		(2) 換気扇取付け用枠及び穴あけ	○						

共通

項目		内容	建築	電気	機械 衛生	機械 空調	昇降機	別途	備考
8	点検口、点検扉	(1) 天井点検口	○						
		(2) 各種シャフト点検口	○						
		(3) 床点検口	○						
9	はつり及び補修	(1) 配管のための貫通及び埋込み箇所のはつり及び補修		○	○	○			
10	排水	(1) 各種床排水金具	○		○				
		(2) 造付け流し（人造石とぎ出し）の排水金具	○						
		(3) 外構工事におけるU字溝及びこれに接続する溝蓋	○						
		(4) 製作流し（含む排水金具）	○		○				給水設備及び排水接続は衛生工事
		(5) 既製品流し（含む排水金具）	○		○				給水設備及び排水接続は衛生工事
		(6) 化粧床面台	○		○				給水設備及び排水接続は衛生工事
		(7) 化粧洗面台に取付く洗面器具・排水金物	○		○				給水設備及び排水接続は衛生工事
		(8) 化粧洗面台に取付く電気温水器			○				電源接続は電気工事
		(9) 化粧マンホール蓋	○	○	○				
		(10) 上記以外のマンホール蓋	○						
		(11) プラスタートラップ			○				躯体対応は建築工事
		(12) グリーストラップ			○				躯体対応は建築工事
11	雨水排水	(1) ルーフドレイン・オーバーフロー管・中継ドレイン	○						
		(2) 第一桝までの屋内竪樋・排水管	○						
		(3) 建物外部までの屋内部分排水管	○						雨水1次貯留槽または屋外第一桝接続まで建築工事。以降衛生工事
		(4) 屋内部分排水管のうちパイプシャフト内配管の竪樋	○						
		(5) 駐車場・スロープ等の排水溝・桝	○						
		(6) 竪樋・雨水管の防露巻き（室内）	○						
		(7) 外構　雨水用浸透桝・浸透管			○				
		(8) 外構　上記以外の桝・配管			○				
		(9) 外構　U字溝及びこれに接続する溝蓋	○						
		(10) 外構　同上配管			○				
		(11) 外構　公設桝・下水本管への接続管			○				
12	ガラリ	(1) 外壁、サッシュに取り付けるガラリ	○						
		(2) ドアーガラリ	○						
		(3) 暗室等の遮光ガラリ	○						
		(4) 同上接続用金物・防鳥ネット	○						
		(5) 同上接続ダクト・ダンパー類				○			
		(6) レターンガラリ	○			○			図示
		(7) 自然排煙用窓及び開放装置	○						
13	動力	(1) 一般用動力操作盤及び電動機端子接続までの配管・配線		○					
		(2) ボイラー操作盤及び二次側配管・配線				○			
		(3) 冷凍機用動力操作盤及び二次側配管・配線				○			
		(4) パッケージ型空調器用電源で手元開閉器以降の配管・配線		○					
		(5) 電動機シャッター・自動ドアとその電源の二次側配管・配線及び操作盤・押ボタン取付け	○						
		(6) ファンコイル遠隔操作用電源等の配管配線		○		○			
		(7) 電動暗幕・電動ブラインド・電動スクリーン・電動扇板等とその電動装置及び二次側配管・配線	○						電源供給は電気工事
		(8) フロアーヒーティング用電源及び制御盤							
14	制御	(1) 空調用制御機器及び操作用機器取付け及びその配管・配線				○			
		(2) 衛生用液面制御機器取付け及びその配管・配線		○					
		(3) 総合監視盤（衛生・空調）				○			
		(4) 天井扇等の接続及び手元スイッチ		○					
		(5) 液面電極棒・液面リレー及び電極保持器とその配線		○	○				
		(6) インターロック連動用配管・配線				○			

共通

項目		内容	建築	電気	機械 衛生	機械 空調	昇降機	別途	備考
15	防災	(1) 煙感知器連動の防火戸・防火シャッターその他の防災設備の電源・二次側配管・配線及び検出器・制御盤		○					
		(2) 排煙口・ダンパー等とその電源の二次側配管・配線及び検出器・制御盤		○		○			
		(3) 防火戸の自動閉鎖装置及び二次側配管・配線		○					
		(4) 防火シャッターの自動開閉装置及び二次側配管・配線		○					
		(5) 消火栓ボックス（ホース・ノズルとも）			○				組込み火報総合盤は電気工事
		(6) ガス漏れ検知器・受信機		○					電気配管・配線・接続含む
		(7) ガス緊急遮断弁		○	○				電気配管・配線・接続含む
16	コンセント・接続穴あけ	(1) フリーアクセスの穴あけ	○						壁出しは機械・電気工事
		(2) 実験台・演台（備品）等の穴あけ	○						壁出しは機械・電気工事
17	各種シャフト	(1) 各種シャフトのうちコンクリート造のもの及びこれに必要なコンクリート床	○						
		(2) 各種シャフトの壁及びこれに必要な床	○						
		(3) 発電機エンジン用排気管		○					
		(4) コンクリート及び鋼製梯子	○						建築は設備工事
18	昇降機	(1) 昇降機本体及び昇降機扉用三方枠、敷居				○			
		(2) 昇降機据付後の出入口壁等の補修				○			
		(3) 昇降機乗場の呼ボタン・インジケータ				○			
		(4) 昇降路の築造、防火区画工事(コンクリート強度は21N/mm²以上とする)	○						
		(5) 昇降路の建築構造築の耐火被覆工事	○						
		(6) 各階乗場開口工事及び補強工事	○						
		(7) 三方枠取付後の裏詰め工事並びに耐火処理工事	○						
		(8) 三方枠取付用アングル設置工事	○						
		(9) 乗場ﾄﾞｱ取付用アングル設置工事	○						
		(10) 乗場表示装置等の取付用下地調材の設置工事	○						
		(11) 機器搬入用仮設開口及び搬入後の復旧工事	○						
		(12) 乗場敷居受け用床持出し工事	○						
		(13) 乗場敷居受け用アングルまたはH鋼設置工事	○						
		(14) レール取付用プレート又はレール支持柱設置工事及び錆止塗装	○						
		(15) レール取付用ビーム設置工事	○						
		(16) 乗場関係機器取付後の壁、床仕上げ工事	○						
		(17) ピット防水仕上げ工事	○						
		(18) かご敷居～壁を125mm以内にする調板設置下地工事	○						
		(19) 停止階間が10mを超える場合、昇降路救出口の設置工事(W750×H1200)	○						
		(20) ピットが法定又は必要寸法より深い場合の埋め戻し工事	○						
		(21) ピット点検用タラップの設置工事					○		
		(22) ピットに段差がある場合、転落防止柵又は壁の設置工事	○						
		(23) ピット下利用がある場合、二重スラブ又はつり合いおもり側の直下部厚壁工事	○						
		(24) 屋上、開放廊下等外気と接する乗場雨水よけ対策工事	○						
		(25) 11階以上出入口が無い場合、地震時非常着床階設置工事	○						
		(26) 消火器の設置	○						
		(27) その他建築に関する工事	○						
		(28) 動力、照明電源及び接地線引込工事		○					
		(29) ピットコンセント設置工事(検用：必要により防水形)		○					
		(30) 煙感知器設置工事		○					
		(31) インターホン用及び監視用配管配線工事(昇降路制御盤から外部取付位置まで)		○					
		(32) 館内放送(スピーカー)付の場合の信号線引込工事		○					
		(33) エレベーター遠隔監視用電話回線工事		○					
		(34) その他信号線の昇降路外配管配線工事		○					
		(35) 地震時非常着床階の避難通路照明及び非常灯設置工事		○					
		(36) 乗場戸に近接して設ける防火シャッター等の防火区画工事	○						建設省告示第1111号の廃止による
		(34) エレベーターと防火シャッター等の連動用接点信号の配管・配線の引込工事		○					
		(35) 昇降路の壁または囲いは開隙無きものとする	○						
		(36) 昇降機吊元フック及び取付工事	○						
		(37) メンテナンス用電話				○			空配管は電気工事

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地徹実

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

2022.03

工事区分表（1）

RA－008

共通

項目		内容	建築	電気	機械 衛生	機械 空調	昇降機	別途	備考
19	小荷物専用昇降機	(1) 小荷物用リフト本体設備					○		
		(2) マシンビーム穴明工事					○		
		(3) 出し入れ口の呼びボタン					○		
		(4) 点検扉(鍵付)	○						
		(5) ピット防水仕上げ工事	○						
		(6) 昇降路内機器取付用ファスナー、ビーム、柱等の設置工事	○						
		(7) 三方枠又は四方枠、踏板					○		
		(8) 各階出し入れ口の穴明工事	○						
		(9) 出し入れ口関係機器取付後の出し入れ口周りの壁及び床仕上工事	○						
		(10) 各階出し入れ口枠周辺のモルタル又はロックウール詰め工事	○						
		(11) 出し入れ口関係機器取付用鋼材の設置工事	○						
		(12) 機械室制御盤までの動力電源・接地線の引込工事		○					
20	仕上	(1) 壁ボード類、下地の切込及び補強	○						
		(2) 鋼板パネルの切込及び補強	○						
		(3) ガラス・鉄板・石貼等の設備器具 取付用穴あけ	○						
		(4) 機械室の吸音材内張り	○						
		(5) 機械室・厨房等の軽量コンクリート	○						
		(6) 床暖房	○						電気式：一次側電源供給は電気工事 温水式：一次側温水配管は空調工事
		(7) フリーアクセスフロア	○						
21	電話設備	(1) PBX改修、電話機						○	
		(2) 既存MDFから事務室端子盤間の配管		○					
		(3) 同上配線		○					
		(4) 端子盤		○					
		(5) 2次側配管、ボックス、プレート		○					
		(6) 同上配線、モジュラージャック		○					
22	情報設備	(1) LANケーブル		○					既製開仕切含
		(2) 光ケーブル、HUB、変換装置						○	
		(3) 情報機器用配管工事		○					
		(4) 光成端装置及び収納ボックス						○	
		(5) 情報機器（ルータ、サーバー、SW-HUB、無線LANアクセスポイント等）						○	
		(6) 19インチラック						○	
		(7) 19インチラック2次側配管、ボックス、プレート（ブランクチップ）		○					
		(8) 同上配線、モジュラージャック		○					
		(9) 管理用PC						○	
23	水廻り	(1) 手洗器（陶器）			○				
		(2) 洗面カウンター	○						排水ﾄﾗｯﾌﾟ共。水栓及び配管接続は衛生工事
		(3) 洗面化粧台	○						排水ﾄﾗｯﾌﾟ・水栓共。配管接続は衛生工事
		(4) 流し台	○						排水ﾄﾗｯﾌﾟ共。水栓及び配管接続は衛生工事
		(5) 身障者用手摺	○						下地補強含む
		(6) ベビーシート・ベビーチェア	○						
		(7) 多目的シート	○						
		(8) 便座シートBOX・ダストBOX・サニタリーBOX					○		
		(9) ペーパータオルホルダー					○		
		(10) ジェットタオル			○				
		(11) 水石鹸容器			○				
		(12) 鏡・姿見鏡	○						
		(13) 大便器用背もたれ（標準品）			○				
		(14) 大便器用背もたれ（特注品）・アームレスト	○						
		(15) 擬音装置			○				
		(16) 紙巻器			○				
		(17) 荷物用フック	○						
		(18) 便器消毒器					○		
		(19) ユニットシャワー・バス本体及び取付（照明器具付）	○						ダクト・配管等の接続は指定位置まで取出しとし以降接続は各設備工事
		(20) 洗濯機・乾燥機（一般）					○		
		(21) 洗濯機用防水パン			○				
		(22) 上記の給排水接続			○				
		(23) システム・ミニキッチン	○						吊戸棚・木切欄・換気扇本体・排水ﾄﾗｯﾌﾟ・水栓共 配管接続は衛生工事、ダクト接続は空調工事
		(24) 散水栓ボックス			○				

共通

項目		内容	建築	電気	機械 衛生	機械 空調	昇降機	別途	備考
24	外構関係	(1) 敷地境界外の外構整備						○	
		(2) 敷地境界外のサインやり替え						○	図示あるものは建築工事
		(3) 園庭遊具	○						
		(4) 外灯		○					
		(5) 屋外オイルタンク躯体	○						
		(6) 屋外オイルタンク本体		○					
25	解体関係	(1) 使用していない配管配線・ダクトの解体		○	○	○			解体しないボックスカルパート内の配管配線・ダクトの撤去は各設備工事
		(2) 使用中の配管配線・ダクトの盛替		○	○	○			
		(3) 解体又は改修する建物等の機器のうち、再使用するものの取外し	○	○	○	○			
26	その他	(1) カーテン・暗幕						○	レールは建築工事
		(2) ブラインド・ロールスクリーン						○	ブラインド内蔵サッシのブラインドは建築工事
		(3) 電動ブラインド・電動ロールスクリーン	○						一次側電源供給は電気工事
		(4) 視聴覚設備スクリーン						○	
		(5) 電動視聴覚設備スクリーン	○						一次側電源供給は電気工事
		(6) (1)、(3)～(5)ボックス	○						
		(7) 電動バトン	○						一次側電源供給は電気工事
		(8) テレビハンガー・プロジェクター昇降装置						○	下地補強は建築工事、架台は別途工事
		(9) 視聴覚設備		○				○	
		(10) 移動間仕切壁(スライディングウォール)	○						
		(11) 掲示板	○						
		(12) ピクチャーレール	○						下地補強を含む、壁付け以外は別途工事
		(13) 移動書架						○	埋込式レールは建築工事、一次側電源供給は電気工事
		(14) 造作家具	○						
		(15) 電気時計		○					
		(16) 什器・備品						○	
		(17) 既存家具・什器・備品の移設・接続・処分						○	
		(18) サイン（室名表示・階段表示・案内板等）	○						
		(19) サイン（内照式）	○	○					一次側電源供給は電気工事
		(20) 避難器具	○						
		(21) 消火器						○	
		(22) 消火器ボックス	○						壁型の場合は別途工事
		(23) AEDボックス	○						本体は別途工事
		(24) 厨房機器及び接続						○	一次側電源供給、給水、給湯、蒸気、排水は各設備工事
		(25) 各パスボックス本体	○						取付枠は建築工事
		(26) 給茶器・ウォータークーラー						○	一次側電源供給、給水、排水は各設備工事
		(27) 各種自動販売機						○	一次側電源供給、給水、排水は各設備工事
		(28) 避雷針・避雷導体用鉄筋溶接工事		○					
		(29) 避雷導体用笠木	○						導体接続は電気工事
		(30) 太陽光発電設備		○					基礎は建築工事
		(31) 融雪ヒータ設備		○					
		(32) 屋上庇雨敷水システム	○						一次側電源供給は電気、一次側給水は衛生工事
		(33) 配管・配線ピット及び蓋	○						
		(34) 駐車場管制設備		○					
		(35) ITV						○	一次側電源供給は電気工事
		(36) カードシステム							
		A.電気錠、入退出管理							電気錠本体、扉内配線は建築工事
		B.出退勤システム						○	配管敷設は電気工事
		(37) ATM						○	一次側電源供給は電気工事
		(38) 売店運営のための什器一式						○	一次側電源供給、給水、排水は各設備工事
		(39)							
		(40)							
		(41)							
		(42)							
		(43)							
		(44)							
		(45)							
		(46)							
		(47)							
		(48)							
		(49)							
		(50)							
		(51)							
		(52)							
		(53)							
		(54)							
		(55)							
		(56)							
		(57)							
		(58)							
		(59)							
		(60)							
		(61)							
		(62)							
		(63)							
		(64)							

※※

項目		内容	建築	電気	機械 衛生	機械 空調	昇降機	別途	備考
1	中型搬送機	(1) 中型搬送設備	○						
		A. 昇降路築造工事	○						
		B. 床、壁開口部枠入、穴明、補強及び点検扉、天井点検扉	○						
		C. 吊りｺｯｸ取付及び開口部埋戻し後仕上	○						
		D. キャットウォーク及びシャフト立柱鉄骨	○						
2	気送管搬送設備	(1) 気送管搬送設備	○						
		A. 床、梁貫通スリーブ入れ及び梁貫通スリーブ入れ	○						
		B. 床、梁貫通部補修及び天井点検口	○						
		C. 機械室機器仕切、基礎防音工事	○						
		D. ステーション部遮蔽用間仕切壁	○						
3	医療機器等関連	(1) 医療機器用アンカーボルト及び架台の取付	○						
		(2) 液酸タンク用基礎及び囲い	○						
		(3) 点滴レール、天井吊点滴フック	○						
		(4) 遺体冷蔵庫						○	1次側は電気工事
		(5) 蒸留水製造装置、RO製造装置						○	1次側は本工事
		(6) 滅菌水製造装置			○				
		(7) 手術用消毒手洗装置	○						
		(8) 医療用プレファブ冷蔵室	○						
		(9) 医療コンソールパネル	○						
		(10) 天吊インケアポート、シーリングペンダント（手術室・ICU・CCU）						○	電源供給は電気工事 天井裏補強金物は建築工事
		(11) 歯科用コンプレッサー及び吸引ブロアー及び配管						○	1次側は本工事
		(12) 無影灯						○	支持用アンカーは建築工事
		(13) シャーカステン						○	補強は建築工事
		(14) 便器消毒器						○	1次側は本工事
		(15) 自動現像装置及びミキシングバルブ、流量計、フィルター						○	電源供給は電気工事
		(16) 水治療用特殊浴槽						○	電源供給は電気工事 給排水は衛生工事
		(17) 病棟機械式浴槽及びひる過装置						○	電源供給は電気工事 給排水は衛生工事
		(18) 各種機能訓練器具						○	
		(19) 各種機能訓練器具補強・取付	○						
		(20) 内視鏡洗浄器具・排気装置						○	1次側は本工事
		(21) 超音波洗浄装置						○	1次側は本工事
		(22) X線検査撮影装置等						○	支持用アンカーは建築工事、架台は別途工事
		(23) 放射線治療装置						○	支持用アンカーは建築工事、架台は別途工事
		(24) 放射線治療室遮蔽鉄板	○						
		(25) 放射線治療室重量遮蔽扉本体、先物金物	○						
		A. 同上電源供給			○				
		B. 同上リミットスイッチ、二次側 配管・配線、扉製部盤	○						
		(26) RI関係諸室重量遮蔽扉本体	○						
		A. 同上電源供給接続			○				
		B. 同上リミットスイッチ、二次側配管・配線	○						
		(27) 病室床頭ユニット類							
		A. 床頭台						○	
		B. 壁面コンソールユニット	○						
		C. ナースコール子機付属機器取付け 処置灯某読番灯	○						
		E. テレビ本体						○	電源、アンテナは電気工事
		F. 冷蔵庫						○	電源は電気工事
		(28) 脳波検査室、シールド室	○	○		○		○	詳細図の工事区分表参照
		(29) MRIシールドユニット本体工事	○	○	○			○	詳細図の工事区分表参照
		(30) 手術室内装、機器一式	○						空調ユニットは空調
		A. 同上非常用照明、壁掛、スピーカー			○				手術中灯、使用中灯、一般照明は建築工事
		(31) 薬剤無菌室ユニット	○						
		A. 同上照明、殺菌灯、二次側配線コーキング						○	照明は電気工事
		B. 同上コンセント器具取付二次側配線						○	コンセントは電気工事
		C. 同上動力、非常灯、感知器通信器具配線			○				
		D. 同上空調設備				○			室外のダクトは空調工事
		(32) ペット洗浄機、マットレス消毒機						○	1次側は本工事
		(33) 中材関係洗浄器、滅菌器						○	1次側は本工事
		(34) 中材・抗がん・無菌関係パスボックス主体・取付枠	○						
		(35) 解剖台						○	1次側は本工事
		(36) 解剖用排水処理設備、検査排水処理設備 ホルマリンタンク			○				
		(37) 蓄尿システム						○	1次側は本工事
		(38) 医用モニター機器用配管工事			○				
		(39) RI監視及びモニター設備				○			
		(40) 液酸タンク本体				○			
		(41) 医療ガス設備				○			
		(42) 外来待合・投薬表示システム、警安室設備						○	電源供給・実装は電気工事
		(43) 自動再来受付機・自動会計機						○	電源供給は電気工事
		(44) 透析装置及び配管						○	電源供給は電気工事、RO水用配管は衛生工事
		(45) 院内PHS						○	
		(46) 無菌病室ユニット（クラス100）						○	一次側は本工事
		(47) 別途工事に含まれる医療器具の接続工事						○	

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第233442号 和田雅彦
一級建築士登録 第226323号 菊地徹実

公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

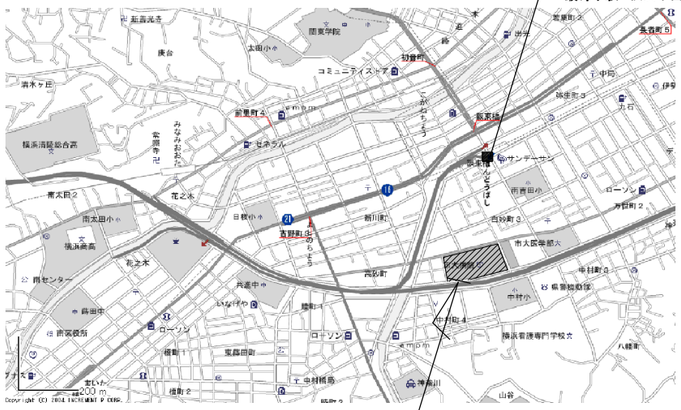
2022.03

工事区分表（2）

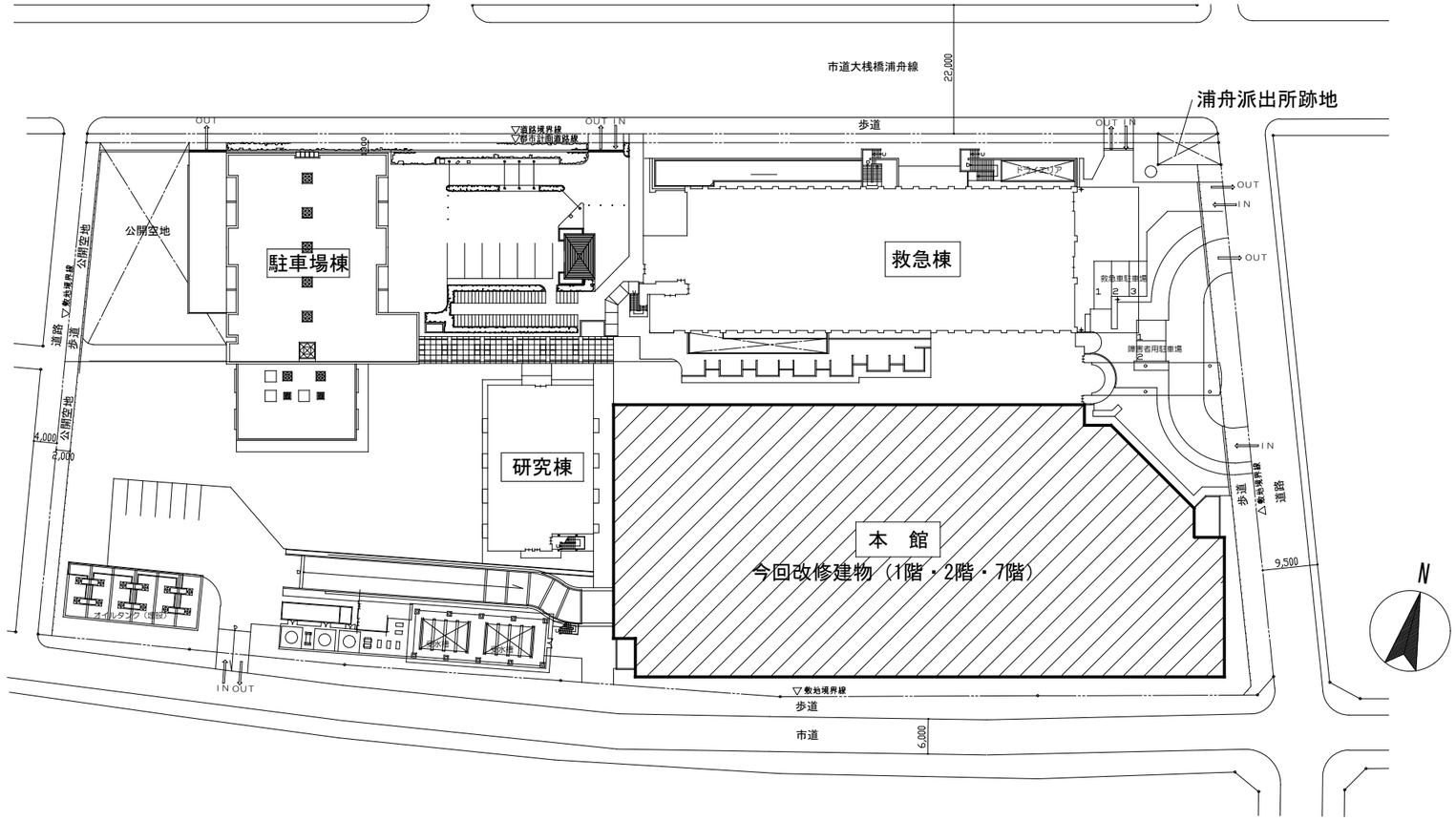
RA－009

工事概要・建物概要

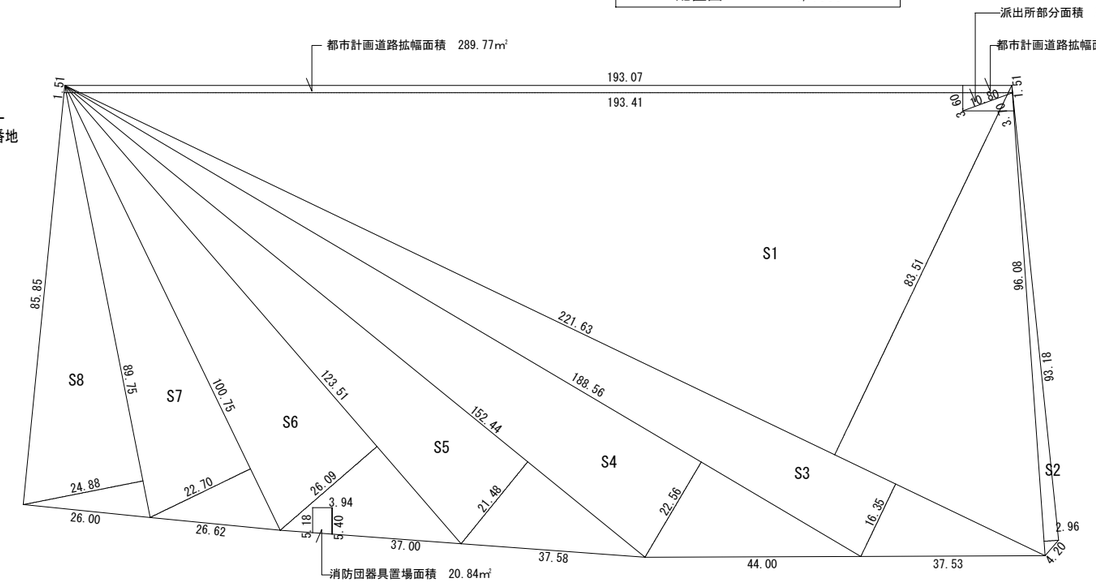
工事名称	：	横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更計画
工事場所	：	神奈川県横浜市南区浦舟町4丁目57番地
建物用途	：	病院
用途地域	：	商業地域
防火地域指定	：	防火地域
日影規制	：	規制なし
前面道路幅員	：	北側　：　22.0m（都市計画道路で幅員25.0mに拡幅予定有り）
		東側　：　9.5m　南側　：　9.7m　西側　：　4.0m
敷地面積	：	18,493.50　㎡
法定建ペイ率	：	100%
法定容積率	：	400%



案　内　図



配置図　1/1000



敷地求積図　1/1250

敷地求積表

符号	底　辺	高　さ	倍 面 積	面　積　(㎡)
S1	221.63	83.51	18,508.3213	
S2	96.08	2.96	284.3968	
S3	221.63	16.35	3,623.6505	
S4	188.56	22.56	4,253.9136	
S5	152.44	21.48	3,274.4112	
S6	123.51	26.09	3,222.3759	
S7	100.75	22.70	2,287.0250	
S8	89.75	24.88	2,232.9800	
			37,687.0743	
			× 1／2	18,843.5371

計画敷地面積　＝　現況敷地面積－消防団器具置場面積－派出所部分面積
＝　18,843.5371　－　20.84　－　(39.42+15.30)
＝　18,767.9771
（　18,767.97　）

計画道路を除した面積　＝　計画敷地面積－計画道路面積
＝　18,767.97　－　(289.97-15.30)
＝　18,493.50

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田 雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地 徹実

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RA－010
案内図・配置図	A1：図示 A3：図示	

仕上特記事項　特記事項で、丸数字は全て適用し、 ※ , ◉ , ⊙ , ・ 印の適用は特記仕様書に準ずる。

Ⅰ 新営

1. 一般事項

① 図示のない床、壁、巾木、天井、廻縁、建具、屋上及び雨どい、室別詳細、部分詳細、雑詳細、外構に関する部分詳細
　については、国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修「建築工事標準詳細図」（平成28年度版）を適用する。
② 「仕上表」の特記なき床下地のうち、躯体レベルと仕上レベルの差が10mm以下の場合はRC増し打ちの土全ごて仕上とする。
　10mmを越える場合は、モルタル全ごて仕上とする。
③ 「仕上表」の壁仕上欄の記入は表面材のみを示し、下地の仕様・種別については「間仕切壁リスト」と使用範囲については
　平面・平面詳細図記載の「間仕切符号」を参照のこと。

2. コンクリート工事

① 地盤及び土に接するコンクリート打継部には、水膨張性ゴム弾性シール材を設置すること。
② 「化粧打放コンクリート」「各種塗装」「各種左官仕上塗材」仕上で特記のない場合、外部増し打ち20mm、内部増し打ち10mm
　とする。打設面は入念にケレンを行うこと。
③ 上記⑫の仕上げの場合、壁・柱等立上りの出隅部に面取り（10mm×10mm）を見込むこと。
④ 「化粧打放コンクリート」仕上の場合、型枠は合板t15mmウレタン塗装品とし、小口は塗装タレの無い精度の高い材を使用のこと。
　型枠ジョイント部は止水用にパッキンを使用すること。また、型枠緊結金物はコーン付のものとし、均等に配置すること。
　コーン跡はモルタルを充填し、平滑に仕上げること。外部面は図示のない場合、撥水剤を２回吹付とする。
　コンクリートとコンクリートブロックやALCパネル、軽鉄下地との壁取合部には化粧目地を設けること。目地材は次による。
　【　目地材：　※ 塩ビ製　　・　　】
　【　目地幅：　※ 10 mm　　・　mm　】
⑤ 化粧打放面にジャンカ、気泡、型枠のはらみ、打継での大幅な色違い、コールドジョイントによる色変わり等の不具合等が発見
　された場合は、監督職員と協議の上、コンクリート保護材Sにて適切に補修すること。）
⑥ 庇、バルコニー、防水立上がりあご（コンクリート持出部）の底部に、水切り目地（15mm×15mm）を設けること。

3. コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

⊙ 押出成形セメント板の表面に塗装もしくは吹付けロックウール等を施す場合は、事前にセメント建材用のシーラーを塗布すること。
・ 押出成形セメント板の下段は内水切と水抜パイプ@3,000【※SUS製　・樹脂製】を設けること。

4. 防水工事

① 防水下地となるコンクリート面の含水率は８％以下とし、防水工事の施工前に、含水率を測定し、監督職員に報告すること。
② 防水下地のコンクリートは、金ごて押えにて入念に処理すること。
③ アスファルト防水の押えコンクリートは、t=80以上とし、6φ-100×100のメッシュ筋入りとする。
　伸縮目地はエラスタイトt=25を【※@3,000mm　・@2,000mm】内外で【※グリッド配置　・千鳥配置】とする。
　パラペット周りには成形緩衝材t=20を設けること。
・ 地下の外壁それに準ずる外壁は、防水(仕様は下記による)を行うこと。竣工後の漏水は施工者の責任において止水処理を行うこと。
　【 ※ 湿式防水シート　・アスファルトｔ+ベントナイト防水　・ゴムアスファルト吹付　・アスファルトシート防水　・図示　】
　※上記で図示される以外のセパは防水シート用を使用のこと。
・ 地下の外壁コンクリートの打継ぎ部分については、水膨張性ゴム弾性シール材の止水板を敷設すること。
・ アスファルト防水を施す場合の水勾配はスラブで設けることを原則とする。
　また、勾配は図示なき限り保護コンクリート押え1/100以上、露出防水1/50以上を確保すること。

5. 断熱関連工事　　※ 断熱材の種類、厚さは「特記仕様書 18.12」または「改修特記仕様書 6.20」による

① 外気に接する箇所（外壁梁型から内部600mmまで又は図示）には断熱材を施すこと。
　RC下地の場合でグラスウールボード施工範囲についても、これとは別に断熱材を施すこと。
② 屋上に面するスラブ（内部側）及びピロティ上部床面には断熱材を施すこと。
　※屋上に面するスラブで、防水が外断熱仕様の場合は防水仕様による。
③ ピット内上部スラブには、断熱材を施すこと。
④ とい、ﾀﾞﾎﾞ、配管等貫通部、建具取合部、LGSﾗﾝﾅｰ取合部等に断熱材の欠損がある場合は、ﾉﾝﾌﾛﾝ湿式断熱材で補修すること。
⑤ 外壁を貫通する鋼材（下地鉄骨等）の室内側には、ノンフロン湿式断熱材ｔ25を結露防止に吹き付けるものとする。
⑥ 断熱材を施工する範囲において、必要な断熱性能が連続するように施工し、断熱材の欠損が生じないようにすること。
⑦ サッシ廻りはモルタル充填（断熱サッシの場合は断熱材を充填）を完全に行った上、断熱材を枠または額縁まで施し、断熱材の
　欠損がないようにすること。
⑧ 下記の室に断熱材を露出して使用する場合は溶式不燃断熱材とする。
　【 ※ 内装制限が及ぶ室内　・PS,DS,EPS　・電気室　・機械室　・　・　】
・ 外壁、それに準ずる断熱材の施工範囲以外で、温湿度差により結露の発生が予想される部位は、結露計算にて施工範囲を示し
　監督職員の承認を受けること。

6. 左官・塗床工事

① 床防水が施されている排水溝、排水桝は、モルタルｔ30金ごて仕上とする。
② 下階があり、床防水が施されていない排水溝、排水桝は、モルタルｔ30金ごての上、塗膜防水塗りメッシュ入り工法とする。
③ 熱湯の使用が見込まれる厨房等の排水溝、排水桝の表面仕上は、高温仕様のFLP-5を使用のこと。
④ 排水溝の水勾配は1/200以上を確保すること。

7. 金属・とい工事

① 外部軒天井下地は、高耐食溶融めっき鋼板製、耐風圧仕様とする。
② 雨水用屋上ドレインは、鋳鉄製とし、同質のストレーナー及びステンレス製ゴミ受けカゴ付とする。
③ 外壁を貫通するといは、スリーブつば付鋼管を躯体面に打ち込み、周囲をモルタル埋めの上、端部にシーリング材（10×10）を
　充填すること。
④ 内部のといの曲がり継手部には配管掃除口を設け、隠蔽される場合は、下記仕様の天井又は壁面点検口（450角）を設けること。
　【※ 標準フレーム　・　目地タイプ】
⑤ 軽量鉄骨壁下地でスタッドの高さが5mを超える場合、仕上（重量）ごとの強度計算により適切に選定すること。
　【スタッド：WS-100、スタッドピッチ：303、
　　またはスタッド：神鋼汎用製作所 SG-PowerBar45100　厚さ ⊙t=1.0　○t=1.2、スタッドピッチ：　⊙227　○303　⊙455】
　また、開口部補強材はロ-100×100×2.3またはZC-100×50×20×2.3とし、開口幅が2mを超える場合には、
　吊束：C-100×50×20×2.3@900、振れ止め材：L-65×65×6またはC-100×50×20×2.3@1,800を設置すること。
・ 外部の鉄材は、溶融亜鉛メッキ処理を施したものとすること。
・ ピット・免震層の鉄材は、溶融亜鉛メッキ処理を施したものとする。
・ 内部のといの仕様は次による。
　【　・配管用鋼管（白管）防露巻き/継手はネジ込み式　・耐火二層管　】
・ 外部の竪樋上部は点検できるようパラペット天端まで立上げとし、SUS製メッシュ蓋とする。
・ アルミパネルで製作する水切り、笠等のジョイントは内箱加工もしくはダブルシールとし、漏水の無いようにすること。
⊙ 天井軽量鉄骨下地で天井裏ふところ高さが3.0mを超える場合、水平補強材[-19×10×1.2（2段）を施すこと。

8. 内装工事

① 間仕切壁（LGS下地）、床へスラブ下までの耐火，遮音，シールド壁は四周及び、廻目処理部にシーリング材（耐火用，遮音用）
　を施工すること。
② 一般間仕切壁において別下地が同面となる境部及び、壁開口部上部には見切材（塩ビ製，ハット型）を入れ仕上材を巻き込むこと
　とする。
③ 全周又は一部が天井までのｶﾞﾗｽｳｰﾙ入り間仕切壁（PIG～P30，PK16，PK26）で構成された室は、天井裏に GWB　t=50、24kg/㎥を
　敷込むこと。
④ ビニル床シートは溶接工法とし、下記室の接着剤仕様は耐水工法（エポキシ樹脂接着剤）とする。
　【 ※ WC，湯沸室，脱衣室等水廻り　・手術部諸室　・病室　・　・　・　】
⑤ ~~階段室内部の塗装又は仕上材は、下地と合わせ不燃となる仕様とする。~~
⑥ 床は、引渡し前にワックス仕上げを行い、種類は建物管理者と協議の上決定するものとし、環境対応型を使用すること。
⑦ ライニングの無い壁に付く巾木仕様等の壁は、軽量壁下地100形を使用するものとする。
⑧ GB類はﾃｰﾊﾟｰ(又はﾍﾟｰﾊﾟﾙ)ｴｯｼﾞとし、継ぎ目，出隅，入隅については乾式目地処理工法により段差なきよう入念に仕上げること。
⑨ 壁及び天井仕上がGB類への塗装の場合、目地処理後、寒冷紗W=100貼りを見込むこと。
⑩ ~~内装タイルの目地材は、抗菌仕様・防汚染仕様とする。入隅および建具取合いはシーリングとする。~~
⑪ 使用する材料（仕上，下地材，家具、建具、接着剤，ｼｰﾘﾝｸﾞ材等）のホルムアルデヒド発散等級は、全てF☆☆☆☆又は規制対象外品
　とする。
⑫ 点検扉のないPSには壁点検口を1箇所取り付けること。位置は監督職員又は監理者との協議による。
⑬ 特記無き床仕上の異なる部位の処理は次による。また、段差が生じないようにすること。
　【 ※ 仕上材突付け　・見切材（SUS FB-3x15）　】
　ただし、医療福祉施設のうち車椅子、ストレッチャー等の往来が予測される箇所については、上記によらず仕上材突付けとする。
⑭ 一般間仕切壁において廊下等長い壁面には@6,000を目安に見切材（塩ビ製，ハット型）を入れ仕上材を巻き込むこととする。
・ 床点検口(600角以上)から地下ピット等へ下りる箇所にはSUSタラップ(滑り止め横棒付/@400)を設けること。
・ セメント系セルフレベリング材の圧縮強度（接着強度）は1.0N/mm2 以上を標準とする。ただし、重量物の運搬が行われる箇所等は
　監督職員との協議の上、必要強度の検証を行い用途に見合った強度のものを採用すること。
・ クリーンルーム仕様の室の、天井・壁ボードがKB又は化粧KBの場合ボード目地は6mmとし、廻縁，巾木，壁出隅・入隅部には
　アルミ製クリーンルーム用ボーダーを設け、目地、取り合い部はいずれも抗菌シーリングを施すものとする。
・ クリーンルーム仕様の室の天井点検口は気密仕様とすること。
・ クリーンルーム以外の室のKB又は化粧KB、セメントボード類で図示のない場合の目地処理は、壁：アルミ製ハット型目地材、
　天井：目透し（アルミ目地底材の上テープ貼）とする。出隅部は、アルミコーナー材を使用すること。
・ 合板にUC系塗装を施す場合は、下塗りとして薄塗り（色は監督職員の指示による）の上拭き取りを施すこと。
　ツヤの適用は次による。【⊙　3分ツヤ　・半ツヤ消し　・7分ツヤ】
⊙ 洗面器、手洗器のオーバーフロー穴、ポップアップの有無は次による。【 ※　設ける　⊙　設けない　】

Ⅱ 改修

1. 一般事項

① 撤去工事にあたり、図示なき事項で改修工事上障害となるものは、監督職員と協議の上、撤去すること。
② 搬出入経路（エレベータ等を含む）については適切に養生すること。必要に応じ施工者管理下のガードマンを配置し、第三者
　災害防止に努めること。撤去範囲外の床、壁、天井等に損傷を与えた場合は、現状復旧すること。
③ コンクリート壁の撤去範囲を最小限に抑えること。
⊙ 隣接するエリアの運営に支障をきたさぬよう、騒音、振動、粉塵、臭気、衛生面、安全面に十分に配慮すること。

2. 仮設工事

① 仮設間仕切壁、仮設扉には、次の仕様を見込むこと。[2,3,2]
　⊙ 防塵、防臭仕様：既存との取合い部分にはシーリング、仮設間仕切壁に用いるボード等の目地には目張りを施すこと。
　　仮設扉はセミエアタイトとすること。必要に応じ、仮設排気ダクトを設置すること。
　⊙ 防音仕様　　：特記による他、仮設扉はセミエアタイトとすること。

3. 防水改修工事

① 残置する笠木の補修の適用は、次による。
　【 ※ 既存のまま　・再塗装（　　）　・図示　】
② 残置する竪樋、軒樋の補修の適用は、次による。
　【 ※ 既存のまま　・再塗装（　　）　・図示　】
③ 既存軒樋、ドレイン、排水溝等を再利用する場合、清掃を見込むこと。
・ 既存防水層撤去工法を採用する場合の既存防水層撤去後の雨養生の方法は、次による。
　【　・仮防水材ｔでポリマーセメント系仮防水材）　・ブルーシート　・その他（　　）　】
　上記による他、施工上必要と思われる雨養生については監督職員と協議の上、当該措置を講じること。

4. 外壁改修工事

① 外壁打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地シーリングの撤去復旧を見込むこと。
・ コンクリート打放し仕上げ外壁の改修範囲は、次による。
　ひび割れ部改修：【 ※ 外壁見付面積1㎡当り（ 300 ）mm　・（　　）mm 】
　欠損部改修　　：【 ※ 外壁見付面積の（ 5 ）%　・（　　）㎡ 】
・ モルタル塗り仕上げ外壁の改修範囲は、次による。
　ひび割れ部改修：【 ※ 外壁見付面積1㎡当り（ 300 ）mm　・（　　）mm 】
　欠損部改修　　：【 ※ 外壁見付面積の（ 5 ）%　・（　　）㎡ 】
　浮き部改修　　：【 ※ 外壁見付面積の（ 5 ）%　・（　　）㎡ 】
・ タイル張り仕上げ外壁の改修範囲は、次による。
　ひび割れ部改修：【 ※ 外壁見付面積1㎡当り（ 300 ）mm　・（　　）mm 】
　欠損部改修　　：【 ※ 外壁見付面積の（ 5 ）%　・（　　）㎡ 】
　浮き部改修　　：【 ※ 外壁見付面積の（ 5 ）%　・（　　）㎡ 】
⊙ 外壁改修工事に先立って施工数量調査を行う場合、実際の施工範囲は当該調査結果をもとに監督職員と協議の上、決定すること。

5. 建具改修工事

① 既存建具を再利用する場合、清掃及び金物調整を見込むこと。
② 建具撤去に伴うコンクリート壁の撤去補修範囲は、次による。
　【 ※ 最小限　・監督職員との協議による　・図示　】
③ 建具撤去に伴う外壁仕上げの撤去補修範囲は、次による。
　【 ※ 最小限　・監督職員との協議による　・図示　】
④ 内部建具撤去に伴う軽量間仕切壁の撤去範囲は、次による。
　【 ※ 最小限　・監督職員との協議による　・図示　】
⑤ 特記なき限り、撤去する建具及びシャッターに取付く枠、扉、カーテンボックス、ブラインドボックス、額縁その他雑物共
　撤去とする。
⑥ 建具撤去後に開口塞ぎが必要な場合、既存同等の壁新設を行うこと。
⑦ 改修範囲内の既存再利用する建具の塗装の適用は、次による。
　【 ⊙ 再塗装（両面）　・タッチアップ程度　・既存のまま　・図示　】
⑧ 窓枠及び建具枠で仕上げとの取合い調整が必要な場合、枠同材の付け額縁にて処理すること。
⑨ 残置する建具に取付くカーテンボックス、ブラインドボックス、建具額縁等の適用は、次による。
　外部建具：【　⊙ 既存再利用　・撤去　・図示　】
　内部建具：【　・既存再利用　・撤去　⊙ 図示　】
⑩ 既存再利用するカーテンボックス、ブラインドボックス、建具額縁等の室内に面する部分の塗装の適用は、次による。
　【 ⊙ 再塗装　・タッチアップ程度　・既存のまま　・図示　】
⑪ 既存再利用する建具の四方枠寄滑がバリアフリー化への支障をきたす場合、監督職員に報告の上、当該部分を撤去すること。

6. 内装改修工事

① コンクリート壁の撤去は小型油圧クラッシャにて行うこと。必要であればダイヤモンドカッターにて縁切りを行うこと。
　その他の工法を採用する場合は監督職員と協議のこと。騒力、騒音及び振動の出ない工法を採用すること。
② 撤去する間仕切壁の範囲は、次による。
　防火区画壁：【　・上階スラブ下まで　・天井まで　⊙ 図示　】
　非防火区画壁：【　・上階スラブ下まで　・天井まで　⊙ 図示　】
③ 改修に伴い、防火区画壁の位置に変更が生じる場合は、天井内にて適切に区画を形成すること。
④ 既存不適格となる区画貫通処理部分が発見された場合は監督職員に報告し、処理方法を協議のこと。
⑤ 撤去する間仕切壁、天井、床に取付く設備機器（配管、配線等を含む）手摺その他雑物等は、特記なき限り撤去とする。
⑥ 既存下地（床、壁、天井共）を再利用する場合は、下地補修を適切に行うこと。
⑦ 残置する壁・天井・床の各仕上げの開口補修要領は、次による。
　a. 造作家具、照明設備、空調設備、給排水設備、衛生器具等及びそれらの配管等の撤去により生じた開口部は、監督職員と協議の上、
　適切に穴埋め補修を施すこと。
　b. 雑物のビス孔、上記aの配管・配線等で開口部の大きさが微小な箇所については、補修材等にて穴埋め補修を施すこと。
　c. 補修部の塗装の適用は、次による。
　【 ⊙ 図示　・色ムラ部分のみ塗装（EP程度/既存同色）　・塗装なし　】
⑧ 既存間仕切壁撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲は図示なき限り、次による。（壁表面からの数値とする）
　【 ※ 600mm　・その他（　　mm）　・図示　】
⑨ 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲は図示なき限り、次による。（壁表面からの数値とする）
　【 ※ 600mm　・その他（　　mm）　・図示　】
⑩ 撤去する天井に取付く既存軽量鉄骨下地（吊ボルト、野縁等）の適用は、次による。
　【 ※ 撤去　・再利用　・図示　】
　再利用の場合はインサート引抜試験（3箇所）を行い、結果を監督職員に報告のこと。所定の数値を満たさない場合、
　再利用は不可とする。
⑪ 既存下地（床、壁、天井共）を再利用する場合は、下地補修を適切に行うこと。
⑫ 既存及び新設の壁が突付けあう箇所には見切材（塩ビ製）を設けること。
⑬ コンクリート壁撤去跡の鉄筋は錆止め処理の上、無収縮モルタル(t10程度)を施すこと。(1階プレイセラピー)

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第233442号　和田 雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地 徹実

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事
仕上特記
2022.03
A1：-
A3：-
RA－011

一般記号凡例

記号	名称	記号	名称
W	幅	RC	鉄筋コンクリート
L	長さ	ALC	軽量気泡コンクリートパネル（ALC板）
D	奥行	PC	プレキャストコンクリート
H	高さ	ECP	押出成形セメント板
φ	直径	CB	コンクリートブロック
R	半径	NC	嵩上コンクリート（普通コンクリート）
@	間隔	Sレベ	セルフレベリング
t	厚さ	LGS	軽量鉄骨
CH	天井高さ	St	スチール
FL	基準床面（床仕上レベル）	SUS	ステンレス
GL	基準地盤面	AL	アルミニウム
SL	スラブ天端レベル	PL	プレート
CL	センターライン	FB	金属平鋼（フラットバー）
BM	ベンチマーク	SS	スチール重量シャッター
TP	東京湾中等潮位	LS	スチール軽量シャッター
OP	大阪湾最低標準潮位	SP	スチールパーティション（可動間仕切）
DS	ダクトスペース	MP	スライディングウォール（移動間仕切）
PS	パイプスペース	FA	フリーアクセスフロア
EPS	電気配管スペース	SF	乾式遮音二重床
EV	エレベーター	EXP.J	エキスパンションジョイント
SEV	小荷物専用昇降機	A防	アスファルト防水
ESC	エスカレーター	AS防	改質アスファルトシート防水
UB	ユニットバス	M防	モルタル防水
US	ユニットシャワー	S防	合成高分子系ルーフィングシート防水
SK	掃除用流し	塗防	塗膜防水
V	塩ビ	布防	塗布防水
VS	化粧塩ビシート	FLP	塗床
RD	ルーフドレイン	GRC	ガラス繊維強化セメント
DP	とい	FRP	繊維強化プラスチック

不燃・準不燃・難燃材料等の記号凡例及び認定番号（製品名・認定番号の記載は同等品以上として扱うこと）

記号	名称	厚・寸法等	認定番号	JIS規格	特記事項
GB－NC	不燃積層石膏ボード（不燃）	9.5	NM-0441・NM-2817	A6901	
GB－R	石膏ボード（不燃）	12.5, 15	NM-8619	A6901	
GB－F	強化石膏ボード（不燃）	12.5, 15, 21	NM-8615	A6901	
GB－R－H	普通硬質石膏ボード（不燃）【吉野 タイガースーパーハード】	9.5, 12.5	NM-9645・NM-1139	A6901	
GB－R－Hh	普通硬質石膏ボード（不燃）【吉野 タイガーハイパーハードC】	9.5, 12.5	NM-1908・NM-1139	A6901	
GB－X	鉛裏打石膏ボード（不燃）	12.5+2	NM-8619	A6901	
GB－S	耐水石膏ボード（不燃）	12.5	NM-9639・NM-9346	A6901	
GB－D	化粧石膏ボード（不燃）	9.5	NM-1864・NM-2816	A6901	
~~GB－W~~	~~化粧石膏ボード（木目）【令和3年11月をもって製造、販売停止】~~	~~9.5~~	~~QM-9824~~	~~A6901~~	
~~GB－W(不)~~	~~化粧石膏ボード（木目(不燃)）【令和3年11月をもって製造、販売停止】~~	~~12.5~~	~~NM-0127~~	~~A6901~~	
GB－PD	化粧石膏吸音ボード（不燃）【吉野 スクエアトーン・D】	9.5	NM-0879		
DR	ロックウール化粧吸音板	9, 12	NM-8599	A6301	
FG	繊維強化石膏ボード【A&A FGボード】【A&A FGボード】	6	NM-9028		
KB	ケイ酸カルシウム板（不燃）【A&A ハイラックM】	6, 8	NM-2773	A5430	
化粧KB	化粧ケイ酸カルシウム板【A&A ステンド#400/#500】	6	NM-3073・NM-3345		
	繊維強化セメント板【アイカテック建材 フレキシブルボードN】	6, 8	NM-8576		
GWB	グラスウールボード（ガラスクロス巻き製品）	50, 100	NM-8606	A9504・A6301	
	ノンフロン湿式断熱材【エスケー化研 セラミライトエコG】	20, 30	NM-0916		
	セメントボード【チヨダ アクアパネル】	12.5	NM-3190	A5430	
	アルミバスリブ	9.5	NM-0892		
	塗料(不燃)：EP, EP-G, SOP, NAD, FE, VE, AE		NM-8585		基材不燃
EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料		NM-8585・NM-8572	K5668	基材不燃
GCP	ガラスクロスペンキ仕上(不燃)【サンゲツサンウォールヘス+専用塗料】		NM-0460・NM-0461		基材不燃
VC	ビニルクロス（不燃）		NM-****		基材不燃
VC(準不)	ビニルクロス（準不燃）		QM-****		基材準不燃以上
MVB	メラミン不燃化粧板【アイカ工業 セラール】	3	NM-2183		
WVS	化粧塩ビシート（不燃）	—	NM-****		
WVB(不)	天然木練付化粧板（不燃）	6.0	NM-****		
WVB(準不)	天然木練付化粧板（準不燃）	6.0	QM-****		

塗料・塗装　記号凡例

記号	名称
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り
EP	合成樹脂エマルションペイント塗り
EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り
EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料塗り
EP-M	多彩模様塗料塗り
WP	木部保護塗料塗り
LC	クリアラッカー塗り
LE	ラッカーエナメル塗り
OS	オイルステイン塗り
OC	オイルフィニッシュ仕上
VE	塩化ビニル樹脂エナメル塗り
FE	フタル酸樹脂エナメル塗り
FC	フタル酸樹脂ワニス塗り
AE	アクリル樹脂エナメル塗り
AEB	アクリル樹脂エナメル焼付塗装
AC	アクリル樹脂ワニス塗り
2-UE	２液形ポリウレタンエナメル塗り
LS2-UE	弱溶剤系２液形ポリウレタンエナメル塗り
UEB	ポリウレタン樹脂エナメル焼付塗装
UEP	ポリウレタンエマルションペイント塗り
2-ULC	２液形ポリウレタンクリアラッカー塗り
1-UC	１液型油変性ウレタン樹脂ワニス塗り
2-UC	２液形ポリウレタン樹脂ワニス塗り
2-ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル塗り
LS2-ASE	弱溶剤系アクリルシリコン樹脂エナメル塗り
2-ASC	アクリルシリコン樹脂ワニス塗り
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り
2-FUE	常温乾燥型フッ素樹脂エナメル塗り
LS2-FUE	弱溶剤系常温乾燥型フッ素樹脂エナメル塗り
FUB	フッ素樹脂エナメル焼付塗装
2-FUC	常温乾燥型フッ素樹脂ワニス塗り
DP-U	ポリウレタン樹脂耐候性塗料塗り
DP-AS	アクリルシリコン樹脂耐候性塗料塗り
DP-F	フッ素樹脂耐候性塗料塗り
TXE	タールエポキシ樹脂エナメル塗り
2-XE	２液形エポキシ樹脂エナメル塗り
XEB	エポキシ樹脂エナメル焼付塗装
MP	マスチック塗料塗り
FP	耐火塗料塗り
AEP	アクリルエマルションペイント塗り

高日射反射率塗装　記号凡例

記号	名称
高反射塗料F	水性フッ素樹脂系コンクリート保護工法 日本ペイント㈱ サーモアイ4F 同等品
高反射塗料Si	水性シリコン樹脂系コンクリート保護工法 日本ペイント㈱ サーモアイSi 同等品
高反射塗料U	ウレタン樹脂系コンクリート保護工法 日本ペイント㈱ サーモアイUV 同等品

塗床・塗膜防水・塗布防水　記号凡例

記号	名称
FLP-1a	ケイ酸塩系コンクリート表面強化材(一般設備シャフト内・FA下等) ㈱ABC商会 シリケートハードナーJP 同等品
FLP-1b	ケイ酸塩系コンクリート表面強化材(荷捌場等) ㈱ABC商会 セラミキュア 同等品
FLP-2	薄膜型溶剤形アクリル樹脂系防塵塗料（一般機械室等） ㈱ABC商会 カラートップH 同等品
FLP-3	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材（検査室・実験室・廃棄物置場等） ㈱ABC商会 ケミクリートE 流しのベースト工法 同等品
FLP-4	厚膜型エポキシ樹脂系塗床材・防滑（厨房内一般部等） ㈱ABC商会 ケミクリートE ペースト防滑工法 同等品
FLP-5	厚膜型水性ウレタンコンクリート系塗床材（厨房内耐熱部・低温度床部等） ㈱ABC商会　タフクリートMH（t=6.0mm）同等品 * 排水溝内はタフクリートMH 耐熱巾木工法 同等品
FLP-6a	超速硬化ウレタン防水材(駐車場床防水) ㈱ダイフレックス パワレックス TN-1E,2E,3E工法 同等品
FLP-6b	超速硬化ウレタン防水材(駐車場床防水/重車両用) ㈱ダイフレックス パワレックス LG工法 同等品
FLP-7	防滑性エポキシ樹脂系仕上床材・防滑（屋内駐車場等） ㈱ABC商会 パーキングガード 同等品
FLP-8	ビスフェノール系ビニルエステル樹脂系防食材(フォークリフト充電エリア) ㈱ABC商会 ケミクリートSVフレーク 同等品
塗防A	ウレタンゴム系塗膜防水 X-1（絶縁工法/屋上防水） 大関化学工業㈱ U-HIT FU-40-NE 同等品
塗防B	ウレタンゴム系塗膜防水 X-2（密着工法/バルコニー・庇） 大関化学工業㈱ U-HIT MU-39-NE 同等品
塗防C	エチレン酢酸ビニル樹脂系塗膜防水(トップコートなし/屋内、開口部廻り) 大関化学工業㈱ パラテックス A-1工法 同等品
塗防D	エチレン酢酸ビニル樹脂系塗膜防水 (軽歩行用/バルコニー、ハト小屋・パラペット天端等) 大関化学工業㈱ パラテックス A-2工法 同等品
塗防E	エチレン酢酸ビニル樹脂系塗膜防水(雨水貯留槽/消火水槽/EVピット/地下外壁防水) 大関化学工業㈱ パラテックス B-2工法 同等品
塗防F	エチレン酢酸ビニル樹脂系塗膜防水(廃液槽(軽仕様)) 大関化学工業㈱ パラテックス B-4A工法 同等品
塗防G	エチレン酢酸ビニル樹脂系塗膜防水 (廃液槽(厨房・検査系)、生産系排水貯留槽) 大関化学工業㈱ パラテックス B-6D工法 同等品
布防A	ケイ酸質系塗布防水（地下二重壁内壁等） 日本バンデックス㈱ バンデックス S工法 同等品
布防B	ケイ酸質系塗布防水（地下外壁・一般水槽・EVピット等） 日本バンデックス㈱ バンデックス S+P工法 同等品
AS防A	改質アスファルトシート防水 常温粘着工法(地下外壁防水) 田島ルーフィング㈱ ガムロン防水 同等品
仮防水材A	ポリマーセメント系仮防水材 大関化学工業㈱ 仮防水材OZ 同等品
コンクリート保護材F	水性フッ素樹脂系コンクリート保護工法 菊水化学工業㈱ キクスイ SA工法 同等品
コンクリート保護材Si	水性シリコン樹脂系コンクリート保護工法 菊水化学工業㈱ キクスイ SA工法 同等品
コンクリート保護材U	ウレタン樹脂系コンクリート保護工法 日本ペイント㈱ テラベールUクリヤー 同等品
撥水材	シリコン系シラン化合物浸透性吸水防止剤 日本ペイント㈱ アクアシール200S 同等品

耐火時間指定

階				B2 階～ 2 階 (最上階から15以上の階)	3 階～ 12 階 (最上階から5～14までの階)	13 階～PH1 階 (最上階から1～4までの階)
壁	間仕切（耐力壁）			2時間	2時間	1時間
壁	間仕切（耐火）			1時間	1時間	1時間
壁	外壁	耐力壁		2時間	2時間	1時間
壁	外壁	非耐力壁	延焼線内	1時間	1時間	1時間
壁	外壁	非耐力壁	延焼線外	30分	30分	30分
柱				3時間	2時間	1時間
床				2時間	2時間	1時間
梁				3時間	2時間	1時間
屋根				30分	30分	30分
階段				30分	30分	30分

耐火構造仕様・耐火認定

部位	種別	項目	1時間（厚さ）	2時間（厚さ）	3時間（厚さ）
柱・梁	RC造		平成12年建設省告示第1399号		
柱・梁	S造 耐火被覆	耐火時間	1時間（厚さ）	2時間（厚さ）	3時間（厚さ）
柱・梁	S造 耐火被覆	吹付けロックウール	耐火 (t=25) 柱：FP060CN-9460 梁：FP060BM-9408 PC合成耐火 (t=25) 柱：FP060CN-9459 梁：FP060BM-9407 ALC合成耐火 (t=25) 柱：FP060CN-9458 梁：FP060BM-9406 ECP合成耐火 (t=25) 柱：FP060CN-9200(9203) 梁：FP060BM-9171(9172)	耐火 (t=45) 柱：FP120CN-9463 梁：FP120BM-9411 PC合成耐火 (t=45) 柱：FP120CN-9462 梁：FP120BM-9410 ALC合成耐火 (t=45) 柱：FP120CN-9461 梁：FP120BM-9409 ECP合成耐火 (t=45) 柱：FP120CN-9240(9234) 梁：FP120BM-9208(9204)	耐火 (t=60) 柱：FP180CN-9466 梁：FP180BM-9414 PC合成耐火 (t=60) 柱：FP180CN-9465 梁：FP180BM-9413 ALC合成耐火 (t=60) 柱：FP180CN-9464 梁：FP180BM-9412
柱・梁	S造 耐火被覆	巻付材 単体一部のみ記載	鋼管柱：FP060CN-0081（20） 鋼管柱小部材：FP060CN-9390（40） H 柱：FP060CN-0005（20） H 柱小部材：FP060CN-9392（40） H 梁：FP060BM-0009（20） H 梁小部材：FP060BM-0047（20） 上記以外：	鋼管柱：FP120CN-0157（40） 鋼管柱小部材：FP120CN-0203（60） H 柱：FP120CN-0007（40） H 柱小部材：FP120CN-0243（20） H 梁：FP120BM-0010（40） H 梁小部材：FP120BM-0253（60） 上記以外：	鋼管柱：FP180CN-0088（60） H 梁：FP180BM-0255（65）
柱・梁	S造 耐火被覆	耐火塗料	鉄骨柱：FP060CN-9472(0.75～4.50) ：FP060CN-9402 H 梁：FP060BM-9419(1.00～2.50) ：FP060BM-9347	鋼管柱：FP120CN-0195（3.00） 鋼管柱：FP120CN-0224（4.50） H 柱：FP120CN-0248（4.00） 鋼管柱：FP120CN-0434 H 柱：FP120CN-0435 H 梁：FP120CN-0181（3.70） H 梁：FP120CN-0263	
壁	RC造		平成12年建設省告示第1399号		
壁	ECP（押出成形セメント板）		ノザワ：外壁耐火1時間(t=60) FP060NE-9035(縦張)、FP060NE-9036(横張) 間仕切壁耐火1時間(t=60) FP060NP-9240 アイカテック建材：外壁耐火1時間(t=60) FP060NE-9037(縦張)、FP060NE-9038(横張) 間仕切壁耐火1時間(t=60) FP060NP-9070		
壁	ALC板		外壁・間仕切壁耐火1時間(t=75以上) 平成12年建設省告示第1399号 （t=50の場合：外壁・FP060NE-9293 間仕切壁・FP060BP-9012）		
壁	PC板		外壁・間仕切壁耐火1時間(t=70以上) 平成12年建設省告示第1399号		
壁	軽鉄間仕切		防火区画壁および防火上主要な間仕切壁は、間仕切壁リストのうち、頭符号Tのものを使用（認定番号図示）		
床	RC造		平成12年建設省告示第1399号		
床	ALC板		床耐火1時間(t=100以上) FP060FL-9119　床耐火2時間(t=120以上) FP120FL-9120		
屋根	RC造		平成12年建設省告示第1399号		
屋根	ALC板		屋根耐火0.5時間(t=75以上) 平成12年建設省告示第1399号 （t=50の場合：FP030RF-9320）		
屋根	金属板葺き		屋根耐火0.5時間 FP030RF-****号		
階段	RC造		平成12年建設省告示第1399号		
階段	S造		平成12年建設省告示第1399号		

記号凡例リスト

詳細図呼出符号 C ※※ ←雑詳細記号 ←雑詳細番号

種別	表示記号	呼出記号	種別	表示記号	呼出記号
一般間仕切壁	壁符号	壁符号は間仕切リストによる	縦型ルーフドレイン(TRD) ※特記無き限り100φ用	TRD　TRD150φ	
コンクリート（柱・壁）【1/50以上】			中継ドレイン(CRD) ※特記無き限り100φ用	CRD　CRD150φ	
プレキャストコンクリート(PC)【1/50以上】	PC		横型ルーフドレイン(YRD) ※特記無き限り100φ用	YRD　YRD150φ	
軽量気泡コンクリートパネル(ALC)【1/50以上】	ALC		竪樋(DP) ※特記無き限り100φ	DP　DP150φ	
押出成形セメント板(ECP)【1/50以上】	ECP		オーバーフロー管 ※特記無き限りSUS 50φ 2-UE	OF50φ	
コンクリートブロック(CB)【1/50以上】	CB		横引き雨水管（天井内） ※特記無き限り100φ	150φ	
軽量鉄骨下地			横引き雨水管（床下） ※特記無き限り100φ	床下150φ	
スチールパーティション(可動間仕切)	SP	C ※※			
スライディングウォール(移動間仕切)	MP	C ※※	ピクチャーレール	Pr	C ※※
シャッター	SS		カーテンレール	Cr	C ※※
石材【1/20以上】			点滴フック	Tf	C ※※
吸音材【1/20以上】			点滴レール	Tr	C ※※
断熱材【1/20以上】			壁面保護材		C ※※
固定防煙垂壁 ※***は高さを示す	T-***		壁面台車摺	Dg	C ※※
可動防煙垂壁および操作ボックス ※***は高さを示す	KT-***		壁付手摺	hr	C ※※
マンホール(防水防臭型) ※特記無き限り鋳鉄製600φ	M	C ※※	壁付手摺（2段）	2hr	C ※※
化粧マンホール(防水防臭型) ※特記無き限り鋳鉄製600角	M	C ※※	コーナーガード(塩ビ)		C ※※
床下点検口(密閉型) ※特記無き限り600角 ステンレスストラップW400付		C ※※	コーナーガード(MVB用)		C ※※
床下点検口(防水防臭型) ※特記無き限り600角 ステンレスストラップW400付		C ※※	コーナーガード(ステンレス)		C ※※
天井点検口 ※特記無き限り600角 無印：建築工事/E:電気設備工事/M:機械設備工事	M	C ※※			
丸環		C ※※	コーナーガード(車両用)		C ※※
点状床誘導表示			主出入口		
線状床誘導表示			副出入口		
補助散水栓・屋内消火栓ボックス ※特記無き限り設備工事		C ※※	床仕上レベル ※特記無き限りFL±0	+100	
補助散水栓・屋内消火栓ボックス (消火器ボックス併設型) ※特記無き限り設備工事		C ※※	非常用進入口		
埋込型消火器ボックス		C ※※	代替進入口		
半埋込型消火器ボックス		C ※※	天井段差		
床置型消火器	S	C ※※	床段差		
タラップ		C ※※	GT：グリーストラップ OT：オイルトラップ	GT	
背かご付タラップ		C ※※	吊戸棚	HC	
機械基礎		C ※※	備品類（別途工事）		
排水溝		C ※※			
排水溝(グレーチング蓋)		C ※※			

記号凡例リスト（改修）

種別	表示記号	呼出記号	種別	表示記号	呼出記号
間仕切壁　撤去	壁符号		仮設間仕切壁 (各間仕切壁毎に片開扉1ヵ所を見込む)	*	仕様は特記仕様書による
天井 撤去 及び 新設（復旧）			建具・雑物等　既存	SD ** / C **	
床 撤去 及び 新設（復旧）			建具・雑物等　改修 (符号下部に内容を記載)	SD ** 移設 / C ** 移設	
天井・床 撤去 及び 新設（復旧）			建具・雑物等　撤去	SD ** / C **	

記号凡例リスト（外構）

種別	表示記号	呼出記号	種別	表示記号	呼出記号
雨水管（ヒューム管） ※***は管径を示す	***	G ※※	地先境界ブロック ※***はサイズを示す	K-***	G ※※
雨水管（VP管） ※***は管径を示す	VP-***	G ※※	縁石ブロック ※***はサイズを示す	E-***	G ※※
雨水会所ます ※コンクリート蓋付		G ※※	L型側溝(PC製) ※***はサイズを示す 斜線部は歩道切下部を示す	L-***	G ※※
雨水会所ます ※グレーチング蓋付		G ※※	U字溝(PC製) ※コンクリート蓋付 ***はサイズを示す	U-**	G ※※
雨水会所ます ※化粧蓋付		G ※※	U字溝(PC製) ※グレーチング蓋付 ***はサイズを示す	U-**	G ※※
雨水会所ます ※スリット蓋付		G ※※	U字溝(既製PC) ※コンクリート蓋付 ***はサイズを示す	U-**	G ※※
雨水会所ます ※マンホール蓋付	M	G ※※	車止めブロック		
雨水浸透ます 有孔コンクリート製、鋳鉄製蓋付		G ※※	車止めポール	○BP	
			外構仕上レベル ※特記無き限りBMからの高さ	+100	
アスファルト舗装		G ※※			
透水性アスファルト舗装		G ※※			
遮熱性アスファルト舗装		G ※※			
コンクリート舗装		G ※※			
透水性コンクリート舗装		G ※※			
遮熱性コンクリート舗装		G ※※			
インターロッキングブロック舗装		G ※※			
透水性インターロッキングブロック舗装		G ※※			
遮熱性インターロッキングブロック舗装		G ※※			
半たわみ舗装		G ※※			
コンクリート平板舗装		G ※※			
補石・レンガ舗装		G ※※			
弾性舗装		G ※※			
玉砂利・玉砂利舗装		G ※※			
植栽帯		G ※※			

間仕切壁リスト符号凡例および共通事項

（部位毎の種別は平面図又は平面詳細図に符号を図示）

P　：一般間仕切壁　ボード両面張り
PK　：一般間仕切壁　ボード片面張り
T　：耐火間仕切壁　ボード両面張り(耐火認定番号図示)
TK　：耐火間仕切壁　ボード片面張り(耐火認定番号図示)
TS　：耐火・遮音間仕切壁
（耐火認定番号、遮音性能、遮音認定番号図示）
G　：グラスウール充填
（簡易遮音・特記なき限り　t=50mm、24kg／㎥）
X　：X線遮蔽間仕切壁

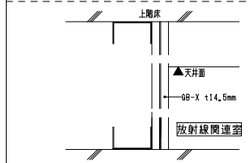
特記事項

①仕上表の下地欄は、特記なき限り間仕切壁リスト壁符号によるボード下地とする。
②ＬＧＳのＷ寸法は特記仕様書による。
③耐火間仕切壁は柱・梁・スラブ取合い部及びダクト等貫通部について、適切な区画処理を行うこと。

間仕切壁リスト図中　※印　表記のあるボードの取り扱い

①仕上表、壁下地欄に下地ボードが明記されている場合は、当該上張ボードを指定の下地ボードに読み替えるものとする。
②仕上表において、壁仕上がＭＶＢ・ＷＶＢ・化粧ＫＢで範囲が天井までの場合、当該上張りボードを明記された壁仕上に読み替えるものとする。
ただし、壁下地欄に下地ボードが明記されている場合は上項①を準用の上に指定の壁仕上とする。
③上記壁仕上範囲が天井高より低い場合（腰壁等）は増し張りとする。（仕上ｈ寸法は仕上表による）

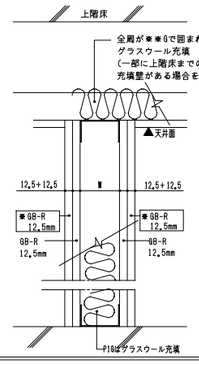
末尾に　X　がつく間仕切り符号（X線遮蔽間仕切壁）



①各間仕切り符号の末尾に　X　が付くものは、X線遮蔽間仕切とし、放射線関連室側の下張ボードをGB-X t=14.5 に置きかえるものとする。
②特記なき限り鉛厚は2mm、鉛は上階スラブ下までとする。厚みが異なる場合は末尾に表記【3mm例：P4X(3)】

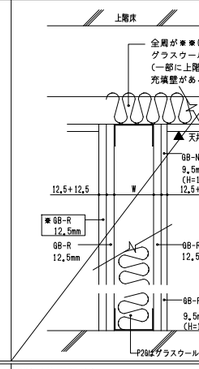
P1

P1G（簡易遮音）



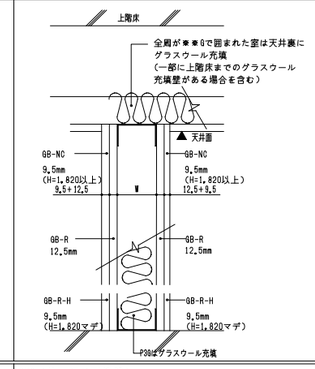
P2（片側耐衝撃）

P2G（上記＋簡易遮音）



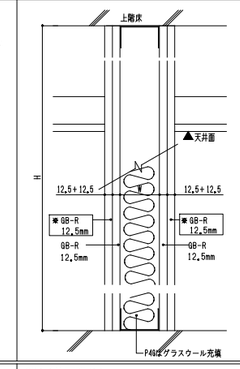
P3（両側耐衝撃）

P3G（上記＋簡易遮音）



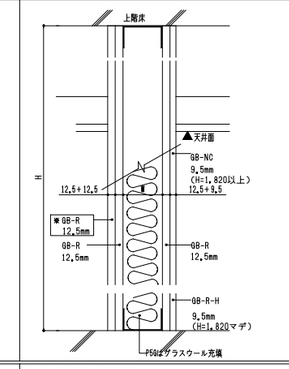
P4

P4G（簡易遮音）



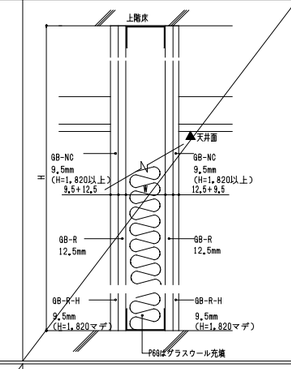
P5（片側耐衝撃）

P5G（上記＋簡易遮音）



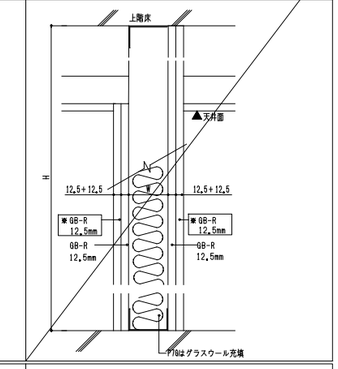
P6（両側耐衝撃）

P6G（上記＋簡易遮音）



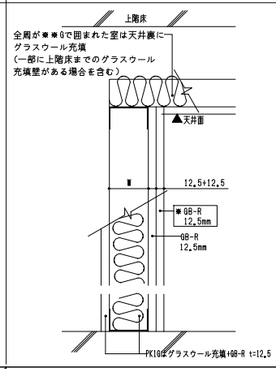
P7

P7G（簡易遮音）



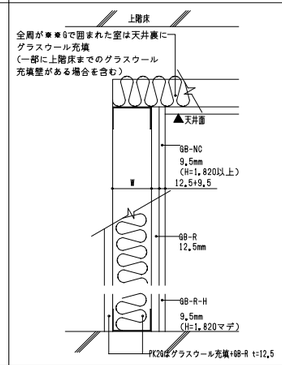
PK1（片面張り）

PK1G（上記＋簡易遮音）



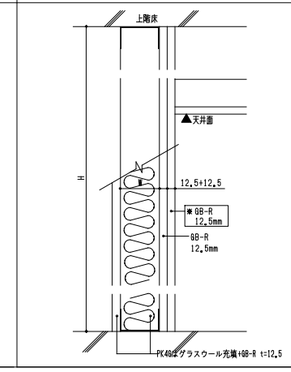
PK2（片面張り耐衝撃）

PK2G（上記＋簡易遮音）



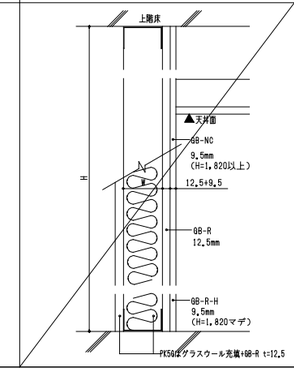
PK4（片面張り）

PK4G（上記＋簡易遮音）



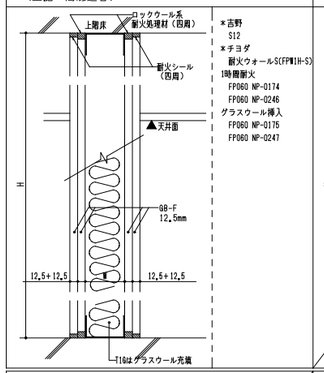
PK5（片面張り耐衝撃）

PK（上記＋簡易遮音）



T1C（1時間耐火）

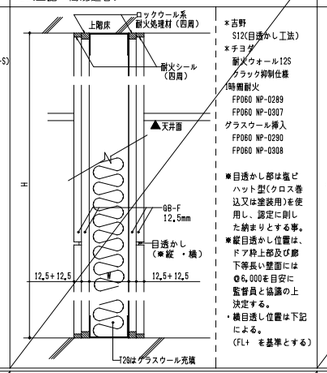
T1G（上記＋簡易遮音）



＊吉野
S12
＊チヨダ
耐火ウォールS(FP1H-S)
1時間耐火
FP060 NP-0174
FP060 NP-0246
グラスウール挿入
FP060 NP-0175
FP060 NP-0247

T2C（1時間耐火・目透かし工法）

T2G（上記＋簡易遮音）

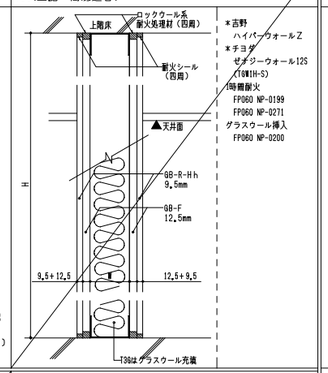


＊吉野
S12C(目透かし工法)
＊チヨダ
耐火ウォール12S
クラック抑制仕様
1時間耐火
FP060 NP-0289
FP060 NP-0307
グラスウール挿入
FP060 NP-0290
FP060 NP-0308

※目透かし部は塩ビハット型(クロス巻込又は塗装用)を使用し、認定に則した納まりとする事。
※縦目透かし位置は、ドア枠上部及び廊下等長い壁面には6,000ｍ目安に監督員と協議の上決定する。
・縦目透し位置は下記による。
(FL+　を基準とする)

T3C（1時間耐火・耐衝撃）

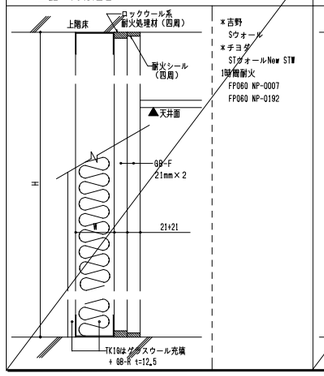
T3G（上記＋簡易遮音）



＊吉野
ハイパーウォールZ
＊チヨダ
せチジーウォール12S
(T8W1H-S)
1時間耐火
FP060 NP-0199
FP060 NP-0271
グラスウール挿入
FP060 NP-0200

TK1C（片面張り1時間耐火）

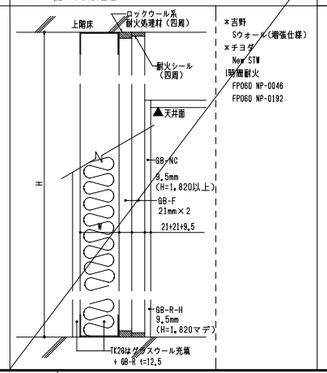
TK1G（上記＋簡易遮音）



＊吉野
Sウォール
＊チヨダ
Sウォール NewSTW
1時間耐火
FP060 NP-0007
FP060 NP-0192

TK2C（片面張り1時間耐火・片側耐衝撃）

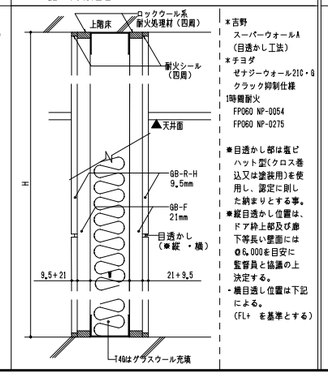
TK2G（上記＋簡易遮音）



＊吉野
Sウォール(増張仕様)
＊チヨダ
NewSTW
1時間耐火
FP060 NP-0046
FP060 NP-0192

T4C（1時間耐火・耐衝撃・目透かし工法）

T4G（上記＋簡易遮音）

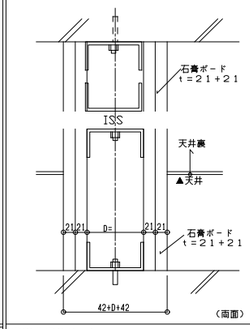


＊吉野
スーパーウォールA
(目透かし工法)
＊チヨダ
せチジーウォール21C・B
クラック抑制仕様
1時間耐火
FP060 NP-0054
FP060 NP-0275

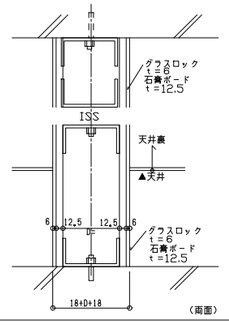
※目透かし部は塩ビハット型(クロス巻込又は塗装用)を使用し、認定に則した納まりとする事。
※縦目透かし位置は、ドア枠上部及び廊下等長い壁面には6,000ｍ目安に監督員と協議の上決定する。
・縦目透し位置は下記による。
(FL+　を基準とする)

旧間仕切りリスト

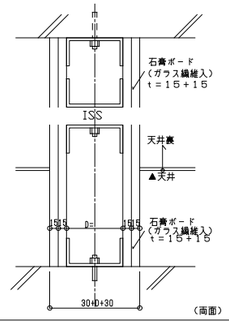
[TA]（２時間耐火）



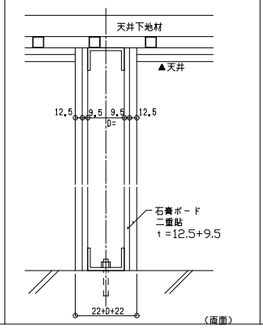
[TB]（１時間耐火）



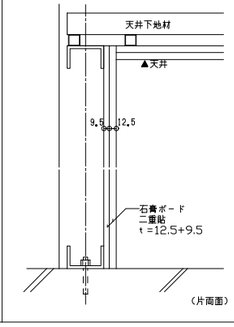
[TC]（１時間耐火）（遮音壁）



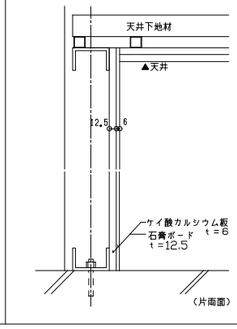
[S1]



[S6]

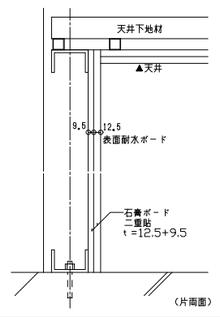


[S7]

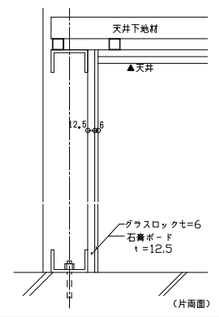


旧間仕切りリスト

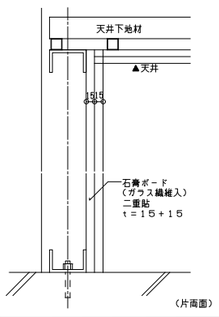
[S9]



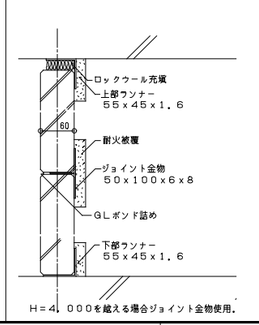
[SB]



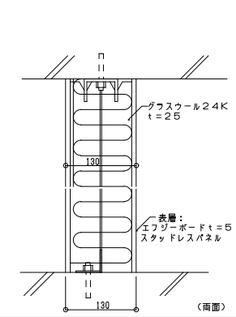
[SC]



[U1]（ガラス繊維強化発泡壁）（２時間耐火）



[TC1]（スタッドレスパネル）（２時間耐火）



G	グラスウール t=50
K	ケイカル，t=6
N	鉛，t=2
T	タイル
Y	天井裏のヨカベ
SP	スチールパーティション
W	木製パネル t=6
D	ディックフネン

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　一級建築士登録　第226323号
和田雅彦　菊地徹実

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

間仕切壁リスト

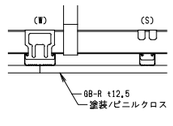
2022.03

A1：1/5
A3：1/10

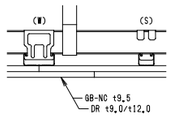
RA－013

天　井

塗装/ビニルクロス

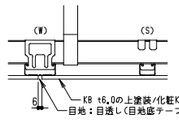


DR

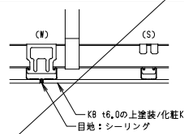


※特記無き限り、突付け工法とする。
※屋外の場合は、下張をGB-S t12.5とする。

KBの上塗装/化粧KB(目透し)

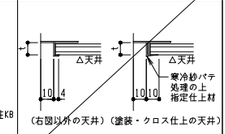


KBの上塗装/化粧KB(シーリング)(外部)



※シーリングは、抗菌・防カビ仕様とする。

塩ビ製(V)、アルミ製(AL)



（右図以外の天井）（塗装・クロス仕上の天井）

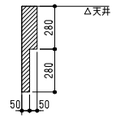
※t4は天井材の厚みによる。
※アルミ製は焼付塗装品とする。

塩ビ製(V)、アルミ製(AL)



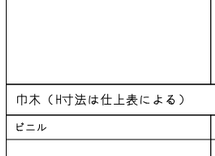
※t4は天井材の厚みによる。
※アルミ製は焼付塗装品とする。

木製(W)



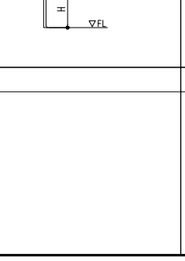
※材種：米ツガ、仕上：EP-2

GWB



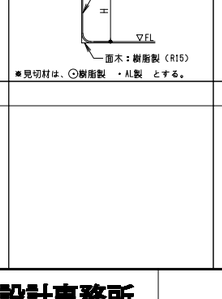
壁

GL工法



※「（間仕切壁リストの壁符号）-0」により、ボード張りを図示。（例：PK1-6）

天然木練付化粧板(WVB)/メラミン不燃化粧板(WVB)



※目地幅 t は、WB：t=6、WVB：t =3とする。
※WVBの仕上げはUC(ツヤ消し)とする。
※WVBの小口は仕上材同材を巻き込むこと。
※WVBの小口は塗装処理を行うこと。

壁-壁取合

GL工法とLGSの取合部



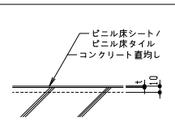
KB/キッチンパネル（雑部）



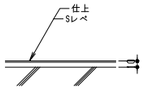
※アルミ製見切材は焼付塗装品とする。

床（H寸法は仕上表による）　床下地（仕上、H寸法は仕上表による）

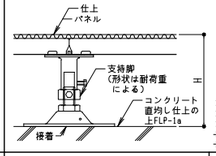
ビニル床シート/ビニル床タイル



Sレベ

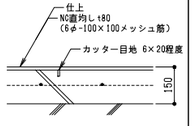


FA-1，2，3



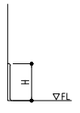
※壁との取合部にはクッション材を設けること。
※ウィスカ対策仕様のこと。
~~※FA-1:耐荷重＝3,000N/㎡,耐震性＝1.0以上~~
~~※FA-2:耐荷重＝6,000N/㎡,耐震性＝1.0以上~~
~~※FA-3:耐荷重＝6,000N/㎡,耐震性＝1.0以上~~

NC(1階ﾌﾟﾚｲｾﾗﾋﾞｰ→処置室)

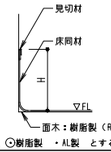


巾木（H寸法は仕上表による）

ビニル



床材立上(ビニル床シート)



※見切材は、⊙樹脂製　・AL製　とする。

仕上材料表（製品名の記載は同等以上として扱うこと）

部位	名　称	仕　様	備　考
天井	DR	ロックウール化粧吸音板　t9.0/t12.0	吉野石膏㈱：ソーラトン
	GB-D	化粧石膏ボード　t9.5(不燃)	吉野石膏㈱：ジプトーン・ライト
	VC	ビニルクロス	㈱サンゲツ：不燃認定壁紙
	KB	ケイ酸カルシウム板　t6	㈱Ａ＆Ａ M ハイラックM
壁	VC	ビニルクロス	㈱サンゲツ：不燃認定壁紙
	WVB	天然木練付化粧板t6.0(不燃)	ｱｷﾓｱｰﾄ工業㈱：AUﾊﾟﾈﾙ　ｼﾙﾊﾞｰﾁｪﾘｰ
	(7階)長尺塩ビシート	複層ビニル床シートFS t2.0	田島ﾙｰﾌｨﾝｸﾞ㈱：ﾊﾟｰﾏﾘｭｰAEM
幅木	ビニル幅木	ソフト幅木	田島ルーフィング㈱：ソフト幅木
	磁器タイル	H=200(200×200×t9.0)	LIXIL：ｻｰﾓﾀｲﾙ　ｿﾌﾗｲﾑⅡ(内壁ﾀｲﾌﾟ) 200×200
床	ビニル床シート　t2.8	発泡複層ビニル床シート　HS t2.8	田島ルーフィング㈱： ACフロア(NO WAX)
	ビニル床タイル　t5.0	置敷きビニル床タイル　t5.0	田島ルーフィング㈱： レイフラットタイル LF-3000
	タイルカーペット	t6.5×500×500 ループパイル	田島ルーフィング㈱： タピス セレクト
	リノリウムシート　t2.0	単層ビニール床シートTS t2.0	東リ： ヒトエ　グランザ
その他	天井点検口 （標準ﾀｲﾌﾟ）	450×450、600×600 ｱﾙﾐ押出形材ｱﾙﾏｲﾄ処理	ナカ工業㈱　（ﾊｲﾊｯﾁSD・ﾎﾜｲﾄ） （鍵付き）
	壁点検口 （標準ﾀｲﾌﾟ）	300×300、450×450 ｱﾙﾐ押出形材ｱﾙﾏｲﾄ処理	ナカ工業㈱　（ｳｫｰﾙﾊｯﾁWHA・ﾎﾜｲﾄ） （鍵付き）
	化粧鏡A	350×800×t5	TOTO㈱：YM3580FC
	化粧鏡B	300×800×t16	TOTO㈱：YMK50K
	洗面化粧台	W600×D520×H796 オーバーフロー穴なし 自動混合水栓	TOTO㈱：LDA60BAYQRA
	WVS	化粧塩ビシート	㈱ｻﾝｹﾞﾂ：ﾘｱﾃｯｸ　ﾏｯﾄﾌｧﾌﾞﾘｯｸ

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地徹実

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

2022.03

エレメントリスト・仕上材料表

A1：－
A3：－

RA－014

内部仕上表【 改修前 】

棟	階	室名	床 下地	床 仕上	床 仕上レベル 躯体レベル	幅木 仕上	幅木 H	壁 仕上	壁 内装制限	廻縁	天井 仕上	天井 内装制限	天井 天井高	備考
本館	地下1階													
		車路・サービスヤード	RC		-100 -100						ケイカル板 t=6.0 VP 【一部撤去】	㊇	3,500	
		空調機械室B1-1	RC		±0 ±0						グラスウール t=50 グラスクロス押え 【一部撤去】	㊇	直天	
		不潔リネン庫 (洗濯・リネン)	RC		±0 ±0						化粧石膏ボード t=9.5 【一部撤去】	㊇	2,700	
		倉庫-2	RC		±0 ±0						化粧石膏ボード t=9.5 【一部撤去】	㊇	2,700	
		運転手控室(和室)	RC		+150 ±0						化粧石膏ボード t=12.0 【一部撤去】	㊇	2,550	
		滅菌器材倉庫1	RC		±0 ±0						化粧石膏ボード t=9.5 【一部撤去】	㊇	2,700・ 4,350	

	1階	【精神医療センター・眼科】												
		診察室-1～3 (小児精神神経)	OA	ビニル床タイル t=5 【撤去】	±0 -150	ビニル 【撤去】	75	ビニルクロス【撤去】 ｽﾃｰｼｮﾝ【一部撤去】	㊇	塩ビ 【撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【撤去】	㊇	2,700	
		処置室 (小児精神神経)	OA	ビニル床タイル t=5 【撤去】	±0 -150	ビニル 【撤去】	75	ビニルクロス【撤去】 ｽﾃｰｼｮﾝ【一部撤去】	㊇	塩ビ 【撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【撤去】	㊇	2,700	流し台【撤去】
		観察室	OA 【一部撤去】	ビニル床タイル t=5 【撤去】	±0 -150	ビニル 【撤去】	75	ビニルクロス【撤去】 ｽﾃｰｼｮﾝ【撤去】	㊇	塩ビ 【撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【撤去】	㊇	2,700	木製ハンガードア(可動間仕切り t40)【撤去】
		プレイセラピー	NC	ビニル床シート t=2.8 【撤去】	±0 -150	ビニル 【撤去】	75	ビニルクロス 【撤去】	㊇	塩ビ 【撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【撤去】	㊇	2,700	SUS流し台【撤去】 砂場【撤去】
		診察室-4 (小児精神神経)	OA 【一部撤去】	ビニル床タイル t=5 【撤去】	±0 -150	ビニル 【撤去】	75	ビニルクロス 【撤去】	㊇	塩ビ 【撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【撤去】	㊇	2,700	洗面化粧台【撤去】
		中待合-1B (小児精神神経)	OA 【一部撤去】	ビニル床タイル t=5 【撤去】	±0 -150	ビニル 【撤去】	75	ビニルクロス【撤去】	㊇	塩ビ 【撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【撤去】	㊇	2,700	
		受付-13 (精神医療センター)	OA 【一部撤去】	タイルカーペット t=7 【一部撤去】	±0 -150	ビニル 【一部撤去】	75	ビニルクロス 【一部撤去】	㊇	塩ビ 【一部撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【一部撤去】	㊇	2,700	
		倉庫-2 (眼科)	OA 【一部撤去】	ビニル床タイル t=5 【撤去】	+100 -150	ビニル 【撤去】	75	ビニルクロス 【撤去】	㊇	塩ビ 【撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【撤去】	㊇	2,700	
		US (眼科)	RC	ユニット 【既存のまま】	+170 -150	ユニット 【既存のまま】		ユニット 【既存のまま】			ユニット 【既存のまま】			サイズ：0812
		前室 (眼科)	NC	ビニル床シート t=2.8 【一部撤去】	±0～+100 -150	ビニル 【一部撤去】	75	ビニルクロス 【一部撤去】	㊇	塩ビ 【一部撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【一部撤去】	㊇	2,700	

		【精神科】			---									
		面談室-1	OA 【一部撤去】	ビニル床タイル t=5 【撤去】	±0 -150	ビニル 【撤去】	75	ビニルクロス【撤去】 ｽﾃｰｼｮﾝ【既存のまま】	㊇	塩ビ 【撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【撤去】	㊇	2,700	
		処置室 (精神科)	OA	ビニル床タイル t=5 【一部撤去】	±0 -150	ビニル 【一部撤去】	75	ビニルクロス【撤去】 ｽﾃｰｼｮﾝ【一部撤去】	㊇	塩ビ 【一部撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【一部撤去】	㊇	2,700	流し台、汚物流し【残置】
		診察室-8 (精神科)	OA 【一部撤去】	ビニル床タイル t=5 【撤去】	±0 -150	ビニル 【撤去】	75	ビニルクロス【撤去】 ｽﾃｰｼｮﾝ【一部撤去】	㊇	塩ビ 【撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【撤去】	㊇	2,700	流し台【撤去】

		診察室-9 (精神科)	OA	ビニル床タイル t=5 【一部撤去】	±0 -150	ビニル 【一部撤去】	75	ビニルクロス【一部撤去】 ｽﾃｰｼｮﾝ【一部撤去】	㊇	塩ビ 【一部撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【一部撤去】	㊇	2,700	
		診察室-10	OA	ビニル床タイル t=5 【既存のまま】	±0 -150	ビニル 【既存のまま】	75	ビニルクロス【既存のまま】 ｽﾃｰｼｮﾝ【既存のまま】	㊇	塩ビ 【既存のまま】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【既存のまま】	㊇	2,700	
		受付-14	OA 【一部撤去】	タイルカーペット t=7 【撤去】	±0 -150	ビニル 【撤去】	75	ビニルクロス 【撤去】	㊇	塩ビ 【撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【撤去】	㊇	2,700	受付カウンター【撤去】
		カウンセリング室-1 (心理判定)	OA	タイルカーペット t=5 【撤去】	±0 -150	ビニル 【撤去】	75	ビニルクロス【撤去】 ｽﾃｰｼｮﾝ【撤去】	㊇	塩ビ 【撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【撤去】	㊇	2,700	洗面化粧台、吊戸棚【撤去】
		カウンセリング室-2	OA	タイルカーペット t=5 【撤去】	±0 -150	ビニル 【撤去】	75	ビニルクロス【撤去】 ｽﾃｰｼｮﾝ【撤去】	㊇	塩ビ 【撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【撤去】	㊇	2,700	洗面化粧台、吊戸棚【撤去】
		検査室	OA 【一部撤去】	タイルカーペット t=5 【撤去】	±0 -150	ビニル 【撤去】	75	ビニルクロス【撤去】 ｽﾃｰｼｮﾝ【撤去】	㊇	塩ビ 【撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【撤去】	㊇	2,700	洗面化粧台、吊戸棚【撤去】
		中待合1F	OA 【一部撤去】	タイルカーペット t=5 【撤去】	±0 -150	ビニル 【撤去】	75	ビニルクロス【撤去】 ｽﾃｰｼｮﾝ【撤去】	㊇	塩ビ 【撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【撤去】	㊇	2,700	
		中待合1E (精神科)	OA	ビニル床タイル t=5 【一部撤去】	±0 -150	ビニル 【一部撤去】	75	ビニルクロス【一部撤去】 ｽﾃｰｼｮﾝ【一部撤去】	㊇	塩ビ 【一部撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【一部撤去】	㊇	2,700	
		待合ホール-2	NC	タイルカーペット t=5 【一部撤去】	±0 -150	磁器タイル 【一部撤去】	200	EP-2(FL+H2,140～)【一部撤去】 木製ﾊﾟﾈﾙt=8(FL+～H2,140)【一部撤去】	㊇	塩ビ 【一部撤去】 木製 【一部撤去】	ﾌﾙｷｼﾌﾞﾙﾍﾞｰｽﾄ=8下地EP-2 【一部撤去】	㊇	2,700 ～3,000	

【備考】
※ 特記無き限り床下地は、既存のまま。

内部仕上表【 改修後 】

	室名	床 下地	床 仕上	床 仕上レベル 躯体レベル	幅木 仕上	幅木 H	壁 仕上	壁 内装制限	廻縁	天井 仕上	天井 内装制限	天井 天井高	備考	化学物質濃度測定
⇨	車路・サービスヤード	RC		-100 -100						ケイカル板 t=6.0 VE 【一部改修】	㊇	3,500		
⇨	空調機械室B1-1	RC		±0 ±0						グラスウール t=50 グラスクロス押え 【一部改修】	㊇	直天		
⇨	不潔リネン庫 (洗濯・リネン)	RC		±0 ±0						化粧石膏ボード t=9.5 【一部改修】	㊇	2,700		
⇨	倉庫-2	RC		±0 ±0						化粧石膏ボード t=9.5 【一部改修】	㊇	2,700		
⇨	運転手控室(和室)	RC		+150 ±0						GB-R t=12.5下地ビニルクロス 【一部改修】	㊇	2,550		
⇨	滅菌器材倉庫1	RC		±0 ±0						化粧石膏ボード t=9.5 【一部改修】	㊇	2,700・ 4,350		

	【皮膚科】													
⇨	診察室-1・2・4	OA	ビニル床タイル t=5	±0 -150	ビニル	75	ビニルクロス ｽﾃｰｼｮﾝ【一部改修】	㊇	塩ビ	GB-NC t=9.5下地DR t=12	㊇	2,700	流し台【新設】 収納棚【新設】	
⇨	診察室-3	OA	ビニル床タイル t=5	±0 -150	ビニル	75	ビニルクロス ｽﾃｰｼｮﾝ【一部改修】	㊇	塩ビ	GB-NC t=9.5下地DR t=12	㊇	2,700	流し台【新設】	
⇨	診察室-5	OA 【一部新設】	ビニル床タイル t=5	±0 -150	ビニル	75	ビニルクロス ｽﾃｰｼｮﾝ【新設】	㊇	塩ビ	GB-NC t=9.5下地DR t=12	㊇	2,700	流し台【新設】	I
⇨	処置室	NC 【一部新設】	ビニル床シート t=2.8	±0 -150	ビニル	75	ビニルクロス ｽﾃｰｼｮﾝ【新設】	㊇	塩ビ	GB-NC t=9.5下地DR t=12	㊇	2,700	SUS流し台、収納棚【新設】 無影灯用架台(天井裏)【新設】	I
⇨	光線治療室	OA 【一部新設】	ビニル床タイル t=5	±0 -150	ビニル	75	ビニルクロス	㊇	塩ビ	GB-NC t=9.5下地DR t=12	㊇	2,700	洗面化粧台【新設】	I
⇨	中待合-1B (皮膚科)	OA 【一部新設】	ビニル床タイル t=5	±0 -150	ビニル	75	ビニルクロス	㊇	塩ビ	GB-NC t=9.5下地DR t=12	㊇	2,700		
⇨	受付-13 (皮膚科)	OA 【一部新設】	タイルカーペット 【一部改修】	±0 -150	ビニル 【一部改修】	75	ビニルクロス 【一部改修】	㊇	塩ビ 【一部改修】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【一部改修】	㊇	2,700		
⇨	前室(更衣)	OA 【一部新設】	ビニル床タイル t=5	+100 -150	ビニル	75	ビニルクロス	㊇	塩ビ	GB-NC t=9.5下地DR t=12	㊇	2,700		
⇨	US (皮膚科)	RC	ユニット 【既存のまま】	+170 -150	ユニット 【既存のまま】		ユニット 【既存のまま】			ユニット 【既存のまま】			サイズ：0812	
⇨	前室 (眼科)	NC	ビニル床シート t=2.8 【一部改修】	±0～+100 -150	ビニル 【一部改修】	75	ビニルクロス 【一部改修】	㊇	塩ビ 【一部改修】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【一部改修】	㊇	2,700	収納棚【新設】	

	【精神科】			---										
⇨	受付-14	OA 【一部新設】	タイルカーペット	±0 -150	ビニル	75	ビニルクロス ｽﾃｰｼｮﾝ【既存のまま】	㊇	塩ビ	GB-NC t=9.5下地DR t=12	㊇	2,700	受付カウンター【新設】	
⇨	処置室 (精神科)	OA	ビニル床タイル t=5 【一部改修】	±0 -150	ビニル 【一部改修】	75	ビニルクロス【既存のまま】 ｽﾃｰｼｮﾝ【一部改修】	㊇	塩ビ 【一部改修】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【一部改修】	㊇	2,700	流し台、汚物流し【残置】	
⇨	児精-1	OA 【一部新設】	ビニル床タイル t=5	±0 -150	ビニル	75	ビニルクロス ｽﾃｰｼｮﾝ【一部改修】	㊇	塩ビ	GB-NC t=9.5下地DR t=12	㊇	2,700		I
⇨	児精-2	OA	ビニル床タイル t=5	±0 -150	ビニル	75	ビニルクロス ｽﾃｰｼｮﾝ【一部改修】	㊇	塩ビ	GB-NC t=9.5下地DR t=12	㊇	2,700		
⇨	児精-3	OA	ビニル床タイル t=5 【一部改修】	±0 -150	ビニル 【一部改修】	75	ビニルクロス【一部改修】 ｽﾃｰｼｮﾝ【一部改修】	㊇	塩ビ 【一部改修】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【一部改修】	㊇	2,700		
⇨	診察室-8	OA	ビニル床タイル t=5 【既存のまま】	±0 -150	ビニル 【既存のまま】	75	ビニルクロス【既存のまま】 ｽﾃｰｼｮﾝ【既存のまま】	㊇	塩ビ 【既存のまま】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【既存のまま】	㊇	2,700	室名変更	
⇨	中待合1F (精神科：児童)	OA 【一部新設】	ビニル床タイル t=5	±0 -150	ビニル	75	ビニルクロス	㊇	塩ビ	GB-NC t=9.5下地DR t=12	㊇	2,700		
⇨	検査-1	OA	ビニル床タイル t=5	±0 -150	ビニル	75	ビニルクロス ｽﾃｰｼｮﾝ【新設】	㊇	塩ビ	GB-NC t=9.5下地DR t=12	㊇	2,700	洗面化粧台、吊戸棚【新設】	
⇨	検査-2	OA	ビニル床タイル t=5	±0 -150	ビニル	75	ビニルクロス ｽﾃｰｼｮﾝ【新設】	㊇	塩ビ	GB-NC t=9.5下地DR t=12	㊇	2,700	洗面化粧台、吊戸棚【新設】	I
⇨	検査-3	OA 【一部新設】	ビニル床タイル t=5	±0 -150	ビニル	75	ビニルクロス ｽﾃｰｼｮﾝ【新設】	㊇	塩ビ	GB-NC t=9.5下地DR t=12	㊇	2,700	洗面化粧台、吊戸棚【新設】	

⇨	中待合1E (精神科：大人)	OA	ビニル床タイル t=5 【一部改修】	±0 -150	ビニル 【一部改修】	75	ビニルクロス【一部改修】 ｽﾃｰｼｮﾝ【一部改修】	㊇	塩ビ 【一部改修】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【一部改修】	㊇	2,700		
⇨	待合ホール-2	NC	タイルカーペット 【一部改修】	±0 -150	磁器タイル 【一部改修】	200	EP(FL+H2,140～)【一部改修】 WPB(不)t=8(FL+～H2,140)【一部改修】	㊇	塩ビ 【一部改修】 木製 【一部改修】	ﾌﾙｷｼﾌﾞﾙﾍﾞｰｽﾄ=8下地EP 【一部改修】	㊇	2,700 ～3,000		

【備考】
※化学物質濃度測定欄の数字は箇所数字を示す。
※ 特記無き限り床下地は、既存のまま。

【内装制限 凡例】
難：難燃材料　　不：不燃材料
準：準不燃材料　　㊇：不燃材料(下地共)

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第233442号　一級建築士登録　第226323号
和田雅彦　菊地徹実

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

仕上表(1)(改修前・改修後)

2022.03

RA－015

内部仕上表【 改修前 】

棟	階	室名	床 下地	床 仕上	床 仕上レベル 躯体レベル	幅木 仕上	幅木 H	壁 仕上	壁 内装制限	廻縁	天井 仕上	天井 内装制限	天井 天井高	備考
本館	2階	【形成外科・皮膚科】												
		受付２６	OA	タイルカーペット t=7 【既存のまま】	±0 -150	ビニル 【既存のまま】	75	ビニルクロス 【既存のまま】	㊎	塩ビ【既存のまま】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【既存のまま】	㊎	2,700	
		処置室	OA【一部撤去】	ビニル床タイル t=5 【一部撤去】	±0 -150	ビニル 【一部撤去】	75	ビニルクロス【一部撤去】 ｽﾀｰﾄﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ【既存のまま】	㊎	塩ビ【既存のまま】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【一部撤去】	㊎	2,700	無影灯用架台(天井裏)【撤去】
		診察室-１～３	OA	ビニル床タイル t=5 【既存のまま】	±0 -150	ビニル 【既存のまま】	75	ビニルクロス【既存のまま】 ｽﾀｰﾄﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ【既存のまま】	㊎	塩ビ【既存のまま】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【既存のまま】	㊎	2,700	作業台L=8,000 吊戸棚L=8,000 【残置】
		診察室-４	OA	ビニル床タイル t=5 【一部撤去】	±0 -150	ビニル 【一部撤去】	75	ビニルクロス【一部撤去】 ｽﾀｰﾄﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ【一部撤去】	㊎	塩ビ【一部撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【一部撤去】	㊎	2,700	
		処置室-２	OA【一部撤去】	ビニル床タイル t=5 【一部撤去】	±0 -150	ビニル 【一部撤去】	75	ビニルクロス【一部撤去】	㊎	塩ビ【一部撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【一部撤去】	㊎	2,700	作業台L=4,850【撤去】
		診察室-５	OA	ビニル床タイル t=5 【撤去】	±0 -150	ビニル 【撤去】	75	ビニルクロス【撤去】 ｽﾀｰﾄﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ【撤去】	㊎	塩ビ【撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【撤去】	㊎	2,700	作業台L=4,850【撤去】
		診察室-６	OA	ビニル床タイル t=5 【撤去】	±0 -150	ビニル 【撤去】	75	ビニルクロス【撤去】 ｽﾀｰﾄﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ【撤去】	㊎	塩ビ【撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【撤去】	㊎	2,700	作業台L=3,172【残置】

		診察室-７	OA	ビニル床タイル t=5 【撤去】	±0 -150	ビニル 【撤去】	75	ビニルクロス【撤去】 ｽﾀｰﾄﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ【撤去】	㊎	塩ビ【撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【撤去】	㊎	2,700	
		光線浴療室	OA	ビニル床タイル t=5 【撤去】	±0 -150	ビニル 【撤去】	75	ビニルクロス【撤去】 ｽﾀｰﾄﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ【撤去】	㊎	塩ビ【撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【撤去】	㊎	2,700	
		写真室	OA	ビニル床タイル t=5 【撤去】	±0 -150	ビニル 【撤去】	75	ビニルクロス【撤去】 ｽﾀｰﾄﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ【撤去】	㊎	塩ビ【撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【撤去】	㊎	2,700	
		中待合２W (皮膚科)	OA	ビニル床タイル t=5 【一部撤去】	±0 -150	ビニル 【一部撤去】	75	ビニルクロス【一部撤去】 ｽﾀｰﾄﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ【撤去】	㊎	塩ビ【一部撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【一部撤去】	㊎	2,700	
		脱衣	NC	ビニル床シート t=2.8 【撤去】	±0 -150	ビニル 【撤去】	75	ビニルクロス 【撤去】	㊎	塩ビ【撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【撤去】	㊎	2,400	
		US	RC	ユニット 【撤去】	±0 -150	ユニット 【撤去】		ユニット 【撤去】			ユニット 【撤去】			サイズ：0812
		WC	NC	ビニル床シート t=2.8 【既存のまま】	±0 -150	ビニル 【既存のまま】	75	ビニルクロス 【既存のまま】	㊎	塩ビ【既存のまま】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【既存のまま】	㊎	2,400	
		中待合２L (形成外科)	OA【一部撤去】	ビニル床タイル t=5 【一部撤去】	±0 -150	ビニル 【一部撤去】	75	ビニルクロス 【一部撤去】	㊎	塩ビ【一部撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【既存のまま】	㊎	2,700	
		【内分泌・糖尿・腎内・外来化学療法室】												
		診察室-１～３	OA【一部撤去】	ビニル床タイル t=5 【撤去】	±0 -150	ビニル 【撤去】	75	ビニルクロス【撤去】 ｽﾀｰﾄﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ【撤去】	㊎	塩ビ【撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【撤去】	㊎	2,700	
		診察室-４A	OA【一部撤去】	ビニル床タイル t=5 【撤去】	±0 -150	ビニル 【撤去】	75	ビニルクロス【撤去】 ｽﾀｰﾄﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ【撤去】	㊎	塩ビ【撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【撤去】	㊎	2,700	
		診察室-４B	OA【一部撤去】	ビニル床タイル t=5 【撤去】	±0 -150	ビニル 【撤去】	75	ビニルクロス【撤去】 ｽﾀｰﾄﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ【撤去】	㊎	塩ビ【撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【撤去】	㊎	2,700	
		中待合２A	OA【一部撤去】	ビニル床タイル t=5 【撤去】	±0 -150	ビニル 【撤去】	75	ビニルクロス【撤去】 ｽﾀｰﾄﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ【撤去】	㊎	塩ビ【撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【撤去】	㊎	2,700	
		外来化学療法室 (受付含む)	OA【一部撤去】	ビニル床タイル t=5 【一部撤去】	±0 -150	ビニル 【一部撤去】	75	ビニルクロス【一部撤去】	㊎	塩ビ【一部撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【一部撤去】	㊎	2,700	
		外来化学療法室 (診察室４B後ろ)	OA【一部撤去】	ビニル床タイル t=5 【撤去】	±0 -150	ビニル 【撤去】	75	ビニルクロス【撤去】 ｽﾀｰﾄﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ【撤去】	㊎	塩ビ【撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【撤去】	㊎	2,700	
		処置室 (診察室８B後ろ)	OA	ビニル床タイル t=5 【既存のまま】	±0 -150	ビニル 【既存のまま】	75	ビニルクロス【既存のまま】	㊎	塩ビ【既存のまま】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【既存のまま】	㊎	2,700	
		待合ホール	NC	タイルカーペット t=5 【一部撤去】	±0 -150	磁器タイル 【一部撤去】	200	EP-2(FL+H2,140へ)【一部撤去】 木製ﾊﾟﾈﾙt=6(FL+へH2,140)【一部撤去】	㊎	木製【撤去】	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞt=8下地EP-2 【一部撤去】	㊎	2,700 ～3,600	

		HWC	OA	【既存のまま】	±0 -150	【既存のまま】		【既存のまま】		【既存のまま】	【既存のまま】			
	6階	電気室	RC		±0 ±0						躯体表し	㊎	直天	

	7階	【病棟】												
		７１３(６床)	RC	リノリウムシート t=2 【撤去】	±0 -10	ビニル 【撤去】	75	EP-2【撤去】	㊎	塩ビ【撤去】	GB-R t=12.5下地EP-2 【撤去】	㊎	2,250 ・2,600	洗面カウンター【残置】
		WC	RC	リノリウムシート t=2 【撤去】	±0 -10	ビニル 【撤去】	75	EP-2【撤去】	㊎	塩ビ【撤去】	GB-R t=12.5下地EP-2 【撤去】	㊎	2,250	畜尿自動分析ユニット【撤去】
		廊下-３	RC	リノリウムシート t=2 【一部撤去】	±0 -10	ビニル 【一部撤去】	75	クロス・塗装(FL+H1,000へ)【一部撤去】 長尺塩ビシート(FL+へH1,000)【一部撤去】		塩ビ【一部撤去】	GB-NC t=9.5下地DR t=9 【一部撤去】		2,500	

【備考】
※ 特記無き限り床下地は、既存のまま。

内部仕上表【 改修後 】

室名	床 下地	床 仕上	床 仕上レベル 躯体レベル	幅木 仕上	幅木 H	壁 仕上	壁 内装制限	廻縁	天井 仕上	天井 内装制限	天井 天井高	備考	化学物質濃度測定
【内分泌・糖尿・腎内】													
⇨ 受付２６	OA	タイルカーペット t=7 【既存のまま】	±0 -150	ビニル 【既存のまま】	75	ビニルクロス 【既存のまま】	㊎	塩ビ【既存のまま】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【既存のまま】	㊎	2,700		
⇨ 診察室-１	OA	ビニル床タイル t=5 【一部改修】	±0 -150	ビニル 【一部改修】	75	ビニルクロス【一部改修】 ｽﾀｰﾄﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ【既存のまま】	㊎	塩ビ【既存のまま】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【一部改修】	㊎	2,700		
⇨ 診察室-２～４	OA【一部新設】	ビニル床タイル t=5 【既存のまま】	±0 -150	ビニル 【既存のまま】	75	ビニルクロス【既存のまま】 ｽﾀｰﾄﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ【既存のまま】	㊎	塩ビ【既存のまま】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【既存のまま】	㊎	**2,700**	**作業台L=8,000 吊戸棚L=8,000 【残置】**	
⇨ 診察室-５	OA	ビニル床タイル t=5 【一部改修】	±0 -150	ビニル 【一部改修】	75	ビニルクロス【一部改修】 ｽﾀｰﾄﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ【一部改修】	㊎	塩ビ【一部改修】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【一部改修】	㊎	**2,700**	作業台L=8,000 吊戸棚L=8,000 【残置】	
⇨ 処置室	OA【一部新設】	ビニル床タイル t=5 【一部改修】	±0 -150	ビニル 【一部改修】	75	ビニルクロス【一部改修】	㊎	塩ビ【一部改修】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【一部改修】	㊎	2,700		1
⇨ 診察室-６	OA	ビニル床タイル t=5	±0 -150	ビニル	75	ビニルクロス ｽﾀｰﾄﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ【新設】	㊎	塩ビ	GB-NC t=9.5下地DR t=12	㊎	2,700	作業台L=3,000【新設】	
⇨ 診察室-７	OA	ビニル床タイル t=5	±0 -150	ビニル	75	ビニルクロス ｽﾀｰﾄﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ【新設】	㊎	塩ビ	GB-NC t=9.5下地DR t=12	㊎	2,700	作業台L=3,172【残置】	
⇨ 通路	OA	ビニル床タイル t=5	±0 -150	ビニル	75	ビニルクロス ｽﾀｰﾄﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ【新設】	㊎	塩ビ	GB-NC t=9.5下地DR t=12	㊎	2,700		
⇨ 診察室-８	OA	ビニル床タイル t=5	±0 -150	ビニル	75	ビニルクロス ｽﾀｰﾄﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ【新設】	㊎	塩ビ	GB-NC t=9.5下地DR t=12	㊎	2,700		1
⇨ 診察室-９	OA	ビニル床タイル t=5	±0 -150	ビニル	75	ビニルクロス ｽﾀｰﾄﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ【新設】	㊎	塩ビ	GB-NC t=9.5下地DR t=12	㊎	2,700		
⇨ 器材庫	OA	ビニル床タイル t=5	±0 -150	ビニル	75	ビニルクロス ｽﾀｰﾄﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ【新設】	㊎	塩ビ	GB-NC t=9.5下地DR t=12	㊎	2,700		
⇨ 中待合２W (内分泌・糖尿・腎内)	OA	ビニル床タイル t=5 【一部改修】	±0 -150	ビニル 【一部改修】	75	ビニルクロス【一部改修】	㊎	塩ビ【一部改修】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【一部改修】	㊎	2,700		
⇨ 汚物流し	NC OA【新設】	ビニル床シート t=2.8	±0 -150	床材立上	100	ビニルクロス	㊎	塩ビ	GB-D	㊎	2,400	OA上耐水ラワン合板15+15	

⇨ WC	NC	ビニル床シート t=2.8 【既存のまま】	±0 -150	ビニル 【既存のまま】	75	ビニルクロス 【既存のまま】	㊎	塩ビ【既存のまま】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【既存のまま】	㊎	2,400		
⇨ 中待合２L (形成外科)	OA【一部新設】	ビニル床タイル t=5 【一部改修】	±0 -150	ビニル 【一部改修】	75	ビニルクロス 【一部改修】	㊎	塩ビ【一部改修】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【既存のまま】	㊎	2,700		
【外来化学療法室】													
外来化学療法室	OA【一部新設】	ビニル床タイル t=5	±0 -150	ビニル	75	ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板t=3,H=1,000	㊎	塩ビ	GB-NC t=9.5下地DR t=12	㊎	2,700		1
スタッフステーション	OA【一部新設】	ビニル床タイル t=5	±0 -150	ビニル	75	ビニルクロス	㊎	塩ビ	GB-NC t=9.5下地DR t=12	㊎	2,700		1
WC1・２	OA【一部新設】	ビニル床シート t=2.8	±0 -150	床材立上	100	ビニルクロス	㊎	塩ビ	GB-NC t=9.5下地DR t=12	㊎	2,400	OA上耐水ラワン合板15+15	

⇨ 面談室 (診察室８B後ろ)	OA	ビニル床タイル t=5 【既存のまま】	±0 -150	ビニル 【既存のまま】	75	ビニルクロス【既存のまま】 ｽﾀｰﾄﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ【新設】	㊎	塩ビ【既存のまま】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【既存のまま】	㊎	2,700		
受付	NC	ビニル床タイル t=5 【新設】	±0 -150	ビニル 【改修】	75	ビニルクロス 【改修】	㊎	塩ビ【改修】	GB-NC t=9.5下地DR t=12 【改修】	㊎	2,700	受付カウンター【新設】	
待合ホール	NC	タイルカーペット 【一部改修】	±0 -150	磁器タイル 【一部改修】	200	EP(FL+H2,140へ)【一部改修】 WVB(不)t=6(FL+へH2,140)【一部改修】	㊎	木製【一部改修】	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞt=8下地EP-2 【一部改修】	㊎	2,700 ～3,600		
⇨ HWC	OA	【既存のまま】	±0 -150	【既存のまま】		【既存のまま】		【既存のまま】	【既存のまま】				

⇨ 電気室	RC		±0 ±0						躯体表し	㊎	直天		

【病棟】													
プレイセラピー	RC	ビニル床シート t=2.8	±0 -10	ビニル	75	ビニルクロス	㊎	塩ビ	GB-NC t=9.5下地DR t=12	㊎	2,250 ・2,600	収納棚【新設】	1

⇨ 廊下-３	RC	リノリウムシート t=2 【一部改修】	±0 -10	ビニル 【一部改修】	75	クロス・塗装(FL+H1,000へ)【一部改修】 長尺塩ビシート(FL+へH1,000)【一部改修】		塩ビ【一部改修】	GB-NC t=9.5下地DR t=9 【一部改修】		2,500	塗装：VP	

【備考】
※ 化学物質濃度測定欄の数字は箇所数字を示す。
※ 特記無き限り床下地は、既存のまま。

【内装制限 凡例】
難：難燃材料　　不：不燃材料
準：準不燃材料　　㊎：不燃材料(下地共)

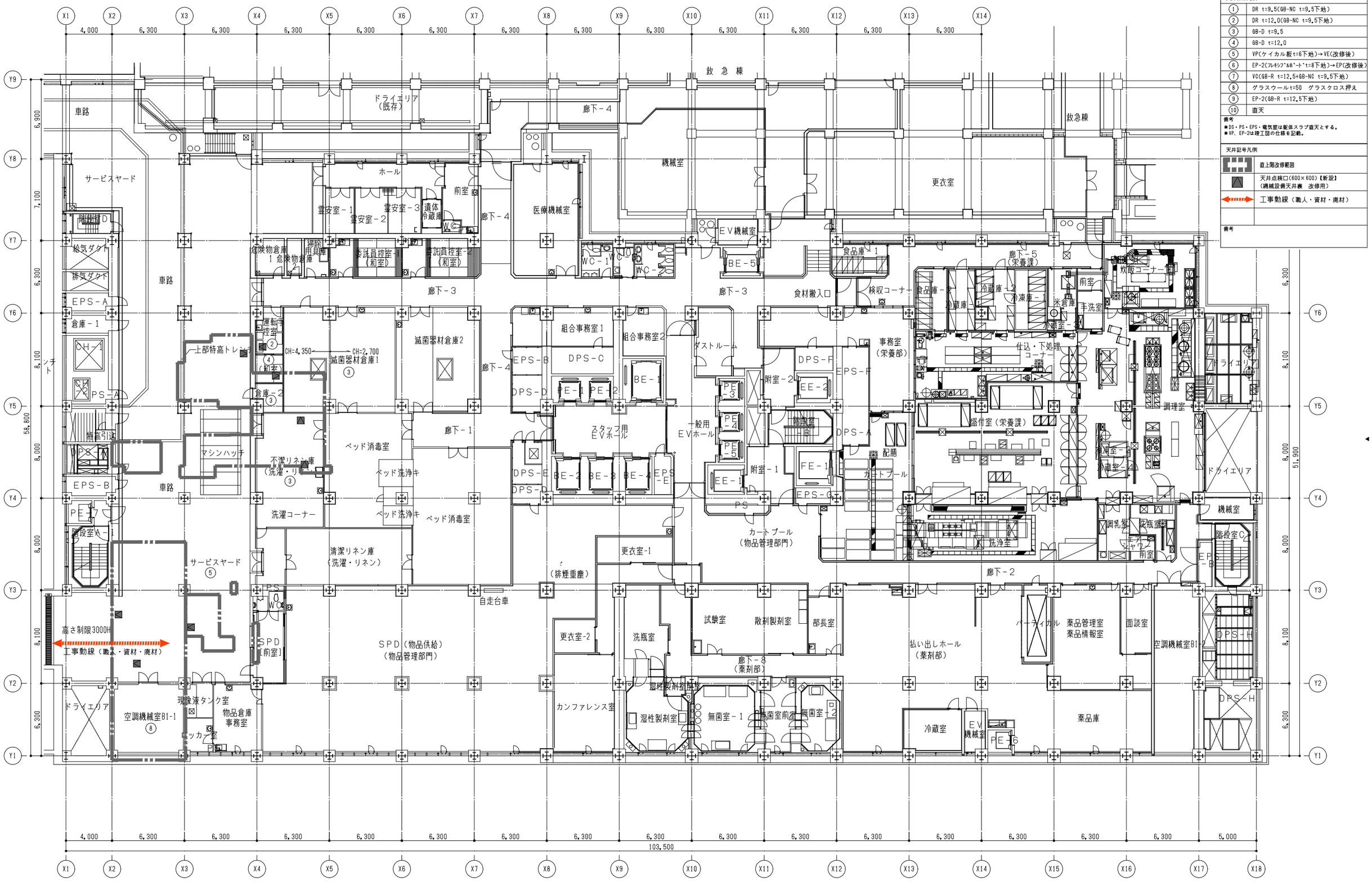
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第233442号　和田 雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地 徹実

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

仕上表(2)(改修前・改修後)

2022.03

RA－016



【凡例】

天井仕上凡例

①	DR t=9.5(GB-NC t=9.5下地)
②	DR t=12.0(GB-NC t=9.5下地)
③	GB-D t=9.5
④	GB-D t=12.0
⑤	VP(ケイカル板t=6下地)→VE(改修後)
⑥	EP-2(フレキシブルボード t=8下地)→EP(改修後)
⑦	VC(GB-R t=12.5+GB-NC t=9.5下地)
⑧	グラスウール t=50　グラスクロス押え
⑨	EP-2(GB-R t=12.5下地)
⑩	直天

備考
- DS・PS・EPS・電気室は躯体スラブ直天とする。
- VP、EP-2は竣工図の仕様を記載。

天井記号凡例

	直上階改修範囲
	天井点検口(600×600)【新設】（機械設備天井裏　改修用）
	工事動線（職人・資材・廃材）

備考

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地徹実

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

地下１階平面図・天井伏図

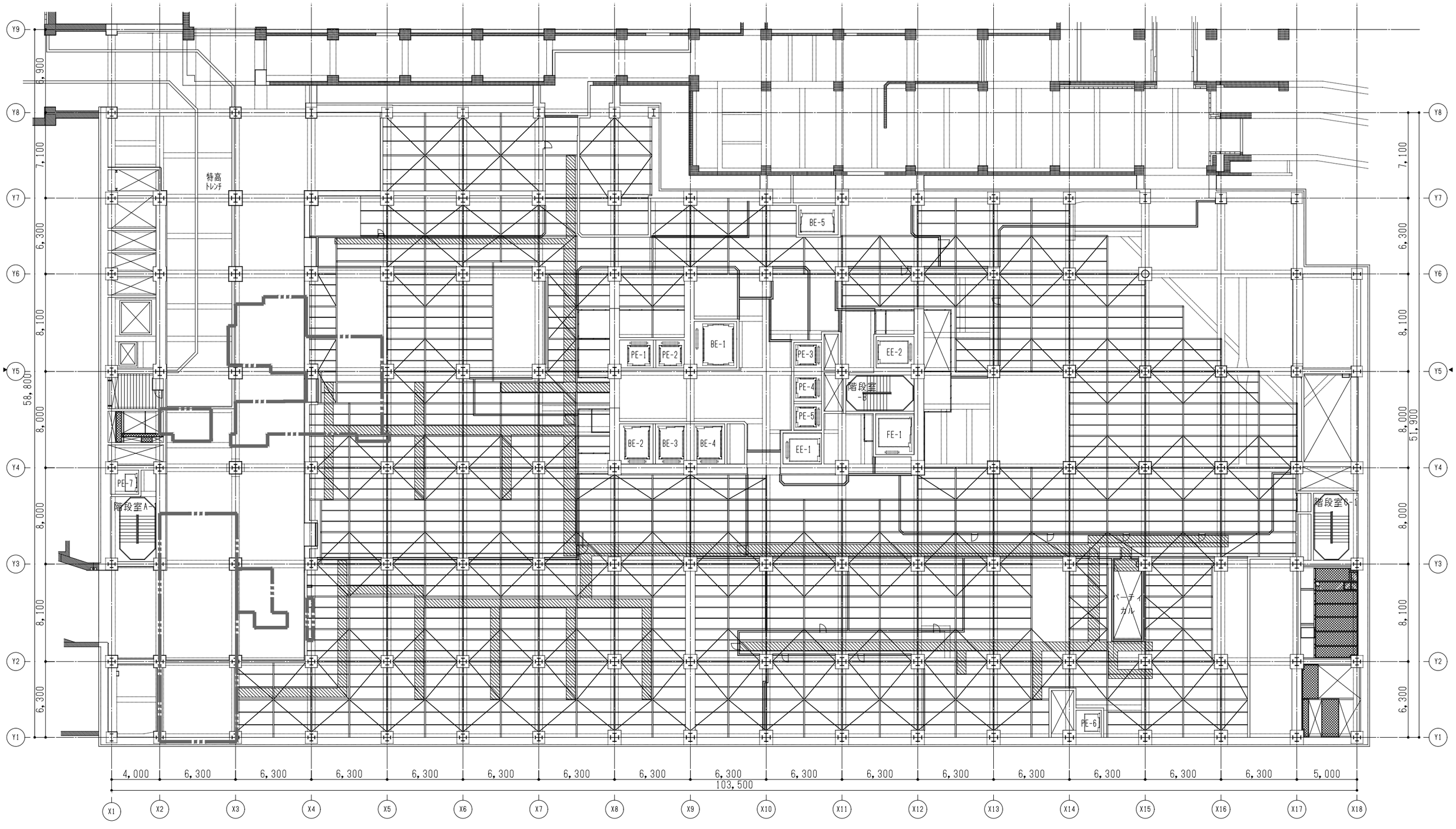
2022.03

A1：1/150
A3：1/300

RA－017

N

【凡例】	
	直上階改修範囲
	キャットウォークを示す



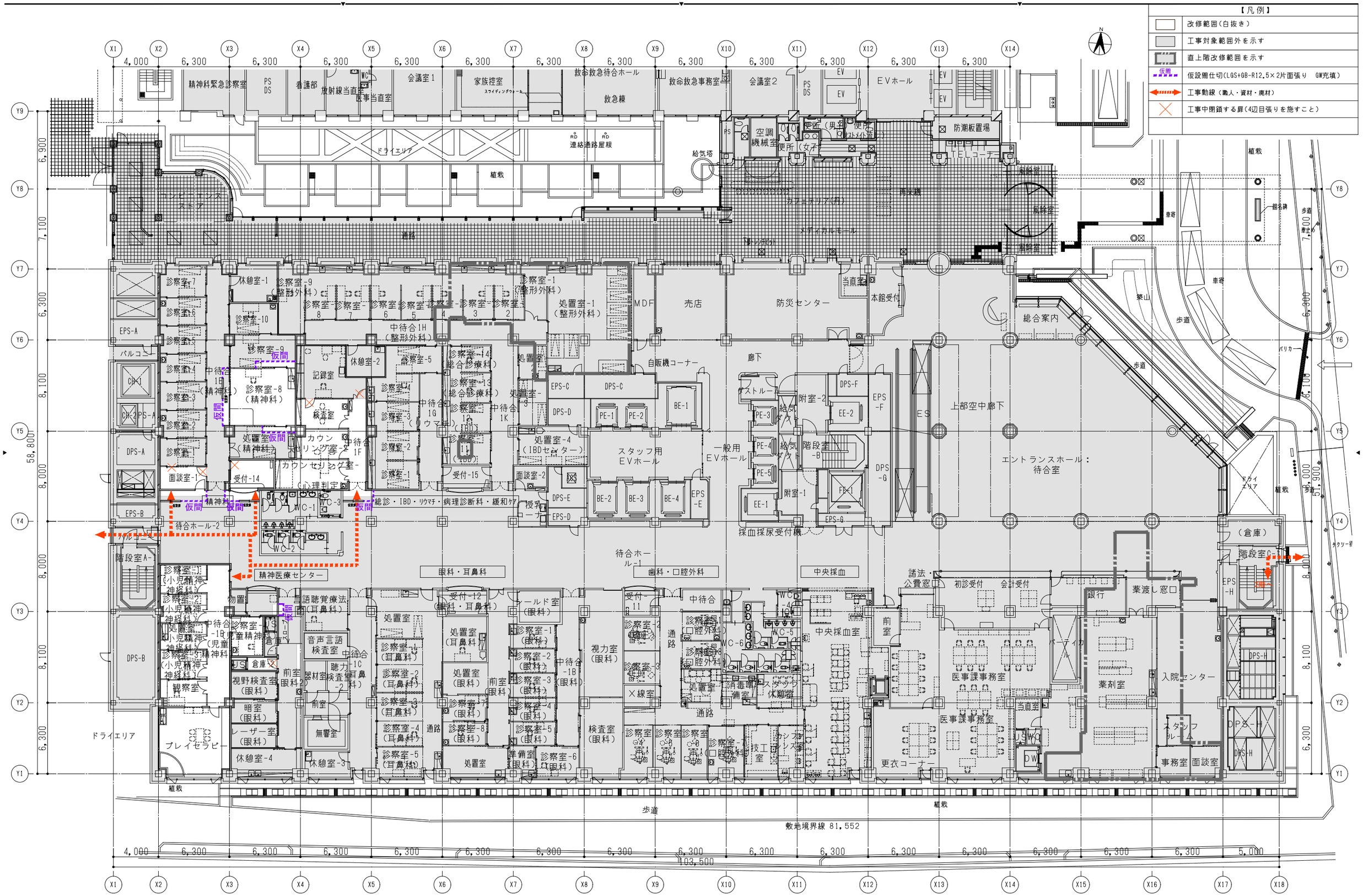
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地徹実

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RA－018
地下１階ISS平面図(既存)	A1：1/150 A3：1/300	

【凡例】

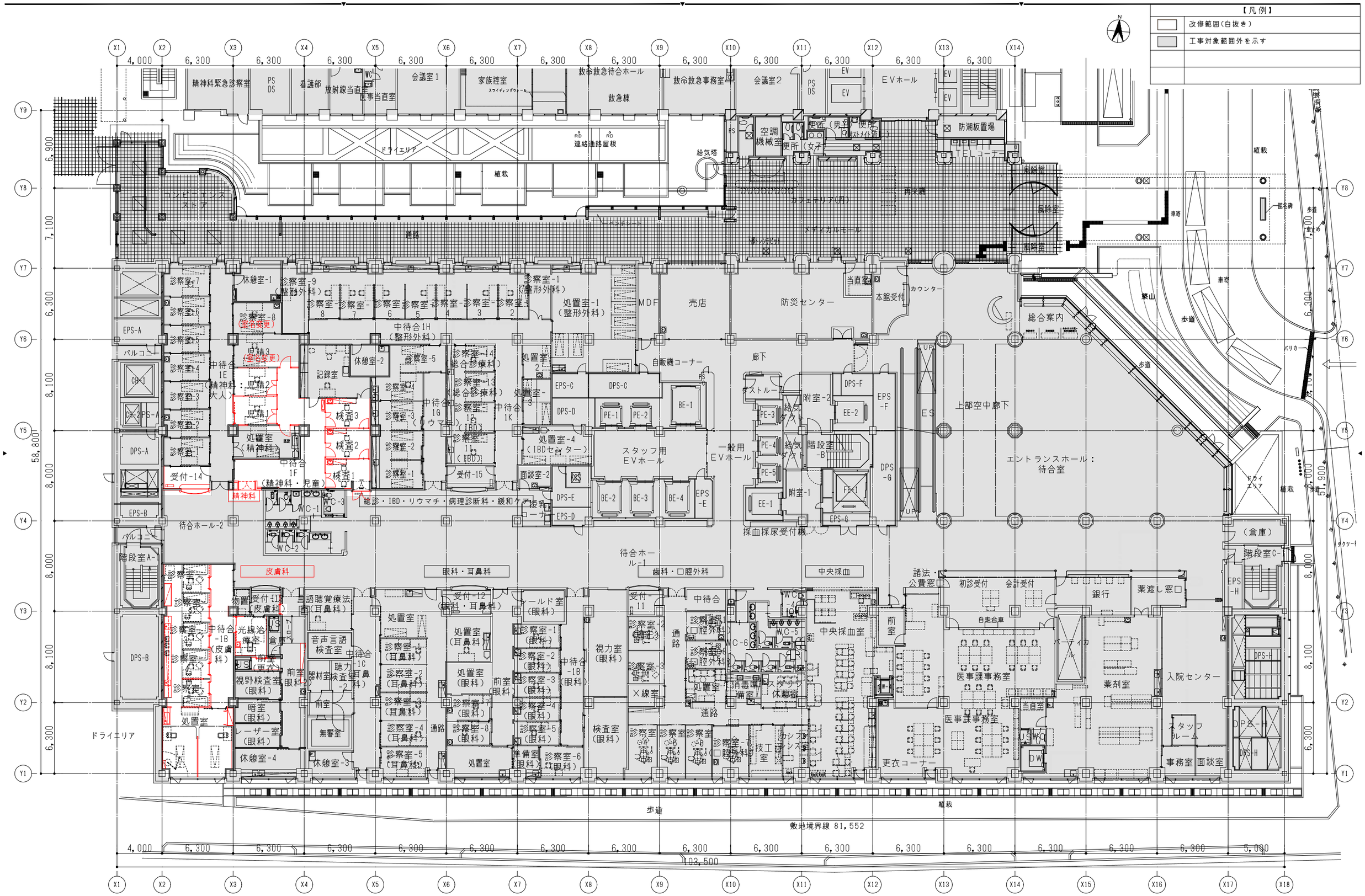
	改修範囲（白抜き）
	工事対象範囲外を示す
	直上階改修範囲を示す
仮間	仮設間仕切（LGS+GB-R12.5×2片面張り　GW充填）
	工事動線（職人・資材・廃材）
	工事中閉鎖する扉（4辺目張りを施すこと）



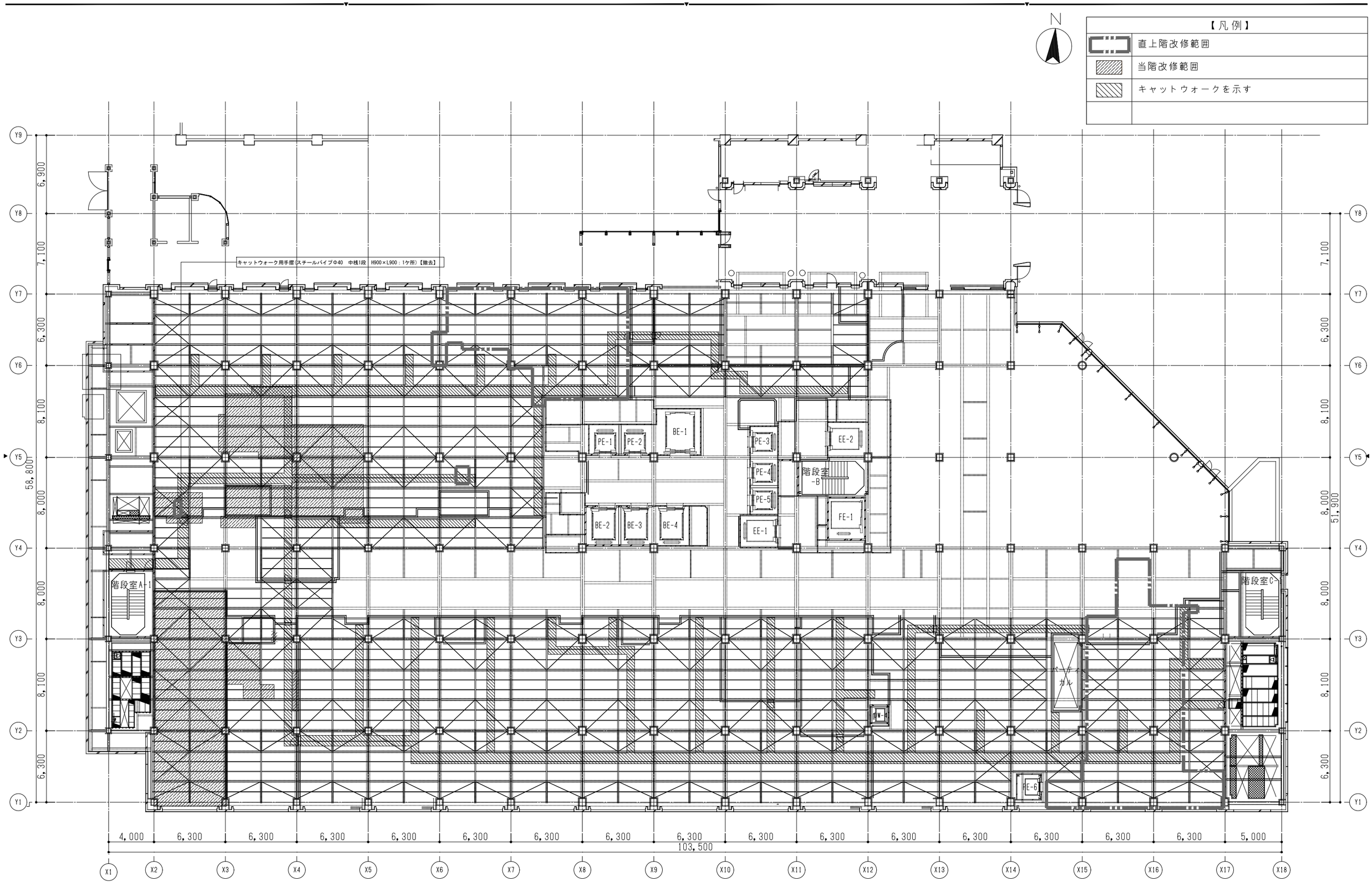
株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第233442号　和田雅彦 一級建築士登録　第226323号　菊地徹実	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事 １階平面図（改修前・仮設計画図）	2022.03 A1：1/150 A3：1/300	RA－019

【凡例】

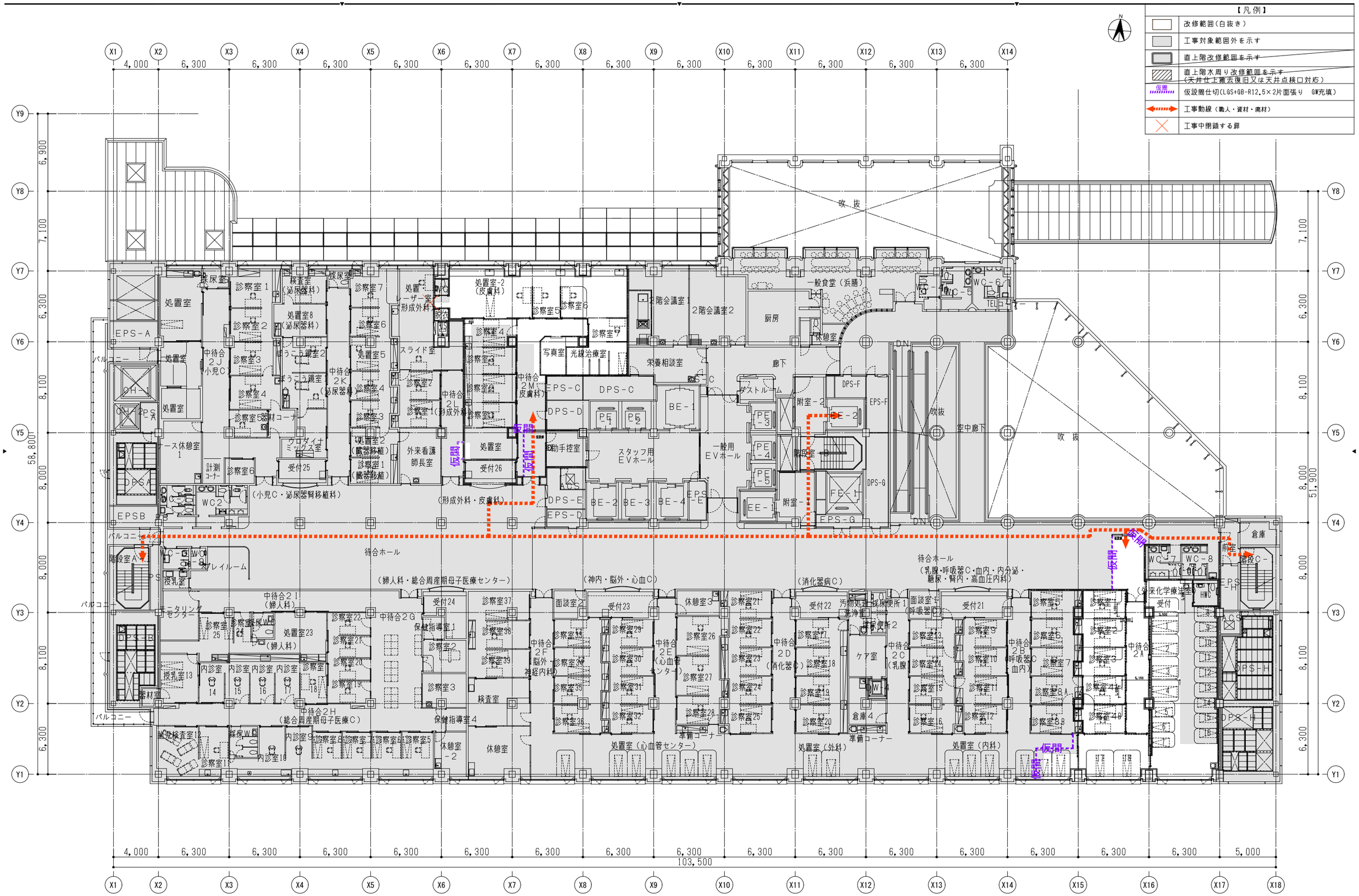
	改修範囲（白抜き）
	工事対象範囲外を示す



株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第233442号 和田雅彦 一級建築士登録 第226323号 菊地徹実	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事	2022.03
		1階平面図(改修後)	A1：1/150 A3：1/300
			RA－020

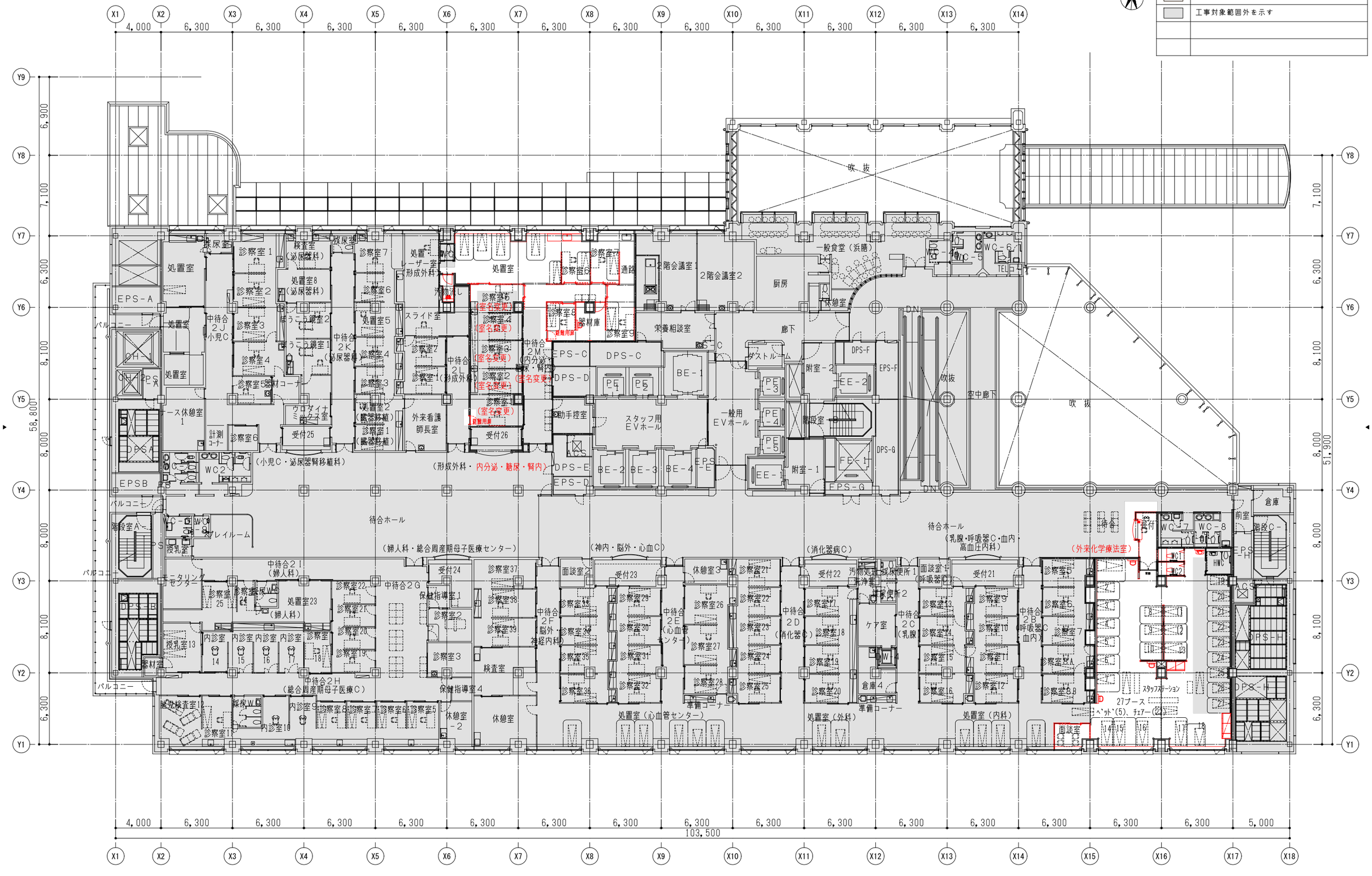


株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第233442号　一級建築士登録　第226323号 和田雅彦　菊地徹実	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事 1階ISS平面図(既存)	2022.03 A1：1/150 A3：1/300	RA－021


【凡例】
改修範囲（白抜き）
工事対象範囲外を示す
直上階改修範囲を示す
直上階水周り改修範囲を示す
（天井仕上撤去復旧又は天井点検口対応）
仮間
仮設間仕切（LGS+GB-R12.5×2片面張り　GW充填）
工事動線（職人・資材・廃材）
工事中閉鎖する扉
N
X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14
4,000 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300
Y9 Y8 Y7 Y6 Y5 Y4 Y3 Y2 Y1
6,900 7,100 6,300 8,100 8,000 8,000 8,100 6,300
58,800
51,900
103,500
5,000
吹抜
一般食堂（浜膳）
厨房
2階会議室1
2階会議室2
廊下
ダストルーム
栄養相談室
写真室
光線治療室
処置室-2（皮膚科）
レーザー室（形成外科）
スライド室
中待合2J（小児C）
中待合2K（泌尿器科）
中待合2L（形成外科）
中待合2M（皮膚科）
外来看護師長室
処置室
助手控室
スタッフ用EVホール
一般用EVホール
階段室-B
階段室-A
階段室-C
附室-1
附室-2
空中廊下
倉庫
EPS-A
EPS-B
EPS-C
EPS-D
EPS-E
EPS-F
EPS-G
EPS-H
DPS-A
DPS-B
DPS-C
DPS-D
DPS-E
DPS-F
DPS-G
DPS-H
CH-1
CH-2
PS-A
BE-1
BE-2
BE-3
BE-4
PE-1
PE-2
PE-3
PE-4
PE-5
EE-1
FE-1
ACS
DN
仮間
待合ホール
（小児C・泌尿器腎移植科）
（形成外科・皮膚科）
（婦人科・総合周産期母子医療センター）
（神内・脳外・心血C）
（消化器病C）
（乳腺・呼吸器C・血内・内分泌・糖尿・腎内・高血圧内科）
（外来化学療法センター）
中待合2I（婦人科）
中待合2G
中待合2H（総合周産期母子医療C）
中待合2F 脳外・神経内科
中待合2E（心血管センター）
中待合2D（消化器C）
中待合2C（乳腺）
中待合2B（呼吸器C 血内）
中待合2A
処置室（心血管センター）
処置室（外科）
処置室（内科）
準備コーナー
モニタリングセンター
プレイルーム
授乳室
保健指導室1
保健指導室2
保健指導室4
休憩室-2
休憩室
検査室
面談室1
面談室2
ケア室
倉庫4
汚物処理
洗浄室
採尿便所1
採尿便所2
WC-1
WC-2
WC-3
WC-4
WC-5
WC-6
WC-7
WC-8
WC-9
WC-10
WC-11
WC-12
WC-13
WC-14
WC-15
WC-16
WC-17
WC-18
WC-19
WC-20
WC-21
WC-22
WC-23
WC-24
WC-25
WC-26
WC-27
WC-28
WC-29
WC-30
WC-31
WC-32
WC-33
WC-34
WC-35
WC-36
WC-37
WC-38
WC-39
WC-40

【凡例】

	改修範囲（白抜き）
	工事対象範囲外を示す

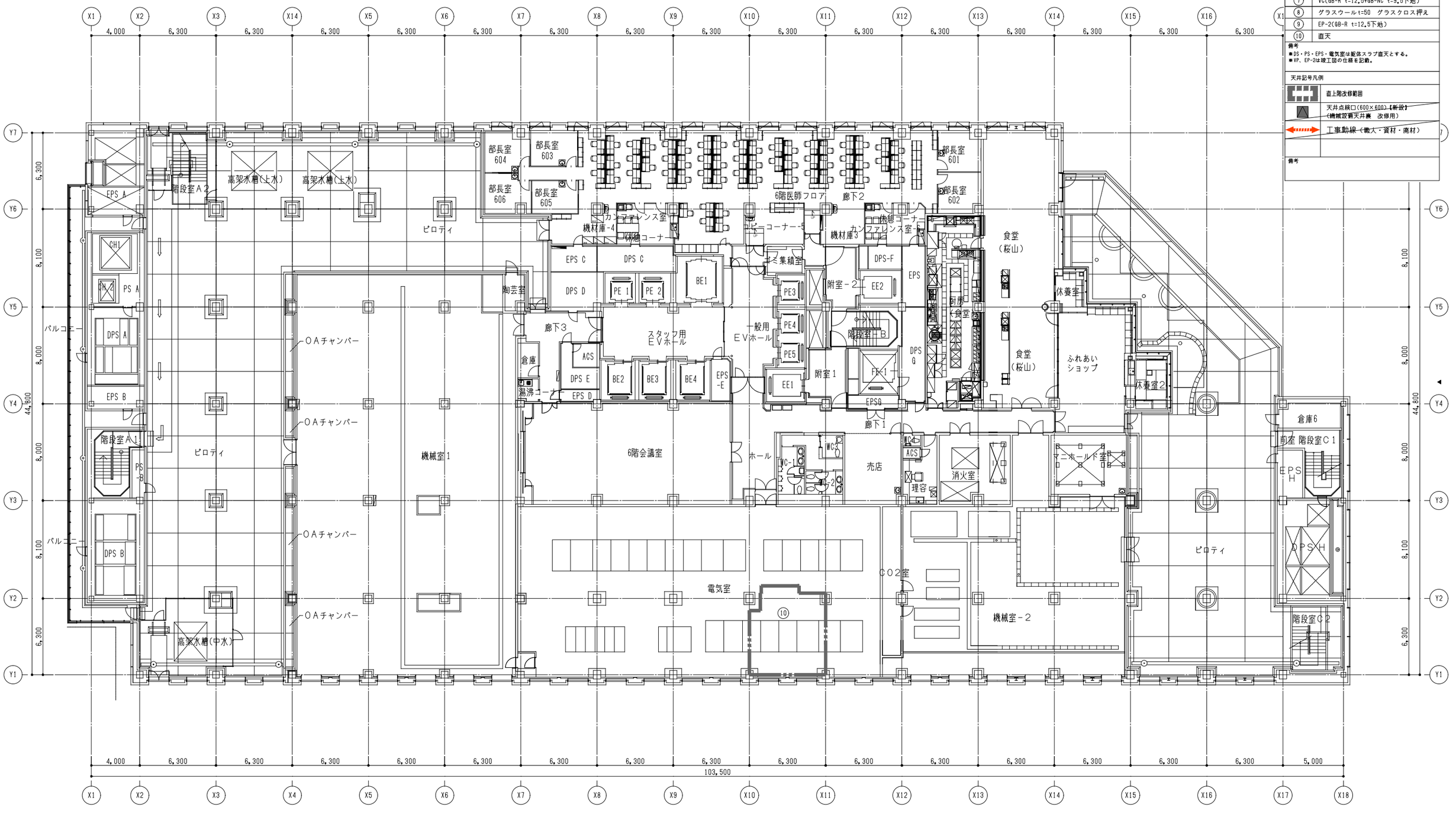


株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第233442号 和田 雅彦 / 一級建築士登録 第226323号 菊地 徹実	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事	2022.03
		２階平面図(改修後)	A1：1/150 A3：1/300
			RA－023

【凡例】	
	当階改修範囲
	キャットウォークを示す



株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第233442号 和田雅彦 / 一級建築士登録 第226323号 菊地徹実	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RA－024
		2階ISS平面図(既存)	A1：1/150 A3：1/300	



【凡例】

天井仕上凡例	
①	DR t=9.5(GB-NC t=9.5下地)
②	DR t=12.0(GB-NC t=9.5下地)
③	GB-D t=9.5
④	GB-D t=12.0
⑤	VP(ケイカル板t=6下地)→VE(改修後)
⑥	EP-2(フレキシブルボード t=8下地)→EP(改修後)
⑦	VC(GB-R t=12.5+GB-NC t=9.5下地)
⑧	グラスウール t=50　グラスクロス押え
⑨	EP-2(GB-R t=12.5下地)
⑩	直天

備考
- DS・PS・EPS・電気室は躯体スラブ直天とする。
- VP、EP-2は竣工図の仕様を記載。

天井記号凡例

	直上階改修範囲
	天井点検口(600×600)【新設】 (機械設備天井裏　改修用)
	工事動線(搬入・資材・廃材)

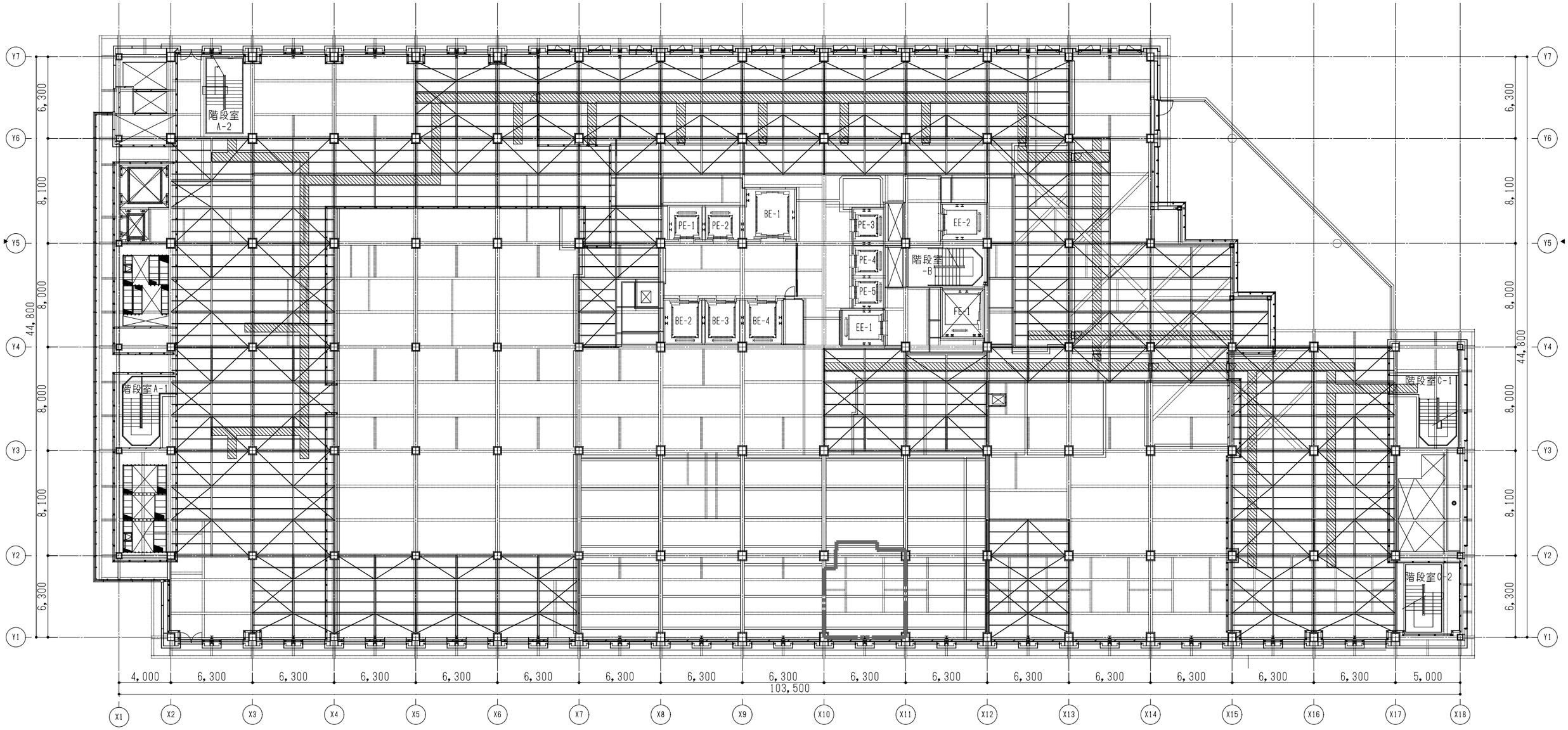
備考

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地徹実

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RA－025
6階平面図(既存)	A1：1/150 A3：1/300	

N

【凡例】	
	直上階改修範囲
	キャットウォークを示す



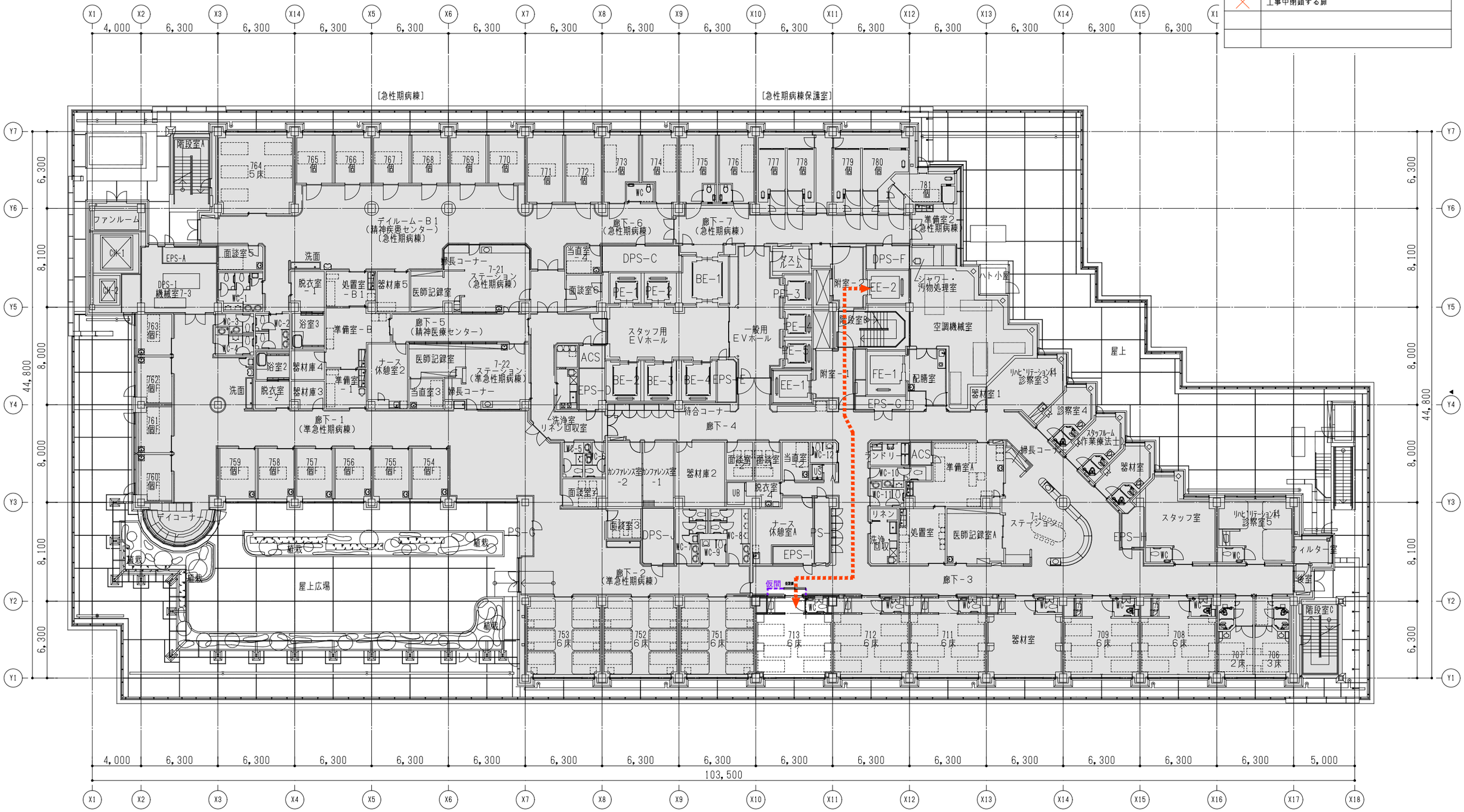
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田 雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地 徹実

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RA － 026
6階ISS平面図(既存)	A1：1/150 A3：1/300	

【凡例】

	改修範囲（白抜き）
	工事対象範囲外を示す
仮囲	仮設間仕切(LGS+GB-R12.5×2片面張り　GW充填)
	工事動線（職人・資材・廃材）
	工事中閉鎖する扉



株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第233442号　和田 雅彦 一級建築士登録　第226323号　菊地 徹実	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事	2022. 03
		7階平面図(改修前・仮設計画図)	A1：1/150 A3：1/300
			RA－027

【凡例】

	改修範囲（白抜き）
	工事対象範囲外を示す

N

X1 4,000 / X2 6,300 / X3 6,300 / X4 6,300 / X5 6,300 / X6 6,300 / X7 6,300 / X8 6,300 / X9 6,300 / X10 6,300 / X11 6,300 / X12 6,300 / X13 6,300 / X14 6,300 / X15 6,300 / X16 6,300 / X17 6,300 / X18 5,000

Y7 6,300 / Y6 8,100 / Y5 8,000 / Y4 44,800 / Y3 8,100 / Y2 8,100 / Y1 6,300

［急性期病棟］

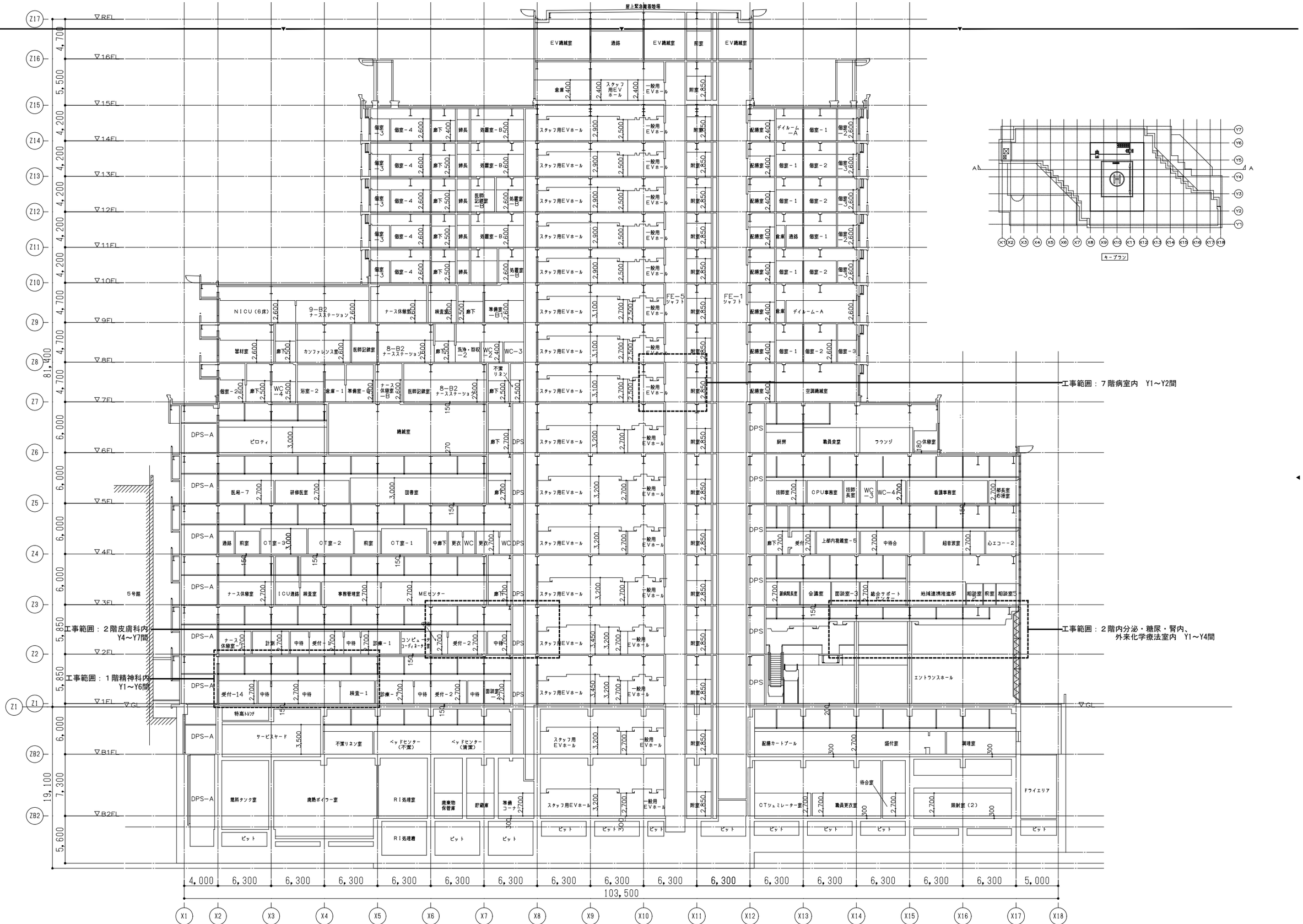
［急性期病棟保護室］

階段室A
764 5床
765個 766個 767個 768個 769個 770個 771個 772個 773個 774個 775個 776個 777個 778個 779個 780個 781個
WC
デイルーム－B1（精神疾患センター）（急性期病棟）
廊下－6（急性期病棟）
廊下－7（急性期病棟）
準備室2（急性期病棟）
ファンルーム
CK-1
CK-2
EPS-A
DPS-1 機械室7-3
面談室5
洗面
脱衣室－1
処置室－B1
器材室5
婦長コーナー
7-21 ステーション（急性期病棟）
医師記録室
当直室－1
面談室6
DPS-C
PE-1
PE-2
BE-1
ダストルーム
PE-3
PE-4
PE-5
PE-6
附室－2
EE-2
DPS-F
シャワー・汚物処理室
ハト小屋
階段室B
空調機械室
763個
WC-3
WC-4
WC-2
浴室3
準備室－B
廊下－5（精神医療センター）
スタッフ用EVホール
一般用EVホール
762個
浴室2
器材室4
ナース休憩室2
医師記録室
7-22 ステーション（準急性期病棟）
ACS
BE-2
BE-3
BE-4
EPS-E
附室－1
FE-1
配膳室
リハビリテーション科診察室3
屋上
洗面
脱衣室－2
器材室3
準備室－1
当直室3
婦長コーナー
EE-1
EPS-G
器材室1
診察室4
761個
廊下－1（準急性期病棟）
洗浄室
リネン回収室
特合コーナー
廊下－4
スタッフルーム（作業療法士）
760個
759個F 758個F 757個F 756個F 755個F 754個F
WC-5
WC-6
カンファレンス室-2
カンファレンス室-1
器材室2
面談室1
面談室2
当直室2
WC-12
UB
脱衣室4
ランドリー
ACS
WC-10
WC-11
準備室A
婦長コーナー
器材室
スタッフ室
リハビリテーション科診察室5
面談室3
DPS-J
WC-7
WC-9
WC-8
ナース休憩室A
PS-I
EPS-I
リネン
洗浄
回収
処置室
医師記録室A
ステーション
EPS-H
WC
フィルター室
後室
デイコーナー
植栽
屋上広場
廊下－2（準急性期病棟）
廊下－3
753 6床
752 6床
751 6床
プレイセラピー
712 6床
711 6床
710 6床
709 6床
708 6床
707 2床
706 3床
階段室C

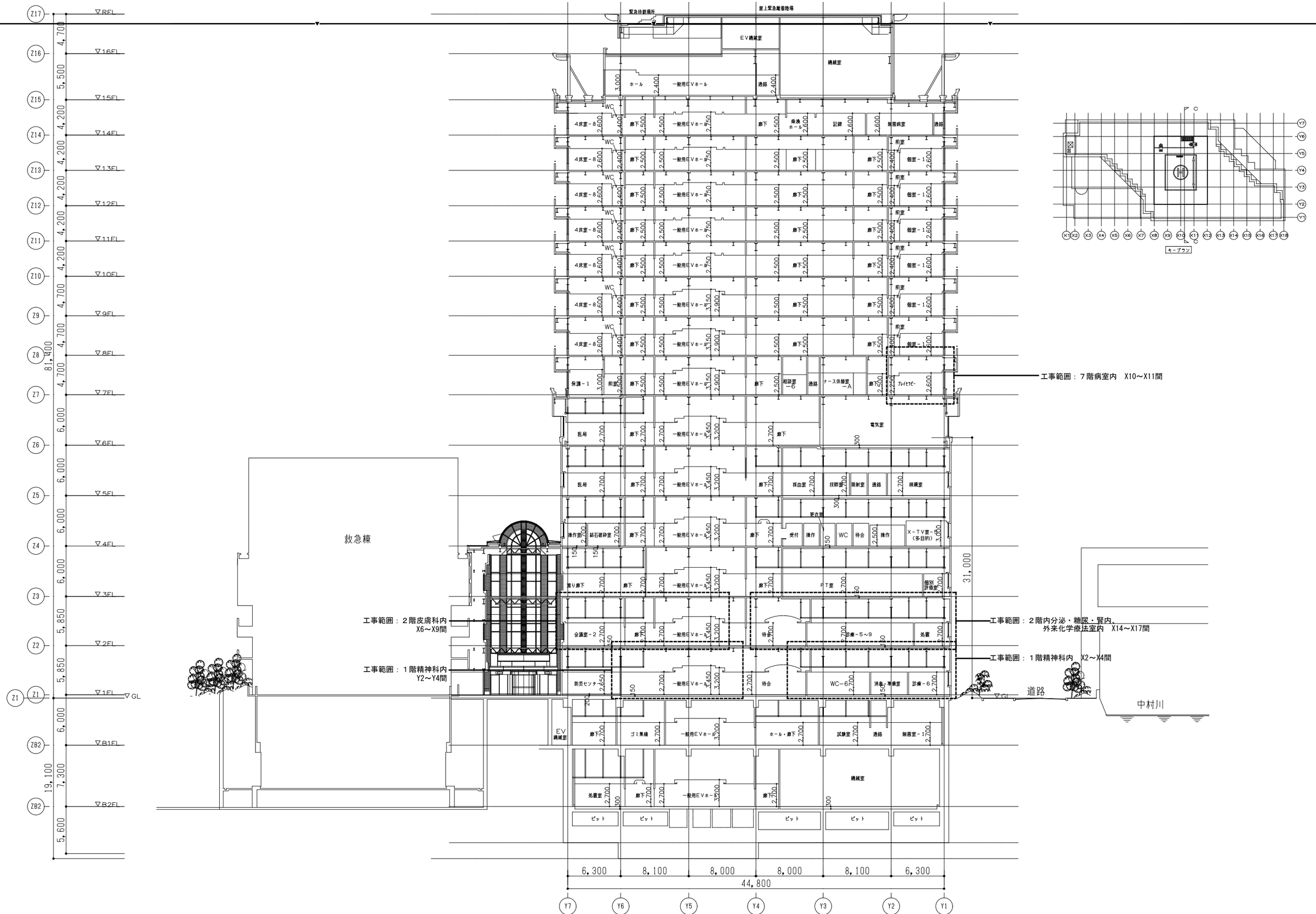
X1 4,000 / X2 6,300 / X3 6,300 / X4 6,300 / X5 6,300 / X6 6,300 / X7 6,300 / X8 6,300 / X9 6,300 / X10 6,300 / X11 6,300 / X12 6,300 / X13 6,300 / X14 6,300 / X15 6,300 / X16 6,300 / X17 6,300 / X18 5,000

103,500

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第233442号 和田雅彦 / 一級建築士登録 第226323号 菊地徹実	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RA－028
		7階平面図（改修後）	A1：1/150 A3：1/300	



株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第233442号　和田雅彦　／　一級建築士登録　第226323号　菊地徹実	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事	2022.03
		断面図（１）	A1：1/200 A3：1/400
			RA－029



株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第233442号 和田雅彦 / 一級建築士登録 第226323号 菊地徹実	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事	2022.03
		断面図（２）	A1：1/200 A3：1/400
			RA－030



雑符号凡例

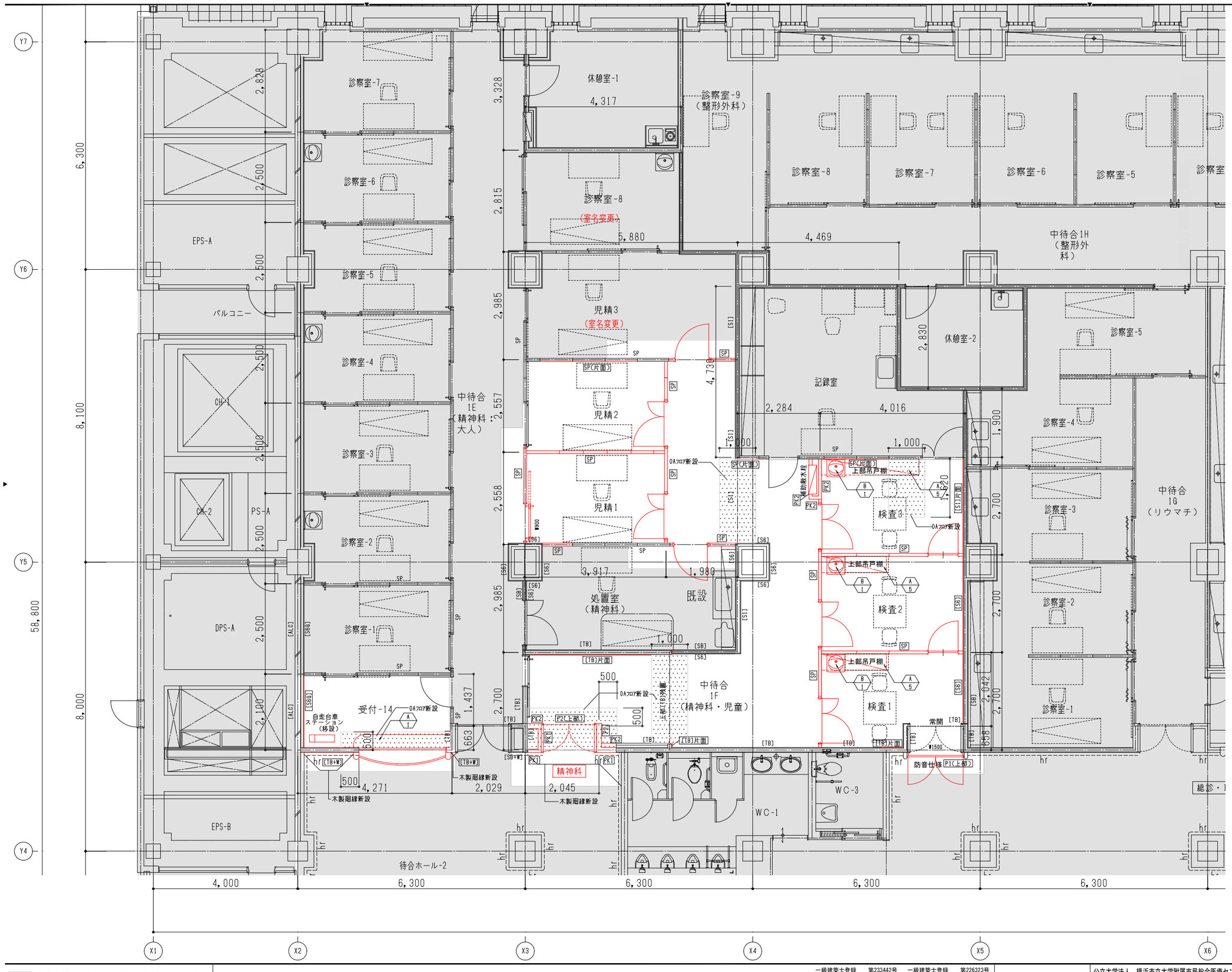
D XX	既存雑【撤去】		

記号凡例		詳細記号	撤去表示
一般間仕切壁	壁符号		
コンクリート[柱・壁] [内壁(GL壁:DS,PS,EPSは除く)、 外壁面(断熱材t15+GL壁)]			符号
スチールパーティション	SP		
コーナーガード(塩ビ)			
コーナーガード(塩ビ)			
コーナーガード(MVB用)			
ピクチャーレール	Pr		
カーテンレール	Cr		Cr
点滴レール	Tr		
壁付手摺(1段)	hr		hr
白抜範囲を工事対象範囲とする			
工事対象範囲外を示す			
仮設間仕切	仮間		
工事中閉鎖する扉			
仮設扉	仮設扉		

特記事項

・壁符号：囲いのない壁符号、[ ]の壁符号は、既存壁を示す。
壁符号：[ ]で囲った壁符号は、今回新設する壁を示す。
・仮設間仕切の仕様はPK16、仮設扉はアルミ製(W=1,800×H=2,000)
・既存間仕切撤去(軽量鉄骨壁、RC壁)に伴いコンクリート床取合い部は目荒しの上、無収縮モルタル(t10)にて補修のこと。

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第233442号 和田雅彦 / 一級建築士登録 第226323号 菊地徹実	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RA－031
		1階平面詳細図(精神科)(改修前)	A1：1/50 A3：1/100	



雑符号凡例

C xx	雑【新設】		※符号下部に内容を記載

記号凡例	壁符号	詳細記号	新設表示
一般開仕切壁			
コンクリート[柱・壁]〔内壁(GL壁:DS,PS,EPSは除く)、外壁面(断熱材t15+GL壁)〕			既存
スチールパーティション	SP		
コーナーガード(塩ビ)		C-9b	
コーナーガード(塩ビ)		C-9a	
コーナーガード(MVB用)			
ピクチャーレール	Pr		[Pr]
カーテンレール	Cr	C-8	[Cr]
点滴レール	Tr		
壁付手摺(1段)	hr	C-7	[hr]
白抜範囲を工事対象範囲とする			
工事対象範囲外を示す			

特記事項

・壁符号：囲いのない壁符号、[ ]の壁符号は、既存壁を示す。
壁符号：□で囲った壁符号は、今回新設する壁を示す。

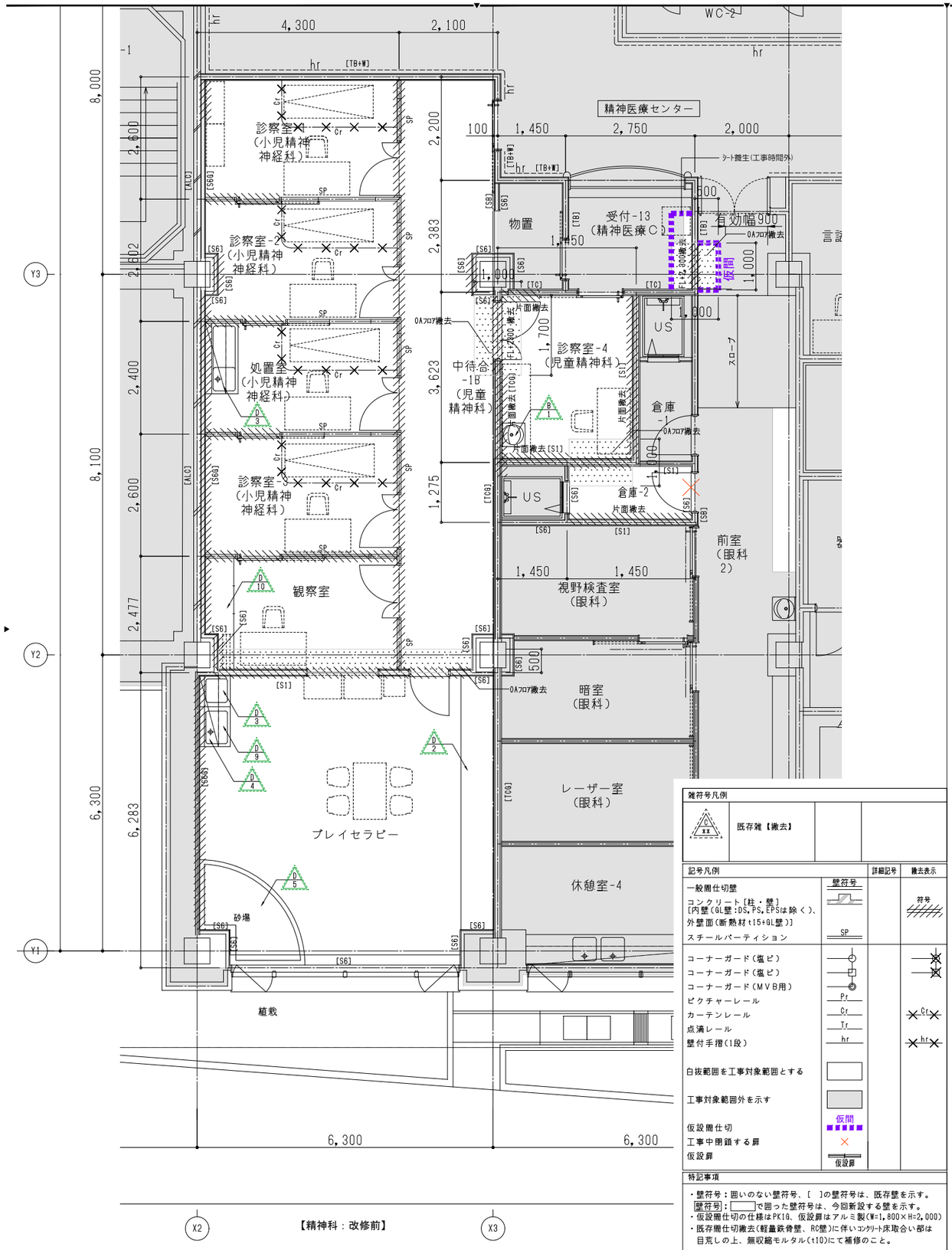
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録 第233442号 和田雅彦
一級建築士登録 第226323号 菊地徹実

公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

1階平面詳細図(精神科)(改修後)

2022.03
A1：1/50
A3：1/100

RA－032



【精神科：改修前】

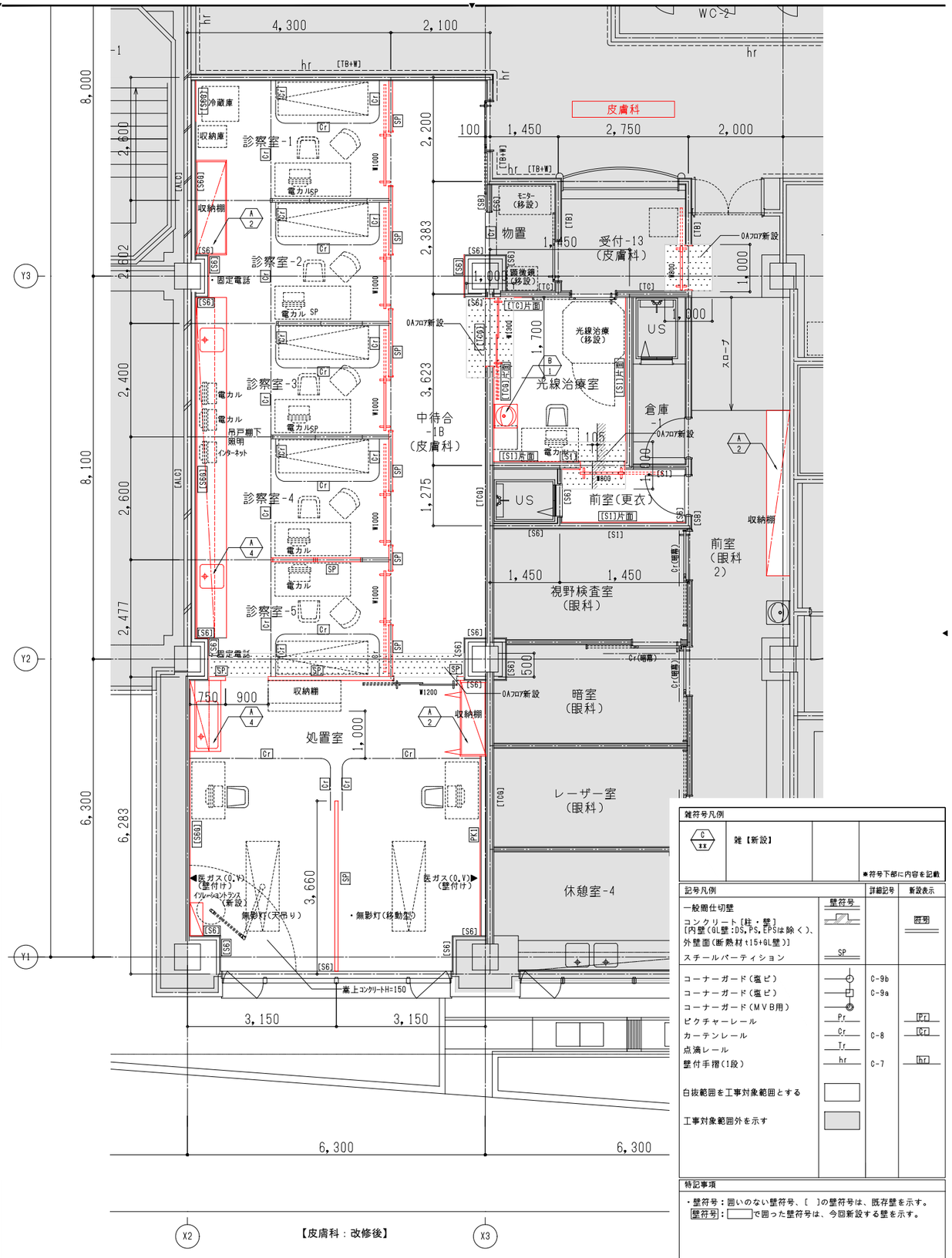
雑符号凡例

C xx	既存雑【撤去】		

記号凡例	壁符号	詳細記号	撤去表示
一般間仕切壁			
コンクリート[柱・壁] [内壁(GL壁:DS,PS,EPSは除く)、 外壁面(断熱材t15+GL壁)]			符号
スチールパーティション	SP		
コーナーガード(塩ビ)			
コーナーガード(塩ビ)			
コーナーガード(MVB用)			
ピクチャーレール	Pr		
カーテンレール	Cr		Cr
点滴レール	Tr		
壁付手摺(1段)	hr		hr
白抜範囲を工事対象範囲とする			
工事対象範囲外を示す			
仮設間仕切	仮間		
工事中閉鎖する扉	×		
仮設扉	仮設扉		

特記事項

・壁符号：囲いのない壁符号、[ ]の壁符号は、既存壁を示す。
壁符号：□で囲った壁符号は、今回新設する壁を示す。
・仮設間仕切の仕様はPK10、仮設扉はアルミ製(W=1,800×H=2,000)
・既存間仕切撤去(軽量鉄骨壁、RC壁)に伴いコンクリート床取合い部は目荒しの上、無収縮モルタル(t10)にて補修のこと。



【皮膚科：改修後】

雑符号凡例

C xx	雑【新設】		※符号下部に内容を記載

記号凡例	壁符号	詳細記号	新設表示
一般間仕切壁			
コンクリート[柱・壁] [内壁(GL壁:DS,PS,EPSは除く)、 外壁面(断熱材t15+GL壁)]			符号
スチールパーティション	SP		
コーナーガード(塩ビ)		C-9b	
コーナーガード(塩ビ)		C-9a	
コーナーガード(MVB用)			
ピクチャーレール	Pr		Pr
カーテンレール	Cr	C-8	Cr
点滴レール	Tr		
壁付手摺(1段)	hr	C-7	hr
白抜範囲を工事対象範囲とする			
工事対象範囲外を示す			

特記事項

・壁符号：囲いのない壁符号、[ ]の壁符号は、既存壁を示す。
壁符号：□で囲った壁符号は、今回新設する壁を示す。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

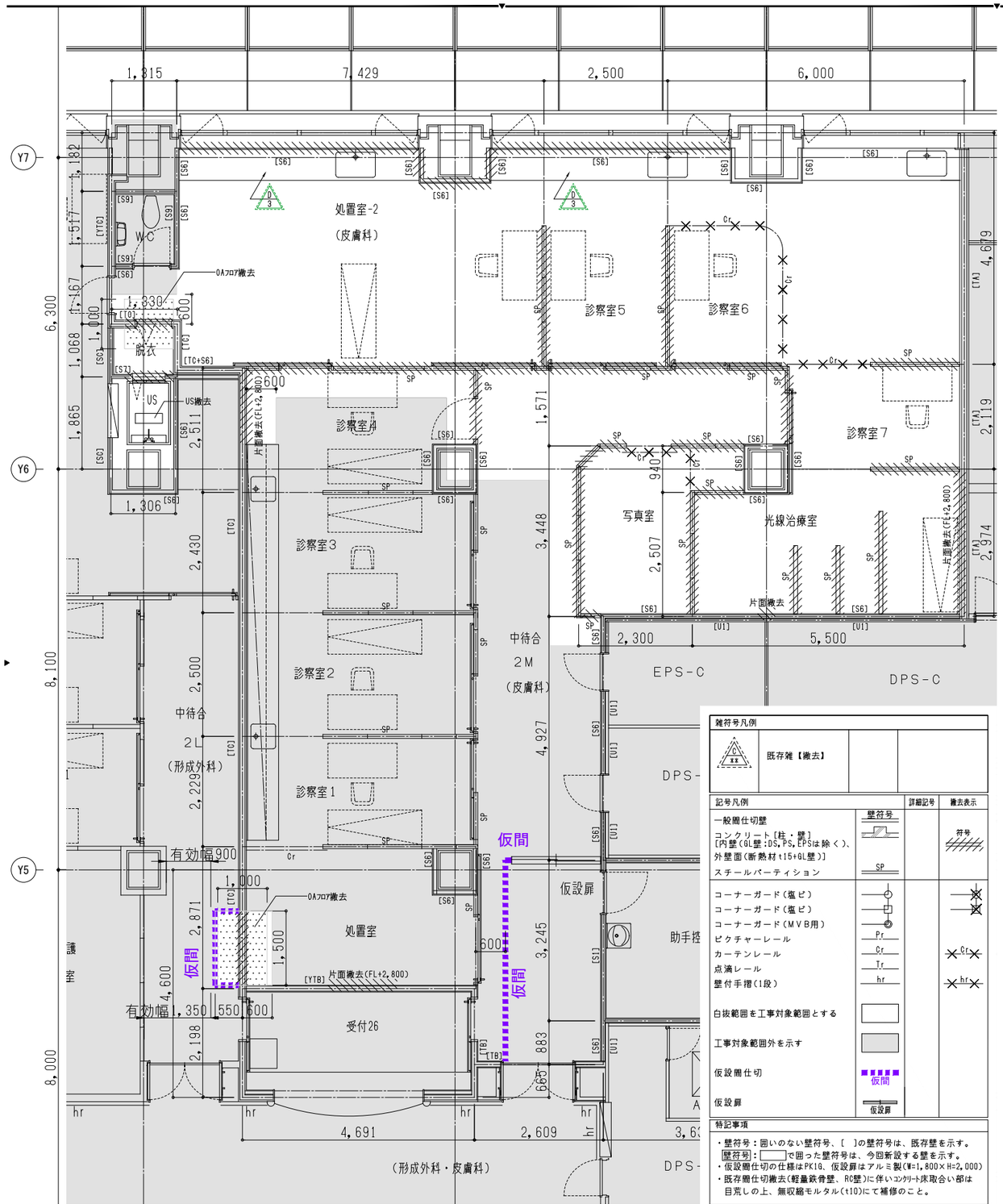
一級建築士登録 第233442号 和田雅彦
一級建築士登録 第226323号 菊地徹実

公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

1階平面詳細図(精神科：改修前)・(皮膚科：改修後)

2022.03
A1：1/50
A3：1/100

RA－033

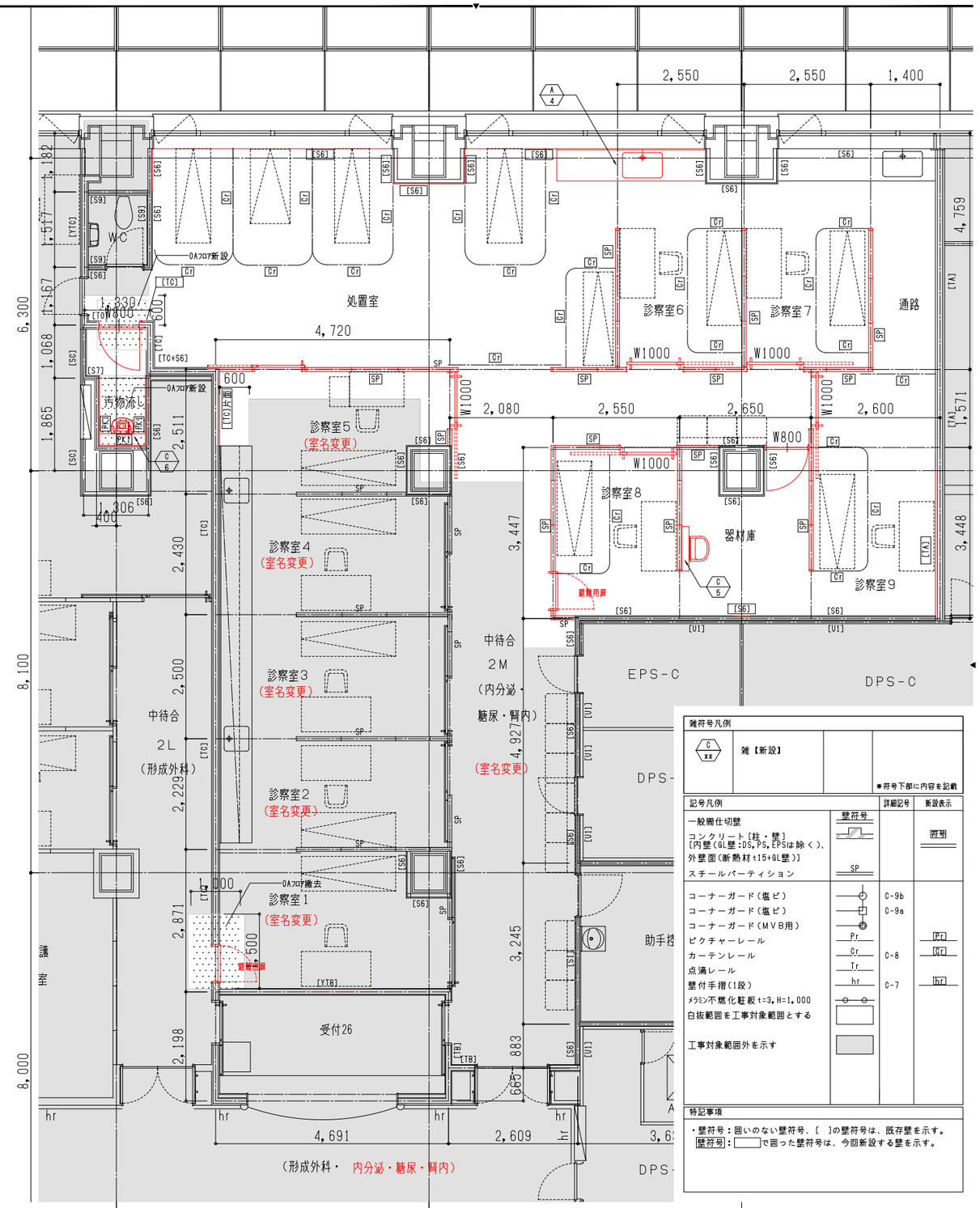


雑符号凡例			
XX	既存雑【撤去】		

記号凡例	壁符号	詳細記号	撤去表示
一般間仕切壁			
コンクリート[柱・壁] [内壁(GL壁:DS,PS,EPSは除く)、 外壁面(断熱材t15+GL壁)]			符号
スチールパーティション	SP		
コーナーガード(塩ビ)			
コーナーガード(塩ビ)			
コーナーガード(MVB用)			
ピクチャーレール	Pr		
カーテンレール	Cr		Cr
点滴レール	Tr		
壁付手摺(1段)	hr		hr
白抜範囲を工事対象範囲とする			
工事対象範囲外を示す			
仮設間仕切	仮間		
仮設扉	仮設扉		

特記事項

・壁符号：囲いのない壁符号、[ ]の壁符号は、既存壁を示す。
壁符号：□で囲った壁符号は、今回新設する壁を示す。
・仮設間仕切の仕様はPK10、仮設扉はアルミ製(W=1,800×H=2,000)
・既存間仕切撤去(軽量鉄骨壁、RC壁)に伴いｺﾝｸﾘｰﾄ床取合い部は目荒しの上、無収縮モルタル(t10)にて補修のこと。



雑符号凡例			
XX	雑【新設】		※符号下部に内容を記載

記号凡例	壁符号	詳細記号	新設表示
一般間仕切壁			
コンクリート[柱・壁] [内壁(GL壁:DS,PS,EPSは除く)、 外壁面(断熱材t15+GL壁)]			囲羽
スチールパーティション	SP		
コーナーガード(塩ビ)		C-9b	
コーナーガード(塩ビ)		C-9a	
コーナーガード(MVB用)			
ピクチャーレール	Pr		[Pr]
カーテンレール	Cr	C-8	[Cr]
点滴レール	Tr		
壁付手摺(1段)	hr	C-7	[hr]
ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板 t=3,H=1,000			
白抜範囲を工事対象範囲とする			
工事対象範囲外を示す			

特記事項

・壁符号：囲いのない壁符号、[ ]の壁符号は、既存壁を示す。
壁符号：□で囲った壁符号は、今回新設する壁を示す。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地徹実

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事		2022.03	RA－034
2階平面詳細図(皮膚科)(改修前)(改修後)		A1：1/50 A3：1/100	



雑符号凡例

XX	既存雑【撤去】		

記号凡例		詳細記号	撤去表示
一般間仕切壁	壁符号		
コンクリート【柱・壁】 【内壁（GL壁：DS,PS,EPSは除く）、 外壁面（断熱材t15+GL壁）】			符号
スチールパーティション	SP		
コーナーガード（塩ビ）			
コーナーガード（塩ビ）			
コーナーガード（ＭＶＢ用）			
ピクチャーレール	Pr		
カーテンレール	Cr		Cr
点滴レール	Tr		
壁付手摺（1段）	hr		hr
白抜範囲を工事対象範囲とする			
工事対象範囲外を示す			
仮設間仕切	仮間		
仮設扉	仮設扉		

特記事項

・壁符号：囲いのない壁符号、［ ］の壁符号は、既存壁を示す。
壁符号：□で囲った壁符号は、今回新設する壁を示す。
・仮設間仕切の仕様はPK10、仮設扉はアルミ製(W=1,800×H=2,000)
・既存間仕切撤去(軽量鉄骨壁、RC壁)に伴いｺﾝｸﾘｰﾄ床取合い部は
目荒しの上、無収縮モルタル(t10)にて補修のこと。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地徹実

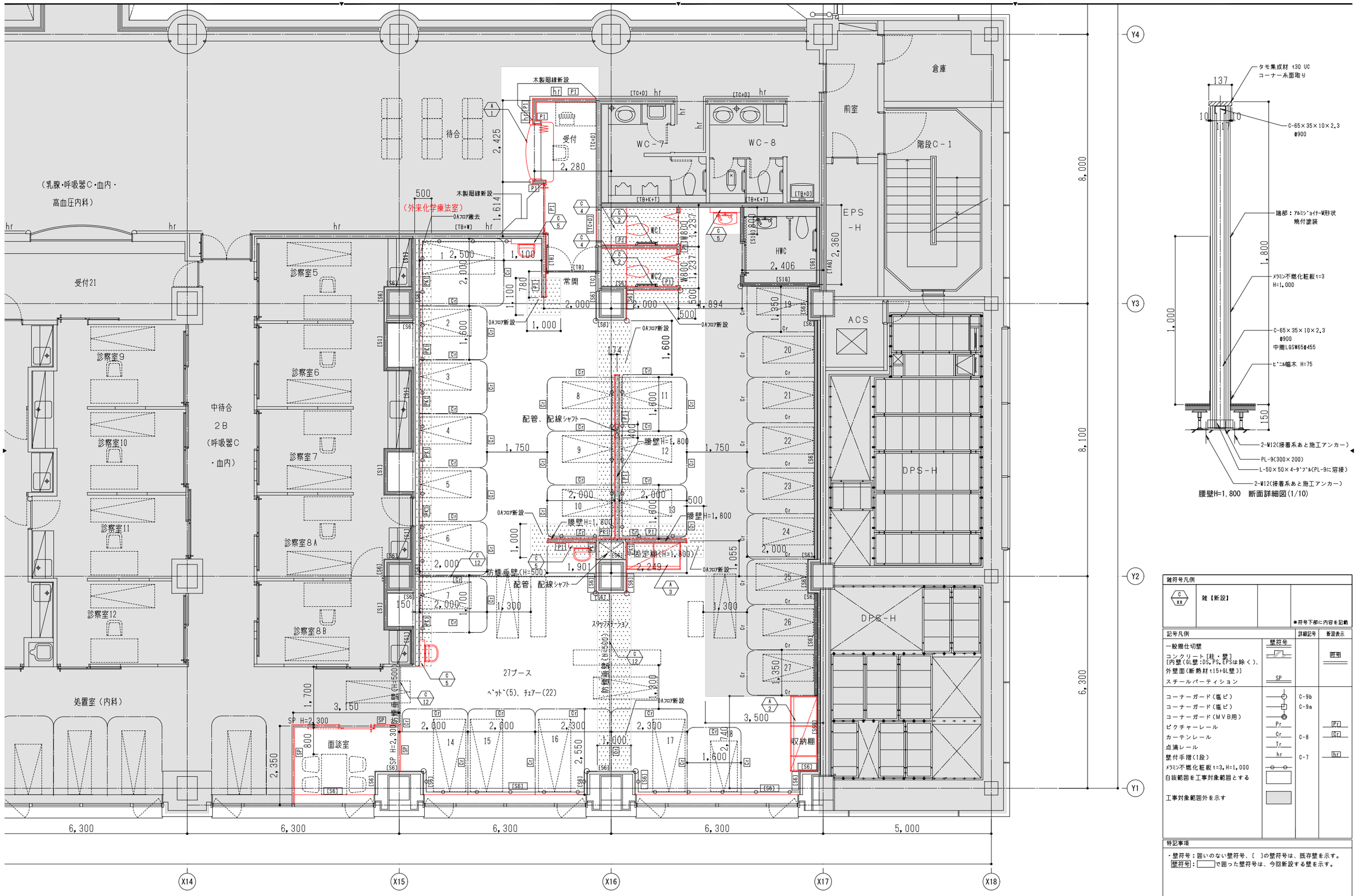
公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

２階平面詳細図（内分泌・糖尿・腎内、外来化学療法室）（改修前）

2022.03

A1：1/50
A3：1/100

RA－035



腰壁H=1,800　断面詳細図(1/10)

雑符号凡例

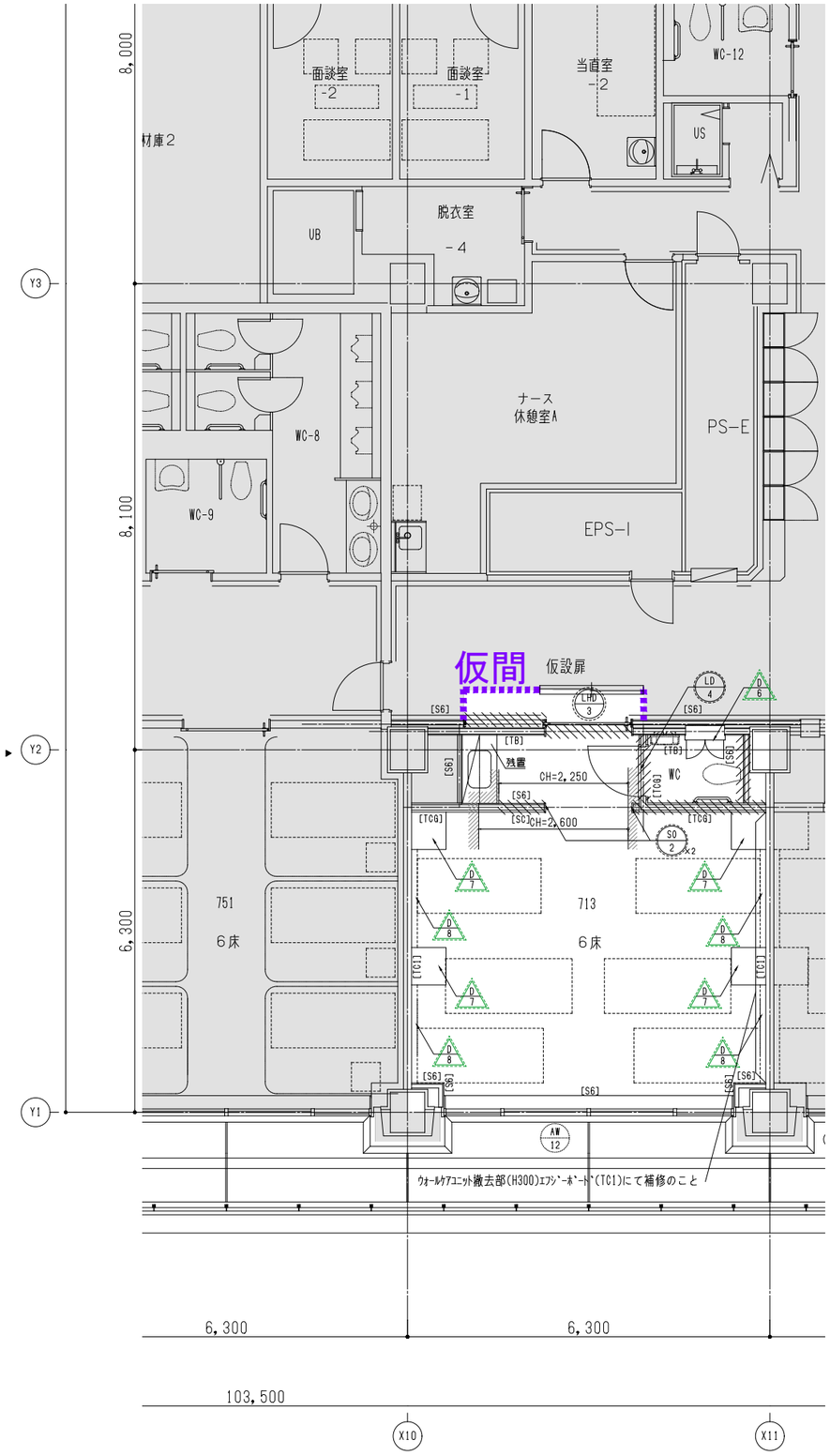
C xx	雑【新設】		＊符号下部に内容を記載

記号凡例		詳細記号	新設表示
一般間仕切壁	壁符号		
コンクリート【柱・壁】【内壁(GL壁:DS,PS,EPSは除く)、外壁面(断熱材t15+GL壁)】			囲引
スチールパーティション	SP		
コーナーガード(塩ビ)		C-9b	
コーナーガード(塩ビ)		C-9a	
コーナーガード(MVB用)			
ピクチャーレール	Pr		[Pr]
カーテンレール	Cr	C-8	[Cr]
点滴レール	Tr		
壁付手摺(1段)	hr	C-7	[hr]
メラミン不燃化粧板 t=3,H=1,000			
白抜範囲を工事対象範囲とする			
工事対象範囲外を示す			

特記事項

・壁符号：囲いのない壁符号、〔　〕の壁符号は、既存壁を示す。
壁符号：□で囲った壁符号は、今回新設する壁を示す。

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第233442号　和田雅彦　一級建築士登録　第226323号　菊地徹実	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RA－036
		2階平面詳細図(外来化学療法室)(改修後)	A1：1/50 A3：1/100	



【改修前】

雑符号凡例

C xx	既存雑【撤去】		

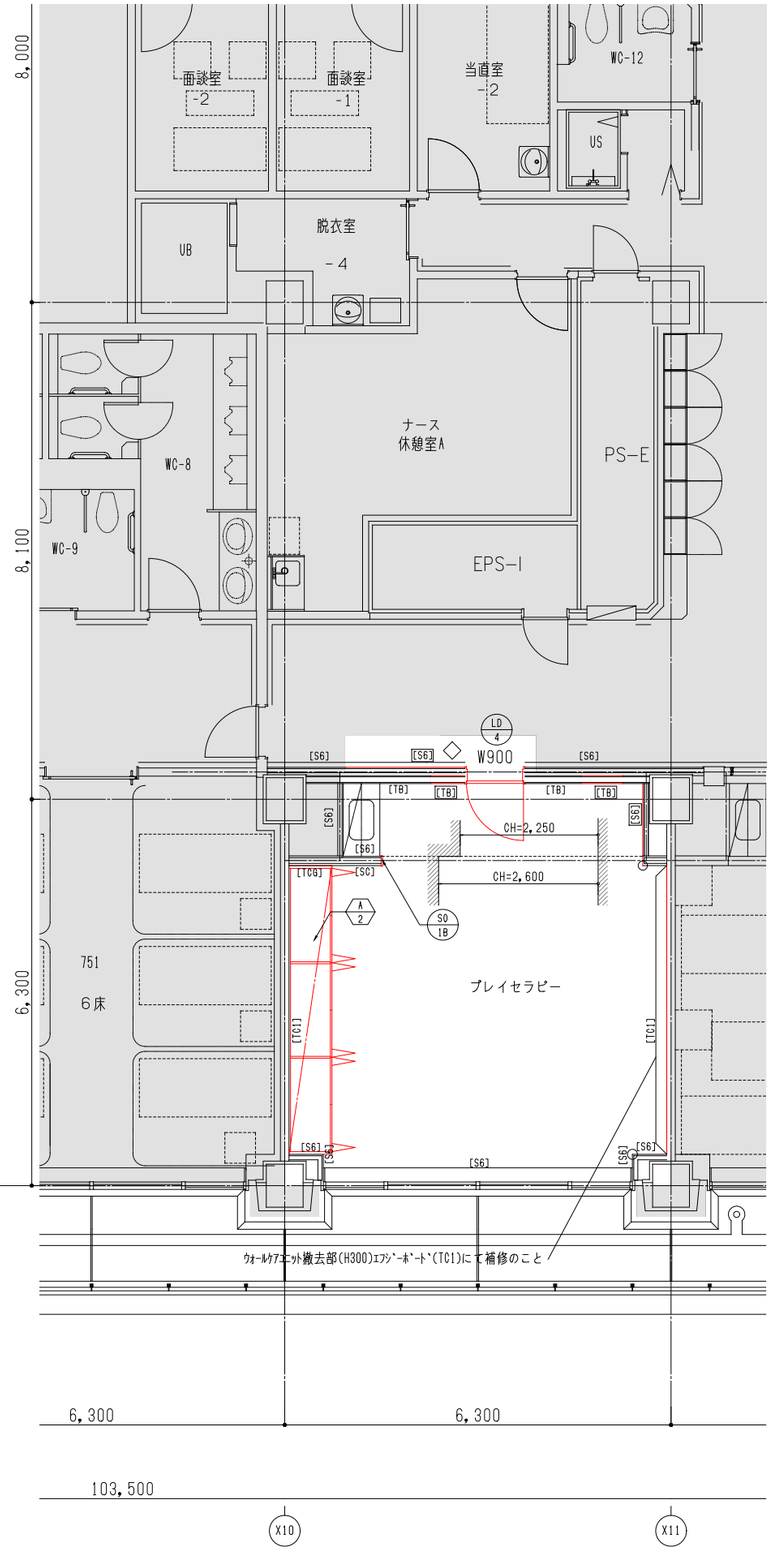
記号凡例		詳細記号	撤去表示
一般間仕切壁	壁符号		
コンクリート[柱・壁]〔内壁(GL壁:DS,PS,EPSは除く)、外壁面(断熱材t15+GL壁)〕			符号
スチールパーティション	SP		
コーナーガード(塩ビ)			
コーナーガード(塩ビ)			
コーナーガード(ＭＶＢ用)			
ピクチャーレール	Pr		
カーテンレール	Cr		Cr
点滴レール	Tr		
壁付手摺(1段)	hr		hr
白抜範囲を工事対象範囲とする			
工事対象範囲外を示す			
仮設間仕切			
仮設扉	仮設扉		

特記事項

・壁符号：囲いのない壁符号、〔 〕の壁符号は、既存壁を示す。
壁符号：□で囲った壁符号は、今回新設する壁を示す。
・仮設間仕切の仕様はPK10、仮設扉はアルミ製(W=1,800×H=2,000)
・既存間仕切撤去(軽量鉄骨壁、RC壁)に伴いｺﾝｸﾘｰﾄ床取合い部は目荒しの上、無収縮モルタル(t10)にて補修のこと。

建具

LHD 1a	既存建具符号(残置)
LHD 1a	既存建具符号(撤去)
LHD 1a	既存建具符号(改修)



【改修後】

雑符号凡例

C xx	雑【新設】		※符号下部に内容を記載

記号凡例		詳細記号	新設表示
一般間仕切壁	壁符号		
コンクリート[柱・壁]〔内壁(GL壁:DS,PS,EPSは除く)、外壁面(断熱材t15+GL壁)〕			符号
スチールパーティション	SP		
コーナーガード(塩ビ)		C-9b	
コーナーガード(塩ビ)		C-9a	
コーナーガード(ＭＶＢ用)			
ピクチャーレール	Pr		Pr
カーテンレール	Cr	C-8	Cr
点滴レール	Tr		
壁付手摺(1段)	hr	C-7	hr
白抜範囲を工事対象範囲とする			
工事対象範囲外を示す			

特記事項

・壁符号：囲いのない壁符号、〔 〕の壁符号は、既存壁を示す。
壁符号：□で囲った壁符号は、今回新設する壁を示す。

建具

LHD 1a	新設建具符号
LHD 1a	既存建具符号(改修)

サイン

◇ 4	室名表示(診療等)

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第233442号 和田雅彦
一級建築士登録 第226323号 菊地徹実

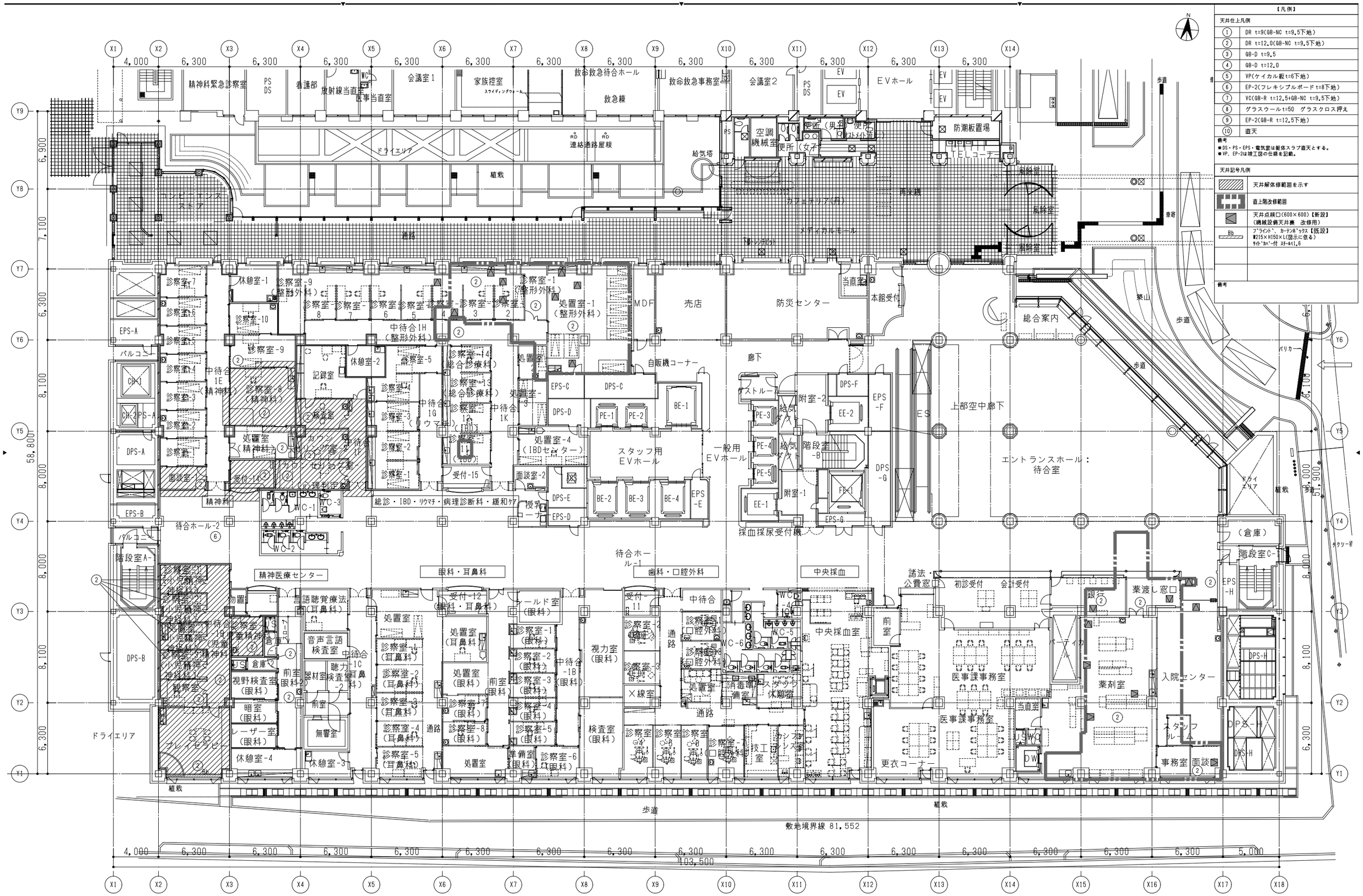
公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

7階平面詳細図(改修前・改修後)(建具キープラン)(サインキープラン)

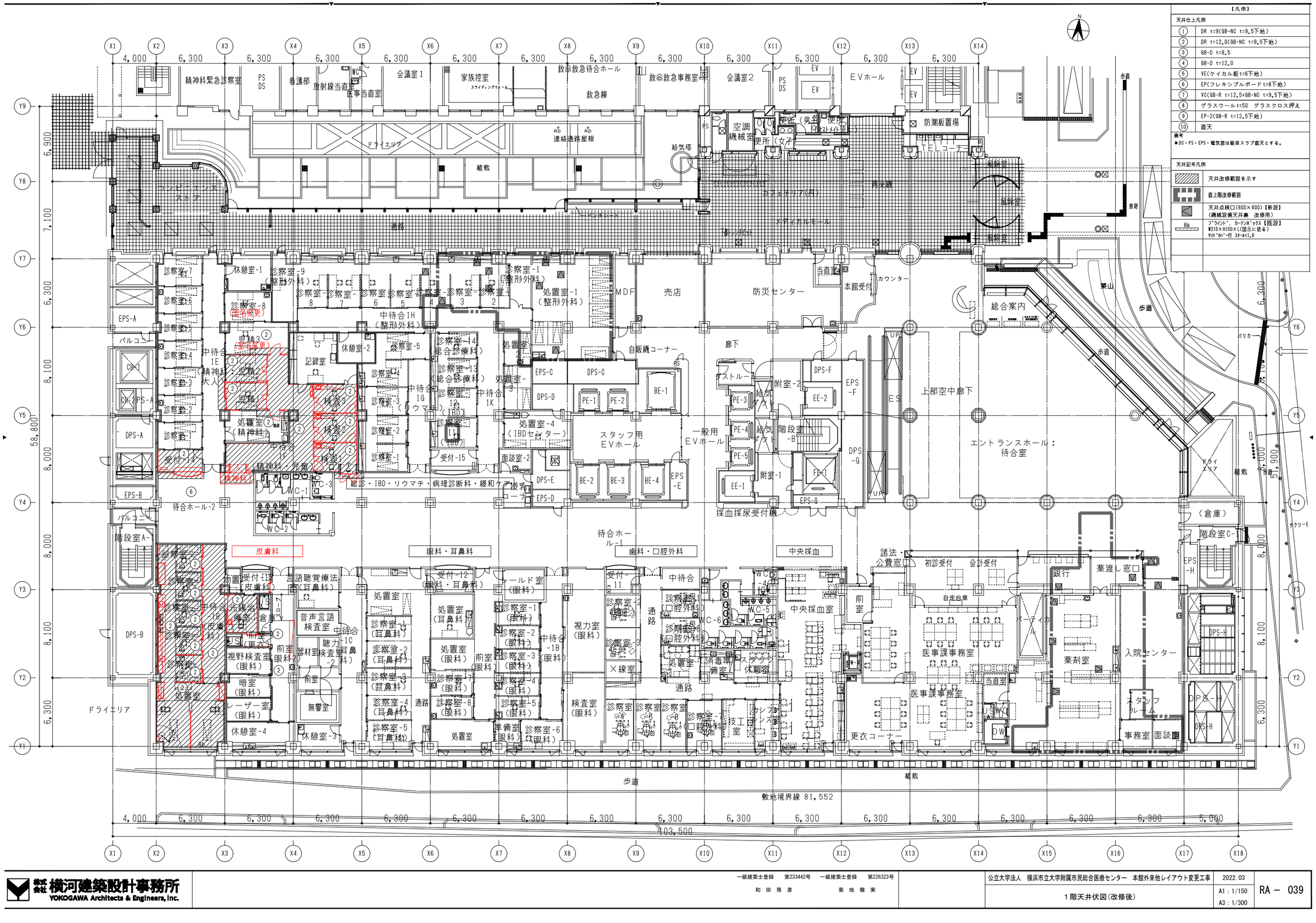
2022.03

A1：1/50
A3：1/100

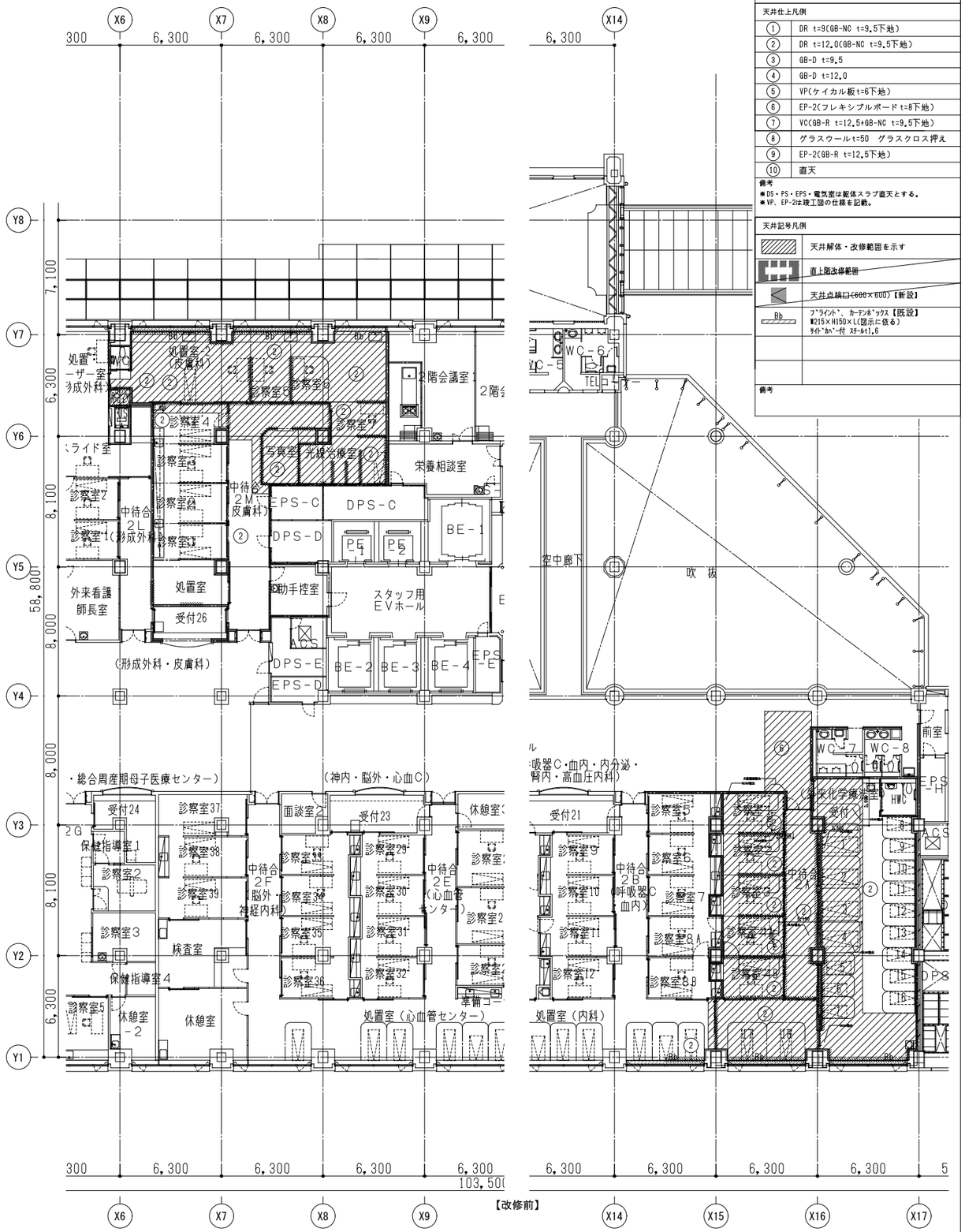
RA－037

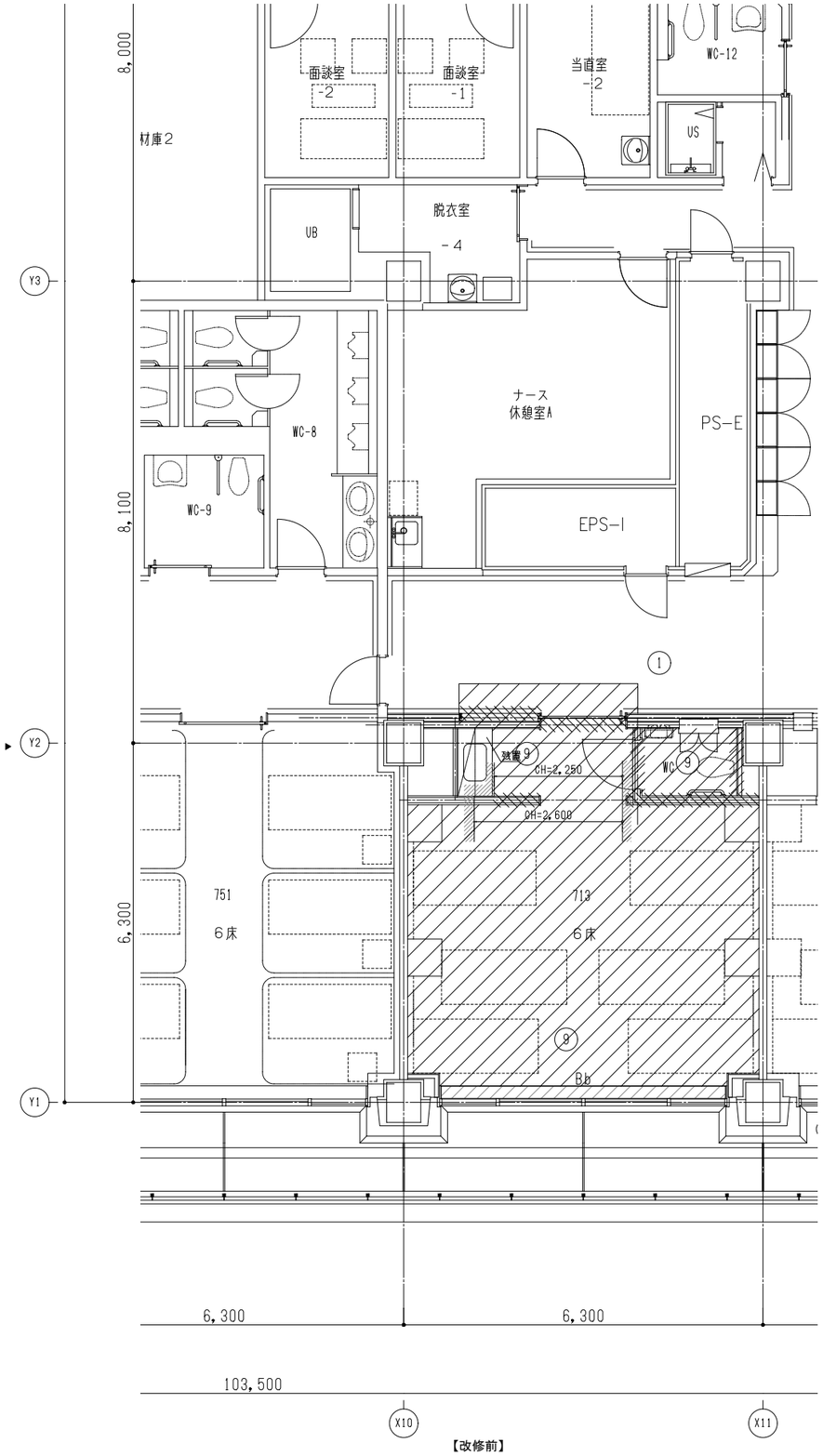


株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第233442号 和田雅彦 / 一級建築士登録 第226323号 菊地徹実	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事	2022.03
		1階天井解体図	A1：1/150 A3：1/300
			RA－038



株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第233442号 和田雅彦	一級建築士登録 第226323号 菊地徹実	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事	2022.03
			1階天井伏図(改修後)	A1：1/150 A3：1/300
				RA－039


【凡例】
天井仕上凡例
① DR t=9(GB-NC t=9.5下地)
② DR t=12.0(GB-NC t=9.5下地)
③ GB-D t=9.5
④ GB-D t=12.0
⑤ VP(ケイカル板t=6下地)
⑥ EP-2(フレキシブルボード t=8下地)
⑦ VC(GB-R t=12.5+GB-NC t=9.5下地)
⑧ グラスウールt=50 グラスクロス押え
⑨ EP-2(GB-R t=12.5下地)
⑩ 直天
備考
※DS・PS・EPS・電気室は躯体スラブ直天とする。
※VP、EP-2は竣工図の仕様を記載。
天井記号凡例
天井解体・改修範囲を示す
直上階改修範囲
天井点線口(600×600)【新設】
Bb ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ、ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ【既設】 W215×H150×L(図示に依る) ｻｲﾄﾞﾊﾝｶﾞｰ付 ｽﾃｰﾙ t1.6
備考
X6 X7 X8 X9 X14 X15 X16 X17
Y8 Y7 Y6 Y5 Y4 Y3 Y2 Y1
300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300
7,100 6,300 8,100 8,000 6,300 8,000 8,100 6,300
58,800
103,500
処置室（皮膚科） 診察室5 診察室6 診察室4 診察室3 診察室7 診察室1（形成外科） 診察室2 中待合 2L 中待合 2M 皮膚科 2階会議室 栄養相談室 光線治療室 5類室 外来看護師長室 処置室 受付26 助手控室 スタッフ用 EVホール 吹抜 空中廊下 （形成外科・皮膚科） DPS-C DPS-D DPS-E EPS-C EPS-D EPS-E PS1 PS2 BE-1 BE-2 BE-3 BE-4 ACS
・総合周産期母子医療センター） 受付24 診察室37 診察室38 診察室33 診察室34 診察室35 診察室36 面談室2 受付23 診察室29 診察室30 診察室31 診察室32 休憩室 保健指導室1 保健指導室4 検査室 休憩室 休憩室-2 処置室（心血管センター） 中待合 2F 脳外・神経内科 中待合 2E （心血管センター） 準備室 2G
（神内・脳外・心血C） 診察室2 診察室3 診察室5 診察室1
吸器C・血内・内分泌・腎内・高血圧内科） 受付21 診察室5 診察室9 診察室10 診察室11 診察室12 診察室7 診察室8A 診察室8B 診察室4 中待合 2B （呼吸器C 血内） 中待合 2A 処置室（内科） 前室 WC-5 WC-6 WC-7 WC-8 HWC EPS-H DPS
（外来化学療法室） 受付 ベッド(5) チェア(2)
ル （乳腺・呼吸器C・血内・高血圧内科） 面談室2
【改修前】
【凡例】
天井仕上凡例
① DR t=9(GB-NC t=9.5下地)
② DR t=12.0(GB-NC t=9.5下地)
③ GB-D t=9.5
④ GB-D t=12.0
⑤ VE(ケイカル板t=6下地)
⑥ EP(フレキシブルボード t=8下地)
⑦ VC(GB-R t=12.5+GB-NC t=9.5下地)
⑧ グラスウールt=50 グラスクロス押え
⑨ EP-2(GB-R t=12.5下地)
⑩ 直天
備考
※DS・PS・EPS・電気室は躯体スラブ直天とする。
天井記号凡例
天井解体・改修範囲を示す
直上階改修範囲
天井点線口(600×600)【新設】
Bb ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ、ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ【既設】 W215×H150×L(図示に依る) ｻｲﾄﾞﾊﾝｶﾞｰ付 ｽﾃｰﾙ t1.6
備考
（室名変更） 診察室6 診察室4 診察室2 診察室1 診察室3 診察室5 診察室7 診察室8 診察室9 診察室10 診察室11 診察室12 診察室8A 診察室8B 診察室4 診察室5 診察室6



【凡例】

天井仕上凡例

①	DR t=9(GB-NC t=9.5下地)
②	DR t=12.0(GB-NC t=9.5下地)
③	GB-D t=9.5
④	GB-D t=12.0
⑤	VP(ケイカル板t=6下地)
⑥	EP-2(フレキシブルボード t=8下地)
⑦	VC(GB-R t=12.5+GB-NC t=9.5下地)
⑧	グラスウールt=50 グラスクロス押え
⑨	EP-2(GB-R t=12.5下地)
⑩	直天

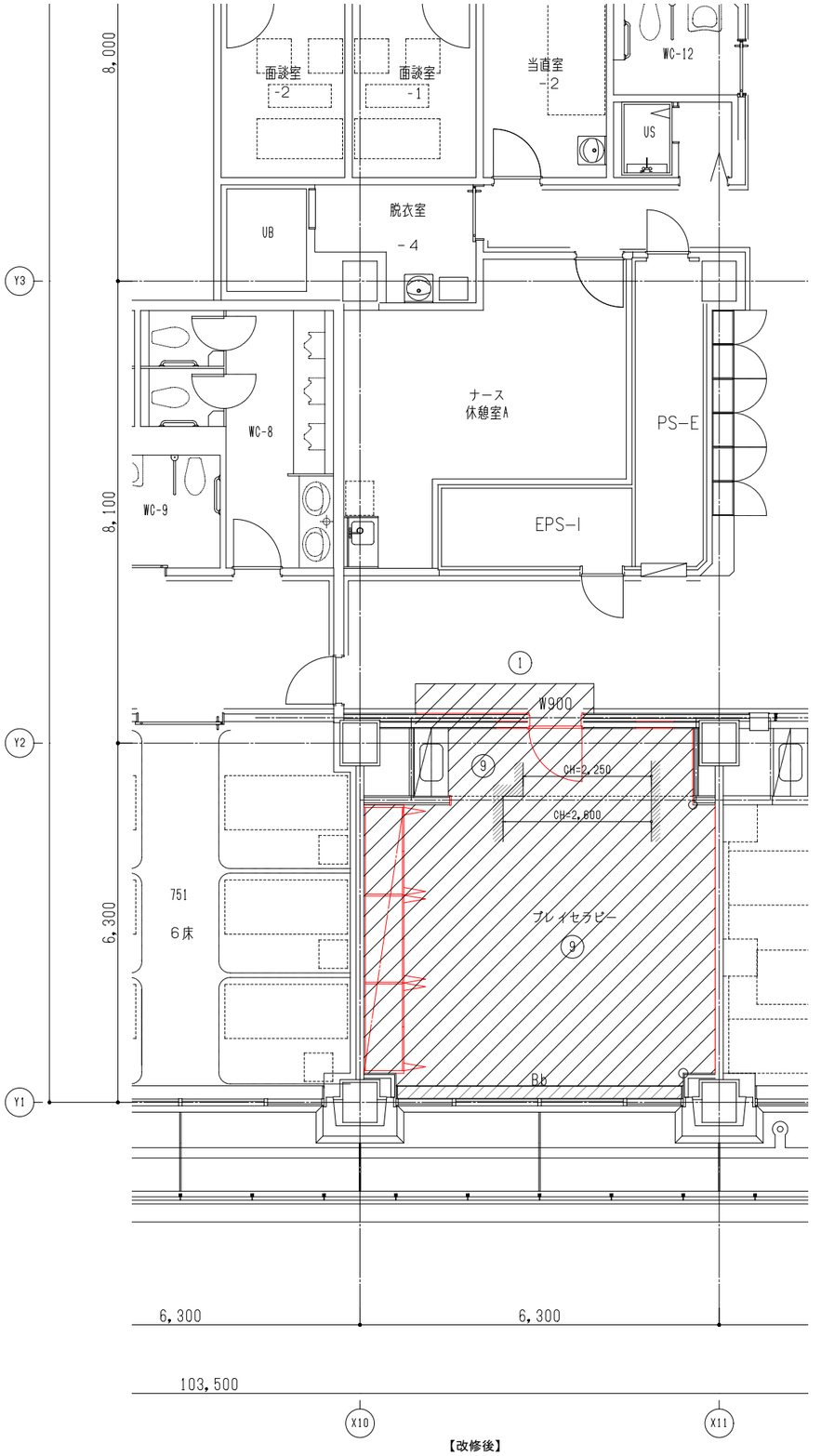
備考
※DS・PS・EPS・電気室は躯体スラブ直天とする。
※VP、EP-2は竣工図の仕様を記載。

天井記号凡例

	天井解体・改修範囲を示す
	~~直上階改修範囲~~
	~~天井点検口(600×600)【新設】~~
Bb	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ、ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ【既設】 W215×H150×L(図示に依る) ﾘﾌﾄﾞｶﾊﾞｰ付 ｽﾁｰﾙt1.6

備考

【改修前】



【凡例】

天井仕上凡例

①	DR t=9(GB-NC t=9.5下地)
②	DR t=12.0(GB-NC t=9.5下地)
③	GB-D t=9.5
④	GB-D t=12.0
⑤	VE(ケイカル板t=6下地)
⑥	EP(フレキシブルボード t=8下地)
⑦	VC(GB-R t=12.5+GB-NC t=9.5下地)
⑧	グラスウールt=50 グラスクロス押え
⑨	EP-2(GB-R t=12.5下地)
⑩	直天

備考
※DS・PS・EPS・電気室は躯体スラブ直天とする。

天井記号凡例

	天井解体・改修範囲を示す
	~~直上階改修範囲~~
	~~天井点検口(600×600)【新設】~~
Bb	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ、ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ【既設】 W215×H150×L(図示に依る) ﾘﾌﾄﾞｶﾊﾞｰ付 ｽﾁｰﾙt1.6

備考

【改修後】

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第233442号 和田 雅彦
一級建築士登録 第226323号 菊地 徹実

公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

7階天井解体図・天井伏図(改修後)

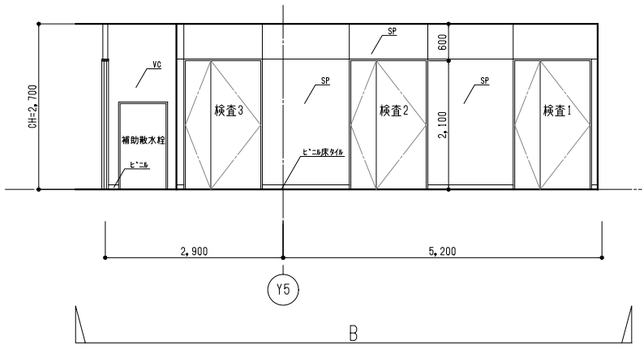
2022.03

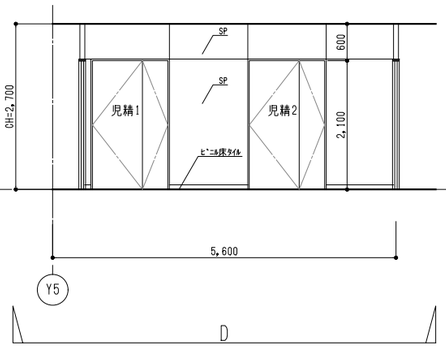
A1：1/50
A3：1/100

RA－041

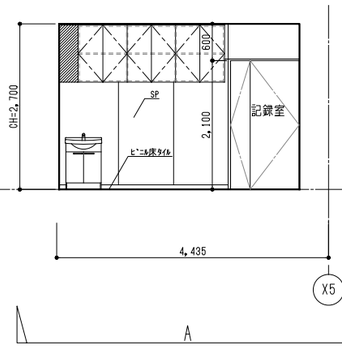
1階

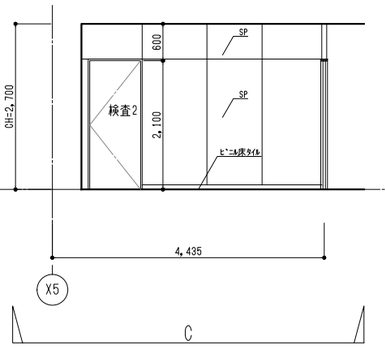
中待合1F（精神科・児童）

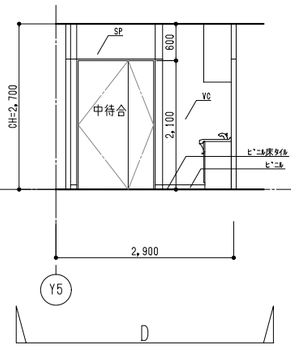




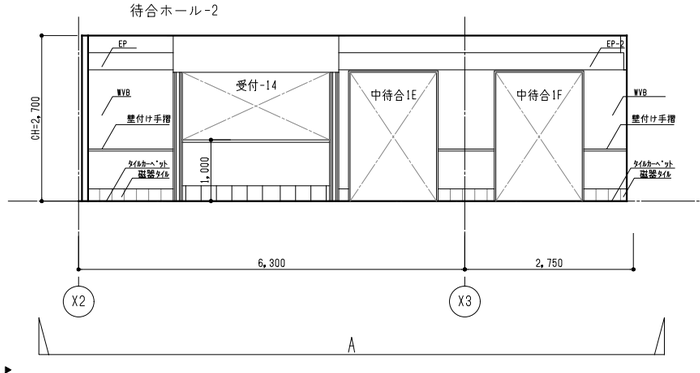
検査3



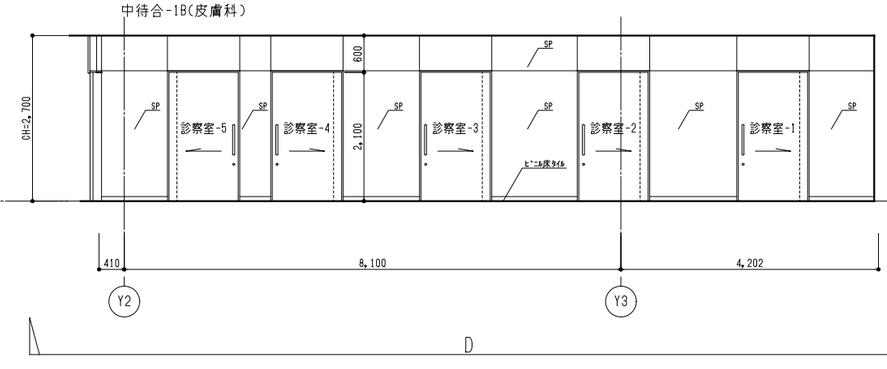




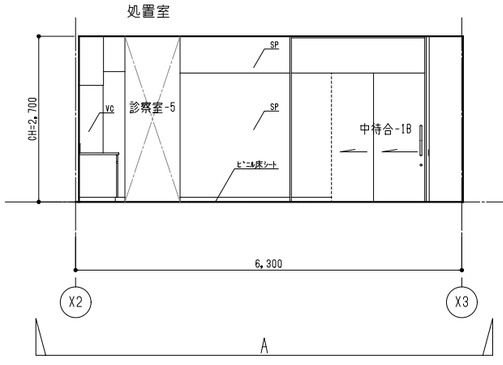
待合ホール-2

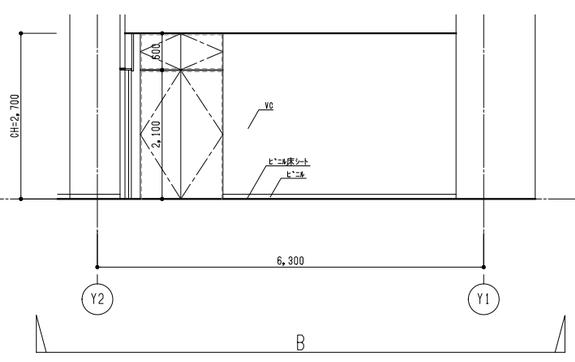


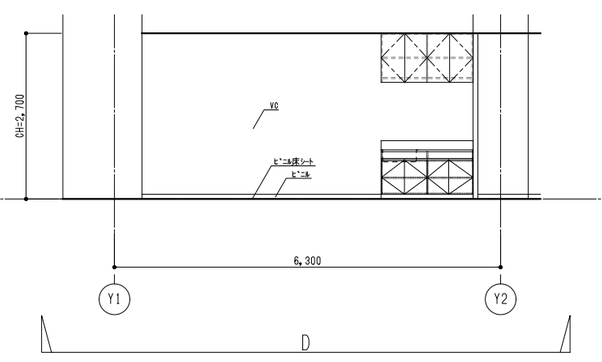
中待合-1B(皮膚科)

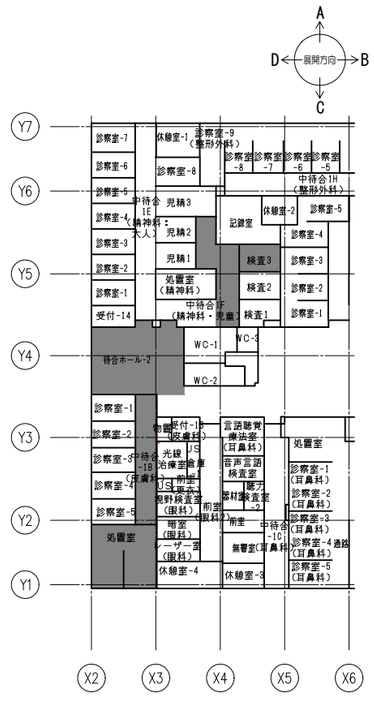


処置室









株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田 雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地 徹実

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

展開図1階

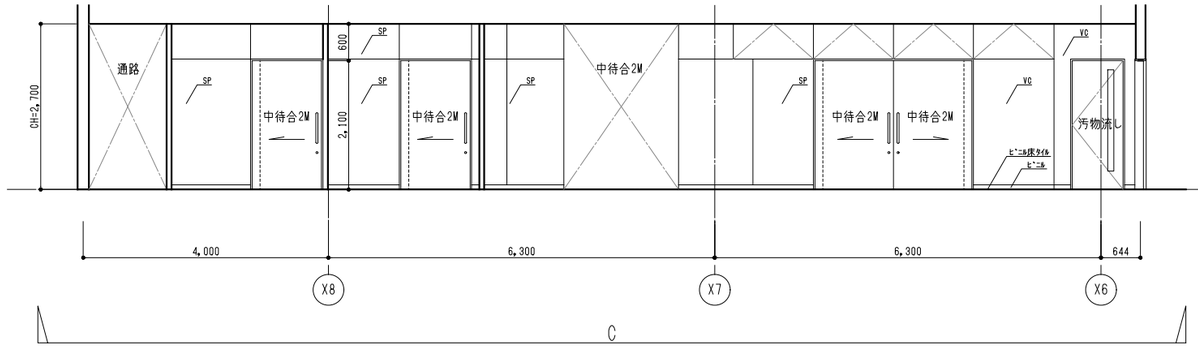
2022.03

A1：1/50

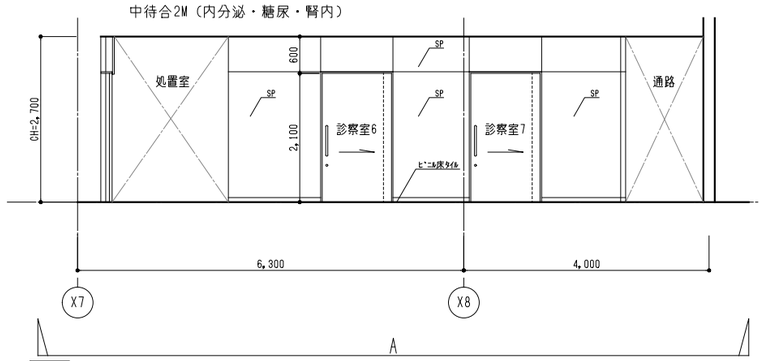
A3：1/100

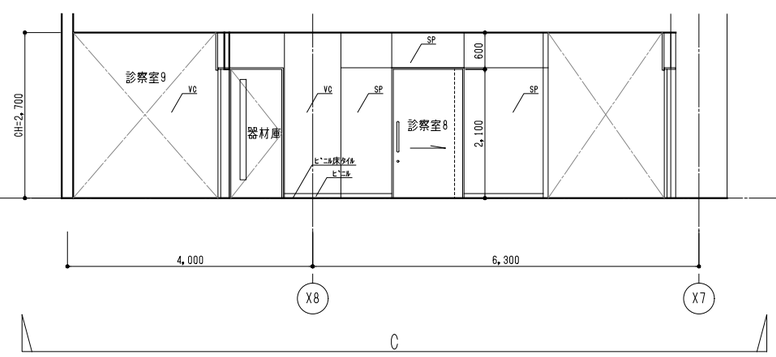
RA－042

2階 処置室・診察室（内分泌・糖尿・腎内）

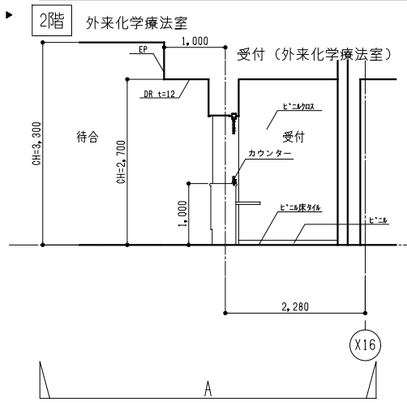


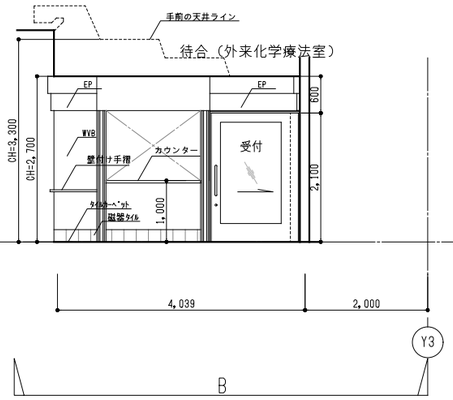
中待合2M（内分泌・糖尿・腎内）

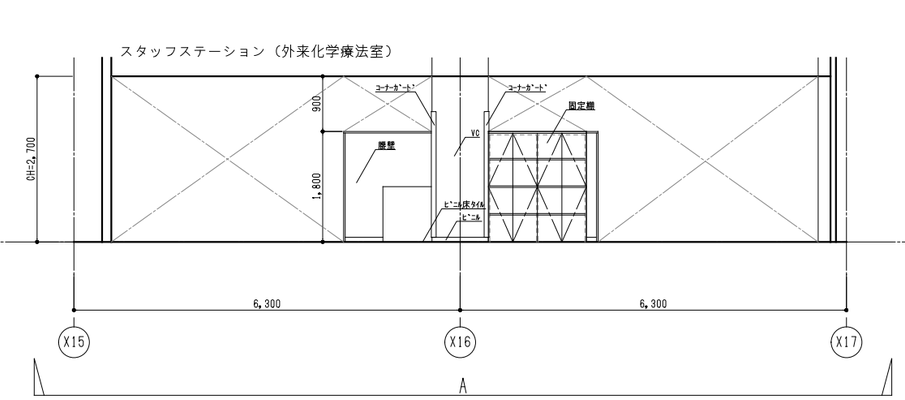




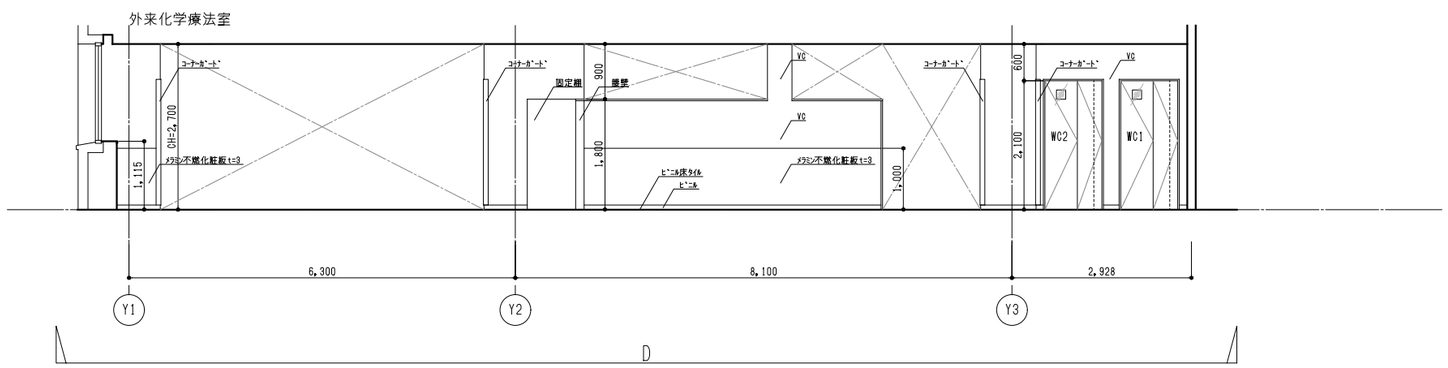
2階 外来化学療法室

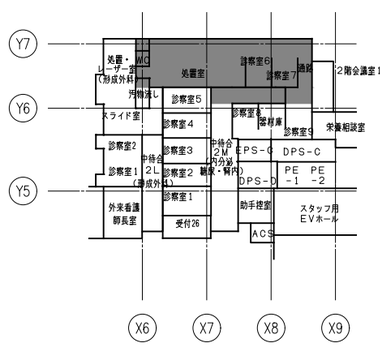


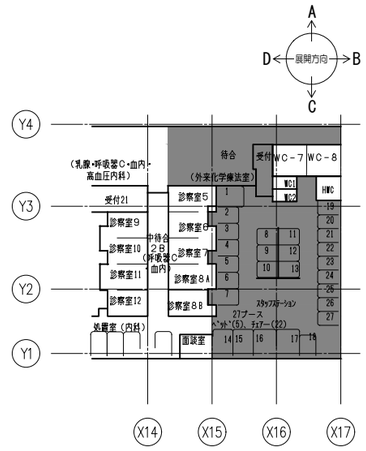




外来化学療法室







株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田 雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地 徹実

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

展開図2階

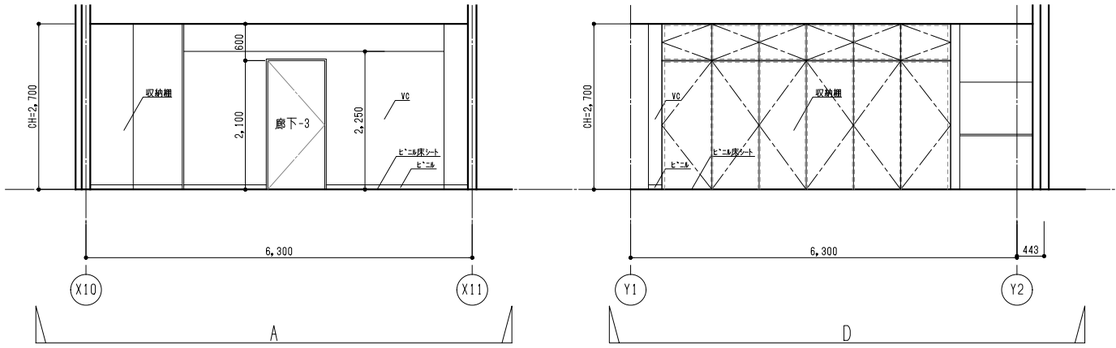
2022.03

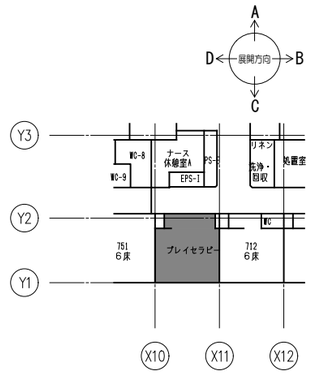
A1：1/50
A3：1/100

RA－043

7階

プレイセラピー





株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田 雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地 徹実

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

展開図7階

2022.03

A1：1/50

A3：1/100

RA－044

建具特記事項

項目	細目	特記事項
① 一般共通事項	1) 共通仕様	a 図面及び特記事項に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版」（以下「標仕」という。）による。 b 図示無き限り、図面、仕様書の記載事項の優先順位は、質問回答書、現場説明書、特記事項、図面、標準仕様書の順序とする。 c 建具特記事項に記載の（　、　）内の表記数字は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
	2) 適用範囲	a 建具表に記載のない事項については本特記事項による。 b 本特記事項において、項目は番号に（○）印の付いたものを適用する。 c 本特記事項において、特記事項は（⊙）印を付けたものを適用し、（⊙）印が無い場合は、✱印を適用する。 （⊙）印と（◉）印の付いた場合は、ともに適用する。 選択項目以外は、表記の内容を適用する。
	3) 適用基準等	✱ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修　平成28年版） ✱ 建築工事監理指針　（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修　令和元年版）
	4) 建具寸法	建具表に示す巾、高さは枠内法有効寸法とする。 但し、引き戸に示す巾は、引き残し（120mm程度）を除いた有効寸法とする。
	5) シーリング（9,7,1）	a ガラス留めはシリコンシーリング　SR-1（低モジュラス形） ガラス突付部はシリコンシーリング　SR-1（高モジュラス形）とする。 b 防火設備に使用するガラスの留め材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた材料に限定し 「防火戸用指定シーリング材」（旧通則認定アルミニウム製乙種防火戸用指定シーリング材）を使用する。
	6) 防火戸（16,1,3）	特定防火設備、防火設備及び不燃戸は標準図：建築基準法施行令、及び建築基準法に基づく告示の基準を満たすこと。 a 防火戸の指定　✱図示　・ b 付属品　特定防火設備、防火設備及び不燃戸の両開き、及び親子扉は、各扉共自動閉鎖装置および閉鎖順位調製器（姿納型）付とする。 c 壁埋込扉　随時開鎖式標感知誘導動扉は上枠姿納式、スチール製三方枠とする。 d 扉　見付面積が3㎡を超える防火戸は子扉付とする。（下枠なしタイプ）
	7) 見本の製作等（16,1,4）	特殊な建具の仮組（建具符号：　　）
	8) 性能確認試験	a 性能確認試験　✱ 実施しない　・実施する（建具符号：　　） b 試験の種類　・耐風圧　・耐震性　・水密性　・気密性　・遮音性　・断熱性
	9) 防犯建物部品（16,1,6）	CPマーク対応品の適用　・適用する（適用箇所は建具表による）　・適用しない
	10) 製作図	建具の製作図には、平面図（キープラン）、防火区画、材質、周囲との取合、ガラスの取付、シーリング材その他、必要事項（監督員の指示）をもれなく記載すること。
	11) 非常用進入口	非常用進入口及び非常用進入口に代わる窓の部分で普通ガラス　6mm　、網入ガラス 6.8mm　、強化ガラス 5mm を超える厚さ及び、合わせガラスは内外連動の外部ハンドルを設けること。また、同箇所に告示による赤色反射シートを設置すること。
	12) 特殊建具	✕線遮蔽建具、放射線遮蔽建具、防熱扉は別紙詳細図による。
	13) 区分	a 下記に（⊙）印を付けたものは、建具工事外の項目とする。 ・ 既製品パーティション付属建具　⊙ 家具、造作付属建具　・ アコーディオンドア　⊙ トイレブース用扉
	14) ガラリ	a 外部に面するガラリで給気用・排気用共防鳥網付（SUS製クリンプ金網　線径1.5ｍｍ　網目15ｍｍ）とする。 b ガラリの有効開口率は、30%～40%（水平固定）とする。 c ガラリは枠と同材質・同仕上とする。 d 特記無き限り、外部のガラリ形状は①型とする。 e 内部のドアガラリは山形形状（Ⅱ型）とし、開口部は扉材を欠き込んだものとする。（S,L,Nは鎮様レス） f 特定防火設備、防火設備に設けるガラリはヒューズ付鋼製扉転ガラリとする。 g W1,500以上の場合は1,500間隔で方立てを設けること。方立ては、裏方立てとする。 h 外部に面するガラリでダクト接続の場合は、チャンバー接続ボックス（ダクト接続用フランジ付）を設けること。 チャンバー接続ボックスは、 ✱ 高耐食亜鉛めっき鋼板t1.6(さび止め塗装+SOP)　・アルミｔ2.0(サッシ同仕上)　とし、 裏面結露防止材は、✱ 結露防止材 t3.0裏打ち　・ 硬質ウレタンフォームｔ15吹付　とする。 ただし、延焼ライン にかかる箇所は、 高耐食亜鉛めっき鋼板t1.6(さび止め塗装+SOP)　結露防止材t3.0裏打ちとする。 寒冷地の場合は次の通りとする。　✱図示　・全てのガラリ　・
	15) その他	a ガラス内側の見えがかりパックパネルは GB-R12.5貼りとし、EPを施すものとする。 ただし、防火区画を形成する箇所においては、耐火ボード＋EPとする。 （耐火ボード：日本インシュレーション(株)　JIDカーテンウォール耐火パネル同等品　30分-t25　1時間-t35） b 建具の見えがかり支持下地鉄骨は、SOPを施すものとする。 c 図示の無い場合、開戸、引戸の吝理は無いものとし、仕上厚が異なる場合はテーパー目地縞にて対処すること。 d 図示の無い場合、扉の枠形状は M型とし、見込み仕上げ面に（✱10mm　・　　mm）のチリを加えた寸法とする。 e 内部に面する建具枠は、特記なき限り建具と同仕上とする。 f 外部に面する開戸（片開き戸、親子開き戸、両開き戸）は、図示の無い場合、t（セミエアタイト）とする。 g 引戸には障子の戸当例に指話防止用ゴムを設けること。 h はめ殺し窓を除くサッシには開放制限ストッパー（鍵付、開放幅100mm）を設ける。設置個所は次による。 ✱すべてのサッシ　・ 図示 i 外付タイプの引戸ハンガーボックス～天井廻を当該室壁仕上げと同材にて塞ぐこと。（埃たまり防止） ・すべての外付タイプの引戸　✱ 図示　・
2 アルミニウム製建具 AWAD	1) 性能及び構造（16,2,2）	a 性能 a-1 建具の性能：下記表の性能以上を満たすこと。

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み	施工箇所
・ A種	S-4	A-3	W-4	✱ 70	✱外部に面する建具　・
・ B種	S-5			・100	✱外部に面する建具　・
・ C種	S-6	A-4	W-5	✱ 70　・100	✱外部に面する建具　・

a-2 令第82条の5、令第87条、告示第1454号、告示第1458号により算定する。
✱　a-1、a-2の性能を有するものとする。施工にあったては、計算書を提出し監督員の承認を得ること。
・　風洞試験結果による数値。（日本建築学会・建築物荷重指針　同解説の設計用再現期間100年を用いた数値。）

b 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級	✱図示	・性能等級（T-　）、使用箇所　✱図示
c 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級	✱図示	・性能等級（H-　）、使用箇所　✱図示
d 耐風ドアセットの面内変形追随性	✱図示	・性能等級（D-　）、使用箇所　✱図示

2) 形状及び仕上（16,2,4）	a 外部に面する建具	・BA-1種(無着色)・BA-2種（・二次電解着色　・ホワイト　・グレー　・特注色）
		・BB-1種(無着色)✱BB-2種（✱二次電解着色　・ホワイト　・グレー　・特注色　）
		・C種（塗料：・熱硬化アクリル樹脂塗装　・ポリウレタン樹脂塗装　・フッ素樹脂塗装　）
	b 内部建具	・BB-1種(無着色)・BB-2種（・二次電解着色　・ホワイト　・グレー　・特注色　）
		・BC-1種(無着色)✱BC-2種（✱二次電解着色　・ホワイト　・グレー　・特注色　）
	c 光沢	・艶有　　✱艶無
	d a～c以外の仕上を指定する場合は、建具表備考欄に（皮膜厚さ／塗膜厚さ／色見／光沢）を図示。	
3) その他（16,2,3）（16,2,5）	a 網戸	枠・框は窓と同材とし、引違窓・片引窓等の場合はワンタッチロックにより窓枠に固定のこと。 回転窓・開き窓等の場合は（✱プリーツ網戸・スイング型）、外倒し窓・突出し窓の場合はスイング型とする。 ・ 特記無き場合、はめ殺し窓を除く全ての窓に設ける。 ✱ 網戸は原則として設けないが、必要箇所は建具表による。
	b 防虫網の仕様	✱ 合成樹脂製　・ ガラス繊維入り合成樹脂製　・ SUS製 線径：✱0.25以上　・　　網目：✱16～18メッシュ　・
	c 額板、鎮様、ボックス（ブラインドボックス、カーテンボックス）の仕様	材質：✱スチールt1.6 曲げ加工（仕上　✱　SOP　・AEB） ただし、足がかりとなる高さ（H700mm以下）の鏑板は、スチールt2.3 曲げ加工とする。 ・サッシ同材（仕上　✱サッシ同仕上　・　　） ・木板（集成材ｔ20）（仕上　✱OP　・OL　・ウレタンクリア　） ・合成樹脂製（✱単色　・木目）
		設置場所：額板、鎮様は内外のサッシに取り合う箇所に全て設置し、見込みは取り合う壁見込み寸法に10mmを加えた寸法とする。 ボックスは（・ 外部に面する居室　・ 図示した箇所）に設置するものとする。 ボックスの寸法は✱W150×H150×L：建具✱+200+200とし、全てサイドカバー付きとする。
	d 水切板	カーテン、ブラインドの種別は、次による。✱図示　・カーテンボックス　・ブラインドボックス 外部に面する窓には、同材の水切板を設け、躯体に樹脂製キャップを施すこと。 水切板端部は外壁汚垂れ防止として立上りを設けること。
	e ハンドル等	引違窓、片引窓等にはクレセント（大型・鍵付）を、回転窓、開き窓、たてすべり出し窓等にはハンドル（鍵付き）及びステンレス製順り止め（3段階調整付き）を設けること。
	f 錠取付位置	クレセント、オペレーターハンドル等取付位置は床上1,300mmを標準とし、 800mm以上1,500以下とする。
	g 換気窓	オペレーターハンドルは特記無き限り、オイレスE00番　指定色　ハンドルボックスt10工夏 （壁埋込タイプ）同等品以上とする。
	h 結露受け	外部に面する窓には、結露受けを設け、額縁と絶縁（プチルゴム＋シーリング）処理のこと。 結露排水機構（逆流防止弁付き）を設けること。
	i 脱落防止機能	引違窓、片引窓には障子が容易に外れないよう脱落防止機構を設けること。
	j フラッシング	ALC、押出成形セメント板付のアルミサッシには四周にフラッシングを設けること。
	k サッシの金物類は特記無き限り耐風金物一式とする。	

3 樹脂製建具 JW JD	1) 一般事項	a 特定防火設備として単体では使用しないものとする。 b オペレーター付の排煙窓には使用しないものとする。
	2) 性能及び構造（16,3,2）	a-1 外部に面する建具の性能等級

性能項目 / 種別	耐風圧	気密性	水密性	枠の見込み寸法（mm）
✱ A種	S-4	A-4	W-4	✱ 建具製作所の仕様による
・ B種	S-5		W-5	・ 80
C種	S-6			・ 119

a-2 外部に面する建具の遮音性能等級

種別	遮音性能 / 性能等級	
✱ T-A種	T-1	
・ T-B種	T-2	

a-3 外部に面する樹脂性建具の断熱性能等級

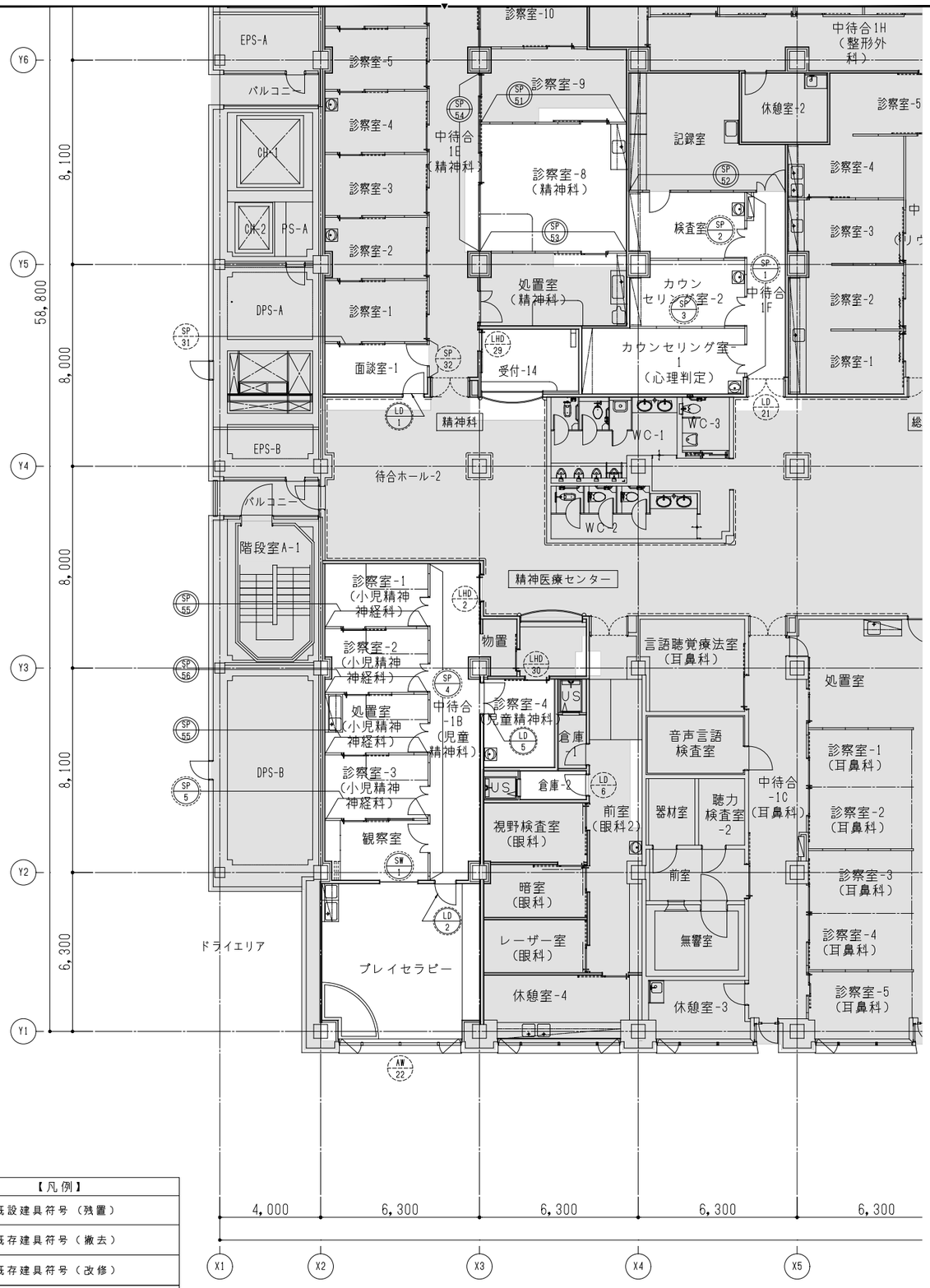
種別	断熱性能 / 性能等級	熱貫流率（W／(㎡･K)）
✱ H-A種	H-4	2.91以下
・ H-B種	H-5	2.33以下
・ H-C種	H-6	1.90以下

3) 形状及び仕上（16,3,4）	a 外部面の表面色	✱シルバー　・ホワイト ・ブラウン　・ブラック　・特注色
4)材料	a ガラス	✱ a-1、a-3より、建具製作所の仕様とする。
	b ガラス中空層	✱ エア　・アルゴン　・クリプトン
5)その他	下記 a～kは「２アルミニウム製建具　3) その他 」による	
	a 網戸、b 防虫網の仕様、c 鴨板、額縁、ボックスの仕様、d 水切板、e ハンドル等、	
	f 錠取付位置、g 排煙窓、h 結露受け、i 脱落防止機能、j フラッシング、k サッシの金物	
④ 鋼製建具 SW SD SH SHD SO	1) 性能及び構造（16,4,2）	a 簡易気密型ドアセット(SAT)の適用(A-3、Ⅱ-1)　✱図示　・
		b 外部に面する建具の耐風圧性能　✱S-5　・S-4 （令第82条の5、令第87条、告示第1454号、告示第1458号により算定する。）
		施工にあたっては、計算書を提出し監督員の承認を得ること。
		c 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級　✱図示・性能等級（T-　）、使用箇所　✱図示
		d 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級　✱図示・性能等級（H-　）、使用箇所　✱図示
		e 耐風ドアセットの面内変形追随性の等級　✱図示・性能等級（D-　）、使用箇所　✱図示
	2) 材 料（16,4,3）	a 鋼板の種類　✱JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)　付着量　✱Z12または F12を選択するものの
	3) 形状・仕上（16,4,4）	a 扉の有効寸法、W950mm、H2400mm以内の、鋼製建具に使用する鋼板厚の厚さは（表16,4,2）による。 ただし、吝理はSUS HL（✱t1,5mm・t2,0mm）、吊金物及びドアクローザーの補強板は枠側・扉側とも（✱t2,3mm・t4,5mm）とする。
		b 扉の有効寸法、W1400mm、H3000mmの双方を超える枠の板厚は　✱t 2,3mm　・建具製作所の仕様
		c 扉厚　✱ 有効寸法、W1150mm、H2400mm以内の扉厚は　✱t 40mm　・建具製作所の仕様 ✱ 有効寸法、W1400mm、H2900mm以内の扉厚は　✱t 50mm　・建具製作所の仕様 ✱ 有効寸法、W2000mm、H3500mm以内の扉厚は　✱t 60mm　・建具製作所の仕様 ✱ 有効寸法、W2000mm、H3500mmを超える扉厚は　✱t 80mm　・建具製作所の仕様
		d 外部に面する建具塗装　・DP-F　・SOP　✱ FUB　・AEB　・
		e 内部建具塗装　・DP-F　✱ SOP　・AEB　・UEB　・
	4) その他	a 両開き・親子扉の召合は目板一体タイプとする。
		b 吸音は特記無き場合、扉材一体タイプとし、押縁を室内側に設けること。（鎮様レス）
		c 建具表にて、T（エアタイト　気密性A-4）、イ（セミエアタイト＝簡易気密型ドア　気密性A-3）とあるものは枠の4周に気密性を有する合成ゴムを設置すること。
		d 建具表にて、T（エアタイト）とあるものは、グレモンハンドルとし、戸内部に、ロックウール（150Kg/m3）を充填すること。また充填材は劣化によりずれない様にすること。
		e 外部に面し、雨がかり箇所の建具上枠には、SUS（✱HL・FUB・　）t 1,5mm、出30mmの水切り板を設けること。
		f ステンレス建具の表面処理 外部に面する部分： ✱施さない ・フッ素樹脂クリアー塗装、イサム塗料(株)ネオシリカ21c 1000+5000 GSクリアー マイクロファイバーローラー仕上 消包刷入り
		内部に面する部分： ✱施さない　・汚れ防止材（ステンレスオイル）
		g 建具表にて、T（エアタイト）とあるものはステンレスエッジ（ツメ加工）を、t（セミエアタイト）とあるものはステンレスエッジ（L型）を扉の戸先に設けること。
⑤ 鋼製軽量建具 LW LD LHD	1) 一般事項（16,5,1）	a 鋼製軽量建具は、外部および、水がかりのある部位には使用しないものとする。
	2) 性能及び構造（16,5,2）	a 簡易気密型ドアセット(SAT)の適用(A-3、Ⅱ-1)　✱図示　・
		b 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級　✱図示　・性能等級（T-　）、使用箇所　✱図示
		c 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級　✱図示　・性能等級（H-　）、使用箇所　✱図示
		d 耐風ドアセットの面内変形追随性　✱図示　・性能等級（D-　）、使用箇所　✱図示
	3) 材 料（16,5,3）	a 材料　・カラー鋼板　（色合いは建具製作所の標準色）
		✱溶融亜鉛めっき鋼板（指定色を使用する場合）
		・電気亜鉛めっき鋼板（指定色を使用する場合、色合いは建具製作所の標準色）
		・ビニル被覆鋼板　（色合いは建具製作所の標準色）
		b 仕上　・UEB　・AEB　✱SOP　・DP-F　・
		c 召合せ、縦小口包み板等の材質
		✱鋼板　・ステンレス鋼板　・アルミニウム押出型材
	4) 形状・仕上（16,5,4）	a 鋼製軽量建具に使用する鋼板類の厚さは（表16,5,1）による。
		ただし、吝理はSUS HL（✱t1,5mm・t2,0mm）、吊金物及びドアクローザーの補強板は枠側・扉側とも（✱t2,3mm・t4,5mm）とする。
		a 両開き・親子扉の召合は目板一体タイプとする。
		b 吸音は特記無き場合、扉材一体タイプとし、押縁を室内側に設けること。（鎮様レス）
		c 開戸の下端は扉幅透しで鋼板t2,3mm 2枚重ねとする。
⑥ ステンレス製建具 NW ND NHD NO	1) 性能及び構造（16,6,2）	a 4,鋼製建具　1) 性能及び構造（16,4,2）による。
	2) 材 料（16,6,3）	a ステンレス鋼板　✱ SUS304　・SUS430JIL　・SUS443J1（耐食）
	3) 形状・仕上（16,6,4）	a ステンレス製建具に使用する鋼板類の厚さは（表16,6,1）による。 ただし、吝理はSUS HL（✱t1,5mm・t2,0mm）、 吊金物及びドアクローザーの補強板は枠側・扉側とも（✱t2.3mm　・t4,5mm）とする。
		b 特記無き場合、表面仕上げはHL #150程度とする。
	4) 工法（16,6,5）	a 曲げ加工　・普通曲げ ✱角出曲げ加工　・a角（0,5mm）　✱ b角（0,75mm）　・c角（1,0mm）
	5) その他	a 両開き・親子扉の召合は目板一体タイプとする。
		b 吸音は特記無き場合、扉材一体タイプとし、押縁を室内側に設けること。
		c 建具表にて、T（エアタイト　気密性A-4）、イ（セミエアタイト＝簡易気密型ドア　気密性A-3）とあるものは枠の4周に気密性を有する合成ゴムを設置すること。
		d 建具表にて、T（エアタイト）とあるものは、グレモンハンドルとし、戸内部に、ロックウール（150Kg/m3）を充填すること。また充填材は劣化によりずれない様にすること。
		e 外部に面し、雨がかり箇所の建具上枠には、SUS（✱HL・FUB・　）t 1,5mm、出30mmの水切り板を設けること。
		f ステンレス建具の表面処理 外部に面する部分： ✱施さない ・フッ素樹脂クリアー塗装、イサム塗料(株)ネオシリカ21c 1000+5000 GSクリアー マイクロファイバーローラー仕上 消包刷入り
		内部に面する部分： ✱施さない　・汚れ防止材（ステンレスオイル）
		g 建具表にて、T（エアタイト）とあるものはステンレスエッジ（ツメ加工）を、t（セミエアタイト）とあるものはステンレスエッジ（L型）を扉の戸先に設けること。
⑦ 木製建具 WW WD WH WO	1) 材 料（16,7,2）	a 建具材の加工及び組立時の含水率 ・A種　✱ B種　・C種
		b フラッシュ戸　・メラミン化粧板(下地普通合板t4)　・ポリエステル化粧合板t2,5 ・普通合板t4貼りの上建具表による仕上　・しな合板t4貼りの上建具表による仕上 ・天然木化粧合板t3,2以上　・図示
		c かまち戸　✱ かまち（杉OL）鏡板（杉框OL）　・かまち（　　）鏡板（　　）　・図示
		d ふすま・戸ぶすま　✱ 紳カシュー塗装，新鳥の子紙貼
		e 面材（合板）及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は（F☆☆☆☆）とする。
		f 枠及びくつずりの材料　✱ 木製枠　・鋼製枠及びSUS製くつずり
	2) 形状及び仕上（16,7,3）	a フラッシュ戸の見込み　✱W950以下×H1,000未満 t30　✱ W950以下×H2,000未満 t33～36 ✱W950以下×H2,400未満 t36～40　・建具表による。
		b かまち戸の見込み　✱ t36 mm　・建具表による。
		c ふすまの見込み　✱ t19.5 mm　・建具表による。
		d 戸ぶすまの見込み　✱ t30 mm　・建具表による。
		e 紙張り障子の見込み　✱ t30 mm　・建具表による。
	3) 工 法（16,7,4）	a 特記無き場合、16,7,4に準ずる。

⑧ 建具用金物	1) 一般事項（16,8,1）	既製又はこれに準ずる建具用金物 ✱ 下記の特記による(特記がない場合は、建具製作所の仕様による)　・ 建具製作所の仕様による
	2) 材質、形状及び寸法（16,8,2）	金物の種類及び材質 ✱ 下記の特記による　・ 表16,8,1による
	3) 鍵（16,8,4）	a 鍵の構成は、マスターキー、グランドマスターキー、グレートグランドマスターキー編成とする。 b マスターキー作成にあたっては、キーシステム図を作成し、監督員の承諾を得ること。 c 鍵箱は、鍵の個数に相応した市販品の折りたたみ式ポータブルタイプとする。鍵ごとに室名またには建具位置を示す札をつけること。（60本用×2 か所程度、杉田エース　CI-60同等品）
	4) 錠	a 錠の仕様　✱ 下記を適用する。 製　品　製品番号は美和ロック(株)の製品名、（　）内は(株)ユニオンの製品を示し、同等品とする。 但し、鍵本体は美和ロック製造とする。 材質・仕上　特記無き場合、SUS製、HLとする。 シリンダー形状　✱　U9シリンダー　・　JNシリンダー ・　LBシリンダー　・　PRシリンダー（集合住宅用）　・　WDシリンダー（ピル用） 種　別 レバーハンドル錠　・LHS(電錠非用)✱LAM・LA　グレモン錠　✱ GT6Q　・ U99T61 ケースロック　WHS　浴室錠　✱ BM　・ LL-6 本締め付モノロック　HW　表示錠　-8(非常解錠装置付) 本締錠（一般扉）　DA　ケースハンドル錠　✱ OMC　・ (ULS284D) 本締錠（自動ドア）　D62　引戸錠錠　F93 空錠　L0,0W　電気錠　AUシリーズ 非常解錠装置付本締錠　DA-E,LA-E(レバーハンドル錠)　引違錠　SL12 引戸錠(ロッド錠)　UD　錠錠　DA2F,LAF(錠レバーハンドル錠) カードロック(電池式)　P1AOCⅡ（　✱建築工事　・電気設備工事　） カードロック(電気式)　RDNT-B03AC　・建築工事　✱ 電気設備工事　） ランダムテンキーロック(電池式)　TK4L　（　✱建築工事　・電気設備工事　） ランダムテンキーロック(電気式)　TKU-002（　・建築工事　✱ 電気設備工事　） b 施錠方式　シリンダー錠は特記無き場合、片面シリンダー・片面サムターンとする。 シリンダー・サムターン等の施錠方式は発注者に最終確認すること。 c 電気錠　操作盤（制御盤）及び操作盤（制御盤）から接続ボックスまでの一次側配管配線は （・建築工事　✱ 電気設備工事）とし、二次配線は建築工事とする。 また、建具内の配管、及び取り付けのための加工等は建築工事とする。 自動ドアの場合はプーリロック式電気錠とする。 d 錠前のバックセットは76mmとする。
	5) 吊金物	a 丁番　アルミ製、鋼製、ステンレス製、鋼製軽量製扉は旗丁番（株)ベストNO.127同等品以上とし 127mm2丁（H2,000未満）、127mm3丁（H2,000以上2,400以下）を使用すること。 木製扉は偏星型丁番（株)ベストNO.110同等品以上とし 102mm2丁（H2,000未満）、102mm3丁（H2,000以上2,400以下）を使用すること。 軽量スチール扉の場合、製作会社の標準仕様にまとることができる。 ロングヒンジ丁番は、東京蝶(株)ロートン・ロングヒンジ同等品以上とする。
		b ヒンジ（a～g)は日本ドアーチェック製造(株)の製品シリーズ番号を示し、記載品番の同等品とする。
		c ピボットヒンジ　D-130AN
		d オートヒンジ　HCシリーズ
		e フロアーヒンジ　Hシリーズ 防火戸扉　Fシリーズ、強化ガラス戸用　Gシリーズ 床仕上が石張り、タイル張り、カーペット張りのときは仕上材張り付け用のものとする。
		f ドアクローザー　外部：7010シリーズ、内部：7000シリーズ、コンシールドタイプ：60シリーズ、木製：60 ドアクローザーは特記無き限り室内側に設けること。
		g 点検口用ヒンジ　THシリーズ
		h 扉開錠位置調整器　SF-900FK、SF-1200FK、SF-1500FK
	6)建築金物	a 把　手　レバーハンドル　✱ 64型鋳面仕様　・(UL69D-001S)　・　同等品 握　玉　✱ U 型　・(UK325-001S)　・　同等品
		b ドアハンドル　ステンレス鋳　✱（T2093ステンレスヘアライン）　・　同等品 上記以外　✱（H2051 L452）抗菌仕様　・　同等品
		c 戸当たり　開き戸には戸当り、（株)ユニオン UT-1 同等品以上を各扉共1箇所ずつ床に取付けること。
		d フランス落とし　両開扉および親子扉には片側にフランス落しを上下1組取付けること。
		e 外部に面する扉には、ドアクローザーとあおり止めを設置のこと。
		f フロアーヒンジ、ピボットヒンジは雨がかり部分には使用しないこと。
		g 建具金物を取り付ける部分には面材裏に補強材を設置のこと。
		h 押　縁　特記のない場合、押縁は(株)ユニオン　G1214-01-023-B型同等品以上とする。
⑨ 自動ドア開閉装置	1) 性　能（16,9,2）	a 自動ドア開閉装置の性能値は、 （表16,9,1）により、開閉方法、適用戸の質量に準じた仕様とする。
	2) 構　造（16,9,3） 工　法（16,9,4）	b 多機能トイレ出入口に設置される引戸用電動装置の性能値は、（表16,9,2)による。
		c 検出装置の性能は、表16,9,3による。
		a 特記無き場合、引き戸用検出装置の種類は、光学(反射)センサー（✱開閉型・天井取付型）とする。 補助光電センサーを床面から650mm以下の間に2ヶ所設置のこと。（内1ヶ所は、床面から250mmとする。）
		b 寒冷地における凍結防止措置　・　行う（適用個所：✱図示　）　✱　行わない
		c 引戸には、戸袋側に巻き込まれ防止機等を設置すること。 H900以上、床面との隙間は100以下、1,000mm当たり490N0水平荷重で損傷しないこと。 防止機の構造は、✱図示による。二重（多重）引戸の場合は、防護柵は設置せず、JIS A 4722及び「歩行者用自動ドアセット引戸>安全ガイドブック（全国自動ドア協会）」の基準を満たすこと。歩行者の大部分が高齢者、障がい者、子どもなどである場合の適用については、次による。　✱全ての二重(多重)ドア　・図示　・適用しない
		d 引戸は、指挟み及び引き込まれ防止の為、全開時に戸先と方立の間 ドア付タッチスイッチと方立の間、全開時に戸先とたて枠又は壁との間にそれぞれ30mm以上の隙間を設けること。
		e 自動ドアはJIS A 4722の安全基準を満たし、使用箇所、用途により下記の安全対策も合わせて講じること。 e-1 透明なガラスへの衝突防止表示　e-2 用途に応じた、開き、閉じ速度と開放保持時間 e-3 扉の軽量化と戸先金物の銳化　e-4ドア面のひっ掛りの少ない形状
		f 避難経路となるスライディングドア自動ドアは、次の機能を有すること。 ⊙パニックオープン機構　・地震対応強化部品の採用　・ブレークアウト機能
	3) その他	a 電源スイッチは（・建築工事　✱電気設備工事）にて、（✱全て　・図示の箇所）に設置する。 電源スイッチは壁付とし、床上1,350mmを標準とし、鍵付きのボックス内に設置のこと。 ボックスの仕上げは、屋外設置はSUS製HL、屋内設置は鋼製AE色とし、設置場所は監督員と協議のこと。
		b 多機能トイレの押しボタンスイッチは、NABCO HDS-41α（押しボタンスイッチ）とする。
⑩ 自動式上吊り引戸装置	1) 性能（16,10,3）	自閉式上吊り引戸装置の性能は、（表16,10,1）による。
	2) その他 引戸に関する事項	a 下記の片引戸はフリーストッパー付とする。設置個所は、✱図示　・すべての片引戸
		b 特記無き場合、引戸はL65壁収納タイプとする。（平面詳細図・平面図参照）
		c 水廻りは外付けタイプとする。
		d 開錠方式は下記による。 ✱ 傾斜レール式　・スプリングクローザー　・ バランサーウェイト
		e 作動性能　開錠→施動時水平反力を、10N以下とする。（・引き分け扉は左右連動　✱図示　）とする。 f a以外に作動性能を指定する場合は、右記による（　　）
⑪ 重量シャッター	1) 形式及び機構（16,11,2）	a シャッターの種類（管理用シャッター、外壁用防火シャッター、屋内用防火シャッター、防煙シャッター）　✱ 図示
		b 外気に面する重量シャッターの耐風圧性能 ✱「工事監督者 1,設計条件等」による設計用耐風力に対して、レールから脱落せず、開口幅の1/200以下のたわみ率かつ使用上有害な変形の残留がないものとする。 ・（　　）N/㎡
		c 開閉機能は　✱ 上部電動式（手動併用）　・上部手動式
		d 手動時の巻き上げ操作は鎖式とし、床面で操作できる高さとすること。
		e 保護装置 二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置等は、全ての電動シャッターに設ける。 障害物感知装置は全ての電動シャッターに設ける。 煙感知器連動機構、熱感知器連動機構、手動開錠装置により開錠する全てのシャッターには、 障害物感知装置(自動開錠型)及び建設省告示第2563号(平成48年12月28日)に定める基準に適合するものを設置すること。
		e シャッターケースの設置　✱ 設ける(スラットと同材、同仕上)　・ 特記なき限り設けない
		f 下記の機能は建具表記載による。 注意喚起装置、特殊シャッター（耐風、遮音、防煙、高速、水圧解除、低振動）
	2) 材 料（16,11,3） 形状及び仕上（16,11,4）	a 屋外に面し設置するシャッターのガイドレール、まぐさ、座板はSUS製とする。 また、雨の吹き込みが予想される座板には合成ゴム製の止水パッキンを設置すること。
		b 内部シャッターの仕上げは下記による。 ガイドレール　・SUS　✱ ガイドSUS 、見えがかり部鋼製 SOP まぐさ　・SUS　✱ 鋼製　AEB 座板　・SUS　✱ 鋼製　AEB
		c シャッターのスラットは下記による。ただし、仕上げは建具表による。 屋外設置　✱ SUS製　・溶融亜鉛めっき鋼板(鏡止め塗装)　仕上(・DP-F　・SOP　✱図示) 屋内設置　・SUS製　✱ 溶融亜鉛めっき鋼板(鏡止め塗装)　仕上(・DP-F　・SOP　✱図示)
		d グリルシャッターのパイプは　✱ SUS　・ 鋼製
		e 操作ボックスは壁付とし、床上1,350mmを標準とし、鍵付きのボックス内に設置のこと。 操作ボックスの仕上げは、屋外設置はSUS製(✱HL・AEB　・　　)、屋内設置は鋼製（✱AEB　・VS）とする。
⑫ 軽量シャッター LS	1) 形式及び機構（16,12,2）	a 外気に面する軽量シャッターの耐風圧性能 ✱「工事監督者 1,設計条件等」による設計用耐風力に対して、レールから脱落せず、開口幅の1/200以下のたわみ率かつ使用上有害な変形の残留がないものとする。 ・（　　）N/㎡
		b 開閉機能は　✱ 手動式　・上部電動式（手動併用）　・ 特記なき限り設けない
	2) 材料（16,12,3）	c 手動時の巻き上げ操作は鎖式とし、床面で操作できる高さとすること。
		d シャッターケースの設置　✱ 設ける(スラットと同材、同仕上)　・ 特記なき限り設けない
		a スラット　材質　✱ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・ JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） ・ アルミ押出型材　・
		b スラット　形状　✱ インターロッキング形　・ オーバーラッピング形
	3) 形状及び仕上（16,12,4）	a シャッターの仕上は下記による。 ガイドレール　・SUS製　✱ カラー鋼板　・アルミ製 まぐさ　・SUS製　✱ カラー鋼板　・アルミ製 座板　・SUS製　✱ カラー鋼板　・アルミ製
		b グリルシャッターのパイプは　✱ SUS製　・ 鋼製　AEB
		c 操作ボックスは壁付とし、床上1,350mmを標準とし、鍵付きのボックス内に設置のこと。 操作ボックスの仕上げは、屋外設置はSUS製(✱HL・AEB　・　　)、屋内設置は鋼製（✱AEB　・VS）とする。
⑬ オーバーヘッドドア OD	1) 形式及び機構（16,13,2）	a 外部に面するオーバーヘッドドアの耐風圧性能　✱ S-2　・ ✱「工事監督者 1,設計条件等」による設計用耐風力に対して耐えれるものとし、開口幅の1/200以下のたわみ率かつ使用上有害な変形の残留がないものとする。 ・（　　）N/㎡

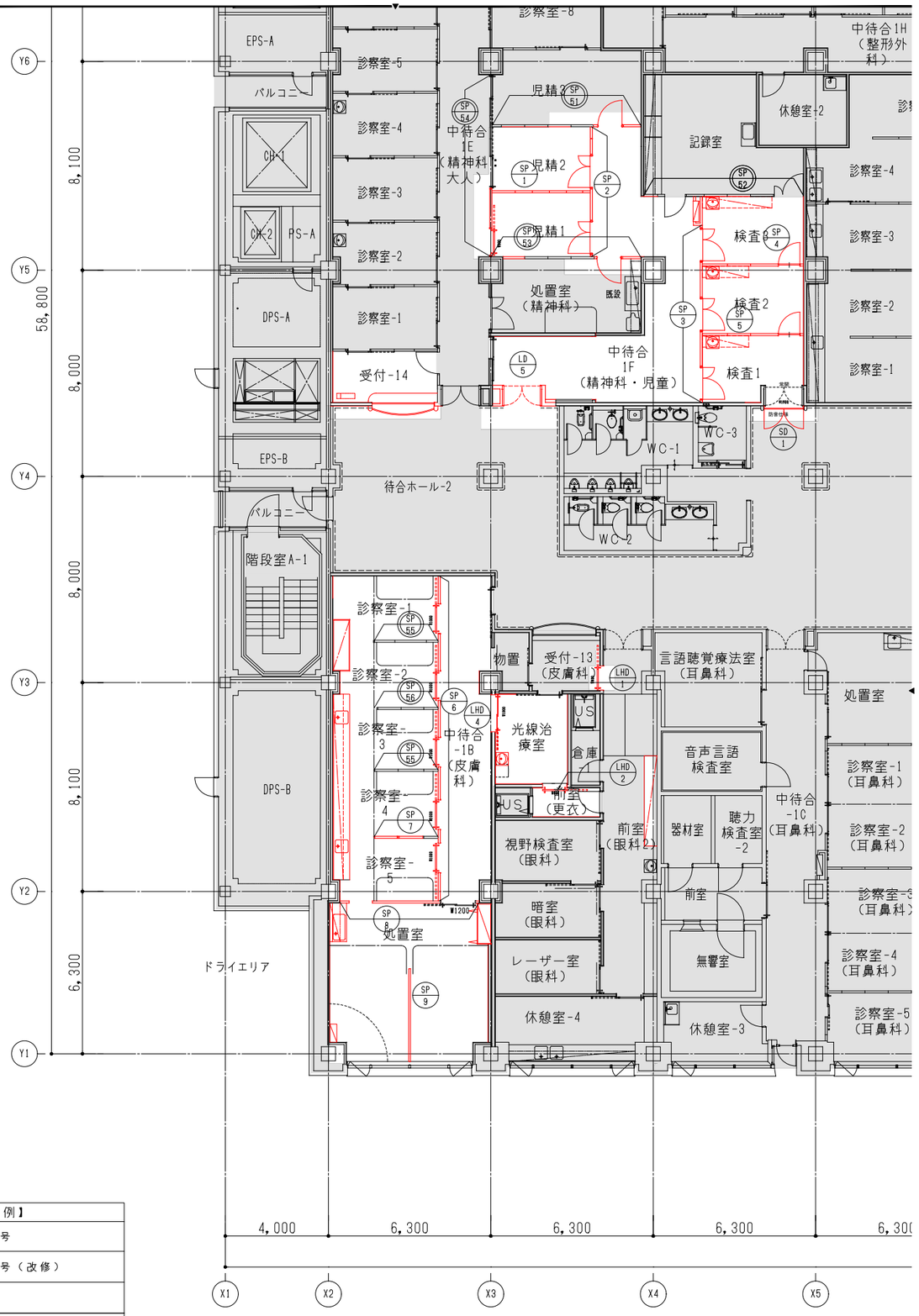
セクション材料	開閉方式	収納形式
材料（16,13,3）	✱ バランス式	✱ スタンダード形
✱スチール製	・ チェーン式	・ ローヘッド形
・アルミ製	・ 電動式	・ ハイリフト形
・ファイバーグラスタイプ		・ バーチカル形
形状及び仕上げ（16,13,4）		

b ガイドレール　材質　✱ 溶融亜鉛めっき鋼板　・ SUS製	
2) その他	a 断熱仕様　・有（t　）　・無し　・図示
⑭ ガラス	1) 材料（16,14,2）	a 板ガラスの種類、厚さ等は建具表による。
		b 合わせガラスの特性　・Ⅰ類　✱ Ⅱ-1類　・Ⅱ-2類　・Ⅲ類　（✱ 曲面ガラスの場合は、Ⅰ類）
		c 強化ガラスの特性　・Ⅰ類　✱ Ⅱ



【改修前】

【凡例】	
LHD 1a	既設建具符号（残置）
LHD 1a	既存建具符号（撤去）
LHD 1a	既存建具符号（改修）
	工事範囲を示す
	工事範囲外を示す



【改修後】

【凡例】	
LHD 1a	新設建具符号
LHD 1a	既存建具符号（改修）
	工事範囲を示す
	工事範囲外を示す

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地徹実

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

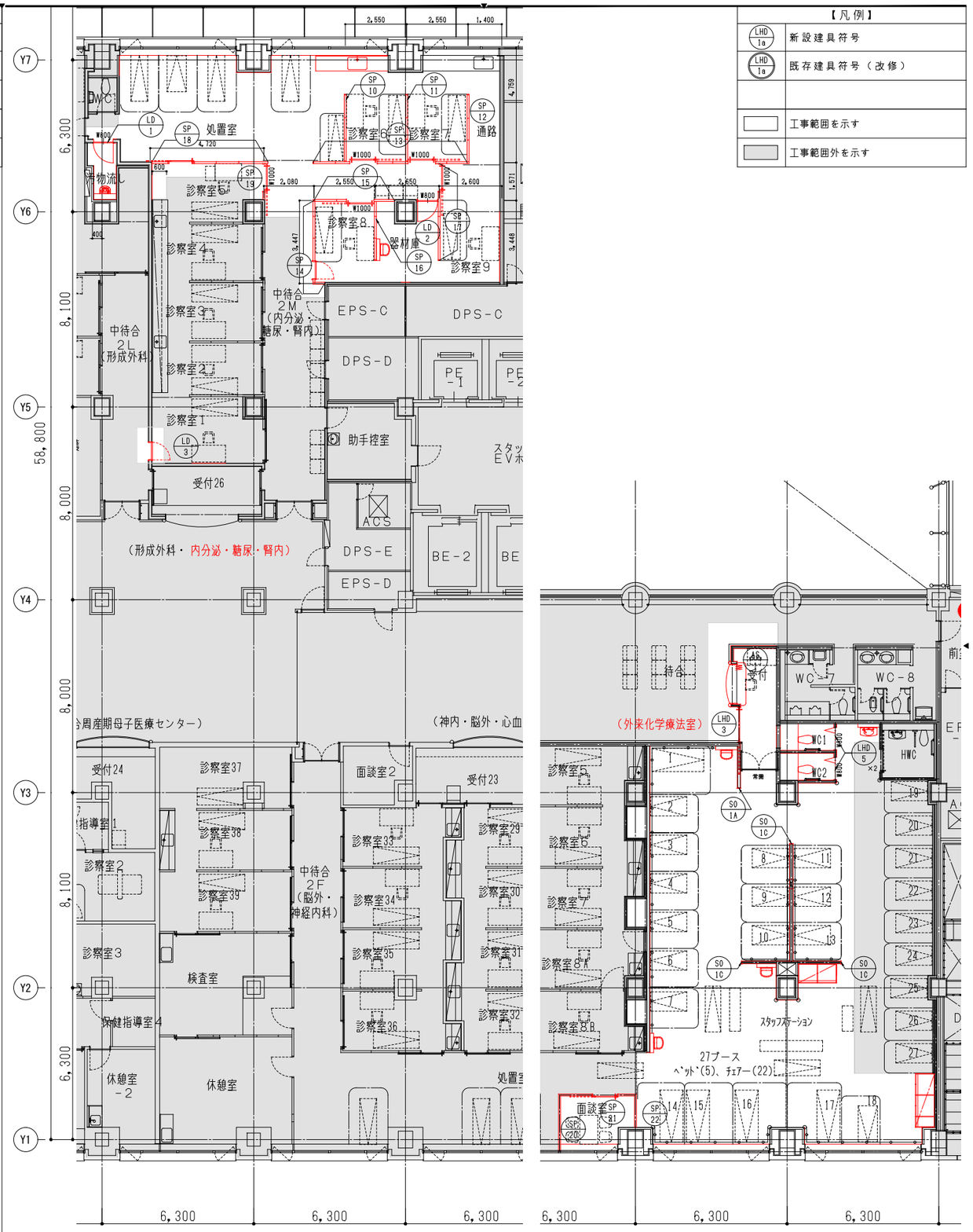
1階建具キープラン（精神科・皮膚科）（撤去・改修・新設）

2022.03
A1：1/100
A3：1/200

RA－046



【改修前】



【改修後】

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第233442号 和田雅彦 / 一級建築士登録 第226323号 菊地徹実	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事 2階建具キープラン （皮膚科・内分泌・糖尿・腎内・外来化学療法室）（撤去・改修・新設）	2022.03 A1：1/100 A3：1/200	RA－047

形状	記号	取付箇所	数量	建具寸法 W1	W2	H1	H2	枠形状 D	吊元	仕上	錠 種別	錠 施錠方式	錠 電気錠	建具金物 把手引手	建具金物 吊金物	建具金物 自閉装置	ガラス 種別・厚さ	ボックス 網戸	法規 機能	備考
	SP 1	中待合1F(1F精神科)	1	1,120		2,100		70		AEB										
				7,328		2,700														
	SP 2	検査室(1F精神科)	1					70		AEB										
				3,747		2,700														
	SP 3	カウンセリング室-2 (1F精神科)	1					70		AEB										
				4,551		2,700														
	SP 4	中待合-1B (1F小児精神神経科)	1	1,120		2,100		70		AEB										
				12,537		2,700														
	SP 5	観察室 (1F小児精神神経科)	1	905		2,115		70	C	AEB										
				4,085		2,700														
	SP 6	処置室～診察室6 (2F皮膚科)	1	1,120	1,020	2,115		70		AEB										
				10,979		2,700														
	SP 7	診察室5・6(2F皮膚科)	2					70		AEB										
				2,840		2,700														
	SP 8	診察室7(2F皮膚科)	2					70		AEB										
				1,807		2,700														
	SP 9	写真室(2F皮膚科)	1					70		AEB										W=553+589+3015+444
				4,601		2,700														
	SP 10	写真室(2F皮膚科)	1					70		AEB										
				1,470		2,700														
	SP 11	写真室(2F皮膚科)	1					70		AEB										W=2452+1040
				3,492		2,700														
	SP 12	診察室7(2F皮膚科)	1	1,030		2,115		70		AEB										
				1,491		2,700														
	SP 13	光線治療室(2F皮膚科)	2					70		AEB										
				1,380		2,700														
	SP 14	光線治療室(2F皮膚科)	1					70		AEB										
				2,071		2,700														
	SP 15	診察室4(2F皮膚科)	1	820		2,100		70		AEB										
				1,491		2,700														
	SP 16	中待合-2A (2F内分泌・糖尿・腎内)	1	1,320		2,115		70		AEB										
				7,080		2,700														
	SP 17	中待合-2A (2F内分泌・糖尿・腎内)	1	1,320	960	2,115		70		AEB										
				5,280		2,700														
	SP 18	診察室1～3 (2F内分泌・糖尿・腎内)	3					70		AEB										
				2,871		2,700														
	SP 19	診察室4 (2F内分泌・糖尿・腎内)	1	920		2,100		70		AEB										
				3,771		2,700														
	SP 20	処置室 (2F内分泌・糖尿・腎内)	1	1,020		2,115		70		AEB										
				5,784		2,700														
	SP 21	処置室 (2F内分泌・糖尿・腎内)	1	1,020		2,115		70		AEB										
				3,100		2,700														
	SP 22	中待合 (2F内分泌・糖尿・腎内)	1	1,000		2,115		70	C	AEB										
				11,607		2,700														
	LHD 2	外来化学療法室(2F)	1					D 40	C	AEB									不	
				930		2,115														
	LHD 3	713(7F)	1					D 40	C	AEB									不	
				1,470		2,115														
	LD 1	面談室-1(1F精神科)	1					A 40	C	AEB									不	
				800		2,100														
	LD 2	プレイセラピー (1F小児精神神経科)	1					A 40	C	AEB									不	
				800		2,100														
	LD 3	脱衣(2F皮膚科)	1					A 40	C	AEB									不	
				700		2,100														
	LD 4	WC(713 7F)	1					A 40	C	AEB									不	
				850		1,900														
	LD 5	診察室4(1F児童精神科)	1					A 40	C	AEB									不	
				1,200		2,100														
	SW 1	プレイセラピー (1F小児精神神経科)	1							SOP							T6		不	下端FL+1145
				1,600		965														
	SO 1	US(2F皮膚科)	1							SOP									不	3方枠
				660		2,000														
	SO 2	713(7F)	2							SOP									不	1方枠
				-		2,600														

形状	記号	取付箇所	数量	建具寸法 W1	W2	H1	H2	枠形状 D	吊元	仕上	錠 種別	錠 施錠方式	錠 電気錠	建具金物 把手引手	建具金物 吊金物	建具金物 自閉装置	ガラス 種別・厚さ	ボックス 網戸	法規 機能	備考
	SP 31	面談室-1(1F精神科)	1	910		2,115		70												
				4,055		2,700														
	SP 32	中待合1E(1F精神科)	1	830		2,100		70												
				1,428		2,700														
	AW 22	プレイセラピー (1F小児精神神経科)	1																	下端FL+1105
				4,838		1,585														既存のまま
	AW 23	2F	6																	下端FL+1115
				4,770		1,560														既存のまま
	AW 12	プレイセラピー(7F)	1																	下端FL+815
				4,960		1,757														既存のまま
	LHD 2	中待合-1B (1F児童精神科)	1					D 40												既存のまま
				1,030		2,115														
	LHD 29	受付-14(1F精神科)	2					D 40												既存のまま
				1,200		2,115														
	LHD 30	受付-13 (1F小児精神神経科)	1					D 40												既存のまま
				920		2,115														
	LD 21	中待合1F(1F精神科)	1					D 40												既存のまま
				1,400		2,100														
	LD 21	中待合-2A (2F内分泌・糖尿・腎内)	1					D 40												既存のまま
				1,400		2,100														
	LD 6	倉庫-2 (1F小児精神神経科)	1					D 40												下端FL+100
				800		2,000														既存のまま

建具記号

第1符号：材　質
第2符号：機　能
第3符号：整理番号
防火戸の種別
電気錠：X

材質		機能	
A	アルミ製	D	扉，戸
J	樹脂製	H	引　戸
S	スチール製	HD	引　戸（吊戸）
L	軽量スチール製	W	窓
N	ステンレス製	P	パーティション
W	木製	O	建具なし（枠のみ）
WA	木アルミ複合	OW	カーテンウォール
X	スチール製（鉛貼）	SF	防煙垂壁
		S	シャッター
		G	ガラリ
		F	ふすま
		SH	障子
		OD	オーバードア
		ID	防熱扉

防火戸の種別

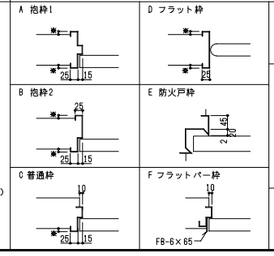
防	防火設備（常時閉鎖式）	特	特定防火設備（常時閉鎖式）
防	防火設備（常時閉鎖式／遮煙性能）	特	特定防火設備（常時閉鎖式／遮煙性能）
防	防火設備（随時閉鎖式・煙感連動自閉式）	特	特定防火設備（随時閉鎖式・煙感連動自閉式）
防	防火設備（随時閉鎖式・煙感連動自閉式／遮煙性能）	特	特定防火設備（随時閉鎖式・煙感連動自閉式／遮煙性能）
網	防火設備	不	不燃戸（常時閉鎖式）
		不	不燃戸（随時閉鎖式・煙感連動自閉式）
		防	防火・防煙シャッター（防火設備）（常時閉鎖式・煙感連動）
		防	防火・防煙シャッター（防火設備）（随時閉鎖式・煙感連動）
		特	防火・防煙シャッター（特定防火設備）（随時閉鎖式・煙感連動）

建具寸法

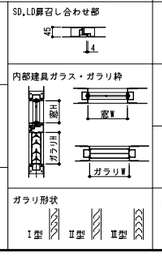


W ： 枠内法有効巾（鼻厚除く）
H ： 枠内法有効高さ
D ： 枠見込

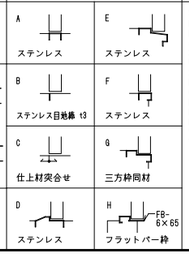
枠形状



※は、チリ寸法を示す



吊元



仕上

SOP	合成樹脂調合ペイント塗
OP-F	フッ素樹脂艶消性塗料塗
FUB	フッ素樹脂焼付塗装
AEB	アクリル樹脂エナメル焼付塗装
2-UE	2液形ポリウレタンエナメル塗
UEB	ポリウレタン樹脂エナメル焼付塗装
2-UC	2液形ポリウレタン樹脂ワニス塗
LC	クリヤラッカー塗
OS	オイルステイン塗
HL	ステンレスヘアライン仕上
BF	ステンレスバフ仕上
BL	ステンレスバイブレーション仕上
VS	化粧塩ビシート貼
VC	ビニルクロス貼

アルミ建具仕様
外部　A-1,A-2,B-1,B-2,D
内部　B-1,B-2,C-1,C-2,D

錠

L	レバーハンドル付本締錠
H	握玉付本締錠
D	本締錠
O	空錠
E	非常解錠装置付本締錠
EL	非常解錠装置付レバーハンドル錠
U	引戸錠
DU	引違戸錠
G	グレモン錠
B	浴室錠
I	表示錠（非常解錠装置付）
C	ケースハンドル錠
F	鎌錠
T	点検錠
X	電気錠
Y	カードロック（電気式）
T	テンキー（電気式）
Y	カードロック（電池式）
T	テンキー（電池式）
K	クレセント・レバーハンドル
Z	特殊錠（備考欄による）

本締錠の施錠方式

1	シリンダー — サムターン
2	シリンダー — 空
3	空 — サムターン
4	シリンダー — シリンダー
5	サムターン — サムターン

電気錠の作動方式

a	瞬時通電施解錠型
b	通電時解錠型
c	通電時施錠型
d	モーター施解錠型

建具金物

把手・引手

L	レバーハンドル
H	握玉
C	ケースハンドル
G	グレモンハンドル
S	ドアハンドル（引手）
P	押板
T	取込引手

吊金物

H	丁番
P	ピボットヒンジ
A	オートヒンジ
F	フロアヒンジ
S	引戸用ハンガーレール
T	点検扉用ピボットヒンジ
L	ラバトリヒンジ

自動開錠装置

DS	ドアクローザー（ストップ付）
DO	ドアクローザー（ストップなし）
C	コンシールドドアクローザー
FS	フリーストッパー（半自動引戸）
SO	自閉装置ストップ付
TO	自閉装置ストップなし
A	点検扉用スプリングヒンジ
	自動ドア
I S	赤外線式
P	静電式
P B	押釦式（ワイヤレス）
M	押釦式（身障者用）
A	ゴムマット式
R	手術用近接スイッチ（非接触）
F	光線遮断式（タッチ式）
K	光線遮断式（フット式）
E	光線スイッチ（反射型）
	電動シャッター

ガラス

FL	フロート板ガラス
PW	網入り板ガラス
PN	線入り板ガラス
F	型板ガラス
FW	網入型板ガラス
FN	線入型板ガラス
HAP	熱線吸収ガラス
HR	熱線反射ガラス
T	強化ガラス
ST	学校用強化ガラス
DS	倍強度ガラス
TP	耐熱ガラス
Lo	Low-εガラス
B	ガラスブロック
X	鉛入ガラス

／は、合わせガラスを示す
　外側／内側
＋は、複層ガラスを示す
　外側＋中空層＋内側

ボックス	網戸
B ブラインドボックス	有　あり
C カーテンボックス	

法規制

特	特定防火設備
防	防火設備
不	不燃戸
遮	遮煙性能
避	非常用進入口
代	非常用進入口に代わる窓

機能

S	感知器連動
O	鍵握オペレーター付
CP	防犯建築部品
T	エアタイト扉(AT)
t	セミエアタイト扉(SAT)
T✱	防音ドア・サッシ(✱は等級)
H✱	断熱ドア・サッシ(✱は等級)
D✱	耐震ドア・サッシ(✱は等級)
F	面一サッシ

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地徹実

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

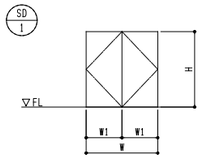
建具表(撤去・既設)

2022.03
A1：1/100
A3：1/200

RA－048

形状

SO 1

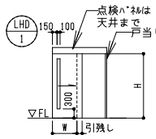


SO 1 一方枠（見付25）

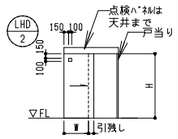


SP ※ ※SP姿図は別図参照

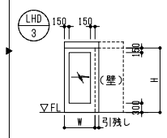
LHD 1



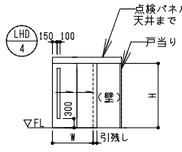
LHD 2



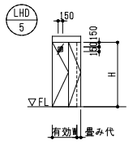
LHD 3



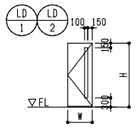
LHD 4



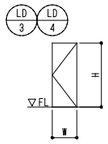
LHD 5



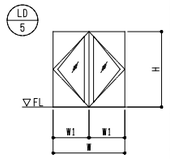
LD 1 LD 2



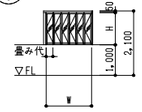
LD 3 LD 4



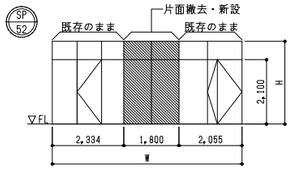
LD 5



AS 1



SP 52



記号	取付箇所	数量	建具寸法 W1	W2	H1	H2	枠形状 D	吊元	仕上	錠 種別	錠 施錠方式	錠 電気錠	建具金物 把手引手	建具金物 吊金物	建具金物 自閉装置	ガラス 種別・厚さ	ボックス 網戸	ボックス 機能	法規	備考
			W		H															
SD 1	検査１(1F精神科)	1	1,500		2,100		A 40	C	SOP	D	3		T	A	DO				不	ドアボトム グラスウール充填
SO 1A	外来化学療法室(2F)	1			2,700		D		SOP											
SO 1B	プレイセラピー(7F)	1			2,600		D		SOP											
SO 1C	外来化学療法室(2F)	3			1,770		D		SOP											
SP 1	児精１(1F精神科)	1	図示		図示		70		AEB										不	
SP 2	児精１～児精２ (1F精神科)	1	図示		図示		70		AEB	L	1		L	P	DS				不	
SP 3	検査１～検査３ (1F精神科)	1	図示		図示		70		AEB	L	1		L	P	DS				不	
SP 4	検査２(1F精神科)	1	図示		図示		70		AEB	L	1		L	P	DS				不	
SP 5	検査３(1F精神科)	1	図示		図示		70		AEB	L	1		L	P	DS				不	
SP 6	中待合-1B(1F皮膚科)	1	図示		図示		70	C	AEB	U	1		S	S	S				不	
SP 7	診察室-5(1F皮膚科)	1	図示		図示		70		AEB										不	
SP 8	処置室(1F皮膚科)	1	図示		図示		70	C	AEB	U	1		S	S	S				不	
SP 9	処置室(1F皮膚科)	1	図示		図示		70		AEB										不	
SP 10	診察室６ (2F内分泌・糖尿・腎内)	1	図示		図示		70		AEB										不	
SP 11	診察室７ (2F内分泌・糖尿・腎内)	1	図示		図示		70		AEB										不	
SP 12	通路 (2F内分泌・糖尿・腎内)	1	図示		図示		70		AEB										不	
SP 13	処置室～通路 (2F内分泌・糖尿・腎内)	1	図示		図示		70	C	AEB	U	3		S	S	S				不	
SP 14	診察室８ (2F内分泌・糖尿・腎内)	1	図示		図示		70	C	AEB	L	3		L	P	DS				不	サムターンカバー付
SP 15	診察室８ (2F内分泌・糖尿・腎内)	1	図示		図示		70	C	AEB	U	3		S	S	S				不	
SP 16	診察室８ (2F内分泌・糖尿・腎内)	1	図示		図示		70		AEB										不	
SP 17	診察室９ (2F内分泌・糖尿・腎内)	1	図示		図示		70	C	AEB	U	3		S	S	S				不	
SP 18	診察室５ (2F内分泌・糖尿・腎内)	1	図示		図示		70	C	AEB				S	S	S				不	
SP 19	診察室５ (2F内分泌・糖尿・腎内)	1	図示		図示		70	C	AEB	U	3		S	S	S				不	
SP 20	面談室 (2F外来化学療法室)	1	図示		図示		70		AEB										不	
SP 21	面談室 (2F外来化学療法室)	1	図示		図示		70	C	AEB	U	1		S	S	S				不	
SP 22	面談室 (2F外来化学療法室)	1	図示		図示		70		AEB										不	
LHD 1	受付-13(1F皮膚科)	1	800		2,115		D 40	C	AEB	U	1		S	S	O	F4			不	
LHD 2	光線治療室(1F皮膚科)	1	800		2,115		D 40	C	AEB	U	1		S	S	O	F4			不	
LHD 3	受付 (2F外来化学療法室)	1	1,300		2,115		D 40	C	VS	U	1		S	S	O	FL6			不	半透明フィルム貼り
LHD 4	光線治療室(1F皮膚科)	1	1,300		2,115		D 40	C	AEB	U	1		S	S	O	F4			不	
LHD 5	WC1・2 (2F外来化学療法室)	2	800		2,115		D 40	C	AEB	I	1		S	S	O	F4			不	アンダーカット H=30
LD 1	汚物流し (2F内分泌・糖尿・腎内)	1	800		2,100		A 40	C	AEB	L	1		L	P	DO	F4			不	アンダーカット H=30
LD 2	器材庫 (2F内分泌・糖尿・腎内)	1	800		2,100		A 40	C	AEB	L	3		L	P	DS	F4			不	
LD 3	診察室１ (2F内分泌・糖尿・腎内)	1	750		2,100		A 40	C	AEB	L	3		L	P	DO				不	サムターンカバー付
LD 4	プレイセラピー(7F)	1	900		2,000		A 40	A	AEB	L	1		L	P	DO				防t	ドアボトム仕様
LD 5	中待合1F(1F精神科)	1	1,400		2,100		E 40	C	SOP	D	2		T	A		F4			不	フランス落し(両扉) 90度ビルドイン
AS 1	受付 (2F外来化学療法室)	1	1,570		1,050		D 70	C		U	2		T	S	0	FL3			不	飛散防止フィルム貼り 東工ｼｬｯﾀｰ ｲｰｽﾀｰｶｰﾃﾝ 同等品以上 ｽﾘﾑﾀｲﾌﾟ ﾉﾝﾚｰﾙ 同等品以上 付属金物一式 仕上：高耐久性複合被膜 (HDｺｰﾄ)表面処理 ｽﾃﾝｶﾗｰUC
SP 51	児精3(1F精神科)	1	図示		図示		70	C	AEB	L	1		L	P	DO				不	改修内容：建具詳細図参照
SP 52	記録室(1F精神科)	1	6,189		2,700		70	C	AEB										不	片面撤去・新設
SP 53	処置室(1F精神科)	1	図示		図示		70	C	AEB	L	1		L	P	DO				不	改修内容：建具詳細図参照
SP 54	児精1～3(1F精神科)	1	図示		図示		70	C	AEB	U	3		S	S	0				不	改修内容：建具詳細図参照
SP 55	診察室1・3(1F皮膚科)	2	図示		2,700		70	C	AEB										不	エンドフィニッシュ改修 改修内容：建具詳細図参照
SP 56	診察室2(1F皮膚科)	1	図示		2,700		70	C	AEB										不	エンドフィニッシュ改修 改修内容：建具詳細図参照

建具記号

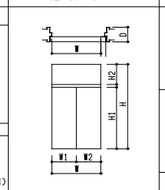
第1符号：材　質
第2符号：機　能
第3符号：整理番号
防火戸の種別
電気錠：X

材質		機能	
A	アルミ製	D	扉，戸
J	樹脂製	H	引　戸
S	スチール製	HD	引　戸（吊戸）
L	軽量スチール製	W	窓
N	ステンレス製	P	パーティション
W	木製	O	建具なし（枠のみ）
WA	木アルミ複合	CW	カーテンウォール
X	スチール製（鉛貼）	SF	防煙垂壁
		S	シャッター
		G	ガラリ
		F	ふすま
		SH	障子
		OD	オーバードア
		ID	防熱扉

防火戸の種別

防	防火設備（常時閉鎖式）	特	特定防火設備（常時閉鎖式）
防	防火設備（常時閉鎖式／遮煙性能）	特	特定防火設備（常時閉鎖式／遮煙性能）
防	防火設備（随時閉鎖式・煙感連動自閉式）	特	特定防火設備（随時閉鎖式・煙感連動自閉式）
防	防火設備（随時閉鎖式・煙感連動自閉式／遮煙性能）	特	特定防火設備（随時閉鎖式・煙感連動自閉式／遮煙性能）
網	防火設備	不	不燃戸（常時閉鎖式）
		不	不燃戸（随時閉鎖式・煙感連動自閉式）
防	防火・防煙シャッター（防火設備）（随時閉鎖式・煙感連動）		
防	防火・防煙シャッター（防火設備）（随時閉鎖式・煙感連動／遮煙性能）		
特	防火・防煙シャッター（特定防火設備）（随時閉鎖式・煙感連動）		
特	防火・防煙シャッター（特定防火設備）（随時閉鎖式・煙感連動／遮煙性能）		

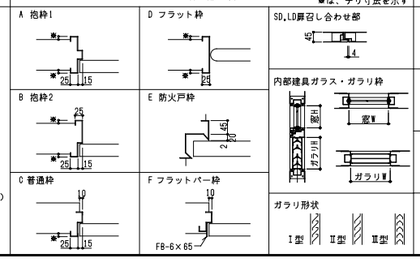
建具寸法



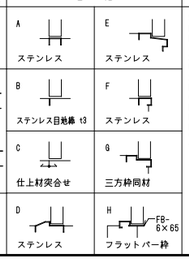
W：枠内法有効巾（扉厚除く）
H：枠内法有効高さ
D：枠見込

枠形状

※は、チリ寸法を示す



吊　元



仕　上

SOP	合成樹脂調合ペイント塗
DP-F	フッ素樹脂艶消焼付塗装塗
FUB	フッ素樹脂焼付塗装
AEB	アクリル樹脂エナメル焼付塗装
2-UE	2液形ポリウレタンエナメル塗
UEB	ポリウレタン樹脂エナメル焼付塗装
2-UC	2液形ポリウレタン樹脂ワニス塗
LC	クリヤラッカー塗
OS	オイルステイン塗
HL	ステンレスヘアライン仕上
BF	ステンレスバフ仕上
BL	ステンレスバイブレーション仕上
VS	化粧塩ビシート貼
VC	ビニルクロス貼

アルミ建具仕様
外部　A-1,A-2,B-1,B-2,D
内部　B-1,B-2,C-1,C-2,D

錠

L	レバーハンドル付本締錠
H	握玉付本締錠
D	本締錠
O	空錠
E	非常解錠装置付本締錠
EL	非常解錠装置付レバーハンドル錠
U	引戸錠
DU	引違戸錠
G	グレモン錠
B	浴室錠
I	表示錠（非常解錠装置付）
C	ケースハンドル錠
F	鎌錠
T	点検錠
X	電気錠
Y	カードロック（電気式）
T	テンキー（電気式）
Y	カードロック（電池式）
T	テンキー（電池式）
K	クレセント・レバーハンドル
Z	特殊錠（備考欄による）

本締錠の施錠方式

1	シリンダー — サムターン
2	シリンダー — 空
3	空 — サムターン
4	シリンダー — シリンダー
5	サムターン — サムターン

電気錠の作動方式

a	瞬時通電施解錠型
b	通電時解錠型
c	通電時施錠型
d	モーター施解錠型

建具金物

把手・引手

L	レバーハンドル
H	握玉
C	ケースハンドル
G	グレモンハンドル
S	ドアハンドル（引手）
P	押板
T	敲込引手

吊金物

H	丁番
P	ピボットヒンジ
A	オートヒンジ
F	フロアヒンジ
S	引戸用ハンガーレール
T	点検扉用ピボットヒンジ
L	ラバトリヒンジ

自動閉鎖装置

DS	ドアクローザー（ストップ付）
DO	ドアクローザー（ストップなし）
C	コンシールドドアクローザー
FS	フリーストッパー（半自動式引戸）
S	自閉装置ストップ付
O	自閉装置ストップなし
T	点検扉用スプリングヒンジ
A	自動ドア
I	赤外線式
S	静電式
P	押釦式（ワイヤレス）
B	押釦式（身障者用）
M	ゴムマット式
A	手術用近接スイッチ（非接触）
R	光線遮断式（タッチ式）
F	光線遮断式（フット式）
K	光線スイッチ（反射型）
E	電動シャッター

ガラス

FL	フロート板ガラス
FW	網入り板ガラス
PN	線入り板ガラス
F	型板ガラス
FW	網入型板ガラス
FN	線入型板ガラス
HAP	熱線吸収ガラス
HR	熱線反射ガラス
T	強化ガラス
ST	学校用強化ガラス
DS	倍強度ガラス
TP	耐熱ガラス
Lo	Low-εガラス
B	ガラスブロック
X	鉛入ガラス

／は、合わせガラスを示す
外側／内側
＋は、複層ガラスを示す
外側＋中空層＋内側

ボックス	網戸
B ブラインドボックス	有　あり
C カーテンボックス	

法規制

特	特定防火設備
防	防火設備
不	不燃戸
遮	遮蔽性能
避	非常用進入口
代	非常用進入口に代わる窓

機　能

S	感知器連動
O	挟雑オペレーター付
CP	防犯建築部品
T	エアタイト扉(AT)
t	セミエアタイト扉(SAT)
T※	防音ドア・サッシ(※は等級)
H※	断熱ドア・サッシ(※は等級)
D※	耐風ドア・サッシ(※は等級)
F	面一サッシ

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地徹実

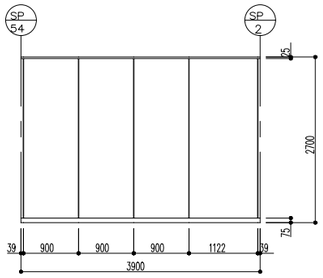
公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

建具表(新設・改修)

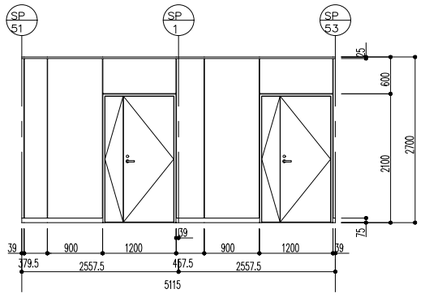
2022.03
A1：1/100
A3：1/200

RA－049

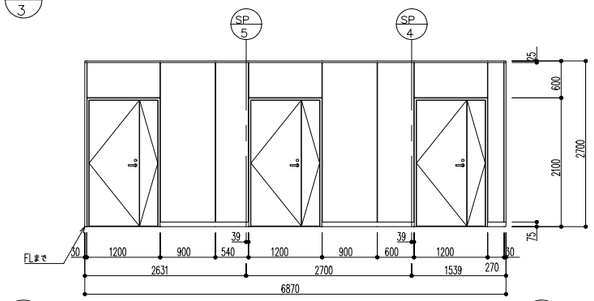
SP 1



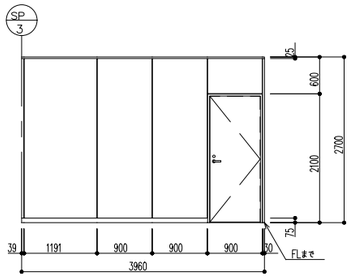
SP 2



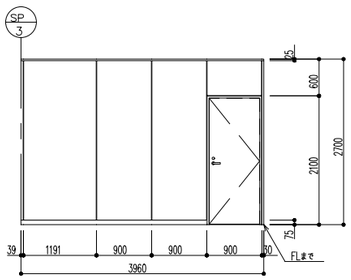
SP 3



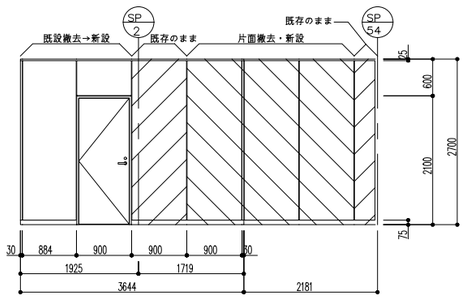
SP 4



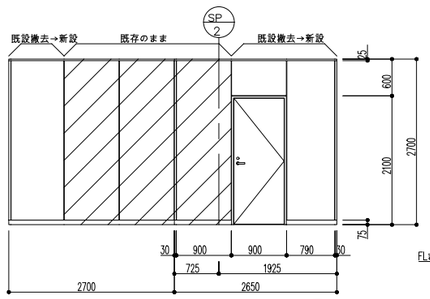
SP 5



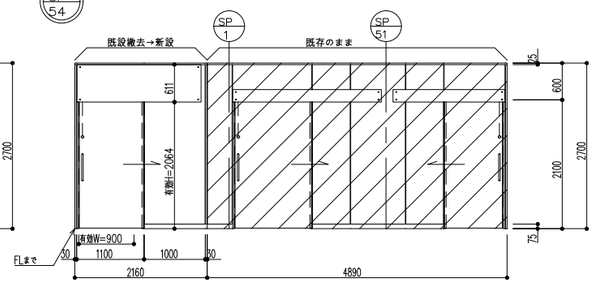
SP 51



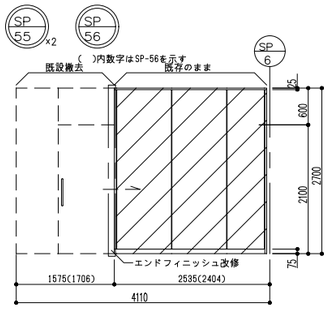
SP 53



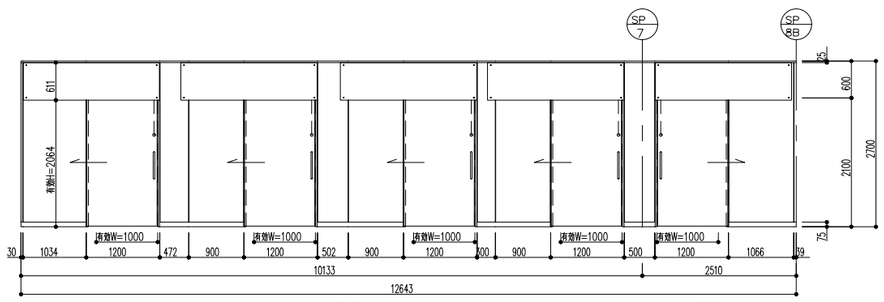
SP 54



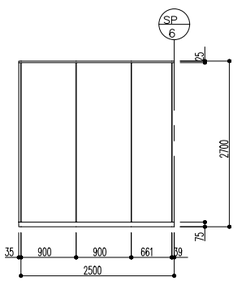
SP 55 ×2 SP 56



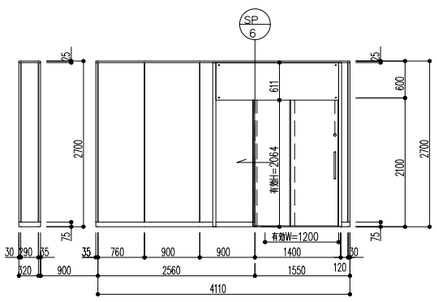
SP 6



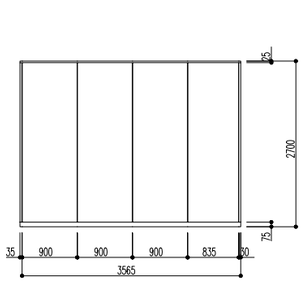
SP 7



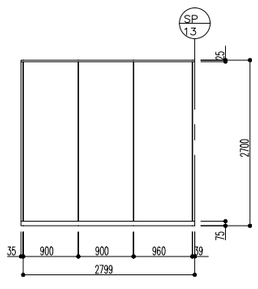
SP 8



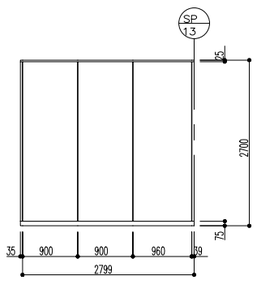
SP 9



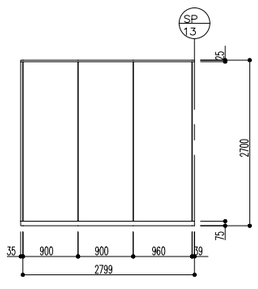
SP 10



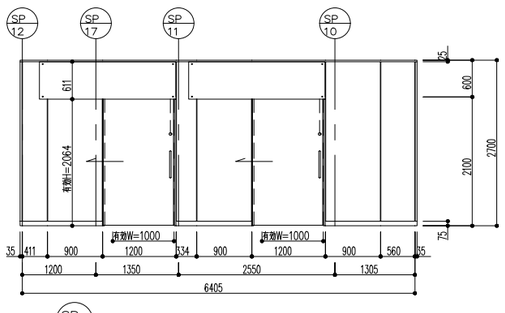
SP 11



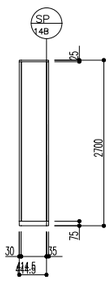
SP 12



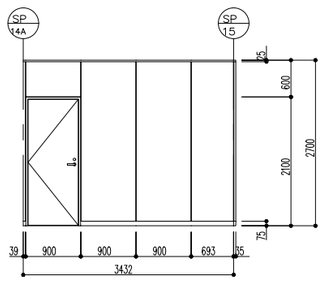
SP 13



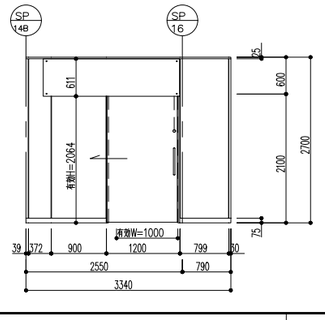
SP 14A



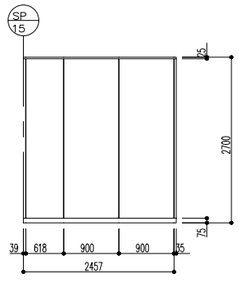
SP 14B



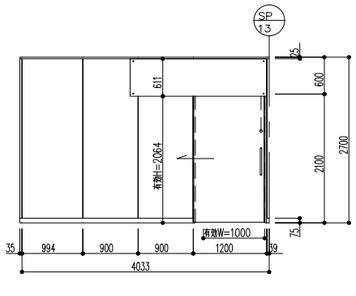
SP 15



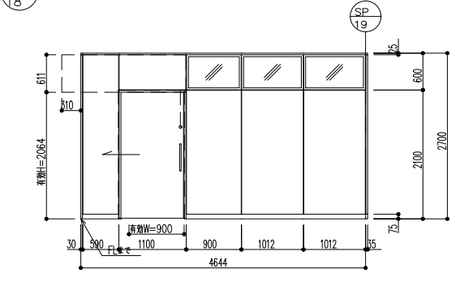
SP 16

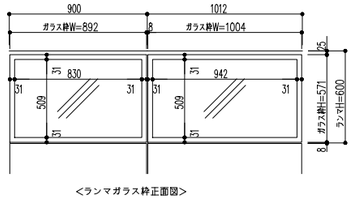


SP 17



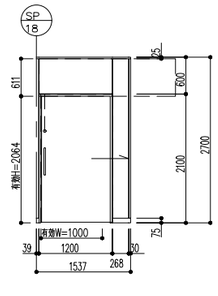
SP 18





<ランマガラス枠正面図>

SP 19



株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

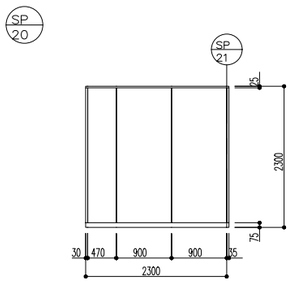
一級建築士登録 第233442号 和田雅彦
一級建築士登録 第226323号 菊地徹実

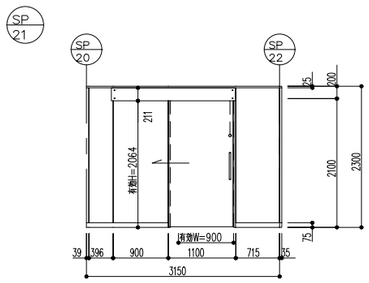
公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

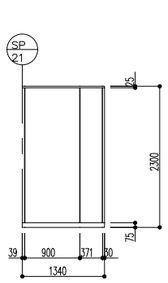
建具詳細図（1）

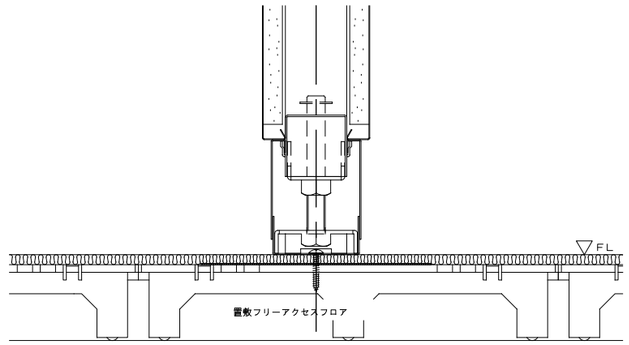
2022.03
A1：1/50
A3：1/100

RA－ 050

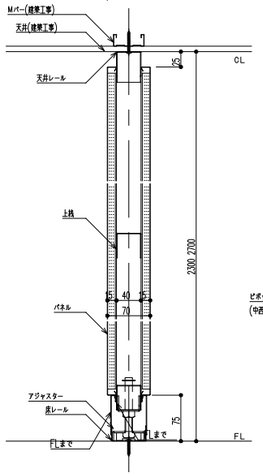


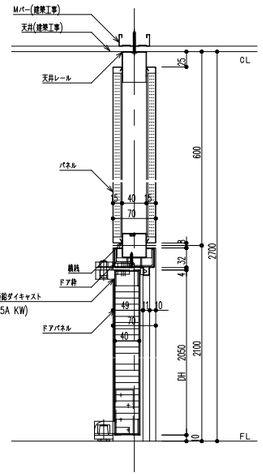


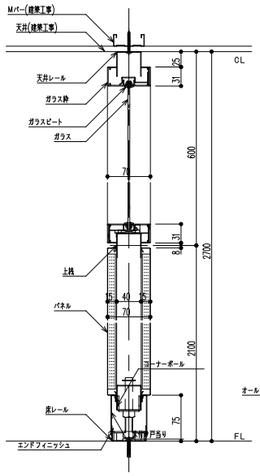


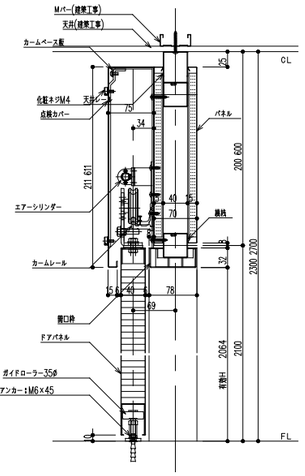


断面詳細図 S=1/5

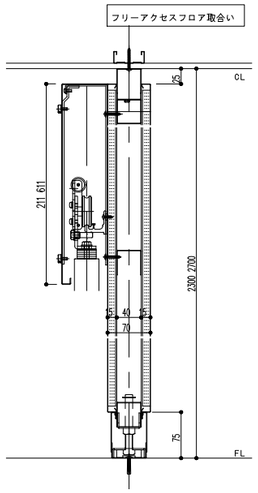


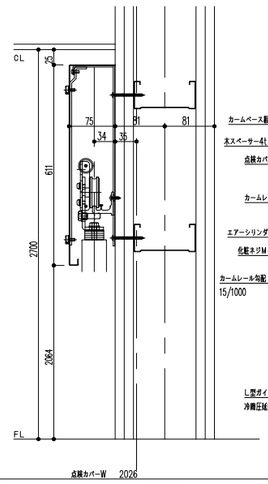


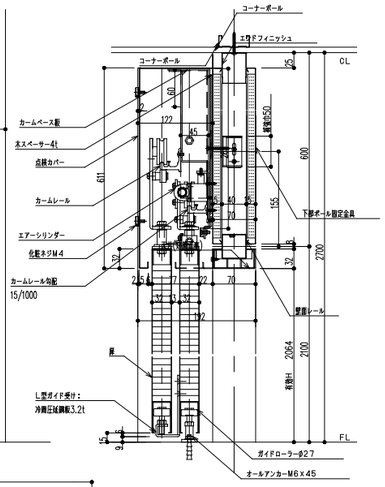


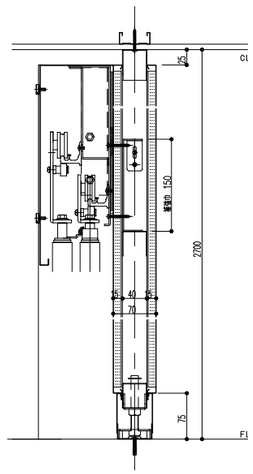


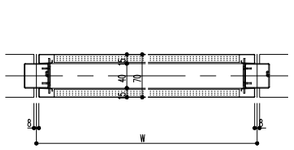
フリーアクセスフロア取合い

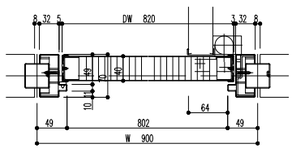


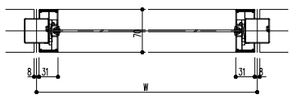


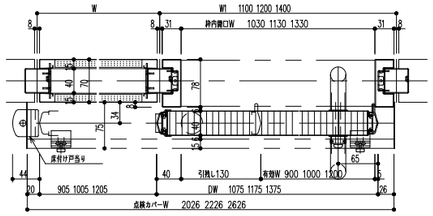


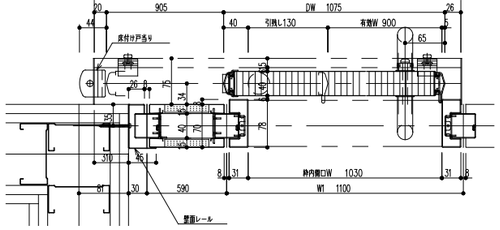


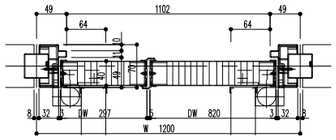


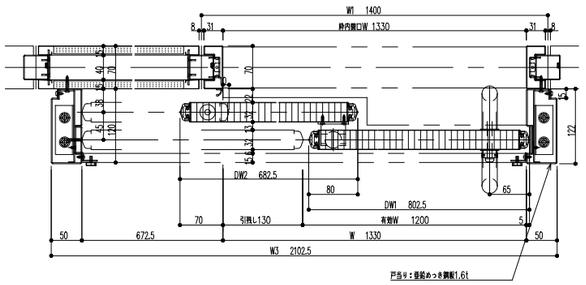


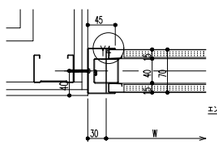


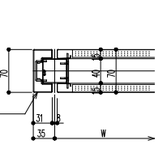


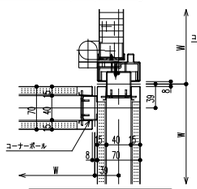


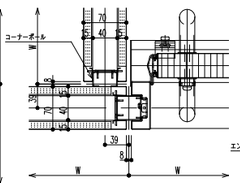


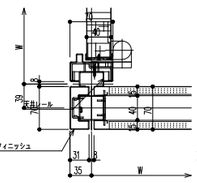


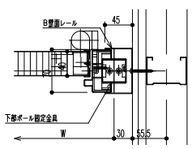


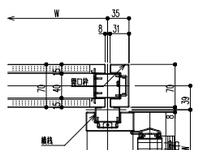


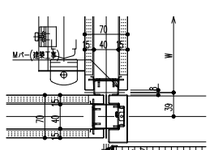


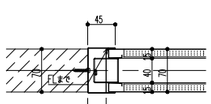


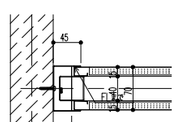


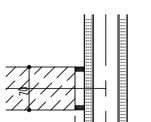












◇仕様表

(小松ウオール マイティー70同等品)

項目	部材	材料(板厚mm)
骨材	天井レール	冷間圧延鋼鈑 1.0mm <指定色焼付塗装仕上>
	壁面レール	冷間圧延鋼鈑 0.8mm <指定色焼付塗装仕上>
	床レール	冷間圧延鋼鈑 0.8mm <指定色焼付塗装仕上>
	巾木	冷間圧延鋼鈑 0.8mm <指定色焼付塗装仕上>
	ポール(支柱)・框枠	冷間圧延鋼鈑 1.2mm <指定色焼付塗装仕上>
	コーナーポール	冷間圧延鋼鈑 1.2mm <指定色焼付塗装仕上>
	上枠・下枠	冷間圧延鋼鈑 1.0mm <指定色焼付塗装仕上>
	エンドフィニッシュ	冷間圧延鋼鈑 1.2mm <指定色焼付塗装仕上>
枠	ドア枠・開口枠	冷間圧延鋼鈑 1.2mm <指定色焼付塗装仕上>
パネル	パネル表面材	亜鉛めっき鋼鈑 0.5mm <指定色焼付塗装仕上>
	芯材	せっこうボードt12.5mm
開き戸	パネル表面材	亜鉛めっき鋼鈑 0.5mm <指定色焼付塗装仕上>
	芯材	ペーパーコア
	目板	アルミ押出形材 <指定色焼付塗装仕上>
	ロック(開き戸)	美和ロック LA錠
	Fアクローザ	ニュースター PS7002LW-リョービ S22PLW
	吊金具	ピボットヒンジ
	フランス落し	ステンレス
	戸当り	皮付け戸当り
自閉式吊戸(外付け)	パネル表面材	亜鉛めっき鋼鈑 0.5mm <指定色焼付塗装仕上>
	芯材	ペーパーコア
	フロントゴム	ポリ塩化ビニル <ブラック色>
	カームベース鈑	亜鉛めっき鋼鈑 2.3mm
	点鈑カバー	冷間圧延鋼鈑 1.2mm <指定色焼付塗装仕上>
	カームレール	アルミ押出型材 <アルマイト処理仕上>
	ロック(吊戸)	美和ロック POSTE錠
	自閉装置	補助レール 制御装置エアダンパ
	吊戸取手	ステンレス棒握ハンドルØ25 L=450

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第233442号 和田雅彦
一級建築士登録 第226323号 菊地徹実

公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

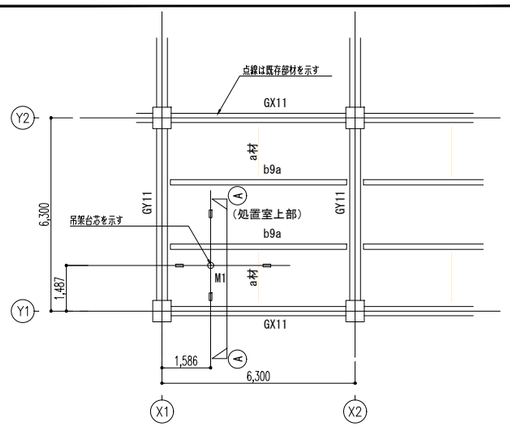
建具詳細図(2)

2022.03

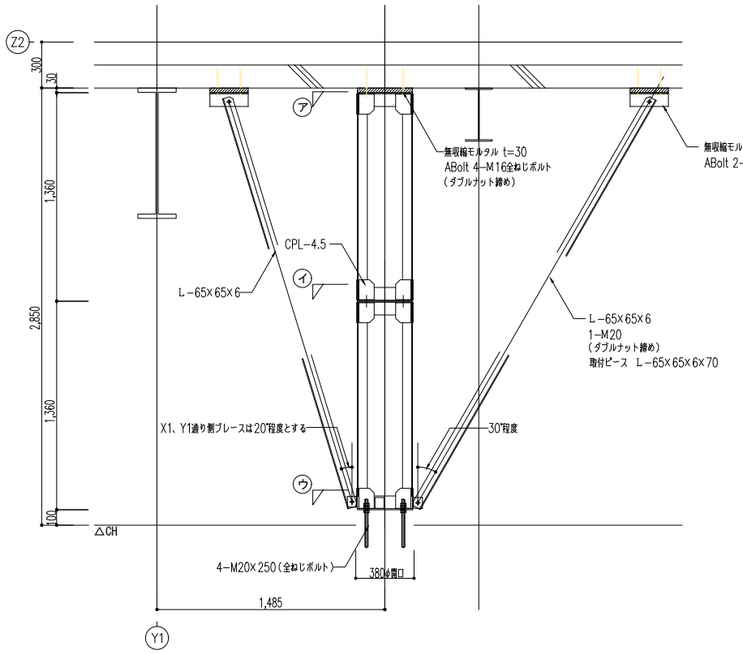
A1:1/50・1/5
A3:1/100・1/10

RA − 051

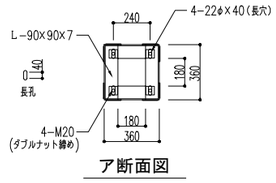
設置場所：1階皮膚科　処置室(左)　1ケ所



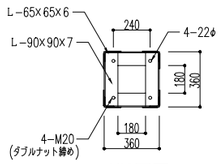
2階床伏図　S:1/100



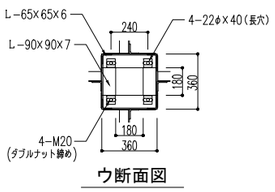
S:1/20　A-A 断面図



ア断面図



イ断面図



ウ断面図

特記なき限り下記による

1．使用材料
　鉄骨材質　SS400
　六角ボルト　ボルト強度区分4.8、ナット強度区分5T

2．錆止め塗装
　JIS K 5674　工場2回塗り（現場タッチアップ）

3．あと施工アンカーボルト（接着系）
　・穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探査器等により確認し、既存部の損傷を極力避けること
　・あと施工アンカーの有効埋込み長さは、接着系7d以上とする
　・アンカーは低騒音・低振動の工法を基本とする

4．その他
　・特記無き事項は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）による
　・性能評価（R）グレードの大臣認定を受けた工場と同等以上の鉄骨製作工場による
　・鉄骨加工前に現況確認、実測を行い鉄骨製作図を作成すること
　　実測結果により既存部材と干渉する場合は、部材角等を調整し、監督員の承諾を得ること
　・ベースプレート孔あけは、アンカー施工後実測確認のうえ実施すること
　・天井内架台寸法は、採用機器メーカーの仕様により決定し、監督員の承諾を得ること
　・架台取付け部の既存フラットデッキは切断処理し撤去すること

5．既存部材リスト

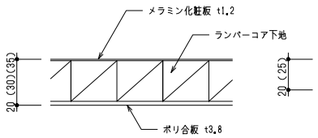
符号	鉄骨せい×幅（上端レベル）
GX11	BH- 800×250(Z2-300)
GY11	BH- 800×300(Z2-300)
b9a	H- 346×174(Z2-300)
スラブ	t=150(Z2-150)　フラットデッキ
a材	2L-75×75×6

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地徹実

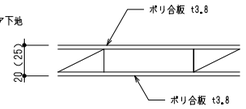
公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RA - 052
処置室無影灯架台図	A1：図示 A3：図示	

A-0 共通

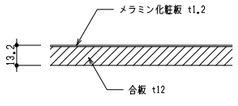
本体・棚板	メラミン化粧板＋ポリ合板、メラミン化粧合板、ポリ合板フラッシュ	引手・取手	円筒ツマミ(SUS)
木製木口（甲板）	タモ集成材 UE塗装　アール加工	丁　番	ワンタッチ丁番　１１０°
フラットエッジ木口	塩ビシート　０．４５ｍｍ厚　ホットメルト接着	棚　受	ステンレス製　８φ
扉　扉	メラミン化粧板+ポリ合板	引出し前板	メラミン化粧板＋ポリ合板 t20
背　板	ポリ合板	引出し側板	シナランバー t 12　スライドレールストップ付
巾木・台輪	縞材＋ポリ合板 t18	引出し底板	ポリ合板 t 4
ラッチ	耐震ラッチ		



メラミン化粧板＋ポリ合板

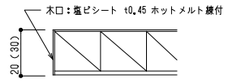


ポリ合板フラッシュ

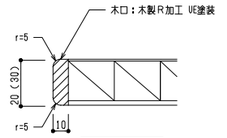


メラミン化粧合板

※特記なき限り、メラミン化粧板はt1.2厚とする。

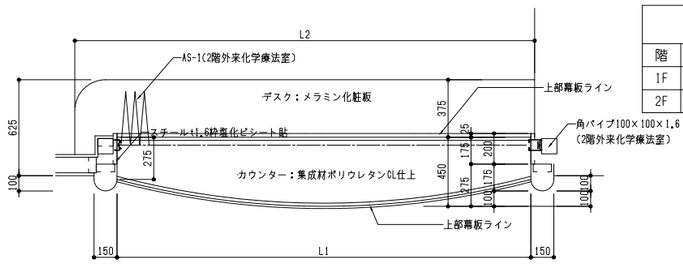


フラットエッジ木口

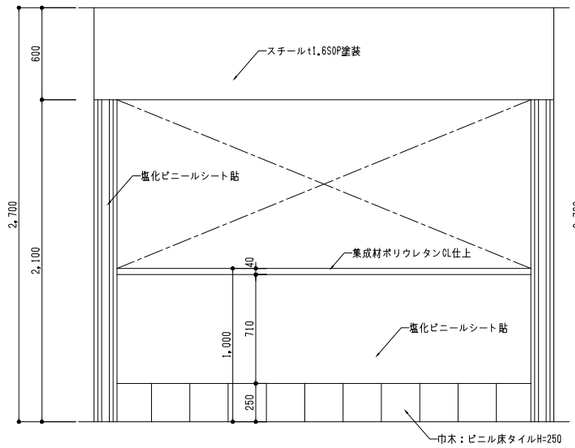


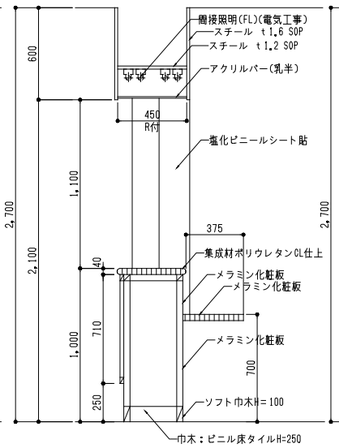
タモ集成材木口

A-1 受付　詳細図　1/20

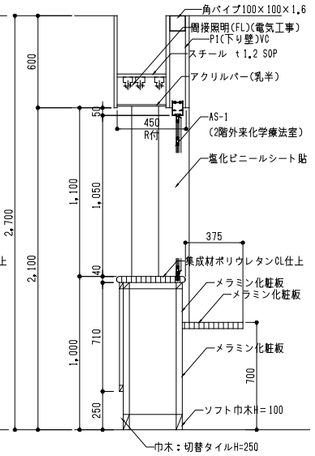


受付カウンター				
階	室名	L1	L2	備考
1F	受付-14	2400	2700	
2F	受付(外来化学療法室)	1600	1775	



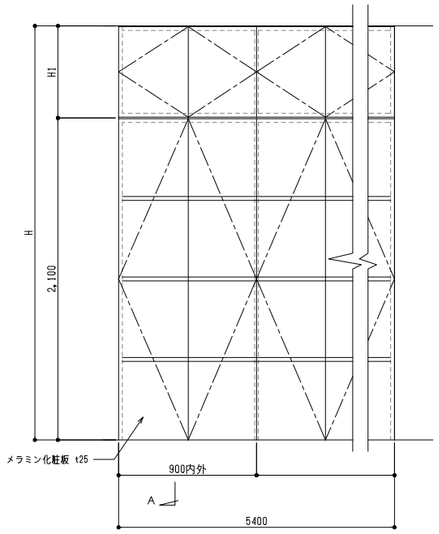


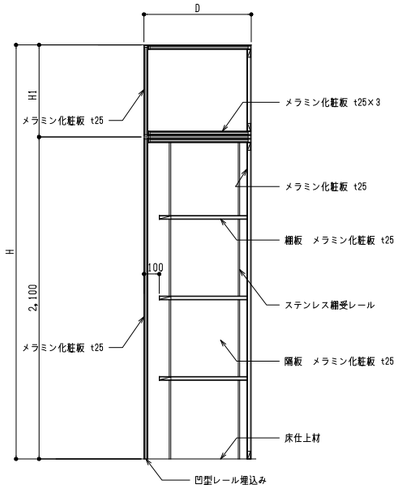
受付14



受付(外来化学療法室)

A-2 収納棚　詳細図　1/20

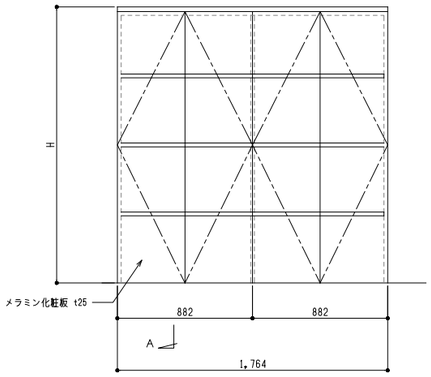


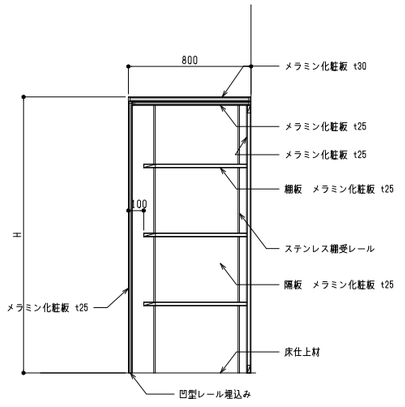


A断面図

階	室名	記号	L × D × H	個数	備考
1	処置室(皮膚科)		1600×550×2700	1	
1	診察室１～２(皮膚科)		2000×650×2700	1	
1	前室(眼科２)		3500×500×2595	1	
2	外来化学療法室		2230×800×2700	1	
7	プレイセラピー		4700×700×2600	1	

A-3 固定棚　詳細図　1/20





A断面図

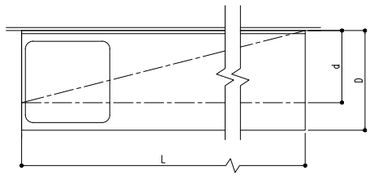
階	室名	記号	L × D × H	個数	備考
2	外来化学療法室		1764×800×1800	1	

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田 雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地 徹実

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RA－053
雑詳細図(1)	A1：－ A3：－	

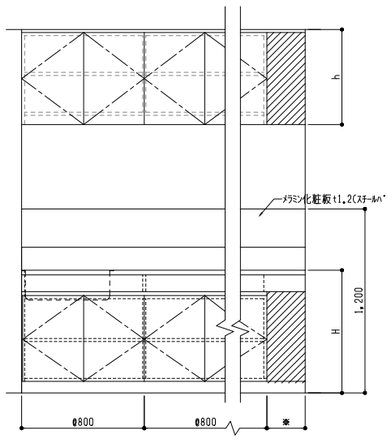
A-4 作業台流し　1/20



平面図　1/20

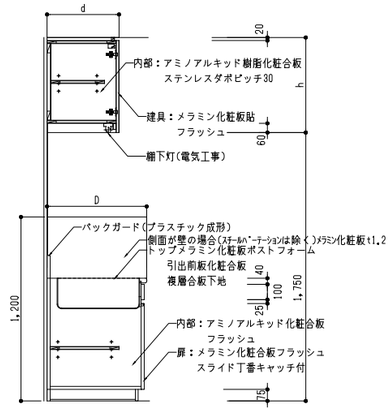
作業台・作業流し　リスト-1
（シンクWは特記なき限り550とする。他のリスト表も同様）吊戸棚Wは特記なき限り流し台Wと同じとする。

階	室名	L × D × H	シンク数	シンクW	シンクd	個数	吊戸棚(d×H)	個数
1F	(皮膚科)　診察室2～5	7200×650×800	2		180	1	550×800	1
	(皮膚科)　処置室	1500×650×800	1	1000	180	1	550×800	1
2F	(内分泌・糖尿・腎内)処置室	3000×650×800	1		180	1		0



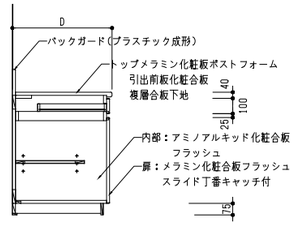
正面図　1/20

註）吊戸幅@800割残り寸法(400未満)



断面図　1/20

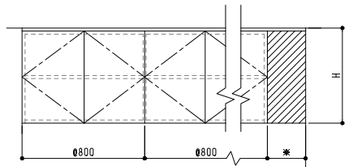
流し部分を示す



断面図　1/20

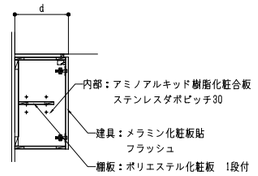
引出し部分を示す

A-5 吊戸棚　1/20



正面図　1/20

註）吊戸幅@800割残り寸法(400未満)

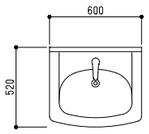


断面図　1/20

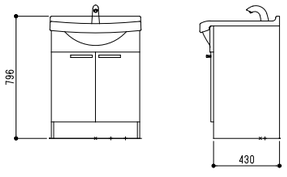
吊戸棚　リスト(下部に流し台が無く、吊戸棚のみのタイプ)

階	室名	L × D × H	個数	備考
1F	(精神科)検査１・２	1800×400×950	2	
	(精神科)検査３	2700×400×950	1	

B-1 洗面化粧台(新設、既設共用)　NON SCALE



TOTO LDA608AYQRA 洗面化粧台同等
※洗面器は陶器製(容量9L)ｾﾌｨｵﾝﾃｸﾄ仕様
※洗面器にｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ穴無し
※洗面器に水溜めは出来ません
※水栓は自動混合水栓
　電源：AC100Vﾀｲﾌﾟ・電源ｺｰﾄﾞ長さ0.7m
　消費電力：待機時0.4W・作動時0.6W
　給水圧力：最低必要水圧0.05Mpa(流動圧)・
　最高水圧0.75Mpa(静水圧)
※排水ﾄﾗｯﾌﾟは水抜きﾊｰﾄﾞ管　床排水ﾄﾗｯﾌﾟ



註）撤去品も同程度とする。

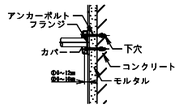
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第233442号　和田 雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地 徹実

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事
雑詳細図(2)
2022.03
A1：-
A3：-
RA－054

C-1 手摺共通部材 1/10

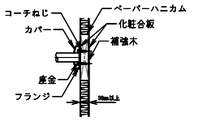
RC下地

アンカーボルト固定



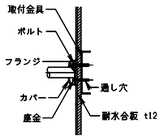
トイレブース

コーチねじ固定

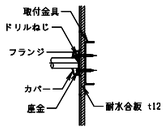


軽量鉄骨下地

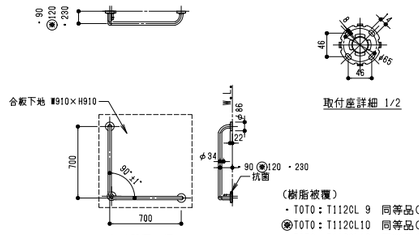
ボルト固定



ドリルねじ固定



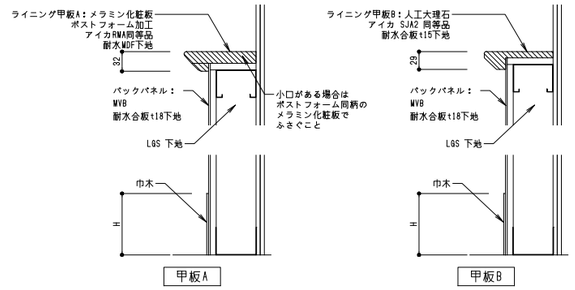
C-2 手摺(大便器L型) 1/30



(樹脂被覆)
- TOTO：T112CL 9 同等品(90)
- ◉TOTO：T112CL10 同等品(120)
- TOTO：T112CL12 同等品(230)

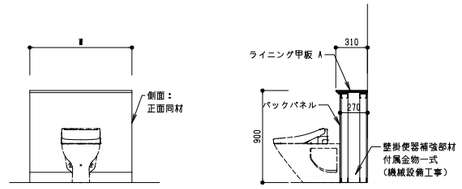
(ステンレス)
- TOTO：T113BL 9 同等品(90)
- TOTO：T113BL10 同等品(120)
- TOTO：T113BL12 同等品(230)

C-3 ライニング共通部材(甲板・バックパネル) 1/5



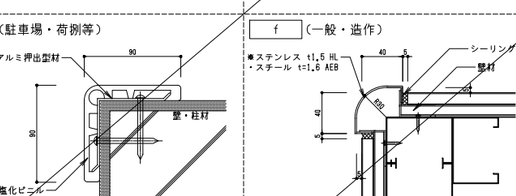
※巾木の仕様及びH寸法は仕上表・エレメントリストによる
※壁取り合い部はすき間が生じない様にすること
(すき間が生じた場合はシール処理のこと)
※バックパネルに側面がある場合は、正面同材でふさぎ
出隅には化粧出隅材(アイカZK)同等品)を施すこと

C-4 ライニング(大便器) 1/30



※フラッシュバルブ用点検口 300角付
※点検口:ナカ工業㈱ウォールハッチ WHA
(300×300)(鍵付き) 同等品
※Wの寸法は平面図・平面詳細図による

C-5 ライニング(手洗器) 1/30



※Wの寸法は平面図・平面詳細図による

C-6 ライニング(SK) 1/30



※Wの寸法は平面図・平面詳細図による

C-7 壁付手摺 1/10



※ナカ工業：ネオウッドD-432M 同等品

C-8 カーテンレール 1/3

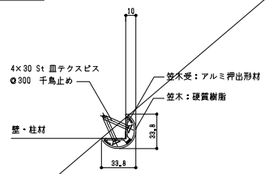
カーブ加工（R寸法）
φ180 （規格カーブ）
240R～500R（50mm毎） （規格外カーブ）

マルチマグネットタイプ
ホワイト色

※レール形状は平面詳細図による
※トーソー(株)：メディカ(車式静音ランナー) 同等品

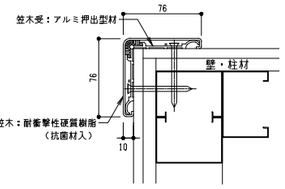
C-9 コーナーガード 1/3

a (一般・既成品)



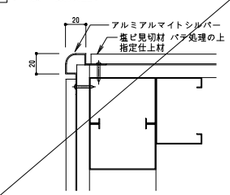
H=2,000
※ビス受けの補強用にSt PL t0.8を仕込むこと
※ナカ工業：CI-36V同等品
笠木：硬質樹脂

b (耐衝撃・既成品)

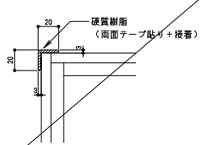


※H=上端：FL+2140、下端：FL+幅木上
※ナカ工業：NS-76 同等品
※角度が90°以外のコーナー部はナカ工業：NKS-50MB 同等品

c (一般・既成品)



d (一般・既成品)



e (駐車場・荷捌等)

※H=床～天井
※ナカ工業：NPC-9090同等品

f (一般・造作)

C-10 点検口リスト

天井点検口（電気・機械設備共通）

		450×450 (一般) ※1	600×600 (一般) ※1		
7階	プレイセラピー	2			
2階	内分泌・糖尿・腎内	9	9(1階天井設置)		
	化学療法室	21	9(1階天井設置)		
1階	小児精神科	12			
	皮膚科	12			
B1階	小児精神科用		5		
	皮膚科用		3		
計		56	26		

・600角天井点検口は機械設備改修用
・天井内、開口補強要領は「公共建築工事標準詳細図集（平成31年度版）」による

※1:ナカ工業：ハイハッチSD（一般） 同等品

C-11 開口補強リスト

（機械設備）

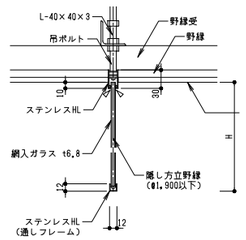
		□150	□200	□250	□300	□350	□450	□600	1000×100	760×521	920×521	1045×521	1250×521	1505×521	1860×521
7階	プレイセラピー		1						1						1
2階	内分泌・糖尿・腎内		11	3		1	1			2	3			1	
	化学療法室	2	20	5	1	1		1		10		4			
1階	小児精神科		13	2	1	1				8					
	皮膚科		13	2	3	1				5			3		
B1階															
計		2	58	12	5	4	1	1	1	25	3	4	3	1	1

（電気設備）

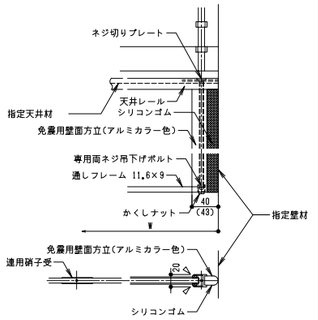
	□370	□450	660×620	1235×150	1235×220
7階		4			
2階		17		5	
		9	18		
1階	8	2		10	
	5	12			10
B1階					
計	13	44	18	15	10

天井内、開口補強要領は「公共建築工事標準詳細図集（平成31年度版）」による

C-12 固定防煙垂壁(ガラス) 1/5

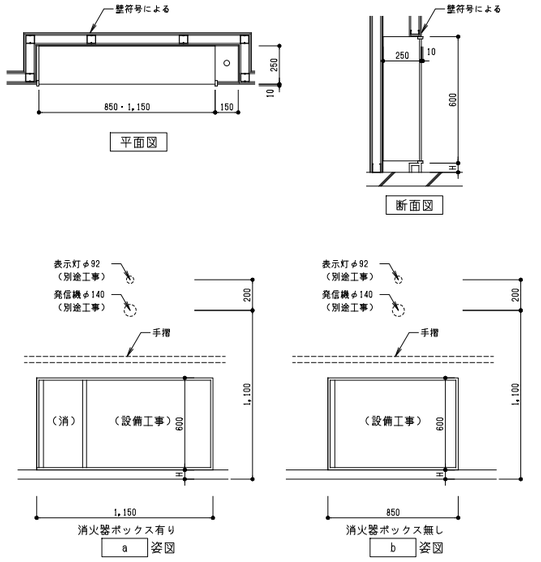


※H寸法は特記なき限り500mm
※W寸法は平面図又は平面詳細図による
※端部壁面吊金具、端部タイト材含む



※層間変位角1/50以上の面内変形許容のこと
※ △ はシーリングを示す

C-13 補助散水栓ボックス 1/20



※巾木H寸法は仕上表による

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第233442号 和田雅彦
一級建築士登録 第226323号 菊地徹実

公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

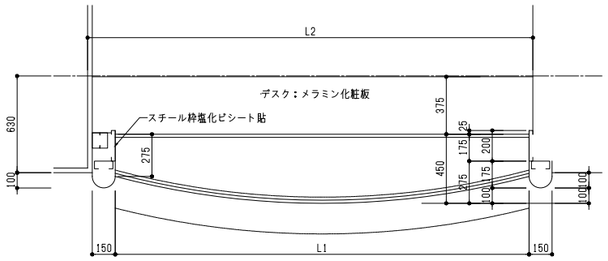
雑詳細図(3)

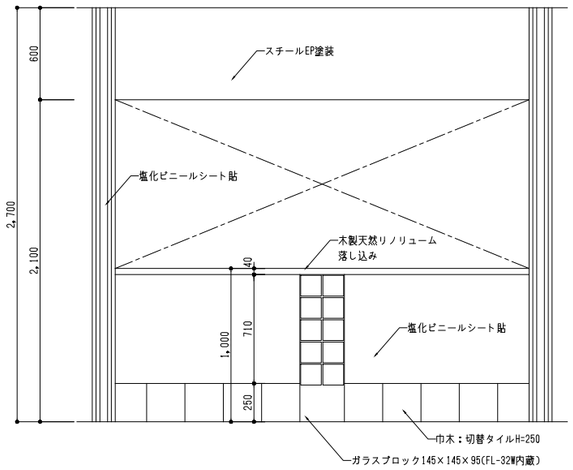
2022.03

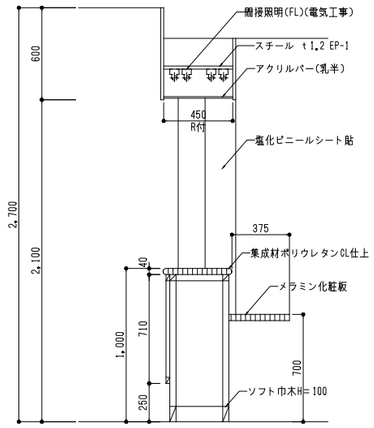
A1：-
A3：-

RA－055

D-1 受付14 詳細図 1/20

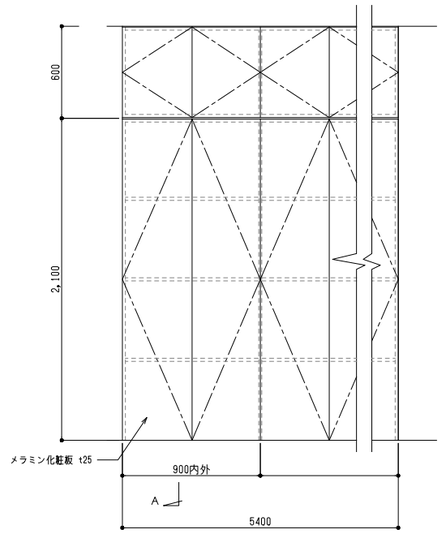


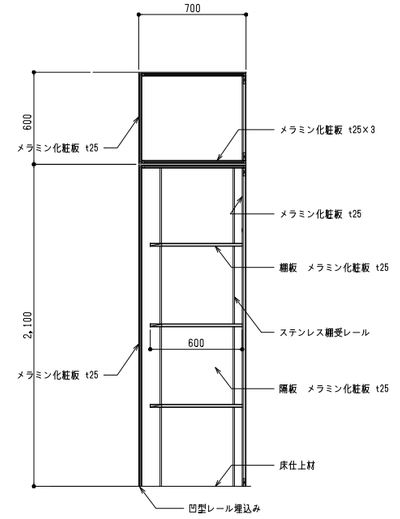




受付カウンター				
階	室名	L1	L2	備考
1F	受付-14	2400	3000	

D-2 プレイセラピー収納棚 詳細図 1/20

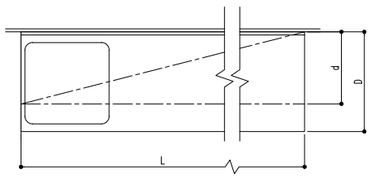




A断面図

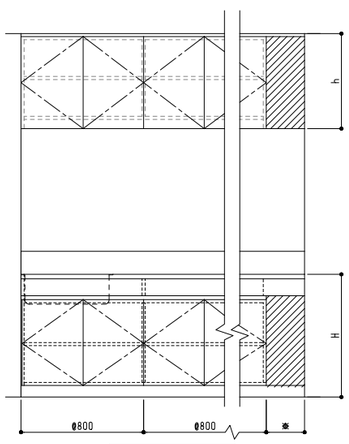
吊戸棚 リスト(下部に流し台が無く、吊戸棚のみのタイプ)					
階	室名	記号	L × D × H	個数	備考
1	プレイセラピー		5400×700×2700	1	

D-3 作業台流し 1/20



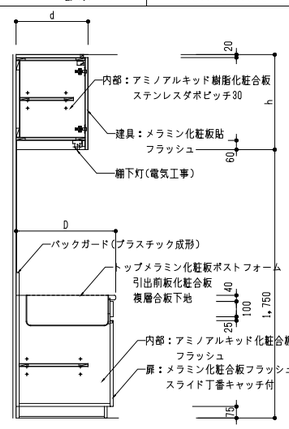
平面図 1/20

作業台・作業流し リスト-1 (シンクWは特記なき限り550とする。他のリスト表も同様)吊戸棚Wは特記なき限り流し台Wと同じとする。								
階	室名	L × D × H	シンク数	シンクW	シンクd	個数	吊戸棚(W×H)	個数
1F	(小児精神科) 処置室	1500×650×800	1		180	1	550×800	1
	(小児精神科) ﾌﾟﾚｲｾﾗﾋﾟｰ	650×650×800	1		180	1		0
	(精神科) 診察-8	1800×650×800	1		180	1	550×800	1
2F	(皮膚科) 処置室	4850×650×800	1		180	1		0
	診察-5	4850×650×800	1		180	1		0
	(内分泌・ 診察-2	1300×650×800	1		180	1	550×800	1
	糖尿・腎内) 診察-3	1150×650×800	1		180	1	550×800	1
	診察-4B	980×650×800	1		180	1	550×800	1



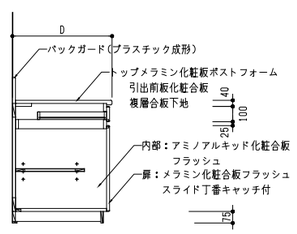
正面図 1/20

註) 吊戸幅φ800割残り寸法(400未満)



断面図 1/20

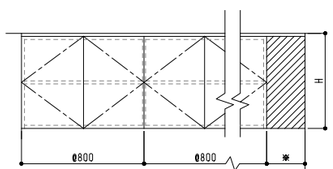
流し部分を示す



断面図 1/20

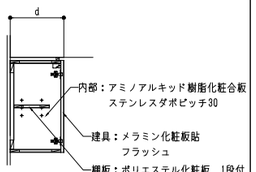
引出し部分を示す

D-4 吊戸棚 1/20



正面図 1/20

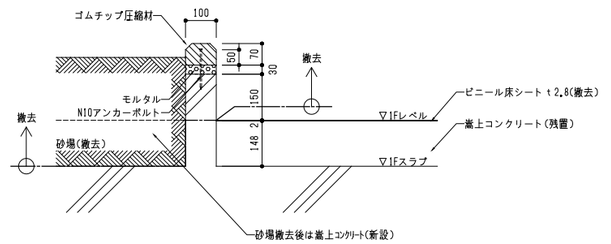
註) 吊戸幅φ800割残り寸法(400未満)



断面図 1/20

吊戸棚 リスト(下部に流し台が無く、吊戸棚のみのタイプ)			
階	室名	L × D × H	個数
1F	検査室	2350×400×950	1
	カウンセリング-1	2585×400×950	1
	カウンセリング-2	1940×400×950	1
	プレイセラピー	1500×400×950	1

D-5 砂場(1F プレイセラピー) 1/10



株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第233442号 和田雅彦
一級建築士登録 第226323号 菊地徹実

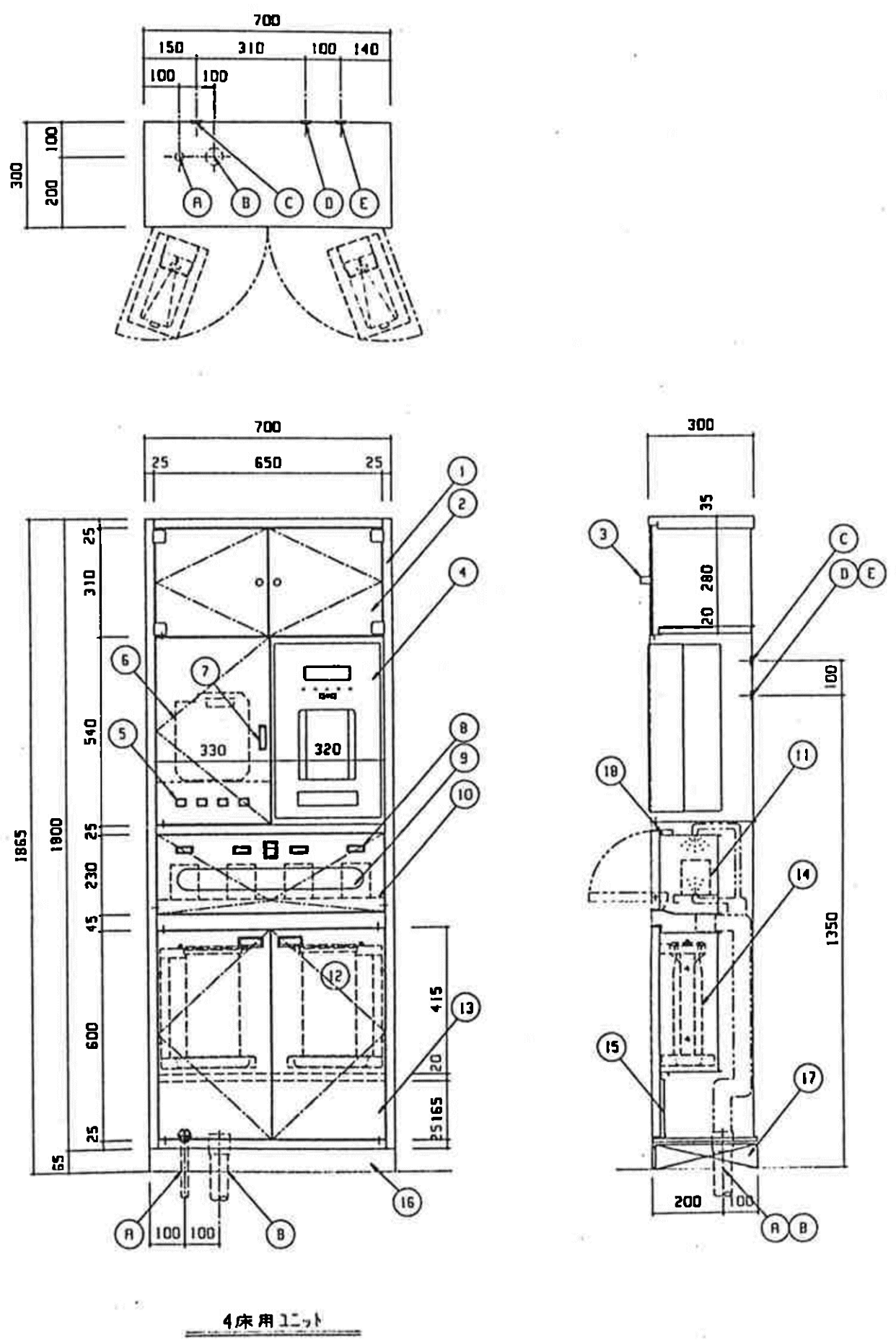
公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RA－056
雑詳細図(4)(撤去)	A1：－ A3：－	

D-6 畜尿自動分析ユニット　NON SCALE

No.	名称	備考
1	本体	ステンレス(SUS-304)t=1.5 焼付塗装
2	戸棚	扉:プラスチック(乳白色)t=0.5 庫内:ステンレス(SUS-304)t=1.0
3	取手	ツマミ型
4	尿量・比重測定装置	形式:NUR-95
5	洗浄スイッチ	
6	専用洗浄液ボトル	プラスチック
7	取手	鍵座取手
8	ネームホルダー	ステンレス(SUS-304) 4床用ユニットノミ
9	視窓	透明ガラス t=3.0
10	採尿専用容器洗浄・収納庫	
11	採尿専用容器	
12	取手	埋込取手
13	蓄尿架台・点検口部	
14	蓄尿架台	蓄尿袋・瓶・受け皿・専用架台
15	点検口	ステンレス(SUS-304)H400 t=1.0
16	巾木	ステンレス(SUS-304)H180 t=1.0 H.L仕上
17	専用架台	軽鉄下地アングル
18	ネオプレーンゴム	黒色
19	棚	個室用ユニットノミ
20		

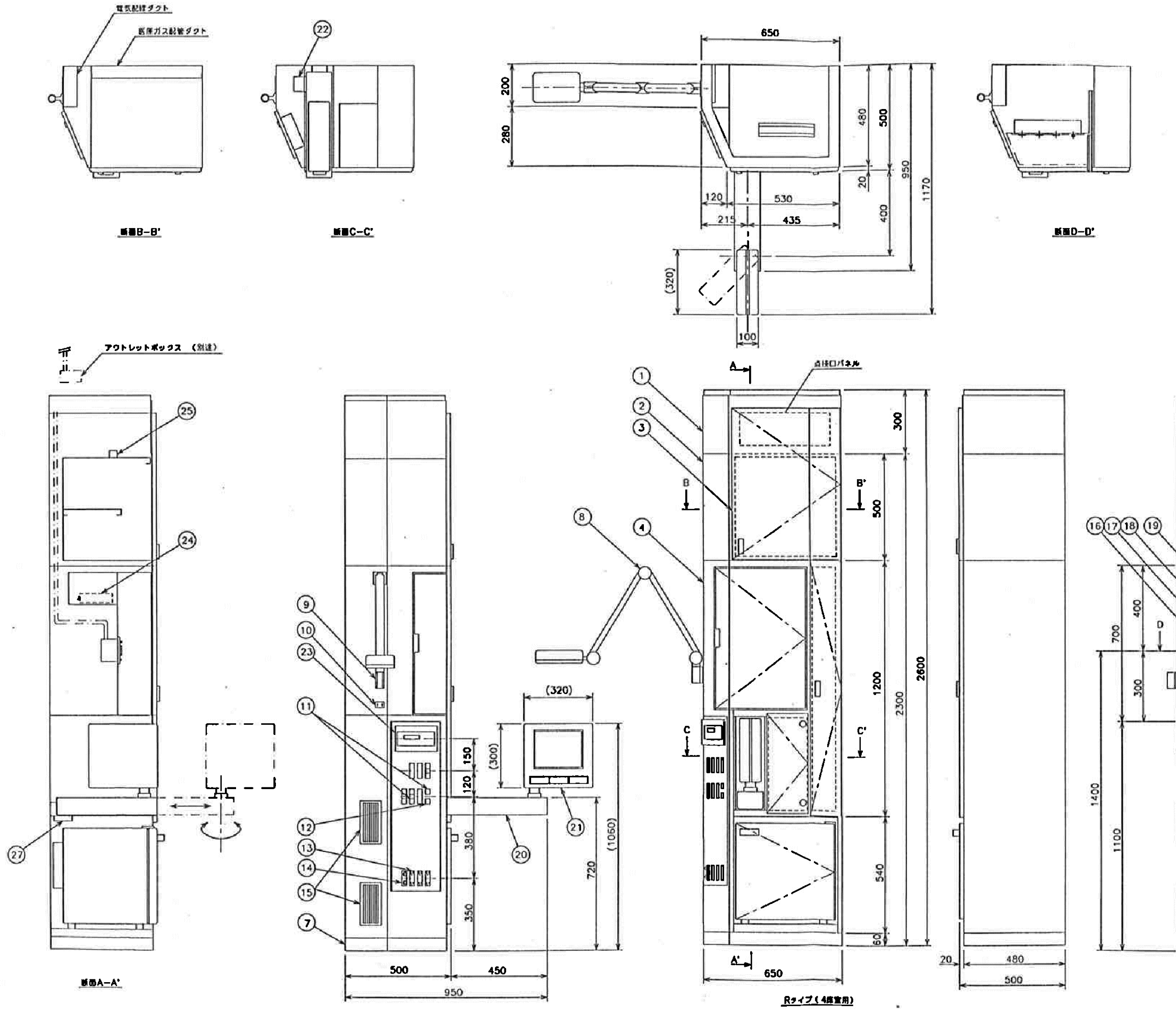
記号	必要設備	
A	給水	20A F.L+100 バルブ止メ
B	排水	50A F.L+100 ソケット止メ
C	電源引込穴	鍔付グロメット 26φ
D	専用ケーブル引込穴	鍔付グロメット 26φ
E	専用電源引込穴	鍔付グロメット 26φ
使用電圧 AC100V 50/60 Hz 250W		

※1) 個室用ユニットに1ケ、4人用ユニットに4ケ、採尿専用容器付
2) 患者識別は、バーコードにて行う
3) 採尿専用容器は、バーコードシール・氏名シール 付
4) ナースステーションに設置されている専用コンピューターにて尿量・比重が集計・検索できること
5) 尿量・比重測定装置は、1台当たり50名以上識別できること
6) 同病棟内ならば、どの尿量・比重測定装置でも測定が出来ること
7) 設置場所については、別図参照の事



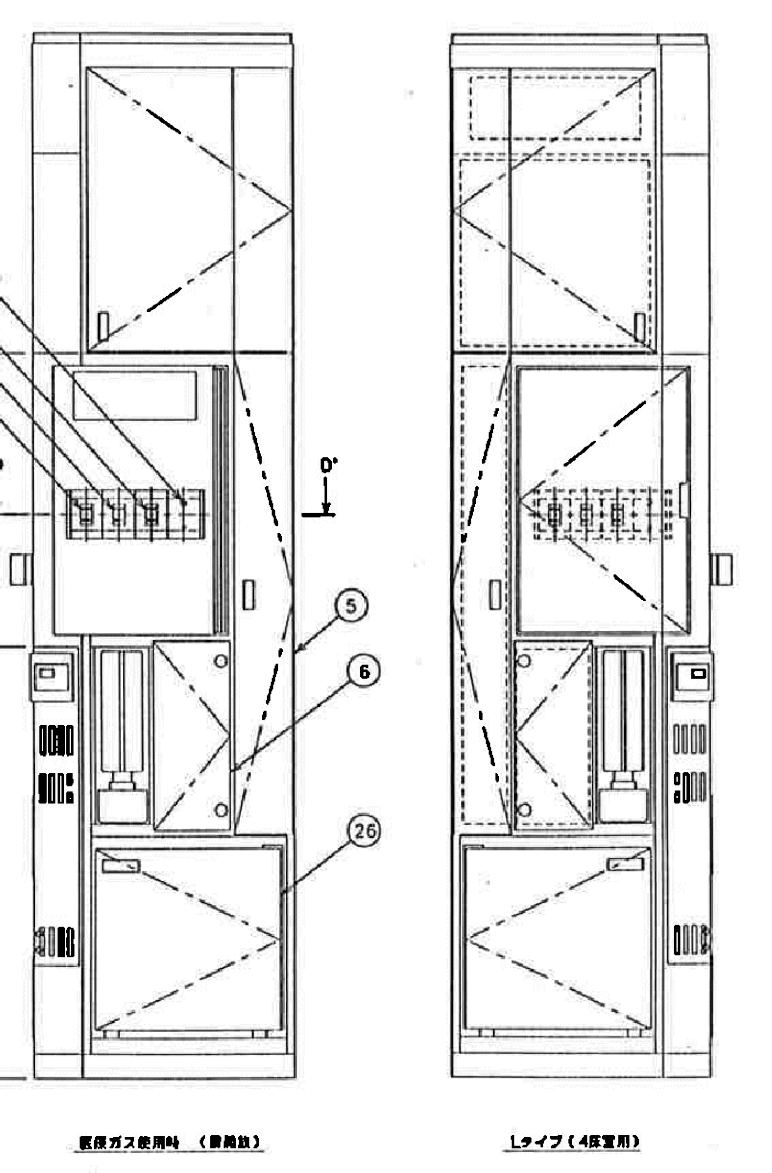
4床用ユニット

D-7 病室メディカルコンソール　NON SCALE

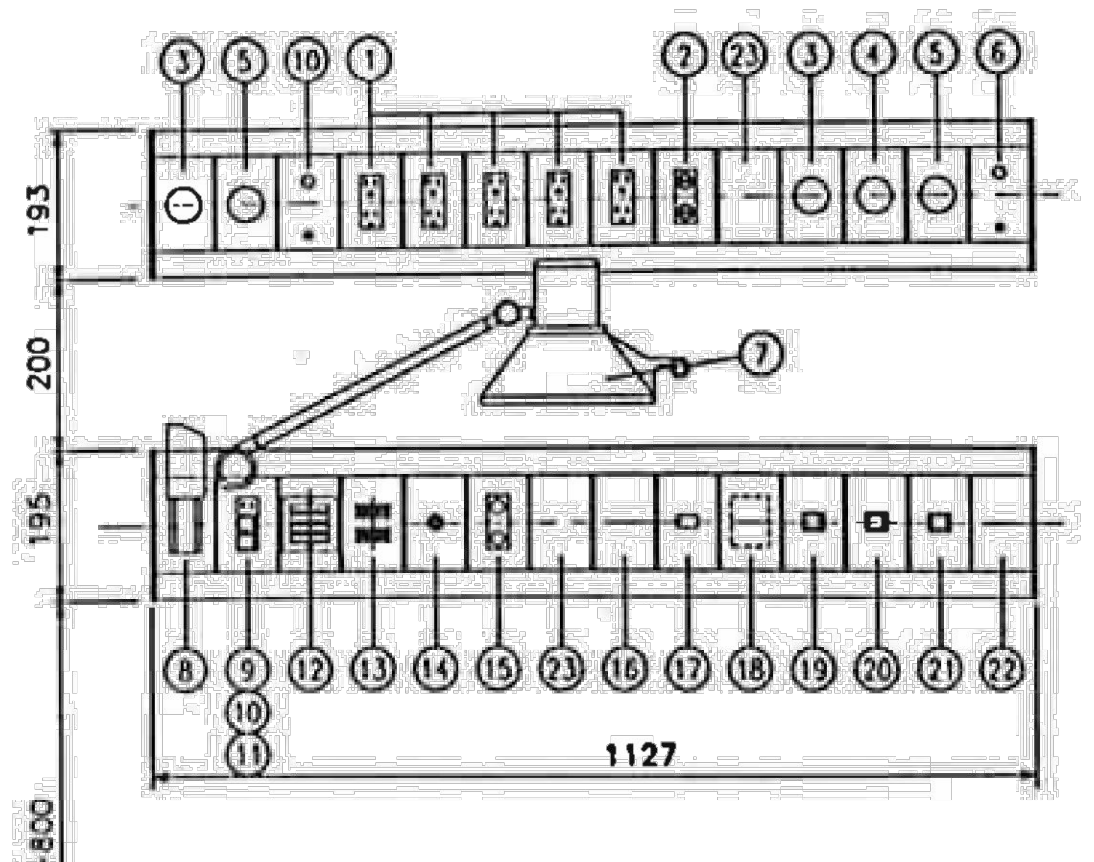


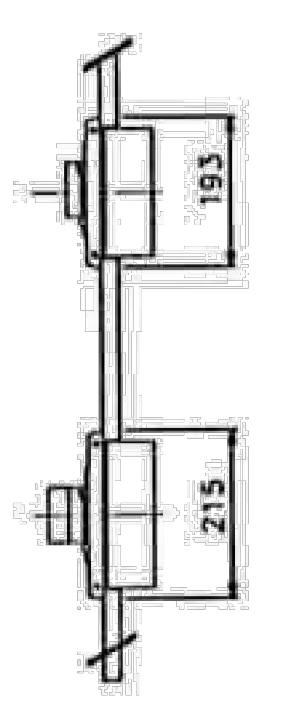
番号	名称	数量	備考
1	笠木	1	SPCC t=1.2 焼付塗装
2	本体	1	空の目付フラッシュ仕上
3	上部収納庫	1	扉:空の目付フラッシュ仕上
4	医療ガス部収	1	フェノール樹脂強化樹脂板
5	ワードローブ	1	扉:空の目付フラッシュ仕上
6	ガラス扉収納庫	1	強化 4mm
7	ベース巾木	1	SPCC t=1.2 焼付塗装
8	アームライト	1	FPL 13EX-L
9	アームライトブラケット	1	
10	アームライト用コンセント	1	専用
11	ナースコール子機	1	
12	アームライトスイッチ	1	
13	アース付ダブルコンセント	3	AC 125V 15A
14	アース端子	1	
15	換気孔端子	2	
16	医療ガスアウトレット(酸素)	1	
17	医療ガスアウトレット(空気)	1	
18	医療ガスアウトレット(吸引)	1	
19	フックベース	1	
20	テレビ用アームブラケット	1	スライドレール式 ストローク 450mm
21	テレビ	1	LCD 10インチ
22	テレビ用ターミナル	1	電源 アンテナ端子
23	有線放送チューナー	1	
24	有線放送アンプ	1	
25	端子台	1	
26	冷蔵庫	1	21L
27	冷蔵庫用コンセント	1	

注1) テレビの形状及び寸法は参考とする。　テレビ本体は別途とする。
注2) 医療ガスアウトレット、本体内配管及び1次接続は別途とする。
注3) ナースコール子機及び配線、1次接続は別途とする。
注4) AC 100V アース、テレビアンテナ等の電気配線、1次接続は別途とする。
注5) 有線放送設備及び配線工事は別途とする。

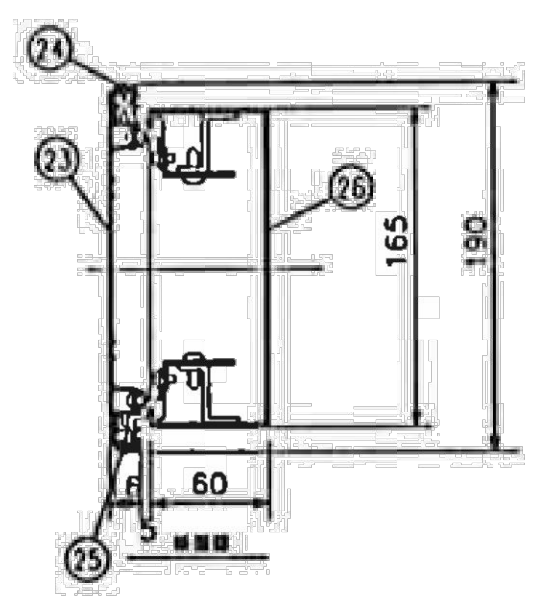


D-8 病棟ウォールケアユニット　NON SCALE



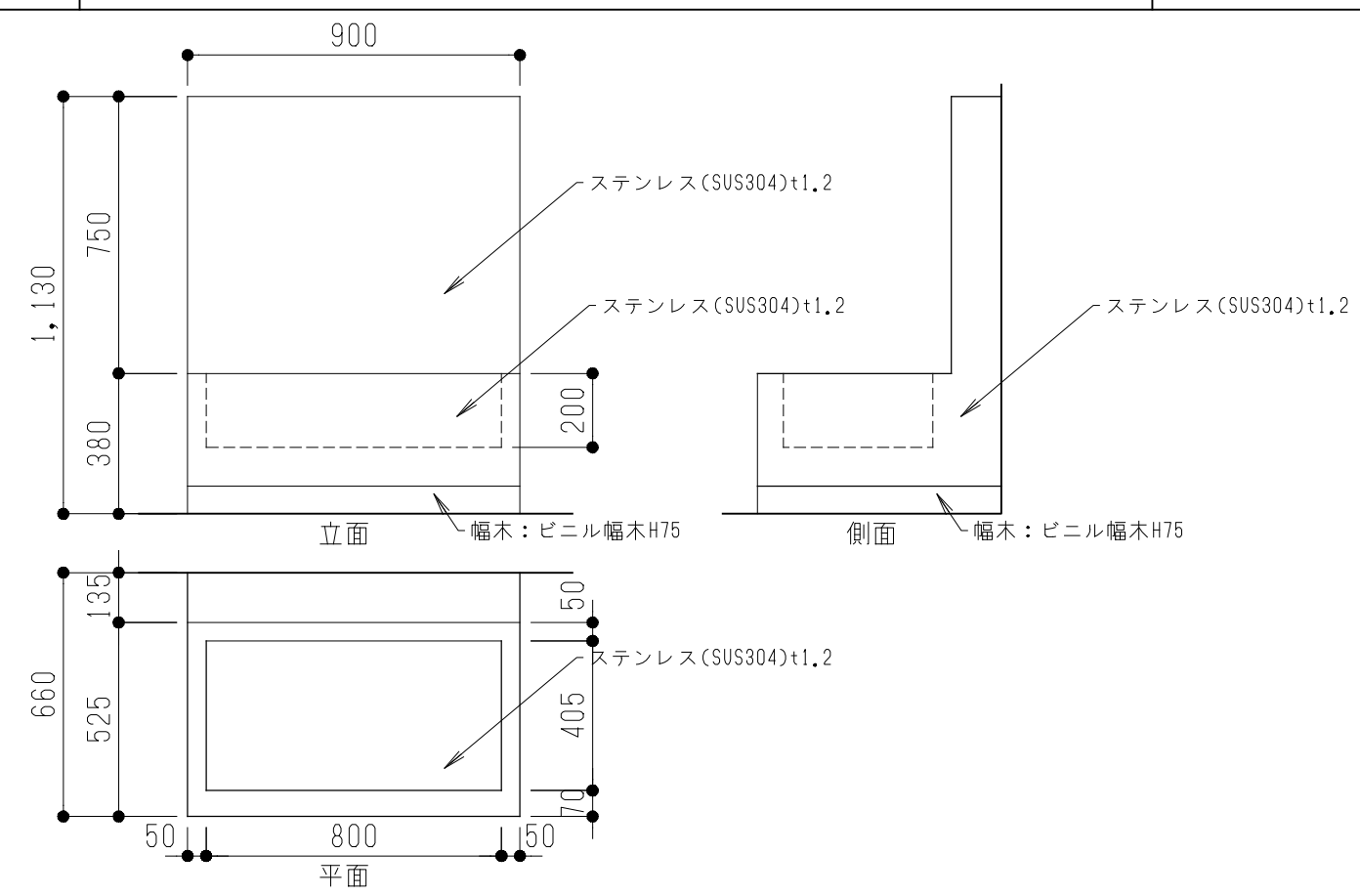


番号	名称	備考	
1	医用アース付ダブルコンセント	AC-125v 15A	
2	医療用アース端子		
3	アウトレットバルブ	酸素	別途工事
4	アウトレットバルブ	空気	別途工事
5	アウトレットバルブ	吸引	別途工事
6	フックピン		別途工事
7	アームライト	60W 調光式	
8	アームライト用ブラケット		
9	アームライト用コンセント	AC-125v 15A	
10	アームライト用スイッチ	AC-100v 15A	
11	ナイトライトスイッチ	AC-100v 15A	
12	ナイトライト	5W	
13	ナースコールマイク		別途工事
14	ナースコールジャック	握りボタン付き	別途工事
15	テレビ端子		
16	モニター用ブランクプレート	アルミ型押出材 (JIS H 4100)	
17	電話用モジュラージャック		
18	有線チューナー		別途工事
19	照明スイッチ	読書灯用	
20	照明スイッチ	全般照明用	
21	照明スイッチ	全般照明用	
22	情報端末用予備プレート		
23	化粧プレート		
24	上部カバー	アルミ型押出材 (JIS H 4100)	
25	下部カバー	アルミ型押出材 (JIS H 4100)	
26	埋込ボックス	SECC 1.6t	

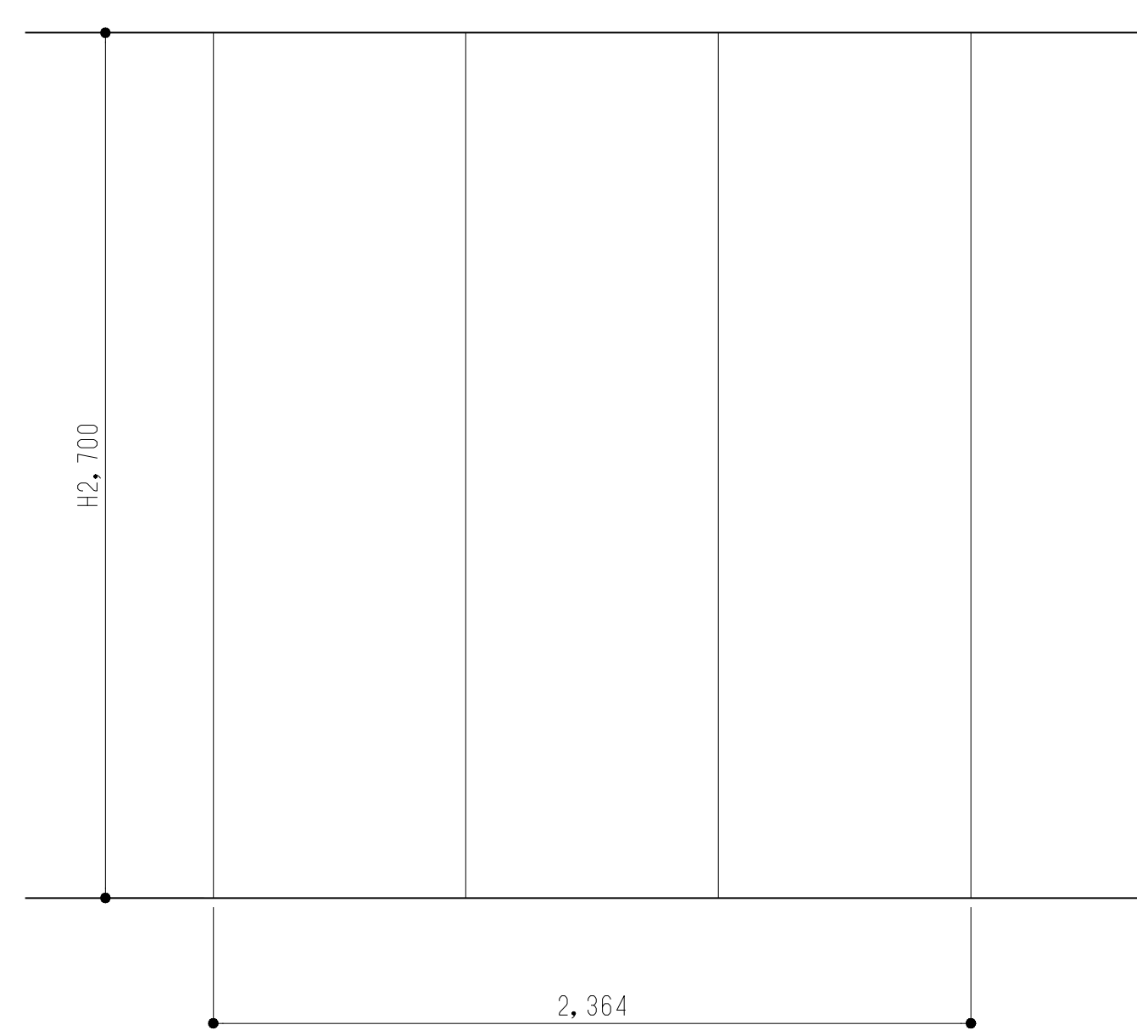


注1) 一次側電源電源AC100V及び接地幹線(5.5□)接続 別途電気工事

D-9 ステンレス流し台(プレイセラピー)　1/30



D-10 スライディングウォール(精神科　観察室)



※メラミン化粧板t40 吊りレールとも撤去

仕　様　書

1．工事概要

1階神経・小児精神室の改修に伴い、同室内の既設ステーション移設、レール及び機器の増設・補修工事を行います。設備改修に伴う必要最低限のプログラム変更、復旧工事と試運転調整を行います。

2．自走式台車設備　工事内容

下記の表に改修項目及び工事内容を示します。

No.	改修項目	数量	工事内容
1	1階神経・小児精神ステーション一時閉鎖・移設・復旧・試運転工事	1式	改修工事に伴い1階神経・小児精神ステーションを移設します。 ・移設元のステーション（操作盤、エアーフラップ、行先読取センサー共）及び不要レール撤去。但し、旧神経・小児精神室内の不要防火ダンパーは残置。 ・レール延長増設。（台車走行路は天井内） ・既設ステーションを所定の位置に移設。 ・電源装置増設。 ・既設機器（ステーション操作盤・ エアーフラップ・行先読取センサー）移設。 ・ステーション移設に伴う二次側電気工事（レール電源、操作盤ケーブル等接続工事） ・設備の接続・関連制御盤（分電盤、ステーション制御盤）プログラム変更・復旧・試運転調整工事。

3．特記事項

1）概略工程

- ステーション一時閉鎖工事　：土日工事2日間程度（設備停止2日間）
- 既設機器移設及びステーション設置工事　：平日4日程度（建築工程により変更有）（設備使用可能）
- ステーション復旧・試運転工事　：土日工事2日間（設備停止2日間）

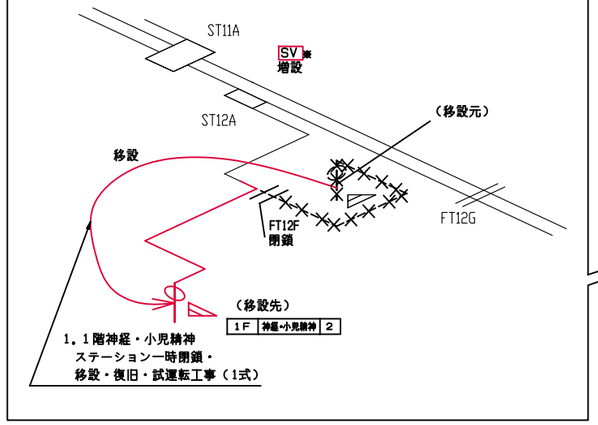
4．工事区分表

工事区分は下記とします。

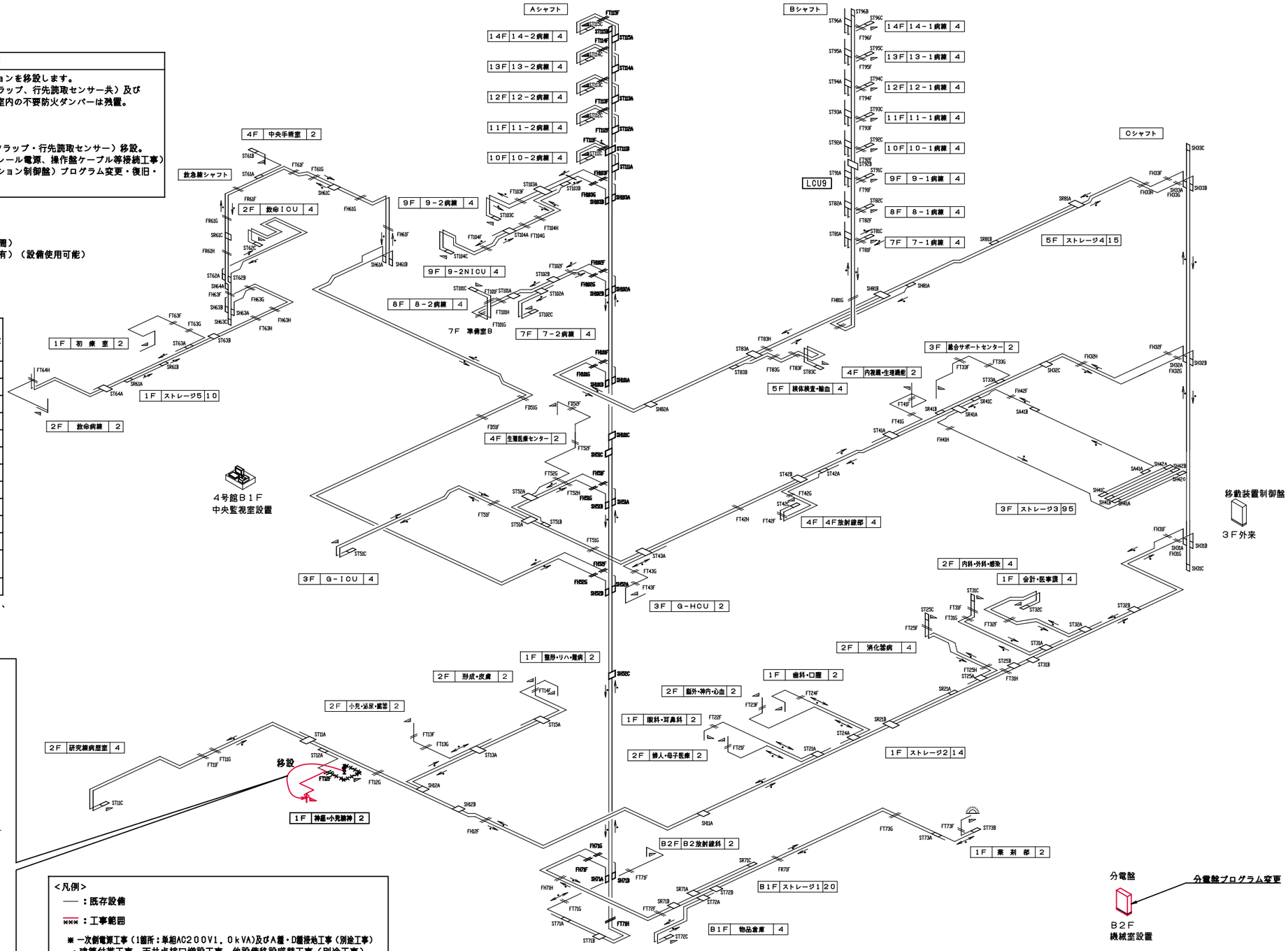
No.	工　事　項　目	本工事 搬送	本工事 請負業者	別途
1	機器撤去・移設・二次側電気工事・試運転調整	○		
2	工事による設備停止期間中のメッセンジャーの配置			○
3	工事用電源、試運転用電力及び工事用水		建築	
4	建築付帯工事（天井取外・復旧・天井開口・補強、ステーション撤去跡床・天井補修仕上げ）		建築	
5	中央監視装置用パソコンの画面・プログラム変更			○
6	一次側電源の電源装置への引き込み工事		電気	
7	A種・D種接地工事		電気	
8	再利用機器（ステーション、一部レール、操作盤）院内保管場所確保		建築	
9	既設自走式台車設備の整備工事			○
10	不要防火ダンパー（四方枠共）撤去工事		建築	
11	天井点検口増設工事		建築	
12	自走台車走行路上の他設備移設盛替工事 （SP、走行路上の配管、排気口、キャットウォークの手摺等）		○	
13	発生材料処分		建築	

請負業者工事№12の設備移設盛替工事のキャットウォークの手摺等は建築工事とし、それ以外は機械設備工事とする。

1階神経・小児精神ステーション周り拡大図



ダイヤグラム



<凡例>
——：既存設備
×××：工事範囲
※一次側電源工事（1箇所：単相AC200V1．0kVA)及びA種・D種接地工事（別途工事）
・建築付帯工事、天井点検口増設工事、他設備移設盛替工事（別途工事）

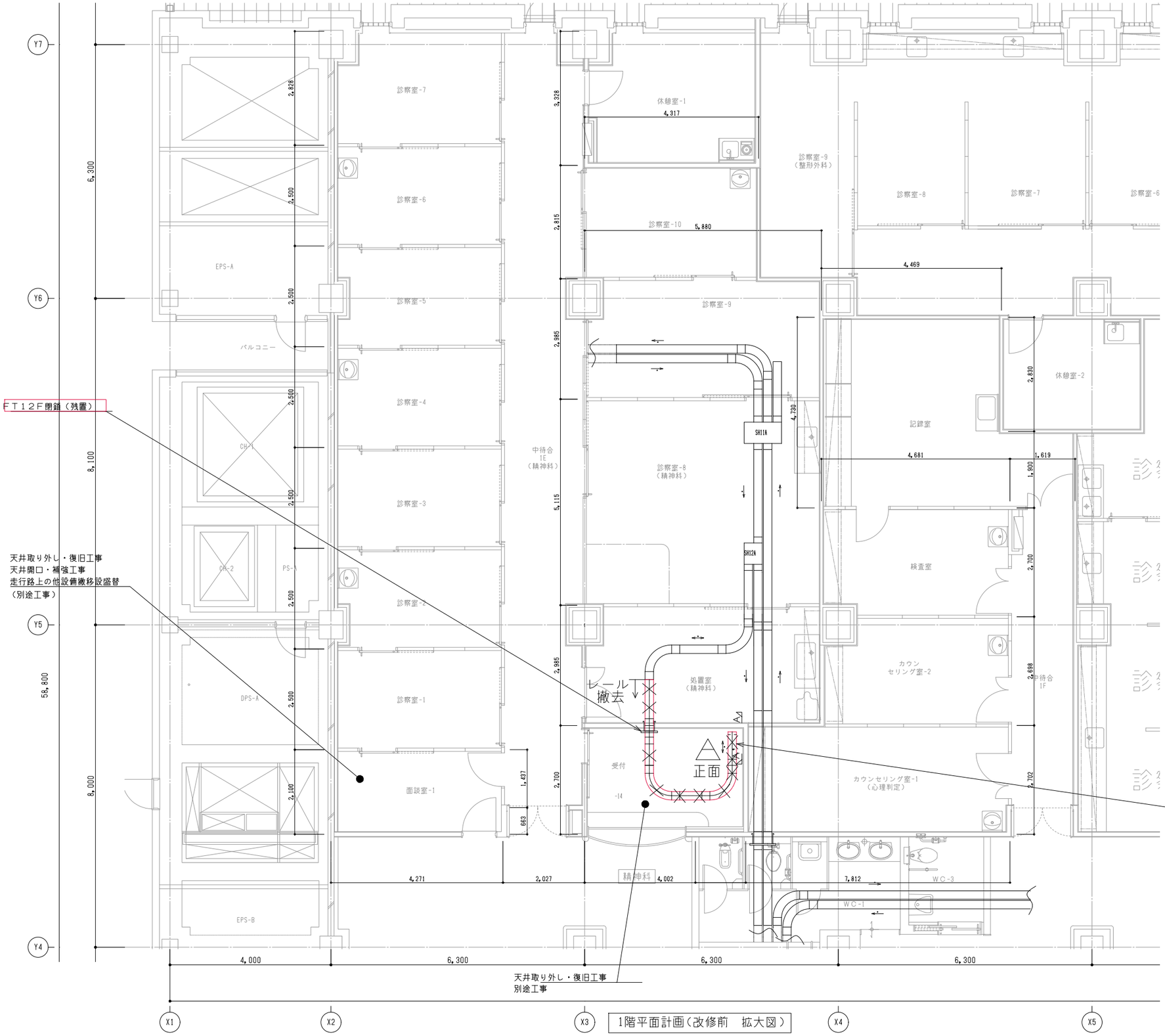
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地徹実

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

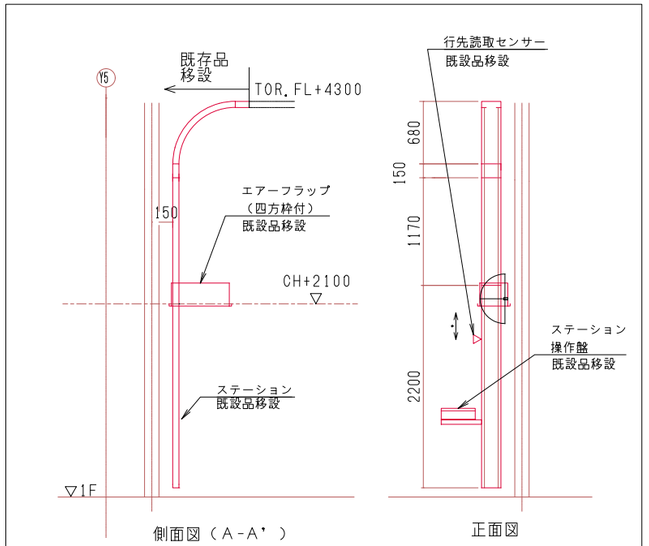
自走台車ステーション移設図（1）

2022.03
A1：—
A3：—

RA－058



1階平面計画（改修前　拡大図）

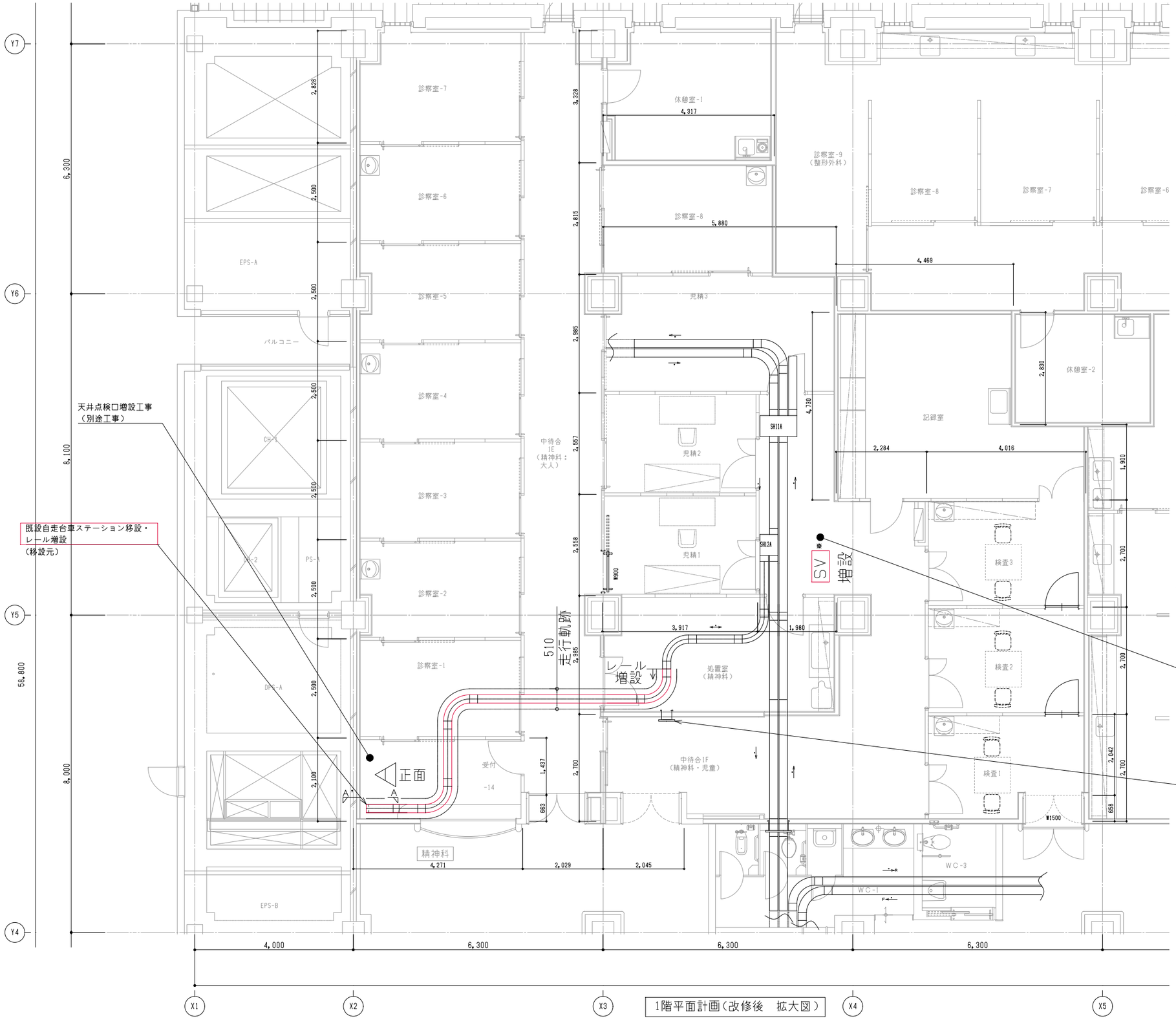


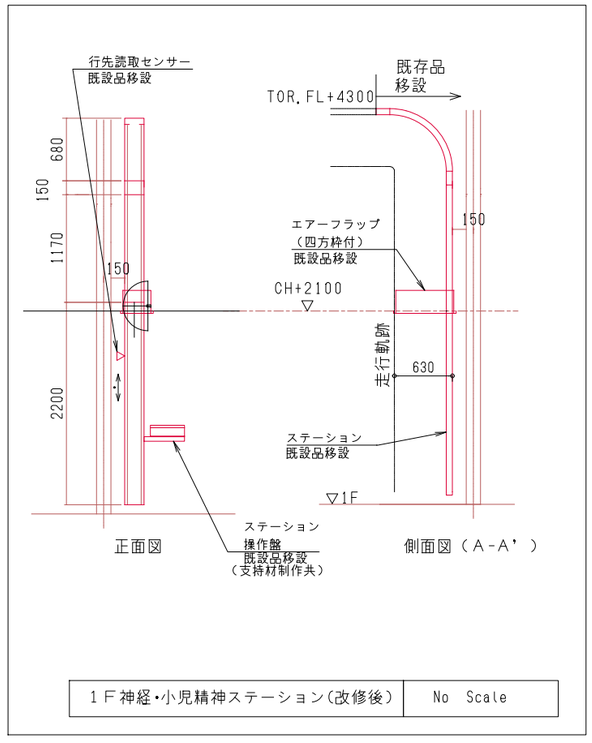
1F神経・小児精神ステーション（改修前）	No Scale

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地徹実

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RA－059
自走台車ステーション移設図（2）	A1：1/50 A3：1/100	





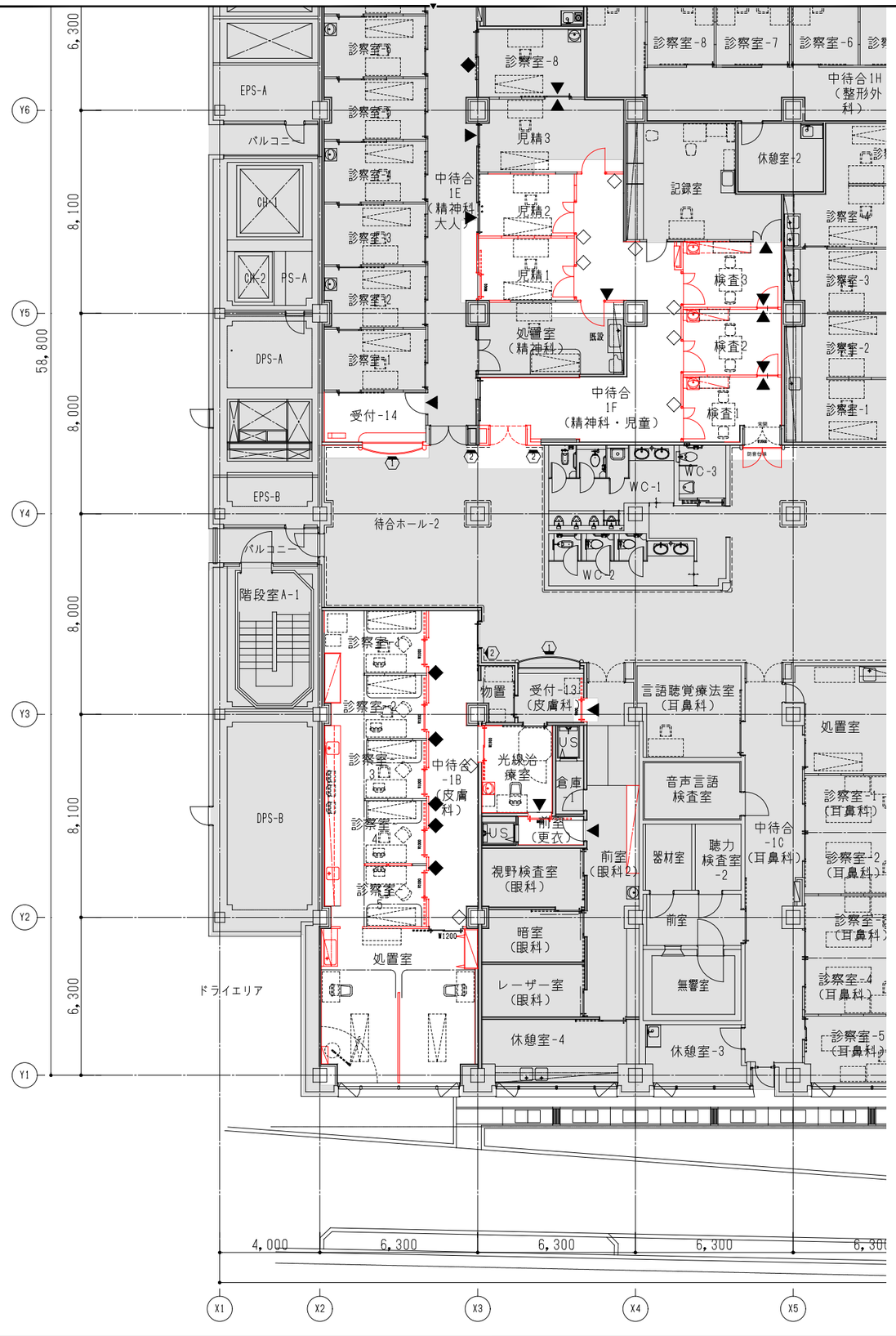
１Ｆ神経・小児精神ステーション（改修後）　No Scale

1階平面計画（改修後　拡大図）

※一次側電源工事（1箇所：単相AC２００V１．０kVA）
及びＡ種・Ｄ種接地工事（別途工事）

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地徹実

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RA－060
自走台車ステーション移設図（３）	A1：1/50 A3：1/100	



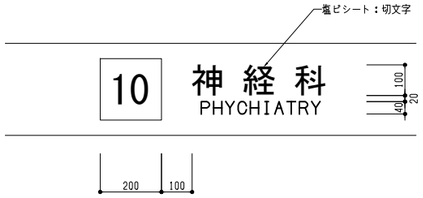
株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第233442号 和田雅彦 一級建築士登録 第226323号 菊地徹実	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事	2022.03
		1階サインキープラン	A1：1/100 A3：1/200
			RA－061

◆ : ③ 診察室表示
◇ : ④ 室名表示(診療等)
▲ : ⑦ 室名表示(スタッフ)
— : ⑩ 番号表示

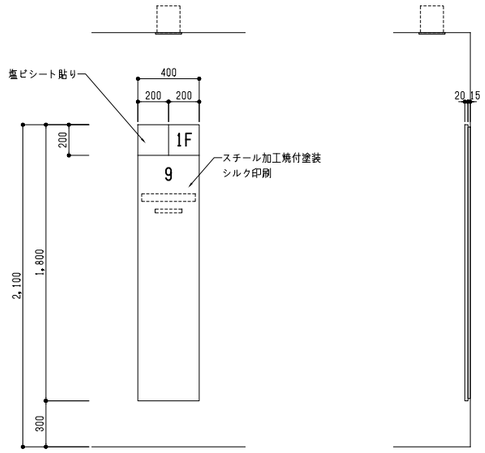


株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第233442号 和田雅彦 / 一級建築士登録 第226323号 菊地徹実	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事	2022.03
		2階サインキープラン	A1：1/100 A3：1/200
			RA－062

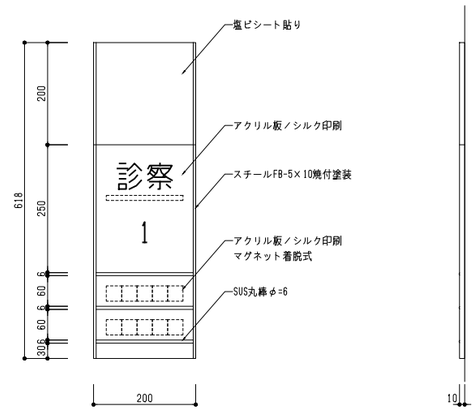
1	科名/受付表示	片面　切文字	1/10



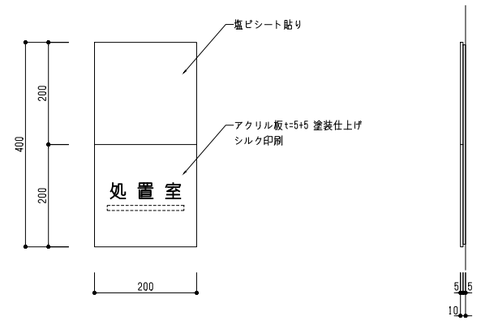
2	各科名等表示	片面　壁付	1/20



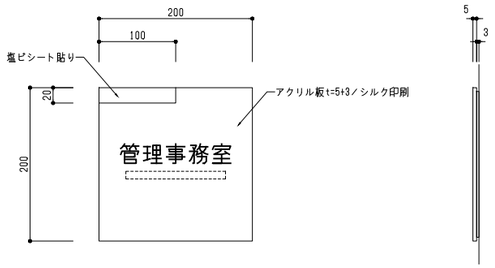
3	診察室	片面　壁付	1/6



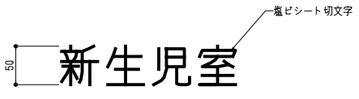
4	室名表示　A （一般）	片面　壁付	1/6



5	室名表示　D （バックメイン）	片面　壁付	1/4



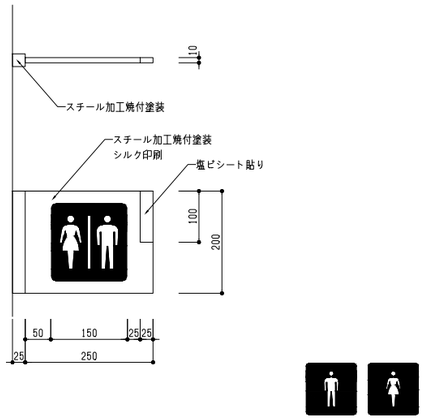
6	室名表示　F （シート切文字）	片面　扉付	1/4



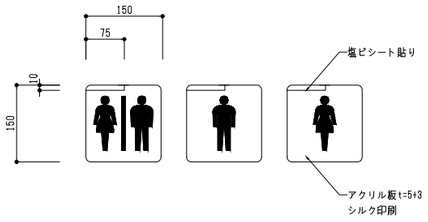
7	室名表示　G （記録室等）	片面　扉付	1/4



8	ピクト表示　A	両面　突出	1/6

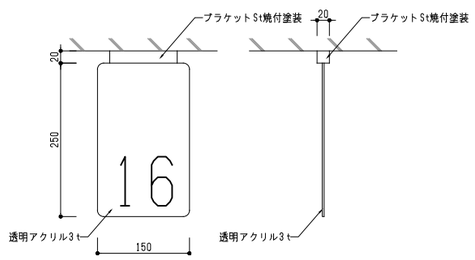


9	ピクト表示　B	片面　壁付	1/6



10	ベッドナンバー表記	1/5

本体＝透明アクリル3ｔ
ブラケット　St 箱曲げ加工
表示＝シート文字



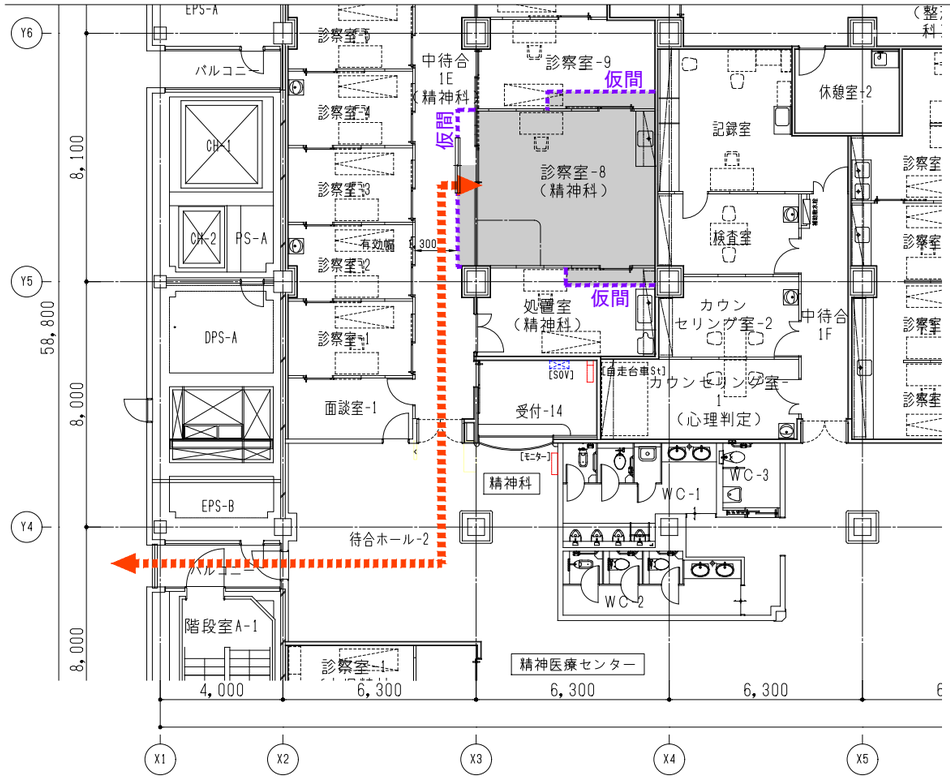
番号		サイン名称	1F(精神科)	1F(皮膚科)	2F(内分泌他)	2F(化学療法)	7F	計
1	①	科名/受付表示	1	1	1	1	0	4
2	②	各科名等表示	2	1	1	1	0	5
3	◆	診察室番号表示	1	5	9	0	0	15
4	◇	室名表示	7	2	1	1	1	12
5		室名表示(バックメイン)						
6		室名表示(シート切文字)						
7	▲	室名表示(職員用)	12	3	5	0	0	20
8	⑧	ピクト表示　A				1		1
9	⑨	ピクト表示　B				2		2
10	▬	ベッドナンバー表記				27		27

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地徹実

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RA－063
サイン詳細図	A1：－ A3：－	

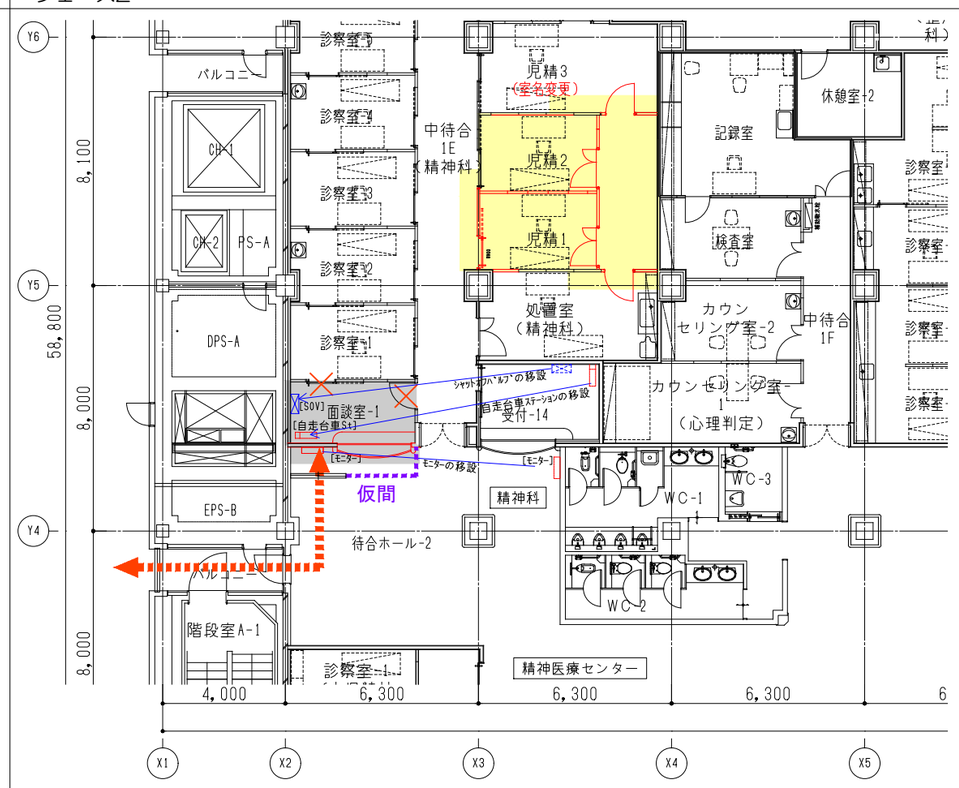
フェーズ1



■診察室-8を児精２、３に改修
- 診察室２～４前の中待合有効幅は1,300
- 診察室-８の流し台は撤去
- 使用出来る部屋数は16室（改修前は17室）

■工事時期・時間(仮)
- 2022.09初旬～2022.10初旬(1ヶ月)
- 平日の夜間、土・日・祝日の昼間

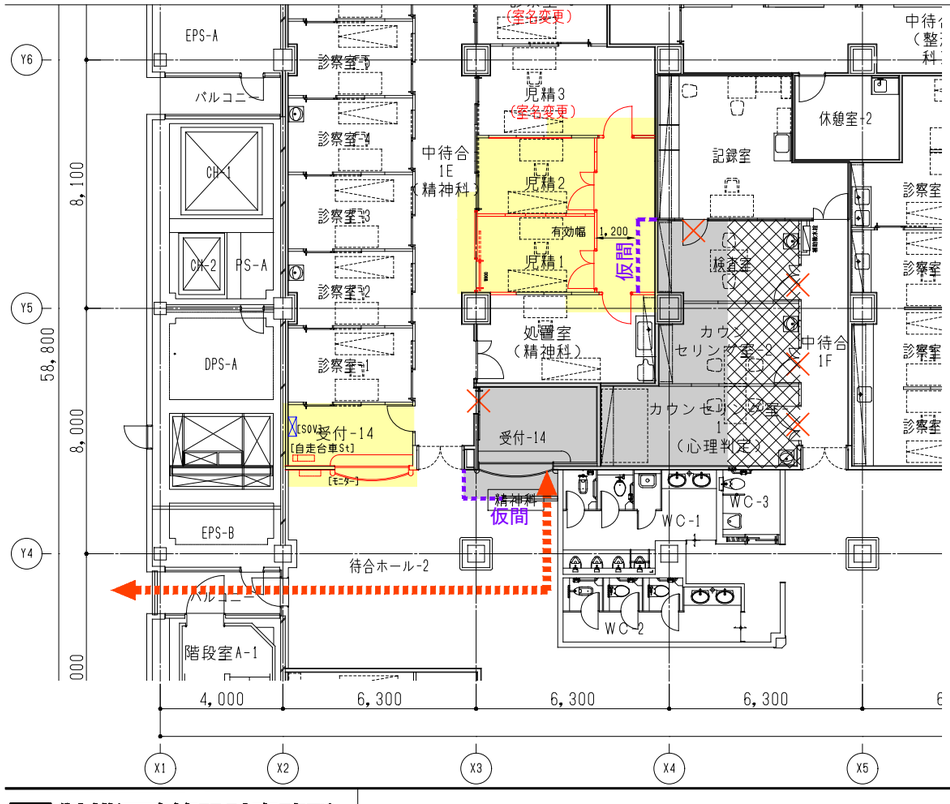
フェーズ2



■面談室１を受付-14に改修
- ｼｬｯﾄｵﾌﾊﾞﾙﾌﾞ[SOV]、自走台車ｽﾃｰｼｮﾝ、壁付ﾓﾆﾀｰの移設
- 自走台車天井裏ﾚｰﾙ工事は天井解体無しで工事可能
- 自走台車ｽﾃｰｼｮﾝ撤去、移設期間中の受付は運用可能ですが、自走台車は使用不可（1週間：工事終盤）
- 面談室は使用不可
- 使用出来る部屋数は17室（改修前は17室）

■工事時期・時間(仮)
- 2022.10初旬～2022.11初旬(1ヶ月)
- 平日の夜間、土・日・祝日の昼間

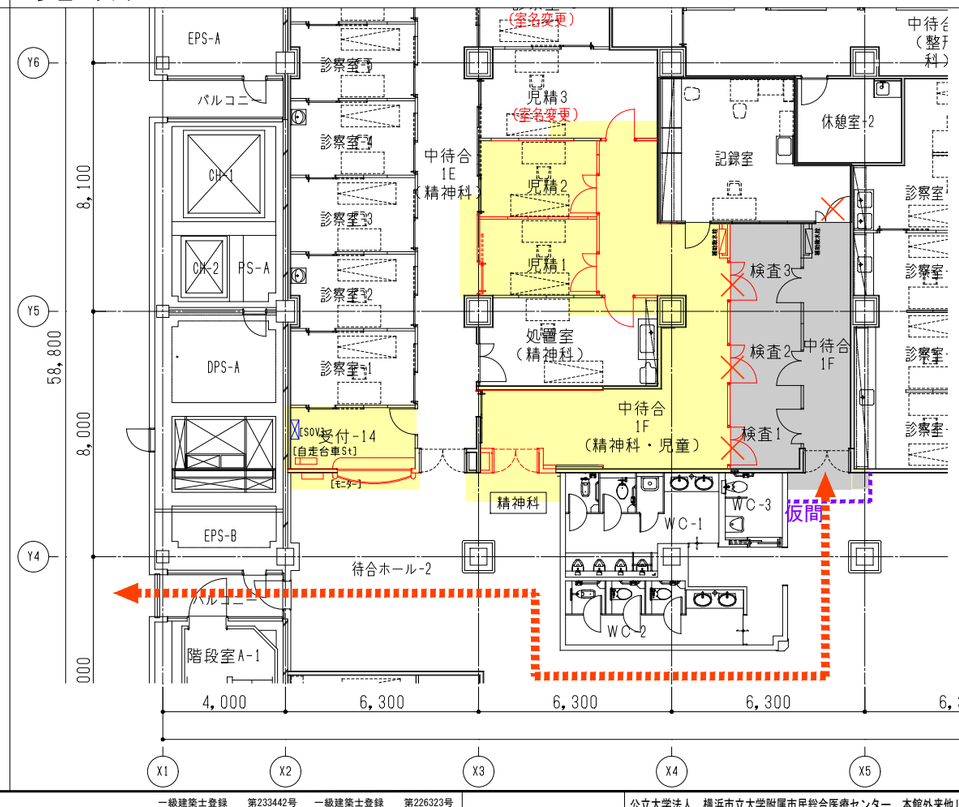
フェーズ3



■受付-14、検査室、診察室、ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ室を児精、中待合に改修
- 記録室は使用可能
- 児精1バック通路の有効幅は1,200
- 検査室、ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ室の手洗いは撤去。
- 中待合１Fと検査室、ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ室間の間仕切りは仮設間仕切り代わりに残置
- 使用出来る部屋数は14室（改修前は17室）

■工事時期・時間(仮)
- 2022.11初旬～2022.12初旬(1ヶ月)
- 平日の夜間、土・日・祝日の昼間

フェーズ4



■検査1～3の残りの改修
- 各部屋間の間仕切り設置
- 手洗い、吊戸棚設置
- 電気設備、機械設備の改修
- 記録室は使用可能
- 中待合１Fと検査1～３間の扉は閉鎖
- 使用出来る部屋数は14室（改修前は17室）

■工事時期・時間(仮)
- 2022.12初旬～2023.1初旬(1ヶ月)
- 平日の夜間、土・日・祝日の昼間

【凡例】

	改修工事中
	工事完了
	使用出来ない部屋
仮間	仮設間仕切（LGS+GB-R12.5×2片面張り GW充填）
	工事動線（職人・資材・廃材）
	工事中閉鎖する扉
部屋数	休憩室含む・受付除く

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第233442号 和田雅彦
一級建築士登録 第226323号 菊地徹実

公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

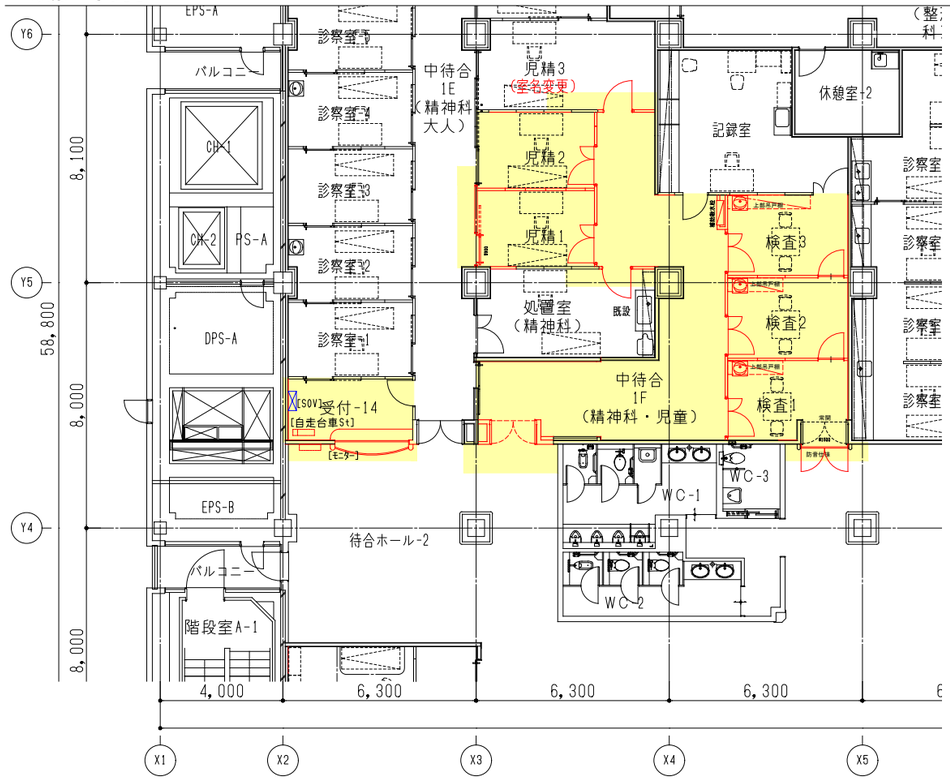
1階精神科ローテーション計画図(１)

2022.03

A1：1/100
A3：1/200

RA－ 064

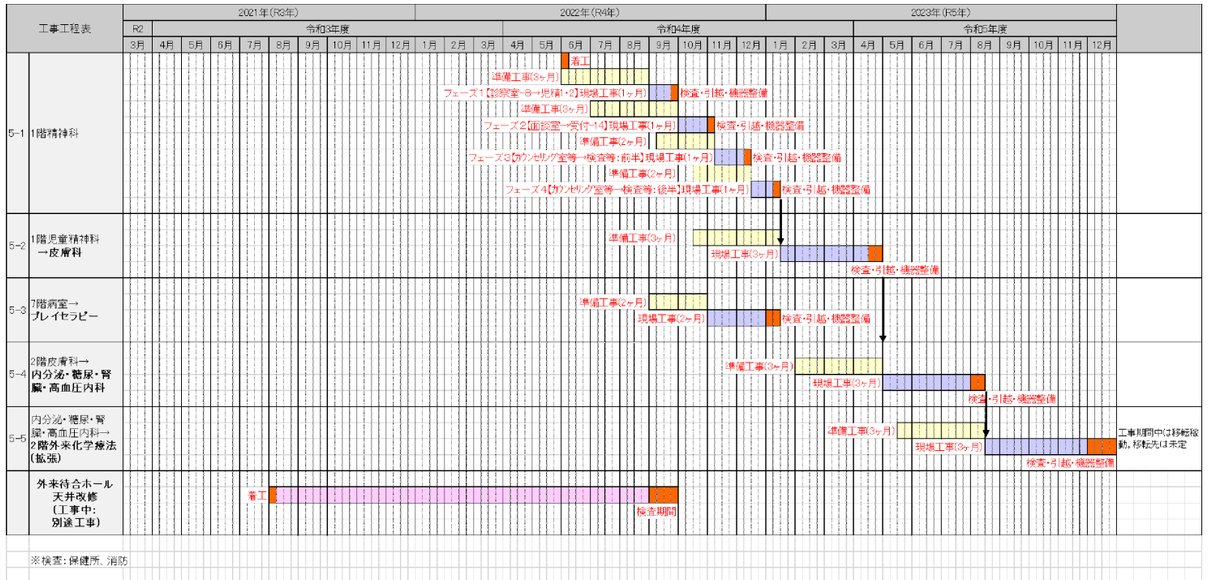
改修工事完了



■精神科改修工事完了
・部屋数は17室
（改修前は17室）

【凡例】	
	改修工事中
	工事完了
	使用出来ない部屋
仮置	仮設壁仕切 (LGS+GB-R12.5×2片面張り GW充填)
	工事動線（職人・資材・廃材）
	工事中閉鎖する扉
部屋数	休憩室含む・受付除く

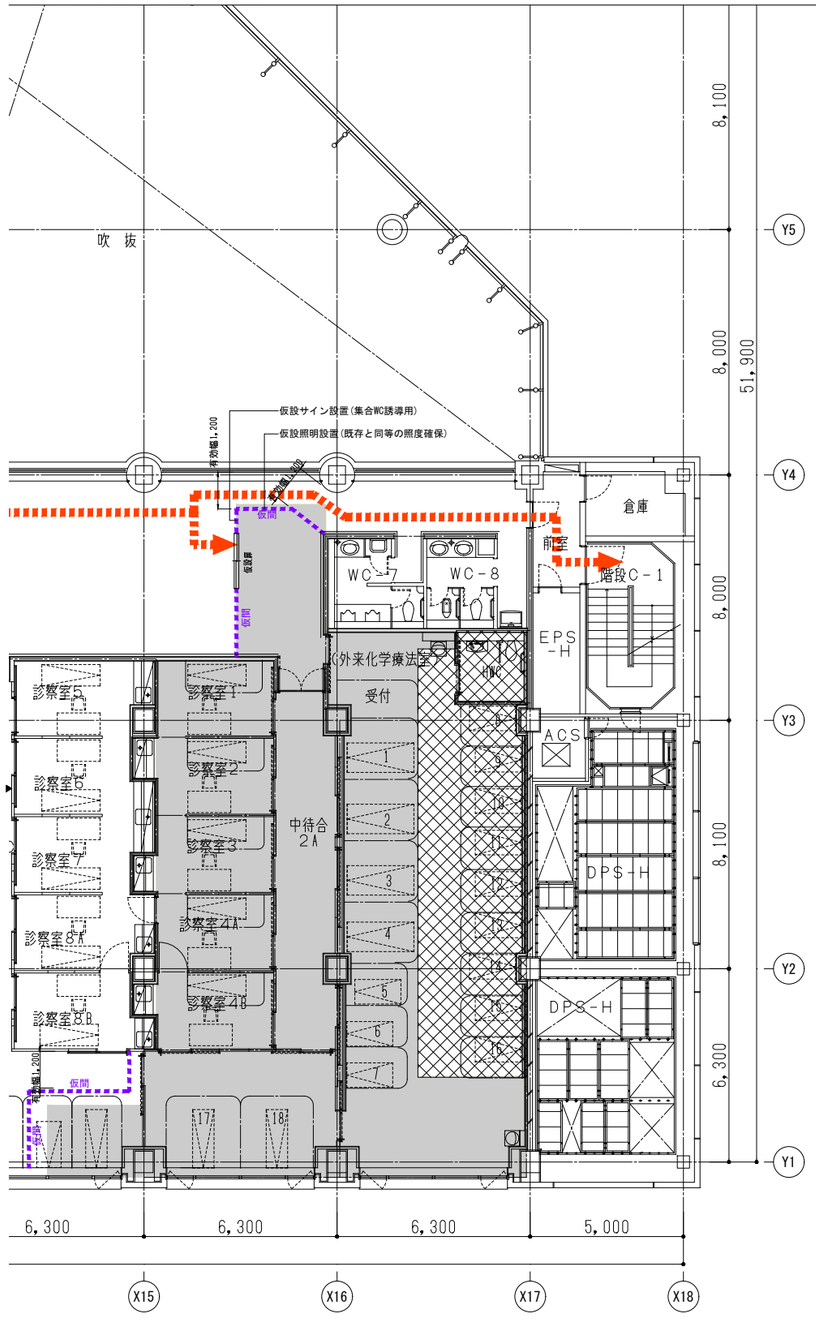
工事工程表



株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録 第233442号 和田 雅彦
一級建築士登録 第226323号 菊地 徹実

公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RA － 065
1階精神科ローテーション計画図（2）・工事工程表	A1：1/100 A3：1/200	

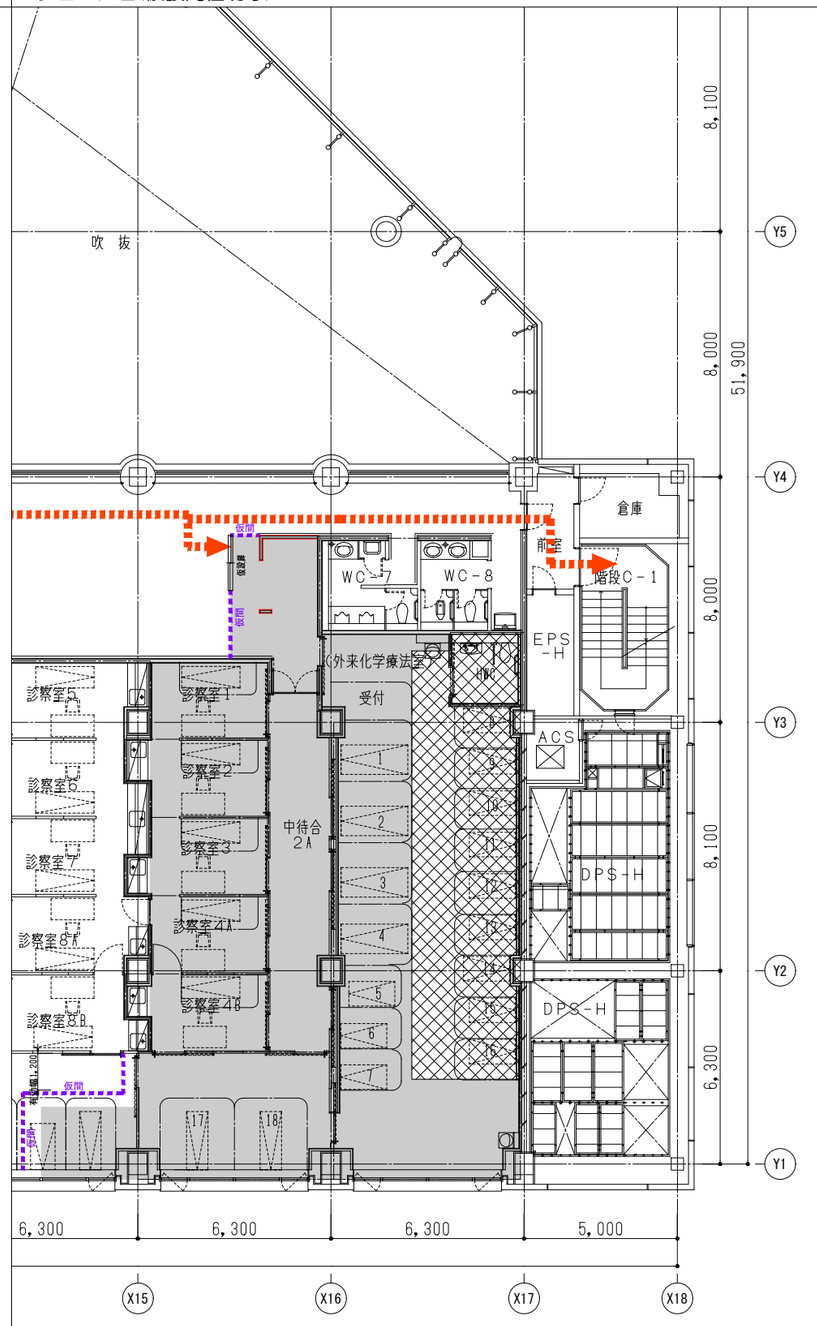
フェーズ1（仮設間仕切り）



■先行で待合に受付の新設間仕切りを設置
- 吹き抜け側と仮設間仕切り間の廊下有効幅は1,200
- 仮設照明と仮設サイン（集合WC誘導用）の設置
- 吹き抜け側の仮設間仕切りの設置期間は約1ヶ月～1.5ヶ月

■工事時期・時間（仮）
- 2023.08中旬～2023.9中旬若しくは9下旬（1ヶ月～1.5ヶ月）
- 平日の夜間、土・日・祝日の昼間

フェーズ2（仮設間仕切り）



■吹き抜け側の仮設間仕切りを撤去
- 吹き抜け側の廊下有効幅は現況復旧
- 汚れたり、傷をつけられないために、三角コーン+トラバー等を設置（2ヶ月～1.5ヶ月）

■工事時期・時間（仮）
- 2023.9中旬若しくは10初旬～2023.11中旬（2ヶ月～1.5ヶ月）
- 平日の夜間、土・日・祝日の昼間

改修工事完了



2021.10.28

■外来化学療法室改修工事完了
- 27ブース
  [ﾍﾞｯﾄﾞ(5)、ﾁｪｱｰ(22)]

【凡例】

	改修工事中
	工事完了
	使用出来ない部屋
仮間	仮設間仕切（LGS+GB-R12.5×2片面張り GW充填）
	工事動線（職人・資材・廃材）

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第233442号 和田雅彦
一級建築士登録 第226323号 菊地徹実

公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事		2022.03	RA－066
2階外来化学療法室ローテーション計画図（仮設間仕切り）		A1：1/100 A3：1/200	

市道大桟橋浦舟線

22,000

浦舟派出所跡地

OUT

OUT IN

歩道

OUT IN

▽道路境界線
▽都市計画道路線

500

ドライエリア

OUT

IN

OUT

公開空地

駐車場棟

救急棟

救急車駐車場

1 2 3

障害者用駐車場

1 2

公開空地

道路

歩道

▽敷地境界線

公開空地

4,000

2,000

詰所（令和4年10月から使用可能）、ｺﾝﾃﾅ等設置位置

交通誘導員

研究棟

本　館

今回改修建物（1階・2階・7階）

地下1階へ[EV(EE-2)へ]

IN

歩道

▽敷地境界線

道路

9,500

オイルタンク（埋設）

受水槽

受水槽

IN OUT

▽敷地境界線

歩道

市道

6,000

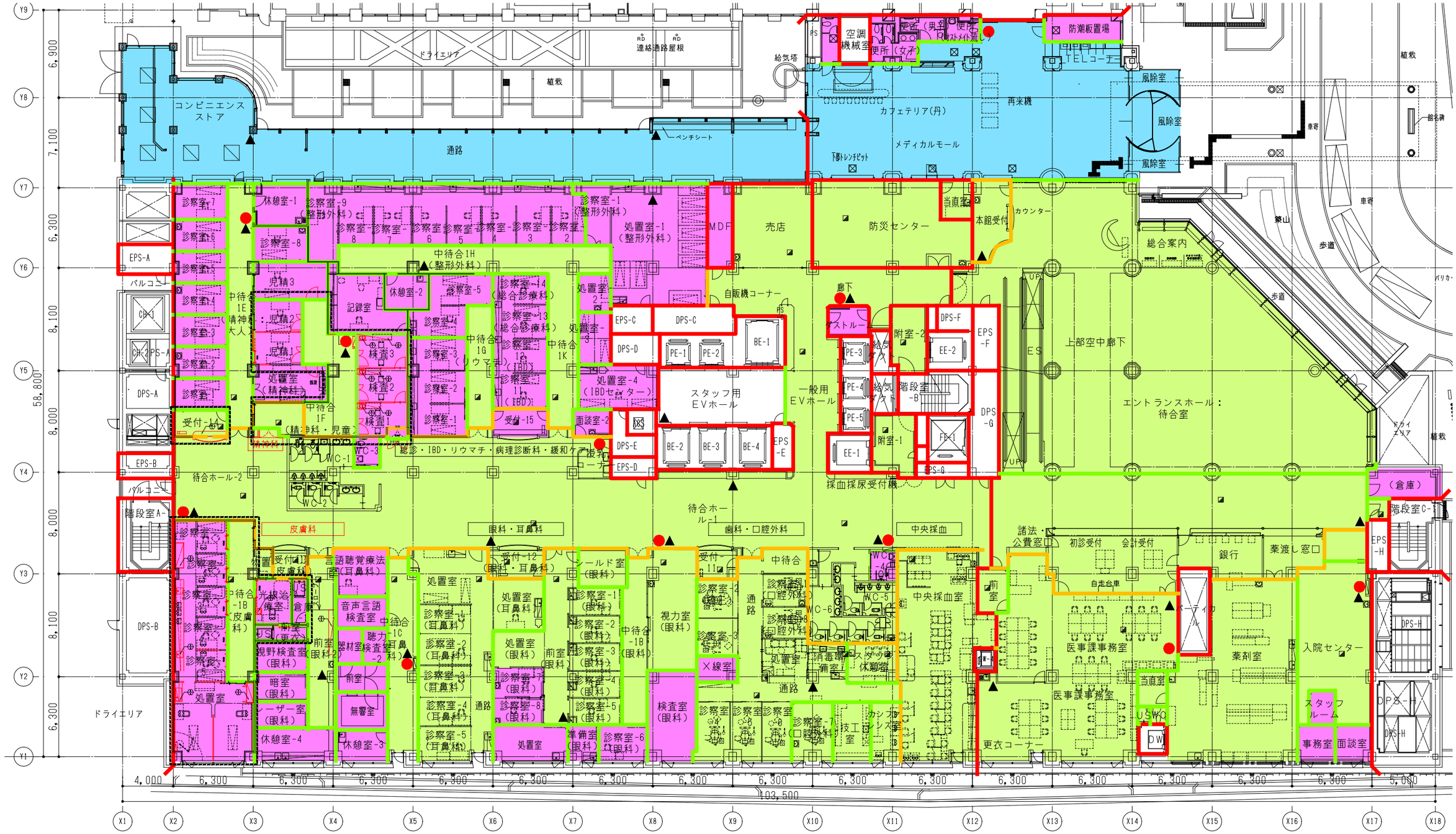
N

【凡例】	
⟷	工事動線（職人・資材・廃材）
	交通誘導員　360人

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田 雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地 徹実

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事		2022.03	RA－067
仮設計画(外部)		A1：1/400 A3：1/800	



機械排煙区域
自然排煙区域
防火区画（兼防煙区画・間仕切壁他）
防火区画（兼防煙区画・随時閉鎖式防火戸他）
防火区画のスパンドレル部を示す（≧900）
防煙区画（間仕切壁・不燃ドア自閉式）
防煙区画（垂れ壁）
防火上主要な間仕切壁（間仕切壁：耐火構造）
防火上主要な間仕切壁（開口部：開口部外は耐火構造）

排煙設備代替部分（排煙免除・建設省告示1436号適用）
令126条の2　1項　第3号適用
排煙口(機械排煙)
補助散水栓
消火器
改修範囲を示す

【備　考】
※ 防火区画の壁は耐火構造（1時間）とする。
※ 防火上主要な間仕切壁は建築基準法施工令114条による間仕切壁（耐火構造：1時間）とする。
※ シャフト（PS、DS、EPS等）は全て水平区画とする。
※ 防火戸及び防火シャッター（煙感連動）は、危害防止機能付とする。
※ 自然排煙、機械排煙間等、異種排煙区画上にある建具は、常時閉鎖式不燃戸、又は煙感連動閉鎖式不燃戸とする。
※ 白抜きの階段、昇降路は、令126条の2の1項3号とする。
※ 自然排煙室については、各エリアのどの部位からも、排煙開口まで30m以内とする。（機械排煙の排煙口は設備図参照）
※ 排煙オペレーターは、付位置は床上800以上1500以下とする。
※ 全階を消防法上の無窓階として法に適した計画とする。
※ 防火戸は3㎡以下又は子扉（幅750以上、高さ1800以上、床上150以下）付きのものとする。
※ 屋外避難階段から2mの範囲に開口部は設置しないこととする。
※ 既存本館とは一棟とみなし、延焼の恐れ線は発生しないものとする。
※ H12告示1436号第4号ハ（四）について、100㎡以下ごとの防煙区画とする。

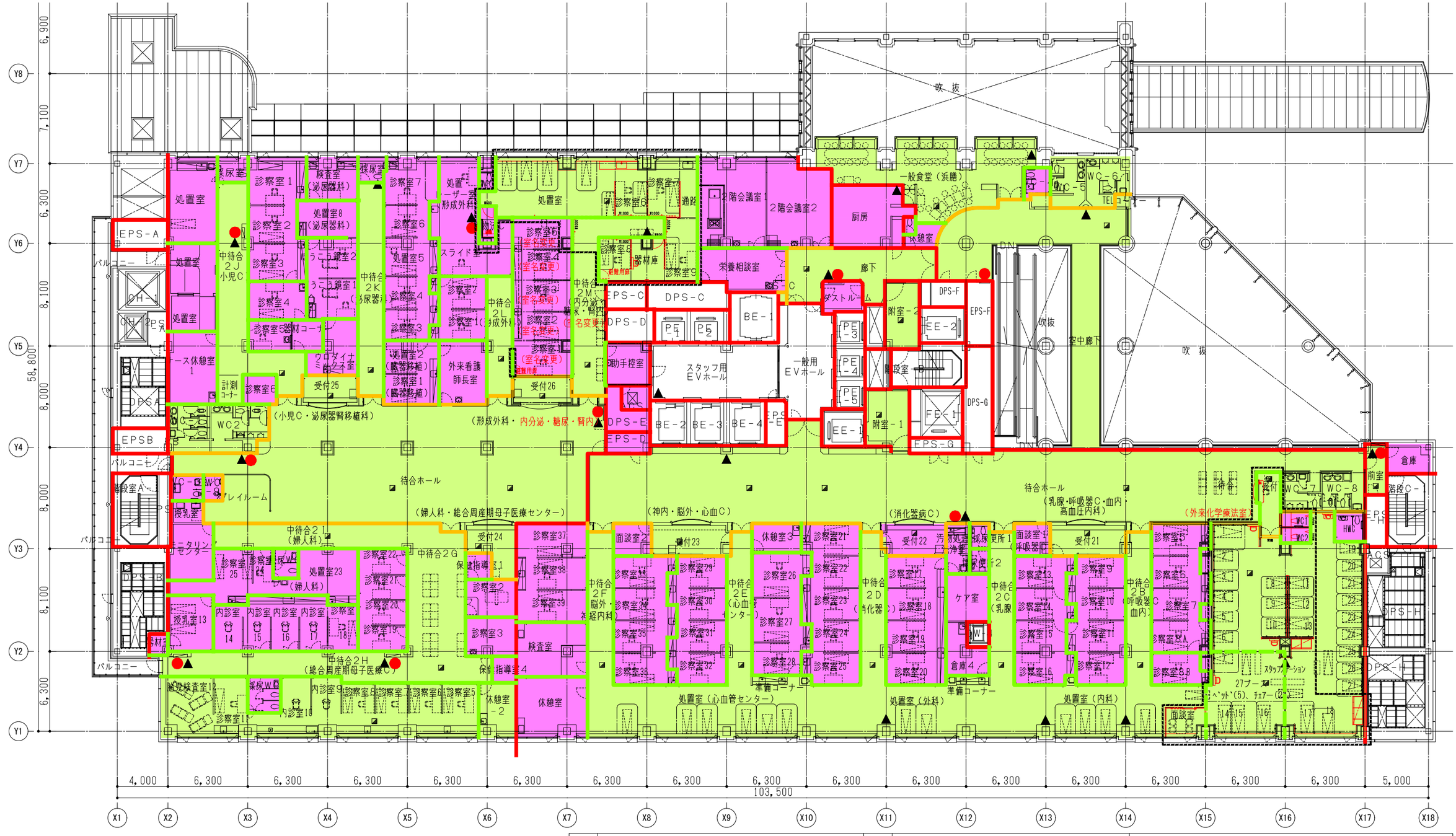
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地徹実

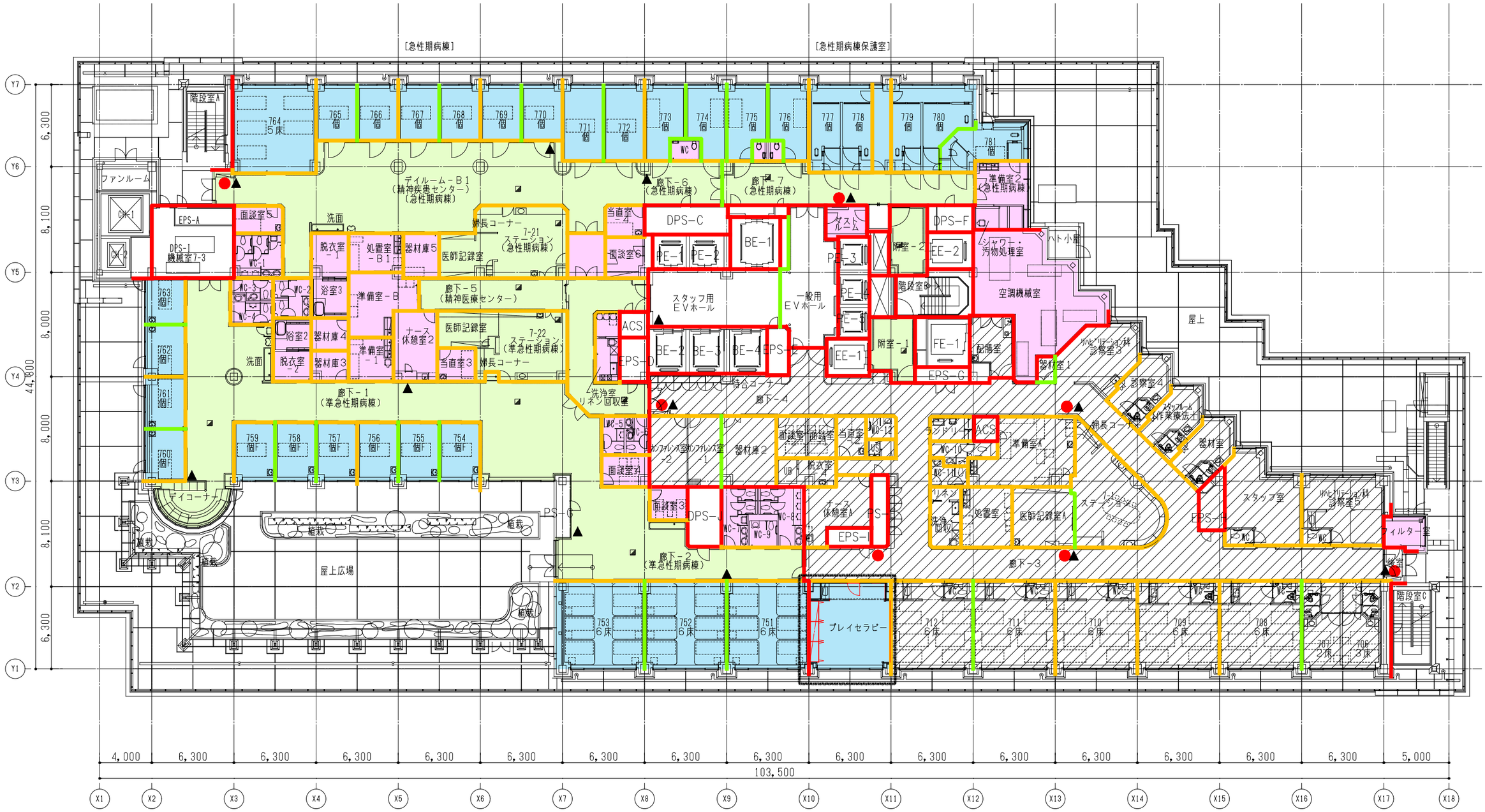
公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

1階区画図(改修後)

2022.03
A1：1/150
A3：1/300

RA－068


吹抜
一般食堂（浜膳）
2階会議室1
2階会議室2
厨房
栄養相談室
廊下
ダストルーム
吹抜
空中廊下
吹抜
EPS-A
EPS-C
DPS-C
DPS-D
DPS-F
EPS-F
DPS-G
EPS-G
BE-1
BE-2
BE-3
BE-4
EPS-E
DPS-E
EPS-D
PE-1
PE-2
PE-3
PE-4
PE-5
EE-1
EE-2
附室-1
附室-2
一般用EVホール
スタッフ用EVホール
処置室
診察室1
診察室2
診察室3
診察室4
診察室5
診察室6
診察室7
診察室8
診察室9
診察室10
診察室11
診察室12
診察室13
診察室14
診察室15
診察室16
診察室17
診察室18
診察室19
診察室20
診察室21
診察室22
診察室23
診察室24
診察室25
診察室26
診察室27
診察室28
診察室29
診察室30
診察室31
診察室32
診察室33
診察室34
診察室35
診察室36
診察室37
診察室38
診察室39
診察室A
診察室B
診察室C
診察室D
診察室E
診察室F
診察室G
診察室H
診察室I
診察室J
診察室K
診察室L
診察室M
診察室N
診察室O
診察室P
診察室Q
診察室R
診察室S
診察室T
診察室U
診察室V
診察室W
診察室X
診察室Y
診察室Z
処置室1
処置室2
処置室3
処置室4
処置室5
処置室6
処置室7
処置室8
処置室9
処置室10
処置室11
処置室12
処置室13
処置室14
処置室15
処置室16
処置室17
処置室18
処置室19
処置室20
処置室21
処置室22
処置室23
処置室24
処置室25
処置室26
処置室27
処置室28
処置室29
処置室30
処置室31
処置室32
処置室33
処置室34
処置室35
処置室36
処置室37
処置室38
処置室39
処置室A
処置室B
処置室C
処置室D
処置室E
処置室F
処置室G
処置室H
処置室I
処置室J
処置室K
処置室L
処置室M
処置室N
処置室O
処置室P
処置室Q
処置室R
処置室S
処置室T
処置室U
処置室V
処置室W
処置室X
処置室Y
処置室Z
中待合2J 小児C
中待合2K（泌尿器科）
中待合2L（形成外科）
中待合2M（内分泌・糖尿・腎内）
中待合2F 脳外・神経内科
中待合2E（心血管センター）
中待合2D（消化器）
中待合2C（乳腺）
中待合2B（呼吸器・血内）
中待合2A
中待合2G
中待合2H（総合周産期母子医療C）
中待合21（婦人科）
待合ホール
（小児C・泌尿器腎移植科）
（形成外科・内分泌・糖尿・腎内）
（婦人科・総合周産期母子医療センター）
（神内・脳外・心血C）
（消化器病C）
（乳腺・呼吸器C・血内 高血圧内科）
（外来化学療法室）
処置室（心血管センター）
処置室（外科）
処置室（内科）
準備コーナー
準備コーナー
ウロダイナミクス室
検尿室
検査室（泌尿器科）
検査室
計測コーナー
材コーナー
ストレイルーム
モニター
授乳室
採尿WC
採尿WC
採尿WC
WC-1
WC-2
WC-3
WC-4
WC-5
WC-6
WC-7
WC-8
WC-9
WC-10
WC-11
WC-12
WC-13
WC-14
WC-15
WC-16
WC-17
WC-18
WC-19
WC-20
WC-21
WC-22
WC-23
WC-24
WC-25
WC-26
WC-27
WC-28
WC-29
WC-30
WC-31
WC-32
WC-33
WC-34
WC-35
WC-36
WC-37
WC-38
WC-39
WC-40



機械排煙区域
自然排煙区域
防火区画（兼防煙区画・間仕切壁他）
防火区画（兼防煙区画・随時閉鎖式防火戸他）
防火区画のスパンドレル部を示す（≧900）
防煙区画（間仕切壁・不燃ドア自閉式）
防煙区画（垂れ壁）
防火上主要な間仕切壁（間仕切壁：耐火構造）
防火上主要な間仕切壁（開口部：開口部外は耐火構造）

排煙設備代替部分（排煙免除・建設省告示1436号適用）
令126条の2　1項　第3号適用
クリーンゾーン（排煙免除）
排煙口（機械排煙）
補助散水栓
消火器

改修範囲を示す

【備　考】
※ 防火区画の壁は耐火構造（1時間）とする。
※ 防火上主要な間仕切壁は建築基準法施工令114条による間仕切壁（耐火構造：1時間）とする。
※ シャフト（PS,DS,EPS等）は全て水平区画とする。
※ 防火戸及び防火シャッター（煙感連動）は、倉害防止機能付とする。
※ 自然排煙、機械排煙関等、異種排煙区画上にある建具は、常時閉鎖式不燃戸、又は煙感連動閉鎖式不燃戸とする。
※ 白抜きの階段、昇降路は、令126条の2の1項3号とする。
※ 自然排煙室については、各エリアのどの部位からも、排煙開口まで30m以内とする。（機械排煙の排煙口は設備図参照）
※ 排煙オペレーターは、付位置は床上800以上1500以下とする。
※ 全階を消防法上の無窓階として法に適した計画とする。
※ 防火戸は3㎡以下又は子扉（幅750以上、高さ1800以上、床上150以下）付きのものとする。
※ 屋外避難階段から2ｍの範囲に開口部は設置しないこととする。
※ 既存本館とは一棟とみなし、延焼の恐れ線は発生しないものとする。
※ H12告示1436号第4号ハ（四）について、100㎡以下ごとの防煙区画とする。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第226323号　菊地徹実

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

7階区画図（改修後）

2022.03
A1：1/150
A3：1/300

RA－070

電気設備工事特記仕様書

1.工事科目（ ⊙ 印のあるもの）

・ 屋外構内配電線路	⊙ 拡声設備
・ 受変電設備	・ 映像・音響設備
・ 発電設備	・ 監視カメラ設備
・ 太陽光発電設備	⊙ テレビ共同受信設備
・ 電力貯蔵設備(直流電源、交流無停電電源)	⊙ 誘導支援設備（ナースコール、インターホン、トイレ呼出）
⊙ 動力設備(動力幹線、動力分岐)	・ 防犯・入退室管理設備
⊙ 電灯設備(電灯幹線、電灯分岐、コンセント分岐)	⊙ 火災報知設備(自動火災報知、自動閉鎖、非常警報、ガス漏れ)
・ 電熱設備	⊙ 医用接地設備
・ 屋外構内通信線路	・ 雷保護設備
⊙ 構内交換設備（ ⊙ 配管 ⊙ 配線 ⊙ システム）	・ 駐車場管制設備
⊙ 構内情報通信網設備（ ⊙ 配管 ⊙ 配線 ⊙ システム）	・ 中央監視制御設備
⊙ 情報表示設備(出退・情報表示、電気時計)	・ テレビ電波障害防除設備
・	・

2.共通仕様

(1)特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、下記の国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の仕様書（平成31年版）による。（建築物解体共通仕様書は平成24年版）

⊙ 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）　⊙ 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）
※ 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）　⊙ 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）
⊙ 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）　⊙ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）
⊙ 建築物解体工事共通仕様書

(2)標準図は以下の平成31年版による。
・ 建築工事標準詳細図
※ 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)
・ 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)

(3)設計図書に明記がない場合、又は相違がある場合は、原則として監督職員の指示によるほか、次の優先順位により判定する。
(1) 質疑回答書（(2)～(5)に対するもの）　(2)現場説明書　(3) 特記仕様書　(4) 図面　(5) 標準仕様書

(4)特記仕様
(1) 項目は全て適用する。
(2) 特記事項のうち選択する事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印のない場合は、※印を適用する。　⊙ 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。

	項目	特記事項

一般事項

法令その他
この工事は、工事に関係する法令、条例及び規定等に基づいて施工する。官公署の検査を必要とする工事にあっては、工事完成時までに検査を受け検査済証等の交付を受ける。

施工図等の権利
施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。

工事写真
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック（電気設備工事編）平成30年版」によるほか、監督員の指示により撮影する。

監理事務所
※ 設けない　・ 設ける（ ・ 既存建物内の一部を使用する　・ 構内に新設する）
什器・事務用品及び機器・PC・家電類を具備すること。

工事用水電力等
本工事に必要な工事用電力・水等は受注者の負担とする。
既設インフラを使用する場合は、受注者の負担により検定付メータを設置の上、実費を精算する。

工事用仮設物
敷地内につくることが　※ できる　・ できない

電気工事士
最大電力500kW以上の場合においても、第一種電気工事士により施工を行なう。

電気保安技術者
電気保安技術者の選定については、標準仕様書のほか、監督員が認めるものとする。

発生材の処理
(1) 引渡しを要するもの　（　　　　）
(2) 特別管理産業廃棄物　（・PCB使用機器　　　　）
(3) 再資源化を図るもの　（・蛍光ランプ　・白熱灯　・HID灯　　　　）
(4) 発生材保管、集積場所が必要なもの（　　　　）
照明器具安定器に PCB が使用されている場合は、安定器を本体より分離し保管ボックス(鋼板製）に収納して建物管理者に引き渡す。また、変圧器・コンデンサ等を廃棄しようとする場合は、PCB混入の可能性の有無について確認し、混入の可能性が判定・確認できない場合は、PCB
廃棄物として保管受皿に入れ指定された場所に保管する。
※ 建設廃棄物の処理にあたっては建設廃棄物処理計画書を提出すること。

環境性能等
使用する機材は契約時点におけるトップランナー基準に適合したものであること。

使用機材の選定
工事に使用する機材は、その工事の着手前に、「機器、材料発注先一覧表」「メーカーリスト表」を監督員に提出して承諾を受ける。

機材の検査等
使用する機材について、自主検査記録（任意様式）を作成すること。
また、製造工場等における材料検査を行う工事材料は監督員の指示による。
製品工場検査に要する費用は受注者の負担とし、監督員の交通費宿泊費も受注者が負担する。

アスベスト分析
※ 行わない　・ 行う（　　　　箇所）
測定箇所等は監職員の指示による。

アスベスト粉塵濃度測定
※ 行わない　・ 行う（　　　　箇所）
測定箇所等は監職員の指示による。

提出図書とその概要

(1)着工時
公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）に加え、下記を提出すること。
1.現場責任者経歴書、及び組織票
2.機器、材料発注先一覧表
機材名称、製作所名、連絡先及び担当者名等を記載したもの
3.メーカーリスト
4.全体工程表、発注・承認工程表
5.施工計画書・施工要領書
6.その他監督員の指示したもの
7.工事実績情報システム（ＣＯＲＩＮＳ）登録を速やかに行う事。
8.建設副産物情報交換システム（ＣＯＢＲＩＳ）登録を速やかに行う事。

(2)工事中
1.機器製作承認図
2.工事写真
3.工事報告書
監督員の指示に従い現場工事状況の報告（月報、機材の現場搬入・搬出調書、労務者の就業状況の記録簿）を作成し提出報告すること。
4.工事工程表（週間・３週間・月間）
5.打合せ議事録
6.製品検査予定表
7.機器の現場搬入計画書
8.検査要領書
9.その他監督員の指示したもの

(3)竣工時
1.完成写真、完成図とは別に下記書類を合本又はファイリングの上、3部提出する。
1) 竣工届、竣工引渡書、受領書
2) メーカー機器の保証書及び写し
3) 各種計算書
4) 機器試験報告書
5) 自主検査成績表
6) 取扱い説明書、部品(工具)、引渡書(一覧表)
7) メーカーリスト表
8) 受注者等の竣工後の連絡先
9) 協力業者名簿
10) 保全に関する資料
※建築物等の利用に関する説明書作成は「建築物等の利用に関する説明書作成の手引き」（国土交通省　平成28年12月版）による。
※建築主への説明を実施すること。
11) 申請許可図書の写し
諸官庁、電力会社、消防等に対する申請および許可書等の写しを提出する。
監督員の指示に従い現場工事状況の報告（月報、機材の現場搬入・搬出調書、労務者の就業状況の記録簿）を作成し提出報告すること
12) 上記1～11のPDFデータを作成し、DVD-Rにて3部提出すること。
2.予備品、付属品等の納入
信号灯、運転故障等の表示ランプ及び各種ヒューズ等はサイズ、種類別ごとに100%納入する。
納入に際しては納入品一覧表を作成し、これを添える。
3.その他監督員の指示したもの

完成図書
工事完成後、60日以内に監督員の指示に従い完成図を作成の上提出する。部分完成の場合は除く。
1.完成図は設計図書を最終の状態に訂正の上、提出する。
2.完成図の提出は、下記の仕様による。
※ CADデータ　：Auto CADデータ（・およびJW_CADデータ）およびDXFデータをDVD-Rにて2部提出。
完成図はAutoCADデータを訂正すること。JW_CAD等からDWGに変換は不可とする。
※ PDFデータ　：解像度を600dpiとし、オリジナルCADデータより直接書き出したもの
（ただし表紙のみ施工者の押印したものをスキャニング）をDVD-Rにて3部提出。
・ 原図　：１．による訂正完成原図一式 （A1サイズとする）
3.製本は表紙及び工事名称、竣工年月、建築主、設計、監理、施工者名の文字入りとする。
※ A3版縮小図(黒表紙，白焼) 1部
(監督員の指定する体裁とする事)
※ A1版見開き製本(複写図・白焼)　2部
※ A3版縮小見開き製本(複写図・白焼)　5部
・ A4版又はB5版製本(黒表紙金文字入原紙大青図折込)　1部
・ 監督員の指示による図面(施工図等)のA1版見開き製本(青図)　1部
4.国土交通省「営繕工事電子納品要領」に準じる電子成果品について。
※ 不要　・ 必要
5.監督員の指定する施工図等のAuto CAD（又はDXF）データ及びPDFデータをDVD-Rにて2部提出。

総合図の作成
本建設工事は本工事の他に「建築工事」「機械設備工事」その他からなる。
関連工事として予定されているので、相互に協力し、工事全体の円滑なる進捗に努めなければならない。
そのため、施工図の作成の前に総合図を作成し、監督員の承認を受ける。総合図とは、全ての部位の平面図(1/50)必要な部位の断面図・展開図(1/50)をベースに各工事毎に必要な内容を記載し、監督員が承認するものである。

他工事との取り合い
建築・機械設備・その他工事との工程ならびに施工上においての取合については施工以前に充分な打合せを行い、現場の作業工程に支障のないようにする。
別途工事区分表参照とする。

看板
本工事現場に看板を取付ける場合は、看板の大きさ・記入文字・仕上体裁・取付位置を予め図面に作成し係員の承諾を得る。

表示プレート
変電室・発電機室・蓄電池室の出入口扉に貼付する各種表示板は、本工事とする。

疑義その他
設計図および仕様書について、不明な点、又は難解な個所、あるいは同一事項について仕様内容の相違等がある場合は契約締結以前または施工前に監督員に文書にて質問をし、設計の意図を正しく把握して施工する。
また設計図ならびに仕様書に任意の部分の代表的個所のみが明示または説明がされ、その他の部分は省略されているような場合には上記の代表的部分に準じて施工する。
なお、設計図ならびに仕様書に明記なき事項といえども設計図の求める性能を発揮するに必要なものは監督員の指示に従い本工事として施工する。

軽微な変更
設計図に図示された機器の配置は大略を示したもので絶対的なものではない。
従って現場の納まり、もしくは取合いその他の関係により材料の寸法、工法ならびに機器の配置等について軽微な変更を行う場合がある。この場合には請負金額の増減は行なわない。

責任施工
責任施工とし、仕様書、設計図に示された設備機能を完全に満足させること。

現場変更に伴う負担
施工者提案により変更が生じた場合、設計図書、変更申請図、省エネ計算、省エネ適合性判定資料の修正にかかる費用並びに労務は受注者負担とする。

共通工事

土工事
標準仕様書によるほか次による。
(1) 管路を敷設する掘削床は平坦に突き固める。
(2) 埋戻し及び盛り土（○印があるもの）
⊙ 根切り土　・ 持込み土（　　　　）
(3) 残土処分
※ 構内敷きならし（　）立米以下
・ 構外搬出　片道運搬距離（　）km、DID区間（ ・ 有　・ 無 ）
・ 構内指示の場所に堆積
なお、受注者の提示する運搬距離、処分費及び整地費と異なる場合においても設計変更の対象としない。

接地工事
(1) 接地工事の接地抵抗は、原則として規定値の90%以下の値とする。
(2) 板状の接地極は 900mm×900mm、厚さ1.5mm以上の厚板とし、管状又は棒状の接地極は銅又は銅被覆鋼製接地棒もしくは炭素鋼棒とする。
(3) その他、図面に特記なき場合は、表1「接地極一覧表」による。

関連する工事との施工区分
図面に特記なき場合は「工事区分表」による。
建築、機械設備、その他工事との工程、施工、機能面での調整を行い支障無いよう施工する。

機器等の取付高さ
図面に特記なき場合は、表2「機器標準取付高さ」を標準とし、監督員との協議の上決定する。

分電盤・制御盤・配電盤等
標準仕様書によるほか次による。
(1) 扉の幅が、端子盤及び機器収納箱にあっては600mm、制御盤にあっては800mmをこえる場合は扉は原則として両開きとする。
(2) 蝶番は、寸法・重量等を考慮した丈夫なものとし十分な耐久性を保つ構造とする。
(3) 屋外用の盤類は水が浸入しない構造とし、計器窓は網入りガラスとする。
(4) 盤類の塗色は次による。
※ マンセル 2.5Y9/1　・ 塗色なし　・（　　）
(5) 屋外形の開閉器箱及びプルボックスは、次による。
※ 鋼製（溶融亜鉛メッキ仕上）　・ 樹脂製　・ ステンレス製　・ 図示による
(6) ＯＡ盤の端子盤部、インバータ盤等の高発熱盤は通気口又は冷却ファンを設ける。
通気口及び冷却ファンの選定に当たっては計算書を作成の上、監督員の承認を得ること。

空配管（呼び線）
空配管には導入線（1.2mm以上のビニル被覆鉄線）を入れる。ただし、短小な空配管は除く。

耐震施工
機器等の設備耐震クラスの分類は、次による。

クラス	⊙ 防災上重要な施設	⊙ 一般の施設
Ｓクラス	受変電設備 発電設備 非常用蓄電池設備 交換機、無線装置等 防災用情報通信設備 アンテナ、統制台等	
Ａクラス	電話設備 中央監視設備 非常放送設備 幹線設備（盤類を含む）	受変電設備 発電設備 非常蓄電池設備 電話設備 非常放送設備
Ｂクラス	Ｓ、Ａクラス以外の機器等	Ａクラス以外の機器等

・重要機器類のアンカー引抜試験を行う。（⊙有　・無 ）

非破壊検査
新築の補修及び改修工事において、はつり若しくはコア抜き作業を行う場合の非破壊検査による埋設物の事前調査　⊙ 行う　・ 行わない

架空電線
特記なき電柱の、腕金、がいし、支線その他の装柱材は、電力会社仕様による。

電力・電話の引込み
電力及び電話線引込線の引留方法、位置については電力会社及び電気通信事業者と打合わせのうえ監督員との協議により施工する。また、外線工事負担金などの調査報告を監督員に対し速やかに行う。
申請書類作成を行い、申請手続に要する費用は受注者の負担とする。

最上階の埋込配管
最上階の天井スラブには配管を敷設してはならない。

地中電線
(1) ハンドホールのふた
地中配線路の鉄蓋には次の事項を鋳込みとする。
安全荷重（「5000kg」、「2000kg」、「500kg」等）
地中配線路の用途（「電気」、「通信」等）
(2) 地中配線の埋設深さ等
地中配線で特記なき埋設深さは0.6m以上とする。
(3) 高圧地中配線、幹線ケーブル、情報・通信ケーブル等の地中配線路については原則として埋設標示シート（・ シングル　※ ダブル）を管頂と地表面(舗装のある場合は舗装下面)のほぼ中間に設ける。
(4) 次の箇所には原則として埋設標を設ける。
ア 建物及びハンドホールへの引込口及び引出口付近
イ 地中線路の曲折箇所
ウ 直線部分では30mごとに1個（30mに満たない場合はその中間に1個）
エ 道路横断箇所

受変電設備
屋内変電所の場合リフター１台を納品し、高圧盤前面の床には高圧用絶縁マット(W1000以上)を設置する。

発電機の主燃料槽
主燃料槽・燃料小出し槽及び動作油は満油渡しとする。

医用接地設備
JIS T-1022「病院電気設備の安全基準」に準拠する。

内部雷保護
アース線等に内部雷保護対策を行う。
中山間地域等で避雷設備を設けていない建物において、機器の制御にICを用いるものにおいては、電源及び

室内空気汚染対策
本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、
次を満たすものとする。
極めて少ないものとする。
(1) 接着材はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑材を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が
ものとする。
(2) 塗料は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ない

電線保護物類
(1) 合成樹脂製可とう電線管（PF管）及び付属品
タイプ25を使用するものとする。
ボックスにボンディングを施すものとする。ただし、これにより難い場合は監督員と協議する。
(2) 金属製露出管路
電力用位置ボックス類は、合成樹脂製又は鋼製とする。鋼板製とした場合は管内に接地線を付加し当該塗装を行う。ただし、溶融亜鉛めっき加工された電線管を除く。
(3) ケーブル配線の保護管は、標準仕様書金属管配線、合成樹脂管配線の項による。
屋外使用する厚鋼電線管は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。 屋内に面する機械室又は配線室を除く管路は、
(4) 弱電設備の管の敷設
ケーブルを収容する管路の1区間の屈曲箇所は3箇所以内で曲げ角度の合計は180°以内とする。ただし、通線及び管内の電線の引き替えが容易に行えるように施工する場合はこの限りではない。

製品工場検査
(1) 製品工場検査を　⊙行う　・行わない
(2) 製品工場検査を行う際は施工者にて事前に製品検査及び性能検査を行い監理者の指定する期日までに試験成績書を提出する事。
(3) 製品工場検査に監理者立会いの際は必要となる交通費及び宿泊費は施工者負担とする。

現場変更に伴う事項
(1) 施工者提案による機器変更等で生じる省エネ適合判定及び確認申請変更申請は施工者負担とする。
また施工上生じる軽微な変更も同様とする。
(2) 施工上生じる搬送機器・空調機器変更に伴う電気設備変更は施工者負担とする。
(3) 図示無くとも電気設備性能を担保する機器に関しては施工者にて見込む事。

補助金申請
(1) 図中　設備機器導入に伴う補助金申請を　⊙行う　・行わない
(2) 上記補助金申請に関しては該当機器の選定メーカーやエネルギー事業者等と協議の上遅滞なく申請する。

配線器具
(1) スイッチは原則としてネーム付きとし、器具の場所を表示する。
(2) フラッシュプレート
⊙ 新金属ネジなし　・ 新金属　・ ステンレス　⊙ 合成樹脂
⊙ 標準型　・ワイド型
(3) 発電機回路に接続されるコンセントは、原則として赤色とする。
ＵＰＳ回路に接続されるコンセントは、原則として緑色とする。
(4) コンセントには盤名称及び回路番号を表示する。

照明用ポール
照明用ポールは次による。
⊙ 配線用遮断器を設ける。仕様についてはメーカー仕様に準ずる。
・ 配線用遮断器を内蔵できるものとする。

放射線室の施工
放射線発生室の壁に埋込む全てのボックス類には、厚さ１．５ｍｍ以上の放射線遮蔽用鉛板を貼ること。

接地線の色別
一般接地線　緑
医用接地線　緑／黄の２色刷り
ＥＬＢ用接地線　緑／赤の２色刷り

現地調整及び指導
請負者は現場において調整を要する機器においては調整員を現場に派遣し調整すること。また建築主に対する取扱い指導も同様とする。これに要する費用は請負者の負担とする。

電磁シールド室の施工
シールド室に設ける器具類はシールド用の網、箔等と電気的に完全に接続する。
又、必要な電気回路にはノイズフィルターを設ける。

遮熱処理
蒸気管・その他熱を出す工作物と電気機器配管配線等が接近する部分は、遮熱処理を施すこと。

撤去・解体
改修工事範囲内の撤去及び解体においては、事前に既設状況を十分な調査　を行い、改修範囲を除く部分に盛り替えが必要な場合は盛り替え工事を行うこと。
ＰＣＢ使用機器は関係法令により適切に処理し、建物管理者に引渡す。

電波障害
電波障害調査費を工事前及び工事完了後調査を　・行う（　回）　⊙行わない

補助金
補助金出来形の資料作成を見込むこと。

その他
・
・

改修工事

撤去工事
1.電線類など有価物処理　・電線ケーブル類（　・有　⊙無 ）ナゲット処理（　・有　⊙無 ）
2.燃油・潤滑油等　・撤去前に内容物（発電設備燃油等）の回収を要する機器、配管などの処置（　　　）
※回収を要する場合の油分分析（　・有　⊙無 ）
3.石綿材　・ 石綿材の撤去（ ・ 有　⊙ 無　　）
4.撤去補修工事　・ 撤去後の補修、復旧（　　　）
5.蓄電池・酸・アルカリ液　・ 鉛蓄電池及びアルカリ蓄電池処理（ ・ 有　⊙ 無 ）※産業用蓄電池広域認定処理システム利用
6.放射性廃棄物　・ 放射性廃棄物処理（ ・ 有　⊙ 無 ）※自火報イオン化式感知器等

改修工事
1.工事エリアの既存配管
・ 工事エリア内に使用中、残置予定の電線ケーブル類（ ・ 有　・ 無 ）
・ 工事エリア内に使用中、残置予定の埋設給水管類　（ ・ 有　・ 無 ）
・ 工事エリア内に使用中、残置予定の埋設排水管類　（ ・ 有　・ 無 ）
2.既存配管配線の事前措置
・ 既存配管、電線ケーブル類の事前措置　（ ・ 有　・ 無 ）
電力ケーブル（ ・ 有　・ 無 ）　通信ケーブル（ ・ 有　・ 無 ）

表１　接地極一覧表

接地の種類	記号	接地抵抗	接地極の規格・数量
・ 共同接地	ＥＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄ	Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連－ 組
・ 共同接地	ＥＡ・Ｃ・Ｄ	１０Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連－ 組
・ Ａ種	ＥＡ	１０Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連－2組
・ Ｂ種	ＥＢ	Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連－ 組
・ Ｂ種	ＥＢ	37.5～75Ω以下	EB(D=14又はW=30)×3連
・ Ｃ種	ＥＣ	１０Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連－2組
・ Ｄ種	ＥＤ	Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連－ 組
・ Ｄ種	ＥＤ	１００Ω以下	EB(D=10又はW=30)×1
・ 雷保護用	ＥLA	Ω以下	EB(D=14又はW=40)× 連－ 組 又はEP×0.6-2
・ 高圧避雷器	ＥLH	１０Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連－2組
・ 低圧避雷器	ＥLL	１０Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連－2組
・ 交換機用	Ｅt	１０Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連－ 組
・ 通信機器用	ＥAt	１０Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連－2組
・ 通信機器用	ＥDt	１００Ω以下	EB(D=10又はW=30)×1
・ 測定用	Ｅo	１００Ω以下	EB(D=10又はW=30)×1
・ 構造体接地		Ω以下	
・ 等電位接地		Ω以下	

注）ＥＢでＤ＝１４の場合はＬ＝１５００とし、Ｗ＝４０の場合はＬ＝１２００、Ｗ＝３０の場合はＬ＝９００とする。

表２　機器標準取付高さ

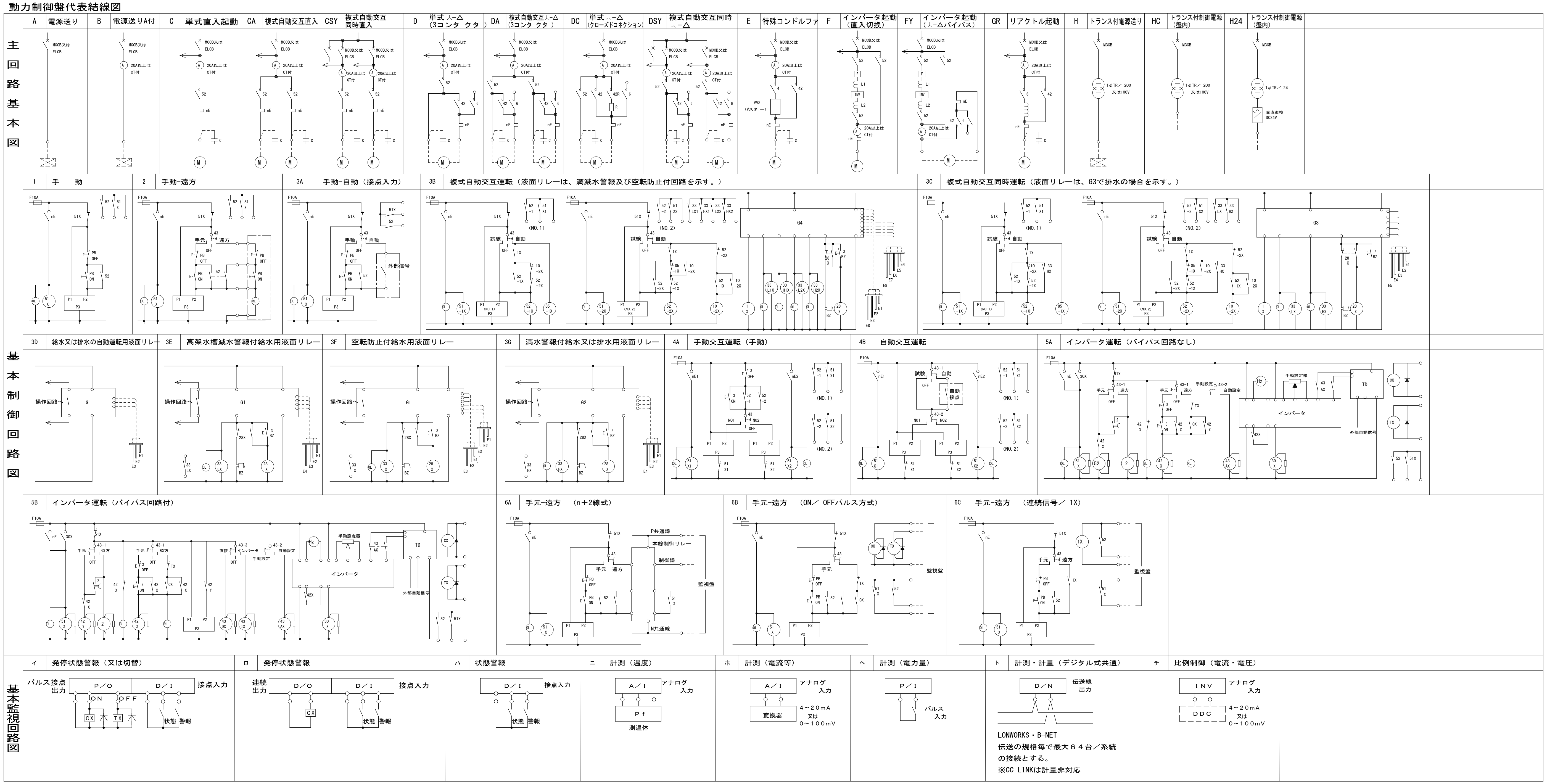
	名称	測定	取付高さ(mm)		名称	測定	取付高さ(mm)
電力共通	取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000	表示	表示盤	床上～中心	天井高×0.9
	引込開閉器	地上～中心	1,800～2,200		壁付発信器	床上～中心	1,100
					ﾍﾞﾙ・ﾌﾞｻﾞｰ・ﾁｬｲﾑ	床上～中心	2,300
					壁付押し釦（一般）	床上～中心	1,100
電灯	分電盤	床上～中心 (上端1,900以下)	1,500				
	スイッチ	床上～中心	1,100	誘導支援	壁付インターホン	床上～中心	1,450
	人感ｾﾝｻ用切替ｽｲｯﾁ	床上～中心	1,800		壁付ｱｳﾄﾚｯﾄ(一般)	床上～中心	400
	コンセント（一般）	床上～中心	400		壁付ｱｳﾄﾚｯﾄ(和室)	床上～中心	200
	コンセント（和室）	床上～中心	200		押し釦（ﾄｲﾚ呼出用）	床上～中心	900又は400
	コンセント（台上）	台上～中心	150～200		復帰釦	床上～中心	1,800
	コンセント（土間）	床上～中心	500				
	コンセント（外壁・屋外）	地上～中心	800	テレビ共同受信	機器収容箱	天井下～上端	200
	ブラケット（一般）	床上～中心	2,100～2,300		直列ユニット（一般）	床上～中心	400
	ブラケット（踊場）	床上～中心	2,000～2,500		直列ユニット（和室）	床上～中心	200
	ブラケット（鏡上）	鏡上端～中心	150				
動力	壁掛制御盤	床上～中心 (上端1,900以下)	1,500	火災報知	受信器・副受信器	床上～中心	800～1,500
	手元開閉器	床上～中心	1,500		機器収容箱・受信器	床上～中心	800～1,500
	操作スイッチ	床上～中心	1,300		ベル	床上～中心	2,300
電話	室内端子盤	床上～下端	300		表示灯	床上～中心	2,100
	集合保安器箱	天井下～上端	200		ＬＰガス用検知器	床上～上端	300
	壁付・アウトレット（一般）	床上～中心	400	備考			
	壁付・アウトレット（和室）	床上～中心	200				
	壁付・アウトレット（壁掛電話）	床上～中心	1,500				
時計・拡声	壁付形親時計	床上～中心 (上端1,900以下)	1,500				
	子時計	床上～中心	天井高×0.9				
	壁掛形スピーカ	床上～中心	天井高×0.9				
	壁付アッテネータ	床上～中心	1,100				

備考 注）
1.天井高 3,000以上の場合は、監督職員と協議する。
2.意匠に関係する部分（正面玄関・玄関ホール・ＥＶホール・上級室・会議室）の取付位置は、監督職員と十分協議する。
3.表は原則とし、施工前に監督員の承諾を受ける。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡　野　崇
加　藤　悟
近藤　剛史

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事
2022.03
電気設備工事特記仕様書
A1：－
A3：－
RE－ 001

動力制御盤代表結線図



■ 盤電源仕様・種別

電圧 ○ 210V ○ 420V ○ 242V ● 105V ○ 440V

周波数 ● 50Hz ○ 60Hz

■ 盤名称

1 - 5 P - 1 AG
- 電源種：A（商用）G（発電）D（直流）U（UPS）C（CVCF）
- 盤番号：数字
- 盤種別 P ：動力盤 LP：電灯動力盤 S ：手元開閉器盤
- 階 B1：地下一階 1：一階 P：PH階 R：R階
- 区 分：所属変電所（省略可）

■ 盤面及び盤内部主要結線部にはアクリル板にて盤名称・負荷名称を取付ける事。

■ 特記無き機器接続部は下記配管を機側より1m程度計上する事。

E 31 及びG 28 は（F 30 ）を計上とする。　E 63 及びG 70 は（F 63 ）を計上とする。
E 39 及びG 36 は（F 38 ）を計上とする。　E 75 及びG 82 は（F 76 ）を計上とする。
G 42 は（F 38 ）を計上とする。　G 82 は（F 83 ）を計上とする。
E 51 及びG 54 は（F 50 ）を計上とする。　G 92・104 は（F 101 ）を計上とする。

■ 連動とインターロック

連動　送り／受け　インターロック　送り／受け

■ 盤凡例特記事項 （ ● 印を本工事に適用する）

	項目	標準
盤形状・仕様	形状	① 埋込形 ② 壁掛形 ③ 自立形 ④ 屋外壁掛形 ⑤ 屋外自立形 ⑥ 屋外自立転倒防止架台付形
	把手・錠	● 埋込型 ● 有 ○ 指定鍵形状・番号（220番）
	函体・塗装	● 鋼板製 ○ ＳＵＳ製 ○ 屋外盤は溶融亜鉛溶射
		● 指定色 ● カチオン電着塗装下地
		○ 一般屋外塗装 ○ 沿岸部（内海）：耐塩塗装 ○ 沿岸部（外海）：重耐塩塗装か亜鉛メッキ
	扉開き	● ８００巾まで片開き ● デッドフロントタイプ
	耐熱盤仕様	○ 一種耐熱盤 ○ 二種耐熱盤
制御回路	電源表示灯	● 幹線系統毎に共用
	監視・制御電源	○ 1φ200V ○ DC24V（系統毎に小勢力変圧器を設ける） ○ 幹線系統毎共用
	電極	○ 汚水・雑排水槽はフロート（FS） ○ 左記以外は電極（LF）

	項目	標準
主回路	主開閉器	● 主幹ブレーカーを取付る。（図示）○ 主幹ブレーカーを取付ない。
	漏電保護	○ ポンプ・換気・空調器・屋外機器 ○ 400V機器 ○ ELCB特性は30mA 0.1秒
	保護装置	○ THRYは2要素（2E）ポンプ類は3要素（3E）
	進相コンデンサ	○ コンデンサは取付けない。
	インバーター	○ ACL内蔵 ○ DCL内蔵 ○ ラインフィルター ○ ラジオノイズフィルター
	人－△ 起動	○ ポンプ15kW以上（200V） ○ ポンプ45kW以上（400V） ○ ファン11kW以上（200V） ○ ファン37kW以上（400V）
	電力量計・計器	○ 検定付 ○ アナログ型 ○ デジタル型 ○ パルス発信付 ○ B-NET ※計器は出力無
	ＳＰＤ	○ 取付ける ○ 取付けない○ SPD-Ⅰ ○ SPD-Ⅱ

盤回路特記
- 配線接続用端子台及び絶縁抵抗測定用接地端子を設けること。
- 付加機能記号 【△】警報 【□】計測 【■】計量 【○】状態表示 【●】操作
- 盤面故障警報・監視点数表記は"n"表記数字を計上数とする。
- 空調室外機用漏電遮断器の感度電流値は機器決定後、再度メーカ仕様書により確認のこと。
- 遠方用押釦スイッチは作動表示ランプ付を設定する。

機器凡例
- Wh デジタル電力量計（電力量計機能は特記参照）CT付変流比は図示
- ＴＳ 特記無き盤内タイマーはデジタル式年間スケジュールタイマー内蔵式とする。
- ＳＰＤクラスⅠ 内部雷保護システム（10／350μS Imax 40KA）
- ＳＰＤクラスⅡ 内部雷保護システム（8／20μS Imax 20KA） 特記無き分岐回路雷保護はクラスⅡ
- 盤保護用主幹取付のＳＰＤはクラスⅠは225AF遮断機保護・クラスⅡは50AF遮断機保護とする。

■ 三相誘導電動機の分岐回路構成表

定格出力 (kW)	200V 定格電流 (A)	200V 始動方式	200V 負荷容量 (kVA)	200V 配線用遮断器 (AF／AT)	200V 配線サイズ (sq)	400V 定格電流 (A)	400V 始動方式	400V 負荷容量 (kVA)	400V 配線用遮断器 (AF／AT)	400V 配線サイズ (sq)
0.2	1.8	直入	0.6	50／15	3.5	0.9	直入	0.6	50／15	3.5
0.4	3.2	直入	1.1	50／15	3.5	1.6	直入	1.1	50／15	3.5
0.75	4.6	直入	1.6	50／15	3.5	2.3	直入	1.6	50／15	3.5
1.5	8.0	直入	2.8	50／30	3.5	4.0	直入	2.8	50／15	3.5
2.2	11.1	直入	3.9	50／30	3.5	5.5	直入	3.9	50／20	3.5
3.7	16.8	直入	5.8	100／60	3.5	8.4	直入	5.8	50／30	3.5
5.5	24.6	直入	8.5	100／75	5.5	12.3	直入	8.5	50／40	3.5
7.5	34.0	直入	11.8	225／125	14	17.0	直入	11.8	100／60	3.5
11	48.0	Y－△	16.7	225／125	14	24.0	直入	16.7	100／75	5.5
15	64	Y－△	22.2	225／150	22	32.0	直入	22.2	100／100	8
18.5	79	Y－△	27.4	225／175	38	39.5	直入	27.4	225／125	14
22	92	Y－△	31.9	225／200	38	46.0	直入	31.9	225／125	14
30	124	Y－△	43.0	400／300	60	62.0	直入	43.0	225／125	22
30						62.0	Y－△	43.0	225／150	22
37	152	Y－△	52.7	400／350	100	76.0	Y－△	52.7	225／175	38
45	190	Y－△	65.9	600／500	100	95.0	Y－△	65.9	225／225	38
55	228	Y－△	79.0	600／500	150	114.0	Y－△	79.0	400／250	60
75	──	──		──	──	155.0	Y－△	107.4	400／350	100
90	──	──		──	──	180.0	Y－△	124.7	400／400	100
110	──	──		──	──	220.0	Y－△	152.4	600／500	150

● 注 記
1. 配線サイズは盤周辺に電動機が設置される場合に適用する。
2. 電動機以外の機器は各仕様書による。
3. この表は直入・Y－△始動型に適用する。

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

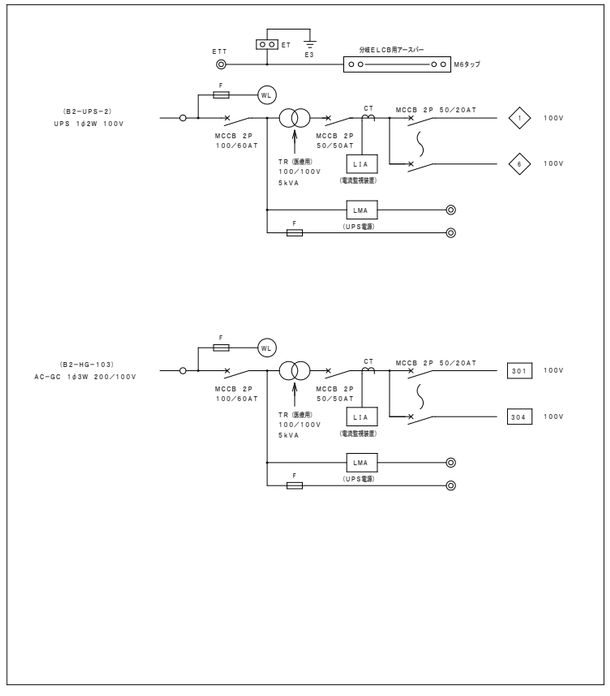
一級建築士登録 第344749号 設備設計一級建築士 第4211号 岡 野 崇　加 藤 悟　近藤 剛史

公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事 | 2022.03 | A1：NS | A3：NS | RE － 002

動力制御盤 代表結線図

盤名称・形状 幹線番号・電圧 盤結線	負荷			配線			分岐回路・制御回路								中央監視							盤面				備考
	負荷記号	負荷名称	容量 VA	回路	配線サイズ	配管	分岐開閉器詳細					主回路	制御回路	連動又はインターロック	監視回路	操作	設定	状態	警報	故障	計量	計測	状態	故障	警報音	移報	
							MCB	ELB	極数	AF	AT																
ＩＳＯ－１ ③																										
1Φ2W　ＵＰＳ 100V PL　MCCB2P F　100 AF／ 60 AT		ＩＳＯ標準結線参照										H														
		トランス二次側主幹							2	50	50	A														
	◇1	コンセント	200						2	50	20	A														
	◇2	予備							2	50	20	A														
	◇3	予備							2	50	20	A														
	◇4	予備							2	50	20	A														
	◇5	予備							2	50	20	A														
	◇6	予備							2	50	20	A														
合計 200 VA																										
1Φ2W　ＡＣ－ＧＣ 100V PL　MCCB2P F　100 AF／ 60 AT		ＩＳＯ標準結線参照										H														
		トランス二次側主幹							2	50	50	A														
	301	コンセント	200						2	50	20	A														
	302	コンセント	200						2	50	20	A														
	303	コンセント	200						2	50	20	A														
	304	コンセント	200						2	50	20	A														
合計 800 VA																										
ＩＳＯ－１ ③																										
1Φ2W　ＵＰＳ 100V PL　MCCB2P F　100 AF／ 60 AT		ＩＳＯ標準結線参照										H														
		トランス二次側主幹							2	50	50	A														
	◇1	コンセント	200						2	50	20	A														
	◇2	予備							2	50	20	A														
	◇3	予備							2	50	20	A														
	◇4	予備							2	50	20	A														
	◇5	予備							2	50	20	A														
	◇6	予備							2	50	20	A														
合計 200 VA																										
1Φ2W　ＡＣ－ＧＣ 100V PL　MCCB2P F　100 AF／ 60 AT		ＩＳＯ標準結線参照										H														
		トランス二次側主幹							2	50	50	A														
	301	コンセント	200						2	50	20	A														
	302	コンセント	200						2	50	20	A														
	303	コンセント	200						2	50	20	A														
	304	コンセント	200						2	50	20	A														
合計 800 VA																										

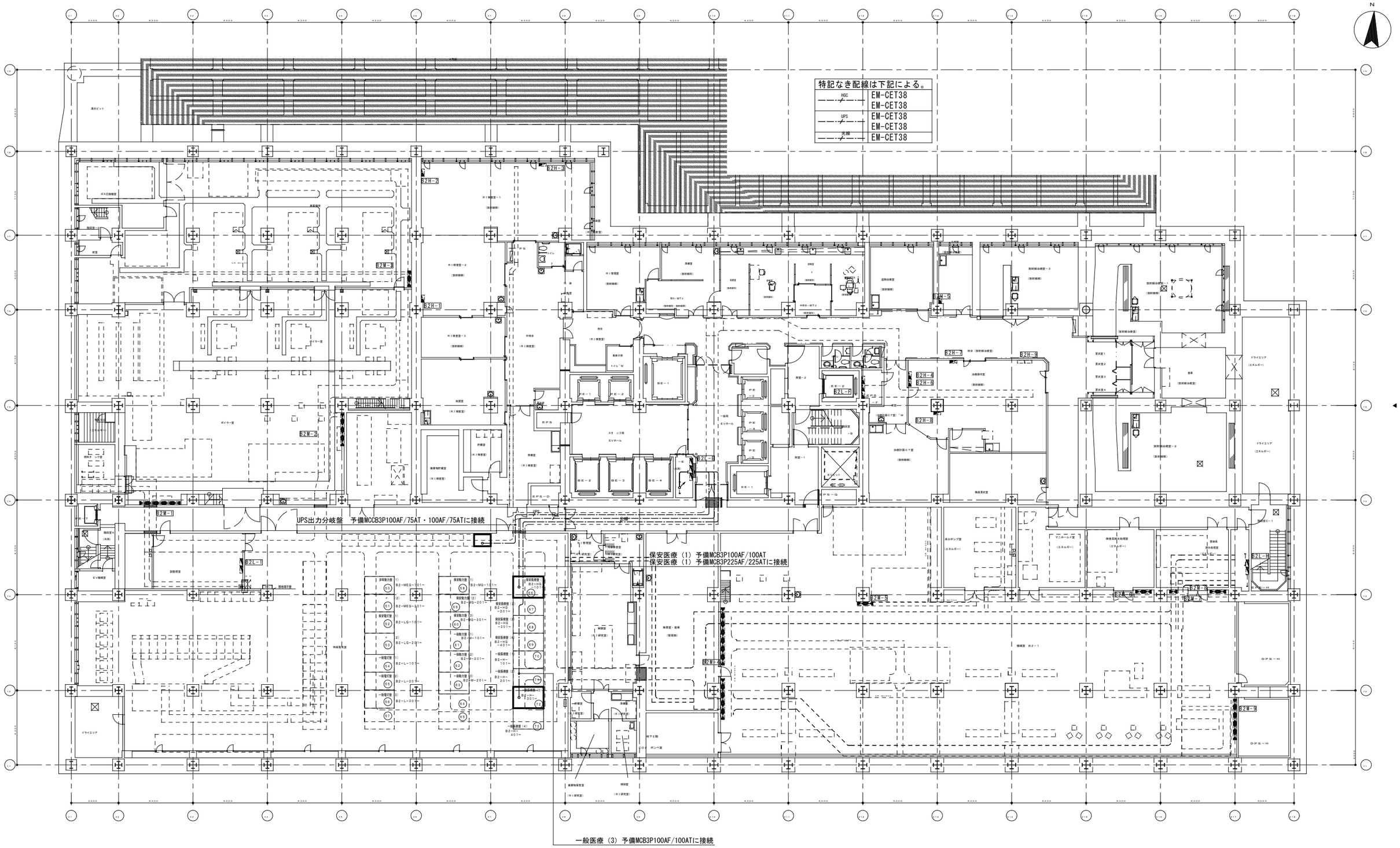
ＩＳＯ盤　標準結線図



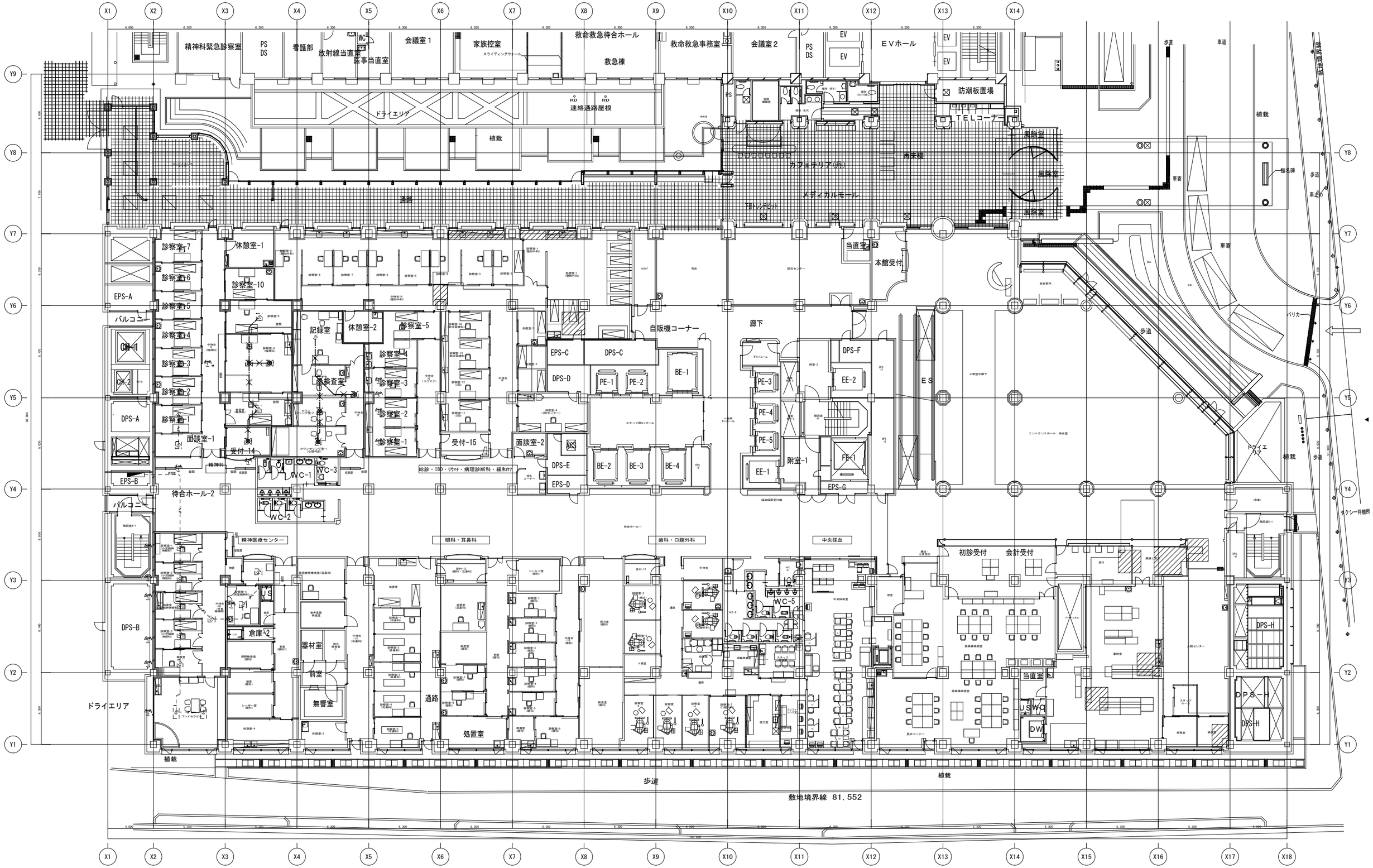
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　　加藤　悟　　近藤　剛史

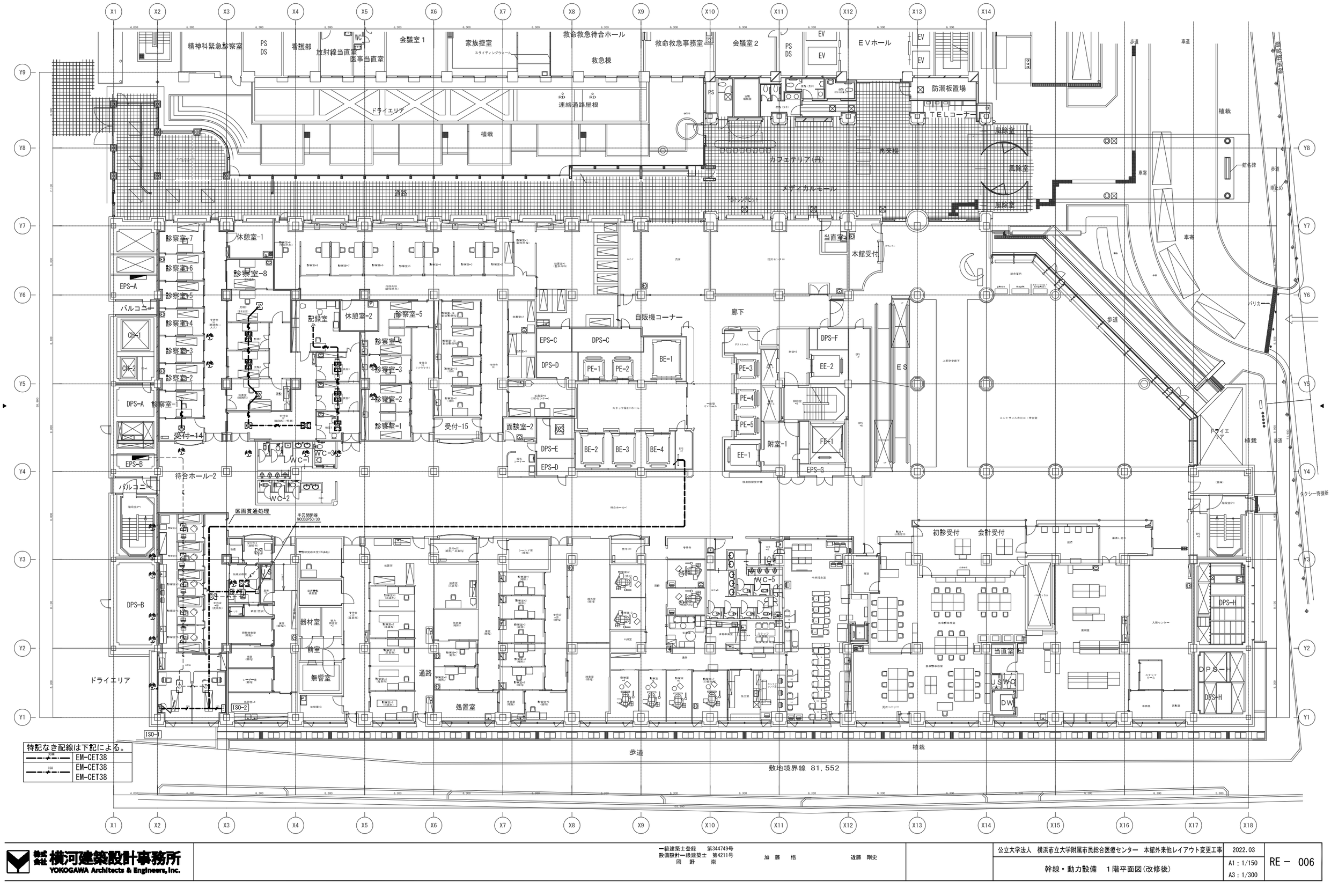
公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RE－003	
ＩＳＯ盤　結線図	A1：NS A3：NS		



株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡野　崇	加藤　悟	近藤　剛史	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事 幹線・動力設備　Ｂ２階平面図(改修図)	2022.03 A1：1/150 A3：1/300	RE－　004



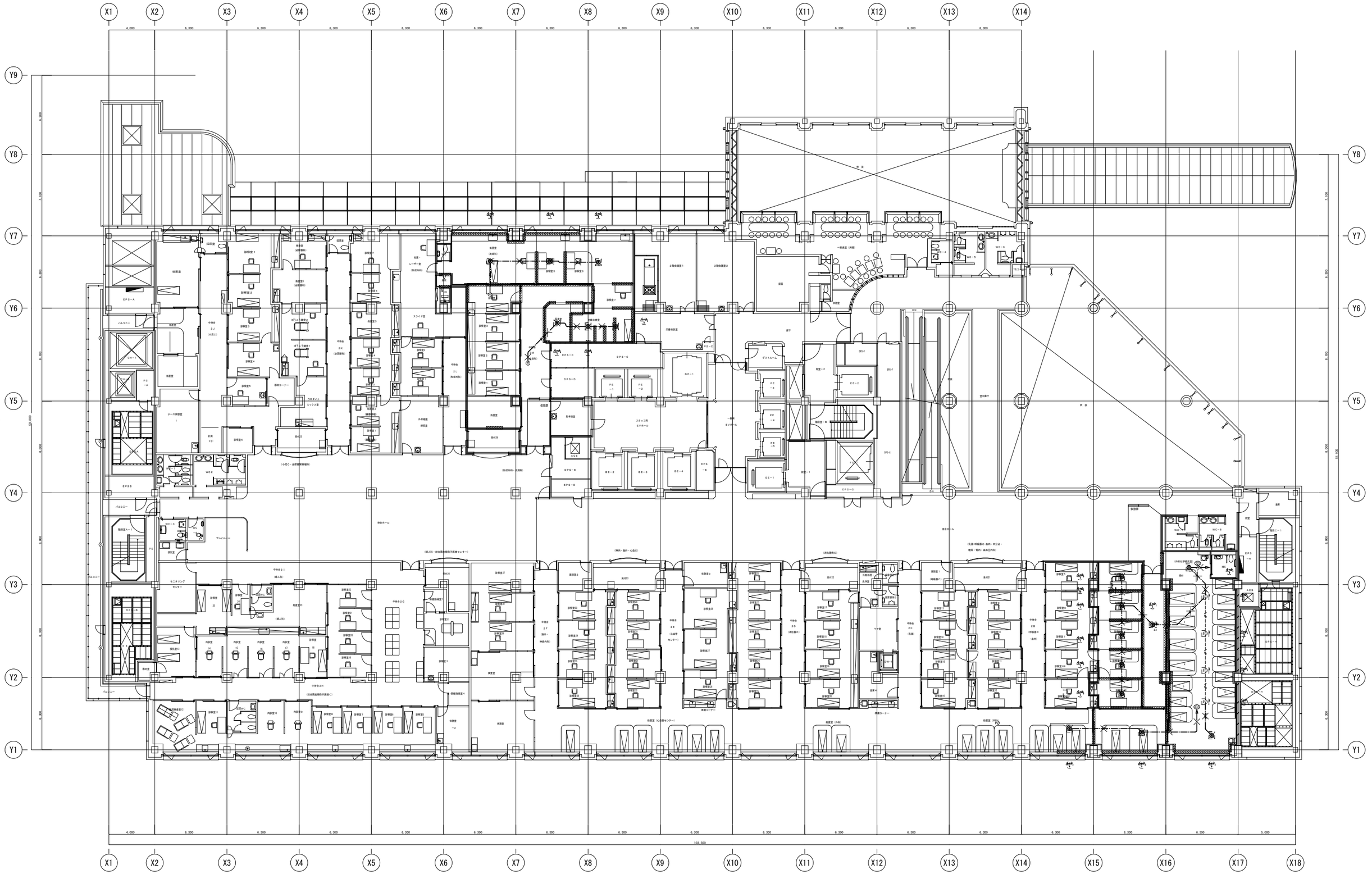
株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第344749号 設備設計一級建築士 第4211号 岡野 崇	加藤 悟	近藤 剛史	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事	2022.03
				幹線・動力設備 1階平面図(改修前)	A1：1/150 A3：1/300
					RE－ 005



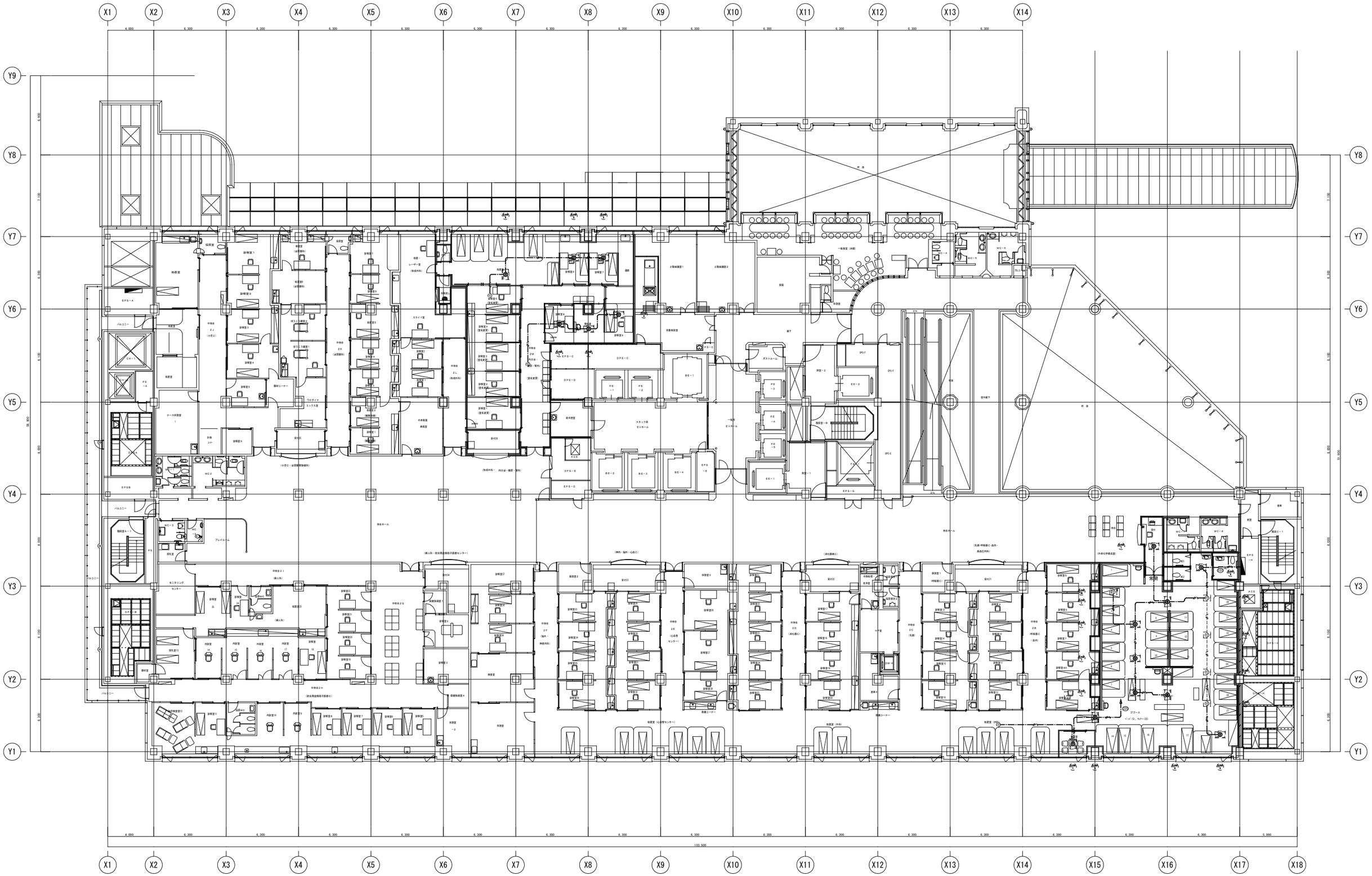
特記なき配線は下記による。

定電	EM-CET38
ISO	EM-CET38
	EM-CET38

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.		一級建築士登録 第344749号 設備設計一級建築士 第4211号 岡野 崇	加藤 悟	近藤 剛史	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RE－ 006
					幹線・動力設備 1階平面図(改修後)	A1：1/150 A3：1/300	



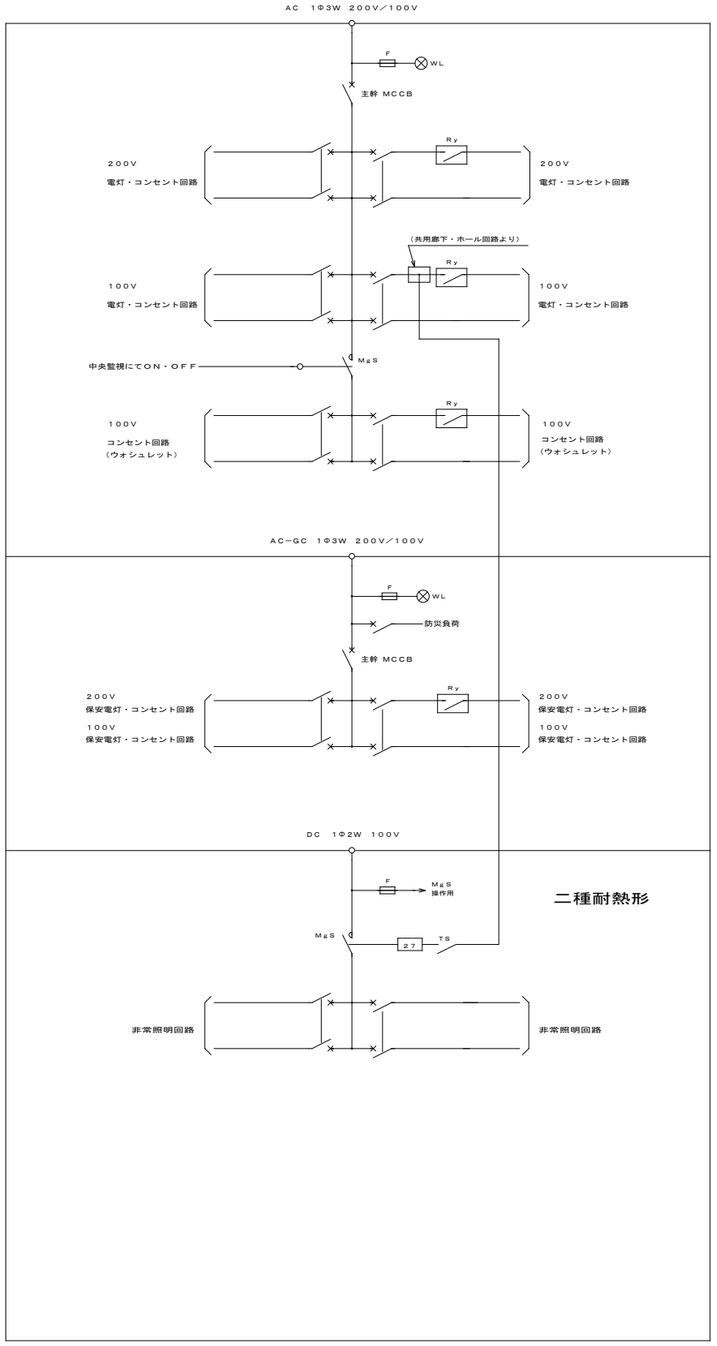
株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡　野　　崇	加　藤　　悟	近藤　剛史	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事 幹線・動力設備　２階平面図（改修前）	2022. 03 A1：1/150 A3：1/300	RE－　007



株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.		一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡　野　　崇	加　藤　　悟	近藤　剛史	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事 幹線・動力設備　２階平面図(改修後)	2022.03 A1：1/150 A3：1/300	RE－　008

分電盤リスト

標準結線図



分電盤リスト

特記仕様

1． 回路番号は下記とする。

(101)	AC	100V	電灯回路
(201)	AC	200V	〃
(301)	AC	100V	コンセント回路
(401)	AC	200V	〃
[101]	GC1	100V	電灯回路
[201]	GC1	200V	〃
[301]	GC1	100V	コンセント回路
[401]	GC1	200V	〃
[501]	GC2	100V	電灯回路
[601]	GC2	200V	〃
[701]	GC2	100V	コンセント回路
[801]	GC2	200V	〃
[1]	GC2	200V	長時間型誘導灯回路
[1]	GC2	100V	誘導灯回路
[C01]	GCC	100V	コンセント回路
◇1	UPS	100V	コンセント回路
△1	DC	100V	非常照明回路

2． 回路番号の傍記記号は下記とする。

(N0.)R 分岐開閉器２次側に、リモコンリレー１Ｐ－２０Ａを組み込み発停方法は 下記とする。
Ｒ１，Ｒ２，Ｒ３ ── 中央監視盤及び附室設置 リモコンスイッチにてＯＮ・ＯＦＦ
Ｒイ，ＲＤ，ＲＨ ── 各室設置の リモコンスイッチにてＯＮ・ＯＦＦ

(N0.)M 分岐開閉器２次側に、Ｍ＆Ｓ２Ｐ－２０Ａを組み込み中央監視盤にて ＯＮ・ＯＦＦとする。
備考欄のＭＸｎはマグネットスイッチ組み込み 個数とする。

3． 非常照明点灯用の [27] は、共用廊下又は ホール灯用分岐開閉器２次側に接続のこと。

4． 分電盤表、備考欄の Ｋは ＭＣＣＢ、ＥＬＣＢトリップ警報接点を示し、盤毎に一括し中央監視へ表示警報を行う。

5． ＭＣＣＢ、ＥＬＣＢは、回路に適合する遮断容量を有するものとする。

6． 医用室の電源回路に用いるＥＬＣＢは、ＪＩＳ－Ｃ８３７１に規定する高速度、高感度形とする。

7． 切替電磁開閉器は瞬時励磁式を原則とする。

8． 電源表示灯には、電源種別、幹線番号を記すること。

9． 各負荷の接続に当たっては、系統的に平衡するように行うこと。（変圧器、幹線、分電盤）

10． 壁掛箱体、扉 ｔ１．６mm以上
自立箱体 ｔ１．６mm以上 扉 ｔ２．３mm以上
上記の板厚寸法を明記すること。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野 崇

加藤 悟

近藤 剛史

公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

電灯分電盤 標準結線図

2022.03

A1：－
A3：－

RE－ 009

分電盤リスト

盤名称	結線	分岐開閉器 MCCB	ELCB	P	AF	AT	電圧 105V	210V	回路番号	負荷名称	容量（VA）	備考
1L－A（二種計装形）	AC 1φ3W 200/100V MCCB3P 400AF/ 400AT（KH）	○		2	50	20	○		101	診察室他電灯	1500	27 へ
									102	中待合－1Ⅱ電灯	1500	
									103	中待合－1Ⅰ電灯	1500	
									104	中待合－1H電灯	1500	
									105	受付－15電灯	1500	
									106	中待合1G電灯	1500	
									107	中待合1F電灯	1500	
									108	診察廊電灯	1500	
									109	トイレ電灯	1500	
									110	面談室他電灯	1500	
									111	診察室他電灯	1500	
									112	中待合1E電灯	1500	
									113	予　備		
									114	予　備		
									115	予　備		
												スペース
		○		2	50	20		○	201	診察廊電灯	1500	
									202	休憩室－4他電灯	1500	
									203	診察廊電灯	1500	
									204	ギプス・装具室他電灯	1500	
									205	診察室他電灯	1500	
									206	診察室他電灯	1500	
									207	診察室他電灯	1500	
									208	記録室他電灯	1500	
									209	予　備		
									210	予　備		
									211	予　備		
												スペース
			○	2	50	20	○		301	トイレ－6コンセント	1500	
									302	トイレ－7コンセント	1500	
									303	車椅子トイレ－2コンセント	1500	
									304	休憩室－4ミニキッチンコンセント	1500	
				2	50	30			305	休憩室－5ミニキッチンコンセント	1500	
				2	50	20			306	診察室－6・7コンセント	1500	
		○							307	診察室－4・5コンセント	1500	
									308	診察室－2・3コンセント	1500	
									309	診察室－1他コンセント	1500	
									310	中待合1Eコンセント	1500	
									311	休憩室－4冷蔵専用コンセント	1500	
									312	診察室－9・10コンセント	1500	
									313	診察室－8他コンセント	1500	
									314	処置室コンセント	1500	
									315	受付－14コンセント	1500	
									316	診察室－5コンセント	1500	
									317	診察室－4コンセント	1500	
									318	診察室－3コンセント	1500	
									319	診察室－2コンセント	1500	
									320	診察室－1コンセント	1500	
									321	傷灯電コンセント	1500	
									322	ギプス・装具室コンセント	1500	
									323	ギプス・装具室コンセント	1500	
									324	中待合1Iコンセント	1500	
									325	記録室冷蔵専用コンセント	1500	
									326	休憩室－5冷蔵専用コンセント	1500	
									327	休憩室－5コンセント	1500	
									328	記録室コンセント	1500	
									329	検査室コンセント	1500	
									330	カウンセリング室－1・2コンセント	1500	
									331	検査室コンセント	1500	
									332	診察室－1・2・3コンセント	1500	
									333	診察室－2・3コンセント	1500	
									334	診察室－1・2コンセント	1500	
									335	診察室コンセント	1500	
									336	診察室－3・4コンセント	1500	
※												

盤名称	結線	分岐開閉器 MCCB	ELCB	P	AF	AT	電圧 105V	210V	回路番号	負荷名称	容量（VA）	備考
1L－A（二種計装形）	※											
		○		2	50	20	○		337	診察室－1・2コンセント	1500	
									338	受付－15コンセント	1500	
									339	検査室コンセント	1500	
									340	検査室コンセント	1500	
									341	診察室－5コンセント	1500	
									342	処置室コンセント	1500	
									343	処置室コンセント	1500	
									344	処置室コンセント	1500	
									345	予　備		
									346	予　備		
									347	予　備		
									348	予　備		
									349	予　備		
									350	FCUコンセント	1500	
									351	FCUコンセント	1500	
									352	FCUコンセント	1500	
									353	FCUコンセント	1500	
									354	予　備		
									355	予　備		
									356	予　備		
									357	予　備		
									358	予　備		
									359	予　備		
									360	予　備		
									361	予　備		
									362	予　備		
									363	予　備		
									364	予　備		
									365	予　備		
									366	予　備		
									367	予　備		
									368	予　備		
												スペース
	GC 1φ3W 200/100V MCCB3P 50AF/ 50AT（K付） T/UX1	○		2	50	20	○		1	誘導灯	1500	ロック力バー付
		○		2	50	20	○		501	受付他電灯	1500	R4
									502	予　備		
									503	予　備		
												スペース
		○		2	50	20		○	601	診察室他電灯	1500	R5
									602	診察室他電灯	1500	
									603	診察室他電灯	1500	
									604	処置室他電灯	1500	
									605	予　備		
									606	診察室他電灯	1500	
									607	予　備		
												スペース

分電盤リスト

盤名称	結線	分岐開閉器 MCCB	ELCB	P	AF	AT	電圧 105V	210V	回路番号	負荷名称	容量（VA）	備考
1L－A（二種計装形）	GC 1φ3W 200/100V MCCB3P 225AF/200AT（KH） T/UX1	○		2	50	20	○		301	EPS－Aコンセント	1500	
									302	診察室－6・7コンセント	1500	
									303	診察室－6・7コンセント	1500	
									304	診察室－4・5コンセント	1500	
									305	診察室－4・5コンセント	1500	
									306	診察室－2・3コンセント	1500	
									307	診察室－2・3コンセント	1500	
									308	診察室－1他コンセント	1500	
									309	診察室－1コンセント	1500	
									310	休憩室－4コンセント	1500	
									311	診察室－9・10コンセント	1500	
									312	診察室－9・10コンセント	1500	
									313	診察室－8他コンセント	1500	
									314	診察室－8他コンセント	1500	
									315	処置室コンセント	1500	
									316	受付－14コンセント	1500	
									317	診察室－5コンセント	1500	
									318	診察室－5コンセント	1500	
									319	診察室－4コンセント	1500	
									320	診察室－4コンセント	1500	
									321	診察室－3コンセント	1500	
									322	診察室－3コンセント	1500	
									323	診察室－2コンセント	1500	
									324	診察室－2コンセント	1500	
									325	ギプス・装具室コンセント	1500	
									326	記録室他コンセント	1500	
									327	カウンセリング室－1・2コンセント	1500	
									328	処置室コンセント	1500	
									329	処置室コンセント	1500	
									330	診察室－1・2・3コンセント	1500	
									331	診察室－1・2・3コンセント	1500	
									332	診察室－3・4コンセント	1500	
									333	診察室－3・4コンセント	1500	
									334	診察室－1・2コンセント	1500	
									335	診察室－1・2コンセント	1500	
									336	受付－15コンセント	1500	
									337	診察室－5他コンセント	1500	
									338	診察室－5コンセント	1500	
									339	処置室－5他コンセント	1500	
									340	予　備		
									341	予　備		
									342	予　備		
									343	予　備		
									344	予　備		
									345	予　備		
									346	予　備		
									347	予　備		
									348	リモコントランス	1500	
										スペース		スペース
										スペース		
										スペース		
	（二種計装） AC－DC－GC 1φ2W 100V McS（耐熱型） 27	○		2	50	20	○		△1	スペース	1500	
									△2	スペース	1500	
									△3	スペース	1500	
									△4	スペース	1500	

分電盤リスト

盤名称	結線	MCCB	ELCB	P	AF	AT	105V	210V	回路番号	負荷名称	容量（VA）	備考
1L−B（二種耐熱形）	AC 1Φ3W 200/100V MCCB3P 400AF/400AT（K付） T/UX2	○		2	50	20	○		101	1階待合ホール電灯	1500	R1　27 へ
									102	予　備		R2
									103	1階待合ホール電灯	1500	R3
									104	1階待合ホールポール灯	1500	R4
									105	受付−13他電灯	1500	R5
									106	プレイセラピー室ポール灯	1500	
									107	中待合1D電灯	1500	
									108	中待合1C電灯	1500	
									109	音声言語検査室他電灯	1500	
									110	1階待合ホール電灯	1500	
									111	予　備		
									112	予　備		
									113	予　備		
									114	予　備		
												スペース
		○		2	50	20		○	201	診察室他電灯	1500	
									202	前庭機能検査室他電灯	1500	
									203	診察室他電灯	1500	
									204	診察室他電灯	1500	
									205	診察室他電灯	1500	
									206	予　備		
									207	予　備		
									208	予　備		
									209	予　備		
									210	予　備		
												スペース
			○	2	50	20	○		301	1階待合ホールコンセント	1500	
									302	1階待合ホールコンセント	1500	
									303	授乳コーナー他コンセント	1500	
									304	診察−1・2コンセント	1500	
				2	50	30			305	診察−3他コンセント	1500	
				2	50	20			306	観察室コンセント	1500	
		○							307	中待合1D・1Cコンセント	1500	
									308	プレイセラピー室コンセント	1500	
									309	プレイセラピー室コンセント	1500	
									310	受付−13コンセント	1500	
									311	予　備		
									312	更衣室−1・2コンセント	1500	
									313	デイケア室コンセント	1500	
									314	デイケア室コンセント	1500	
									315	デイケア室コンセント	1500	
									316	デイケア室冷蔵庫コンセント	1500	
									317	デイケア室コンセント	1500	
									318	デイケア室コンセント	1500	
									319	デイケア室コンセント	1500	
									320	デイケア室コンセント	1500	
									321	前庭機能検査室コンセント	1500	
									322	予　備		
									323	予　備		
									324	聴力検査室−1・2コンセント	1500	
									325	無響室コンセント	1500	
									326	休憩室−3ミニキッチンコンセント	1500	
									327	休憩室−3冷蔵庫コンセント	1500	
									328	休憩室−3コンセント	1500	
									329	ネプライザー室コンセント	1500	
									330	受付−12コンセント	1500	
									331	ネプライザー室コンセント	1500	
									332	処置室他コンセント	1500	
									333	診察室−2・3コンセント	1500	
									334	診察室他コンセント	1500	
									335	診察室−4・5コンセント	1500	
									336	診察室他コンセント	1500	
	※											

盤名称	結線	MCCB	ELCB	P	AF	AT	105V	210V	回路番号	負荷名称	容量（VA）	備考
1L−B（二種耐熱形）	※											
		○		2	50	20	○		337	診察室コンセント	1500	
									338	診察室他コンセント	1500	
									339	診察室他コンセント	1500	
									340	診察室他コンセント	1500	
									341	予　備		
									342	小児精神神経課診察−2	1500	
									343	予　備		
									344	予　備		
									345	予　備		
									346	予　備		
									347	予　備		
									348	予　備		
									349	予　備		
									350	予　備		
									351	予　備		
									352	予　備		
									353	予　備		
									354	予　備		
									355	予　備		
									356	予　備		
									357	予　備		
									358	リモコントランス	1500	
												スペース
	GC 1Φ3W 200/100V MCCB3P 50AF/ 50AT（K付） T/UX1	○		2	50	20	○		1	誘導灯	1500	ロックカバー付
		○		2	50	20	○		501	1階待合ホール電灯	1500	R6
									502	1階待合ホール電灯	1500	R7
									503	受付電灯	1500	
									504	予　備		
									505	予　備		
												スペース
		○		2	50	20		○	601	EPS−B電灯	1500	
									602	診察他電灯	1500	
									603	前庭機能検査室電灯	1500	
									604	診察室他電灯	1500	
									605	予　備		
												スペース

分電盤リスト

盤名称	結線	MCCB	ELCB	P	AF	AT	105V	210V	回路番号	負荷名称	容量（VA）	備考
	GC 1Φ3W 200/100V MCCB3P 225AF/150AT（K付） T/UX1	○		2	50	20	○		301	EPS−Bコンセント	1500	
									302	1階待合ホールコンセント	1500	
									303	1階待合ホールコンセント	1500	
									304	1階待合ホールコンセント	1500	
									305	1階待合ホールコンセント	1500	
									306	診察−1・2コンセント	1500	
									307	診察−1・2コンセント	1500	
									308	診察−3他コンセント	1500	
									309	診察−3他コンセント	1500	
									310	観察室コンセント	1500	
									311	観察室コンセント	1500	
									312	受付−13コンセント	1500	
									313	診察−4コンセント	1500	
									314	診察−4コンセント	1500	
									315	前庭機能検査室コンセント	1500	
									316	音声言語検査室コンセント	1500	
									317	前室コンセント	1500	
									318	受付−12コンセント	1500	
									319	ネプライザーコンセント	1500	
									320	ネプライザーコンセント	1500	
									321	処置室コンセント	1500	
									322	処置室コンセント	1500	
									323	診察室−2・3コンセント	1500	
									324	診察室−2・3コンセント	1500	
									325	診察室−4・5コンセント	1500	
									326	診察室−4・5コンセント	1500	
									327	予　備		
									328	予　備		
									329	予　備		
									330	予　備		
									331	予　備		
									332	予　備		
									333	予　備		
									334	予　備		
									335	予　備		
									336	予　備		
									337	予　備		
									338	予　備		
									339	予　備		
									340	リモコントランス	1500	RTリモコントランス
												スペース
	（二種耐熱） AC−DC−GC 1Φ2W 100V MgS（耐熱型） 27	○		2	50	20	○		△1	非常照明	1500	
									△2	非常照明	1500	
									△3	予　備		
									△4	予　備		

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡　野　崇

加　藤　悟

近藤　剛史

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

既設電灯分電盤　結線図(2)

2022.03
A1：NS
A3：NS

RE − 011

分電盤リスト

盤名称	結線	分岐開閉器 MCCB	ELCB	P	AF	AT	電圧 105V	210V	回路番号	負荷名称	容量（VA）	備考
2L−A （二種耐熱形）	AC 1Φ3W 200/100V MCCB3P 400AF/400AT （K付）	○		2	50	20	○		101	計測コーナー他電灯	1500	27 へ
									102	中待合−1K電灯	1500	
									103	中待合−2L電灯	1500	
									104	中待合−2M電灯	1500	
									105	トイレ−13他電灯	1500	
									106	処置室−8他棚下灯	1500	
									107	処置レーザー室他電灯	1500	
									108	受付−25他電灯	1500	
									109	トイレ−12他電灯	1500	
									110	予　備		
									111	予　備		
												スペース
		○		2	50	20		○	201	処置室他電灯	1500	
									202	膀胱鏡室他電灯	1500	
									203	処置室−2他電灯	1500	
									204	処置レーザー室電灯	1500	
									205	診察室−4電灯	1500	
									206	処置室−2他電灯	1500	
									207	予　備		
												スペース
			○	2	50	20	○		301	トイレ−13他コンセント	1500	
									302	休憩室−5ミニキッチン電源	1500	
									303	休憩室−5冷蔵庫用コンセント	1500	
									304	トイレ−12コンセント	1500	
									305	トイレ−11コンセント	1500	
									306	トイレ−15コンセント	1500	
									307	隔離中待合コンセント	1500	
									308	処置レーザー室30Aコンセント	1500	
		○							309	中待合−2J他コンセント	1500	
									310	中待合−2Lコンセント	1500	
									311	処置室他コンセント	1500	
									312	診察室−1他コンセント	1500	
									313	診察室−2他コンセント	1500	
									314	診察室−3他コンセント	1500	
									315	診察室−4他コンセント	1500	
									316	診察室−5他コンセント	1500	
									317	検査室他コンセント	1500	
									318	検査室他コンセント	1500	
									319	膀胱鏡室−2他コンセント	1500	
									320	膀胱鏡室−1他コンセント	1500	
									321	ウロダイナミック室コンセント	1500	
									322	受付−25他コンセント	1500	
									323	診察室−7他コンセント	1500	
									324	診察室−6他コンセント	1500	
									325	診察室−4他コンセント	1500	
									326	処置室−5他コンセント	1500	
									327	処置室−2他コンセント	1500	
									328	コーディネーター室コンセント	1500	
									329	予　備		
									330	処置レーザー室コンセント	1500	
									331	処置レーザー室コンセント	1500	
									332	診察室−2コンセント	1500	
									333	診察室−1コンセント	1500	
									334	休憩室−5他コンセント	1500	
									335	処置室−2コンセント	1500	
									336	処置室−2他コンセント	1500	
									337	診察室−5他コンセント	1500	
									338	診察室−6コンセント	1500	
									339	光線治療室コンセント	1500	
									340	診察室−5他コンセント	1500	
									341	診察室−4他コンセント	1500	
									342	診察室−3他コンセント	1500	
									343	診察室−2他コンセント	1500	
									344	受付−26コンセント	1500	
	※											

盤名称	結線	分岐開閉器 MCCB	ELCB	P	AF	AT	電圧 105V	210V	回路番号	負荷名称	容量（VA）	備考
2L−A （二種耐熱形）	※											
		○		2	50	20	○		345	受付−26コンセント	1500	
									346	FCUコンセント	1500	
									347	FCUコンセント	1500	
									348	FCUコンセント	1500	
									349	ISSコンセント	1500	
									350	予　備		
									351	予　備		
									352	予　備		
									353	予　備		
									354	予　備		
									355	予　備		
									356	予　備		
												スペース
		○		2	50	20		○	401	処置・レーザー室200Vコンセント	1500	
									402	処置・レーザー室200Vコンセント	1500	
												スペース
	GC 1Φ3W 200/100V MCCB3P 50AF/ 50AT （K付）	○		2	50	20	○		1	誘導灯	1500	ロックカバー付
		○		2	50	20	○		501	受付−25他電灯	1500	
									502	トイレ−12他電灯	1500	
									503	シールド室電灯	1500	
									504	予　備		
		○		2	50	20		○	601	処置室他電灯	1500	
									602	膀胱鏡室−2他電灯	1500	
									603	処置室−2他電灯	1500	
									604	処置・レーザー室電灯	1500	
									605	処置室−4他電灯	1500	
									606	処置室−2他電灯	1500	
									607	小児科検査室コンセント	1500	
									608	予　備		
	UPS AC 1Φ3W 200/100V MCCB3P 50AF/ 30AT （K付）	○		2	50	20	○		◇1	シールド室コンセント	1500	
									◇2	予　備		
									◇3	予　備		
									◇4	予　備		
	（二種耐熱） AC−DC−GC 1Φ2W 100V MgS（耐熱型） 27	○		2	50	20	○		△1	非常照明	1500	
									△2	非常照明	1500	
									△3	非常照明	1500	
									△4	予　備		

分電盤リスト

盤名称	結線	分岐開閉器 MCCB	ELCB	P	AF	AT	電圧 105V	210V	回路番号	負荷名称	容量（VA）	備考
	GC 1Φ3W 200/100V MCCB3P 225AF/225AT （K付）	○		2	50	20		○	401	予　備		
									402	予　備		
												スペース
			○	2	50	20	○		301	処置室コンセント	1500	
									302	処置室他コンセント	1500	
									303	検査室他コンセント	1500	
									304	診察室−2他コンセント	1500	
		○							305	診察室−2他コンセント	1500	
									306	診察室−3他コンセント	1500	
									307	診察室−3他コンセント	1500	
									308	予　備		
									309	診察室−5コンセント	1500	
									310	診察室−5コンセント	1500	
									311	検査室コンセント	1500	
									312	処置室−8コンセント	1500	
									313	膀胱鏡室−2他コンセント	1500	
									314	診察室−7コンセント	1500	
									315	診察室−6他コンセント	1500	
									316	診察室−7コンセント	1500	
									317	診察室−4他コンセント	1500	
									318	診察室−4他コンセント	1500	
									319	ウロダイナミック室コンセント	1500	
									320	ウロダイナミック室コンセント	1500	
									321	処置室−2他コンセント	1500	
									322	処置室−2他コンセント	1500	
									323	受付−25コンセント	1500	
									324	処置・レーザー室コンセント	1500	
									325	処置・レーザー室コンセント	1500	
									326	診察室−2他コンセント	1500	
									327	診察室−2他コンセント	1500	
									328	コーディネーター室コンセント	1500	
									329	コーディネーター室コンセント	1500	
									330	処置室−2コンセント	1500	
									331	診察室−4他コンセント	1500	
									332	診察室−4他コンセント	1500	
									333	診察室−2他コンセント	1500	
									334	診察室−5他コンセント	1500	
									335	診察室−6コンセント	1500	
									336	光線治療室コンセント	1500	
									337	診察室−6他コンセント	1500	
									338	診察室−2他コンセント	1500	
									339	診察室−2他コンセント	1500	
									340	受付−26コンセント	1500	
									341	受付−26コンセント	1500	
									342	EPS−Aコンセント	1500	
									343	診察室−6他コンセント	1500	
									344	看護助手控室コンセント	1500	
									345	診察室−6他コンセント	1500	
									346	予　備		
									347	予　備		
									348	予　備		
									349	予　備		
									350	予　備		
									351	予　備		
									352	予　備		

分電盤リスト

盤名称	結線	分岐開閉器 MCCB	ELCB	P	AF	AT	電圧 105V	210V	回路番号	負荷名称	容量 (VA)	備考
2L－H (二種耐熱形)	AC 1Φ3W 200/100V MCCB3P 400AF/400AT (K付)		○	2	50	20	○		101	トイレ－4・5電灯	1500	27 へ
									102	診察室－5他棚下灯	1500	
		○							103	中待合－2A電灯	1500	
									104	中待合－2B電灯	1500	
									105	受付－21電灯	1500	
									106	中待合－2C電灯	1500	
									107	管理部倉庫電灯	1500	
									108	予備		
									109	予備		
									110	予備		
												スペース
		○		2	50	20		○	201	外来婦長室電灯	1500	
									202	診察室－1他電灯	1500	
									203	診察室－9他電灯	1500	
									204	処置フロアー電灯	1500	
									205	予備		
									206	予備		
												スペース
			○	2	50	20	○		301	トイレ－4コンセント	1500	
									302	トイレ－5コンセント	1500	
									303	外来婦長室ミニキッチン電源	1500	
									304	外来婦長室冷蔵庫用コンセント	1500	
									305	外来婦長室コンセント	1500	
									306	外来婦長室コンセント	1500	
									307	検査室－1コンセント	1500	
									308	検査室－2コンセント	1500	
									309	検査室－3コンセント	1500	
									310	検査室－1コンセント	1500	
		○							311	休憩室－1冷蔵庫用コンセント	1500	
									312	休憩室－1ミニキッチン電源	1500	
									313	診察室－1他コンセント	1500	
									314	診察室－3コンセント	1500	
									315	処置室－1他コンセント	1500	
									316	診察室－2流し台コンセント	1500	
									317	診察室－5他コンセント	1500	
									318	診察室－7他コンセント	1500	
									319	診察室－5他コンセント	1500	
									320	中待合－2Aコンセント	1500	
									321	受付－21コンセント	1500	
									322	診察室－9他コンセント	1500	
									323	診察室－11他コンセント	1500	
									324	診察室－9他流し台コンセント	1500	
									325	診察室－13他コンセント	1500	
									326	診察室－15他コンセント	1500	
									327	診察室－13他コンセント	1500	
									328	面談室－1他コンセント	1500	
									329	処置コーナーコンセント	1500	
									330	処置コーナー柱コンセント	1500	
									331	DPS－H照明・コンセントコンセント	1500	
									332	ISSコンセント	1500	
									333	FCUコンセント	1500	
									334	FCUコンセント	1500	
									335	FCUコンセント	1500	
									336	予備		
									337	予備		
									338	予備		
									339	予備		
									340	予備		
									341	予備		
									342	予備		
									343	予備		
									344	予備		
	※											

盤名称	結線	分岐開閉器 MCCB	ELCB	P	AF	AT	電圧 105V	210V	回路番号	負荷名称	容量 (VA)	備考
	※											
		○		2	50	20	○					スペース
	GC 1Φ3W 200/100V MCCB3P 50AF/ 50AT (K付)	○		2	50	20	○		1	誘導灯	1500	ロックカバー付
		○		2	50	20	○		501	トイレ－4・5電灯	1500	
									502	受付電灯	1500	
									503	予備		
												スペース
		○		2	50	20		○	601	外来婦長室他電灯	1500	
									602	診察室－1他電灯	1500	
									603	診察室－9他電灯	1500	
									604	処置フロアー電灯	1500	
									605	EPS－H電灯	1500	
									606	予備		
									607	予備		
												スペース
	(二種耐熱) AC－DC－GC 1Φ2W 100V MgS (耐熱型) 27	○		2	50	20	○		△1	非常照明	1500	
									△2	非常照明	1500	
									△3	予備		
									△4	予備		

分電盤リスト

盤名称	結線	分岐開閉器 MCCB	ELCB	P	AF	AT	電圧 105V	210V	回路番号	負荷名称	容量 (VA)	備考
	GC 1Φ3W 200/100V MCCB3P 225AF/200AT (K付)		○	2	50	20	○		301	検査室－1コンセント	1500	
									302	管理部倉庫－1照明・コンセント	1500	
									303	診察室－1他コンセント	1500	
									304	診察室－1他コンセント	1500	
		○							305	診察室－3他コンセント	1500	
									306	診察室－3他コンセント	1500	
									307	処置室－1他コンセント	1500	
									308	処置室－1他コンセント	1500	
									309	診察室－5他コンセント	1500	
									310	診察室－5他コンセント	1500	
									311	診察室－7他コンセント	1500	
									312	診察室－7他コンセント	1500	
									313	受付－21コンセント	1500	
									314	診察室－9他コンセント	1500	
									315	診察室－9他コンセント	1500	
									316	診察室－11他コンセント	1500	
									317	診察室－11他コンセント	1500	
									318	診察室－13他コンセント	1500	
									319	診察室－13他コンセント	1500	
									320	診察室－15他コンセント	1500	
									321	診察室－15他コンセント	1500	
									322	処置コーナー柱コンセント	1500	
									323	処置コーナーコンセント	1500	
									324	処置コーナーコンセント	1500	
									325	処置コーナーコンセント	1500	
									326	処置コーナーコンセント	1500	
									327	EPS－H照明・コンセント	1500	
									328	予備		
									329	予備		
									330	予備		
									331	予備		
									332	予備		
									333	予備		
									334	予備		
									335	予備		
									336	予備		
									337	予備		
									338	予備		
									339	予備		
									340	予備		
												スペース

分電盤リスト

盤名称	結線	MCCB	ELCB	P	AF	AT	105V	210V	回路番号	負荷名称	容量（VA）	備考
7L－H（二種耐熱形）	AC 1Φ3W 200／100V MCCB3P 400AF／400AT（K付） T／UX1	○		2	50	20	○		101	廊下－4電灯	686	R1 27 へ
									102	廊下－4電灯	690	R2
									103	廊下－3，前室，後室電灯	612	R3
									104	廊下－3，前室，後室電灯	684	R4
									105	704～712電灯	1197	
									106	713～716電灯	464	
									107	車椅子用トイレ－1，トイレ－1，2他電灯	713	
									108	701～703電灯	450	
									109	7－1ステーション準備室他電灯	599	
									110	デイルーム7－1電灯	496	
									111	予備		
									112	予備		
									113	予備		
									114	予備		
									115	リモコントランス	50	
												スペース
		○		2	50	20		○	201	704～712，洗浄室1電灯	585	
									202	713～716電灯	720	
									203	記録室，準備室他電灯	1665	
									204	面談室－1，2，休憩室－1電灯	990	
									205	701～703，デイルーム7－1他電灯	360	
									206	7－1ステーション電灯	1014	
									207	予備		
									208	予備		
									209	予備		
									210	予備		
									211	予備		
												スペース
		○		2	50	20	○		301	廊下コンセント	1500	
									302	廊下コンセント	1500	
									303	ポータブル，配膳室コンセント	1500	
									304	感染症センター天井付コンセント	1500	
									305	7－1ステーションコンセント	1500	
									306	記録室（7－1）コンセント	1500	
									307	準備室（7－1）コンセント	1500	
									308	休憩室1，脱衣室1コンセント	1500	
									309	当直室2，面談室1，2コンセント	1500	
									310	倉庫，カンファレンスコンセント	1500	
			○						311	トイレ－1，2ウォシュレット	1500	
									312	車椅子用トイレ－1ウォシュレット	1500	
									313	ランドリー洗濯機コンセント	1500	
									314	ランドリー洗濯機コンセント	1500	
									315	701～703STU電源	1500	
									316	704～706STU電源	1500	
									317	707～710STU電源	1500	
									318	711，712STU電源	1500	
									319	713，714トイレコンセント	1500	
									320	715，716トイレコンセント	1500	
									321	トイレ－1，2コンセント	1500	
		○							322	洗浄室－1コンセント	1500	
									323	洗浄室－2コンセント	1500	
									324	デイルーム（7－1）冷蔵庫コンセント	1500	
									325	713～716蓄尿ユニット電源	1500	
									326	休憩室－1冷蔵庫コンセント	1500	
									327	休憩室－1ミニキッチン電源	1500	
									328	配膳室コンセント	1500	
									329	予備		
									330	処置室（7－1）コンセント	1500	
									331	701～706コンセント	1500	
									332	707～712コンセント	1500	
									333	713ユニットコンセント	1500	
									334	713コンセント	1500	
									335	714コンセント	1500	
									336	715コンセント	1500	
	※											

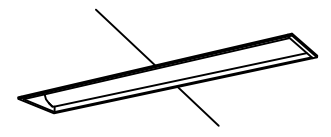
盤名称	結線	MCCB	ELCB	P	AF	AT	105V	210V	回路番号	負荷名称	容量（VA）	備考
	※	○		2	50	20	○		337	716コンセント	1500	
									338	701～703コンセント	1500	
									339	701～703ユニットコンセント	1500	
									340	704～706ユニットコンセント	1500	
									341	707～712コンセント	1500	
									342	予備		
									343	707～712ユニットコンセント	1500	
									344	公衆電話コンセント	1500	
									345	予備		
									346	715ユニットコンセント	1500	
									347	714ユニットコンセント	1500	
									348	716ユニットコンセント	1500	
									349	FCUコンセント	1500	
									350	FCUコンセント	1500	
									351	FCUコンセント	1500	
									352	FCUコンセント	1500	
									353	予備		
									354	予備		
									355	予備		
									356	予備		
									357	予備		
									358	予備		
									359	予備		
									360	予備		
		○		2	50	30		○	401	ベットパンウォッシャーコンセント	1500	
									402	ベットパンウォッシャーコンセント	1500	
						20			403	FCUコンセント	1500	
									404	洗濯機用コンセント	1500	
	GC 1Φ3W 200／100V	○		2	50	20	○		1	誘導灯	1360	ロックカバー付
	MCCB3P 50AF／ 50AT（K付） T／UX1	○		2	50	20	○		501	廊下－3，4電灯	456	R5
									502	予備		R6
									503	7－1ステーション，デイルーム7－1他電灯	898	
									504	予備		
									505	予備		
									506	リモコントランス	50	
												スペース
		○		2	50	20		○	601	カンファランス室EPS－H，I電灯	1035	
									602	予備		
									603	予備		
												スペース
	（二種耐熱） AC－DC－GC 1Φ2W 100V MgS（耐熱型） 27	○		2	50	20	○		△1	非常灯	840	
									△2	非常灯	1000	

分電盤リスト

盤名称	結線	MCCB	ELCB	P	AF	AT	105V	210V	回路番号	負荷名称	容量（VA）	備考
	GC 1Φ3W 200／100V	○		2	50	20	○		A	自火報副受信盤	1500	ロックカバー付
	MCCB3P 225AF／225AT（K付）	○		2	50	20	○		301	EPSコンセント	1500	
									302	7－1ステーションコンセント	1500	
									303	7－1ステーションコンセント	1500	
									304	記録室（7－1）コンセント	1500	
									305	処置，準備室（7－1）コンセント	1500	
									306	面談室－1，2他コンセント	1500	
									307	ポータブルコンセント	1500	
									308	701～703コンセント	1500	
									309	701～703ユニットコンセント	1500	
									310	704～706コンセント	1500	
									311	704～706ユニットコンセント	1500	
									312	個室－1，2，a～dコンセント	1500	
									313	予備		
									314	713コンセント	1500	
									315	713ユニットコンセント	1500	
									316	714コンセント	1500	
									317	714ユニットコンセント	1500	
									318	715コンセント	1500	
									319	715ユニットコンセント	1500	
									320	716コンセント	1500	
									321	716ユニットコンセント	1500	
									322	オートドア電源	1500	
									323	ナースコール盤電源	1500	
									324	7－1ステーション他コンセント	1500	
									325	7－1ステーションITV電源	1500	
									326	予備		
									327	予備		
									328	710，709ユニットコンセント	1500	
									329	配膳室コンセント	1500	
									330	予備		
									331	707，708ユニットコンセント	1500	
									332	予備		
									333	711，712ユニットコンセント	1500	
									334	予備		
									335	予備		
									336	予備		
												スペース
	UPS AC 1Φ3W 200／100V MCCB3P 50AF／ 50AT（K付）	○		2	50	20	○		◇1	7－1ステーション他コンセント	1500	
									◇2	701～703ユニットコンセント	1500	
									◇3	704～706ユニットコンセント	1500	
									◇4	713ユニットコンセント	1500	
									◇5	714ユニットコンセント	1500	
									◇6	予備		
									◇7	予備		
									◇8	予備		
									◇9	予備		
									◇10	予備		
									◇11	予備		
									◇12	予備		
									◇13	予備		
									◇14	予備		
												スペース

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録 第344749号 設備設計一級建築士 第4211号 岡 野 崇
加 藤 悟
近藤 剛史
公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事
既設電灯分電盤 結線図(5)
2022.03 A1：NS A3：NS
RE － 014

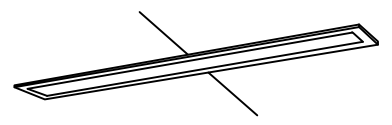
ＨＡ　ｉＤシリーズ埋込型４０形　フリーコンフォート　Ｗ２２０



基本灯具、一般タイプ、５２００ｌｍタイプ
消費電力３１．９W、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：亜鉛鋼板
反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命４００００時間（光束維持率８５%）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３、電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　埋込ＸＬＸ４５０ＥＥＮＴＬＥ９

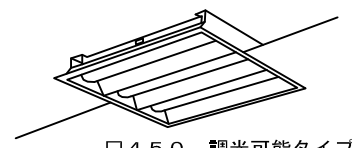
ＨＢ　ｉＤシリーズ埋込型４０形　フリーコンフォート　Ｗ２２０



乳白パネルタイプ、一般タイプ、６９００ｌｍタイプ
消費電力４３．１W、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：亜鉛鋼板、反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
パネル：アクリル（乳白）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命４００００時間（光束維持率８５%）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３、電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　埋込ＸＬＸ４６６ＥＥＮＰＬＥ９

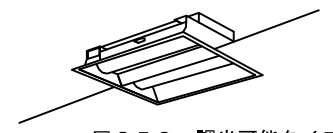
ＨＣ　ＬＥＤスクエアベースライト　ＦＨＰ３２形×３灯相当タイプ　埋込下面開放タイプ



□４５０、調光可能タイプ（約１０～１００%）
電圧：１００～２４２Ｖ
光源寿命：４００００時間（光束維持率８５%）、Ｒａ：８３
本体：鋼板（高反射白色粉体塗装）
枠：鋼板（高反射白色粉体塗装）
点灯ユニット（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
昼白色（５０００Ｋ）

パナソニック　埋込ＸＬ３７３ＰＥＶＪＬＡ９

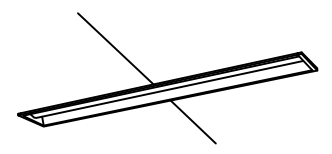
ＨＤ　ＬＥＤスクエアベースライト　ＦＨＰ２３形×４灯節電タイプ　埋込下面開放タイプ



□３５０、調光可能タイプ（約１０～１００%）
電圧：１００～２４２Ｖ
光源寿命：４００００時間（光束維持率８５%）、Ｒａ：８３
本体：鋼板（高反射白色粉体塗装）
枠：鋼板（高反射白色粉体塗装）
点灯ユニット（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
温白色（３５００Ｋ）

パナソニック　埋込ＸＬ３６３ＰＥＦＪＬＡ９

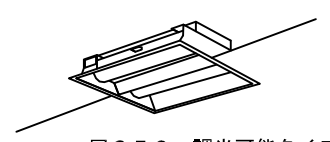
ＳＡ　ｉＤシリーズ埋込型４０形　下面開放型　Ｗ１５０



リニューアル専用、一般タイプ、５２００ｌｍタイプ
消費電力３１．９W、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：亜鉛鋼板
反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命４００００時間（光束維持率８５%）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３、電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　埋込ＸＬＸ４５９ＰＥＮＬＥ９

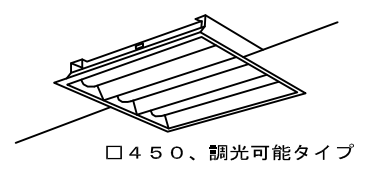
ＳＢ　ＬＥＤスクエアベースライト　ＦＨＰ２３形×４灯節電タイプ　埋込下面開放タイプ



□３５０、調光可能タイプ（約１０～１００%）
電圧：１００～２４２Ｖ
光源寿命：４００００時間（光束維持率８５%）、Ｒａ：８３
本体：鋼板（高反射白色粉体塗装）
枠：鋼板（高反射白色粉体塗装）
点灯ユニット（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
温白色（３５００Ｋ）

パナソニック　埋込ＸＬ３６３ＰＥＦＪＬＡ９

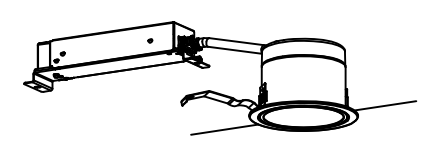
ＳＣ　ＬＥＤスクエアベースライト　ＦＨＰ３２形×３灯相当タイプ　埋込下面開放タイプ



□４５０、調光可能タイプ（約１０～１００%）
電圧：１００～２４２Ｖ
光源寿命：４００００時間（光束維持率８５%）、Ｒａ：８３
本体：鋼板（高反射白色粉体塗装）
枠：鋼板（高反射白色粉体塗装）
点灯ユニット（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
温白色（３５００Ｋ）

パナソニック　埋込ＸＬ３７３ＰＥＦＪＬＡ９

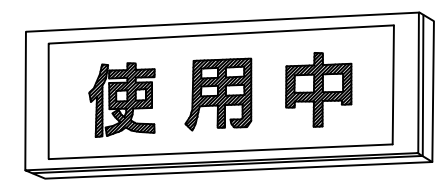
ＳＤ　ダウンライト　６０形



ＬＥＤ内蔵<ワンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ
５０００Ｋ、Ｒａ８５、広角タイプ
光源遮光角３０度、光源寿命４００００時間（光束維持率８５%）
器具光束：５８５ｌｍ、消費電力：４．２W、電圧：１００－２４２Ｖ
反射板（上部）：プラスチック（ホワイト）
反射板（下部）：アルミ（ホワイトつや消し仕上）
枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ１００

パナソニック　ダウンライトＸＮＤ０６３６ＷＮＬＥ９

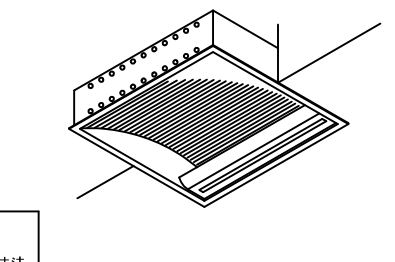
ＳＥ　ＬＥＤ標示灯



昼白色、５０００Ｋ、Ｒａ７５
消費電力５W、電圧１００Ｖ
壁直付・天井直付型、片面型
光源寿命４００００時間（光束維持率７０%）
枠：プラスチック（クールホワイトつや消し仕上）

パナソニック　ＮＮＦ１１９３０ＬＥ１＋ＦＫ１１５７１Ｊ

ＫＡ　埋込灯　LED 29W×1（ベース）＋LED 29W×1（処置灯）

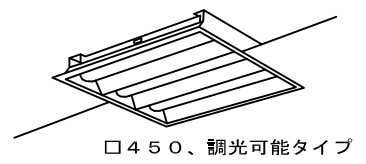


天井切込穴寸法
620×660

寸法：幅678×638・出5・埋込深153mm
重さ：17.0kg
本体：鋼（オフホワイト塗装）
反射板：アルミ（白色塗装）
ボルト吊り
電源電圧：100/200V
2回路仕様
PWM調光対応（5～100%）
電球色：3000K Ra80

山田照明 YDD-3303-L

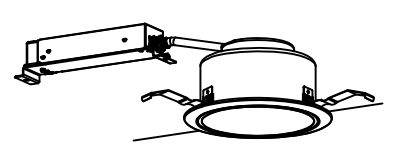
ＫＢ　ＬＥＤスクエアベースライト　ＦＨＰ３２形×３灯相当タイプ　埋込下面開放タイプ



□４５０、調光可能タイプ（約１０～１００%）
電圧：１００～２４２Ｖ
光源寿命：４００００時間（光束維持率８５%）、Ｒａ：８３
本体：鋼板（高反射白色粉体塗装）
枠：鋼板（高反射白色粉体塗装）
点灯ユニット（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
昼白色（５０００Ｋ）

パナソニック　埋込ＸＬ３７３ＰＥＶＪＬＡ９

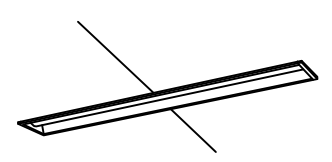
ＫＣ　ダウンライト　１００形



ＬＥＤ内蔵<ワンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ
３５００Ｋ、Ｒａ８５、拡散タイプ
光源遮光角３０度、光源寿命４００００時間（光束維持率８５%）
器具光束：９９０ｌｍ、消費電力：7W、電圧：１００－２４２Ｖ
反射板（上部）：プラスチック（ホワイト）
反射板（下部）：アルミ（ホワイトつや消し仕上）
枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ１５０

パナソニック　ダウンライトＸＮＤ１０６７ＷＶＬＥ９

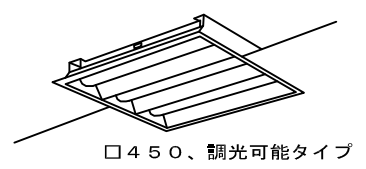
ＮＡ　ｉＤシリーズ埋込型４０形　下面開放型　Ｗ１５０



リニューアル専用、一般タイプ、５２００ｌｍタイプ
消費電力３１．９W、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：亜鉛鋼板
反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命４００００時間（光束維持率８５%）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３、電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　埋込ＸＬＸ４５９ＰＥＮＬＥ９

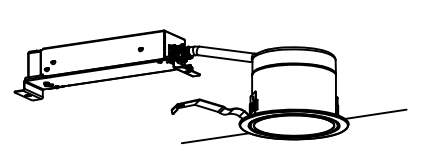
ＮＢ　ＬＥＤスクエアベースライト　ＦＨＰ３２形×３灯相当タイプ　埋込下面開放タイプ



□４５０、調光可能タイプ（約１０～１００%）
電圧：１００～２４２Ｖ
光源寿命：４００００時間（光束維持率８５%）、Ｒａ：８３
本体：鋼板（高反射白色粉体塗装）
枠：鋼板（高反射白色粉体塗装）
点灯ユニット（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
昼白色（５０００Ｋ）

パナソニック　埋込ＸＬ３７３ＰＥＶＪＬＡ９

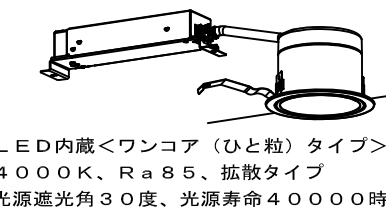
ＮＣ　ダウンライト　１５０形



ＬＥＤ内蔵<ワンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ
３５００Ｋ、Ｒａ８５、拡散タイプ
光源遮光角３０度、光源寿命４００００時間（光束維持率８５%）
器具光束：１５７０ｌｍ、消費電力：１１．６W、電圧：１００－２４２Ｖ
反射板（上部）：プラスチック（ホワイト）
反射板（下部）：アルミ（ホワイトつや消し仕上）
枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ１００

パナソニック　ダウンライトＸＮＤ１５３７ＷＶＬＥ９

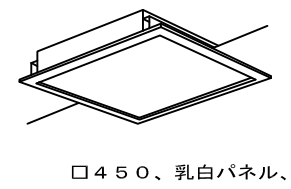
ＰＡ　ダウンライト　６０形



ＬＥＤ内蔵<ワンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ
４０００Ｋ、Ｒａ８５、拡散タイプ
光源遮光角３０度、光源寿命４００００時間（光束維持率８５%）
器具光束：５８０ｌｍ、消費電力：４．２W、電圧：１００－２４２Ｖ
反射板（上部）：プラスチック（ホワイト）
反射板（下部）：アルミ（ホワイトつや消し仕上）
枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ１００

パナソニック　ダウンライトＸＮＤ０６３７ＷＷＬＥ９

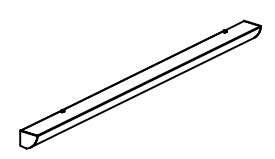
ＰＢ　ＬＥＤスクエアベースライト　ＦＨＰ３２形×３灯相当タイプ　埋込型



□４５０、乳白パネル、調光可能タイプ（約１０～１００%）
定格出力型、消費電力３４W、電圧１００～２４２Ｖ
光源寿命４００００時間（光束維持率８５%）
本体・枠：鋼板（高反射白色粉体塗装）
パネル：ポリカーボネート（乳白）
白色、４０００Ｋ、Ｒａ８３

パナソニック　埋込ＸＬ５７３ＰＦＵＫＬＡ９

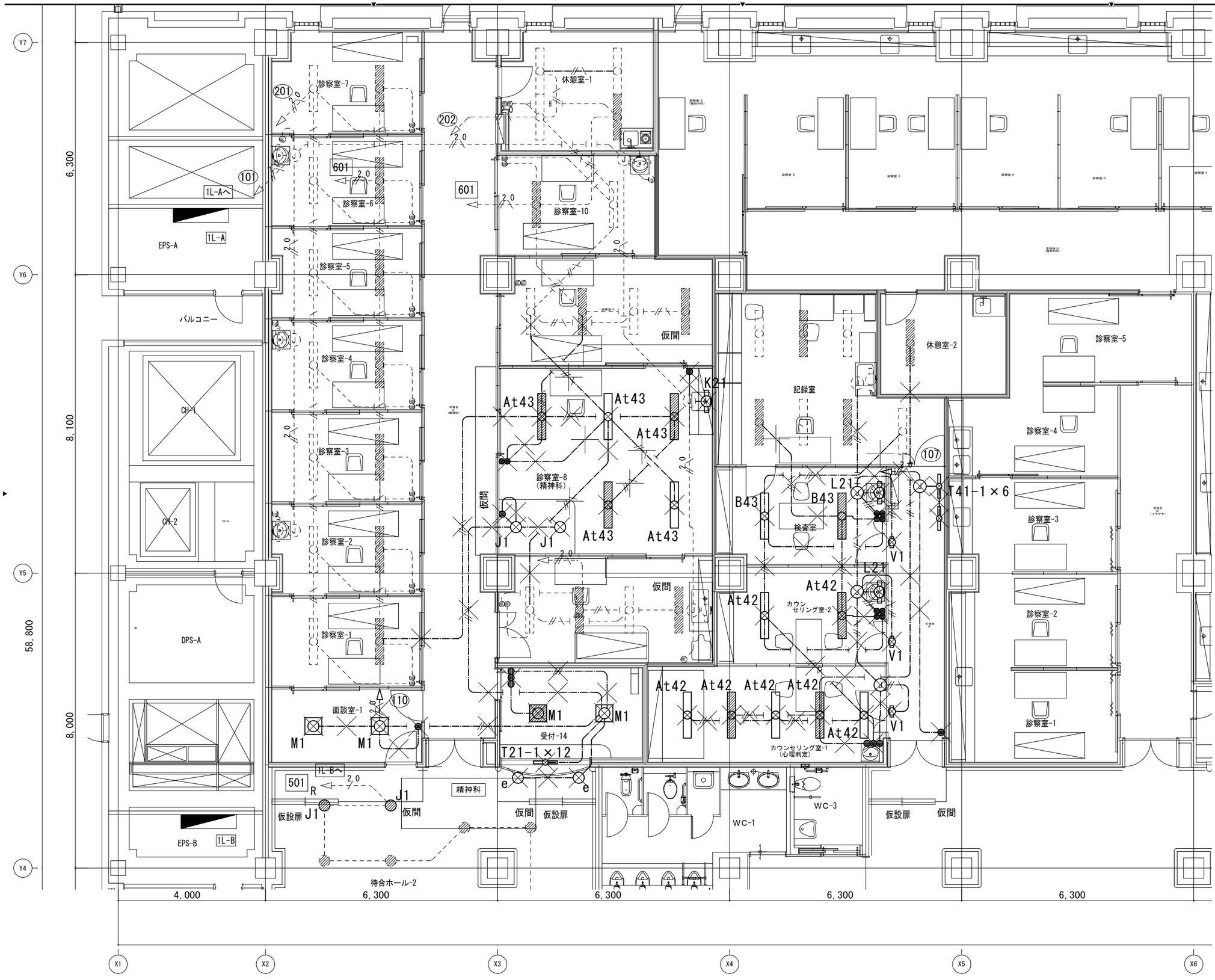
ＰＣ　ＬＥＤ美光色ミラーライト　Ｗ６２０



標準タイプ、４０００Ｋ、高演色Ｒａ９５、美光色タイプ
器具光束１３６０ｌｍ、消費電力１９．２W、電圧１００Ｖ
カバー：プラスチック（乳白）
サイドカバー：プラスチック（ホワイトつや消し）
壁面（横向け）取付専用
幅５７２・高８７・出しろ１１０

パナソニック　ＮＮＮ１３２０６ＬＥ１

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡　野　崇	加　藤　悟	近藤　剛史	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事	2022.03
				照明器具姿図	A1：NS A3：NS
					RE － 015



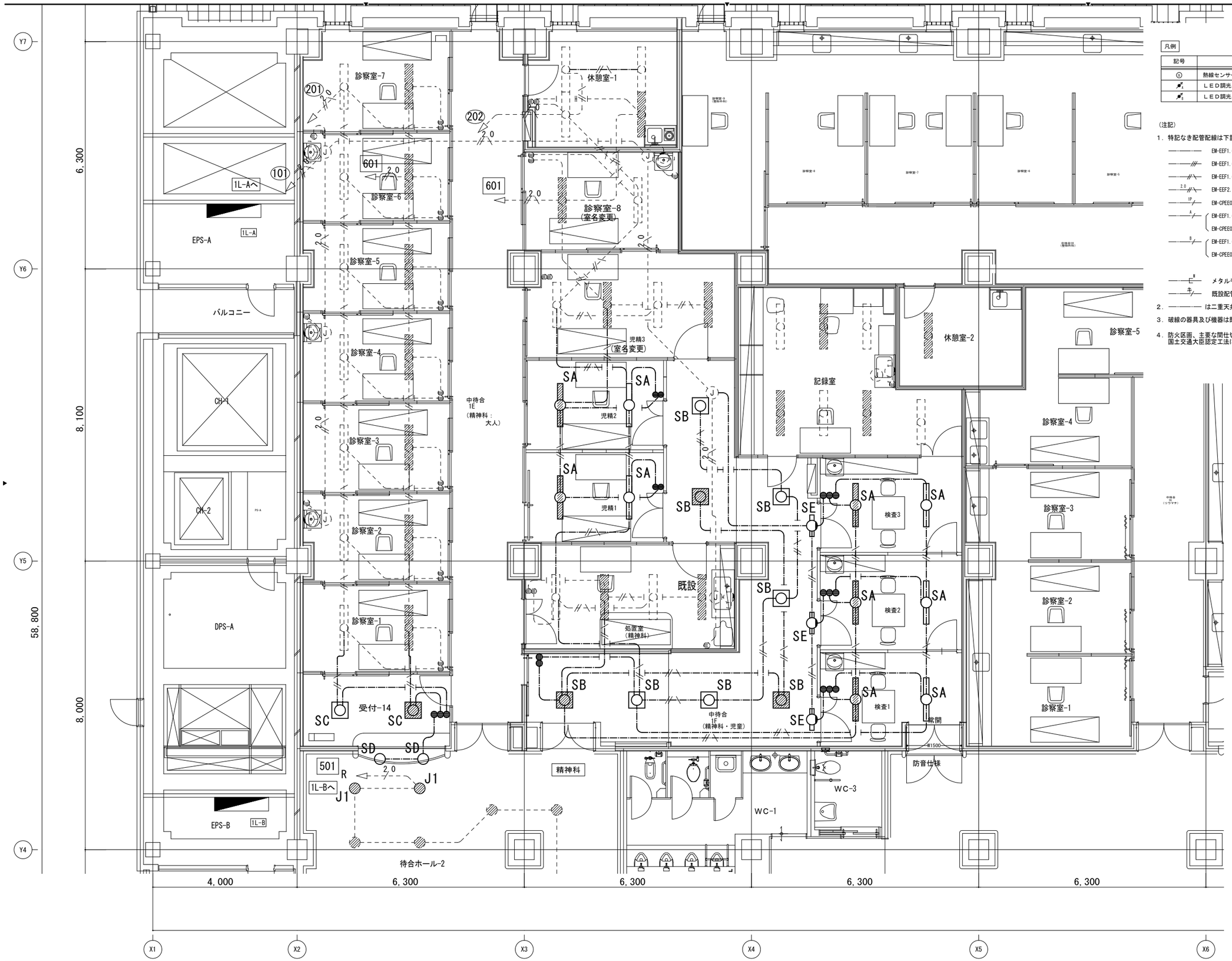
(注記)

1. 特記なき配管配線は下記による。

———	VVF1.6-2C	(PF16)
———//	VVF1.6-3C	(PF22)
———//	VVF1.6-3C	(PF22)
2.0 ———//	VVF2.0-3C	(PF22)
5.5 ———//	CV5.5-3C	(PF22)

2. ╳ は照明器具及び配管配線の撤去を示す。

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第344749号 設備設計一級建築士 第4211号 岡野 崇	加藤 悟	近藤 剛史	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事 電灯設備 1階平面詳細図(精神科)(改修前)	2022.03 A1：1/50 A3：1/100	RE－ 016



凡例

記号	名称	備考
Ⓢ	熱線センサー	
	ＬＥＤ調光スイッチ（HA.HB用）	起動方式（ＬＲ、他）２ケ用スイッチＢＯＸ
	ＬＥＤ調光スイッチ（KA用）	起動方式（ＬＲ、他）２ケ用スイッチＢＯＸ

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

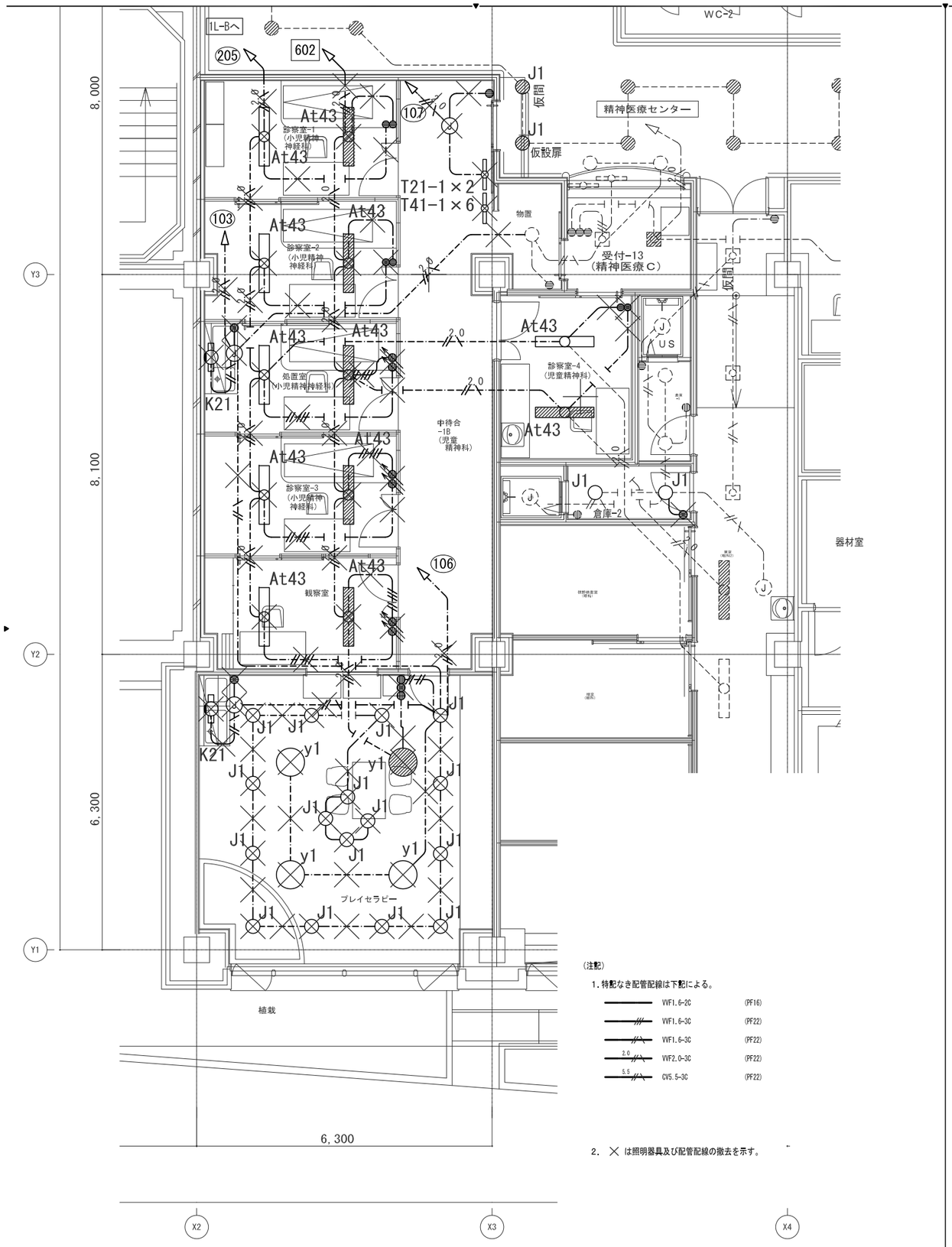
	EM-EEF1.6-2C	配管保護部分（PF16）
	EM-EEF1.6-3C	配管保護部分（PF22）
	EM-EEF1.6-3C	（内１本アース）配管保護部分（PF22）
2.0	EM-EEF2.0-3C	（内１本アース）配管保護部分（PF22）
1P	EM-CPEE0.9-1P	
A	EM-EEF1.6-2C EM-CPEE0.9-1P	配管保護部分（PF22）
B	EM-EEF1.6-3C EM-CPEE0.9-1P	配管保護部分（PF22）
M	メタルモールにて保護	
キ	既設配管配線を利用	

2．―・―・― は二重天井内ケーブルころがしを示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3．破線の器具及び機器は既設を示す。

4．防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡　野　崇	加　藤　悟	近藤　剛史	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事 電灯設備　１階平面詳細図（精神科）（改修後）	2022.03 A1：1/50 A3：1/100	RE－ 017

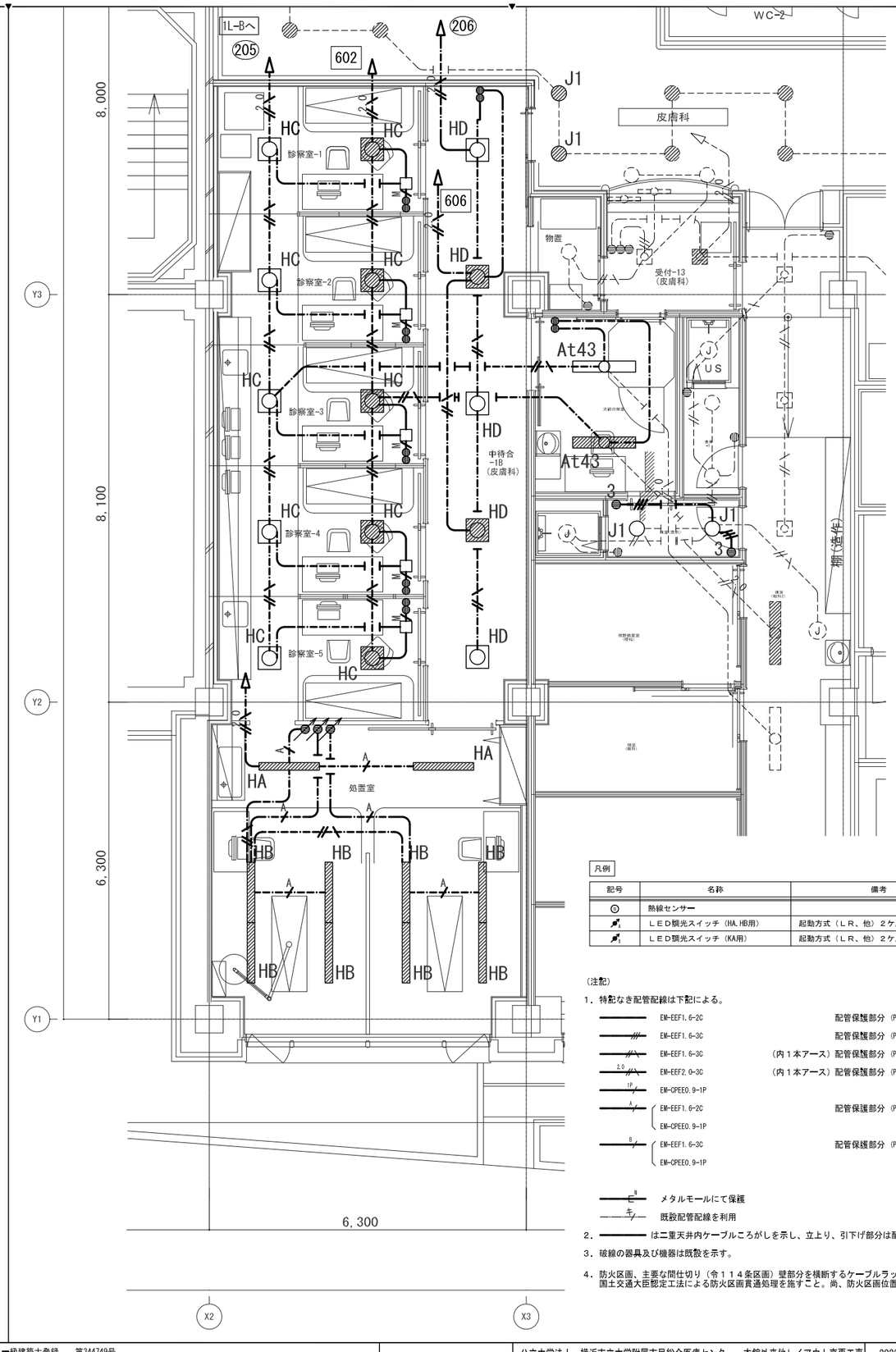


(注記)

1. 特記なき配管配線は下記による。

———	VVF1.6-2C	(PF16)
——///	VVF1.6-3C	(PF22)
——///	VVF1.6-3C	(PF22)
2.0 ——///	VVF2.0-3C	(PF22)
5.5 ——///	CV5.5-3C	(PF22)

2. ╳ は照明器具及び配管配線の撤去を示す。



凡例

記号	名称	備考
⊙	熱線センサー	
	ＬＥＤ調光スイッチ（HA.HB用）	起動方式（ＬＲ、他）２ケ用スイッチＢＯＸ
	ＬＥＤ調光スイッチ（KA用）	起動方式（ＬＲ、他）２ケ用スイッチＢＯＸ

(注記)

1. 特記なき配管配線は下記による。

———	EM-EEF1.6-2C	配管保護部分 (PF16)
——///	EM-EEF1.6-3C	配管保護部分 (PF22)
——///	EM-EEF1.6-3C	(内１本アース) 配管保護部分 (PF22)
2.0 ——///	EM-EEF2.0-3C	(内１本アース) 配管保護部分 (PF22)
1P ——/	EM-CPEE0.9-1P	
A ——/	EM-EEF1.6-2C EM-CPEE0.9-1P	配管保護部分 (PF22)
B ——/	EM-EEF1.6-3C EM-CPEE0.9-1P	配管保護部分 (PF22)

——M—— メタルモールにて保護

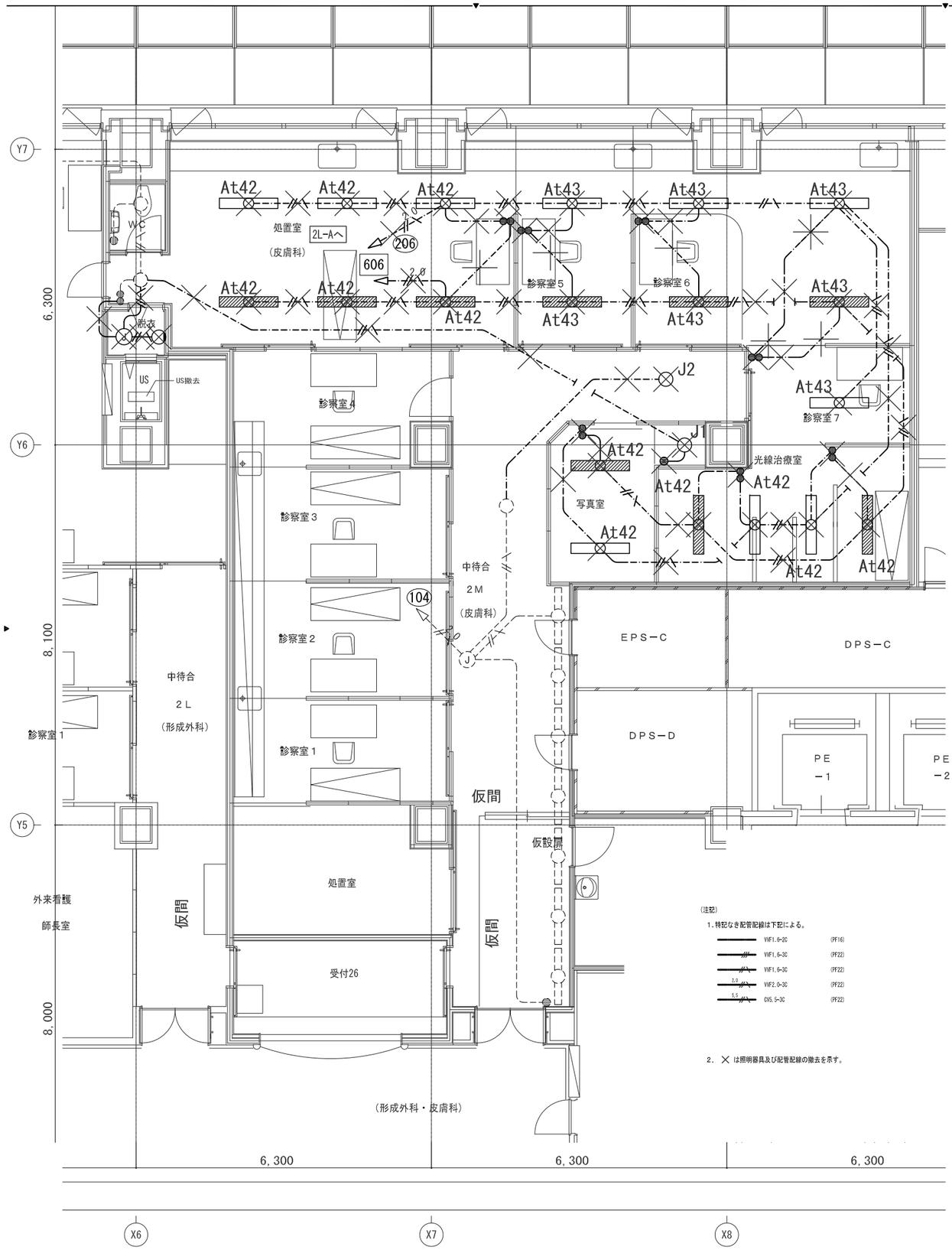
——キ—— 既設配管配線を利用

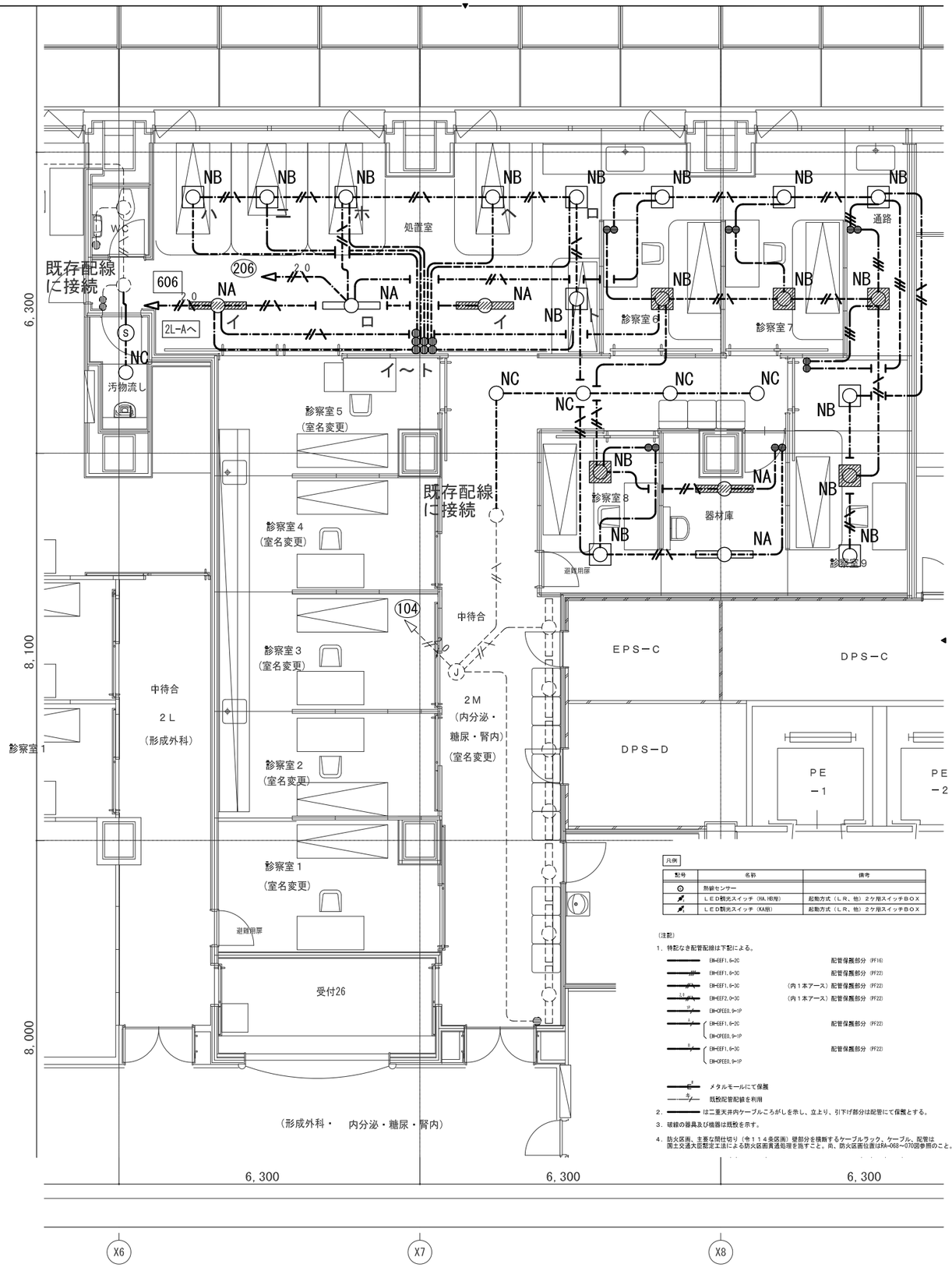
2. ——— は二重天井内ケーブルころがしを示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3. 破線の器具及び機器は既設を示す。

4. 防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。

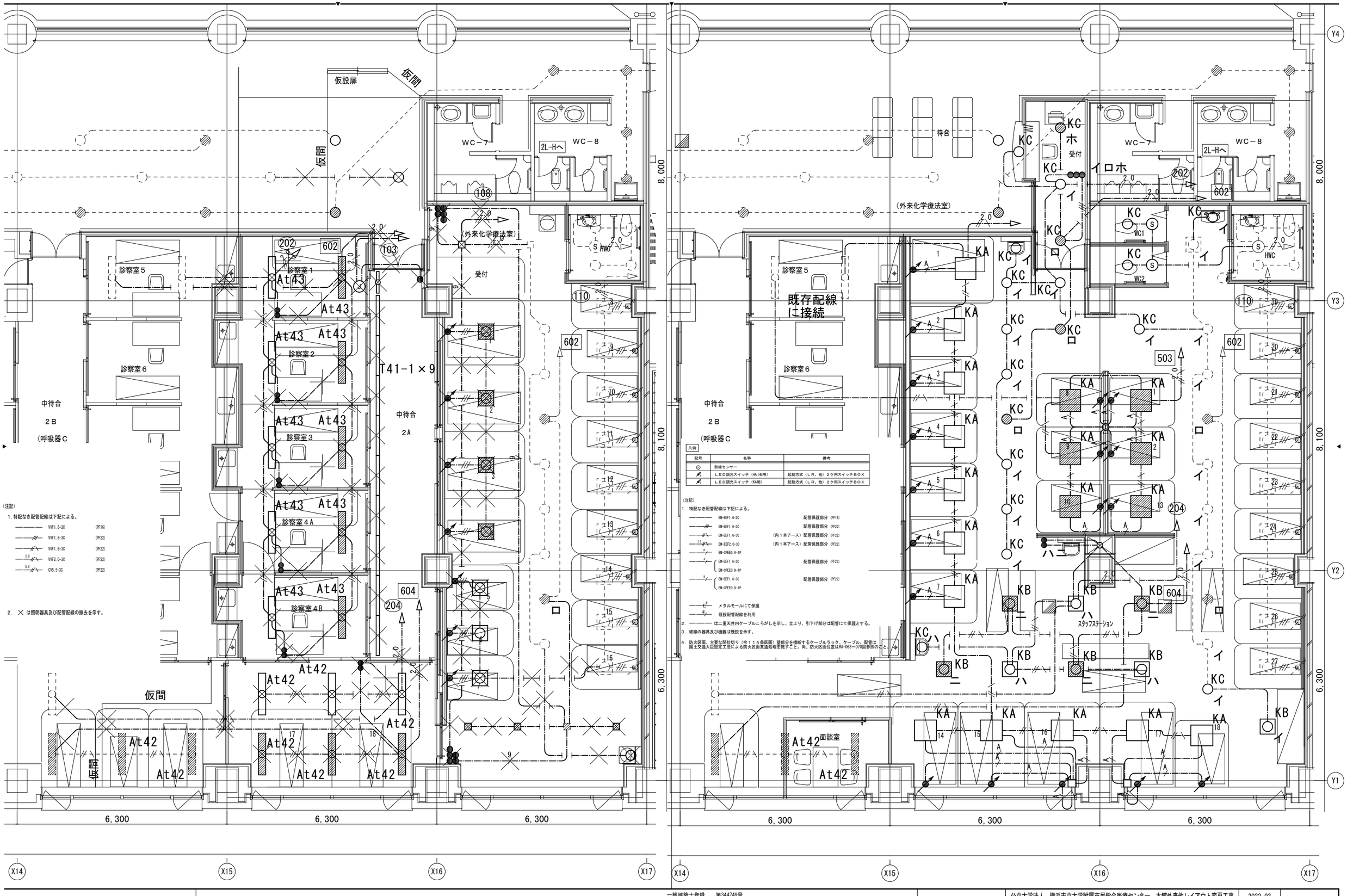
株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第344749号 設備設計一級建築士 第4211号 岡 野 崇	加 藤 悟	近藤 剛史	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事 電灯設備 １階平面詳細図(皮膚科)(改修前)(改修後)	2022.03 A1：1/50 A3：1/100	RE － 018





株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇
加藤　悟
近藤　剛史

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RE − 019
電灯設備　2階平面詳細図(内分泌・糖尿)(改修前)(改修後)	A1：1/50 A3：1/100	



凡例

記号	名称	備考
⊙	熱線センサー	
	ＬＥＤ調光スイッチ（HA,HB用）	起動方式（ＬＲ、他）２ケ用スイッチＢＯＸ
	ＬＥＤ調光スイッチ（KA用）	起動方式（ＬＲ、他）２ケ用スイッチＢＯＸ

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

———	EM-EEF1.6-2C	配管保護部分（PF16）
———	EM-EEF1.6-3C	配管保護部分（PF22）
———	EM-EEF1.6-3C	（内１本アース）配管保護部分（PF22）
2.0	EM-EEF2.0-3C	（内１本アース）配管保護部分（PF22）
1P	EM-CPEE0.9-1P	
A	EM-EEF1.6-2C EM-CPEE0.9-1P	配管保護部分（PF22）
B	EM-EEF1.6-3C EM-CPEE0.9-1P	配管保護部分（PF22）

—— E ——　メタルモールにて保護

—— 5 ——　既設配管配線を利用

2．———— は二重天井内ケーブルころがしを示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3．破線の器具及び機器は既設を示す。

4．防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

———	VVF1.6-2C	(PF16)
———	VVF1.6-3C	(PF22)
———	VVF1.6-3C	(PF22)
2.0	VVF2.0-3C	(PF22)
5.5	CV5.5-3C	(PF22)

2．╳ は照明器具及び配管配線の撤去を示す。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

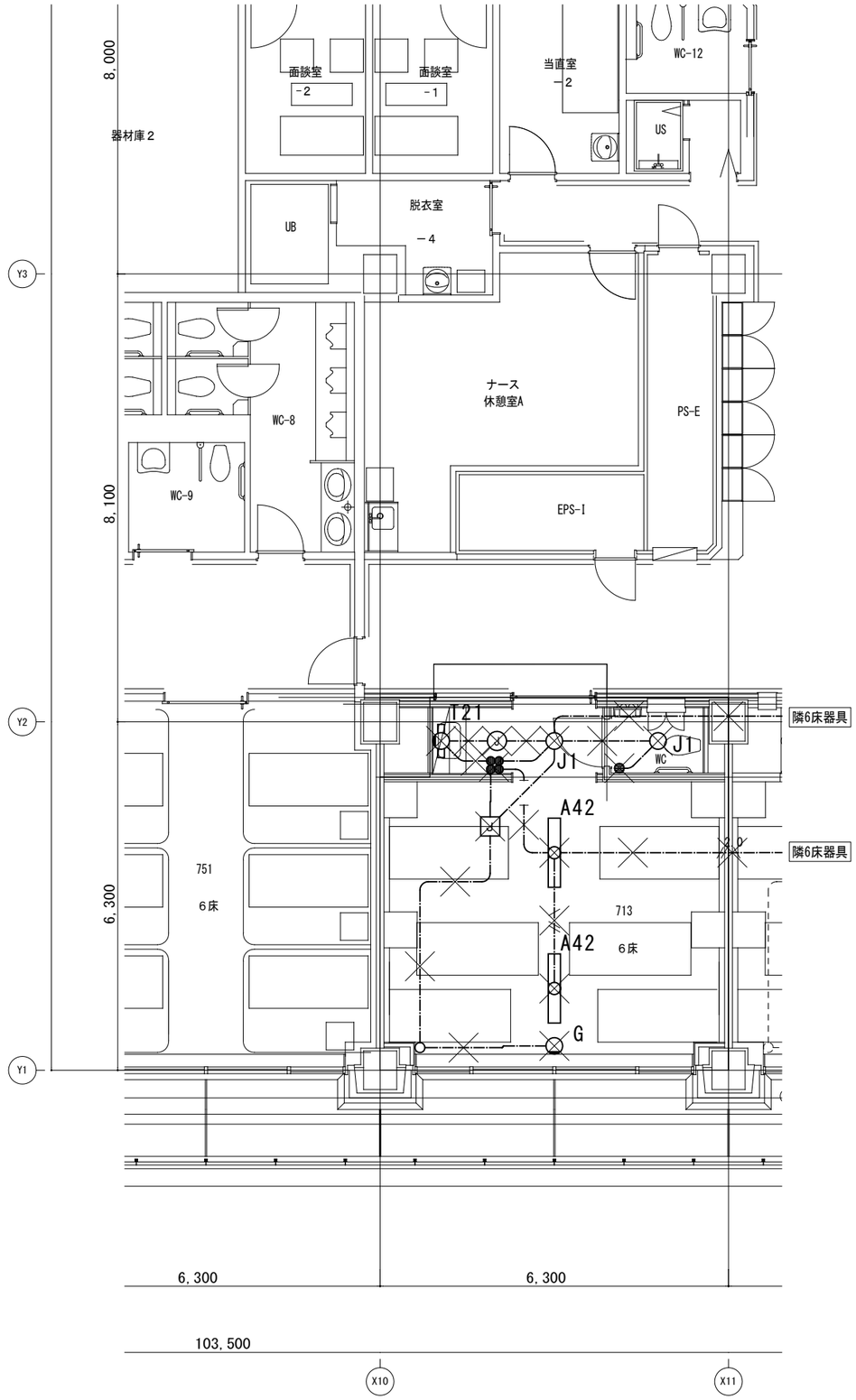
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡　野　崇　　加　藤　悟　　近藤　剛史

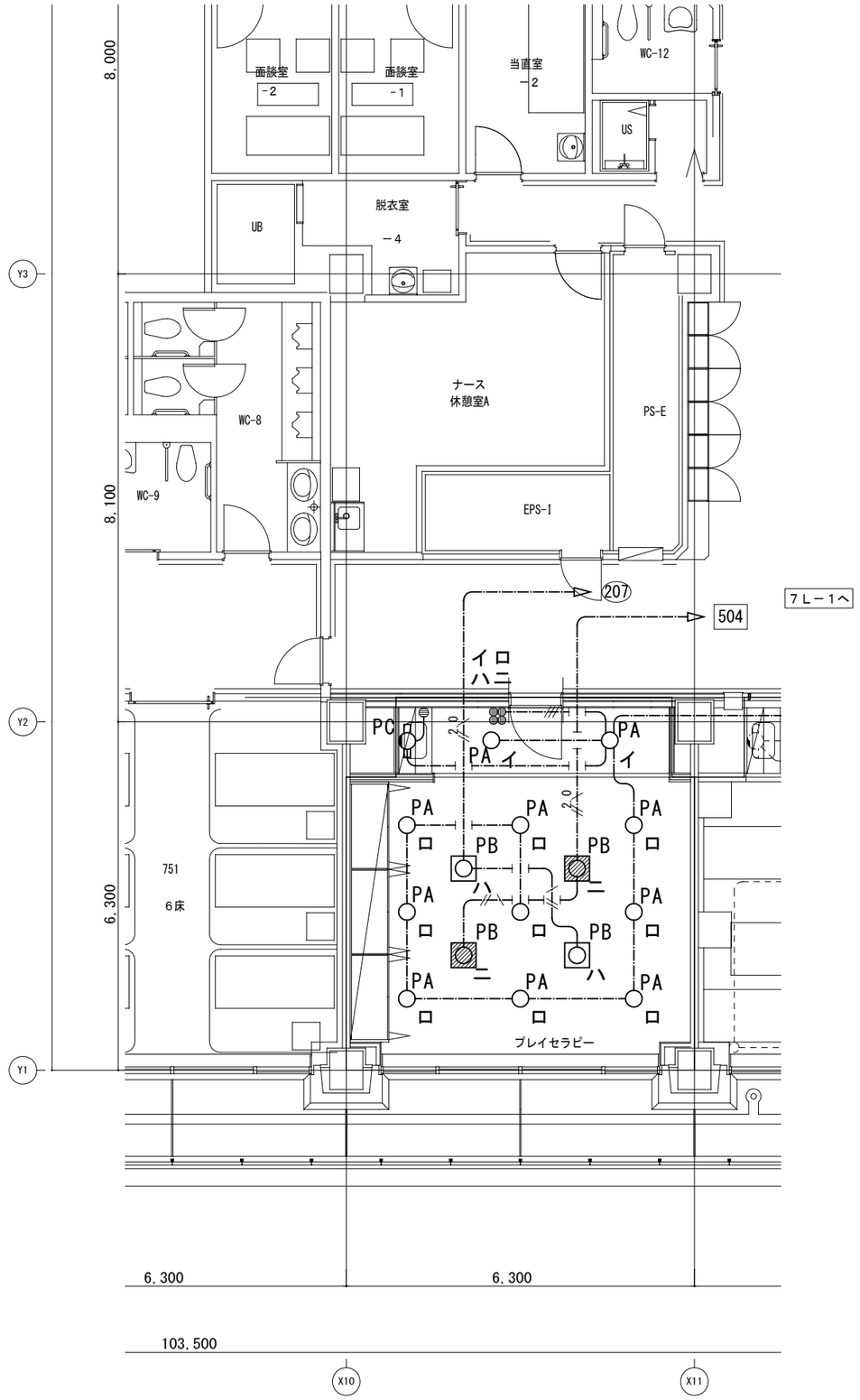
公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

電灯設備　２階平面詳細図
（外来化学療法室）（改修前）（改修後）

2022.03
A1：1/50
A3：1/100

RE－ 020





株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡野　崇	加藤　悟	近藤　剛史	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事	2022.03
				電灯設備　７階平面詳細図(改修前・改修後)	A1：1/50 A3：1/100
					RE－021

照明器具記号

記号	名称	仕様	備考
誘導灯設備			
中た1	高輝度避難口誘導灯（天井埋込）	冷陰極ランプ20B 片面	
中ね1	室内通路誘導灯（天井埋込）	FL20Wx1 片面	
非常照明設備			
あ	非常照明（天井埋込）	1L40Wx1 （電池別置型）	

（注記）

1.特記なき配管配線は下記による。

〈誘導灯設備〉

——·——·—— VVF2.0-3C (PF22)

〈非常照明設備〉

——F—— FP2.0-2C (PF16)

2. × は照明器具及び配管配線の撤去を示す。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野 崇

加藤 悟

近藤 剛史

公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RE－ 022
非常照明・誘導灯設備 1階平面詳細図(精神科)(改修前)	A1：1/50 A3：1/100	

凡例

記号	名称	仕様	備考
誘導灯設備			
	ＬＥＤ避難口誘導灯	天井埋込型　片面	電池内蔵型
	ＬＥＤ通路誘導灯	天井埋込型　片面、矢印付	電池内蔵型
	ＬＥＤ通路誘導灯	天井埋込型　両面、矢印付	電池内蔵型
非常照明設備			
●	非常照明（埋込型）	ＬＥＤ　（ＪＤ５０Ｗ相当）×１	電池別置型

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

＜誘導灯設備＞

EM-EEF2.0-3C　　配管保護部分（PF22）

＜非常照明設備＞

FP2.0-2C　　配管保護部分（PF22）

＜共通＞

既設配管配線を利用

2．　は二重天井内ケーブルころがし配線を示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3．破線の器具は既設を示す。

4．防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇

加藤　悟

近藤　剛史

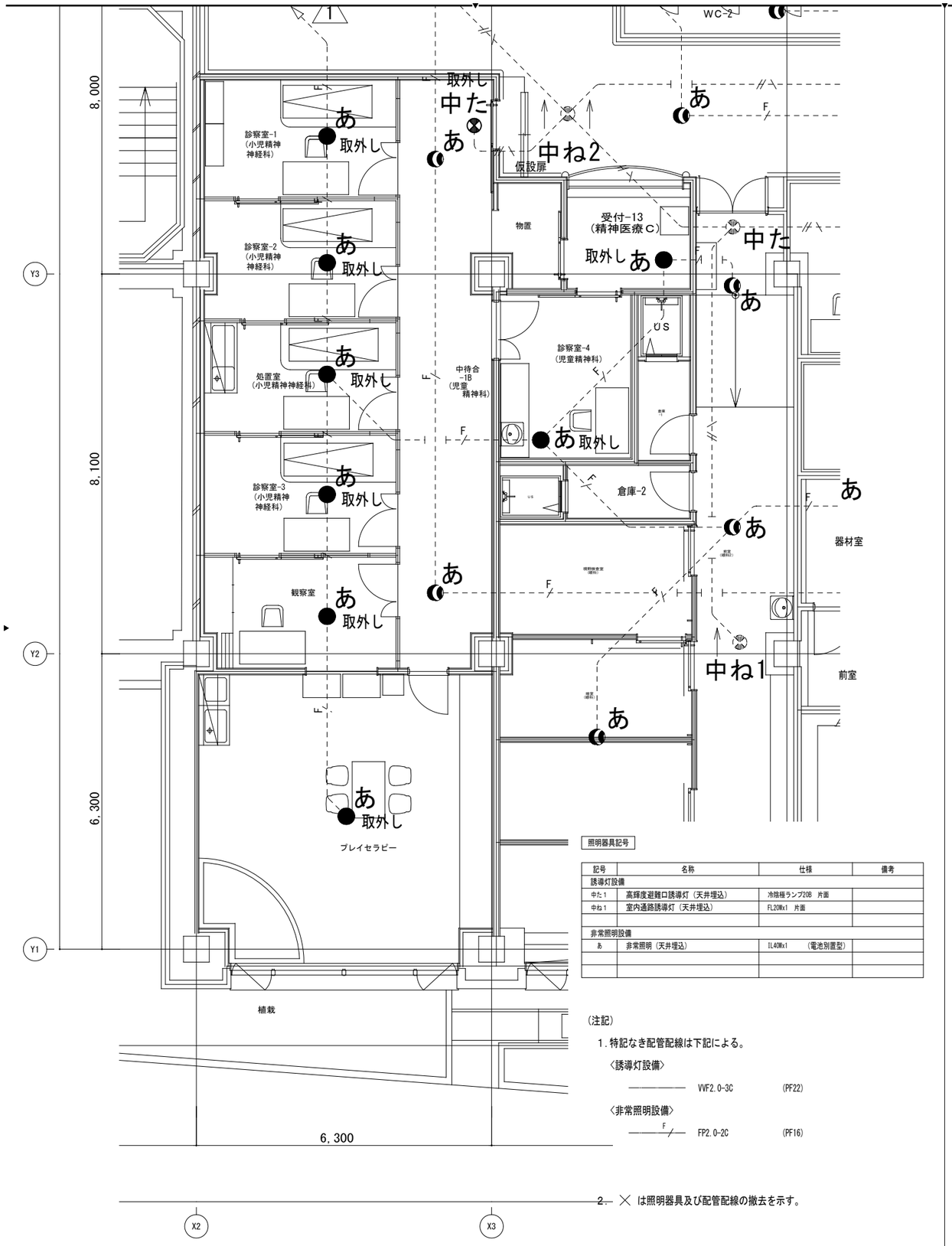
公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

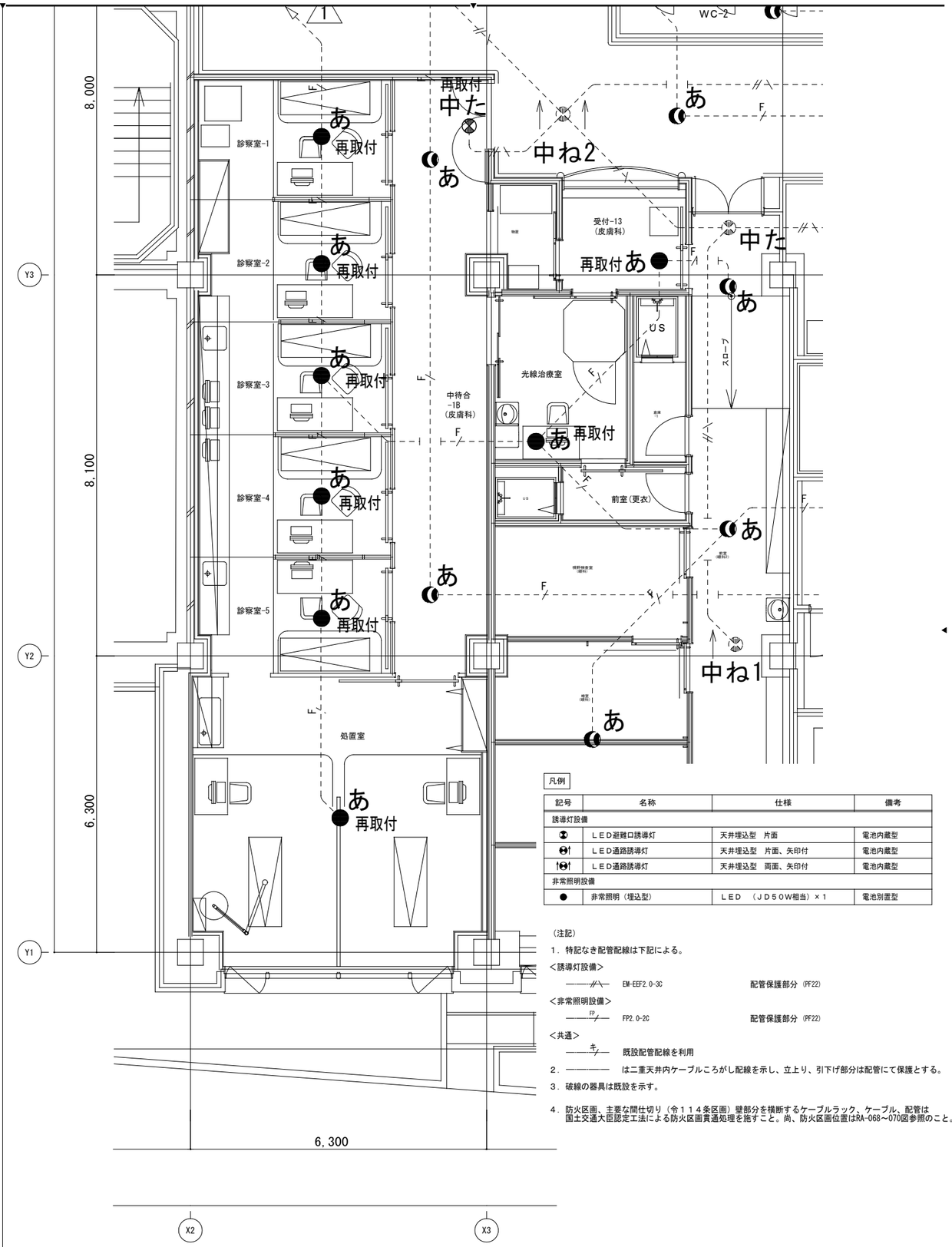
非常照明・誘導灯設備　１階平面詳細図（精神科）（改修後）

2022.03

A1：1/50
A3：1/100

RE－ 023





照明器具記号

記号	名称	仕様	備考
誘導灯設備			
中た1	高輝度避難口誘導灯（天井埋込）	冷陰極ランプ20B　片面	
中ね1	室内通路誘導灯（天井埋込）	FL20Wx1　片面	
非常照明設備			
あ	非常照明（天井埋込）	IL40Wx1　（電池別置型）	

（注記）

1. 特記なき配管配線は下記による。

〈誘導灯設備〉

VVF2.0-3C　(PF22)

〈非常照明設備〉

FP2.0-2C　(PF16)

2. ╳ は照明器具及び配管配線の撤去を示す。

凡例

記号	名称	仕様	備考
誘導灯設備			
	ＬＥＤ避難口誘導灯	天井埋込型　片面	電池内蔵型
	ＬＥＤ通路誘導灯	天井埋込型　片面、矢印付	電池内蔵型
	ＬＥＤ通路誘導灯	天井埋込型　両面、矢印付	電池内蔵型
非常照明設備			
●	非常照明（埋込型）	ＬＥＤ　（ＪＤ５０Ｗ相当）×１	電池別置型

（注記）

1. 特記なき配管配線は下記による。

＜誘導灯設備＞

EM-EEF2.0-3C　配管保護部分 (PF22)

＜非常照明設備＞

FP2.0-2C　配管保護部分 (PF22)

＜共通＞

既設配管配線を利用

2. ――― は二重天井内ケーブルころがし配線を示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3. 破線の器具は既設を示す。

4. 防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡　野　崇

加　藤　悟　　近藤　剛史

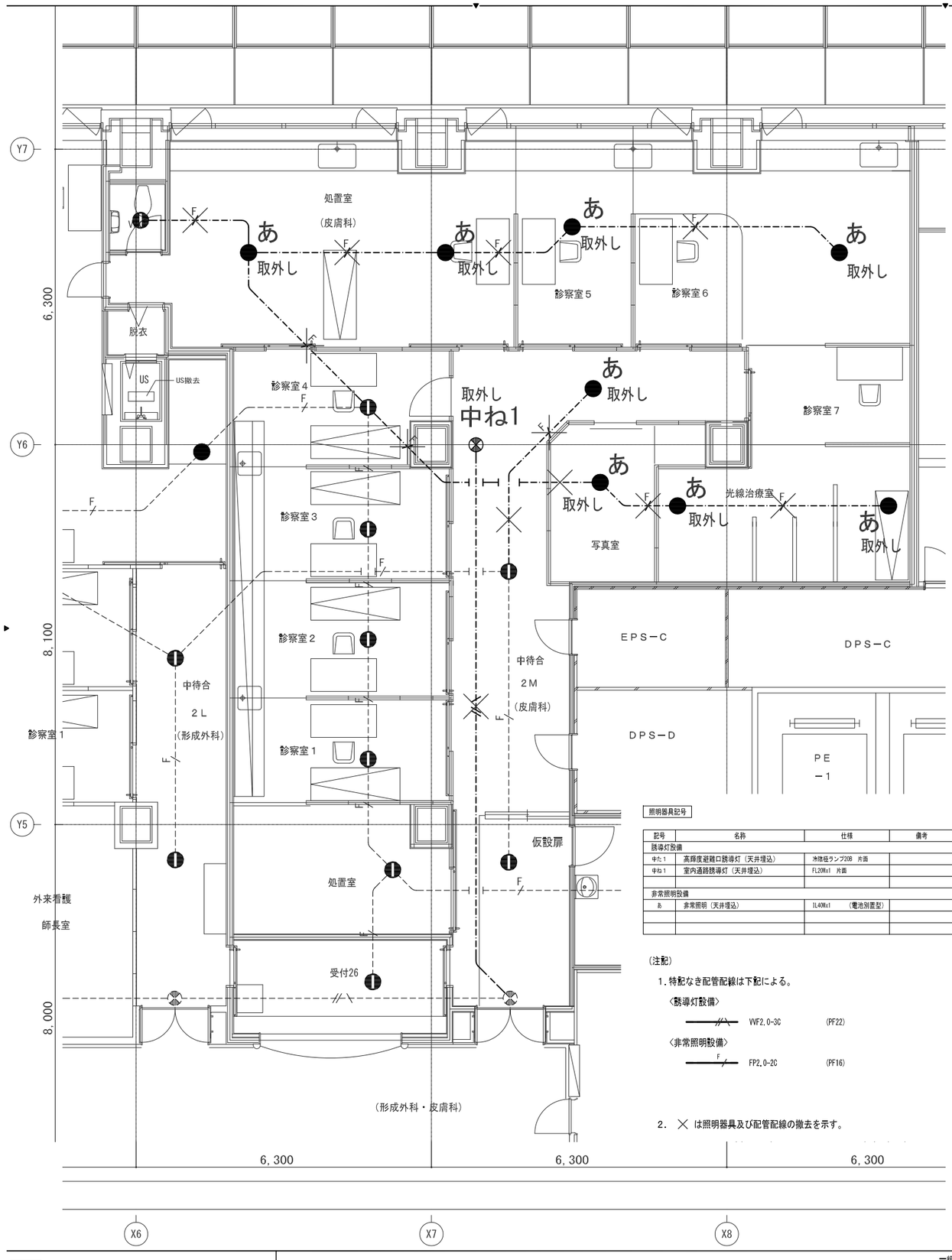
公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

非常照明・誘導灯設備　１階平面詳細図（皮膚科）（改修前）（改修後）

2022.03

A1：1/50
A3：1/100

RE － 024



照明器具記号

記号	名称	仕様	備考
誘導灯設備			
中た1	高輝度避難口誘導灯（天井埋込）	冷陰極ランプ20B 片面	
中ね1	室内通路誘導灯（天井埋込）	FL20W×1 片面	
非常照明設備			
あ	非常照明（天井埋込）	IL40W×1 （電池別置型）	

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

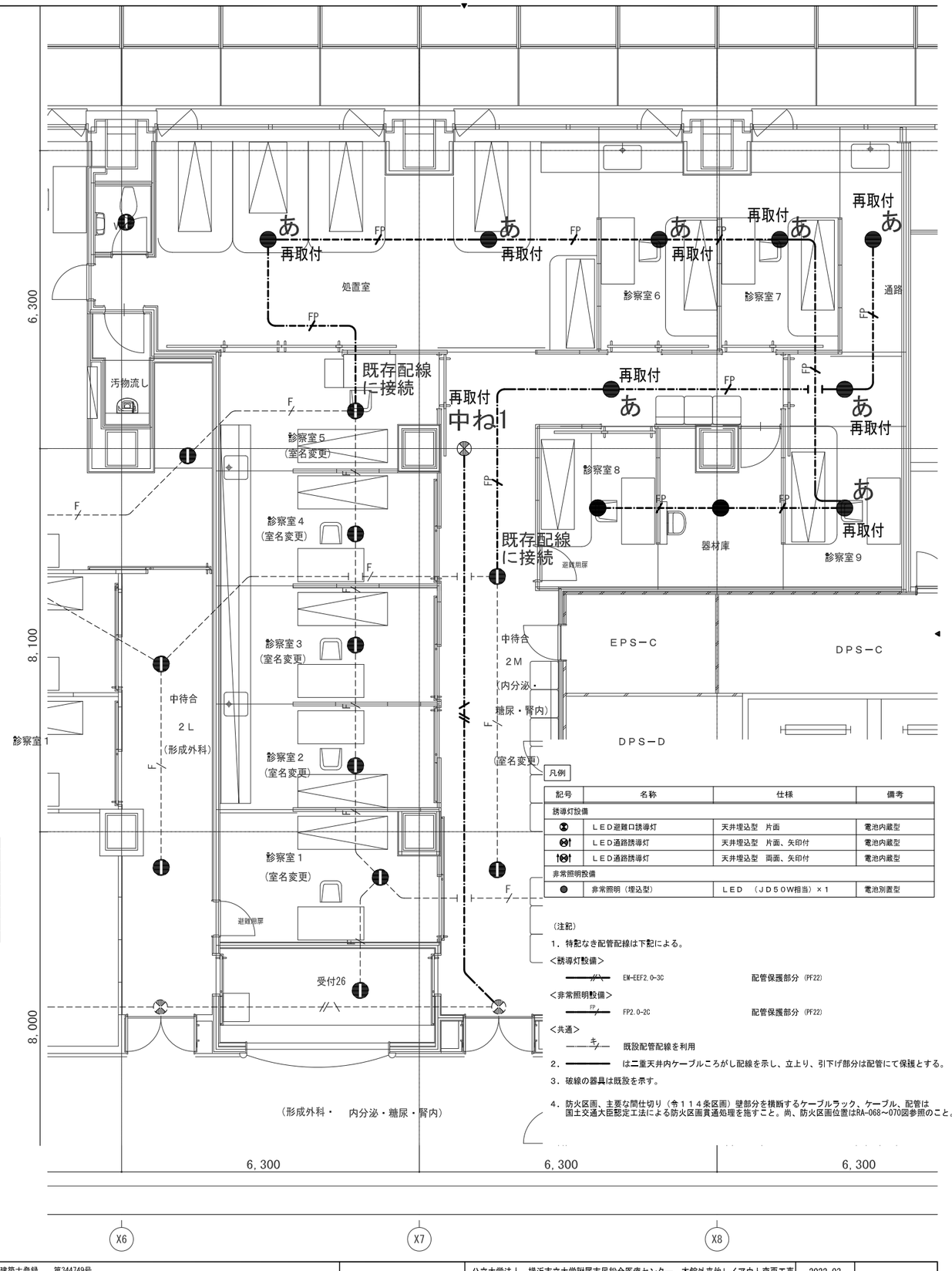
〈誘導灯設備〉

VVF2.0−3C (PF22)

〈非常照明設備〉

FP2.0−2C (PF16)

2．× は照明器具及び配管配線の撤去を示す。



凡例

記号	名称	仕様	備考
誘導灯設備			
	ＬＥＤ避難口誘導灯	天井埋込型 片面	電池内蔵型
	ＬＥＤ通路誘導灯	天井埋込型 片面、矢印付	電池内蔵型
	ＬＥＤ通路誘導灯	天井埋込型 両面、矢印付	電池内蔵型
非常照明設備			
	非常照明（埋込型）	ＬＥＤ （ＪＤ５０Ｗ相当）×１	電池別置型

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

＜誘導灯設備＞

EM−EEF2.0−3C 配管保護部分 (PF22)

＜非常照明設備＞

FP2.0−2C 配管保護部分 (PF22)

＜共通＞

既設配管配線を利用

2．——— は二重天井内ケーブルころがし配線を示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3．破線の器具は既設を示す。

4．防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA−068〜070図参照のこと。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野 崇

加藤 悟

近藤 剛史

公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事		2022.03	RE − 025
非常照明・誘導灯設備 ２階平面詳細図 （内分泌・糖尿）（改修前）（改修後）		A1：1/50 A3：1/100	

照明器具記号

記号	名称	仕様	備考
誘導灯設備			
中た1	高輝度避難口誘導灯（天井埋込）	冷陰極ランプ20Ø 片面	
中ね1	室内通路誘導灯（天井埋込）	FL20Wx1 片面	
非常照明設備			
あ	非常照明（天井埋込）	IL40Wx1 （電池別置型）	

（注記）

1. 特記なき配管配線は下記による。

〈誘導灯設備〉

VVF2.0-3C （PF22）

〈非常照明設備〉

F FP2.0-2C （PF16）

2. ×は照明器具及び配管配線の撤去を示す。

凡例

記号	名称	仕様	備考
誘導灯設備			
	ＬＥＤ避難口誘導灯	天井埋込型 片面	電池内蔵型
	ＬＥＤ通路誘導灯	天井埋込型 片面、矢印付	電池内蔵型
	ＬＥＤ通路誘導灯	天井埋込型 両面、矢印付	電池内蔵型
非常照明設備			
●	非常照明（埋込型）	ＬＥＤ （ＪＤ５０Ｗ相当）×１	電池別置型

（注記）

1. 特記なき配管配線は下記による。

＜誘導灯設備＞

EM-EEF2.0-3C 配管保護部分（PF22）

＜非常照明設備＞

FP FP2.0-2C 配管保護部分（PF22）

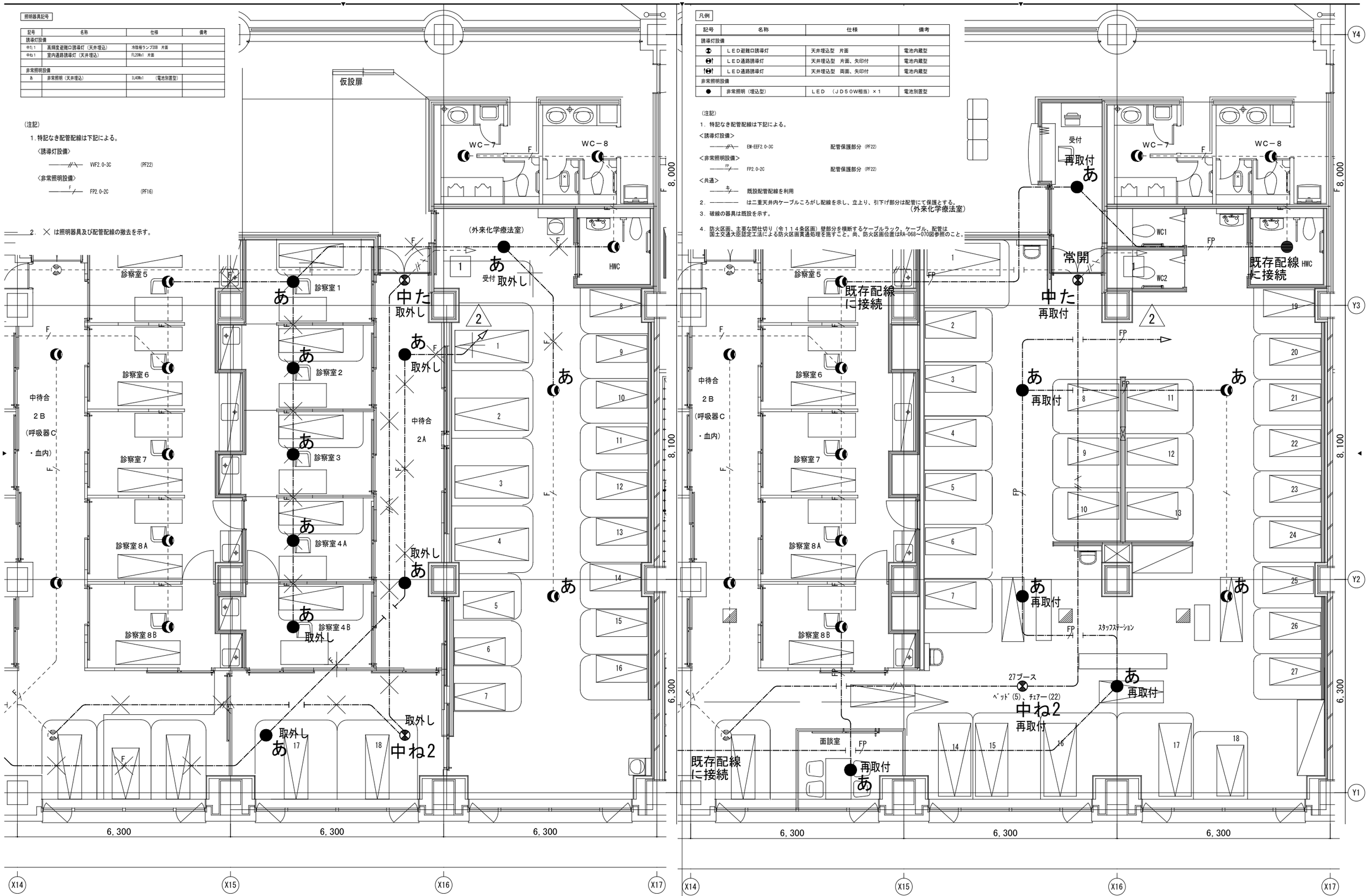
＜共通＞

既設配管配線を利用

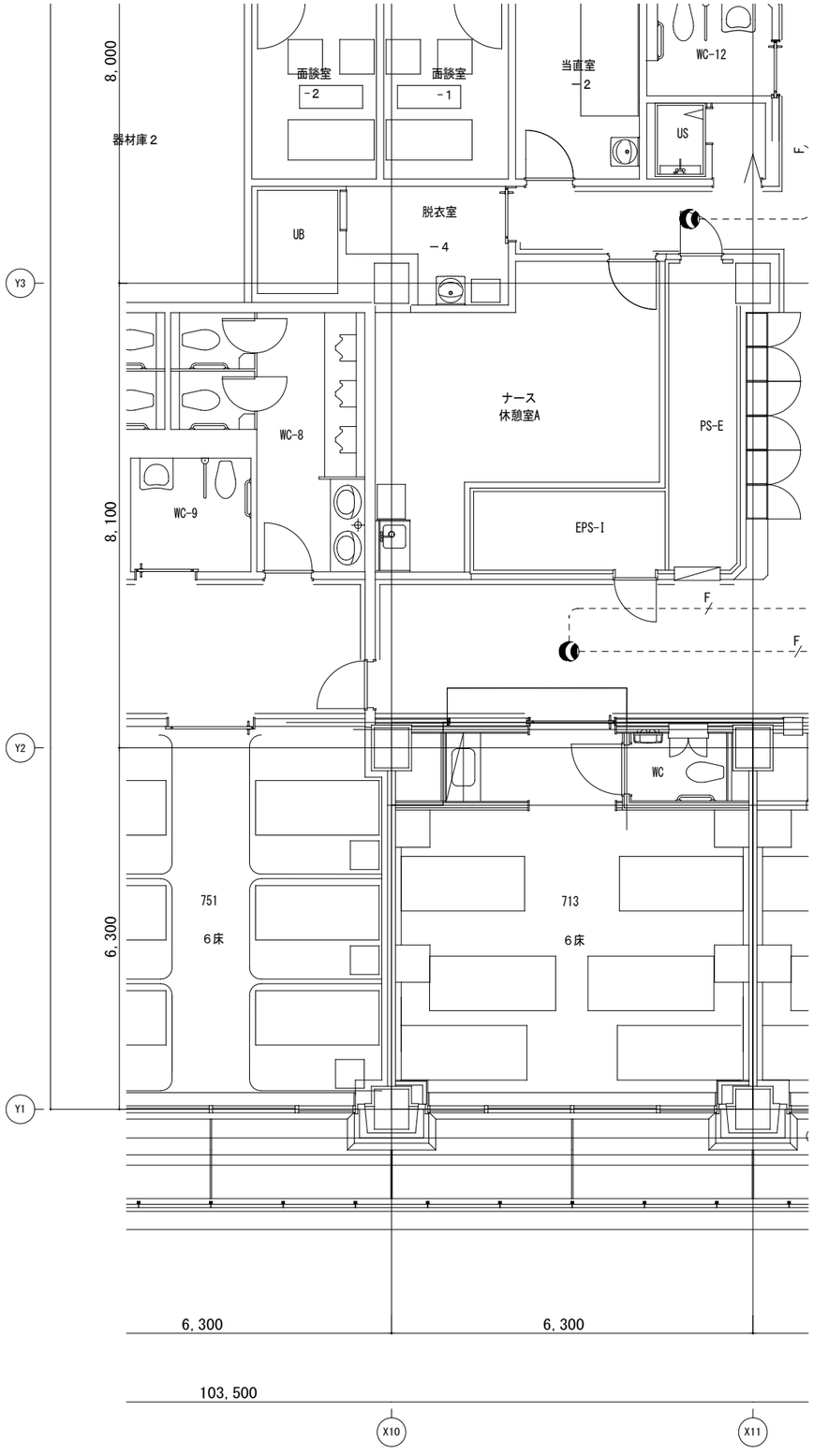
2. ――――― は二重天井内ケーブルころがし配線を示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

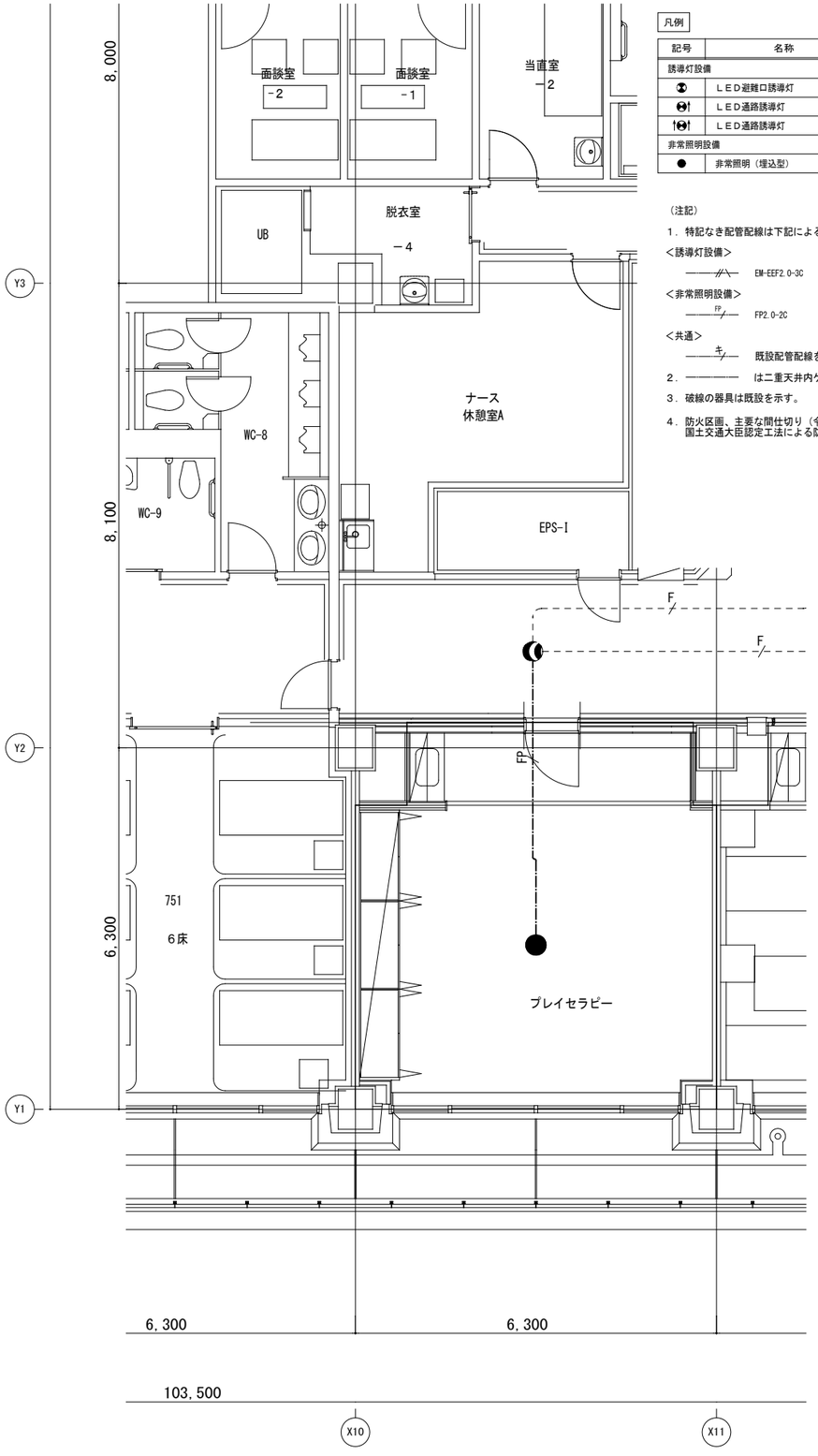
3. 破線の器具は既設を示す。

4. 防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。



株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第344749号 設備設計一級建築士 第4211号 岡野 崇	加藤 悟	近藤 剛史	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事 非常照明・誘導灯設備 ２階平面詳細図 （外来化学療法室）（改修前）（改修後）	2022.03 A1：1/50 A3：1/100	RE－026





凡例

記号	名称	仕様	備考
誘導灯設備			
	ＬＥＤ避難口誘導灯	天井埋込型　片面	電池内蔵型
	ＬＥＤ通路誘導灯	天井埋込型　片面、矢印付	電池内蔵型
	ＬＥＤ通路誘導灯	天井埋込型　両面、矢印付	電池内蔵型
非常照明設備			
●	非常照明（埋込型）	ＬＥＤ　（ＪＤ５０Ｗ相当）×１	電池別置型

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

＜誘導灯設備＞

EM-EEF2.0-3C　　配管保護部分（PF22）

＜非常照明設備＞

FP2.0-2C　　配管保護部分（PF22）

＜共通＞

既設配管配線を利用

2．　　は二重天井内ケーブルころがし配線を示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3．破線の器具は既設を示す。

4．防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。

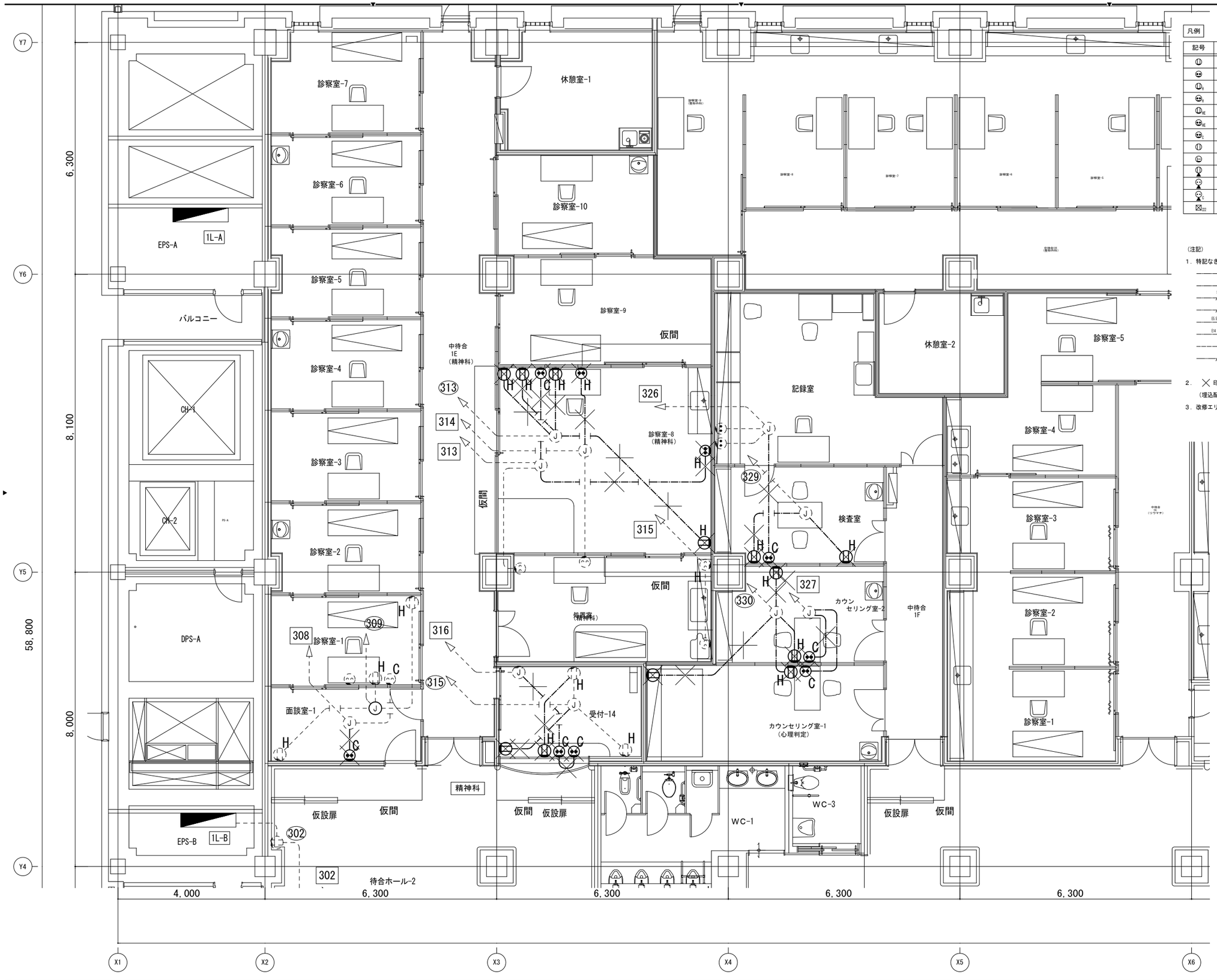
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇

加藤　悟

近藤　剛史

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RE－027
非常照明・誘導灯設備　７階平面詳細図(改修前・改修後)	A1：1/50 A3：1/100	



凡例

記号	名称	仕様	備考
⊐	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
⊐	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
⊐H	医用コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
⊐H	医用コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
⊐HE	医用コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２、ＥＴ付	
⊐HE	医用コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２、ＥＴ付	ＧＣ回路
⊐C	情報用コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
⊐	天井埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
⊏	埋込コンセント（２００Ｖ）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×１	
⊐	埋込コンセント（床）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
⊐	埋込コンセント（床）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
⊐C	情報用埋込コンセント（床）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
222	プルボックス	２００×２００×２００	

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

VVF2.0-2C			
VVF2.0-3C	（内１本アース）	配管保護部分 (PF22)	
5.5 CV5.5-3C	（内１本アース）	配管保護部分 (PF28)	
EM EM-EEF2.0-3C	（内１本アース）	配管保護部分 (PF22)	
E5.5 5.5x1			
EH 14x1			
2.0x2.E2.0		配管保護部分 (E19)	
EM EM-EEF2.0-3C	（内１本アース）	配管保護部分 (PF22)	ＯＡフロア内

2．╳ 印の器具及び配管配線の撤去を行う。
（埋込配管においては配線のみ撤去とする）

3．改修エリア内を通過する配管配線については撤去しないこと。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡　野　　崇

加　藤　　悟

近藤　剛史

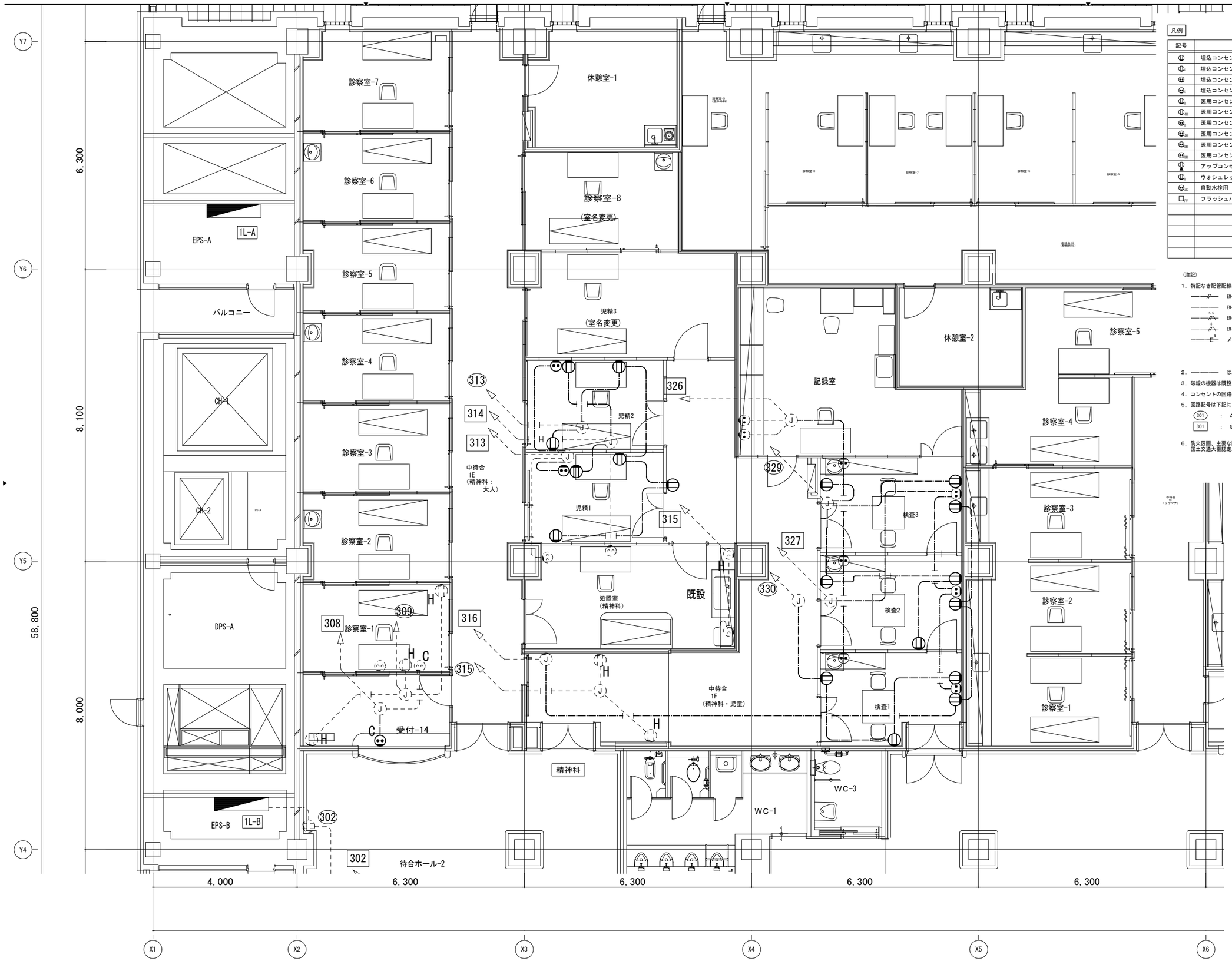
公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

コンセント設備　１階平面詳細図(精神科)(改修前)

2022.03

A1：1/50
A3：1/100

RE－028



凡例

記号	名称	仕様	備考
⊕	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
⊕4	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×４	
⊕G	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
⊕G4	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×４	ＧＣ回路
⊕M	医用コンセント（埋込）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
⊕M4	医用コンセント（埋込）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×４	
⊕MG	医用コンセント（埋込）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
⊕MG4	医用コンセント（埋込）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×４	ＧＣ回路
⊕MU	医用コンセント（埋込）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＵＰＳ回路
⊕MU	医用コンセント（天井）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＵＰＳ回路
⊕	アップコンセント（床埋込）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
⊕W	ウォシュレット用	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×１	
⊕WG	自動水栓用	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×１	ＧＣ回路
□FV	フラッシュバルブ用		

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

- ——//—— EM-EEF2.0-2C　配管保護部分（PF16）
- ——//—— EM-EEF2.0-3C　（内１本アース）配管保護部分（PF22）
- ——//—— EM-CE5.5-3C　（内１本アース）配管保護部分（PF22）
- ——//—— EM-CE8-3C　（内１本アース）配管保護部分（PF22）
- ——E—— メタルモールにて保護

2．————　は二重天井内ケーブルころがし配線を示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3．破線の機器は既設を示す。

4．コンセントの回路は既設回路及び予備回路を利用とする。

5．回路記号は下記による。

- (301)　：　ＡＣ１００Ｖ回路（既設）
- 301　：　ＧＣ１００Ｖ回路（既設）

6．防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡　野　　崇

加　藤　　悟

近藤　剛史

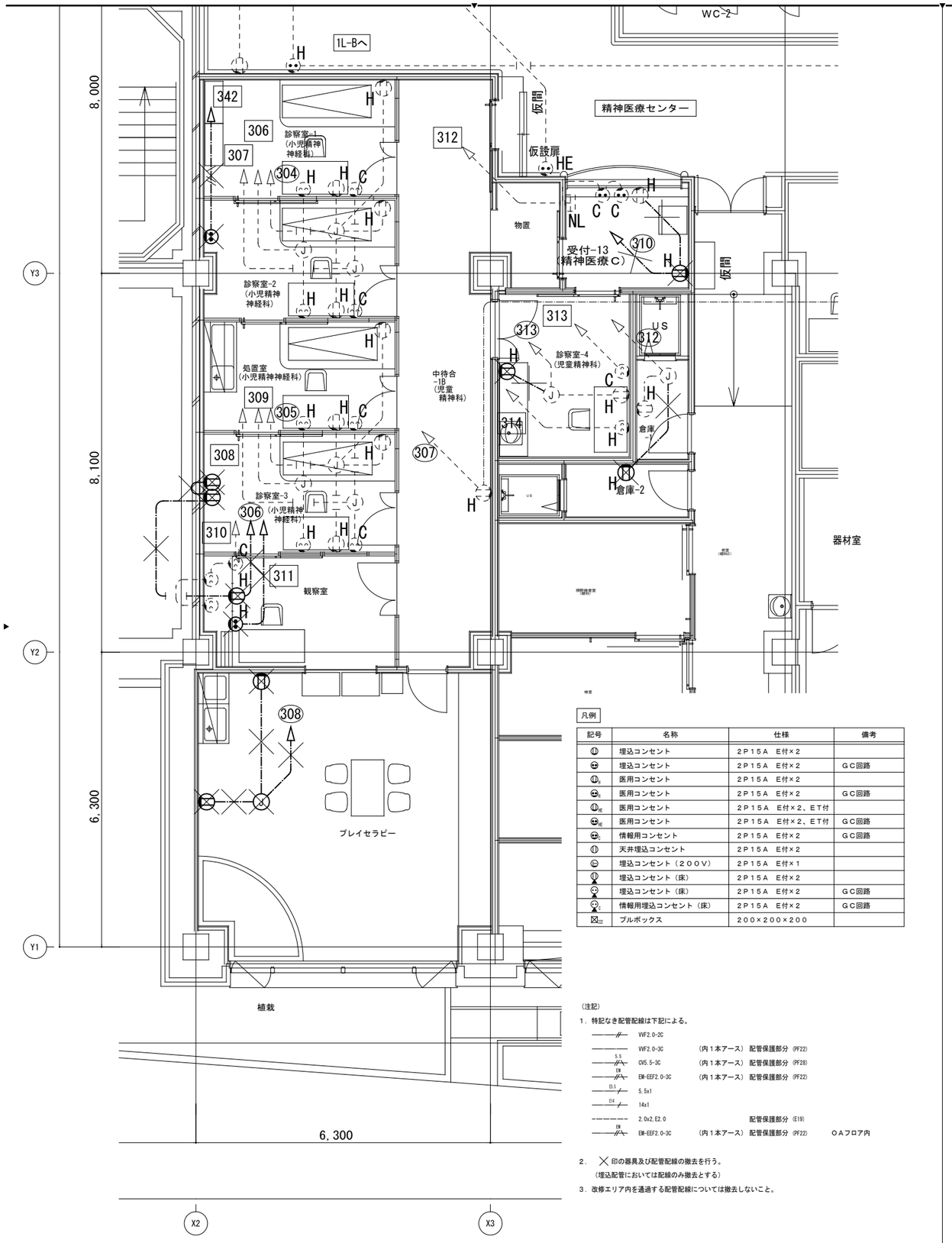
公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

コンセント設備　１階平面詳細図(精神科)(改修後)

2022.03

A1：1/50
A3：1/100

RE－ 029



凡例

記号	名称	仕様	備考
	埋込コンセント	2P15A　E付×2	
	埋込コンセント	2P15A　E付×2	GC回路
	医用コンセント	2P15A　E付×2	
	医用コンセント	2P15A　E付×2	GC回路
	医用コンセント	2P15A　E付×2、ET付	
	医用コンセント	2P15A　E付×2、ET付	GC回路
	情報用コンセント	2P15A　E付×2	GC回路
	天井埋込コンセント	2P15A　E付×2	
	埋込コンセント（200V）	2P15A　E付×1	
	埋込コンセント（床）	2P15A　E付×2	
	埋込コンセント（床）	2P15A　E付×2	GC回路
	情報用埋込コンセント（床）	2P15A　E付×2	GC回路
	プルボックス	200×200×200	

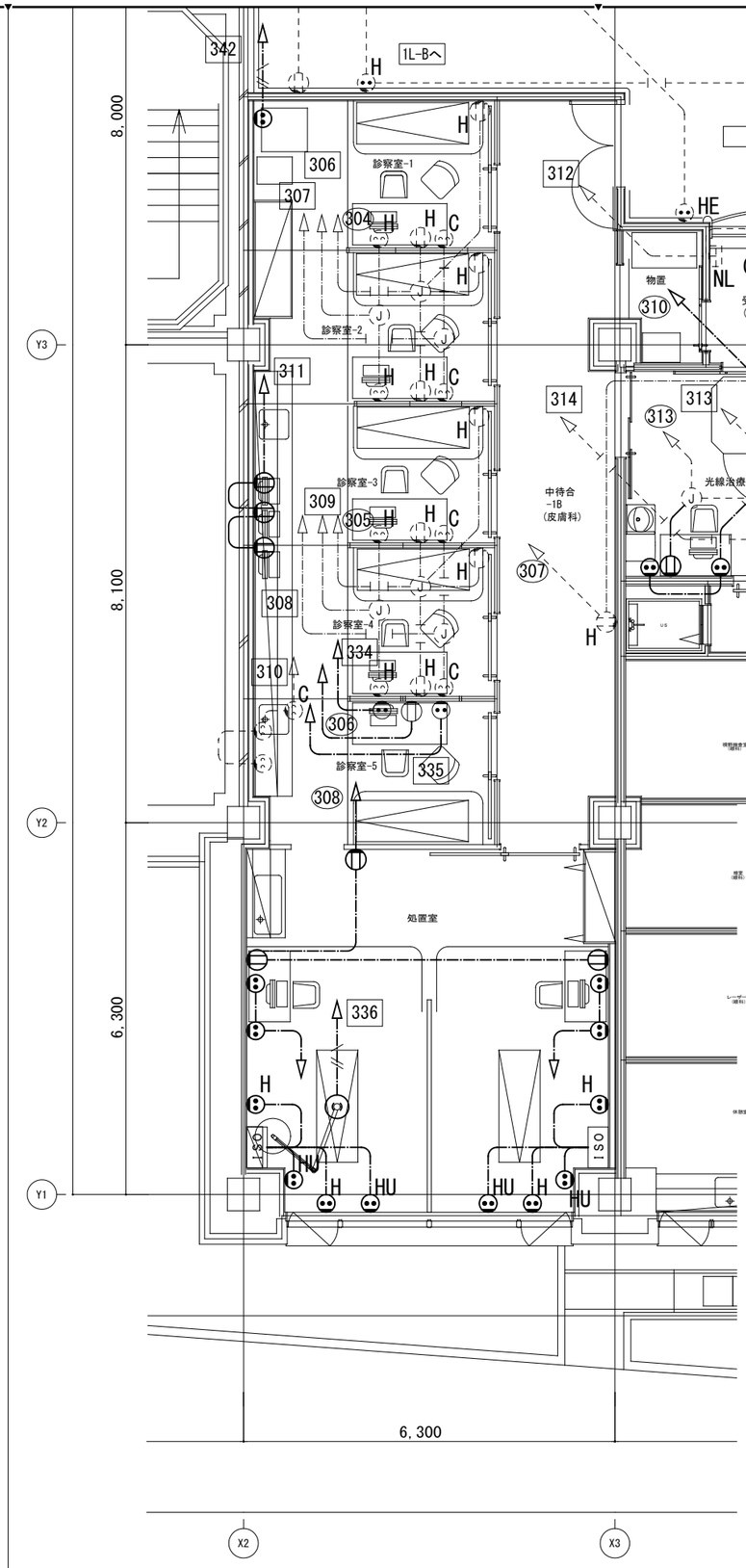
（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

	VWF2.0-2C		
	VWF2.0-3C	（内1本アース）	配管保護部分（PF22）
5.5	CV5.5-3C	（内1本アース）	配管保護部分（PF28）
EM	EM-EEF2.0-3C	（内1本アース）	配管保護部分（PF22）
E5.5	5.5x1		
E14	14x1		
	2.0x2.E2.0		配管保護部分（E19）
EM	EM-EEF2.0-3C	（内1本アース）	配管保護部分（PF22）　OAフロア内

2．╳印の器具及び配管配線の撤去を行う。
（埋込配管においては配線のみ撤去とする）

3．改修エリア内を通過する配管配線については撤去しないこと。



凡例

記号	名称	仕様	備考
	埋込コンセント	2P15A　E付×2	
	埋込コンセント	2P15A　E付×4	
	埋込コンセント	2P15A　E付×2	GC回路
	埋込コンセント	2P15A　E付×4	GC回路
	医用コンセント（埋込）	2P15A　E付×2	
	医用コンセント（埋込）	2P15A　E付×4	
	医用コンセント（埋込）	2P15A　E付×2	GC回路
	医用コンセント（埋込）	2P15A　E付×4	GC回路
	医用コンセント（埋込）	2P15A　E付×2	UPS回路
	医用コンセント（天井）	2P15A　E付×2	UPS回路
	アップコンセント（床埋込）	2P15A　E付×2	
	ウォシュレット用	2P15A　E付×1	
	自動水栓用	2P15A　E付×1	GC回路
	フラッシュバルブ用		

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

	EM-EEF2.0-2C		配管保護部分（PF16）
	EM-EEF2.0-3C	（内1本アース）	配管保護部分（PF22）
5.5	EM-CE5.5-3C	（内1本アース）	配管保護部分（PF22）
8	EM-CE8-3C	（内1本アース）	配管保護部分（PF22）
8	メタルモールにて保護		

2．――――は二重天井内ケーブルころがし配線を示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3．破線の機器は既設を示す。

4．コンセントの回路は既設回路及び予備回路を利用とする。

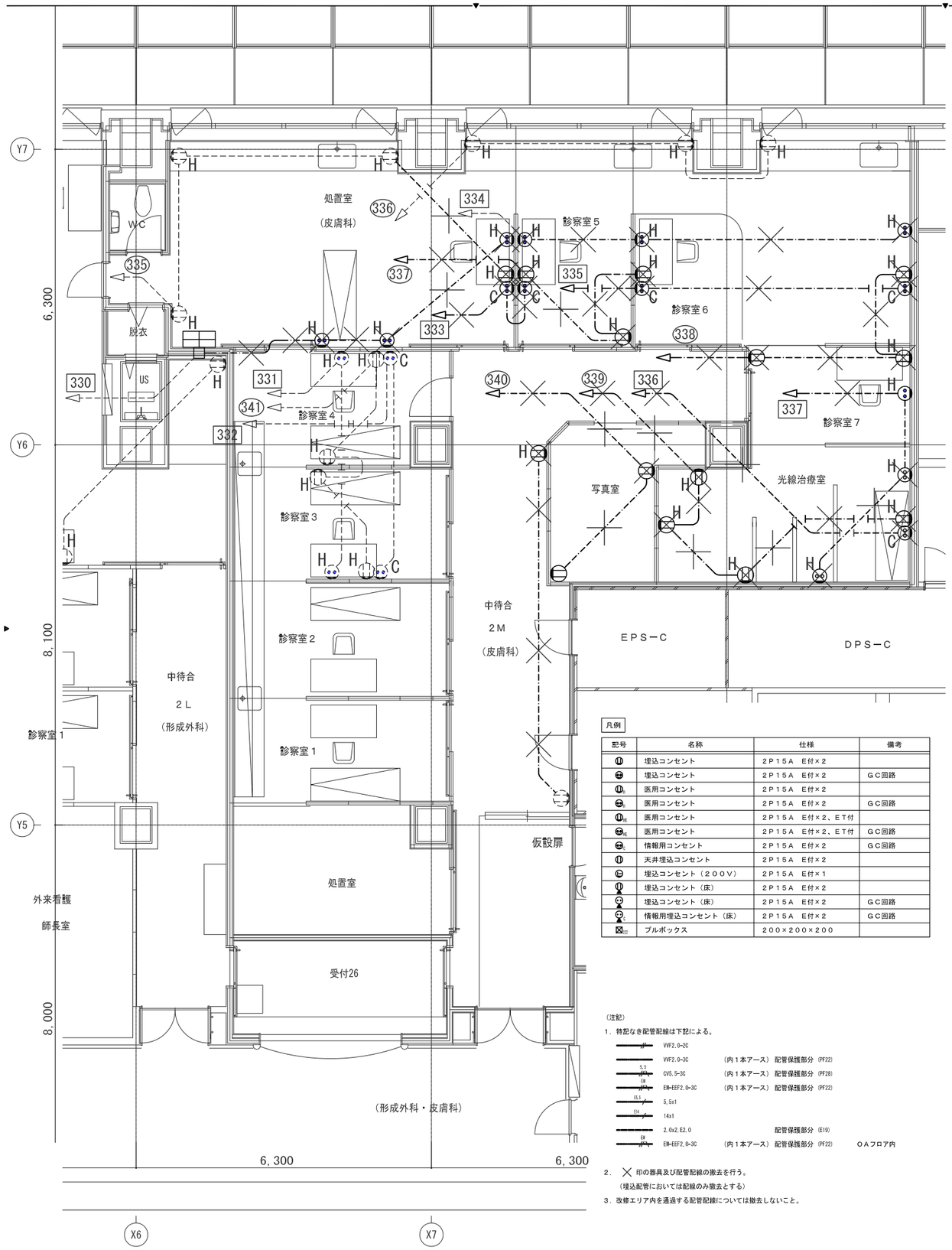
5．回路記号は下記による。

301　：　AC100V回路（既設）

301　：　GC100V回路（既設）

6．防火区画、主要な間仕切り（令114条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡　野　崇	加　藤　悟	近藤　剛史	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事 コンセント設備　1階平面詳細図（皮膚科）（改修前）（改修後）	2022.03 A1：1/50 A3：1/100	RE－030



凡例

記号	名称	仕様	備考
ⓤ	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
ⓤGC	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
ⓤM	医用コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
ⓤMGC	医用コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
ⓤME	医用コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２、ＥＴ付	
ⓤMEGC	医用コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２、ＥＴ付	ＧＣ回路
ⓤC	情報用コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
ⓤ	天井埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
ⓤ	埋込コンセント（２００Ｖ）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×１	
ⓤ	埋込コンセント（床）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
ⓤ	埋込コンセント（床）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
ⓤC	情報用埋込コンセント（床）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
⊠	プルボックス	２００×２００×２００	

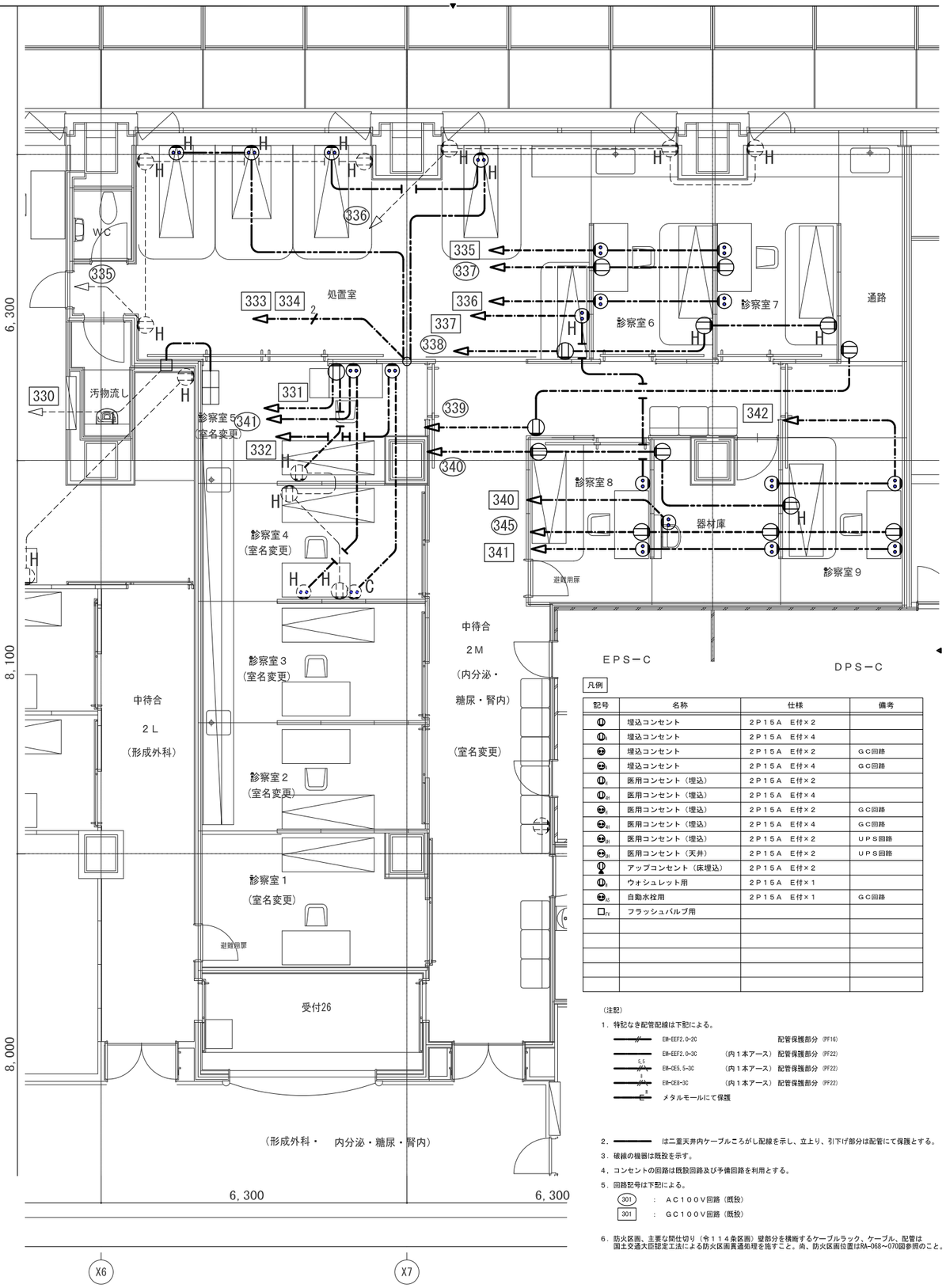
（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

VVF2.0-2C		
VVF2.0-3C	（内１本アース）	配管保護部分（PF22）
5.5 CV5.5-3C	（内１本アース）	配管保護部分（PF28）
EM EM-EEF2.0-3C	（内１本アース）	配管保護部分（PF22）
EL1 5.5x1		
EH 14x1		
2.0x2.E2.0		配管保護部分（E19）
EM EM-EEF2.0-3C	（内１本アース）	配管保護部分（PF22）　ＯＡフロア内

2．✕ 印の器具及び配管配線の撤去を行う。
（埋込配管においては配線のみ撤去とする）

3．改修エリア内を通過する配管配線については撤去しないこと。



凡例

記号	名称	仕様	備考
ⓤ	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
ⓤ4	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×４	
ⓤGC	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
ⓤ4GC	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×４	ＧＣ回路
ⓤM	医用コンセント（埋込）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
ⓤM4	医用コンセント（埋込）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×４	
ⓤMGC	医用コンセント（埋込）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
ⓤM4GC	医用コンセント（埋込）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×４	ＧＣ回路
ⓤMUPS	医用コンセント（埋込）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＵＰＳ回路
ⓤMUPS	医用コンセント（天井）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＵＰＳ回路
ⓤ	アップコンセント（床埋込）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
ⓤW	ウォシュレット用	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×１	
WS	自動水栓用	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×１	ＧＣ回路
□TV	フラッシュバルブ用		

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

EM-EEF2.0-2C		配管保護部分（PF16）
EM-EEF2.0-3C	（内１本アース）	配管保護部分（PF22）
5.5 EM-CE5.5-3C	（内１本アース）	配管保護部分（PF22）
8 EM-CE8-3C	（内１本アース）	配管保護部分（PF22）
	メタルモールにて保護	

2．——— は二重天井内ケーブルころがし配線を示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3．破線の機器は既設を示す。

4．コンセントの回路は既設回路及び予備回路を利用とする。

5．回路記号は下記による。

301　：　ＡＣ１００Ｖ回路（既設）

301　：　ＧＣ１００Ｖ回路（既設）

6．防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。

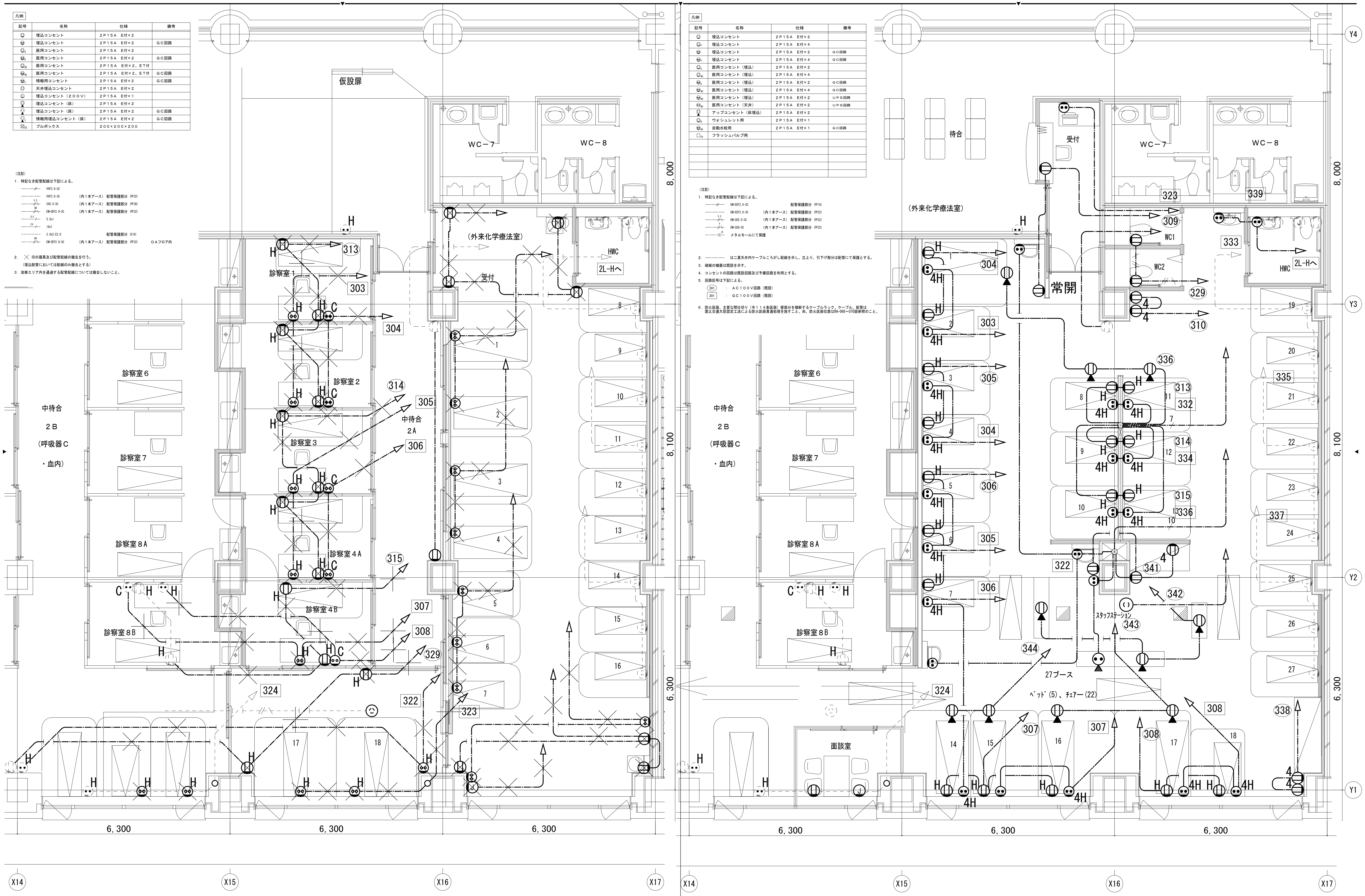
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡　野　崇

加　藤　悟

近藤　剛史

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RE－ 031	
コンセント設備　２階平面詳細図（内分泌・糖尿）（改修前）（改修後）	A1：1/50 A3：1/100		



凡例（改修前）

記号	名称	仕様	備考
	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
	医用コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
	医用コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
	医用コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２、ＥＴ付	
	医用コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２、ＥＴ付	ＧＣ回路
	情報用コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
	天井埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
	埋込コンセント（２００Ｖ）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×１	
	埋込コンセント（床）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
	埋込コンセント（床）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
	情報用埋込コンセント（床）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
	プルボックス	２００×２００×２００	

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。
- VVF2.0-2C
- VVF2.0-3C　（内１本アース）配管保護部分 (PF22)
- CV5.5-3C　（内１本アース）配管保護部分 (PF28)
- EM-EEF2.0-3C　（内１本アース）配管保護部分 (PF22)
- 5.5x1
- 14x1
- 2.0x2, E2.0　配管保護部分 (E19)
- EM-EEF2.0-3C　（内１本アース）配管保護部分 (PF22)　ＯＡフロア内

2．╳ 印の器具及び配管配線の撤去を行う。
（埋込配管においては配線のみ撤去とする）

3．改修エリア内を通過する配管配線については撤去しないこと。

凡例（改修後）

記号	名称	仕様	備考
	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×４	
	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×４	ＧＣ回路
	医用コンセント（埋込）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
	医用コンセント（埋込）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×４	
	医用コンセント（埋込）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
	医用コンセント（埋込）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×４	ＧＣ回路
	医用コンセント（埋込）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＵＰＳ回路
	医用コンセント（天井）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＵＰＳ回路
	アップコンセント（床埋込）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
	ウォシュレット用	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×１	
	自動水栓用	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×１	ＧＣ回路
	フラッシュバルブ用		

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。
- EM-EEF2.0-2C　配管保護部分 (PF16)
- EM-EEF2.0-3C　（内１本アース）配管保護部分 (PF22)
- EM-CE5.5-3C　（内１本アース）配管保護部分 (PF22)
- EM-CE8-3C　（内１本アース）配管保護部分 (PF22)
- メタルモールにて保護

2．――― は二重天井内ケーブルころがし配線を示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3．破線の機器は既設を示す。

4．コンセントの回路は既設回路及び予備回路を利用とする。

5．回路記号は下記による。
- (301)　：　ＡＣ１００Ｖ回路（既設）
- [301]　：　ＧＣ１００Ｖ回路（既設）

6．防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡　野　　崇

加　藤　　悟

近藤　剛史

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

コンセント設備　２階平面詳細図
（外来化学療法室）（改修前）（改修後）

2022.03

A1：1/50
A3：1/100

RE － 032

凡例

記号	名称	仕様	備考
	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
	医用コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
	医用コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
	医用コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２、ＥＴ付	
	医用コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２、ＥＴ付	ＧＣ回路
	情報用コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
	天井埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
	埋込コンセント（２００Ｖ）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×１	
	埋込コンセント（床）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
	埋込コンセント（床）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
	情報用埋込コンセント（床）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
	プルボックス	２００×２００×２００	

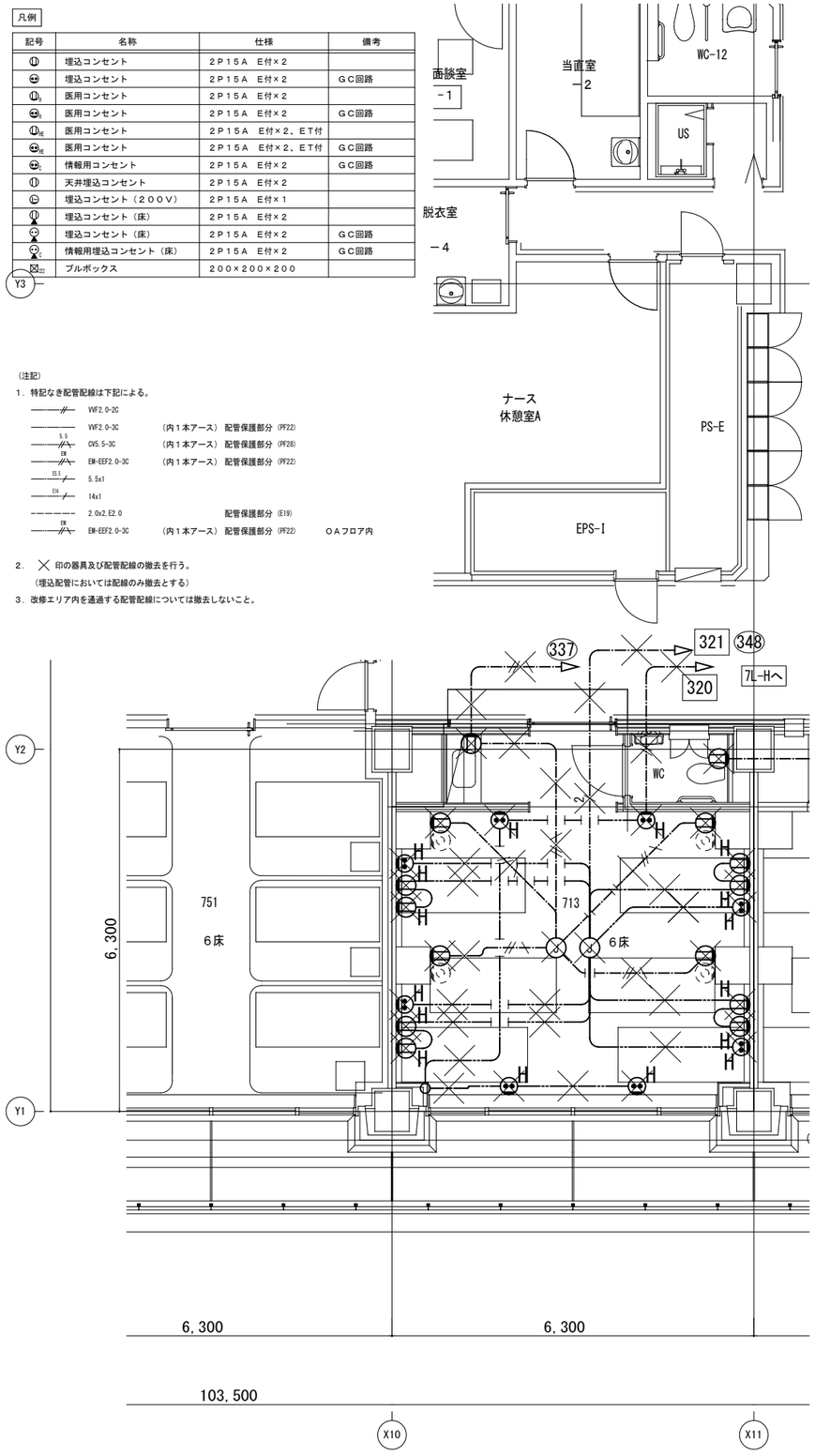
（注記）

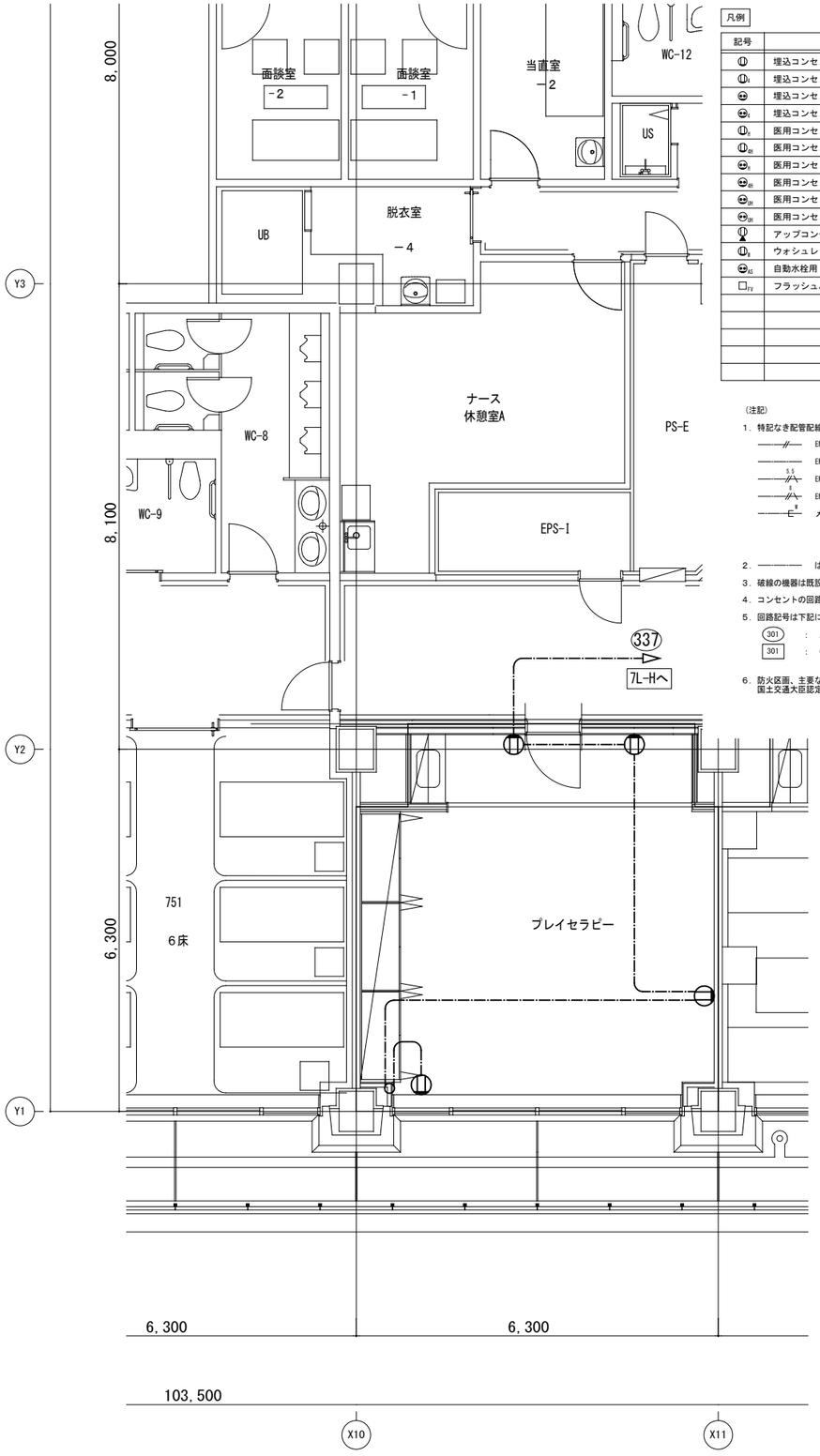
1．特記なき配管配線は下記による。

VVF2.0-2C			
VVF2.0-3C	（内１本アース）	配管保護部分	(PF22)
CV5.5-3C	（内１本アース）	配管保護部分	(PF28)
EM-EEF2.0-3C	（内１本アース）	配管保護部分	(PF22)
5.5x1			
14x1			
2.0x2.E2.0		配管保護部分	(E19)
EM-EEF2.0-3C	（内１本アース）	配管保護部分	(PF22)　ＯＡフロア内

2．　╳　印の器具及び配管配線の撤去を行う。
（埋込配管においては配線のみ撤去とする）

3．改修エリア内を通過する配管配線については撤去しないこと。





凡例

記号	名称	仕様	備考
	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×４	
	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×４	ＧＣ回路
	医用コンセント（埋込）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
	医用コンセント（埋込）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×４	
	医用コンセント（埋込）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＧＣ回路
	医用コンセント（埋込）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×４	ＧＣ回路
	医用コンセント（埋込）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＵＰＳ回路
	医用コンセント（天井）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	ＵＰＳ回路
	アップコンセント（床埋込）	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×２	
	ウォシュレット用	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×１	
	自動水栓用	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×１	ＧＣ回路
	フラッシュバルブ用		

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

EM-EEF2.0-2C		配管保護部分	(PF16)
EM-EEF2.0-3C	（内１本アース）	配管保護部分	(PF22)
EM-CE5.5-3C	（内１本アース）	配管保護部分	(PF22)
EM-CE8-3C	（内１本アース）	配管保護部分	(PF22)
メタルモールにて保護			

2．　　は二重天井内ケーブルころがし配線を示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3．破線の機器は既設を示す。

4．コンセントの回路は既設回路及び予備回路を利用とする。

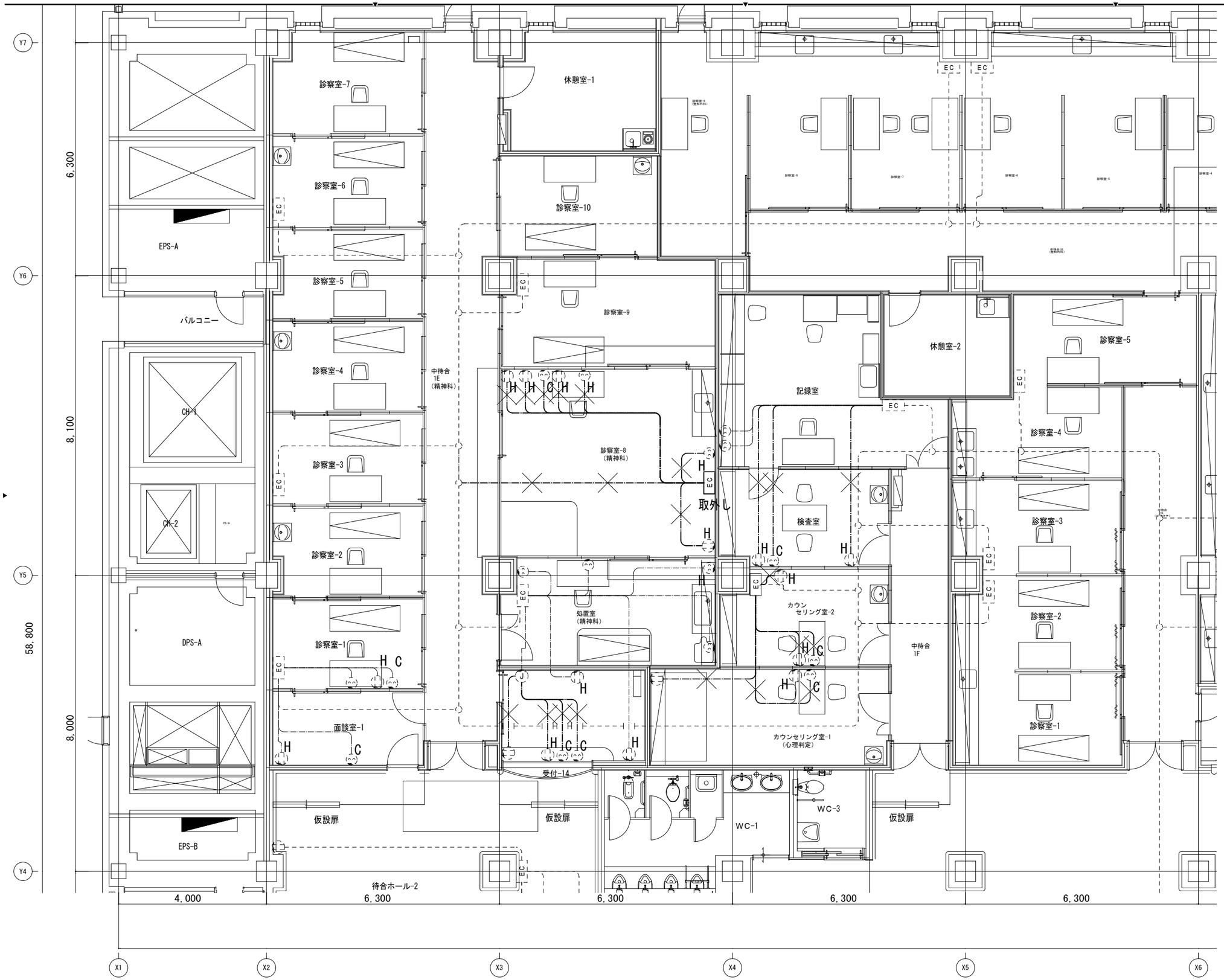
5．回路記号は下記による。

301　：　ＡＣ１００Ｖ回路（既設）

301　：　ＧＣ１００Ｖ回路（既設）

6．防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡　野　崇	加　藤　悟	近藤　剛史	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事 コンセント設備　７階平面詳細図（改修前・改修後）
2022.03 A1：1/50 A3：1/100	RE － 033			



凡例

記号	名称	備考
EC	アースセンター	

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

――――	IV5.5x1	(PF16)
―14―	IV14x1	(PF16)
―22―	IV22x1 既設流用	(PF16)

2．―――― は二重天井内ケーブルころがしを示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3．╳ は撤去を示し、配管配線の撤去を行う。

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第344749号 設備設計一級建築士 第4211号 岡 野 崇	加 藤 悟	近藤 剛史	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事 医用接地設備 1階平面詳細図（精神科）（改修前）

2022.03	RE － 034
A1：1/50 A3：1/100	

凡例

記号	名称	備考
EC	アースセンター	

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

——————　EM-IE5.5x1　(PF16)

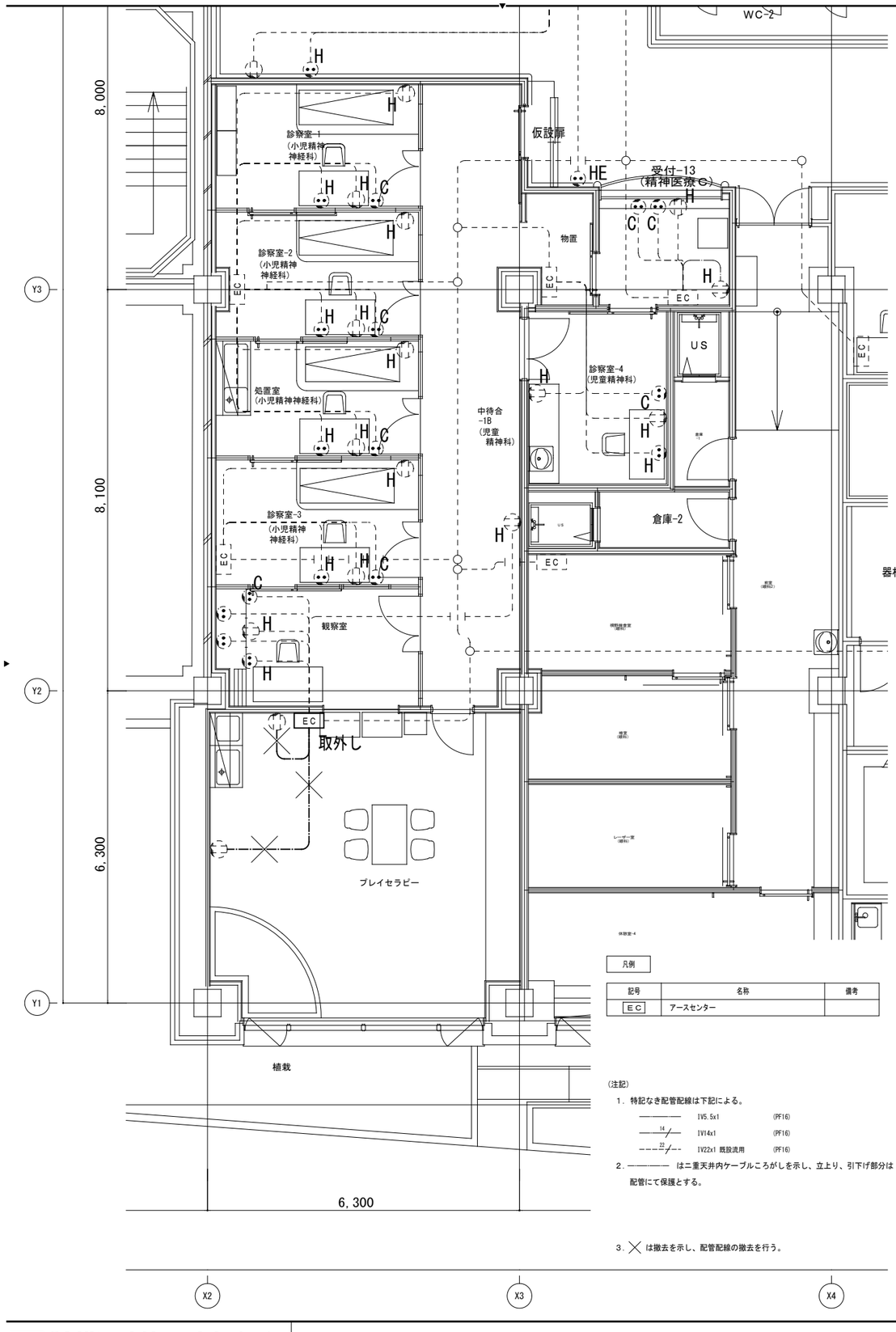
——14／——　EM-IE14x1　(PF16)

——キ／——　既設配線を利用

2．——————　はニ重天井内ケーブルころがしを示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3．防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡野　崇	加藤　悟	近藤　剛史	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事 医用接地設備　１階平面詳細図(精神科)(改修後)	2022.03 A1：1/50 A3：1/100	RE－035



凡例

記号	名称	備考
EC	アースセンター	

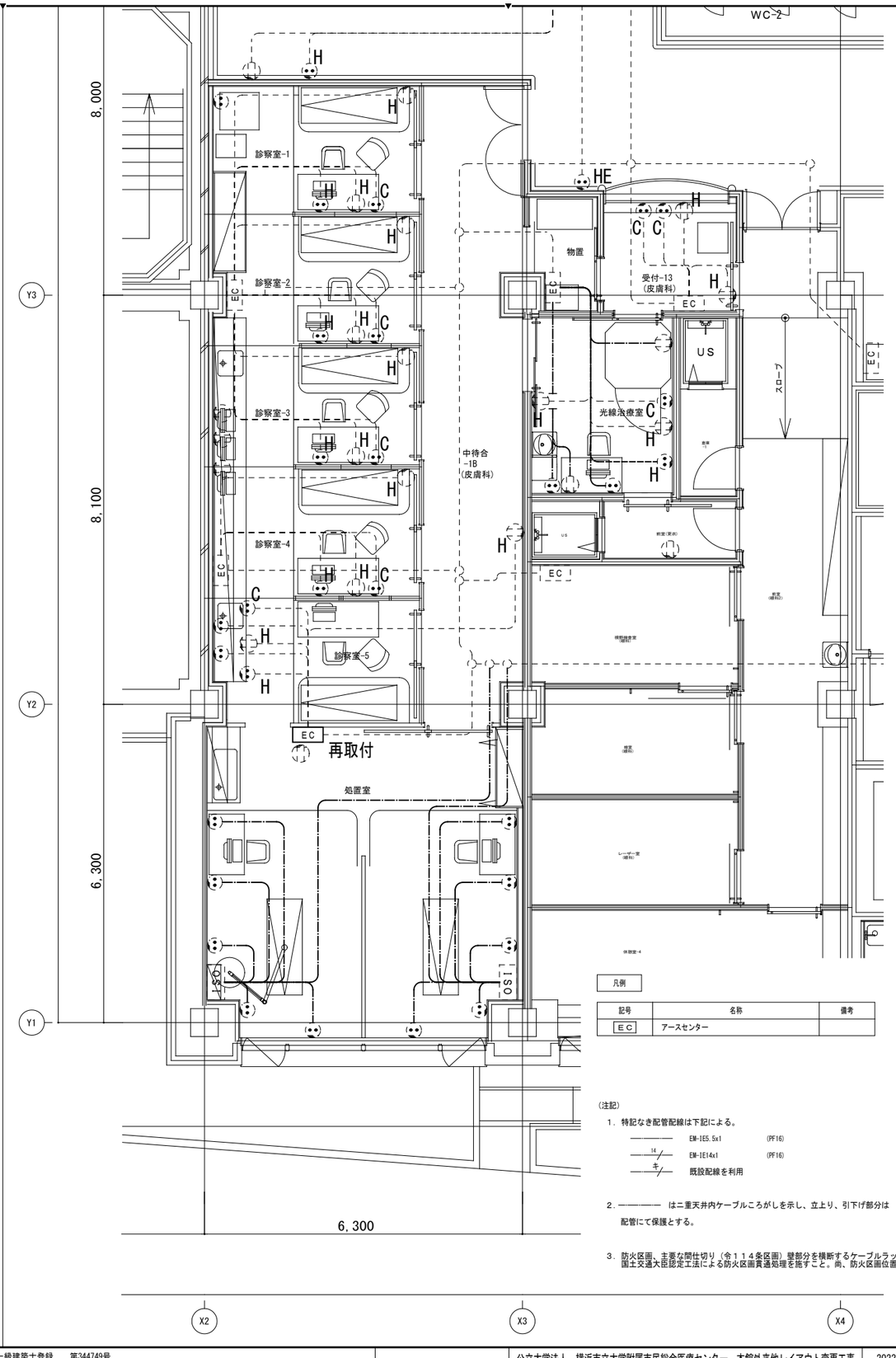
（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

————	IV5.5x1	(PF16)
——14——	IV14x1	(PF16)
——22——	IV22x1 既設流用	(PF16)

2．———— はニ重天井内ケーブルころがしを示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3．╳ は撤去を示し、配管配線の撤去を行う。



凡例

記号	名称	備考
EC	アースセンター	

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

————	EM-IE5.5x1	(PF16)
——14——	EM-IE14x1	(PF16)
——キ——	既設配線を利用	

2．———— はニ重天井内ケーブルころがしを示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3．防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。

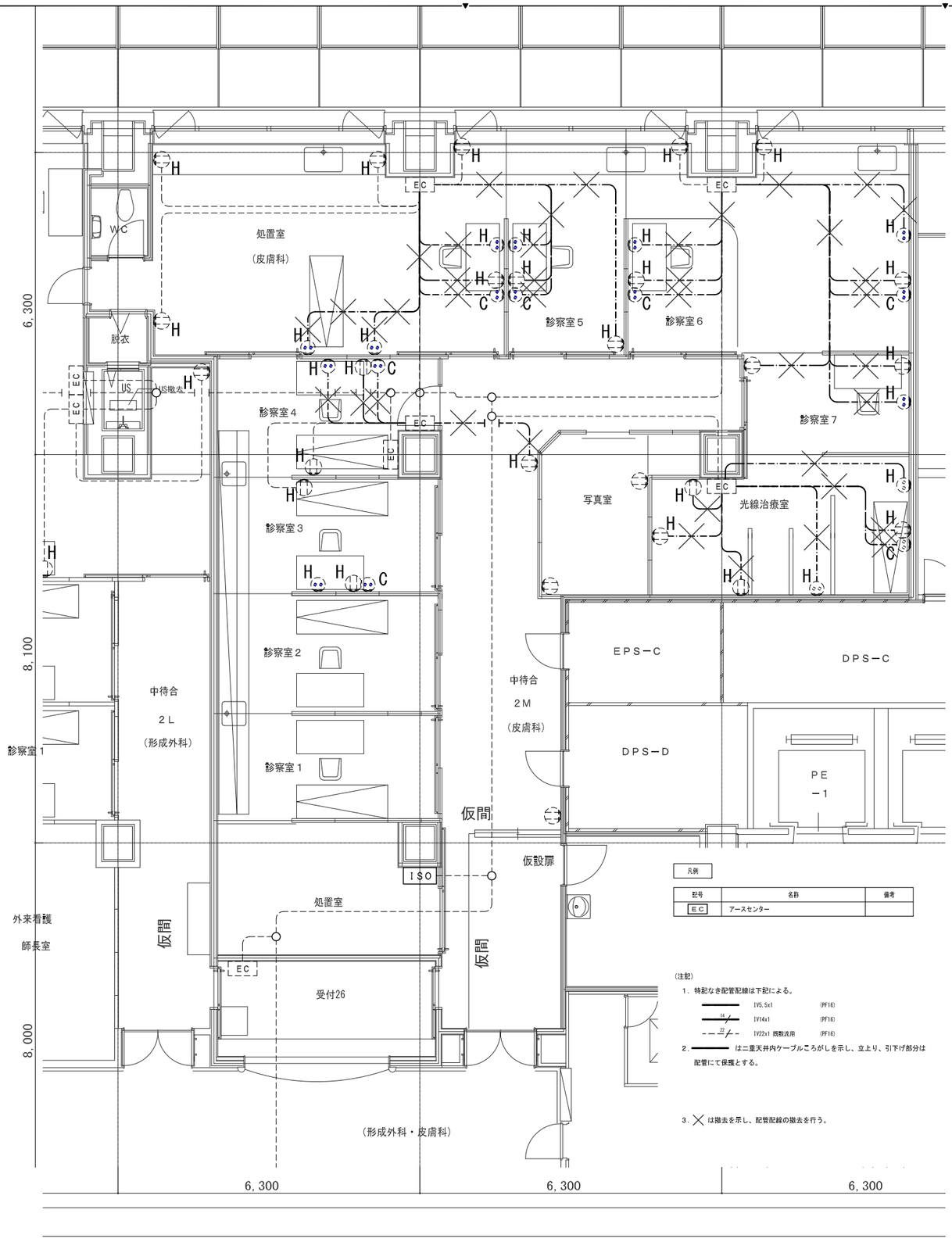
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

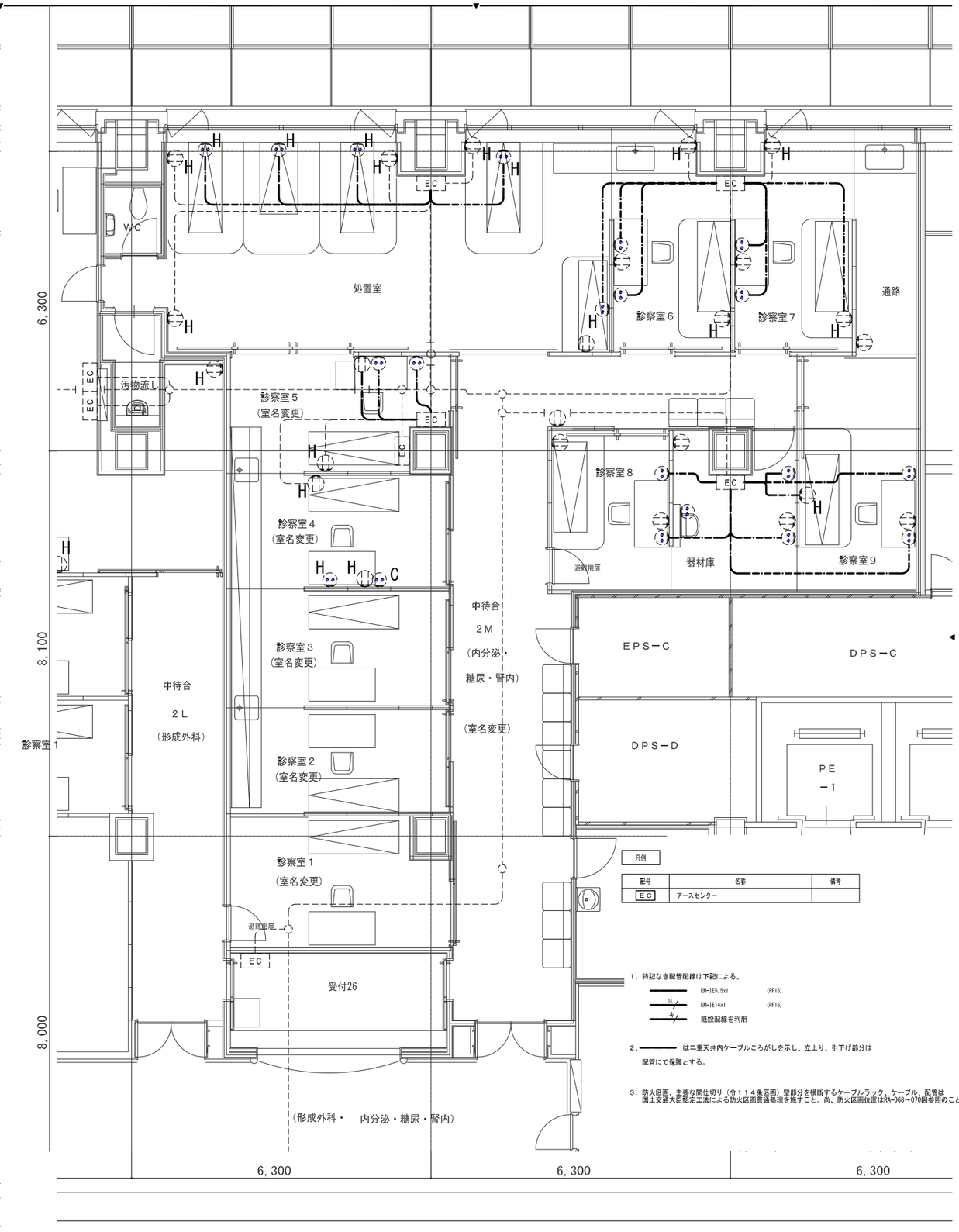
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡　野　　崇

加　藤　　悟

近藤　剛史

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事		2022.03	RE－ 036
医用接地設備　１階平面詳細図（皮膚科）（改修前）（改修後）		A1：1/50 A3：1/100	





株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇

加藤　悟

近藤　剛史

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RE − 037
医用接地設備　２階平面詳細図(内分泌・糖尿)(改修前)(改修後)	A1：1/50 A3：1/100	

凡例

記号	名称	備考
EC	アースセンター	

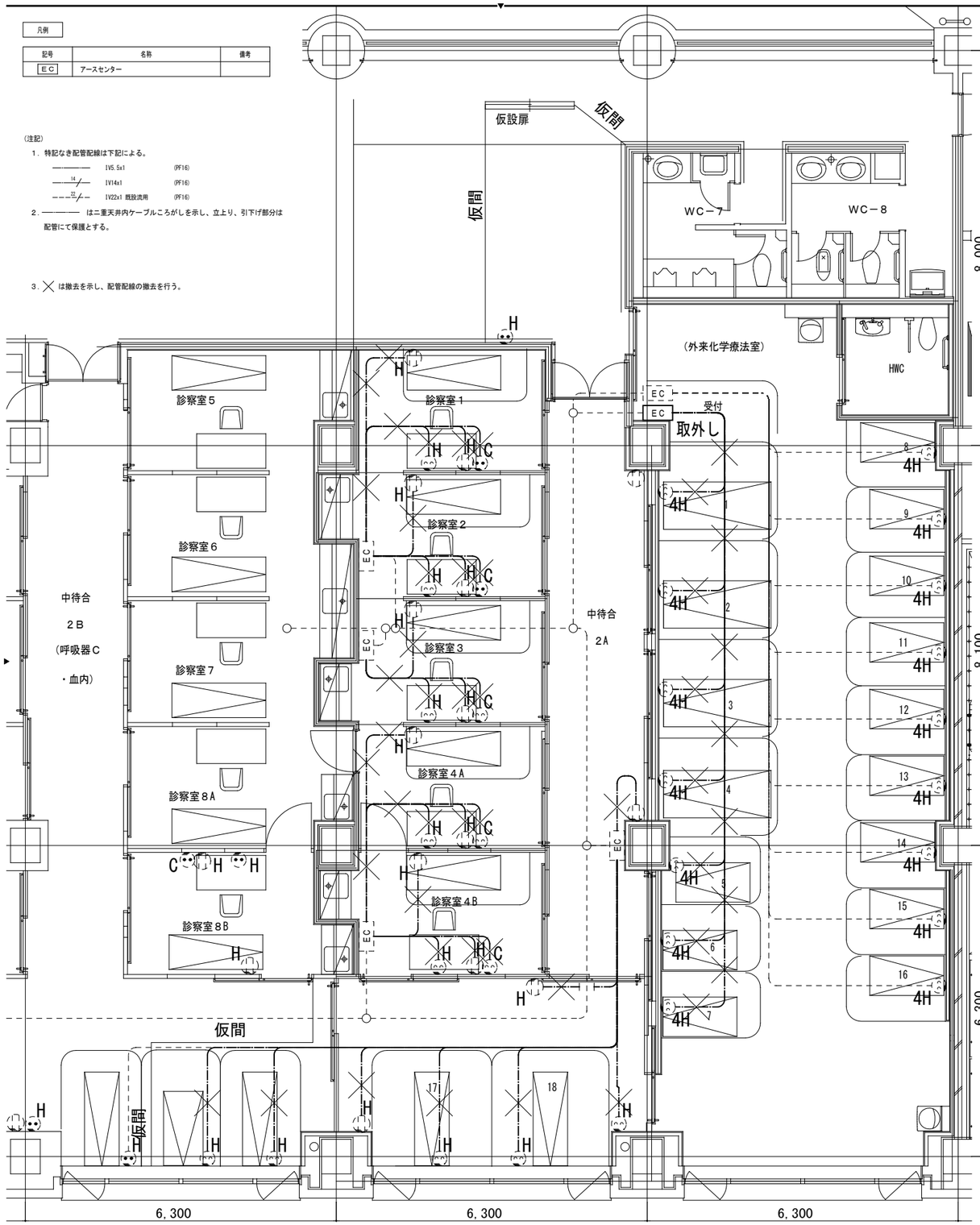
（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

――――	IV5.5x1	(PF16)
―14―/―	IV14x1	(PF16)
―22―/―	IV22x1 既設流用	(PF16)

2．―――― はニ重天井内ケーブルころがしを示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3．╳ は撤去を示し、配管配線の撤去を行う。



凡例

記号	名称	備考
EC	アースセンター	

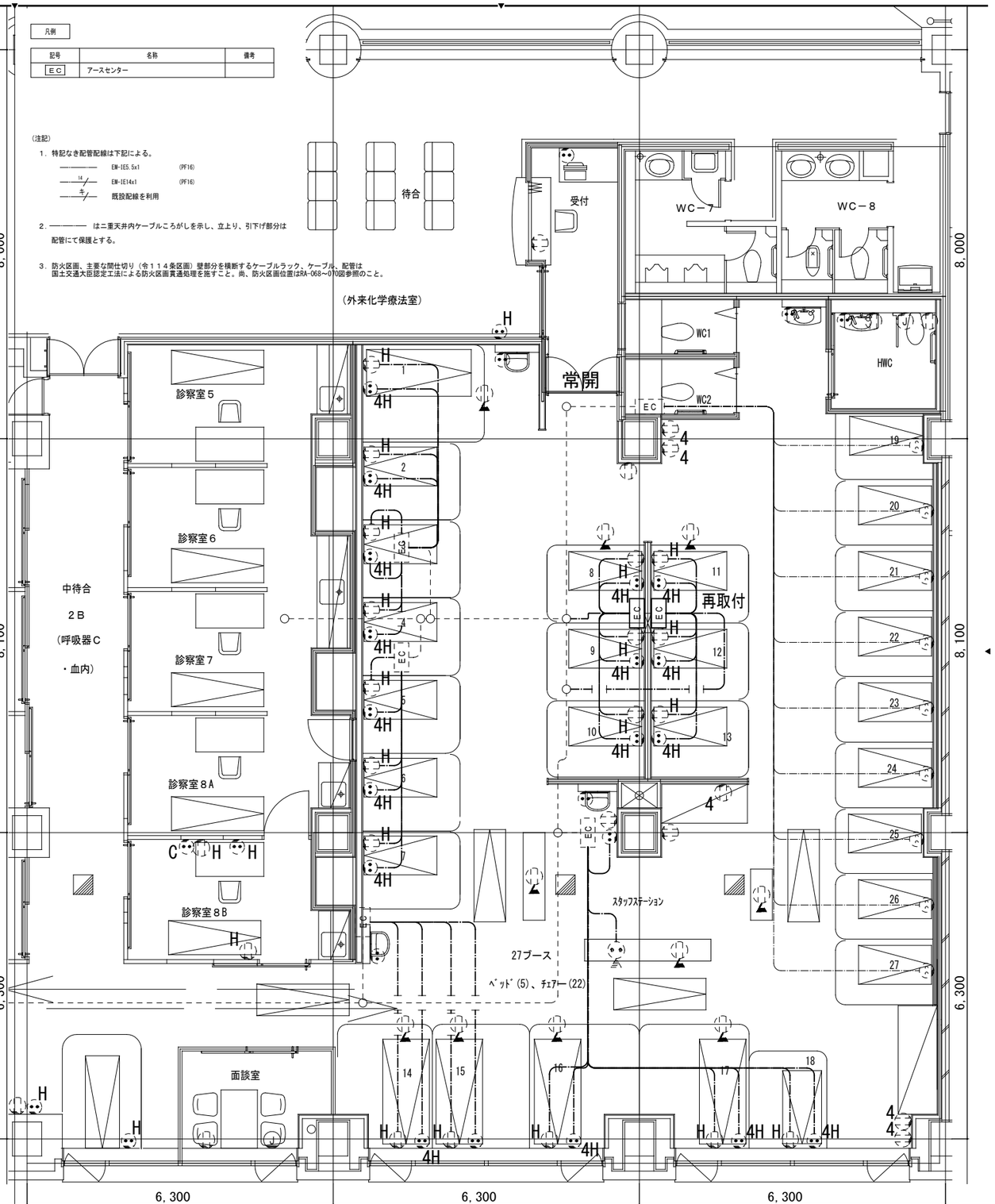
（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

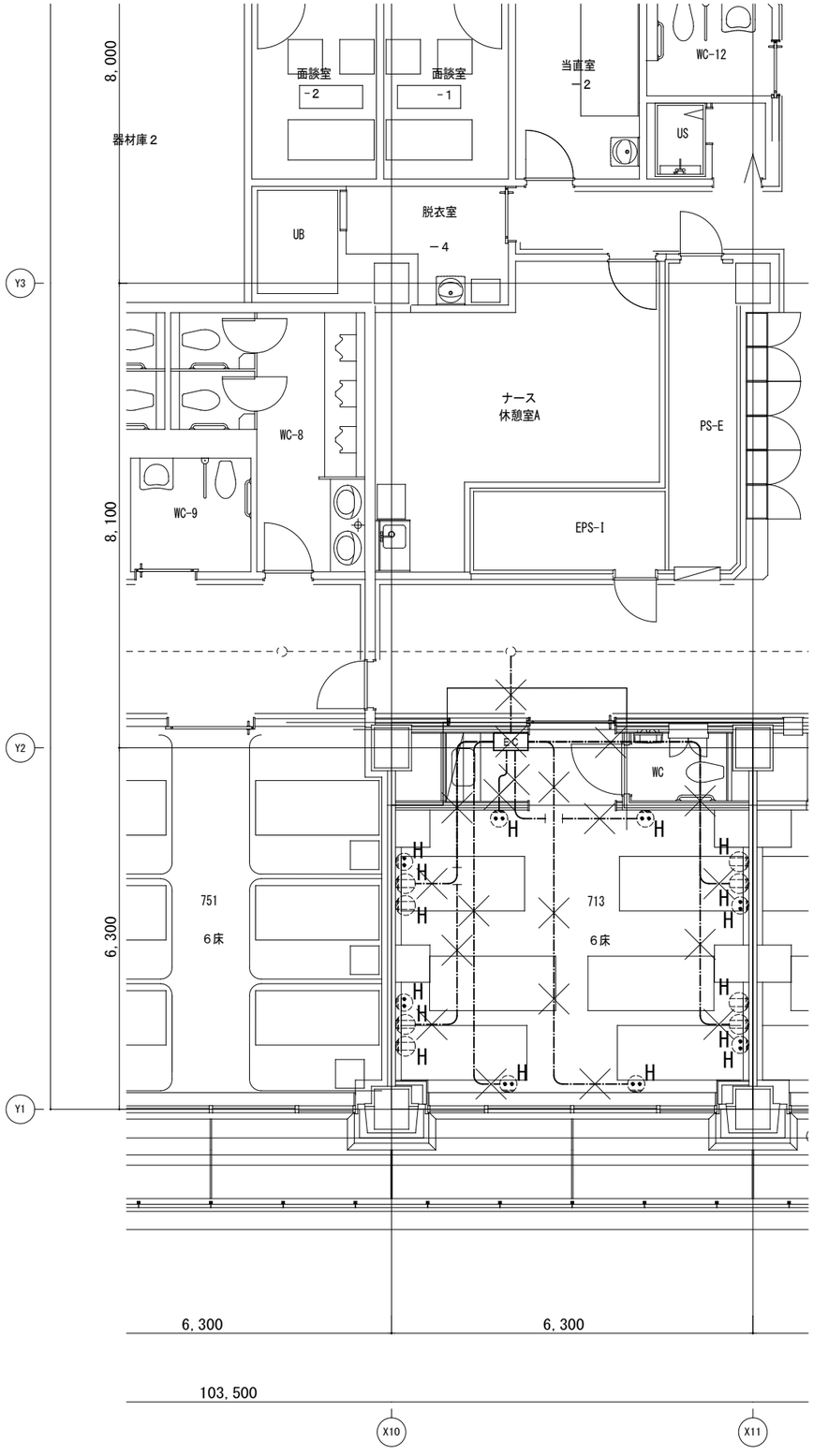
――――	EM-IE5.5x1	(PF16)
―14―/―	EM-IE14x1	(PF16)
―――/―	既設配線を利用	

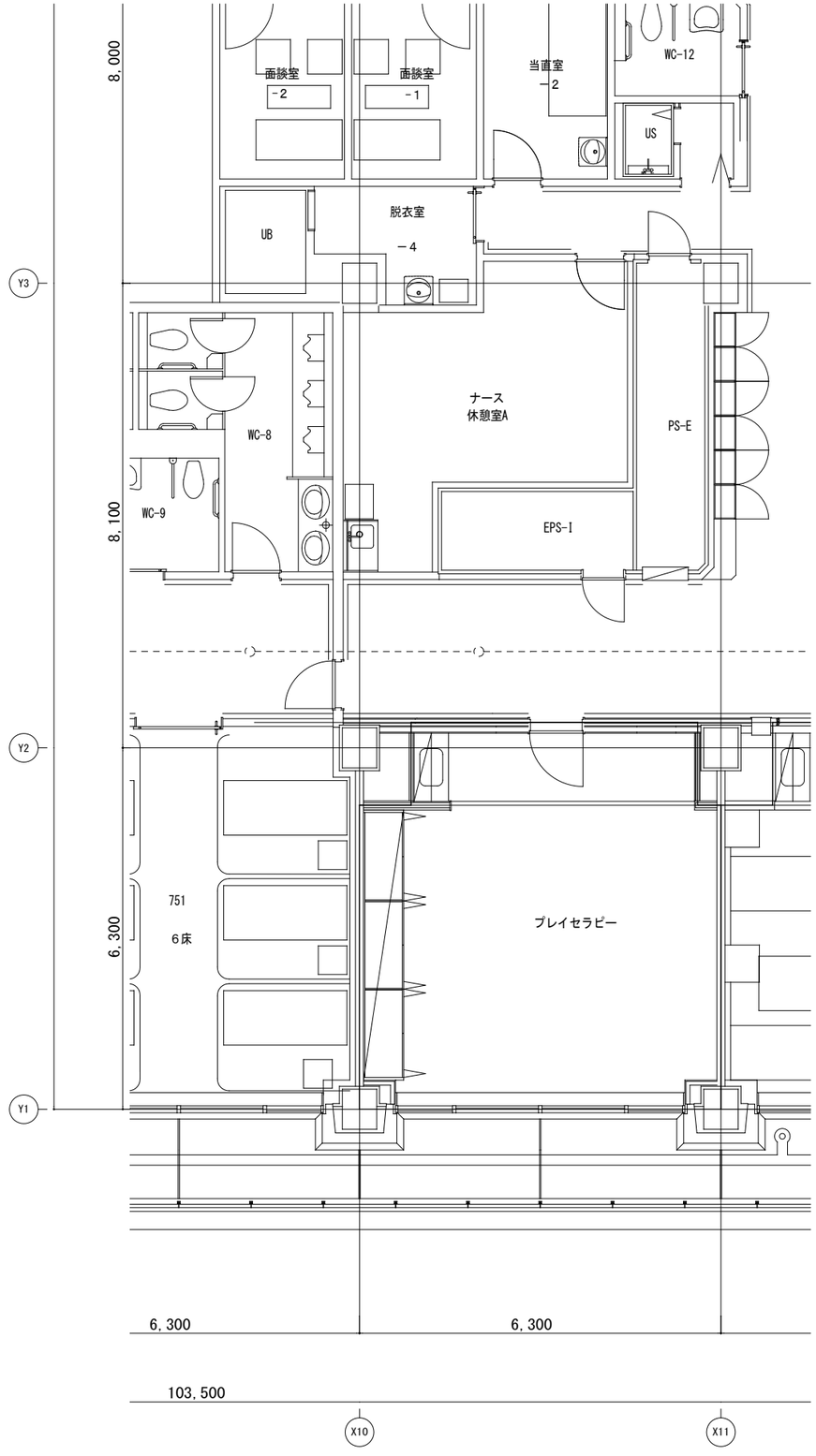
2．―――― はニ重天井内ケーブルころがしを示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3．防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。



株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第344749号 設備設計一級建築士 第4211号 岡野 崇	加藤 悟	近藤 剛史	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事 医用接地設備 ２階平面詳細図 （外来化学療法室）（改修前）（改修後）	2022.03 A1：1/50 A3：1/100	RE－038





株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡　野　　崇

加　藤　　悟

近藤　剛史

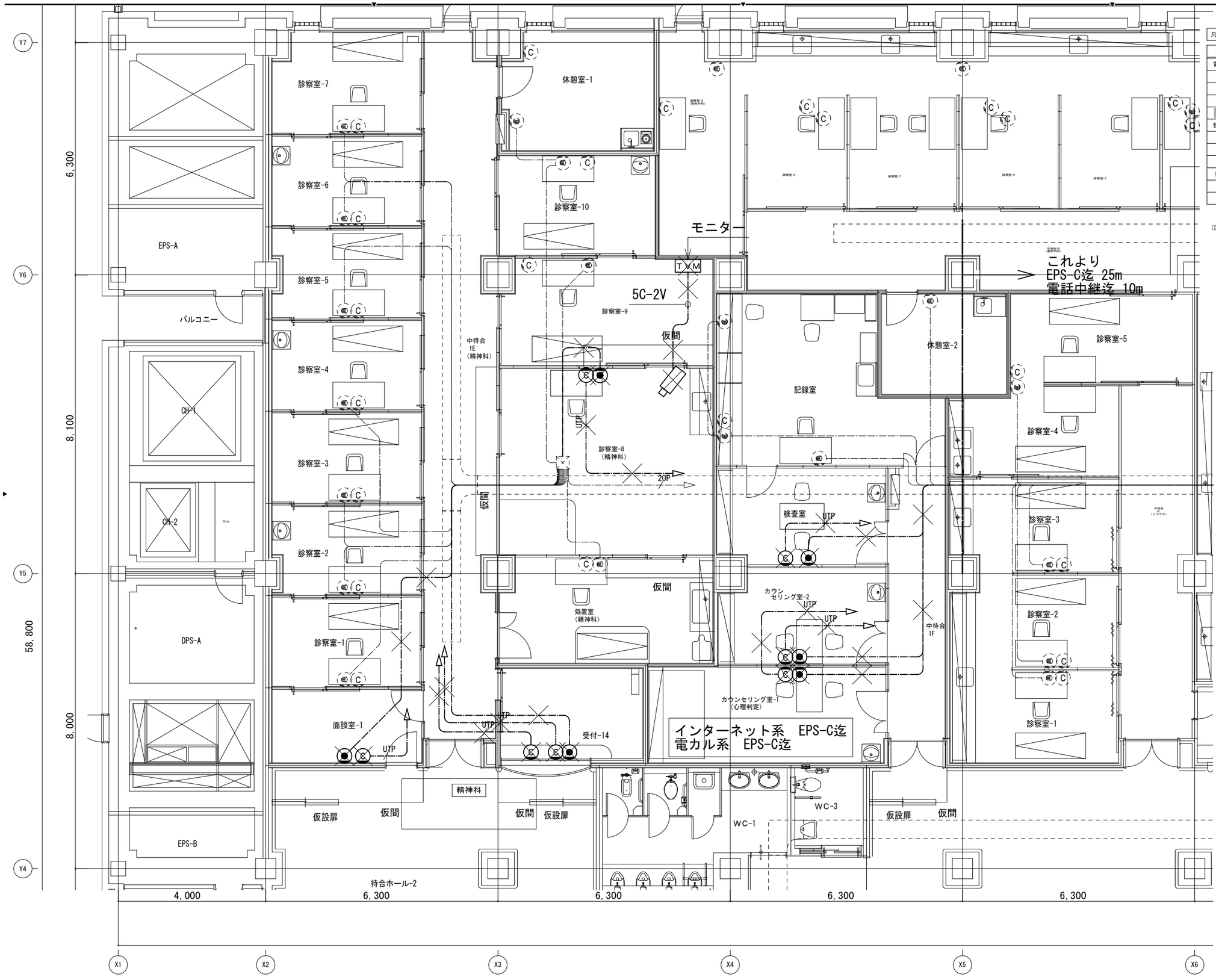
公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

医用接地設備　７階平面詳細図(改修前・改修後)

2022.03

A1：1/50
A3：1/100

RE－　039



凡例

記号	名称	仕様	
電話設備			
	電話用モジュラージャック	6極4芯	
	電話用モジュラージャック　床用	ローゼットタイプ、6極4芯	
	多機能電話機		
TX	ＰＨＳアンテナ		
情報設備			
	情報用アウトレットボックス		電カル系・一般系
	情報用アウトレットボックス（床）		電カル系・一般系
ＩＴＶ設備			
	監視カメラ		

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

〈電話設備〉

- ICTO.5-2P　配管保護部分（PF22）
- 5P ICTO.5-5P
- ICTO.5-2P　配管保護部分（E25）　床打込み

〈情報設備〉

- 空配管（PF22）
- (28) 空配管（PF28）
- 空配管（E25）　床打込み

2．╳ 印の機器及び配管配線の撤去を行う。
（埋込配管においては配線のみ撤去とする）

3．改修エリア内のケーブルラックは撤去しないこと。

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡　野　崇　　加　藤　悟　　近藤　剛史	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事 電話・情報設備　1階平面詳細図（精神科）（改修前）	2022.03 A1：1/50 A3：1/100	RE－ 040

凡例

記号	名称	仕様	備考
電話設備			
—	端子盤		
◉	電話用モジュラージャック	６極４芯	
◉ A	電話用モジュラージャック（ＯＡフロア用）	ローゼットタイプ、６極４芯	
T X	ＰＨＳアンテナ		
情報設備			
◎	情報用モジュラージャック	８極８芯 ×３	電カル系・一般系
◎ A	情報用モジュラージャック	８極８芯 ×３	電カル系・一般系
HUB	スイッチＨＵＢ（２４ポート）		

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

（電話設備）

ICT — EM-ICTQ.5-2P　　配管保護部分（PF16）

SP — EM-ICTQ.5-SP

（情報設備）

UTP — EM-UTPQ.5(Cat5e)-4P インターネット
EM-UTPQ.5(Cat5e)-4P 電カル
EM-UTPQ.5(Cat5e)-4P 電カル
配管保護部分（PF22）

2．特記なき立上り、引き下げ部分は配管にて保護とする。

3．破線の機器は既設を示す。

4．点線のケーブルラックは既設を示す。

5．電話・情報設備工事内容は下記とする。

1）インターネット系ＬＡＮ（ウラフネット）は配管配線及び機器の取付を行う。、配線は既設のＨＵＢに接続（ＨＵＢの増設含む）し、必要となる試験調整を行い、既設システムが使用可能な設備を構築する。情報コンセント以降の端末の設置は別途工事とする。

2）電子カルテ（医療情報）系ＬＡＮは配管配線及び機器の取付、必要となる試験調整及び設定等を行い、既設のシステムが使用可能な設備を構築する。

配線は既設システム状況に合わせて接続先を選定し、必要に応じてＨＵＢ等の増設を行う。

尚、システム構築に関わる施工一式を既設業者：日本電気（株）にて行い、必要となる配線、機器、試験調整等の工事一式の仕様選定も既設業者：日本電気（株）にて行うこと。

6．防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡　野　　崇

加　藤　　悟

近藤　剛史

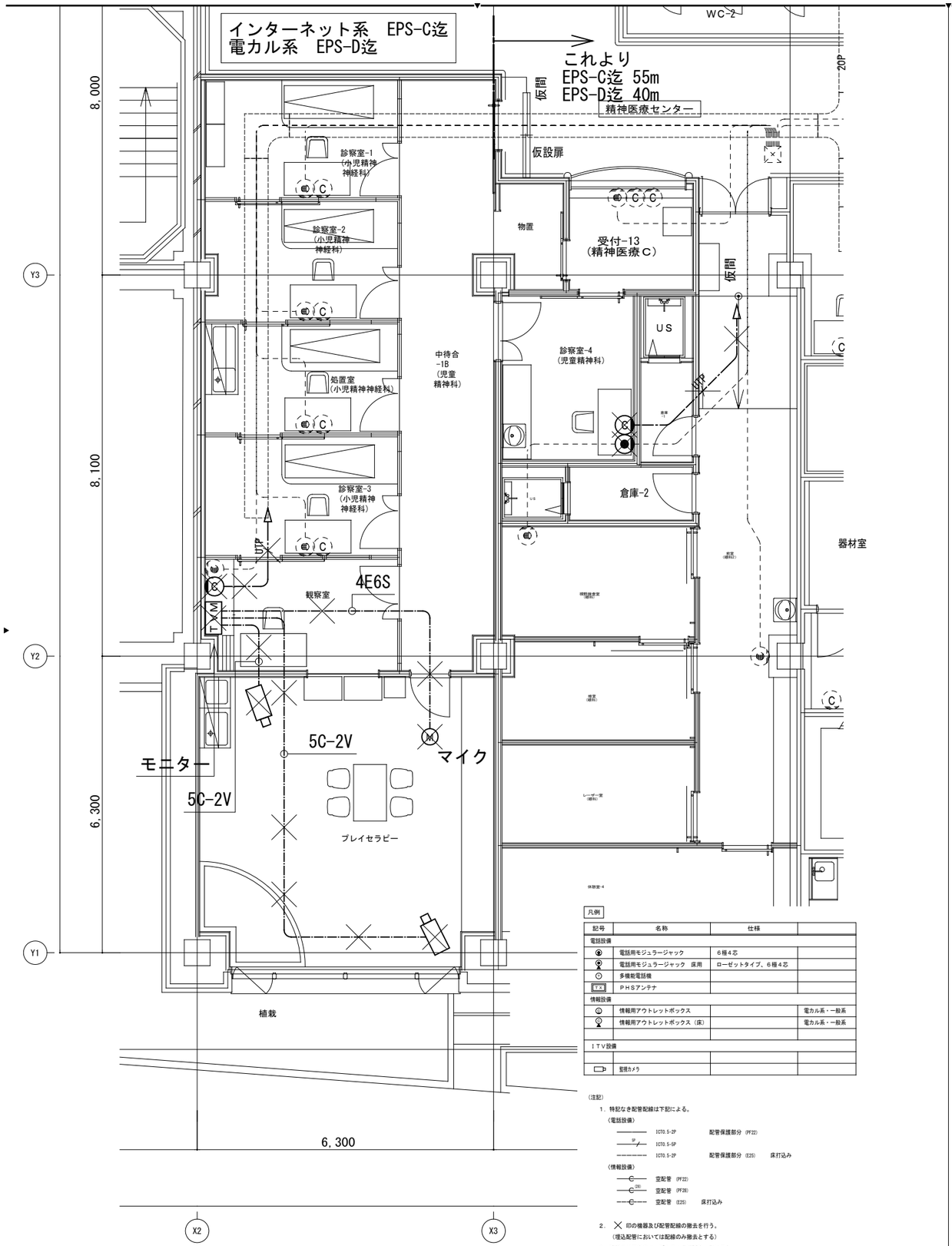
公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

電話・情報設備　１階平面詳細図(精神科)(改修後)

2022.03

A1：1/50
A3：1/100

RE－ 041



凡例

記号	名称	仕様	
電話設備			
	電話用モジュラージャック	６極４芯	
	電話用モジュラージャック　床用	ローゼットタイプ、６極４芯	
	多機能電話機		
PHS	ＰＨＳアンテナ		
情報設備			
	情報用アウトレットボックス		電カル系・一般系
	情報用アウトレットボックス（床）		電カル系・一般系
ＩＴＶ設備			
	監視カメラ		

（注記）

１．特記なき配管配線は下記による。

（電話設備）

ICTO.5-2P　配管保護部分（PF22）

SP　ICTO.5-SP

ICTO.5-2P　配管保護部分（E25）　床打込み

（情報設備）

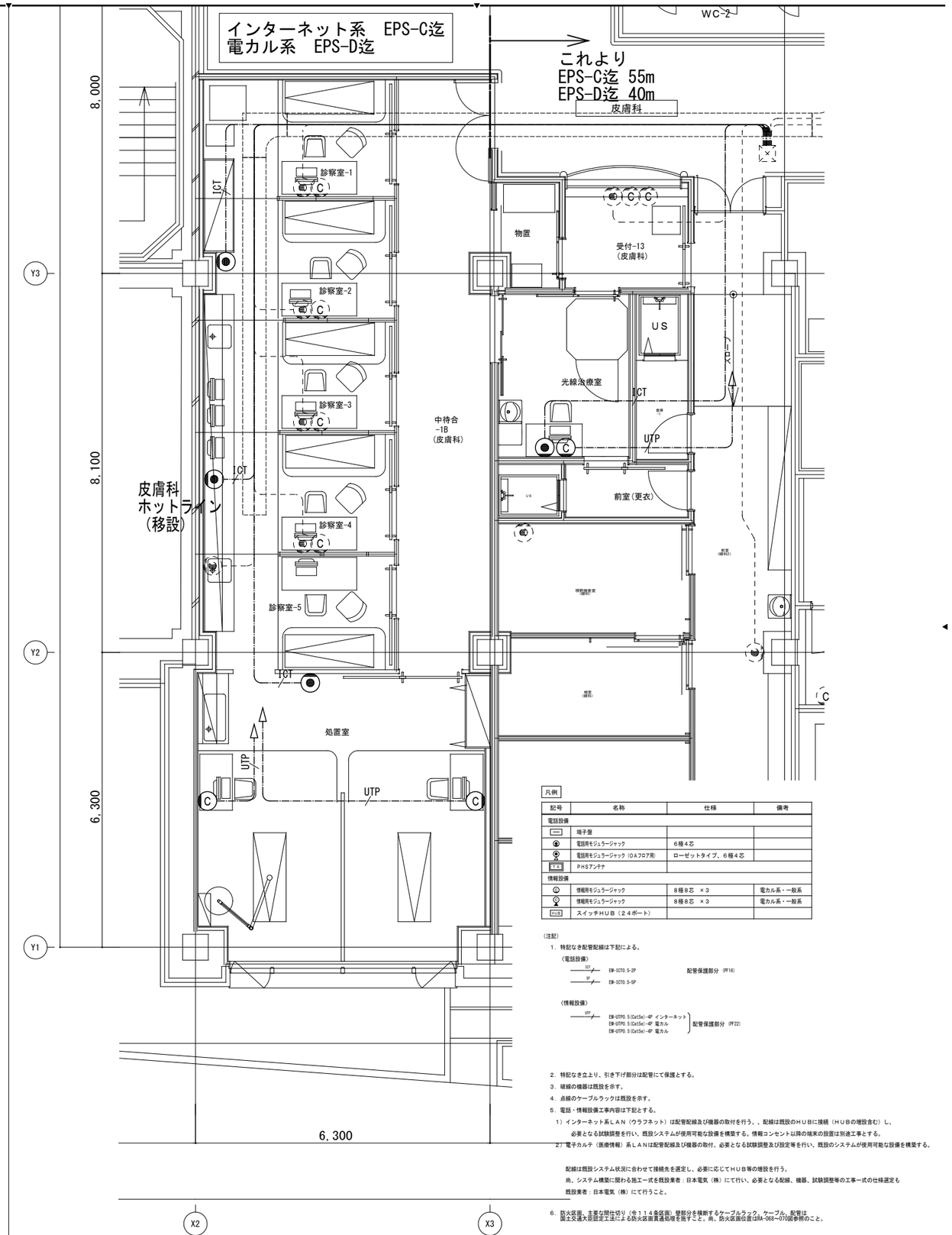
空配管（PF22）

(2S) 空配管（PF28）

空配管（E25）　床打込み

２．×印の機器及び配管配線の撤去を行う。
（埋込配管においては配線のみ撤去とする）

３．改修エリア内のケーブルラックは撤去しないこと。



凡例

記号	名称	仕様	備考
電話設備			
	端子盤		
	電話用モジュラージャック	６極４芯	
	電話用モジュラージャック（ＯＡフロア用）	ローゼットタイプ、６極４芯	
PHS	ＰＨＳアンテナ		
情報設備			
	情報用モジュラージャック	８極８芯　×３	電カル系・一般系
	情報用モジュラージャック	８極８芯　×３	電カル系・一般系
HUB	スイッチＨＵＢ（２４ポート）		

（注記）

１．特記なき配管配線は下記による。

（電話設備）

ICT　EM-ICTO.5-2P　配管保護部分（PF16）

SP　EM-ICTO.5-SP

（情報設備）

UTP　EM-UTPO.5(Cat5e)-4P インターネット
EM-UTPO.5(Cat5e)-4P 電カル
EM-UTPO.5(Cat5e)-4P 電カル
配管保護部分（PF22）

２．特記なき立上り、引き下げ部分は配管にて保護とする。

３．破線の機器は既設を示す。

４．点線のケーブルラックは既設を示す。

５．電話・情報設備工事内容は下記とする。

１）インターネット系ＬＡＮ（ウララネット）は配管配線及び機器の取付を行う。、配線は既設のＨＵＢに接続（ＨＵＢの増設含む）し、必要となる試験調整を行い、既設システムが使用可能な設備を構築する。情報コンセント以降の端末の設置は別途工事とする。

２）電子カルテ（医療情報）系ＬＡＮは配管配線及び機器の取付、必要となる試験調整及び設定等を行い、既設のシステムが使用可能な設備を構築する。

配線は既設システム状況に合わせて接続先を選定し、必要に応じてＨＵＢ等の増設を行う。

尚、システム構築に関わる施工一式を既設業者：日本電気（株）にて行い、必要となる配線、機器、試験調整等の工事一式の仕様選定も既設業者：日本電気（株）にて行うこと。

６．防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068~070図参照のこと。

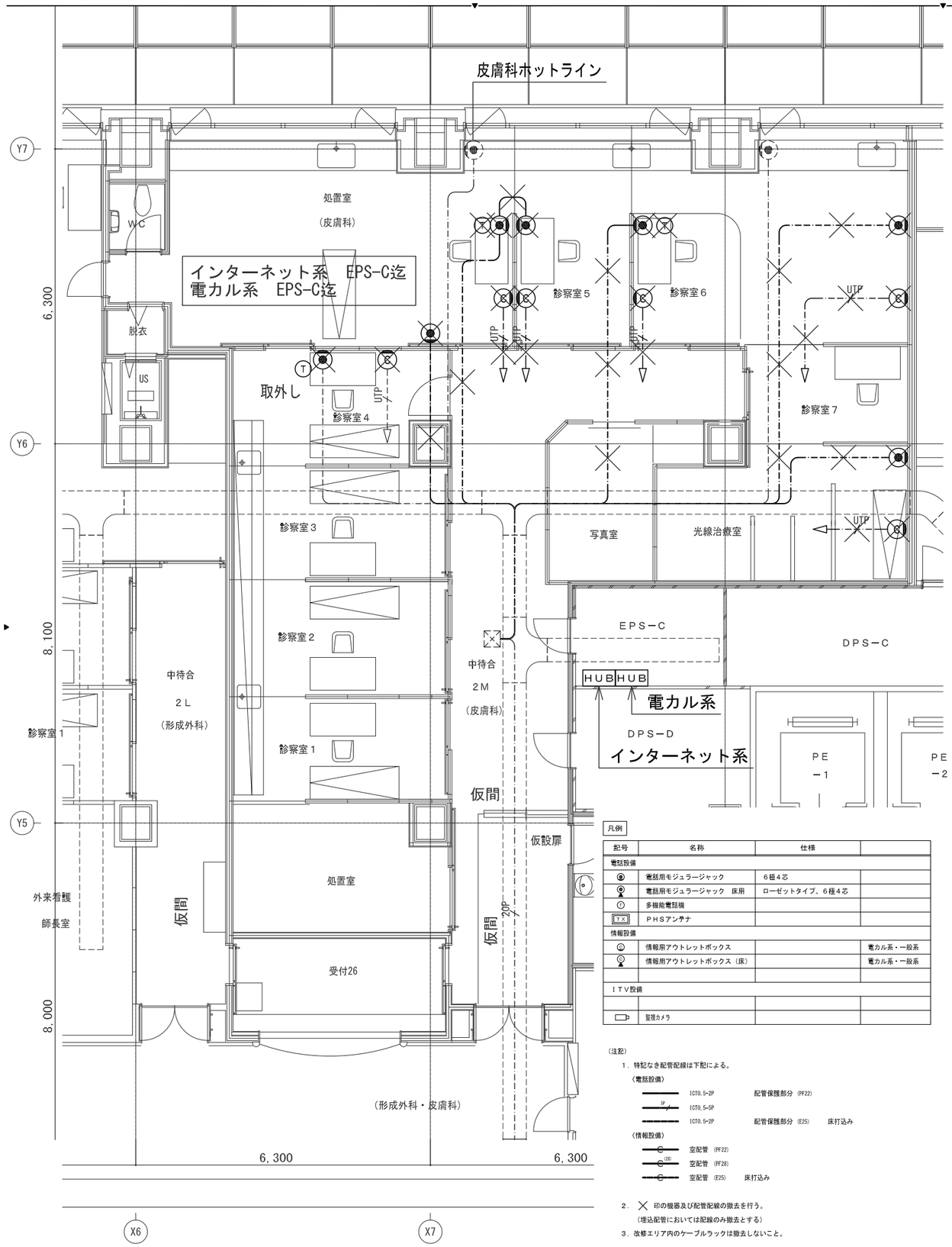
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

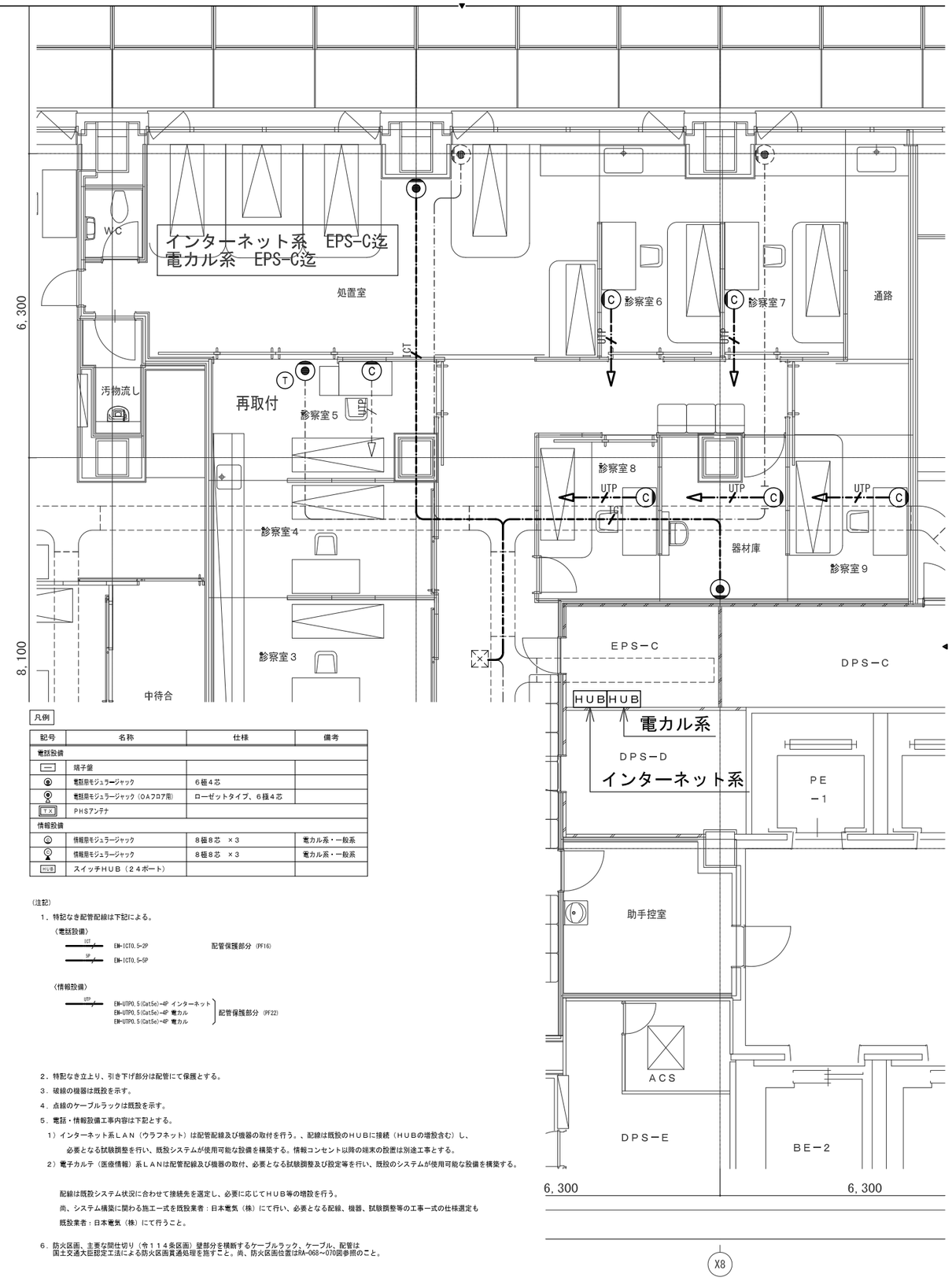
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇

加藤　悟

近藤　剛史

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事		2022.03	RE－042
電話・情報設備　１階平面詳細図（皮膚科）（改修前）（改修後）		A1：1/50 A3：1/100	





凡例

記号	名称	仕様	
電話設備			
	電話用モジュラージャック	6極4芯	
	電話用モジュラージャック　床用	ローゼットタイプ、6極4芯	
	多機能電話機		
TX	PHSアンテナ		
情報設備			
	情報用アウトレットボックス		電カル系・一般系
	情報用アウトレットボックス（床）		電カル系・一般系
ITV設備			
	監視カメラ		

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

〈電話設備〉

ICT0.5-2P　配管保護部分（PF22）

SP ICT0.5-5P

ICT0.5-2P　配管保護部分（E25）　床打込み

〈情報設備〉

空配管（PF22）

(28) 空配管（PF28）

空配管（E25）　床打込み

2．× 印の機器及び配管配線の撤去を行う。
（埋込配管においては配線のみ撤去とする）

3．改修エリア内のケーブルラックは撤去しないこと。

凡例

記号	名称	仕様	備考
電話設備			
	端子盤		
	電話用モジュラージャック	6極4芯	
	電話用モジュラージャック（OAフロア用）	ローゼットタイプ、6極4芯	
TX	PHSアンテナ		
情報設備			
	情報用モジュラージャック	8極8芯　×3	電カル系・一般系
	情報用モジュラージャック	8極8芯　×3	電カル系・一般系
HUB	スイッチHUB（24ポート）		

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

〈電話設備〉

ICT EM-ICT0.5-2P　配管保護部分（PF16）

SP EM-ICT0.5-5P

〈情報設備〉

UTP EM-UTP0.5(Cat5e)-4P インターネット
EM-UTP0.5(Cat5e)-4P 電カル
EM-UTP0.5(Cat5e)-4P 電カル
配管保護部分（PF22）

2．特記なき立上り、引き下げ部分は配管にて保護とする。

3．破線の機器は既設を示す。

4．点線のケーブルラックは既設を示す。

5．電話・情報設備工事内容は下記とする。

1）インターネット系LAN（ウラフネット）は配管配線及び機器の取付を行う。、配線は既設のHUBに接続（HUBの増設含む）し、必要となる試験調整を行い、既設システムが使用可能な設備を構築する。情報コンセント以降の端末の設置は別途工事とする。

2）電子カルテ（医療情報）系LANは配管配線及び機器の取付、必要となる試験調整及び設定等を行い、既設のシステムが使用可能な設備を構築する。

配線は既設システム状況に合わせて接続先を選定し、必要に応じてHUB等の増設を行う。

尚、システム構築に関わる施工一式を既設業者：日本電気（株）にて行い、必要となる配線、機器、試験調整等の工事一式の仕様選定も既設業者：日本電気（株）にて行うこと。

6．防火区画、主要な間仕切り（令114条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡　野　崇	加　藤　悟	近藤　剛史	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事 電話・情報設備　2階平面詳細図（内分泌・糖尿）（改修前）（改修後）
				2022.03 A1：1/50 A3：1/100
				RE − 043

凡例

記号	名称	仕様	
電話設備			
	電話用モジュラージャック	６極４芯	
	電話用モジュラージャック　床用	ローゼットタイプ、６極４芯	
T	多機能電話機		
TX	ＰＨＳアンテナ		
情報設備			
	情報用アウトレットボックス		電カル系・一般系
	情報用アウトレットボックス（床）		電カル系・一般系
ＩＴＶ設備			
	監視カメラ		

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

（電話設備）

ICT0.5-2P　配管保護部分（PF22）

SP ICT0.5-5P

ICT0.5-2P　配管保護部分（E25）　床打込み

（情報設備）

C　空配管（PF22）

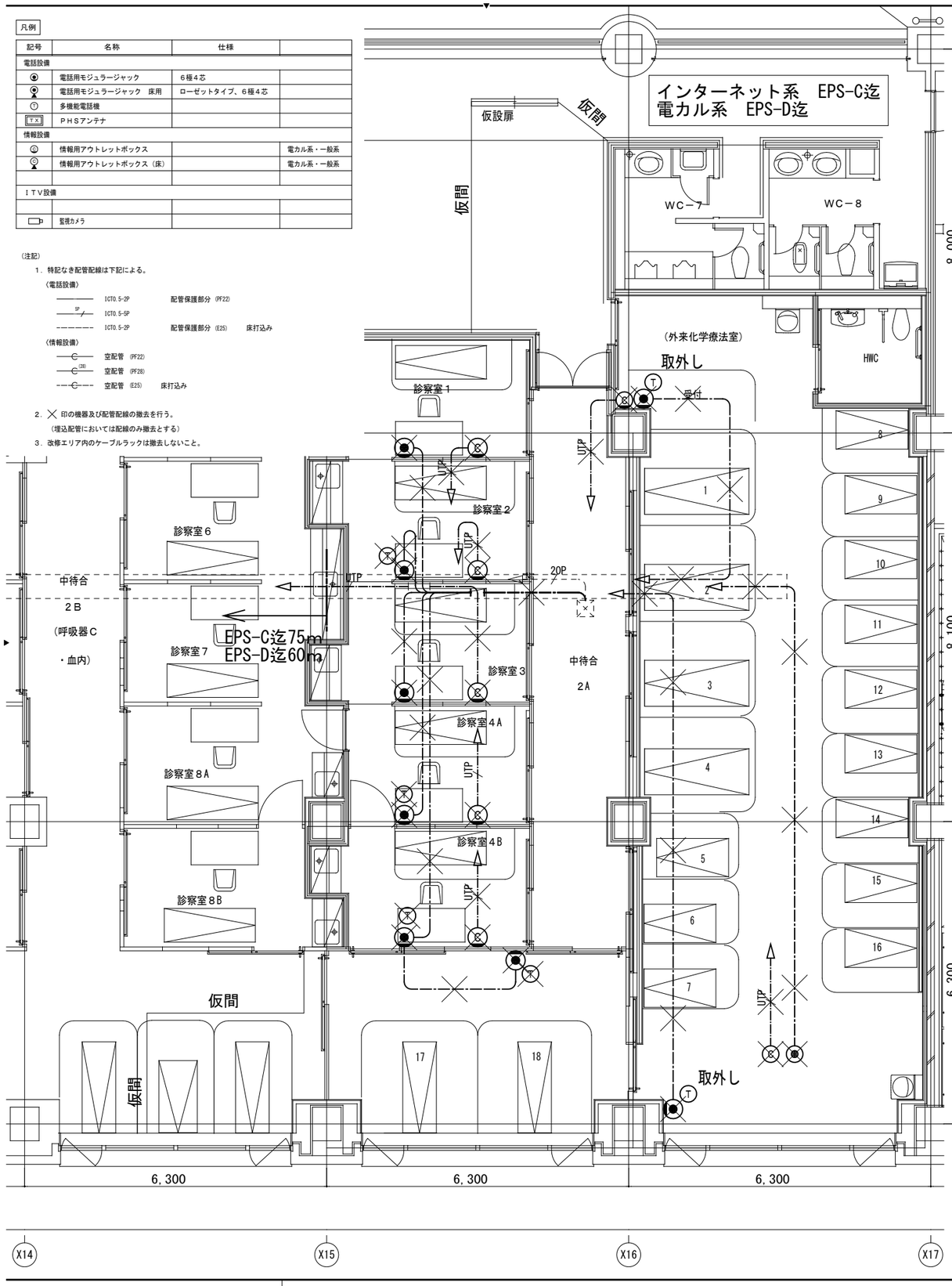
C (2B)　空配管（PF28）

C　空配管（E25）　床打込み

2．× 印の機器及び配管配線の撤去を行う。

（埋込配管においては配線のみ撤去とする）

3．改修エリア内のケーブルラックは撤去しないこと。



凡例

記号	名称	仕様	備考
電話設備			
	端子盤		
	電話用モジュラージャック	６極４芯	
	電話用モジュラージャック（OAフロア用）	ローゼットタイプ、６極４芯	
TX	ＰＨＳアンテナ		
情報設備			
	情報用モジュラージャック	８極８芯　×３	電カル系・一般系
	情報用モジュラージャック	８極８芯　×３	電カル系・一般系
HUB	スイッチＨＵＢ（２４ポート）		

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

（電話設備）

ICT / SP　EM-ICT0.5-2P / EM-ICT0.5-5P　配管保護部分（PF16）

（情報設備）

UTP　EM-UTP0.5(Cat5e)-4P インターネット / EM-UTP0.5(Cat5e)-4P 電カル / EM-UTP0.5(Cat5e)-4P 電カル　配管保護部分（PF22）

2．特記なき立上り、引き下げ部分は配管にて保護とする。

3．破線の機器は既設を示す。

4．点線のケーブルラックは既設を示す。

5．電話・情報設備工事内容は下記とする。

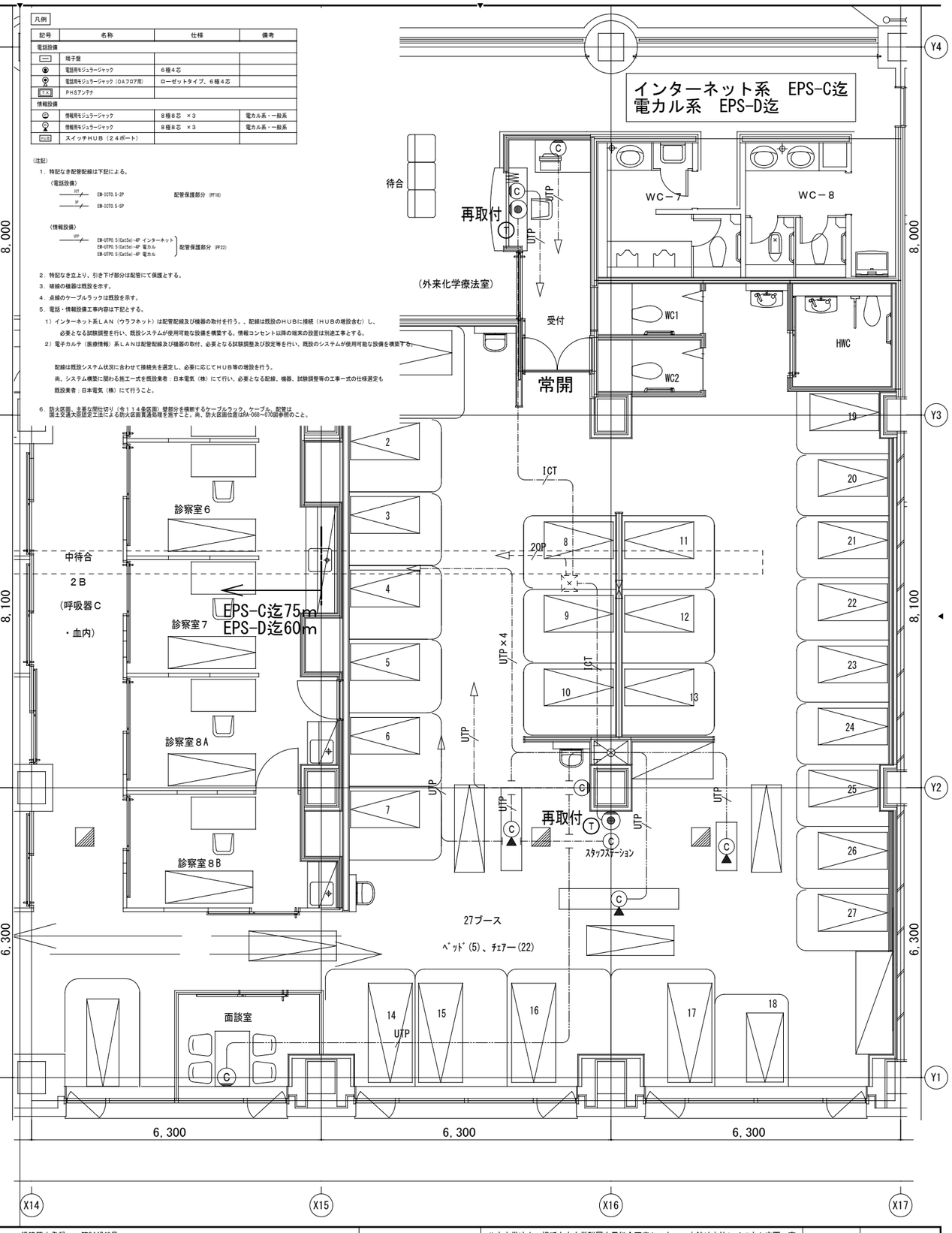
1）インターネット系ＬＡＮ（ウラフネット）は配管配線及び機器の取付を行う。、配線は既設のＨＵＢに接続（ＨＵＢの増設含む）し、必要となる試験調整を行い、既設システムが使用可能な設備を構築する。情報コンセント以降の端末の設置は別途工事とする。

2）電子カルテ（医療情報）系ＬＡＮは配管配線及び機器の取付、必要となる試験調整及び設定等を行い、既設のシステムが使用可能な設備を構築する。

配線は既設システム状況に合わせて接続先を選定し、必要に応じてＨＵＢ等の増設を行う。

尚、システム構築に関わる施工一式を既設業者：日本電気（株）にて行い、必要となる配線、機器、試験調整等の工事一式の仕様選定も既設業者：日本電気（株）にて行うこと。

6．防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。



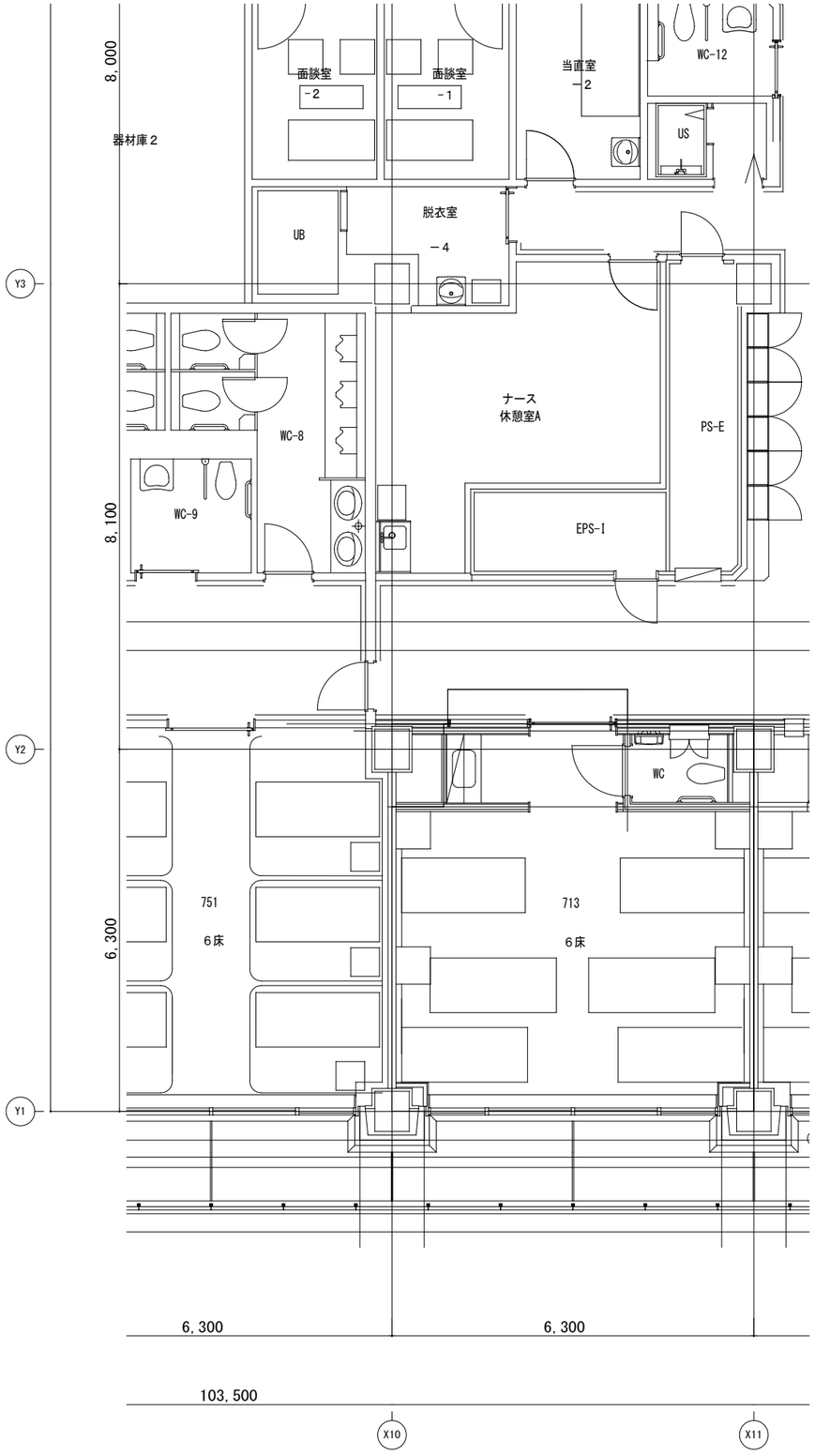
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

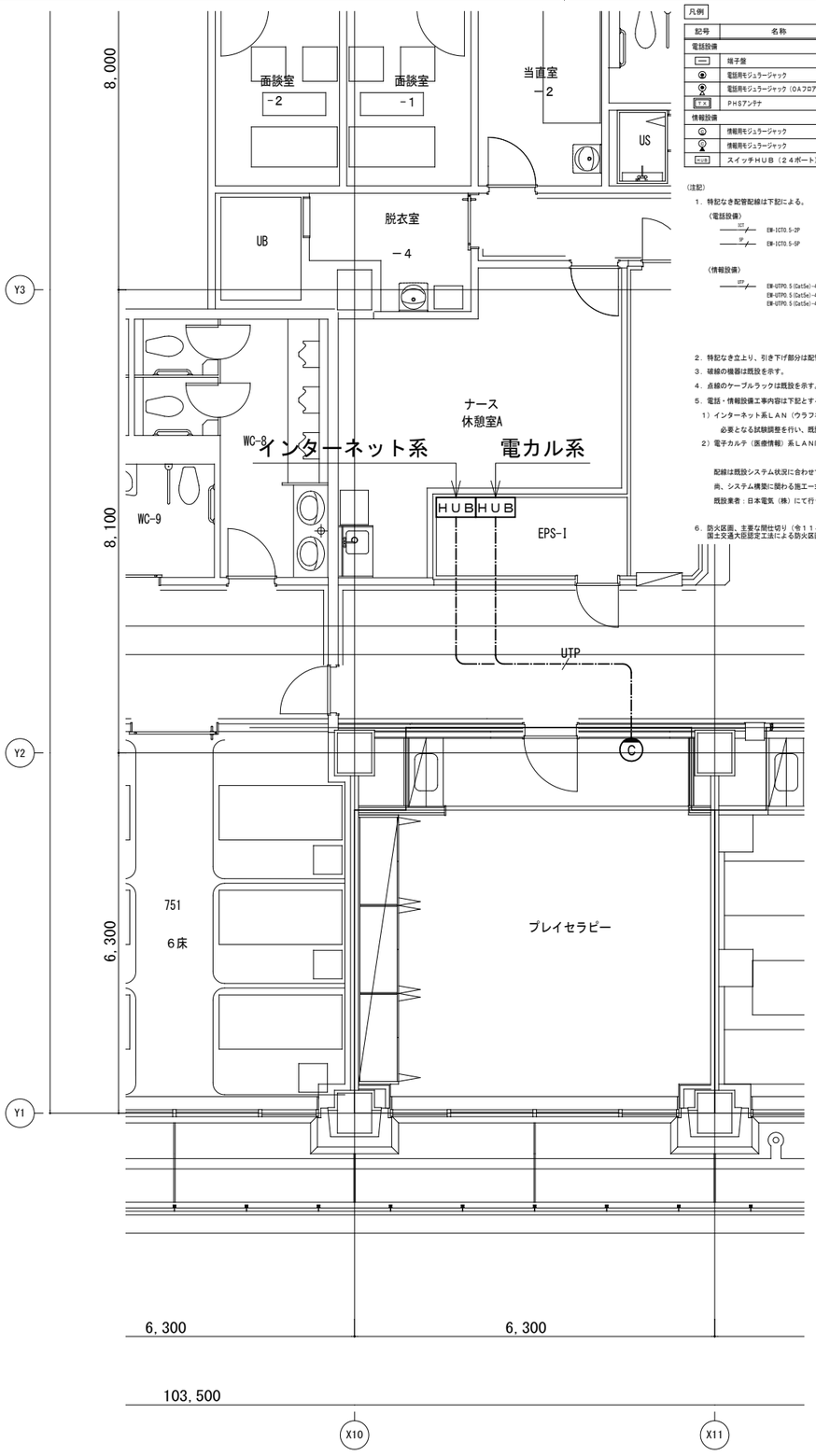
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇

加藤　悟

近藤　剛史

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RE－044
電話・情報設備　２階平面詳細図 （外来化学療法室）（改修前）（改修後）	A1：1/50 A3：1/100	





凡例

記号	名称	仕様	備考
電話設備			
	端子盤		
	電話用モジュラージャック	６種４芯	
	電話用モジュラージャック（ＯＡフロア用）	ローゼットタイプ、６種４芯	
	ＰＨＳアンテナ		
情報設備			
	情報用モジュラージャック	８種８芯 ×３	電カル系・一般系
	情報用モジュラージャック	８種８芯 ×３	電カル系・一般系
	スイッチＨＵＢ（２４ポート）		

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

（電話設備）

EM-ICTO.5-2P
EM-ICTO.5-5P
配管保護部分 (PF16)

（情報設備）

EM-UTPO.5 (Cat5e)-4P インターネット
EM-UTPO.5 (Cat5e)-4P 電カル
EM-UTPO.5 (Cat5e)-4P 電カル
配管保護部分 (PF22)

2．特記なき立上り、引き下げ部分は配管にて保護とする。

3．破線の機器は既設を示す。

4．点線のケーブルラックは既設を示す。

5．電話・情報設備工事内容は下記とする。

1）インターネット系ＬＡＮ（ウラフネット）は配管配線及び機器の取付を行う。、配線は既設のＨＵＢに接続（ＨＵＢの増設含む）し、必要となる試験調整を行い、既設システムが使用可能な設備を構築する。情報コンセント以降の端末の設置は別途工事とする。

2）電子カルテ（医療情報）系ＬＡＮは配管配線及び機器の取付、必要となる試験調整及び設定等を行い、既設のシステムが使用可能な設備を構築する。

配線は既設システム状況に合わせて接続先を選定し、必要に応じてＨＵＢ等の増設を行う。

尚、システム構築に関わる施工一式を既設業者：日本電気（株）にて行い、必要となる配線、機器、試験調整等の工事一式の仕様選定も既設業者：日本電気（株）にて行うこと。

6．防火区画、主要な壁仕切り（令１１４条区画）壁部分を種断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇

加藤　悟

近藤　剛史

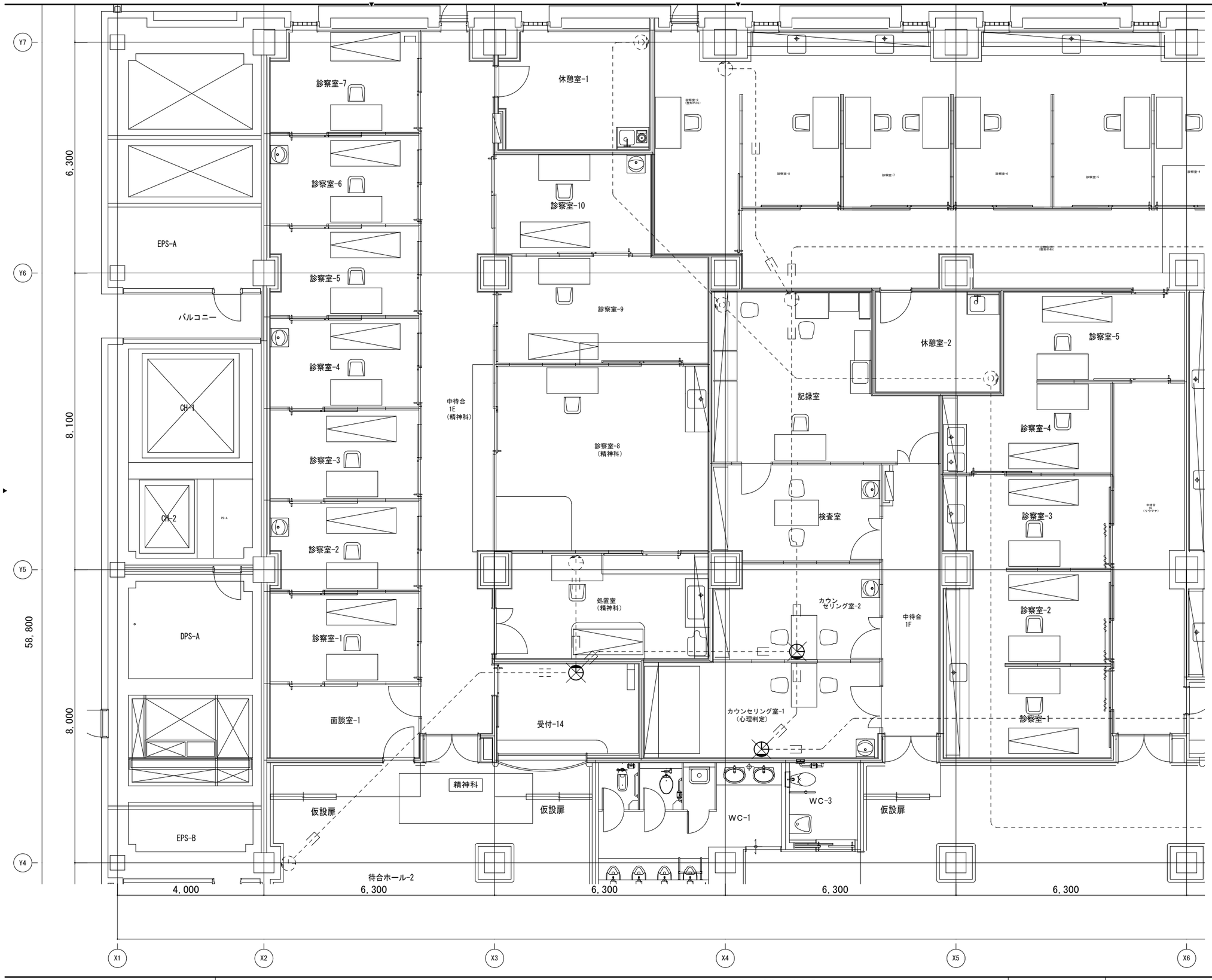
公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

電話・情報設備　７階平面詳細図(改修前・改修後)

2022.03

A1：1/50
A3：1/100

RE－045



(注記)

1. 特記なき配管配線は下記による。

〈電気時計設備〉

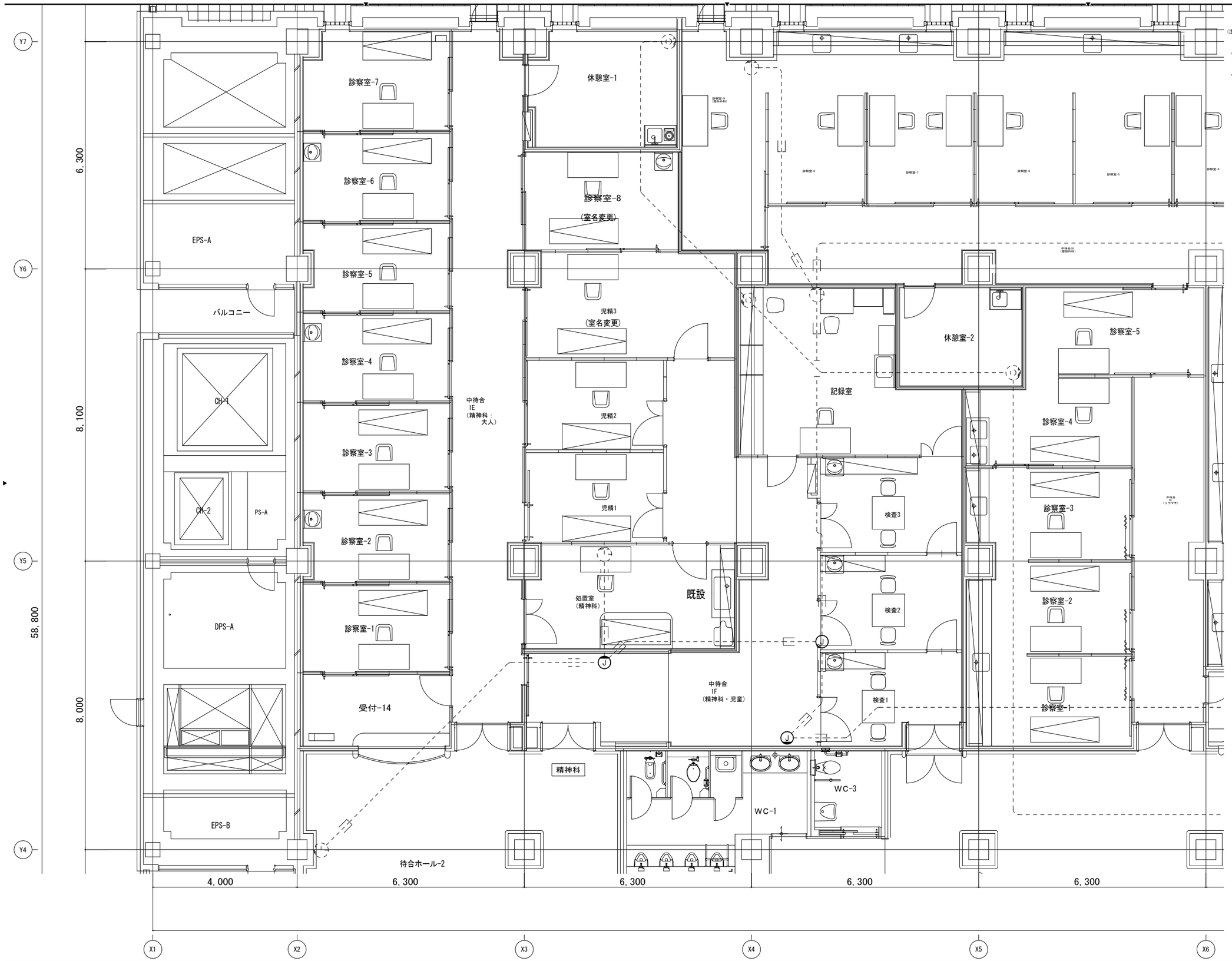
———— AE1.2-2C

〈テレビ共聴設備〉

————/— S-5C-FB

2. ╳ は機器及び配管配線の撤去を示す。

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第344749号 設備設計一級建築士 第4211号 岡野 崇	加藤 悟	近藤 剛史	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事 時計・テレビ共聴設備 1階平面詳細図(精神科)(改修前)	2022.03 A1：1/50 A3：1/100	RE－ 046



（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

〈電気時計設備〉

EW-AE1.2-2C　配管保護部分（PF16）

〈テレビ共聴設備〉

EW-S-SC-FB　配管保護部分（PF16）

〈共通〉

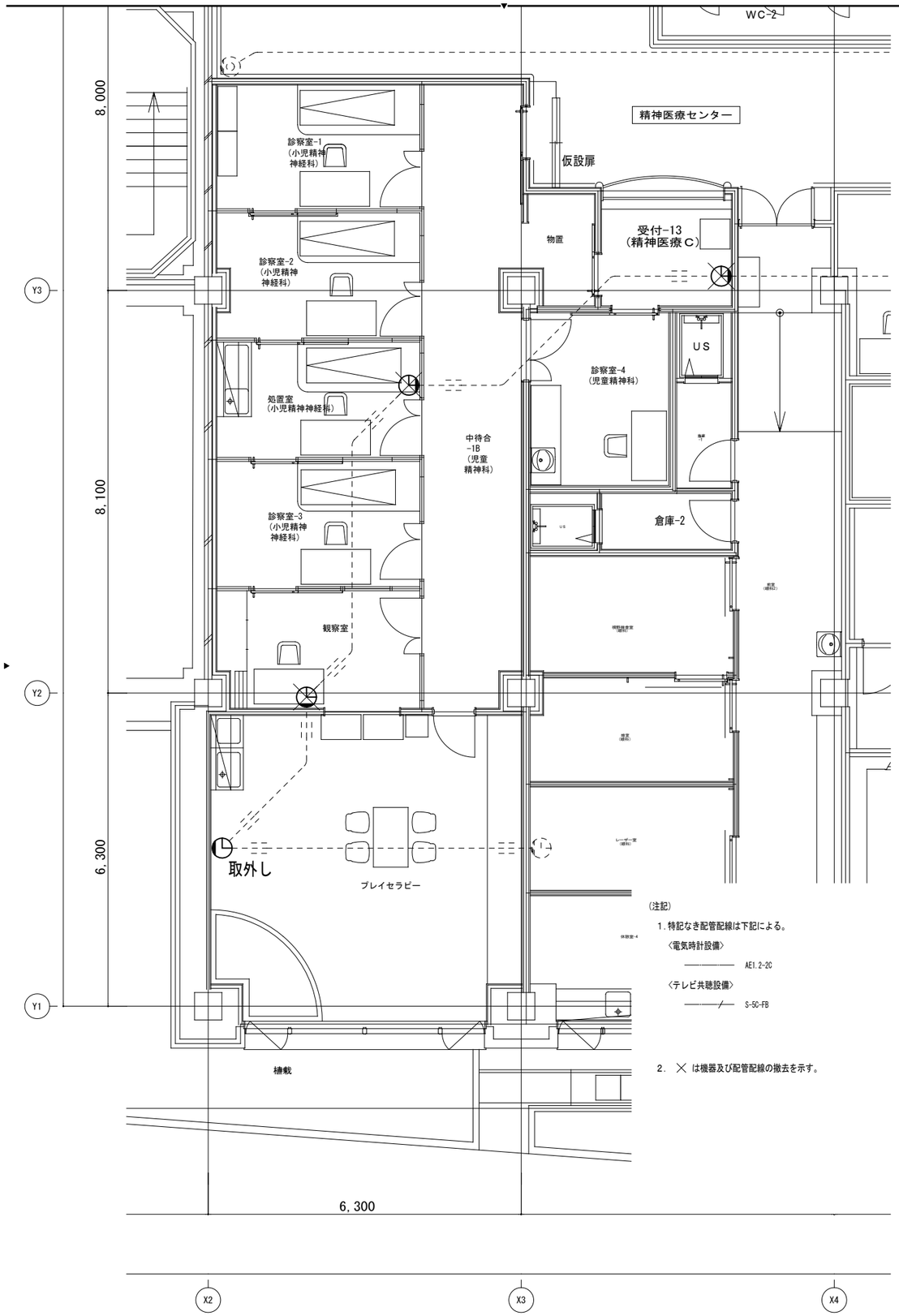
メタルモールにて保護

2．　は二重天井内ケーブルころがしを示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3．破線の機器は既設を示す。

4．防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡　野　崇　　加　藤　悟　　近藤　剛史	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事 時計・テレビ共聴設備　１階平面詳細図（精神科）（改修後）	2022.03 A1：1/50 A3：1/100	RE－ 047



(注記)

1. 特記なき配管配線は下記による。

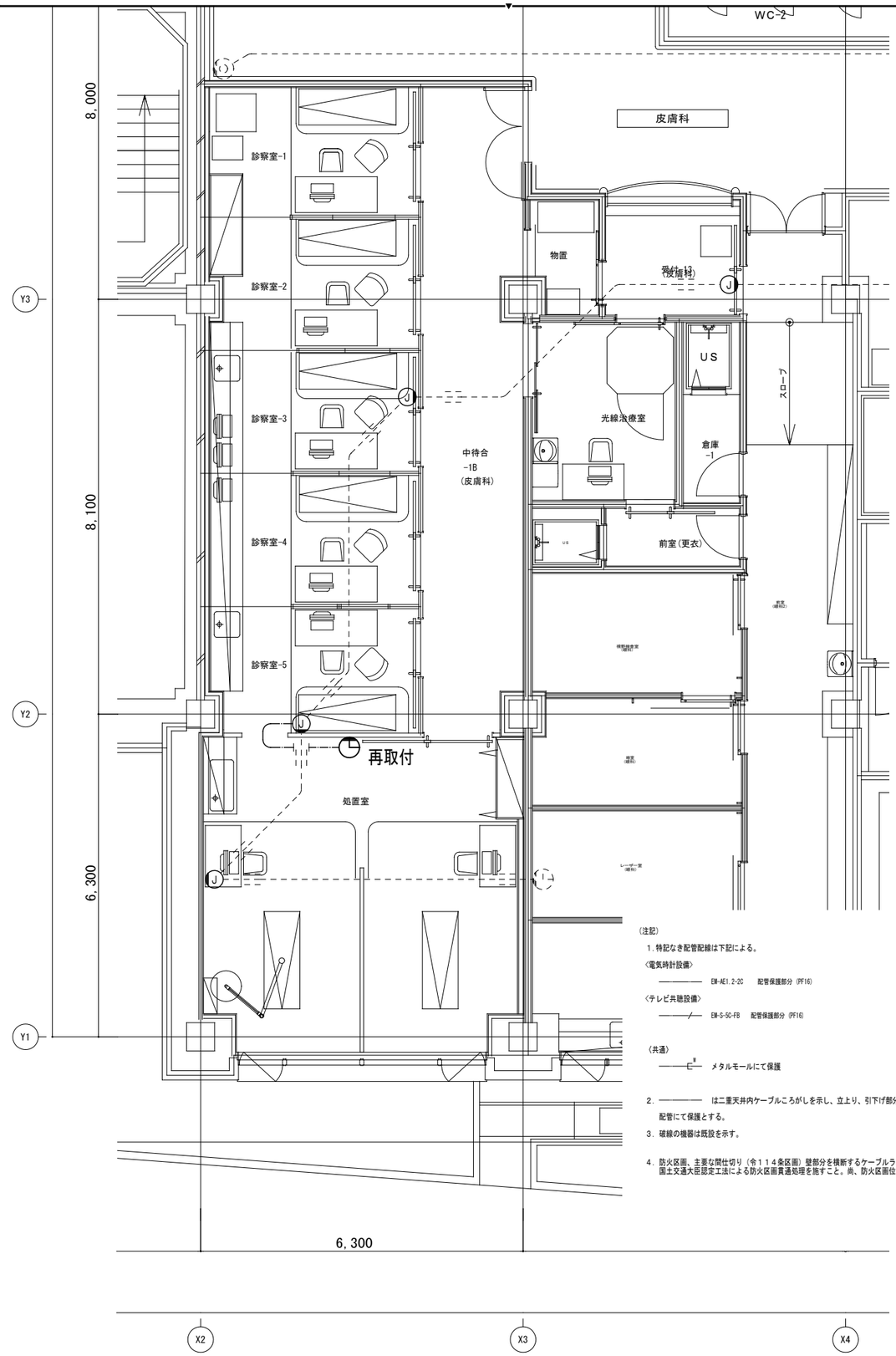
〈電気時計設備〉

———— AE1.2-20

〈テレビ共聴設備〉

————/— S-5C-FB

2. ╳ は機器及び配管配線の撤去を示す。



(注記)

1. 特記なき配管配線は下記による。

〈電気時計設備〉

———— EM-AE1.2-20 配管保護部分 (PF16)

〈テレビ共聴設備〉

————/— EM-S-5C-FB 配管保護部分 (PF16)

(共通)

————C— メタルモールにて保護

2. ———— は二重天井内ケーブルころがしを示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3. 破線の機器は既設を示す。

4. 防火区画、主要な間仕切り(令１１４条区画)壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。

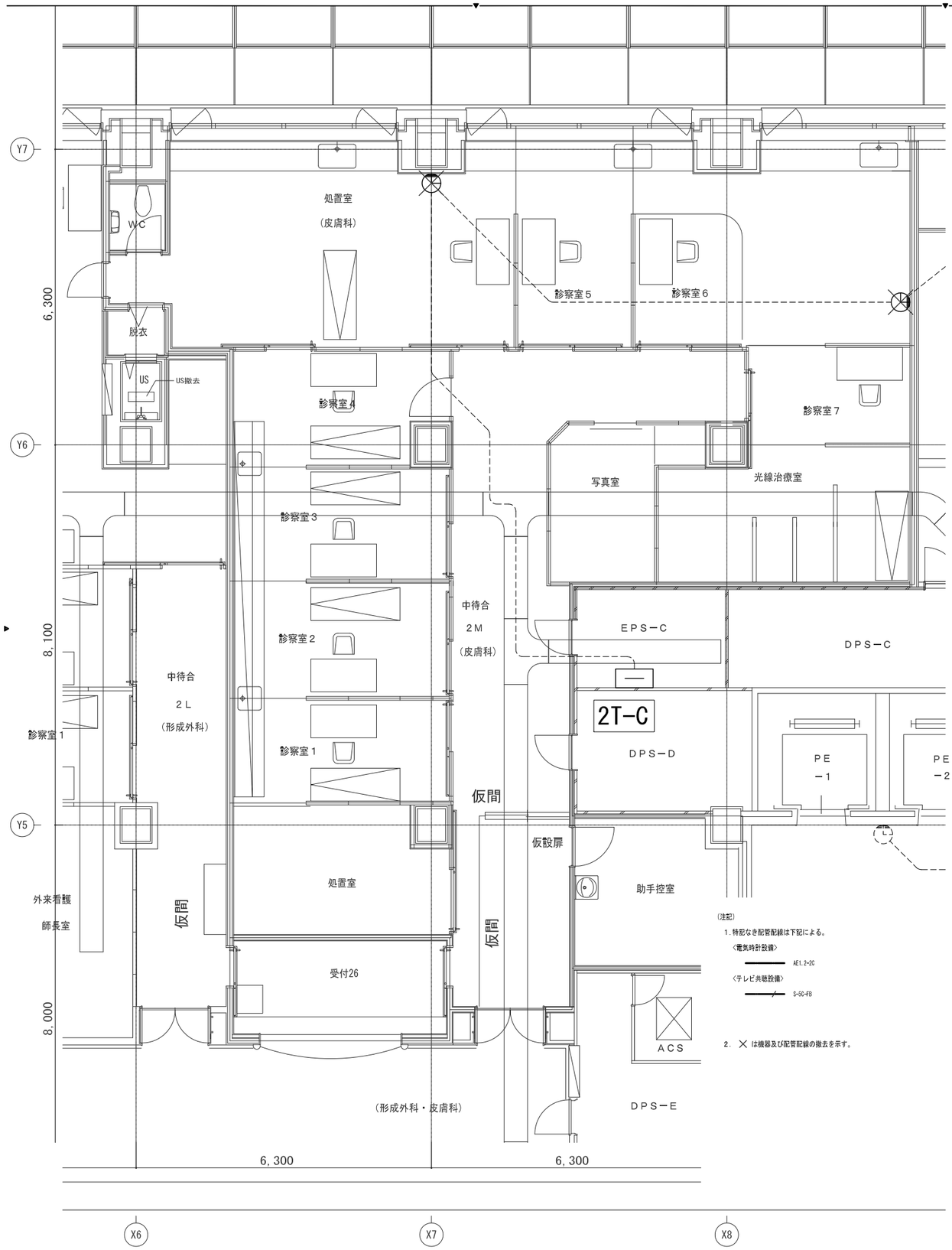
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野 崇

加藤 悟

近藤 剛史

公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RE － 048
時計・テレビ共聴設備 １階平面詳細図(皮膚科)(改修前)(改修後)	A1：1/50 A3：1/100	



（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

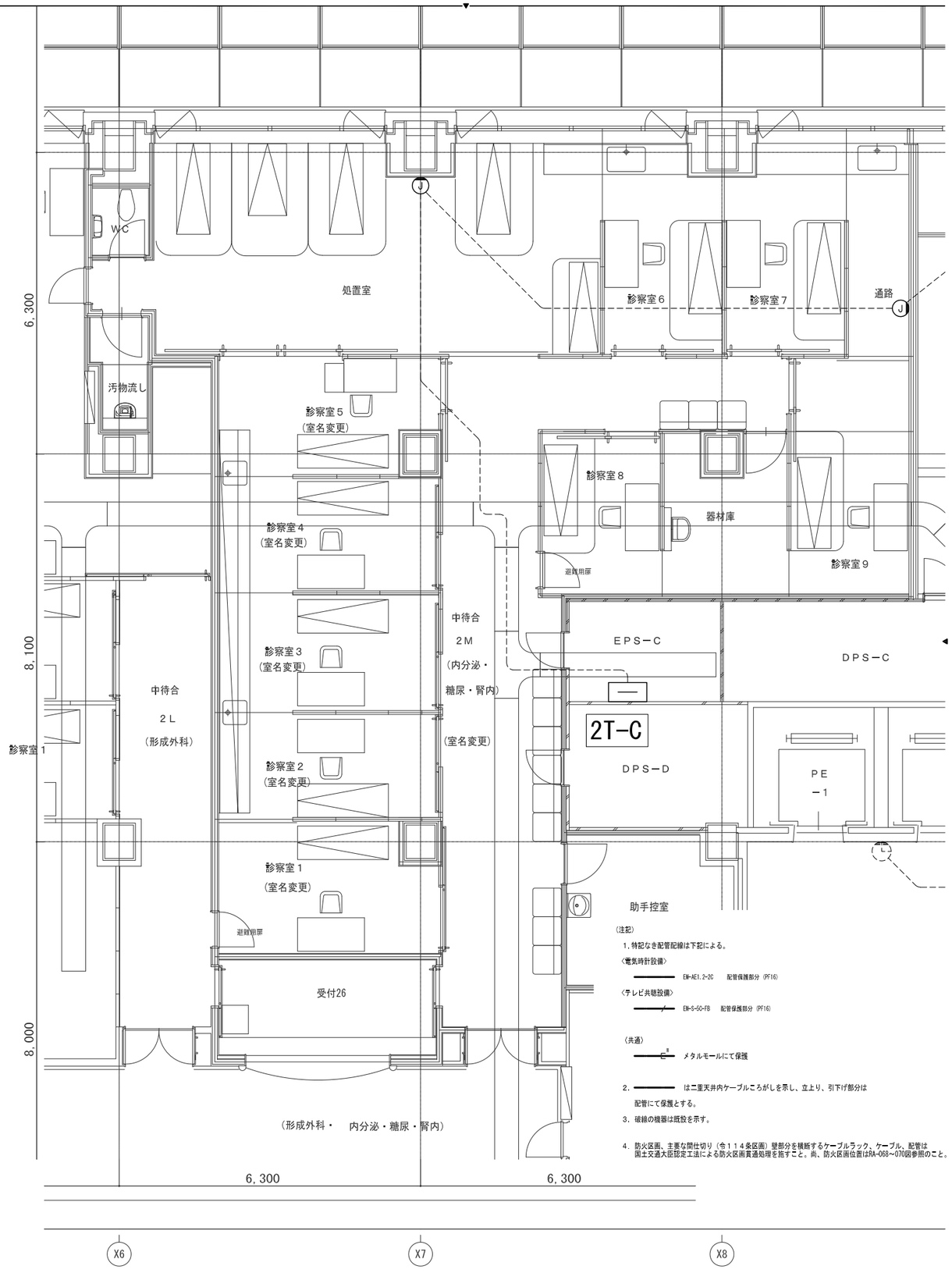
〈電気時計設備〉

AE1.2−20

〈テレビ共聴設備〉

5−5G−FB

2．×は機器及び配管配線の撤去を示す。



（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

〈電気時計設備〉

EM−AE1.2−20　配管保護部分（PF16）

〈テレビ共聴設備〉

EM−5−5G−FB　配管保護部分（PF16）

（共通）

メタルモールにて保護

2．――――は二重天井内ケーブルころがしを示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3．破線の機器は既設を示す。

4．防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA−068〜070図参照のこと。

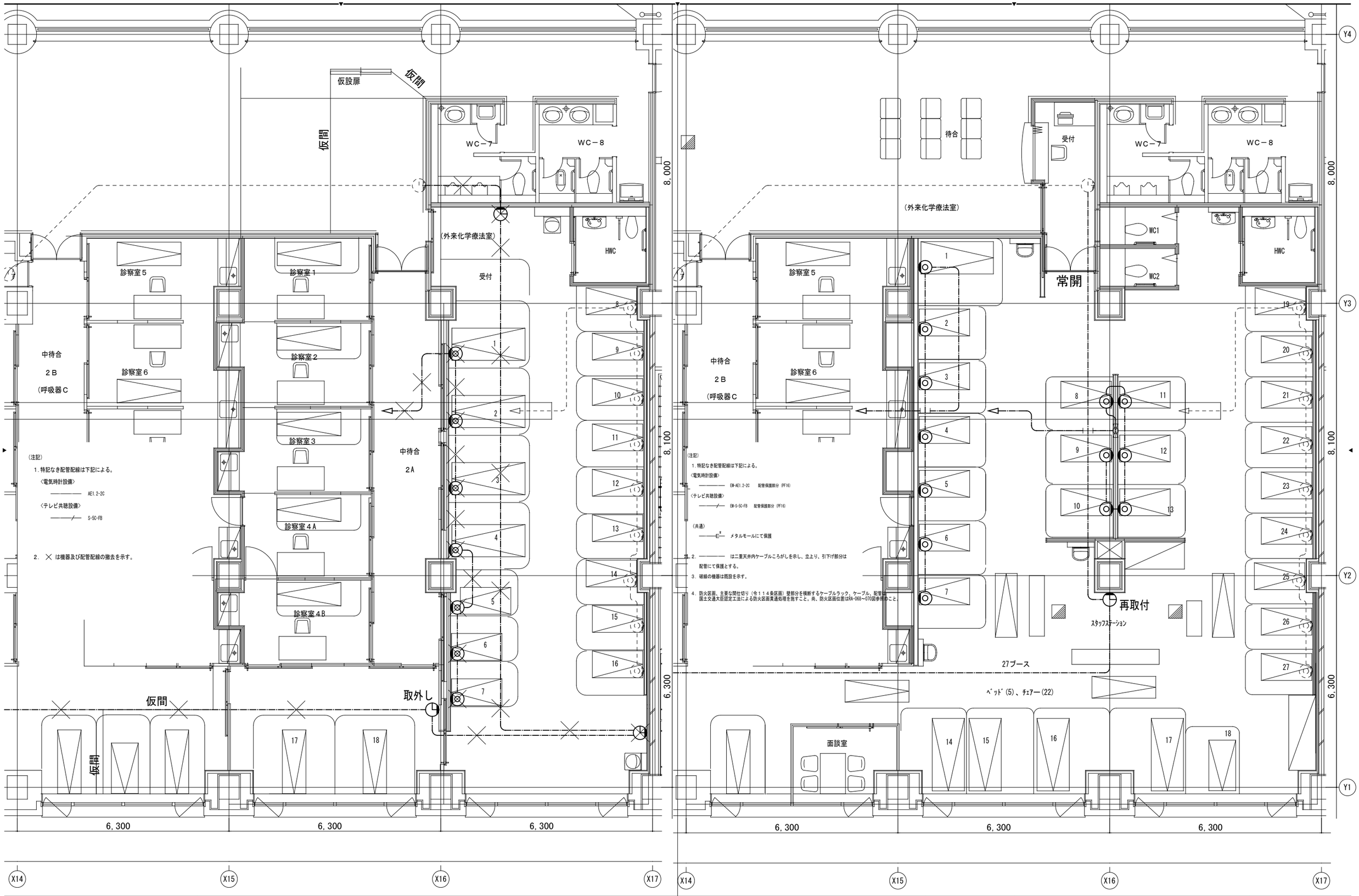
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇

加藤　悟

近藤　剛史

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RE − 049
時計・テレビ共聴設備　２階平面詳細図 （内分泌・糖尿）（改修前）（改修後）	A1：1/50 A3：1/100	



(注記)

1. 特記なき配管配線は下記による。

〈電気時計設備〉

———— AE1.2-2C

〈テレビ共聴設備〉

———/— S-5C-FB

2. ×は機器及び配管配線の撤去を示す。

(注記)

1. 特記なき配管配線は下記による。

〈電気時計設備〉

———— EM-AE1.2-2C 配管保護部分 (PF16)

〈テレビ共聴設備〉

———/— EM-S-5C-FB 配管保護部分 (PF16)

(共通)

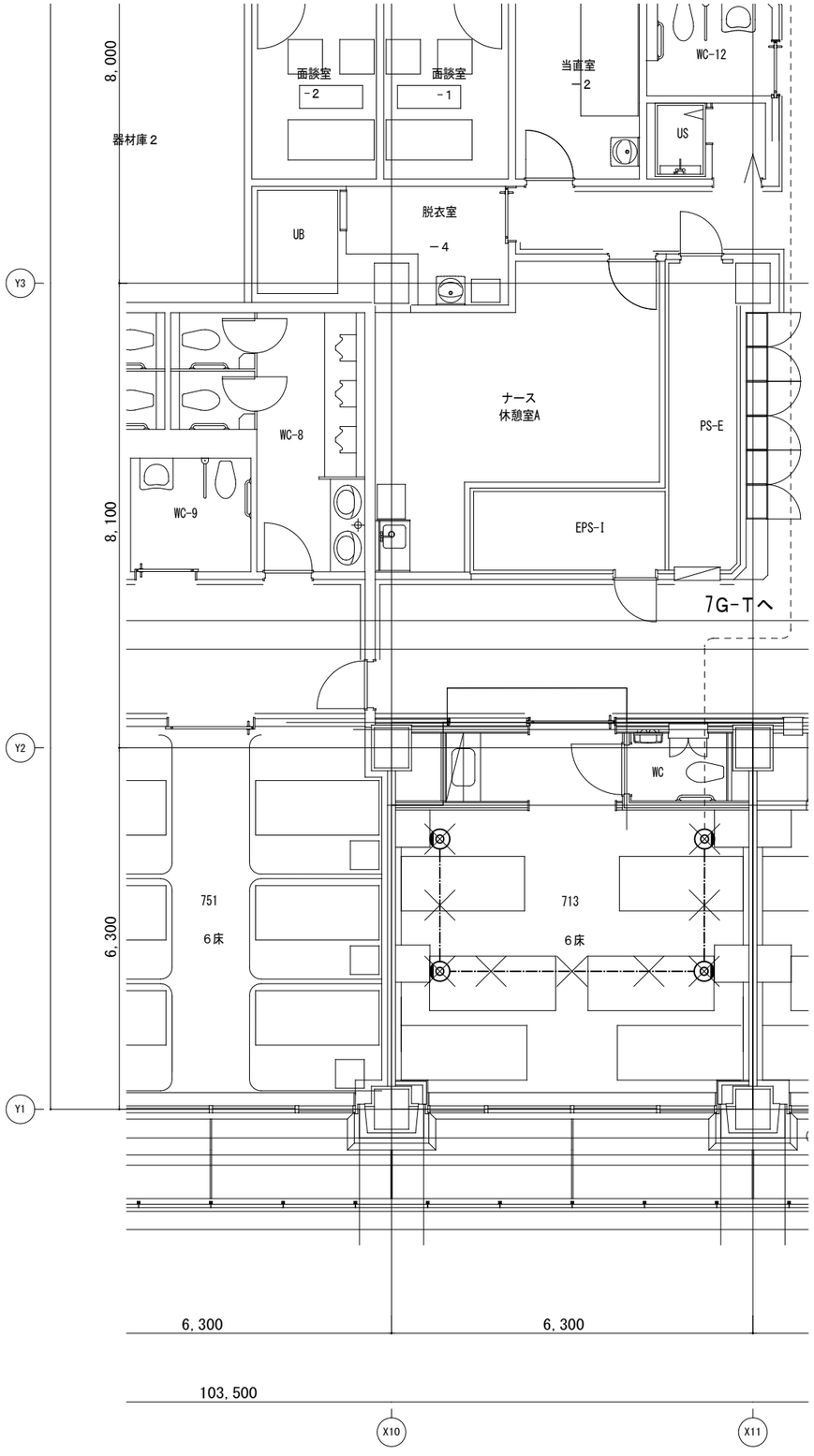
———E— メタルモールにて保護

2. ———— は二重天井内ケーブルころがしを示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3. 破線の機器は既設を示す。

4. 防火区画、主要な間仕切り(令１１４条区画)壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第344749号 設備設計一級建築士 第4211号 岡野 崇	加藤 悟	近藤 剛史	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RE－ 050
				時計・テレビ共聴設備 ２階平面詳細図 (外来化学療法室)(改修前)(改修後)	A1：1/50 A3：1/100	



（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

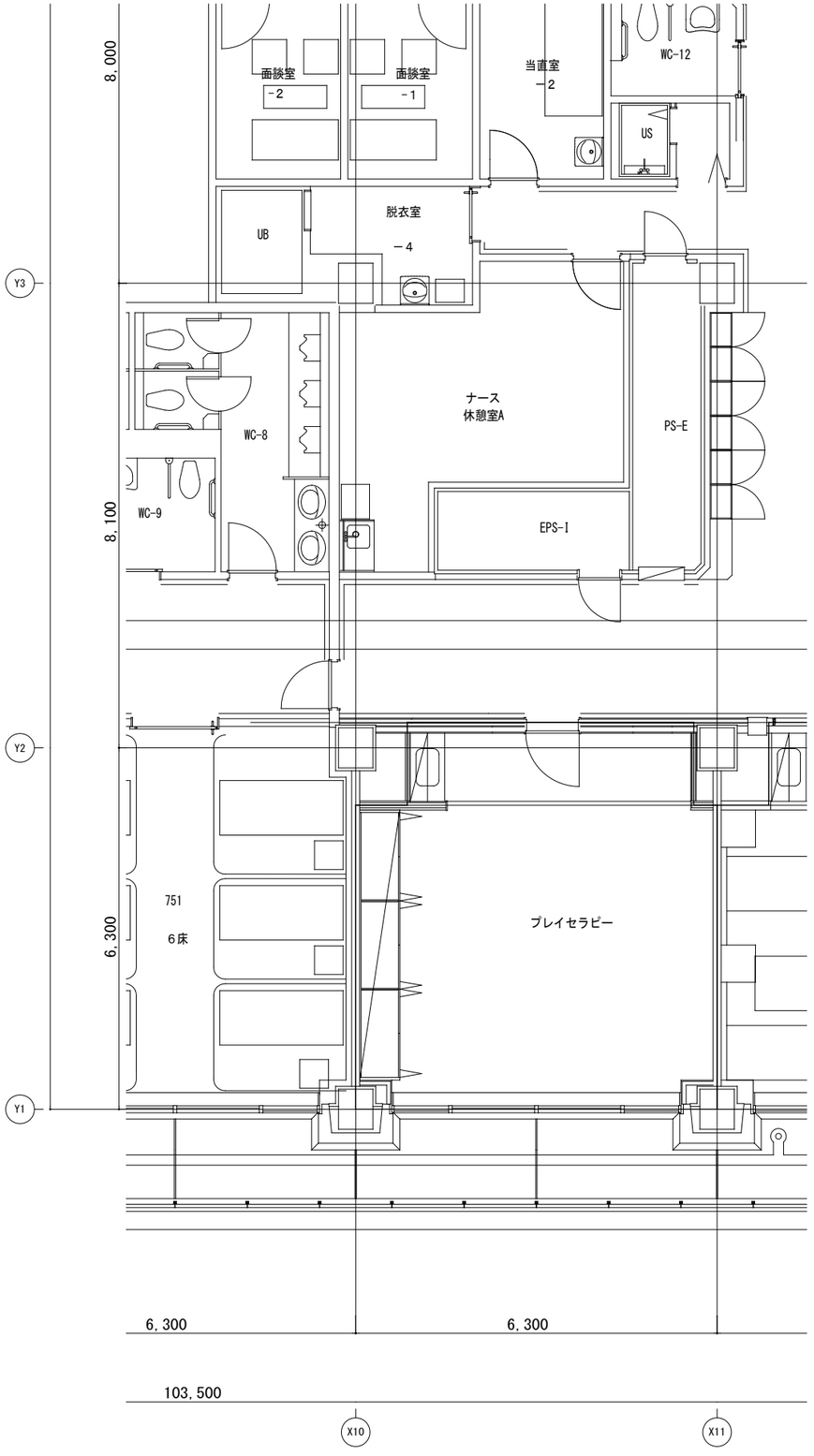
〈電気時計設備〉

———— AE1.2-2C

〈テレビ共聴設備〉

————／— S-5C-FB

2．×は機器及び配管配線の撤去を示す。



株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇

加藤　悟

近藤　剛史

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

時計・テレビ共聴設備　７階平面詳細図(改修前・改修後)

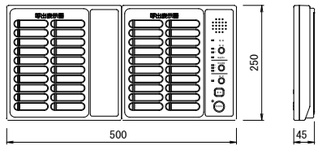
2022.03

A1：1/50
A3：1/100

RE－051

40L 呼出表示器　４０窓

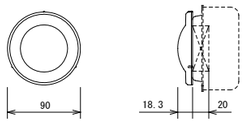
IRP-40B



形　　状	壁掛形
材　　質	カバー、ケース：AES樹脂，シャーシ：鋼板製
呼出表示灯	LED（赤）
呼出音	電子メロディー（8種）／トレモロ音／チャイム音
呼出種別	一般呼出、緊急呼出
操作スイッチ	復旧、呼出音停止、呼出音量、転送、設定
電　　源	AC-6C100V　50／60Hz
備　　考	パラ表示／転送受入機能

⊗ 代表廊下灯（丸形，呼出表示器用）

BL-113/8

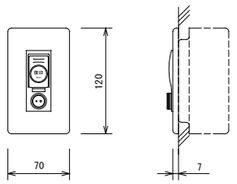


形　　状	壁埋込形（JIS中型四角アウトレットボックス浅形，中型四角丸穴カバー付）
材　　質	レンズ：ポリカーボネート
	ベース：ＰＣ＋ＡＥＳ樹脂
色　　調	レンズ：乳白半透明
	ベース：ナチュラルホワイト
表示灯	LED（赤），8V

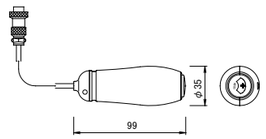
ⓝ コンセント＋握り押ボタン（呼出表示器用）

BB-107RAU+RB-822A

コンセント（2P・保持・復旧・LED付）



握り押ボタン（2Pメタコン用）



コンセント（2P・保持・復旧・LED付）

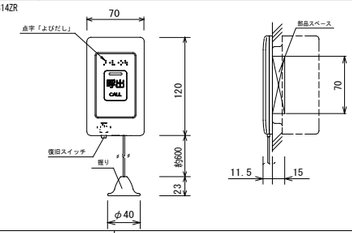
形　　状	壁埋込形（JIS1個用スイッチボックスカバー付）
プレート	樹脂プレート
コンセント	14型2P
復旧ボタン	ノンロック式
呼出確認灯	LED（赤）

握り押ボタン（2Pメタコン用）

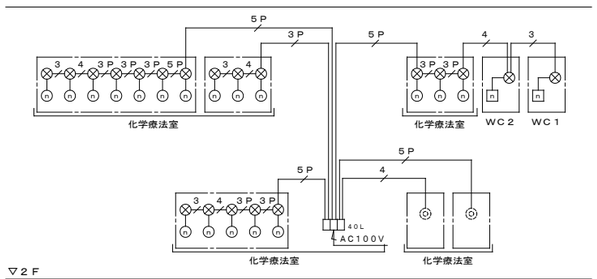
材　　質	抗菌ABS樹脂
呼出押ボタン	ノンロック式
備　　考	コード2.0m（14型2Pプラグ付）

Ⓝ トイレ・浴室用押ボタン（引きひも・復旧付）

BT-314ZR



形　　状	壁埋込形（JIS1個用スイッチボックスカバー付）
プレート／握り	抗菌樹脂
確認灯	LED（赤）
呼出ボタン／復旧スイッチ	ノンロック式
点　　字	よびだし
備　　考	JIS C-0920 IPx5（防噴流形）適合



呼出表示設備　系統図

（注記１）特記なき配管配線は下記とする。

———	ＡＥ０．９－　２Ｃ	（ＰＦ１６）
3	ＡＥ０．９－　３Ｃ	（ＰＦ１６）
4	ＡＥ０．９－　４Ｃ	（ＰＦ１６）
3P	ＡＥ０．９－　３Ｐ	（ＰＦ１６）
5P	ＡＥ０．９－　５Ｐ	（ＰＦ２２）

（注記２）二重天井内はケーブルころがし配線とする。

凡例

記号	名称	備考
〈一般呼出設備〉		
AMP	待合共同呼出装置	
▲	天井埋込スピーカ	
ⓜ	卓上マイク用コンセント	卓上マイク ⓜ
⊙	コンセント＋握り押ボタン（呼出表示器用）	
⊗	代表器下灯（丸形，8 V，赤，呼出表示器用）	

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

〈一般呼出設備〉

——//—— AE1.2-2C　配管保護部分（PF16）

——//—— AE1.2-3C　配管保護部分（PF16）

2．×は機器及び配管配線の撤去を示す。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　　加藤　悟　　近藤　剛史

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事	2022. 03	RE－ 053
呼出設備　1階平面詳細図（精神科）（改修前）	A1：1/50 A3：1/100	

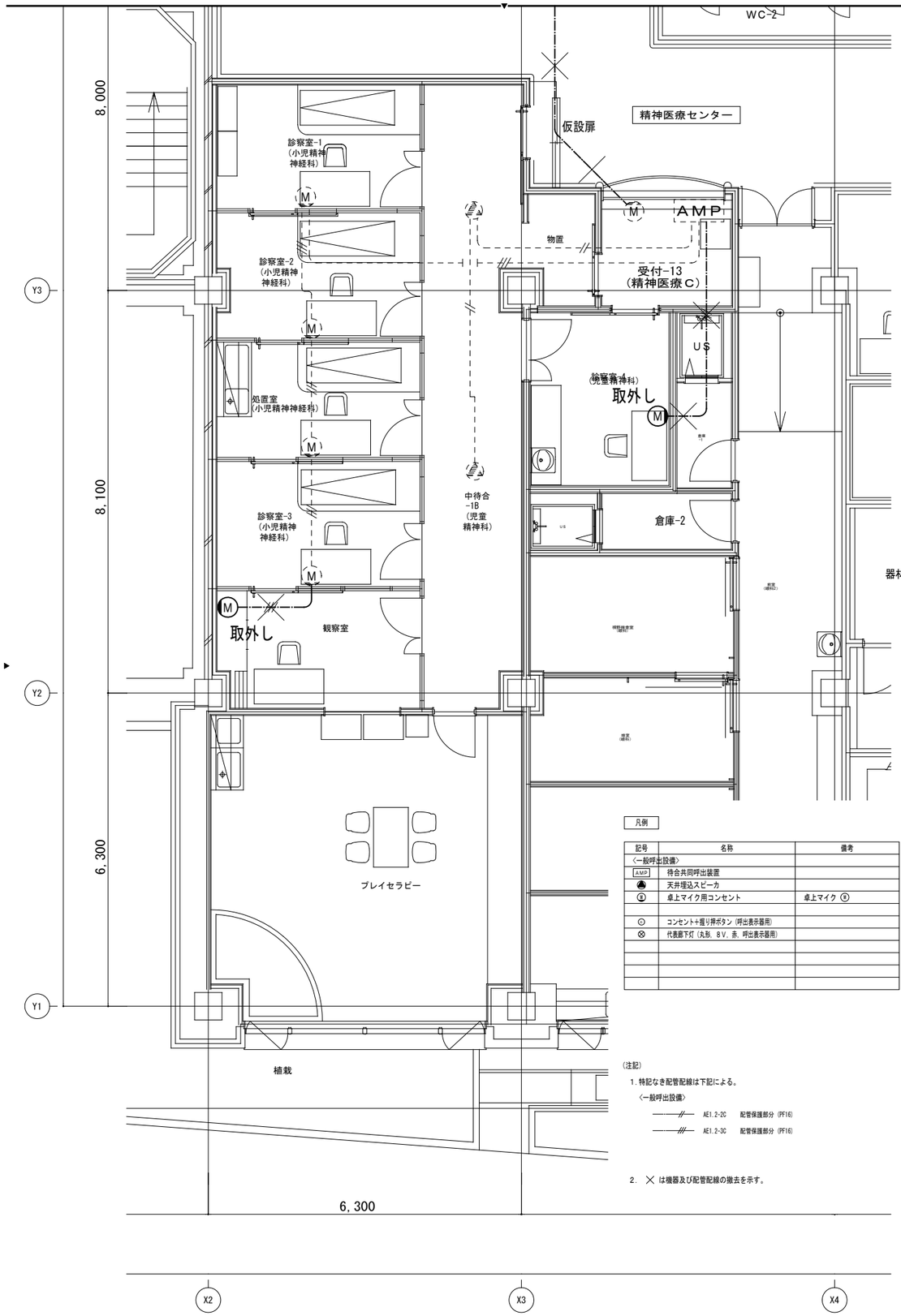
Y7
Y6
Y5
Y4
6,300
8,100
58,800
8,000
4,000
6,300
6,300
6,300
6,300
X1
X2
X3
X4
X5
X6
診察室-7
診察室-6
診察室-5
診察室-4
診察室-3
診察室-2
診察室-1
EPS-A
バルコニー
CH-1
CH-2
DPS-A
EPS-B
PS-4
休憩室-1
再取付
診察室-8
(室名変更)
児精3
(室名変更)
児精2
児精1
中待合
1E
(精神科：
大人)
(ウ)
再取付
処置室
(精神科)
既設
(イ)
1台増設
2台再取付
受付-14
AMP
(ア)
再取付
待合ホール-2
精神科
中待合
1F
(精神科・児童)
記録室
休憩室-2
検査3
検査2
検査1
WC-1
WC-3
診察室-5
診察室-4
診察室-3
診察室-2
診察室-1

(注記)
1．特記なき配管配線は下記による。

(一般呼出設備)
EM-AE1.2-2C　配管保護部分 (PF16)
EM-AE1.2-3C　配管保護部分 (PF16)

(共通)
メタルモールにて保護
既設配管配線を利用
2．は二重天井内ケーブルころがしを示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。
3．破線の機器は既設を示す。
4．防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はSA-060~070図参照のこと。

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡　野　　崇	加　藤　　悟	近藤　剛史	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事 呼出設備　１階平面詳細図(精神科)(改修後)	2022.03 A1：1/50 A3：1/100	RE－ 054



凡例

記号	名称	備考
〈一般呼出設備〉		
AMP	待合共同呼出装置	
	天井埋込スピーカ	
	卓上マイク用コンセント	卓上マイク ⑧
	コンセント+握り押ボタン（呼出表示器用）	
	表面下灯（丸形、8V、赤、呼出表示器用）	

(注記)

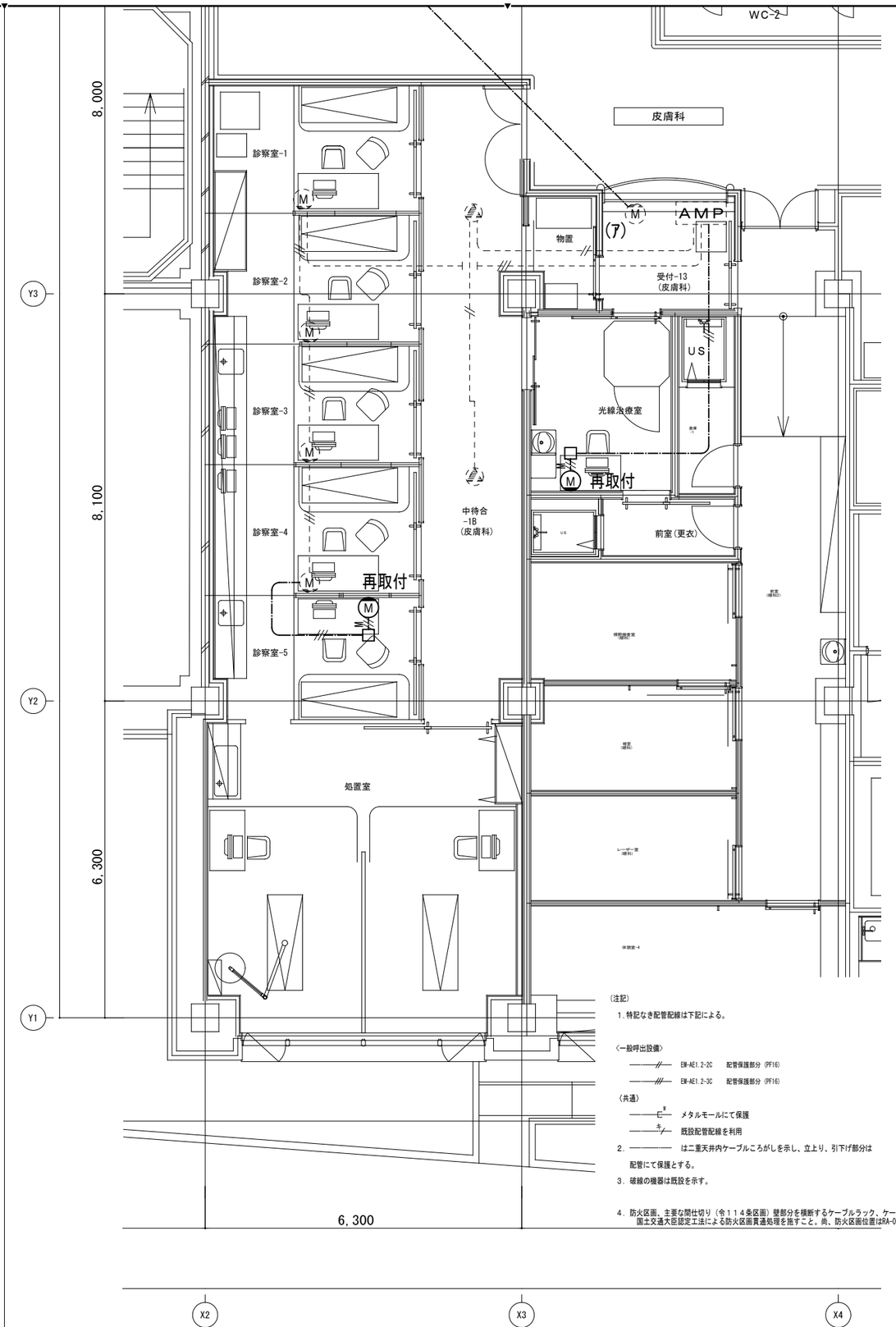
1．特記なき配管配線は下記による。

〈一般呼出設備〉

AE1.2-2C　配管保護部分（PF16）

AE1.2-3C　配管保護部分（PF16）

2．×は機器及び配管配線の撤去を示す。



(注記)

1．特記なき配管配線は下記による。

〈一般呼出設備〉

EM-AE1.2-2C　配管保護部分（PF16）

EM-AE1.2-3C　配管保護部分（PF16）

〈共通〉

メタルモールにて保護

既設配管配線を利用

2．――――――　は二重天井内ケーブルころがしを示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3．破線の機器は既設を示す。

4．防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇

加藤　悟

近藤　剛史

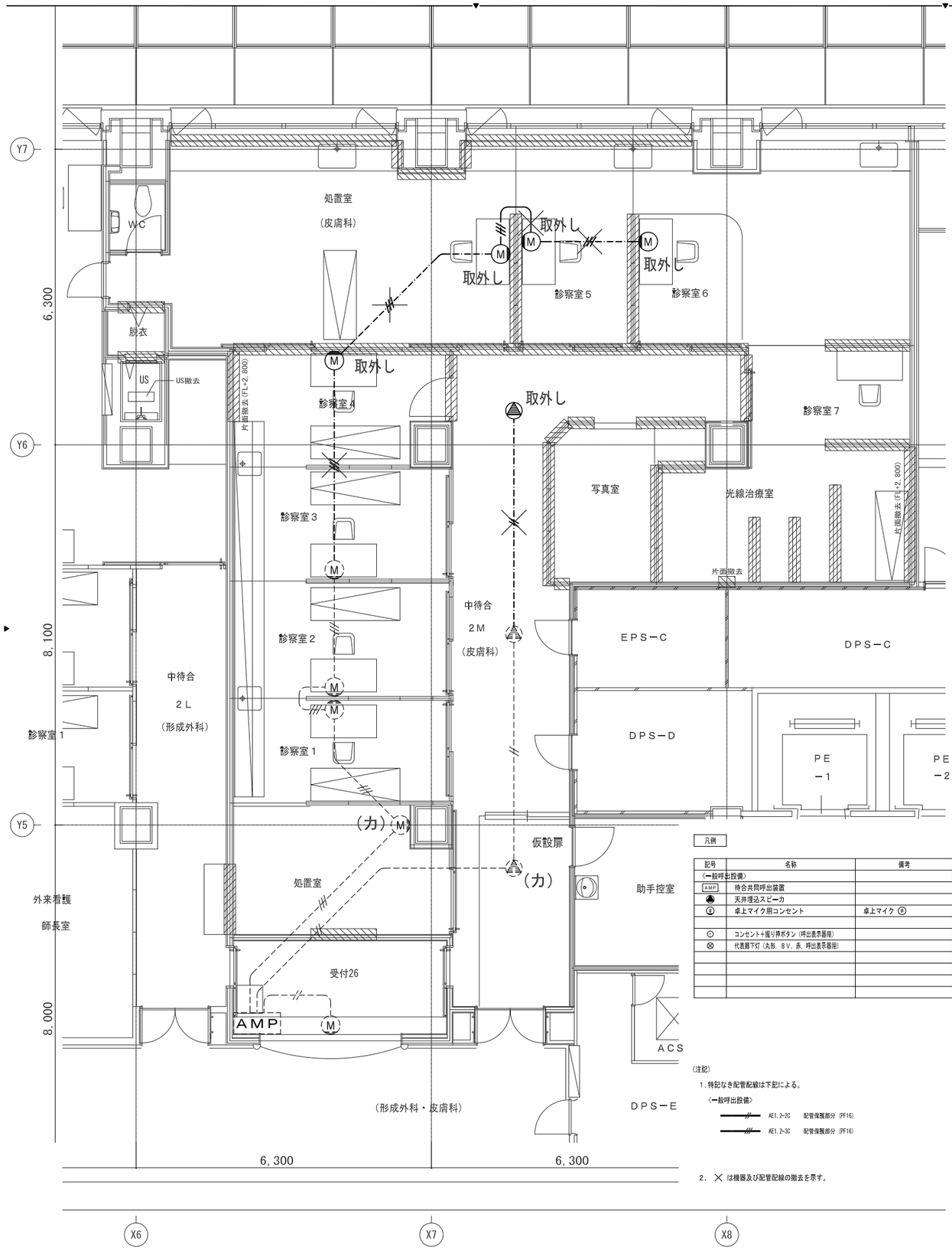
公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

呼出設備　１階平面詳細図（皮膚科）（改修前）（改修後）

2022.03

A1：1/50
A3：1/100

RE－055



凡例

記号	名称	備考
〈一般呼出設備〉		
AMP	待合共同呼出装置	
▲	天井埋込スピーカ	
Ⓜ	卓上マイク用コンセント	卓上マイク Ⓜ
⊙	コンセント＋握り押ボタン（呼出表示器用）	
⊗	代表部下灯（丸形、８Ｖ、赤、呼出表示器用）	

（注記）

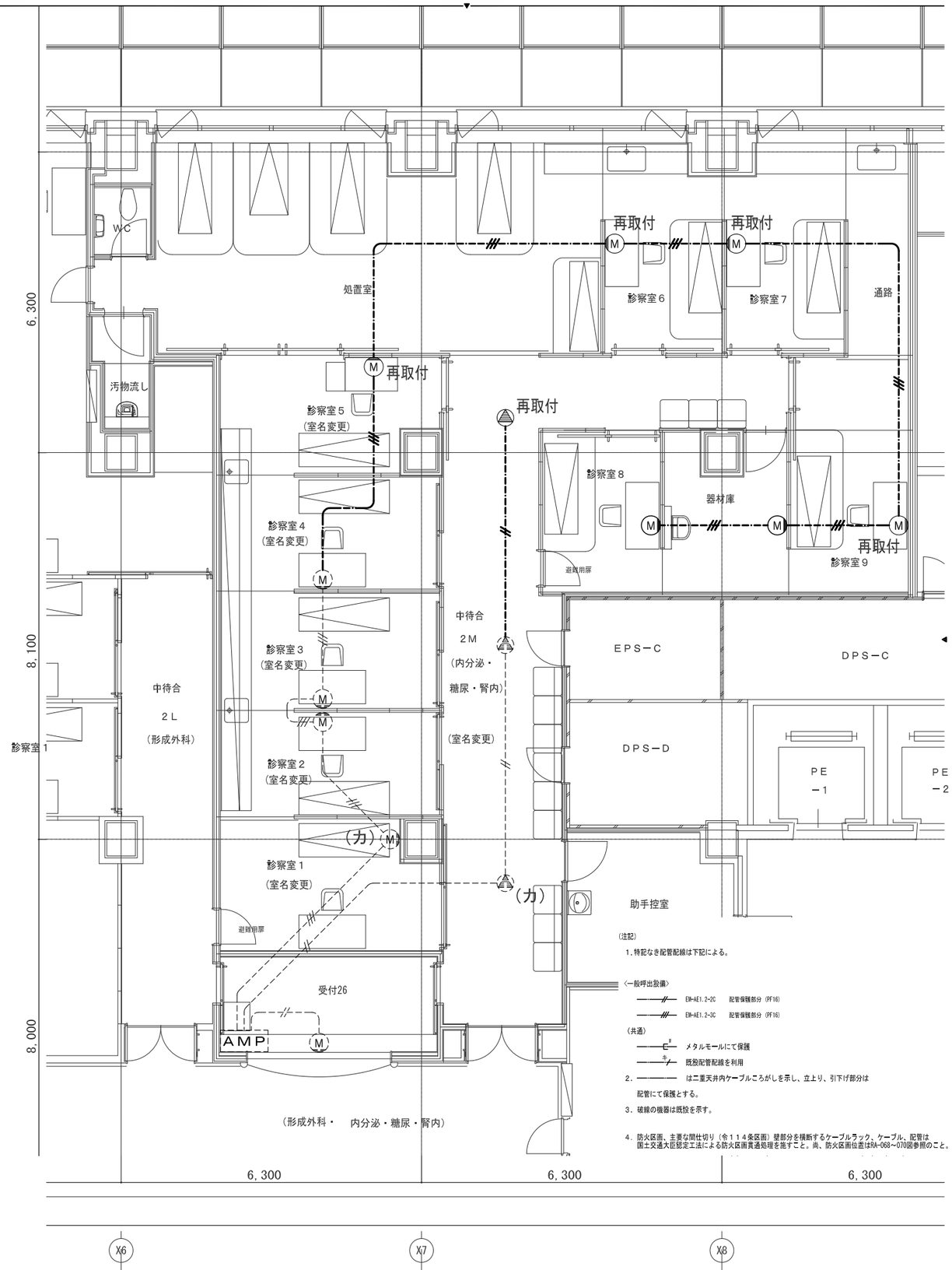
1．特記なき配管配線は下記による。

〈一般呼出設備〉

AE1.2-2C　配管保護部分（PF16）

AE1.2-3C　配管保護部分（PF16）

2．×は機器及び配管配線の撤去を示す。



（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

〈一般呼出設備〉

EM-AE1.2-2C　配管保護部分（PF16）

EM-AE1.2-3C　配管保護部分（PF16）

（共通）

C　メタルモールにて保護

既　既設配管配線を利用

2．――――　は二重天井内ケーブルころがしを示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3．破線の機器は既設を示す。

4．防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。

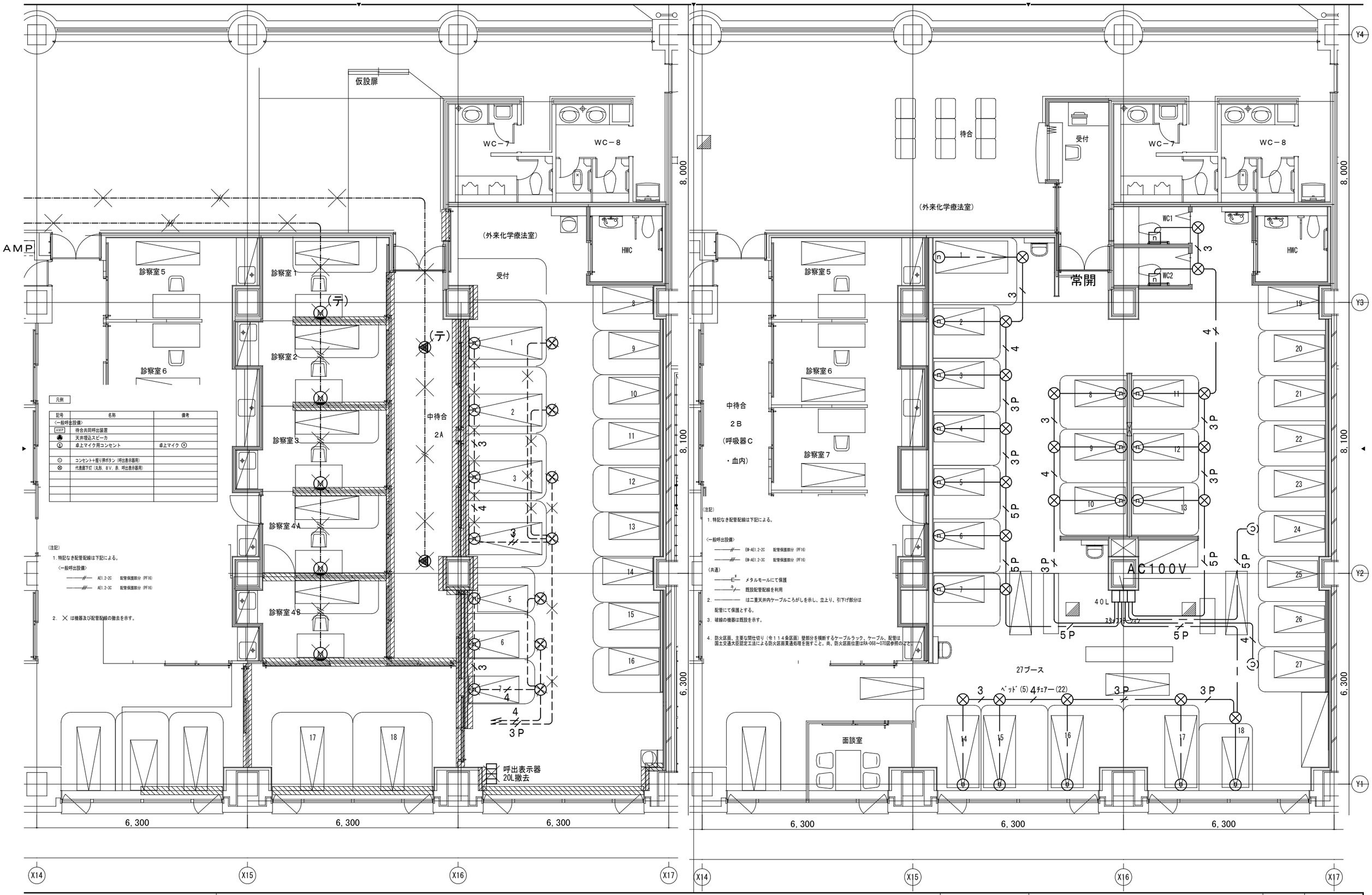
横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡　野　　崇

加　藤　　悟

近藤　剛史

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RE－056
呼出設備　２階平面詳細図（内分泌・糖尿）（改修前）（改修後）	A1：1/50 A3：1/100	



凡例

記号	名称	備考
〈一般呼出設備〉		
AMP	待合共同呼出装置	
	天井埋込スピーカ	
ⓢ	卓上マイク用コンセント	卓上マイク ⓢ
⊙	コンセント＋握り押ボタン（呼出表示器用）	
⊗	代表窓下灯（丸形、8V、赤、呼出表示器用）	

（注記）

1. 特記なき配管配線は下記による。

〈一般呼出設備〉

AE1.2-2C　配管保護部分（PF16）

AE1.2-3C　配管保護部分（PF16）

2. ╳ は機器及び配管配線の撤去を示す。

（注記）

1. 特記なき配管配線は下記による。

〈一般呼出設備〉

EM-AE1.2-2C　配管保護部分（PF16）

EM-AE1.2-3C　配管保護部分（PF16）

〈共通〉

メタルモールにて保護

既設配管配線を利用

2. ―――― は二重天井内ケーブルころがしを示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3. 破線の機器は既設を示す。

4. 防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡　野　崇	加　藤　悟	近藤　剛史	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事 呼出設備　２階平面詳細図 （外来化学療法室）（改修前）（改修後）	2022.03 A1：1/50 A3：1/100	RE－ 057

凡例

記号	名称	備考
〈一般呼出設備〉		
AMP	待合共同呼出装置	
	天井埋込スピーカ	
	卓上マイク用コンセント	卓上マイク ⑧
	コンセント+握り押ボタン（呼出表示器用）	
	代表扉下灯（丸形、8V、赤、呼出表示器用）	

(注記)

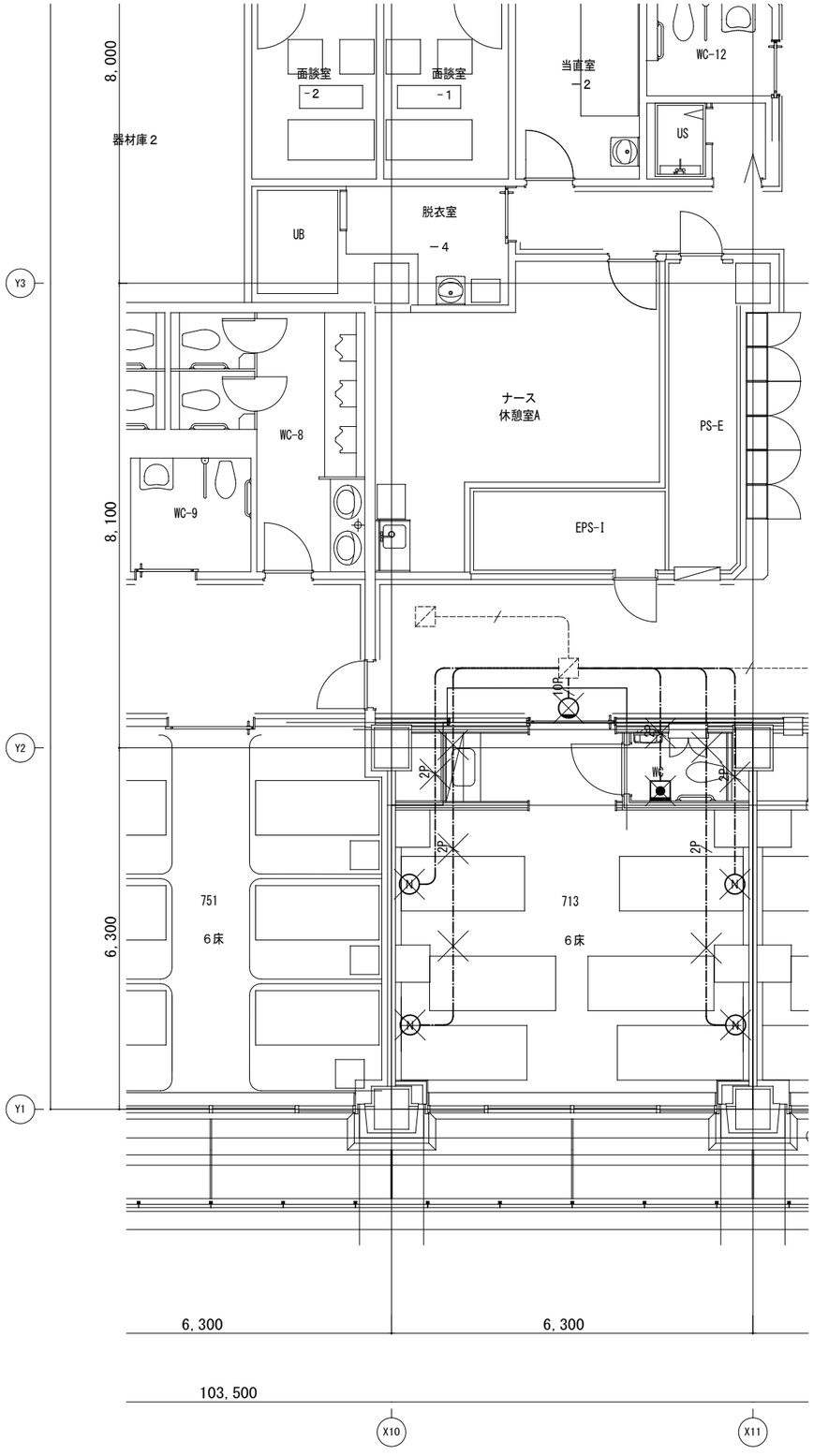
1. 特記なき配管配線は下記による。

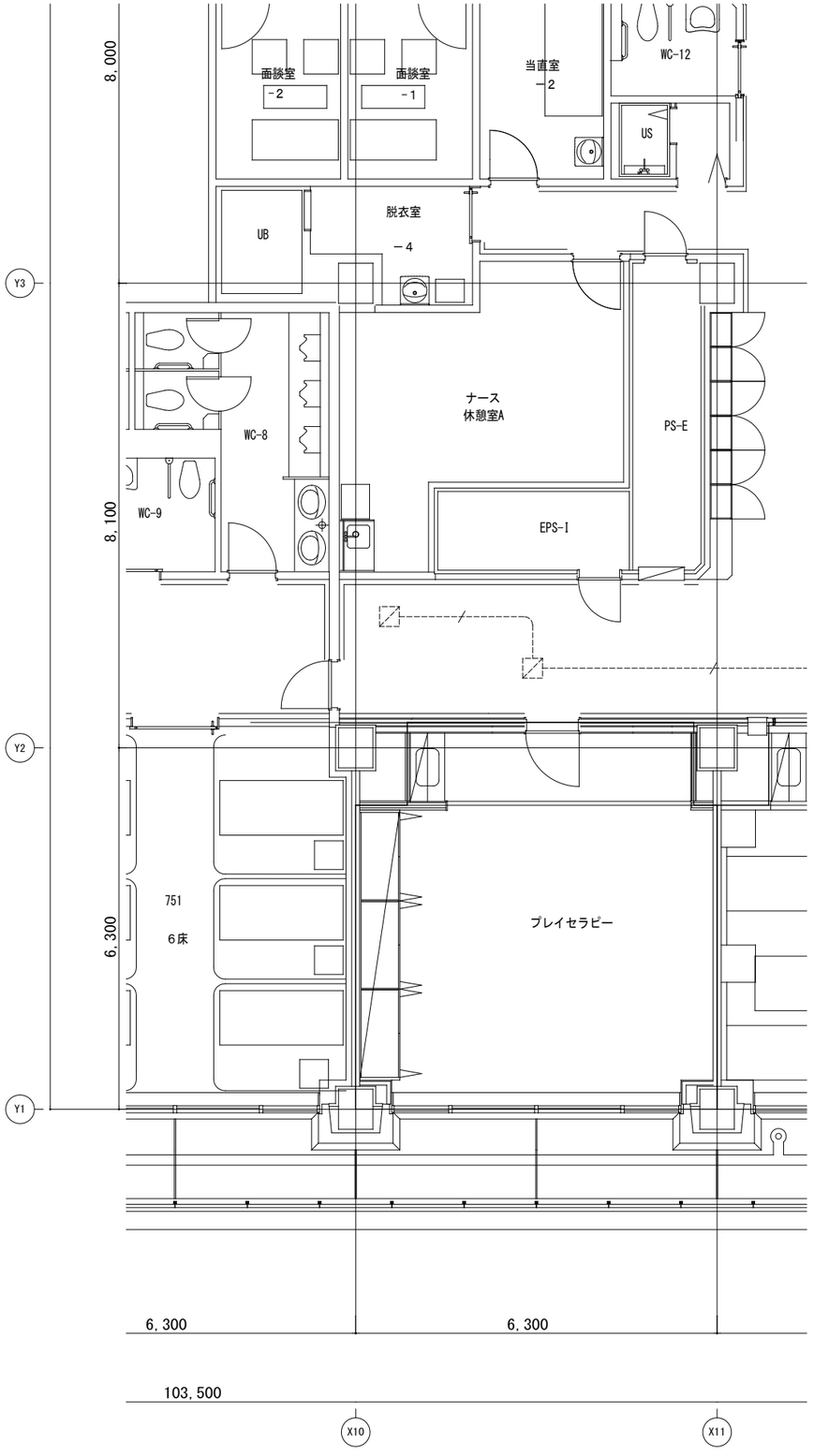
〈一般呼出設備〉

——//—— AE1.2-2C 配管保護部分（PF16）

——///—— AE1.2-3C 配管保護部分（PF16）

2. ×は機器及び配管配線の撤去を示す。





株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野 崇

加藤 悟

近藤 剛史

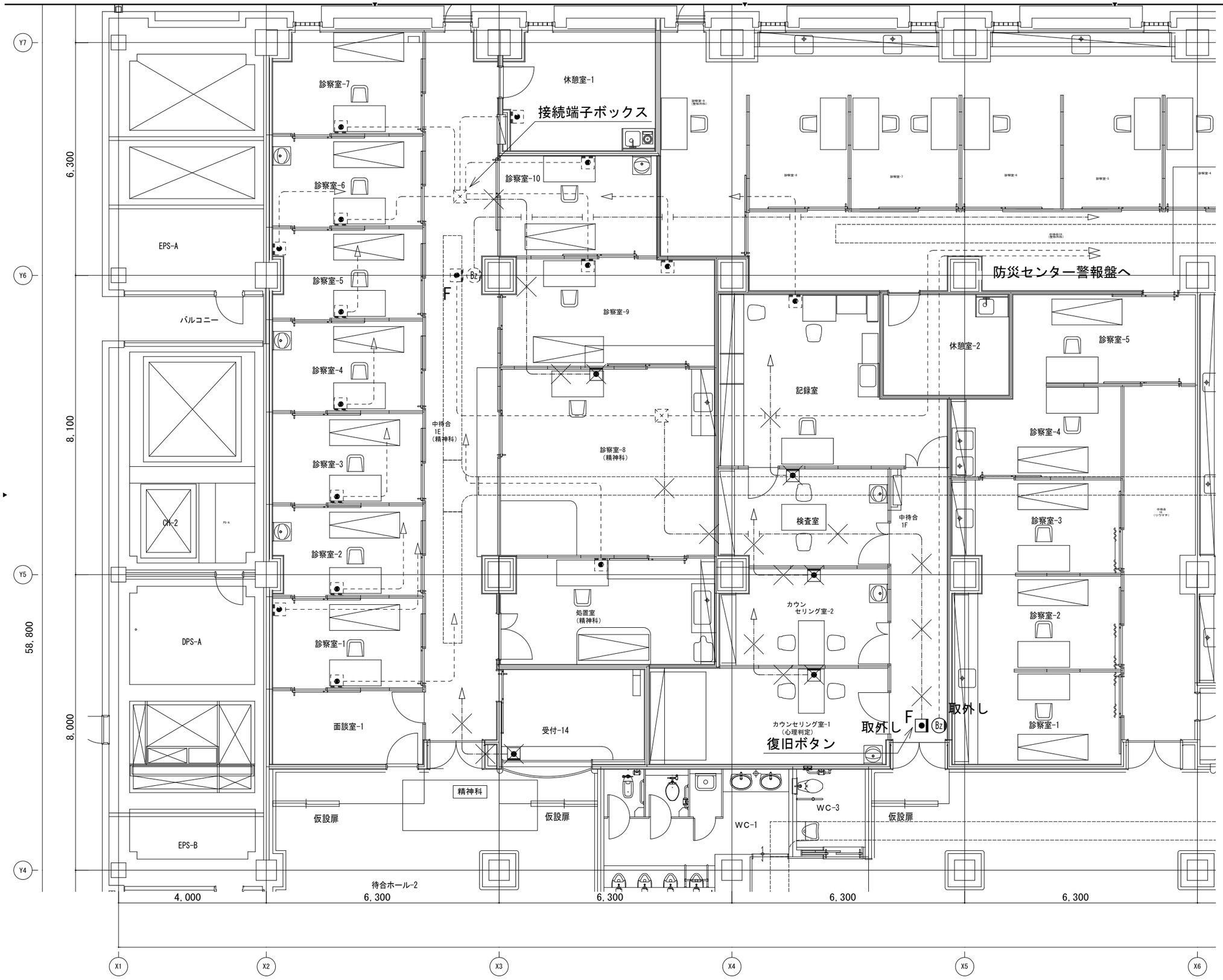
公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

呼出設備 ７階平面詳細図(改修前・改修後)

2022.03

A1：1/50
A3：1/100

RE－ 058



凡例

記号	名称	備考
〈非常警報設備〉		
◎	ブザー（既存）	
◉F	ブザー停止ボタン（既存）	
▯	ＢＯＸ	（テレホンガイド）
▣	警報押ボタン	EG331
	（BOXよりVCTｹｰﾌﾞﾙ2mにて取付）	露出ﾎﾞｯｸｽ（薄型28mm）

（注記）

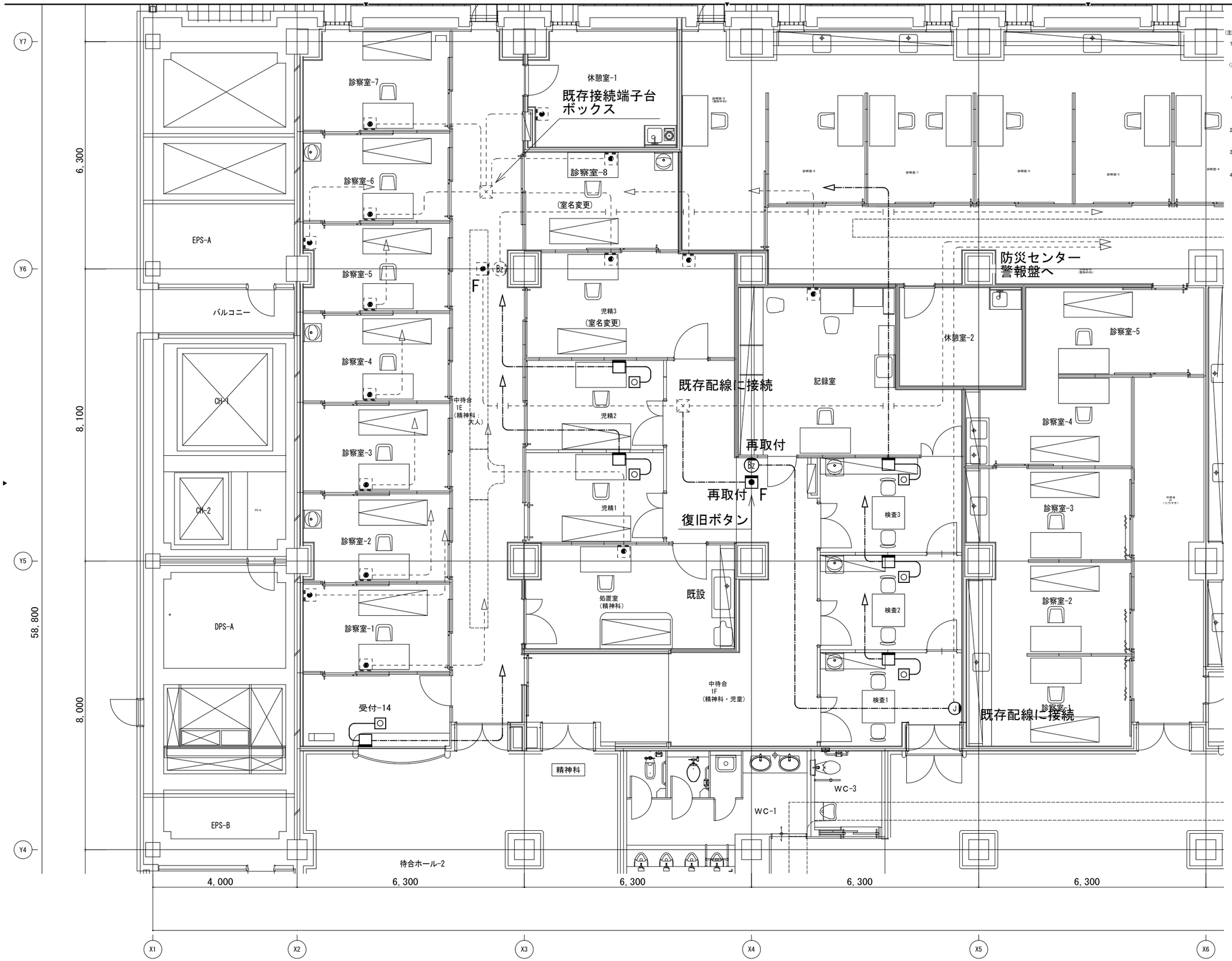
1. 特記なき配管配線は下記による。

〈非常警報設備〉

——————— VVF1.6-2C　配管保護部分（PF16）

2. ╳ は機器及び配管配線の撤去を示す。

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡　野　崇　　加　藤　悟　　近藤　剛史	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事 非常警報設備　１階平面詳細図（精神科）（改修前）	2022.03 A1：1/50 A3：1/100	RE － 059



(注記)

1. 特記なき配管配線は下記による。

〈非常警報設備〉

EM-EEF1.6-2C　配管保護部分 (PF16)

〈共通〉

メタルモールにて保護

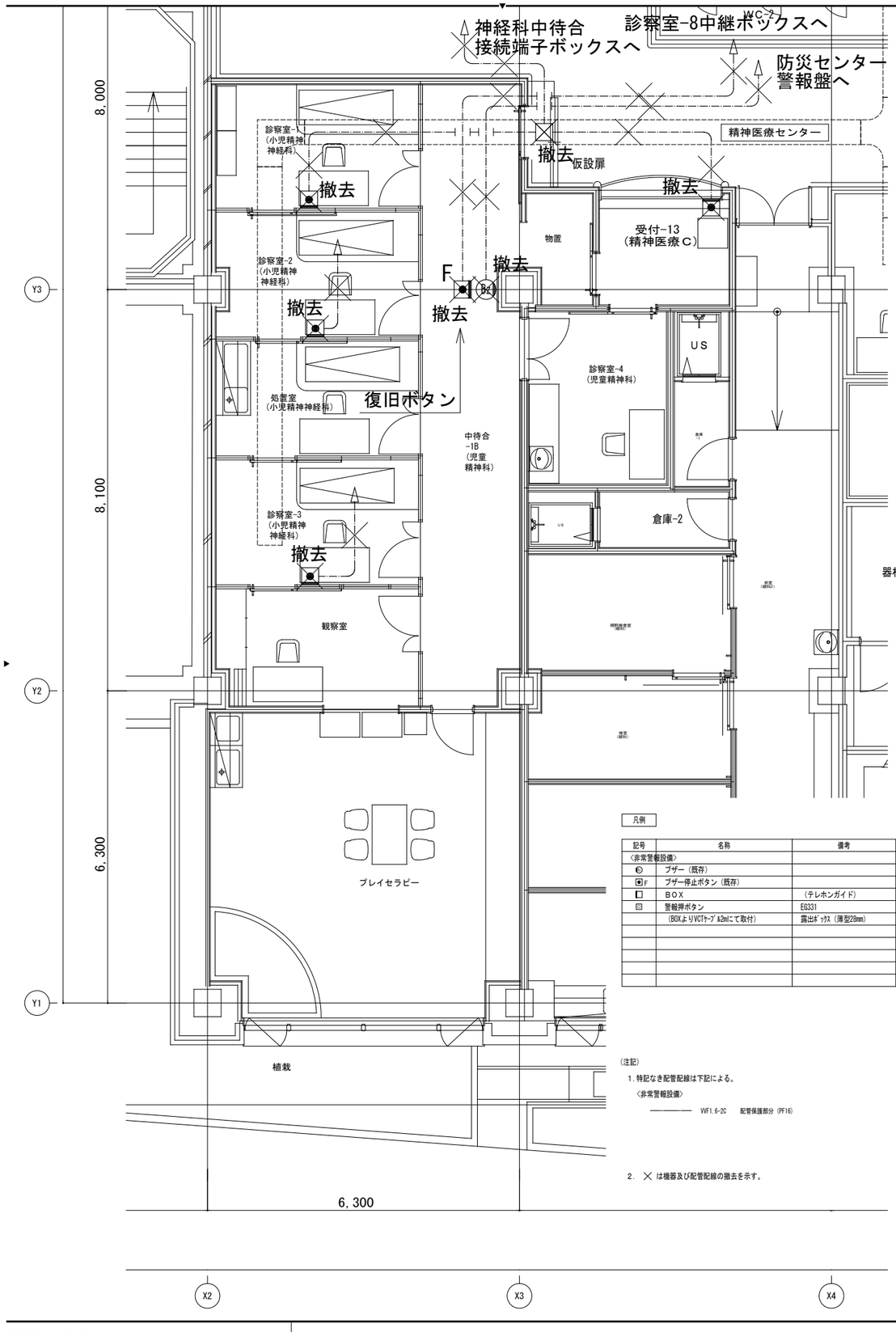
既設配管配線を利用

2. は二重天井内ケーブルころがしを示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3. 破線の機器は既設を示す。

4. 防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡　野　崇	加　藤　悟	近藤　剛史	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事 非常警報設備　１階平面詳細図(精神科)(改修後)	2022.03 A1：1/50 A3：1/100	RE － 060



凡例

記号	名称	備考
〈非常警報設備〉		
B	ブザー（既存）	
BF	ブザー停止ボタン（既存）	
	BOX	（テレホンガイド）
	警報押ボタン	EG331
	（BOXよりVCTｹｰﾌﾞﾙ2mにて取付）	露出ﾎﾞｯｸｽ（薄型28mm）

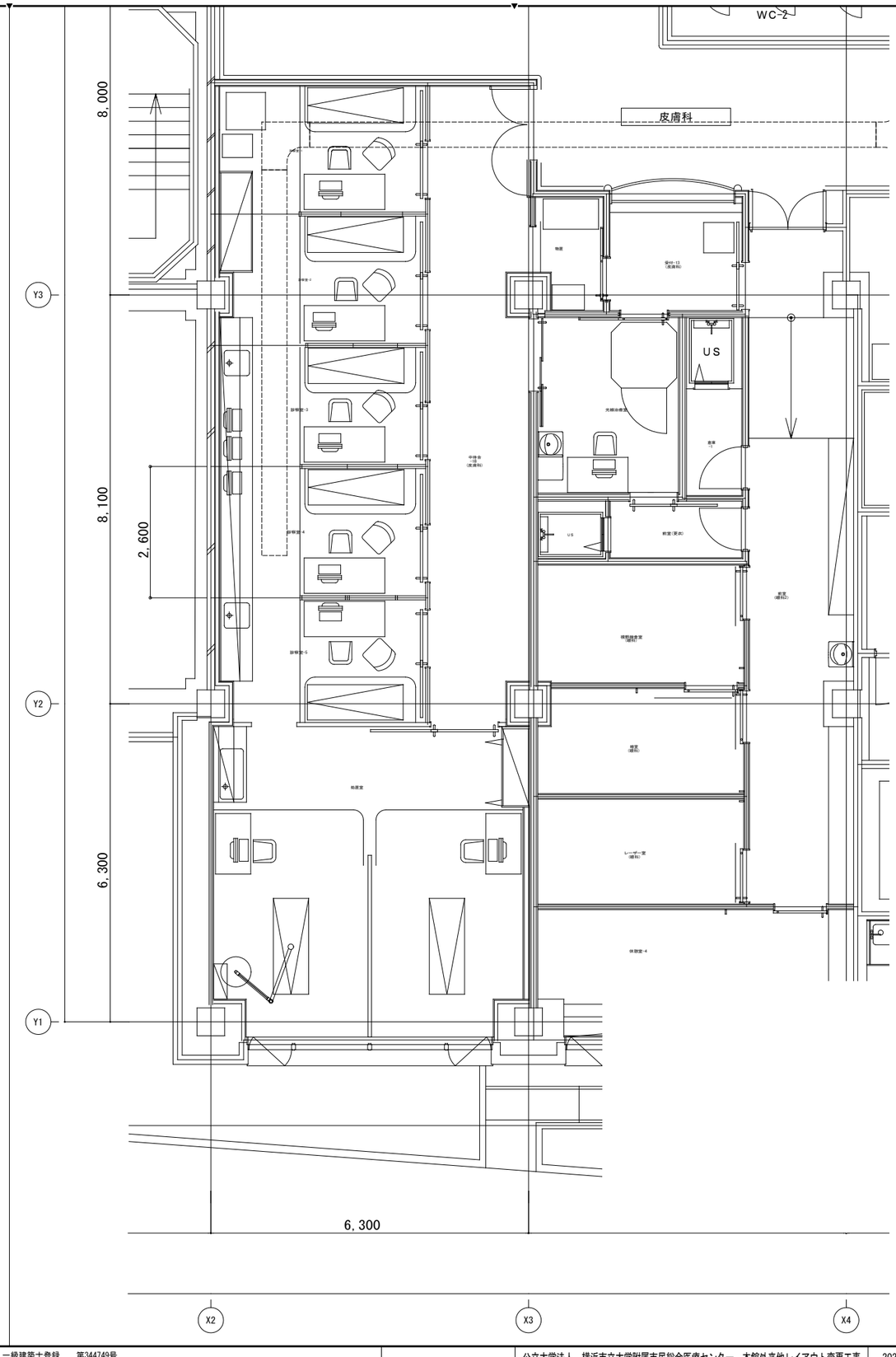
(注記)

1. 特記なき配管配線は下記による。

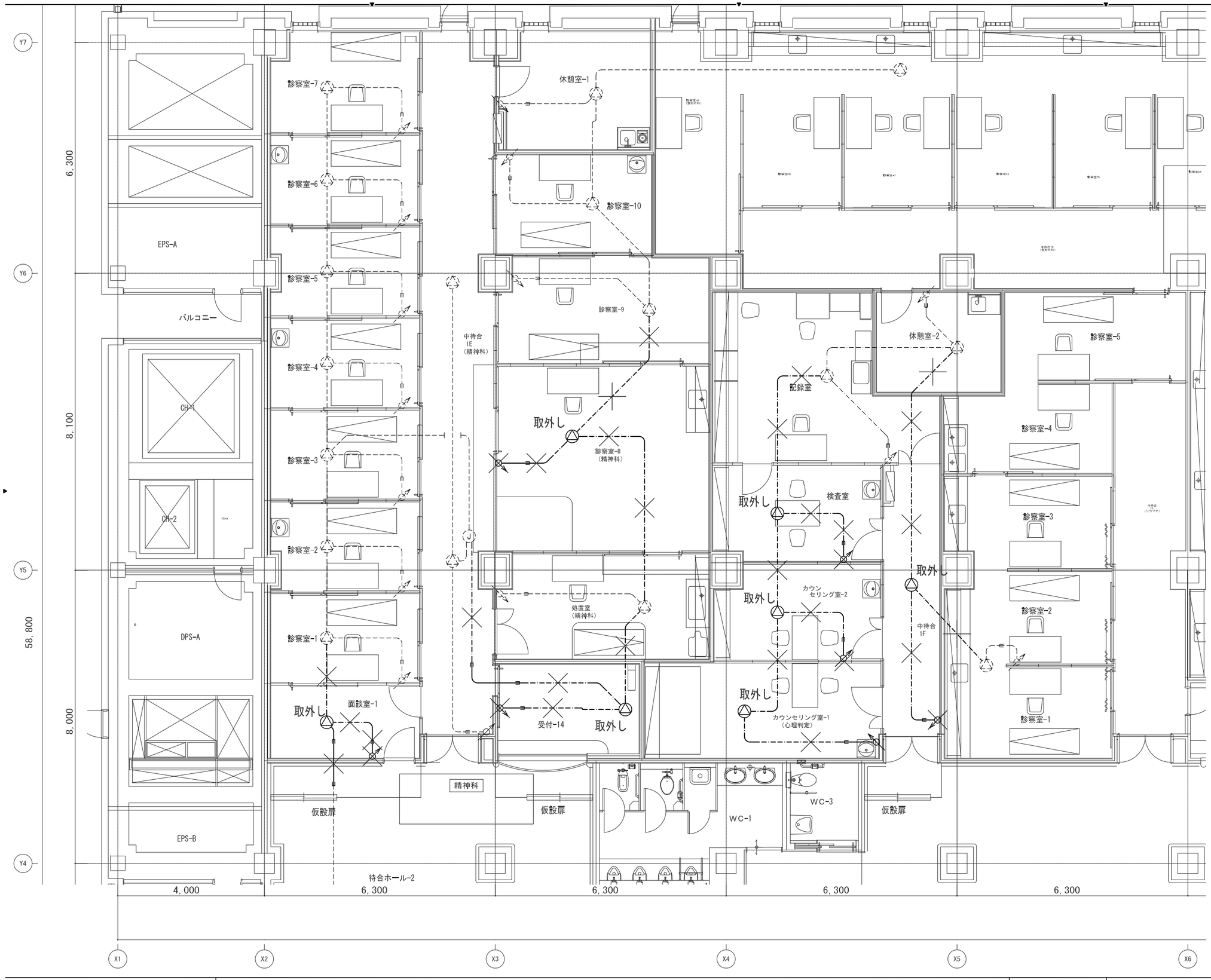
〈非常警報設備〉

——————— VVF1.6-2C　配管保護部分（PF16）

2. ×は機器及び配管配線の撤去を示す。



株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡野　崇	加藤　悟	近藤　剛史	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事	2022.03
				非常警報設備　１階平面詳細図（皮膚科）（改修前・改修後）	A1：1/50 A3：1/100
					RE－　061



凡例

記号	名称	備考
	ｽﾋﾟｰｶ（天井埋込型）	
	ｽﾋﾟｰｶ（天井埋込型）ｱｯﾃﾈｰﾀ付き	
	ｱｯﾃﾈｰﾀ(1W)	

(注記)

1. 特記なき配管記線は下記による。

——————— HP1.2-3C　　配管保護部分（PF16）

2. ╳ は機器及び配管記線の撤去を示す。

横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇

加藤　悟

近藤　剛史

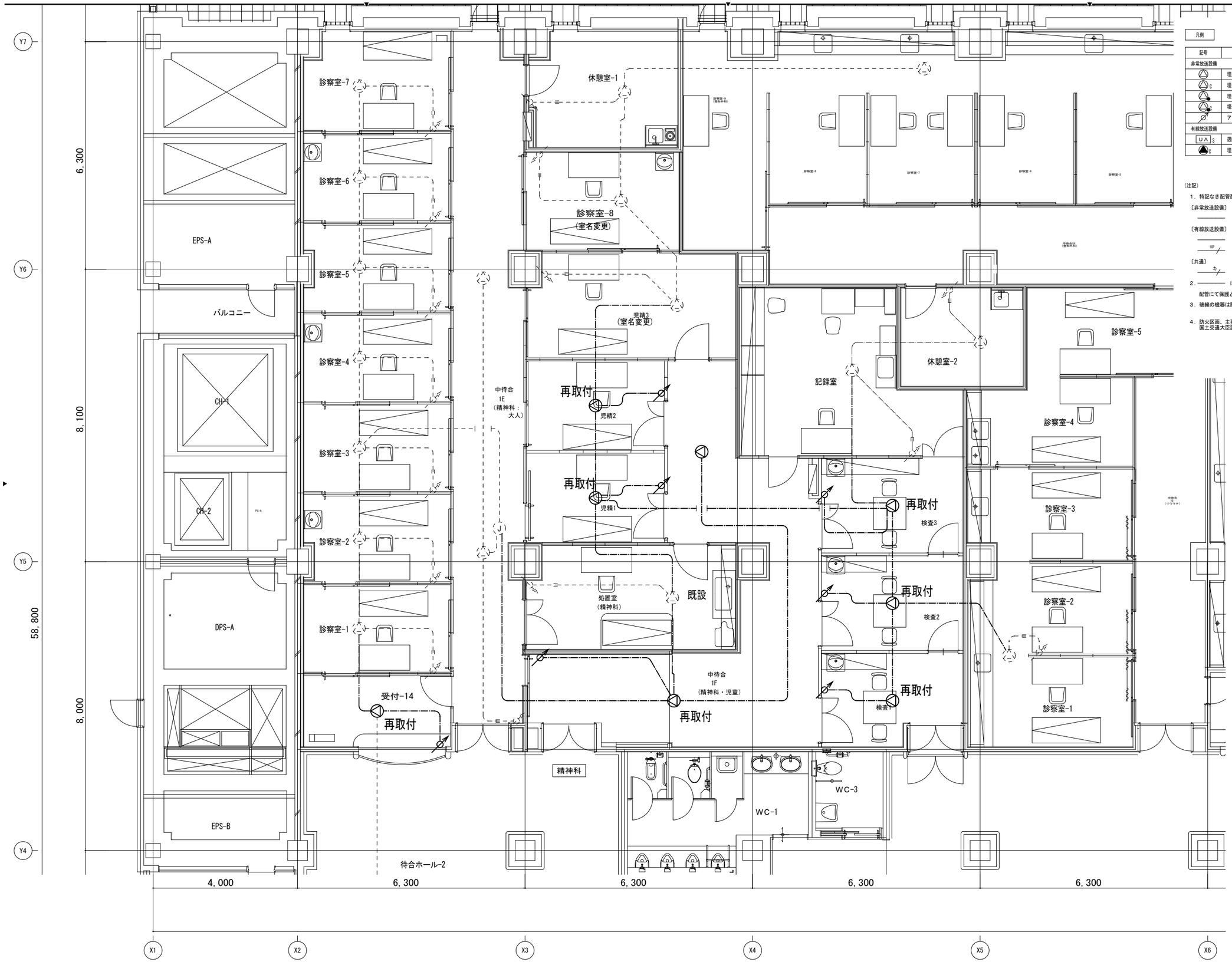
公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

放送設備　1階平面詳細図(精神科)(改修前)

2022.03

A1：1/50
A3：1/100

RE－062



凡例

記号	名称	備考
非常放送設備		
	埋込スピーカー	
C	埋込スピーカー（クリーンルーム）	
	埋込スピーカー（ＡＴＴ付）	
C	埋込スピーカー（クリーンルーム　ＡＴＴ付）	
	アッテネータ	
有線放送設備		
ＵＡ S	選曲ユニット	
C	埋込スピーカー（クリーンルーム）	

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

〔非常放送設備〕

EM-HP1.2-3C　配管保護部分（PF16）

〔有線放送設備〕

EM-CPEE-S-1P　配管保護部分（PF16）

10P　EM-CPEE-S-10P　配管保護部分（PF16）

〔共通〕

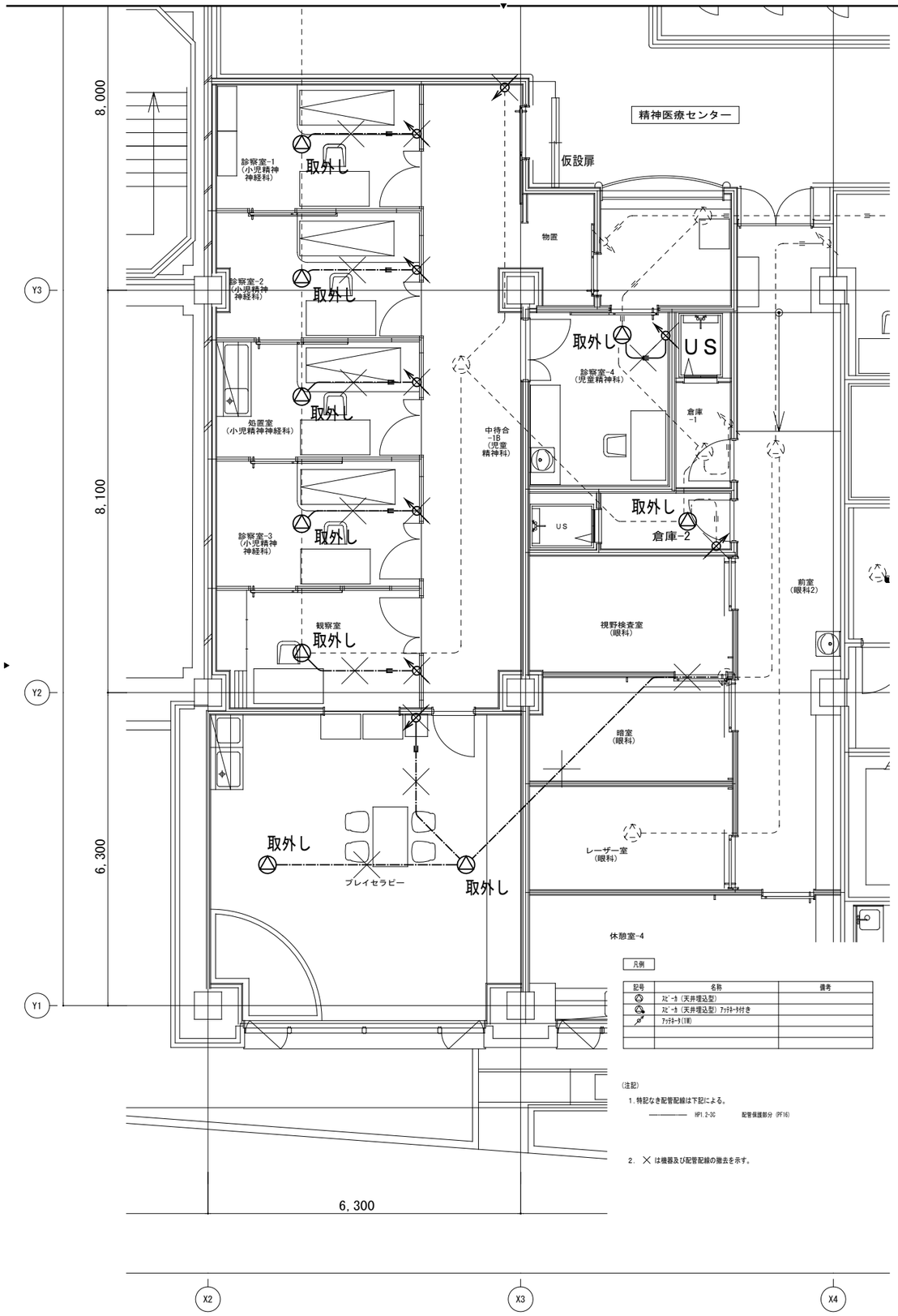
キ　既設配管配線を利用

2．　は二重天井内ケーブルころがしを示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3．破線の機器は既設を示す。

4．防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡　野　崇	加　藤　悟	近藤　剛史	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事 放送設備　１階平面詳細図（精神科）（改修後）
2022.03 A1：1/50 A3：1/100	RE － 063			



凡例

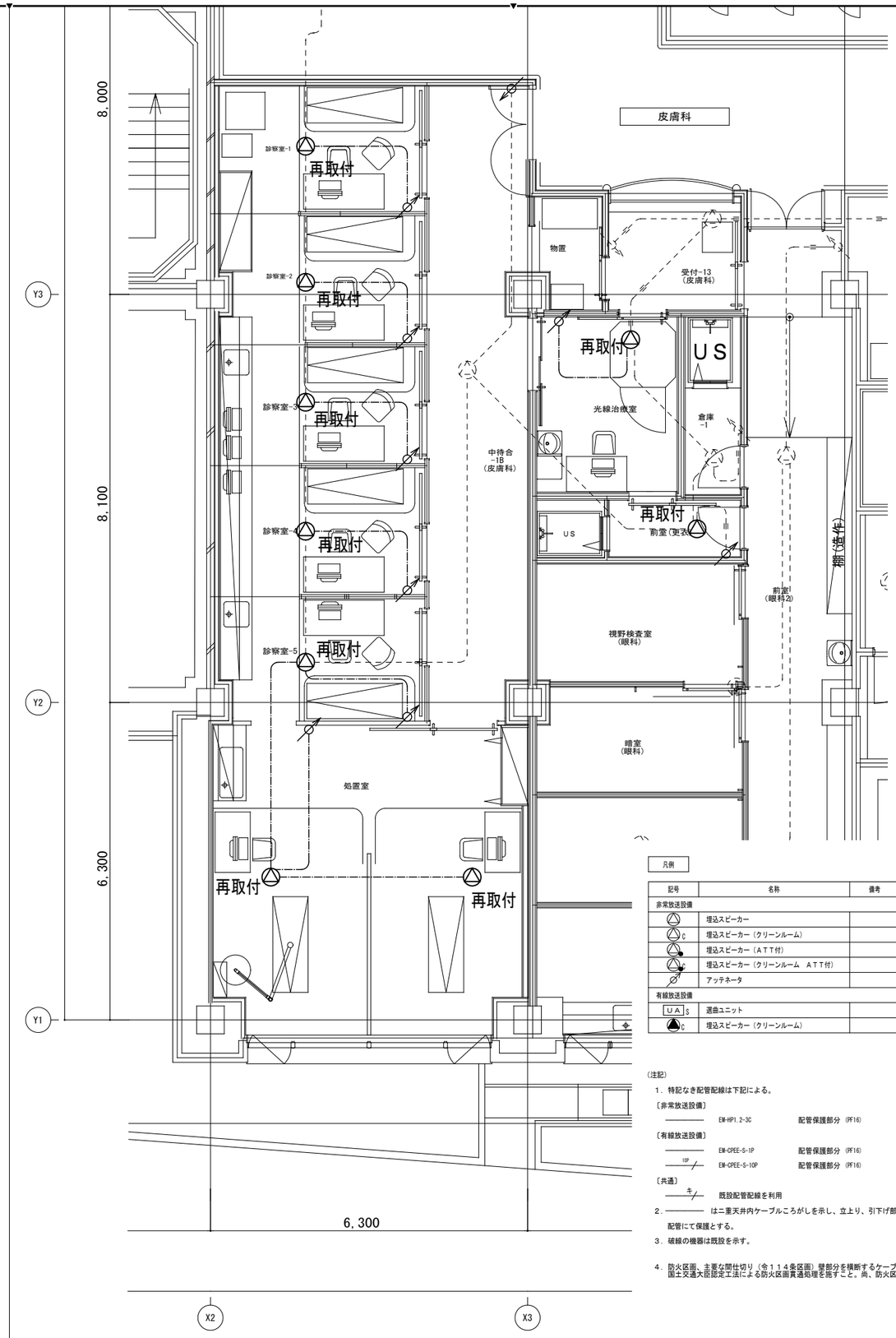
記号	名称	備考
	ｽﾋﾟｰｶ（天井埋込型）	
	ｽﾋﾟｰｶ（天井埋込型）ﾌｯﾃｰﾀ付き	
	ﾌｯﾃｰﾀ(1W)	

(注記)

1．特記なき配管配線は下記による。

———— HP1.2-3G 配管保護部分 (PF16)

2．×は機器及び配管配線の撤去を示す。



凡例

記号	名称	備考
非常放送設備		
	埋込スピーカー	
C	埋込スピーカー（クリーンルーム）	
	埋込スピーカー（ＡＴＴ付）	
C	埋込スピーカー（クリーンルーム　ＡＴＴ付）	
	アッテネータ	
有線放送設備		
US	選曲ユニット	
C	埋込スピーカー（クリーンルーム）	

(注記)

1．特記なき配管配線は下記による。

〔非常放送設備〕

———— EM-HP1.2-3G 配管保護部分 (PF16)

〔有線放送設備〕

———— EM-CPEE-S-1P 配管保護部分 (PF16)

10P
———— EM-CPEE-S-10P 配管保護部分 (PF16)

〔共通〕

———— 既設配管配線を利用

2．———— はニ重天井内ケーブルころがしを示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3．破線の機器は既設を示す。

4．防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇

加藤　悟

近藤　剛史

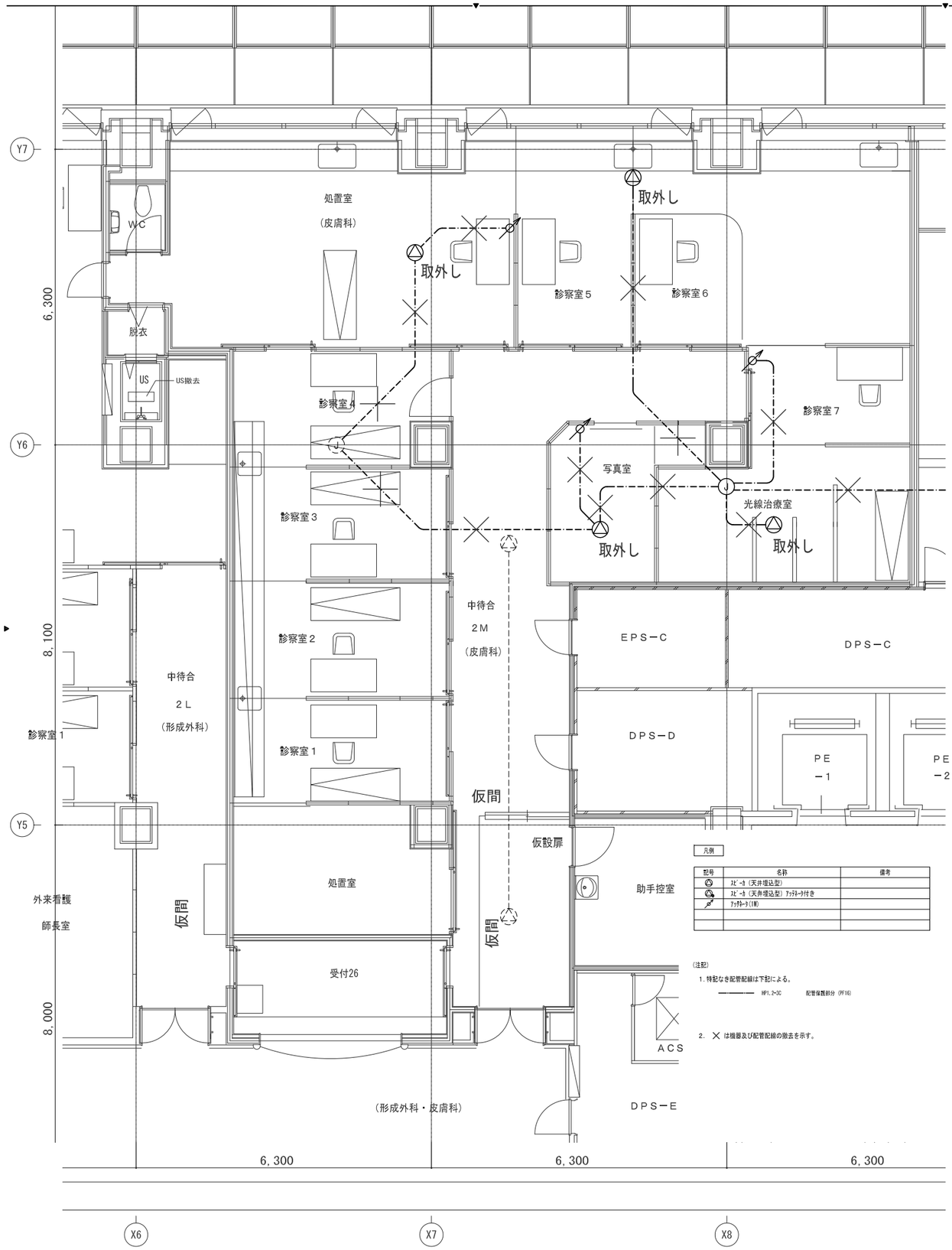
公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

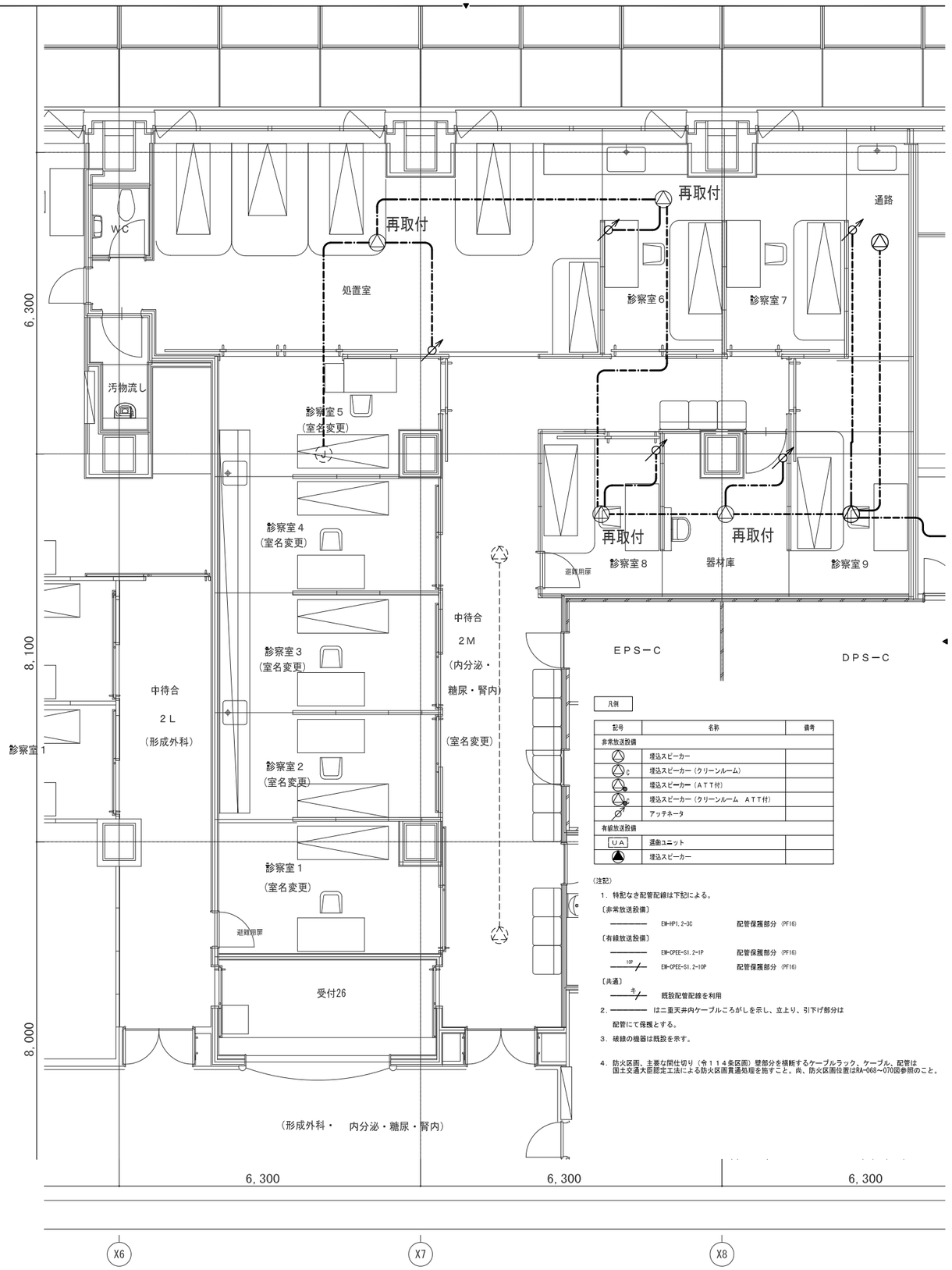
放送設備　１階平面詳細図(皮膚科)(改修前・改修後)

2022.03

A1：1/50
A3：1/100

RE－ 064





株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡　野　　崇

加　藤　　悟

近藤　剛史

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

放送設備　２階平面詳細図(内分泌・糖尿)(改修前)(改修後)

2022.03

A1：1/50
A3：1/100

RE－065

凡例

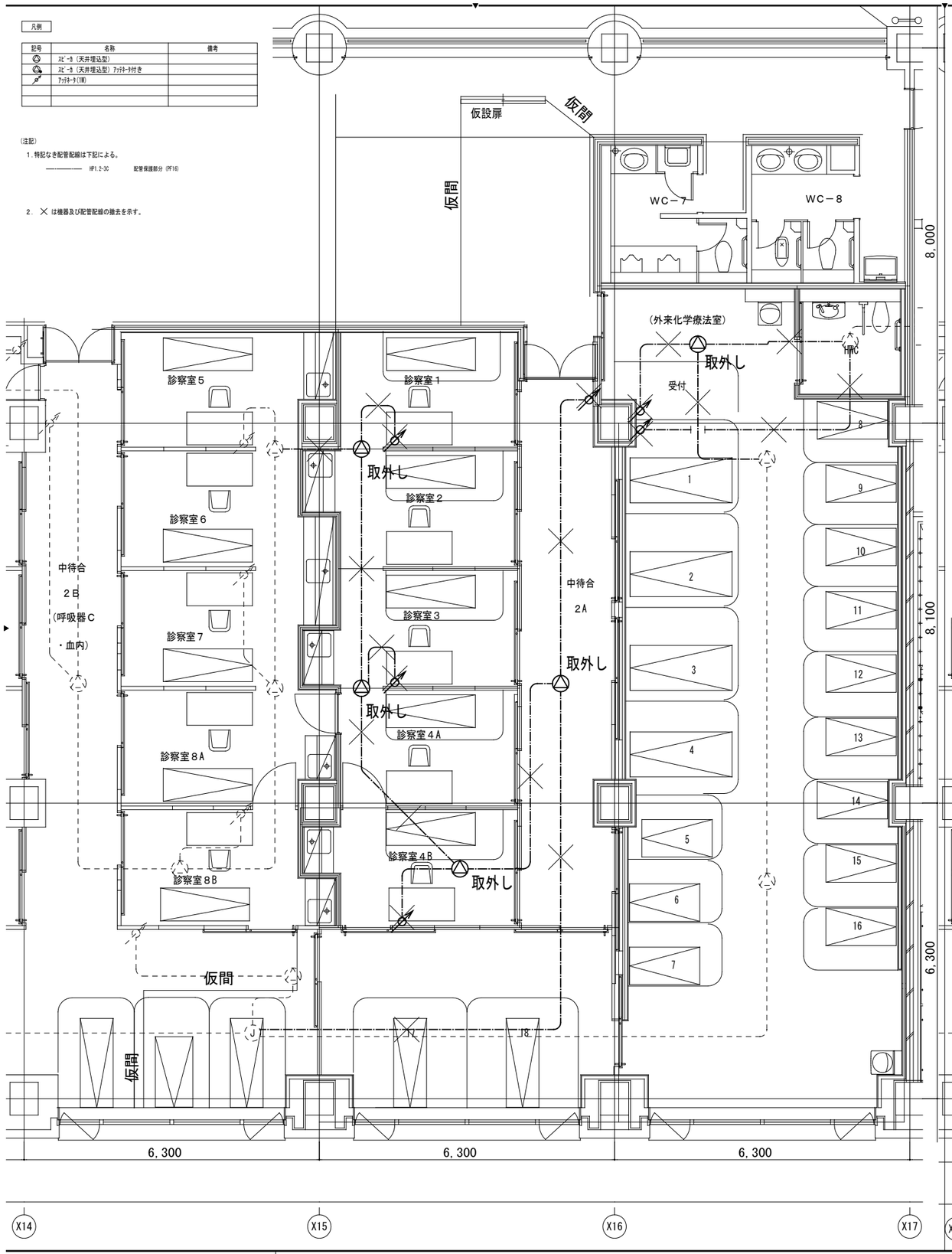
記号	名称	備考
	ｽﾋﾟｰｶ（天井埋込型）	
	ｽﾋﾟｰｶ（天井埋込型）ｱｯﾃﾈｰﾀ付き	
	ｱｯﾃﾈｰﾀ（1W）	

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

HP1.2-3C　配管保護部分（PF16）

2．× は機器及び配管配線の撤去を示す。



凡例

記号	名称	備考
非常放送設備		
	埋込スピーカー	
C	埋込スピーカー（クリーンルーム）	
	埋込スピーカー（ＡＴＴ付）	
C	埋込スピーカー（クリーンルーム　ＡＴＴ付）	
	アッテネータ	
有線放送設備		
UA	選曲ユニット	
	埋込スピーカー	

（注記）

1．特記なき配管配線は下記による。

〔非常放送設備〕

EM-HP1.2-3C　配管保護部分（PF16）

〔有線放送設備〕

EM-CPEE-S1.2-1P　配管保護部分（PF16）

10P　EM-CPEE-S1.2-10P　配管保護部分（PF16）

〔共通〕

キ　既設配管配線を利用

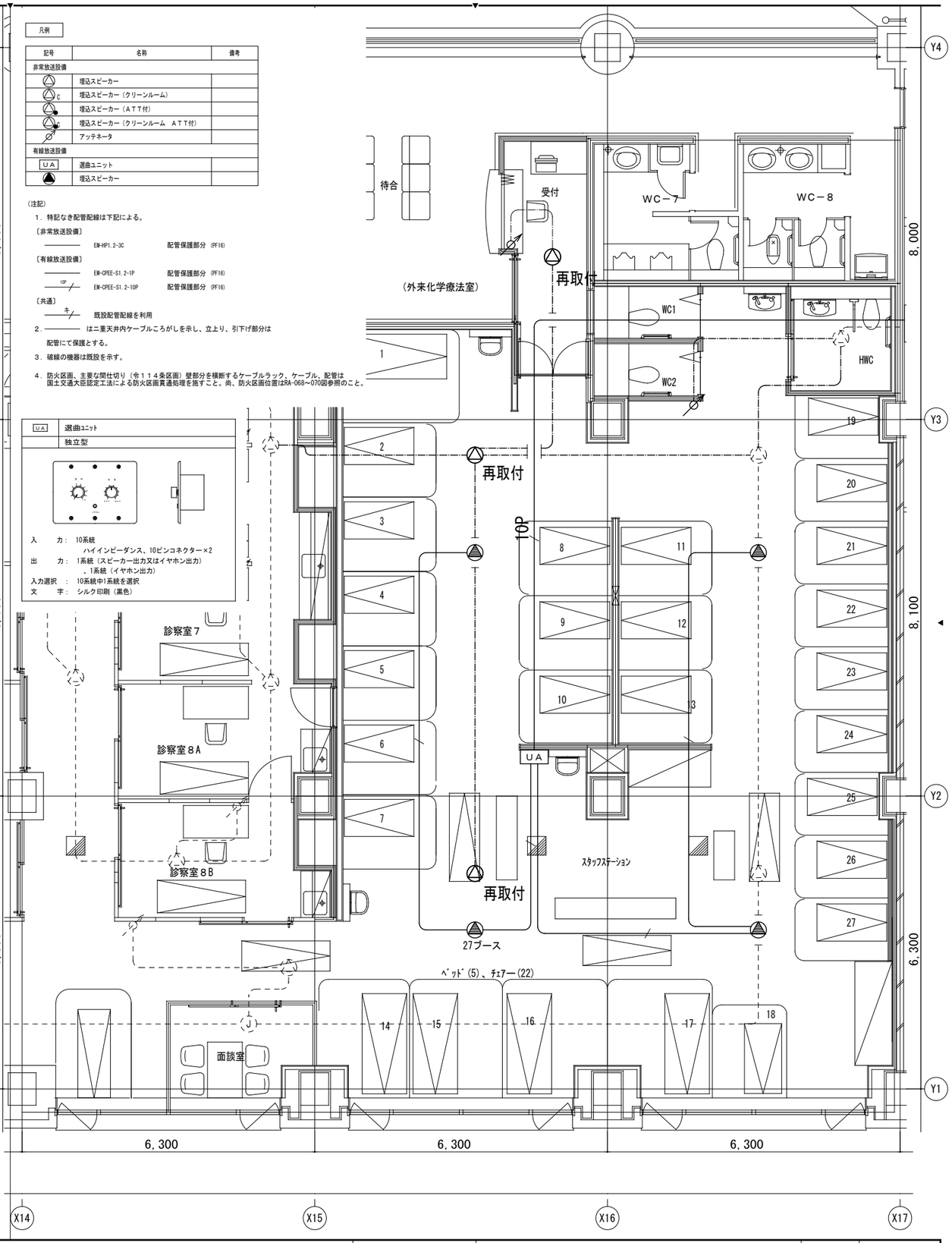
2．―――― は二重天井内ケーブルころがしを示し、立上り、引下げ部分は配管にて保護とする。

3．破線の機器は既設を示す。

4．防火区画、主要な間仕切り（令１１４条区画）壁部分を横断するケーブルラック、ケーブル、配管は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を施すこと。尚、防火区画位置はRA-068～070図参照のこと。

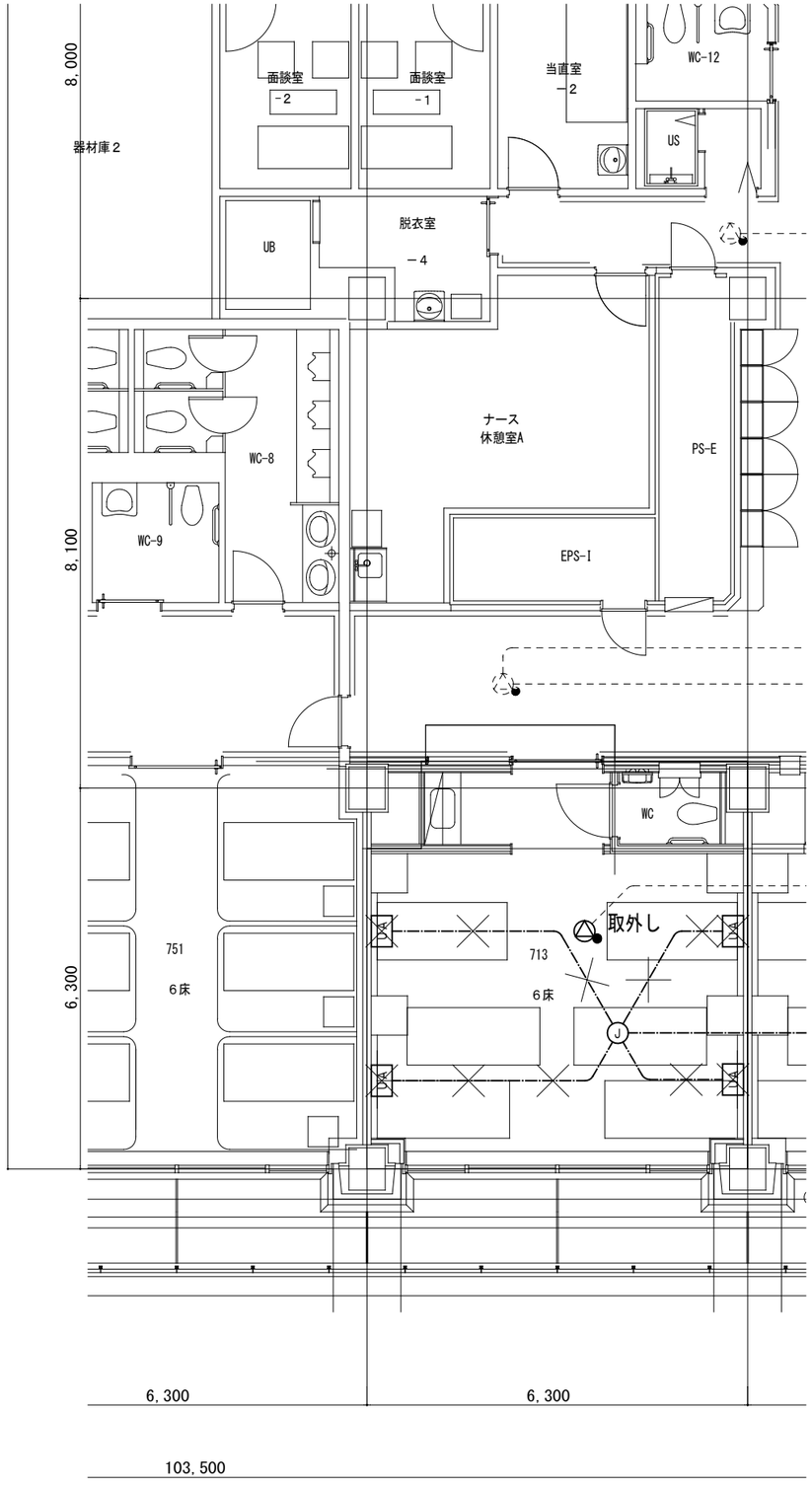
UA	選曲ﾕﾆｯﾄ
	独立型

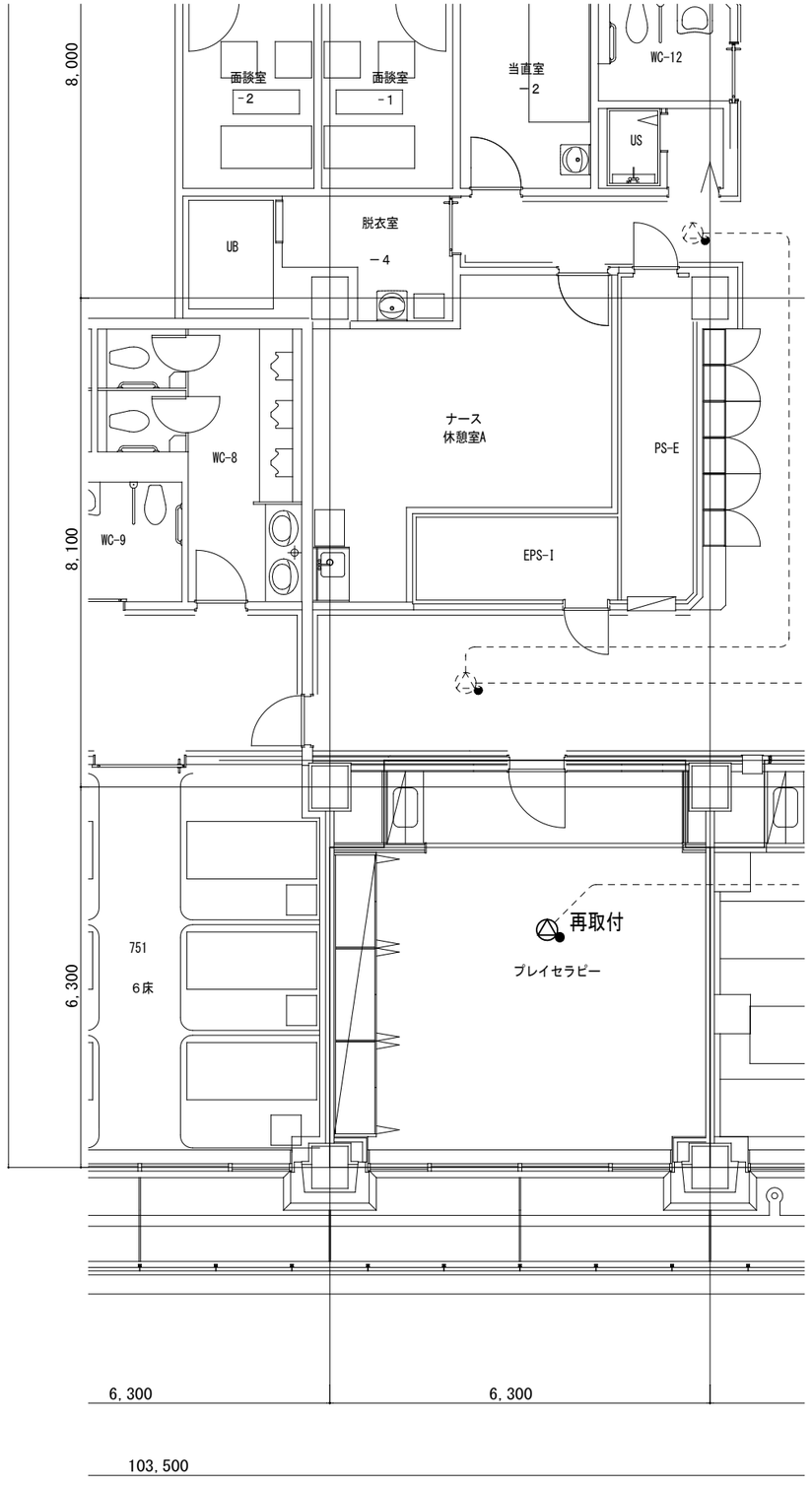
入　　力：　10系統
　　ハイインピーダンス、10ピンコネクター×2
出　　力：　1系統（スピーカー出力又はイヤホン出力）
　　、1系統（イヤホン出力）
入力選択　：　10系統中1系統を選択
文　　字：　シルク印刷（黒色）



株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡　野　崇	加　藤　悟	近藤　剛史	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事 放送設備　２階平面詳細図 外来化学療法室　（改修前）（改修後）

2022.03	RE － 066
A1：1/50 A3：1/100	





株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　加藤　悟　近藤　剛史

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター　本館外来他レイアウト変更工事

放送設備　７階平面詳細図(改修前・改修後)

2022.03
A1：1/50
A3：1/100

RE－067

凡例

記号	名称	備考
複合盤ET	複合盤	註記参照
副表示機	副表示機	註記参照
MRS	主中継器盤	
中継器盤	中継器盤	
I/F	インターフェイス盤	
CRT	防災監視操作卓	
機器収容箱	補助散水栓組込型	◐ 収容
機器収容箱	補助散水栓組込型	◐Ⓟ 収容
機器収容箱	補助散水栓組込型	ETⓅ 収容
機器収容箱	補助散水栓組込型	⑪ETⓅ 収容
表示灯	AC24V 0.5W LED 防滴型	
◐ 表示灯	AC24V 0.5W LED	
Ⓟ 発信機	P型1級	
ET 非常電話器	子機 話中音付	
⑪ 非常コンセント		(別途工事)
放水口格納箱◐	表示灯のみ本工事	
放水口格納箱◐A		
S 光電式スポット型感知器	2種	埋込型
SA 光電アナログ式スポット型感知器	2.5~15%/m	露出型
SA 光電アナログ式スポット型感知器	2.5~15%/m	埋込型
SA 光電アナログ式スポット型感知器	2.5~15%/m	壁付用点検口付
DA 熱アナログ式スポット型感知器	45~80℃	防水型
TA 熱アナログ式スポット型感知器	45~80℃	防水型 埋込型
D 定温式スポット型感知器	1種	防水型 埋込型
機器制御盤		(別途工事)
Ω 終端器		
② 圧電ブザー	防火シャッター降下警報用	
手動開放装置	排煙口用 電気式	(空調工事)
K 切換器		
排煙機制御盤		(別途工事)
ERD 自動閉鎖装置	防火戸用 ラッチ式	
ERS 自動閉鎖装置	防火シャッター用	(建築工事)
∅(F) 自動閉鎖装置	防火ダンパー用床付	遠隔復帰(空調工事)
∅ 自動閉鎖装置	防火ダンパー用	遠隔復帰(空調工事)
◪ 自動開放装置	排煙口用	遠隔復帰(空調工事)
∅SED 自動閉鎖装置	排煙ダンパー用	遠隔復帰(空調工事)
∅ 自動閉鎖装置	吸気口用	遠隔復帰(建築工事)
SP 自動 スプリンクラーポンプ起動盤		(衛生工事)
F 泡ポンプ起動盤		(衛生工事)
スプリンクラー自動警報弁		(衛生工事)
泡自動警報弁		(衛生工事)
D ダクト消火制御盤		(衛生工事)
CO_2 二酸化炭素制御盤		(衛生工事)
S 自動 消防用水盤		(衛生工事)
B 自動 ブースターポンプ		(衛生工事)
誘導灯		(別途工事)
ガス漏れ検知器	DC24V	天井付
LCG 中継器	表示灯付	
——— 配管配線	天井いんぺい	
——— 配管配線	床いんぺい	
—·— ケーブル配線	天井いんぺい	
配管配線	立上がり・引下げ	
ロ ⓙ ジョイントボックス		
端子盤		
配管つき出し		
警戒区域番号	自火報	
S 制御番号	防火シャッター用	
D 制御番号	防火戸用	
SD 制御番号	防火ダンパー用	
H 制御番号	排煙口用	
W 制御番号	防煙垂れ壁用	
HK 制御番号	吸気口用	
CO_2 表示番号	二酸化炭素消火設備	
F 表示番号	泡	
SP 表示番号	スプリンクラー	
警戒区域番号	ガス漏れ警報	
表示番号	非常電話	
警戒区域番号	発信機用	

註記

1 工事概要
- 本館1・2・7階改修工事に伴い、改修エリア内の機器及び配線の撤去・新設を行うものとする。
- 改修前図中、細線は撤去対象外の機器、配線を示す。
- 改修エリア内に既設排煙口は離線・再結線とする。
- 屋内消火栓1台は移設とする。
- 本工事に伴い、既設受信機のデータ変更、削除等を見込むものとする。

2 改修エリア内の回線内訳

1）撤去

・火災表示	30L
（アナログ式感知器	30L）
・合計	30L

3 既設複合盤仕様（現状）

GR型 25系統 自立型

受信機	7桁×2窓 （7セグメントLED）		
・火災表示	3242回線		
	アナログ式感知器 3088L		
	発信機 157L		
防災連動制御盤	8桁×2窓 （7セグメントLED）		
・防排煙	528回線		
防火戸	84L	排煙機	16L
排煙口	298L	防火ダンパー	71L
防火シャッター	23L	防煙垂れ壁	3L
吸気口	34L		
・附属表示	116回線		
スプリンクラー	放出29L		
	ポンプ起動 2L 故障 2L 呼水槽減水 1L		
泡	放出 1L		
	ポンプ起動 1L 故障 1L 呼水槽減水 1L		
二酸化炭素	準備 8L 起動 3L	放出 3L	
	閉止弁閉止 3L 制御盤異常 3L		
ブースターポンプ	起動 1L	故障 1L	
消防用水ポンプ	ポンプ起動 1L 故障 1L 呼水槽減水 1L		
消防用水盤	満水 4L	減水 4L	
ダクト消火	放出 3L		
副表示機	伝送異常 4L 電源異常 21L		
ガス漏れ受信機	7桁×2窓 （7セグメントLED）		
	24回線		
非常電話（自動選択）	110回線（実窓 80L 予備 30L）		

非常放送設備連動用として、下記の信号を移信する。
- 階別火災代表信号 26回線
- 火災確定信号 1回線

自動点検機能付とする。

4 アナログ式感知器廻りの配線は、全てHPI．2-2Cとする。

5 各中継器盤は、防排煙制御系のトラブルをローカル毎に切り離すSCI付とする。

6 連動機器制御方式

防火戸、防火シャッター、防煙垂れ壁	アナログ式感知器連動
防火ダンパー	自火報連動
排煙口	現場手動開放及び遠隔復帰

7 特記なき配管配線は下記とする。

HP1.2- 2C	HP1.2- 2C(PF16)
HP1.2- 3C	HP1.2- 3C(PF16)
HP1.2- 3P	HP1.2- 3P(PF22)
HPS1.2- 2P+HP1.2- 5P	HPS1.2- 2P+HP1.2- 5P (PF22)
HP1.2- 5P	HP1.2- 5P(PF22)
HP1.2-10P	HP1.2-10P(PF28)
HP1.6- 3P	HP1.6- 3P(PF22)
HP1.6- 5P	HP1.6- 5P(PF22)
HP1.6-10P	HP1.6-10P(PF28)
HP1.2- 5P+HP1.2- 2C	HP1.2- 5P+HP1.2- 2C (PF22)
HP1.2- 3C	HP1.2- 3C(PF16)
HP1.2- 3P	HP1.2- 3P(PF22)
HP1.2- 3P	HP1.2- 3P(PF22)

回線数表 （改修前）

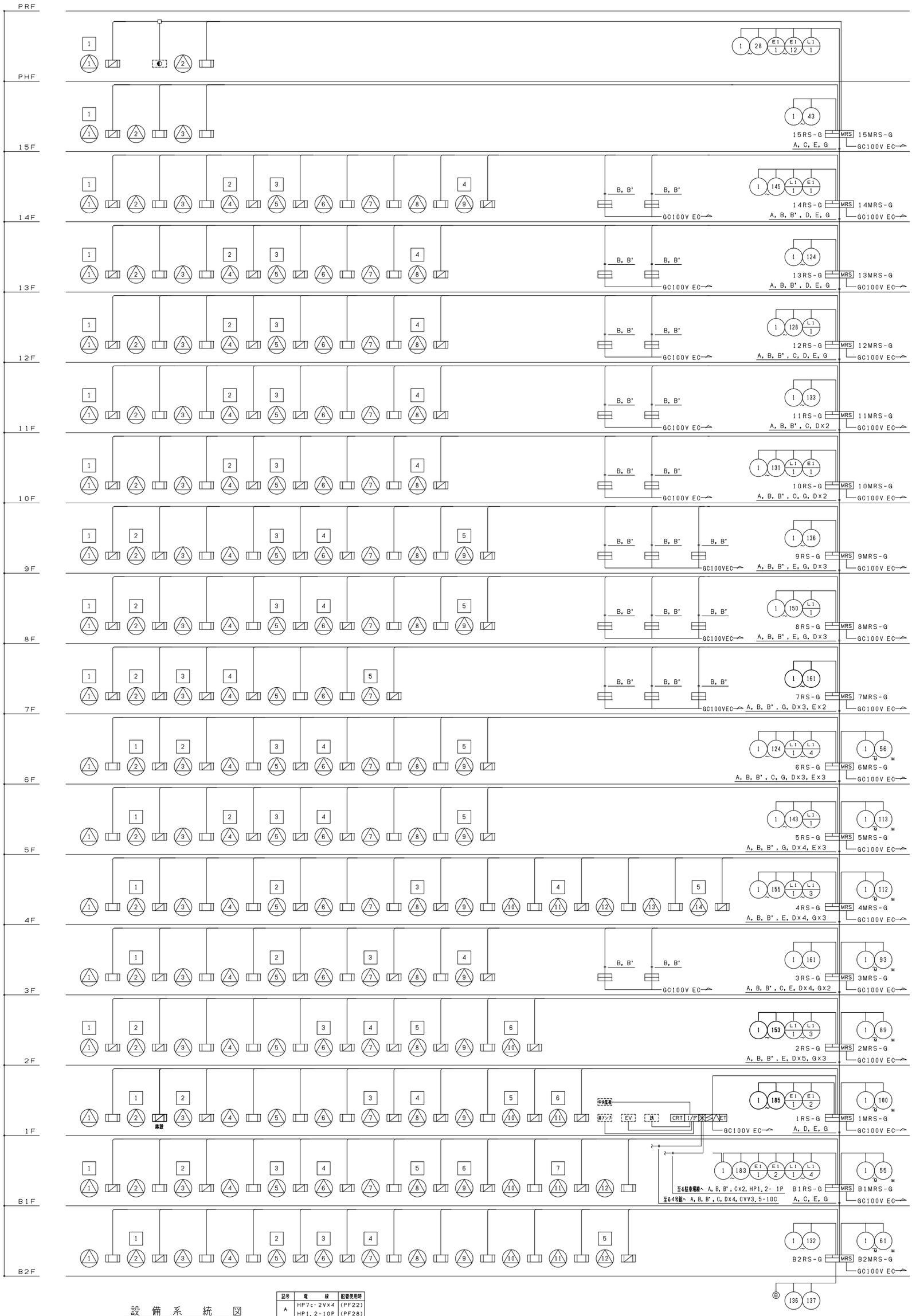
階	中継器盤名称 主中継器盤名称	中継器盤名称 中継器盤名称	自火報 アナログ式感知器	自火報 発信機警報	自火報 地区ベル	非常電話	ガス漏れ	防排煙 防火戸	防排煙 防火シャッター	防排煙 防火ダンパー	防排煙 排煙口	防排煙 給気口	防排煙 防煙たれ壁	防排煙 排煙機制御盤	附属表示 ローカルガス遮断弁	附属表示 消防用水盤 満水・減水	附属表示 ダクト消火盤 放出	附属表示 ブースターポンプ 起動・故障	附属表示 副表示器 伝送・電源異常	附属表示 消防用ポンプ	泡 アラーム弁	泡 ポンプ 起動・故障・減水	SP アラーム弁	SP ポンプ 起動・故障・減水	CO_2 放出図面数	CO_2 起動・放出・閉止・異常
B2	B2MRS-G	B2RS-G	132	12	2	5	6	4	1		13	2				2						3	2	3	3	4
ISSB2			61																							
B1	B1MRS-G	B1RS-G	183	12		7	4	7	4	11	23	2	1		1		1				1		2			
ISSB1			55																							
1	1MRS-G	1RS-G	185	11		6	2	3	5	7	31	2	2										3			
ISS 1			100																							
2	2MRS-G	2RS-G	153	10		6	1	4	2	7	31	2			1		1						2			
ISS 2			89																							
3	3MRS-G	3RS-G	155	9		4		7	7	6	25	2							4				2		3	
ISS 3			93																							
4	4MRS-G	4RS-G	155	14		5		5		4	29	2											2			
ISS 4			112																							
5	5MRS-G	5RS-G	143	9		5	10	5		4	17	2											3			
ISS 5			113																							
6	6MRS-G	6RS-G	124	9		5	1	2	2	2	7	2			1	2	1	2					1	2	1	4
ISS 6			56																							
7	7MRS-G	7RS-G	161	7		5		3	1	3	11	2		8					6				2			
8	8MRS-G	8RS-G	150	9		5		7	1	4	16	2							6				2			
9	9MRS-G	9RS-G	136	9		5		6		4	16	2							6				2			
10	10MRS-G	10RS-G	131	8		4		6		4	15	2							4				1			
11	11MRS-G	11RS-G	133	8		4		6		4	16	2							4				1			
12	12MRS-G	12RS-G	128	8		4		6		4	16	2							4				1			
13	13MRS-G	13RS-G	124	8		4		4		4	15	2							4				1			
14	14MRS-G	14RS-G	145	9		4		7		3	15	2							4				1			
15	15MRS-G	15RS-G	43	3		1		2			2	2		8		4							1		1	4
PH			28	2		1																				
合計			3088	157	2	80	24	84	23	71	298	34	3	16	3	8	3	2	42		1	3	29	5	8	12

排煙機連動表

排煙口No / 階	SEF-L1 排煙口No	SEF-L2 排煙口No	SEF-L4 排煙口No	SEF-L5 排煙口No
B2		1~8	9~11	
B1	1、2	3~16	17~21	
1		1~25		26~30
2		1~22	29	23~28
3		1~19、25		20~22
4		1~18	19~21	22~27
5		1~10	11	12~15
6		1~5		

排煙機連動表

排煙口No / 階	SEF-H1 排煙口No	SEF-H2 排煙口No	SEF-1 排煙口No	SEF-2 排煙口No
B2			12	13
B1			22	23
1			31	32
2			30	31
3			23	24
4			28	29
5			16	17
6			8	1
7	1、2	3~9	10	11
8	1~7	8~14	15	16
9	1~7	8~14	15	16
10	1~3	4~13	14	15
11	1~3	4~14	15	16
12	1~3	4~14	15	16
13	1~3	4~13	14	15
14	1~3	4~13	14	15
15			1	2
PH				



設備系統図

記号	電線	配管使用時
A	HP7c-2Vx4	(PF22)
	HP1.2-10P	(PF28)
B	HPS1.2-2P	(PF16)
	HP1.2- 5P	(PF22)
B'	HPS1.2-2P	(PF16)
C	HP1.2- 5P	(PF22)
D	HP1.2-10P	(PF28)
E	HP1.6- 3P	(PF22)
F	HP1.2- 3P	(PF22)
G	HP1.6- 5P	(PF28)

※機器収容箱～中継器間の幹線は、全てHP1.2-5Pとする。ただし非常電話収容のものは、HP1.2-5P+HP1.2-2Cとする。
※主中継器～中継器間の幹線は、全てHP7C-2Vx4+HP1.2-10Px2とする。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第34749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野 崇

加藤 悟

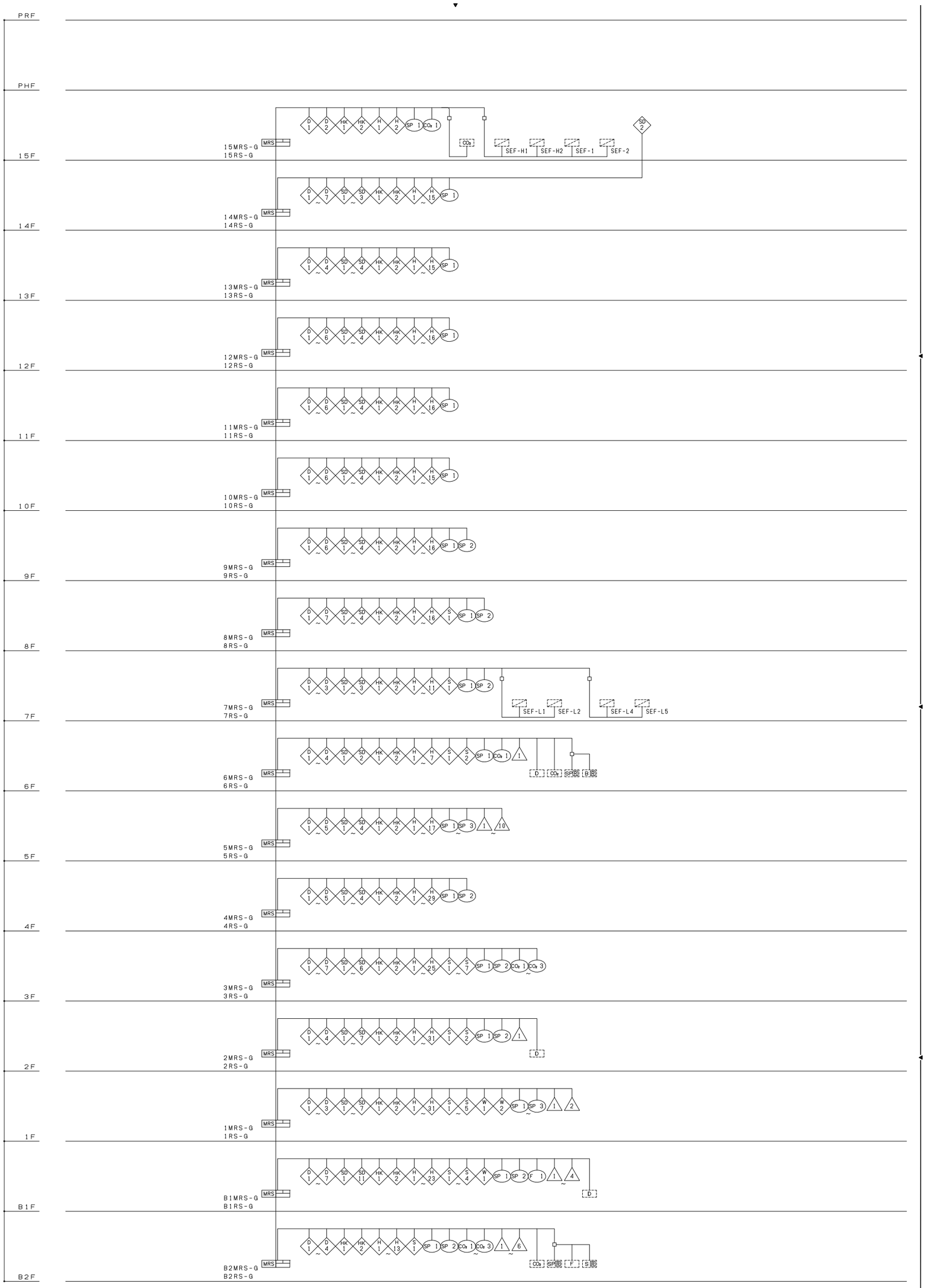
近藤 剛史

公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

自動火災報知設備 系統図（1）【改修前】

2022.03
A1：N/S
A3：N/S

RE－069



設　備　系　統　図

記号	電　　線	配管使用時
A	HP7c-2V×4	(PF22)
	HP1.2-10P	(PF28)
B	HPS1.2-2P	(PF16)
	HP1.2- 5P	(PF22)
B'	HPS1.2-2P	(PF16)
C	HP1.2- 5P	(PF22)
D	HP1.2-10P	(PF28)
E	HP1.6- 3P	(PF22)
F	HP1.2- 3P	(PF22)
G	HP1.6- 5P	(PF28)

※機器収容箱～中継器間の幹線は、全てHP1.2-5Pとする。ただし非常電話収容のものは、HP1.2-5P+HP1.2-2Cとする。
※主中継器～中継器間の幹線は、全てHP7C-2V×4+HP1.2-10P×2とする。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野 崇

加藤 悟

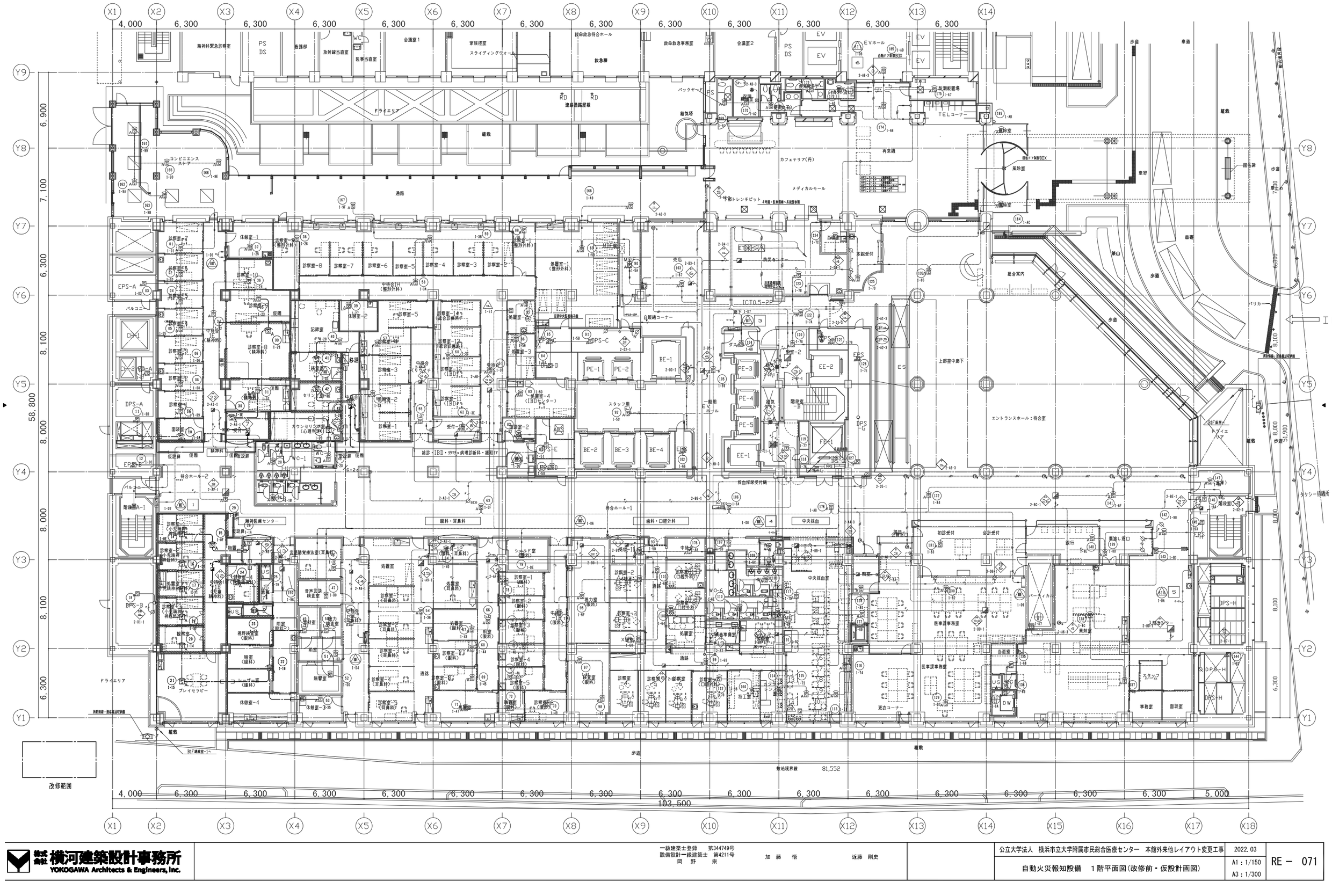
近藤 剛史

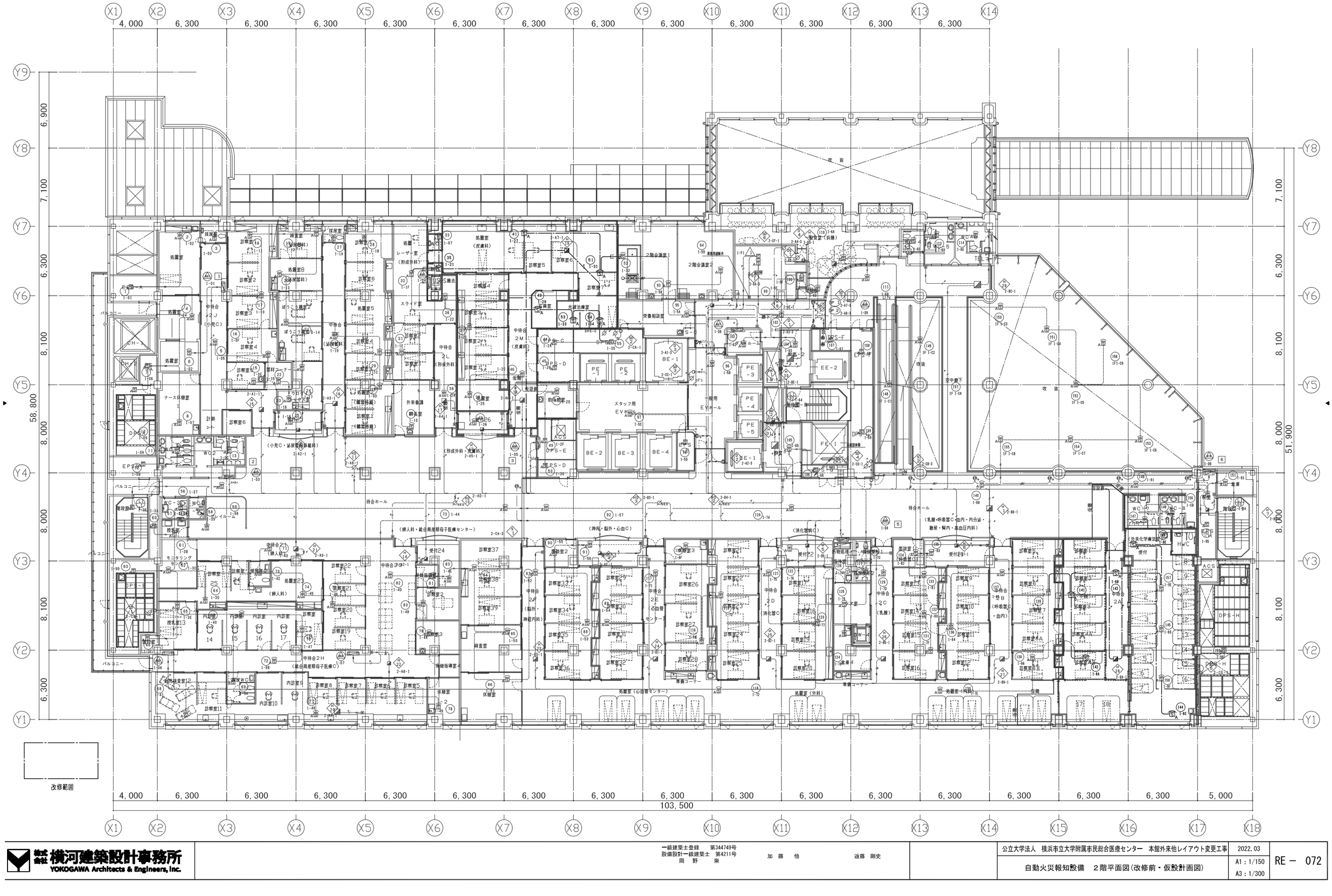
公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

自動火災報知設備 系統図（2）【改修前】

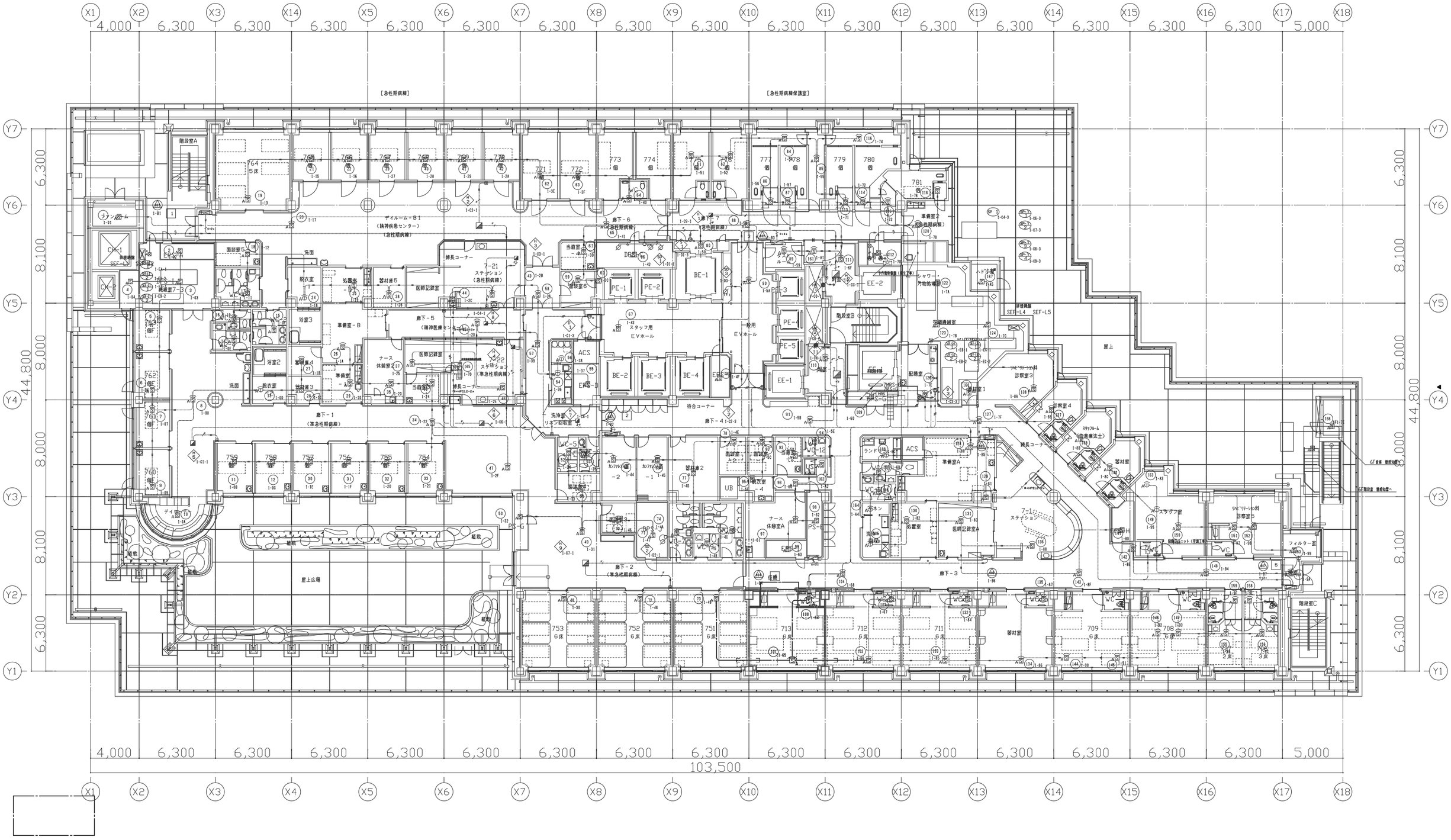
2022.03
A1：N/S
A3：N/S

RE－070


X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14
4,000 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300
Y9 Y8 Y7 Y6 Y5 Y4 Y3 Y2 Y1
6,900 7,100 6,300 8,100 8,000 8,100 6,300
58,800
精神科緊急診察室
PS
DS
看護部
放射線当直室
医事当直室
会議室1
家族控室
スライディングウォール
救急待合ホール
救急隊
救急救急事務室
会議室2
EV
EVホール
ドライエリア
連絡通路屋根
RD
RD
バックヤード
給気塔
TELコーナー
荷捌室
風除室
再来機
カフェテリア(丹)
メディカルモール
コンビニエンスストア
通路
体験室-1
診察室-8
診察室-7
診察室-6
診察室-5
診察室-4
診察室-3
診察室-2
処置室-1(整形外科)
MUE-1
売店
ETC
ICT0.5-2F
筋炎センター
本館受付
総合案内
EPS-A
バルコニー
CH-1
CH-2
DPS-A
EPS-B
階段A-1
待合ホール-2
記録室
移設
検査室
セリンピー室
カウンセリング室(心理科)
受付
精神科
仮設診察
仮設診察
仮設診察



株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第344749号 設備設計一級建築士 第4211号 岡野 崇	加藤 悟	近藤 剛史	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事 自動火災報知設備 2階平面図(改修前・仮設計画図)	2022.03 A1：1/150 A3：1/300	RE－ 072


X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14 X15 X16 X17 X18
4,000 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 5,000
103,500
Y7 Y6 Y5 Y4 Y3 Y2 Y1
6,300 8,100 8,000 8,100 6,300
44,800
［急性期病棟］
［急性期病棟保護室］
階段室A
階段室B
階段室C
ホール
ディルーム－B1
（精神疾患センター）
（急性期病棟）
廊下－1
（準急性期病棟）
廊下－2
（準急性期病棟）
廊下－3
廊下－4
廊下－5
（精神医療センター）
廊下－6
（急性期病棟）
廊下－7
（急性期病棟）
ステーション
（急性期病棟）
ステーション
（準急性期病棟）
ステーション
（急性期病棟）
スタッフルーム
（看護係主）
スタッフ室
スタッフルーム
（看護係主）
スタッフルーム
（看護係主）
スタッフルーム
（看護係主）

凡例

記号	名称	備考
複合盤ET	複合盤	註記参照
副表示機	副表示機	註記参照
MRS	主中継器盤	
中継器盤	中継器盤	
I/F	インターフェイス盤	
CRT	防災監視操作卓	
機器収容箱	補助散水栓組込型	◐ 収容
機器収容箱	補助散水栓組込型	◐Ⓟ 収容
機器収容箱	補助散水栓組込型	ETⓅ 収容
機器収容箱	補助散水栓組込型	⑪ETⓅ 収容
表示灯	AC24V 0.5W LED 防滴型	
◐ 表示灯	AC24V 0.5W LED	
Ⓟ 発信機	P型1級	
ET 非常電話器	子機 話中音付	
⑪ 非常コンセント		(別途工事)
◐ 放水口格納箱	表示灯のみ本工事	
◐A 放水口格納箱		
光電式スポット型感知器	2種 埋込型	
光電アナログ式スポット型感知器	2.5~15%/m 露出型	
光電アナログ式スポット型感知器	2.5~15%/m 埋込型	
光電アナログ式スポット型感知器	2.5~15%/m 壁付用点検口付	
熱アナログ式スポット型感知器	45~80℃ 防水型	
熱アナログ式スポット型感知器	45~80℃ 防水型 埋込型	
定温式スポット型感知器	1種 防水型 埋込型	
機器制御盤		(別途工事)
終端器		
圧電ブザー	防火シャッター降下警報用	
手動開放装置	排煙口用 電気式	(空調工事)
切換器		
排煙機制御盤		(別途工事)
自動閉鎖装置	防火戸用 ラッチ式	
自動閉鎖装置	防火シャッター用	(建築工事)
自動閉鎖装置	防火ダンパー用床付 遠隔復帰	(空調工事)
自動閉鎖装置	防火ダンパー用 遠隔復帰	(空調工事)
自動開放装置	排煙口用 遠隔復帰	(空調工事)
自動閉鎖装置	排煙ダンパー用 遠隔復帰	(空調工事)
自動閉鎖装置	吸気口用 遠隔復帰	(建築工事)
SP ポンプ スプリンクラーポンプ起動盤		(衛生工事)
F ポンプ 泡ポンプ起動盤		(衛生工事)
スプリンクラー自動警報弁		(衛生工事)
泡自動警報弁		(衛生工事)
D ダクト消火制御盤		(衛生工事)
CO_2 二酸化炭素制御盤		(衛生工事)
S ポンプ 消防用水盤		(衛生工事)
B ポンプ ブースターポンプ		(衛生工事)
誘導灯		(別途工事)
ガス漏れ検知器	DC24V 天井付	
LCG 中継器	表示灯付	
配管配線	天井いんぺい	
配管配線	床いんぺい	
配管配線	天井いんぺい	
配管配線	立上がり・引下げ	
ジョイントボックス		
端子盤		
配管つき出し		
警戒区域番号	自火報	
S 制御番号	防火シャッター用	
D 制御番号	防火戸用	
SD 制御番号	防火ダンパー用	
H 制御番号	排煙口用	
V 制御番号	防煙垂れ壁用	
HK 制御番号	吸気口用	
CO_2 表示番号	二酸化炭素消火設備	
F 表示番号	泡	
SP 表示番号	スプリンクラー	
警戒区域番号	ガス漏れ警報	
表示番号	非常電話	
警戒区域番号	発信機用	

註記

1 工事概要
- 本館1・2・7階改修工事に伴い、改修エリア内の機器及び配線の撤去・新設を行うものとする。
- 改修後図中、細線は既設の機器、配線を示す。
- 改修エリア内に既設排煙口は撤線・再結線とする。
- 屋内消火栓1台は移設とする。
- 今回工事のアドレス無し感知器のアドレス設定は受信機のデータを確認する。
- 本工事に伴い、既設受信機のデータ変更、追加等を見込むものとする。

2 改修エリア内の回線内訳

1）改修後
- 火災表示 31L
- （アナログ式感知器 31L）
- 排煙口 3L

- 合計 34L

3 既設複合盤仕様（改修後）

GR型 25系統 自立型

受信機 7桁×2窓 （7セグメントLED）

- 火災表示 3246回線
  - アナログ式感知器 3089L
  - 発信機 157L
- 防災連動制御盤 8桁×2窓 （7セグメントLED）
- 防排煙 533回線
  - 防火戸 84L 排煙機 16L
  - 排煙口 302L 防火ダンパー 71L
  - 防火シャッター 23L 防煙垂れ壁 3L
  - 吸気口 34L

- 附属表示 116回線
- スプリンクラー 放出29L
  - ポンプ起動 2L 故障 2L 呼水槽減水 1L
- 泡 放出 1L
  - ポンプ起動 1L 故障 1L 呼水槽減水 1L
- 二酸化炭素 準備 8L 起動 3L 放出 3L
  - 閉止弁閉止 3L 制御盤異常 3L
- ブースターポンプ 起動 1L 故障 1L
- 消防用水ポンプ ポンプ起動 1L 故障 1L 呼水槽減水 1L

- 消防用水盤 満水 4L 減水 4L
- ダクト消火 放出 3L
- 副表示機 伝送異常 4L 電源異常 21L

- ガス漏れ受信機 7桁×2窓 （7セグメントLED）
  - 24回線

- 非常電話（自動選択） 110回線（実窓 80L 予備 30L）

非常放送設備連動用として、下記の信号を移行する。
- 階別火災代表信号 26回線
- 火災確定信号 1回線

自動点検機能付とする。

4 アナログ式感知器廻りの配線は、全てHP1.2-2Cとする。

5 各中継器盤は、防排煙制御系のトラブルをローカル毎に切り離すSCI付とする。

6 連動機器制御方式

防火戸、防火シャッター、防煙垂れ壁	アナログ式感知器連動
防火ダンパー	自火報連動
排煙口	現場手動開放及び遠隔復帰

7 特記なき配管配線は下記とする。

HP1.2-2C	HP1.2-2C(PF16)
HP1.2-3C	HP1.2-3C(PF16)
HP1.2-3P	HP1.2-3P(PF22)
HPSI.2-2P+HP1.2-5P	HPSI.2-2P+HP1.2-5P(PF22)
HP1.2-5P	HP1.2-5P(PF22)
HP1.2-10P	HP1.2-10P(PF28)
HP1.6-3P	HP1.6-3P(PF22)
HP1.6-5P	HP1.6-5P(PF22)
HP1.6-10P	HP1.6-10P(PF28)
HP1.2-5P+HP1.2-2C	HP1.2-5P+HP1.2-2C(PF22)
HP1.2-3C	HP1.2-3C(PF16)
HP1.2-3P	HP1.2-3P(PF22)
HP1.2-3P	HP1.2-3P(PF22)

回線数表 （改修後）

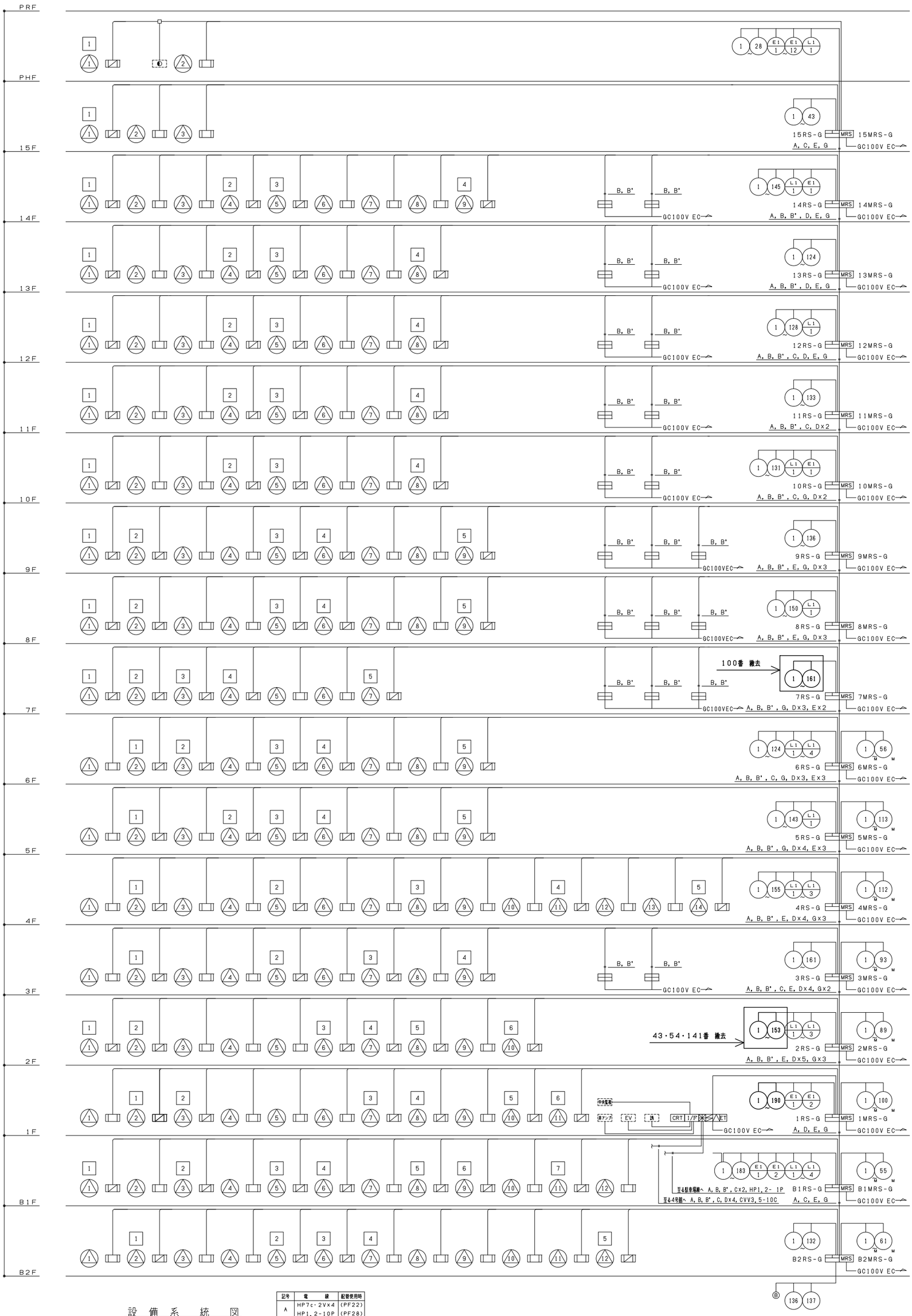
階	中継器盤名称 主中継器盤名称	中継器盤名称	自火報 改修後のアナログ式感知器	自火報 改修前後の感知器増減	自火報 発信機警報	自火報 地区ベル	非常電話	ガス漏れ	防排煙 防火戸	防排煙 防火シャッター	防排煙 防火ダンパー	防排煙 排煙口	防排煙 改修前後の排煙口増減	防排煙 給気口	防排煙 防煙たれ壁	防排煙 排煙機制御盤	附属表示 ローカルガス遮断弁	附属表示 消防用水盤 満水・減水	附属表示 ダクト消火盤 放出	附属表示 ブースターポンプ 起動・故障	附属表示 副表示器（伝送・電源異常）	附属表示 消防用ポンプ	泡 アラーム弁	泡 ポンプ 起動・故障・減水	SP アラーム弁	SP ポンプ 起動・故障・減水	CO_2 放出区画数	CO_2 起動・放出・閉止・異常
B2	B2MRS-G	B2RS-G	132		12	2	5	6	4	1		13		2				2						3	2	3	3	4
ISSB2			61																									
B1	B1MRS-G	B1RS-G	183		12		7	4	7	4	11	23		2	1		1		1				1		2			
ISSB1			55																									
1	1MRS-G	1RS-G	190	+5	11		6	2	3	5	7	33	+1	2	2									3				
ISS 1			100																									
2	2MRS-G	2RS-G	150	-3	10		6	1	4	2	7	33	+2	2			1		1					2				
ISS 2			89																									
3	3MRS-G	3RS-G	155		9		4		7	7	6	25		2							4			2		3		
ISS 3			93																									
4	4MRS-G	4RS-G	155		14		5		5		4	29		2										2				
ISS 4			112																									
5	5MRS-G	5RS-G	143		9		5	10	5		4	17		2										3				
ISS 5			113																									
6	6MRS-G	6RS-G	124		9		5	1	2	2	2	7		2			1	2	1	2				1	2	1	4	
ISS 6			56																									
7	7MRS-G	7RS-G	160	-1	7		5		3	1	3	11		2		8					6			2				
8	8MRS-G	8RS-G	150		9		5		7	1	4	16		2							6			2				
9	9MRS-G	9RS-G	136		9		5		6		4	16		2							6			2				
10	10MRS-G	10RS-G	131		8		4		6		4	15		2							4			1				
11	11MRS-G	11RS-G	133		8		4		6		4	16		2							4			1				
12	12MRS-G	12RS-G	128		8		4		6		4	16		2							4			1				
13	13MRS-G	13RS-G	124		8		4		4		4	15		2							4			1				
14	14MRS-G	14RS-G	145		9		4		7		3	15		2							4			1				
15	15MRS-G	15RS-G	43		3		1		2			2		2		8		4						1		1	4	
PH			28		2		1																					
合計			3089	+1	157	2	80	24	84	23	71	302	+3	34	3	16	3	8	3	2	42		1	3	29	5	8	12

排煙機連動表

階＼排煙口No	SEF-L1 排煙口No	SEF-L2 排煙口No	SEF-L4 排煙口No	SEF-L5 排煙口No
B2		1~8	9~11	
B1	1、2	3~16	17~21	
1		1~25、33		26~30
2		1~22	29	23~28、32、33
3		1~19、25		20~22
4		1~18	19~21	22~27
5		1~10	11	12~15
6		1~5		

排煙機連動表

階＼排煙口No	SEF-H1 排煙口No	SEF-H2 排煙口No	SEF-1 排煙口No	SEF-2 排煙口No
B2			12	13
B1			22	23
1			31	32
2			30	31
3			23	24
4			28	29
5			16	17
6			8	1
7	1、2	3~9	10	11
8	1~7	8~14	15	16
9	1~7	8~14	15	16
10	1~3	4~13	14	15
11	1~3	4~14	15	16
12	1~3	4~14	15	16
13	1~3	4~13	14	15
14	1~3	4~13	14	15
15			1	2
PH				



設 備 系 統 図

記号	電 線	配管使用時
A	HP7c-2Vx4	(PF22)
	HP1, 2-10P	(PF28)
B	HPS1, 2-2P	(PF16)
	HP1, 2- 5P	(PF22)
B'	HPS1, 2-2P	(PF16)
C	HP1, 2- 5P	(PF22)
D	HP1, 2-10P	(PF28)
E	HP1, 6- 3P	(PF22)
F	HP1, 2- 3P	(PF22)
G	HP1, 6- 5P	(PF28)

※機器収容箱～中継器間の幹線は、全てHP1, 2-5Pとする。ただし非常電話収容のものは、HP1, 2-5P+HP1, 2-2Cとする。
※主中継器～中継器間の幹線は、全てHP7C-2Vx4+HP1, 2-10Px2とする。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第344749号
設備設計一級建築士 第42111号
岡野 崇

加藤 悟

近藤 剛史

公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

自動火災報知設備 系統図（1）【改修後】

2022.03
A1：N/S
A3：N/S

RE－075

PRF
PHF
15F — 15MRS-G / 15RS-G
14F — 14MRS-G / 14RS-G
13F — 13MRS-G / 13RS-G
12F — 12MRS-G / 12RS-G
11F — 11MRS-G / 11RS-G
10F — 10MRS-G / 10RS-G
9F — 9MRS-G / 9RS-G
8F — 8MRS-G / 8RS-G
7F — 7MRS-G / 7RS-G
6F — 6MRS-G / 6RS-G
5F — 5MRS-G / 5RS-G
4F — 4MRS-G / 4RS-G
3F — 3MRS-G / 3RS-G
2F — 2MRS-G / 2RS-G
1F — 1MRS-G / 1RS-G
B1F — B1MRS-G / B1RS-G
B2F — B2MRS-G / B2RS-G

設　備　系　統　図

記号	電　線	配管使用時
A	HP7c-2Vx4	(PF22)
	HP1.2-10P	(PF28)
B	HPS1.2-2P	(PF16)
	HP1.2- 5P	(PF22)
B'	HPS1.2-2P	(PF16)
C	HP1.2- 5P	(PF22)
D	HP1.2-10P	(PF28)
E	HP1.6- 3P	(PF22)
F	HP1.2- 3P	(PF22)
G	HP1.6- 5P	(PF28)

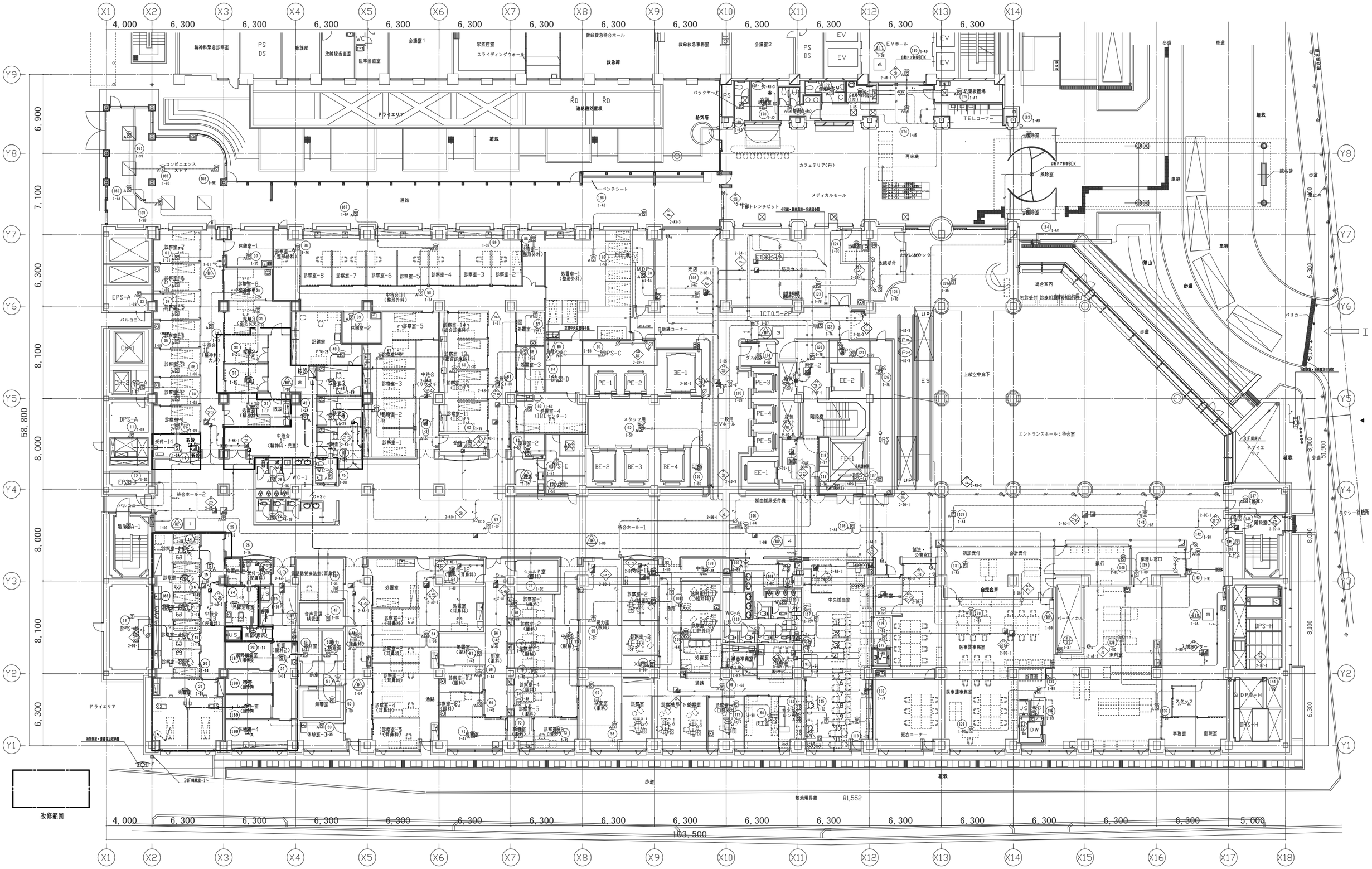
※機器収容箱～中継器間の幹線は、全てHP1.2-5Pとする。ただし非常電話収容のものは、HP1.2-5P+HP1.2-2Cとする。
※主中継器～中継器間の幹線は、全てHP7C-2Vx4+HP1.2-10Px2とする。

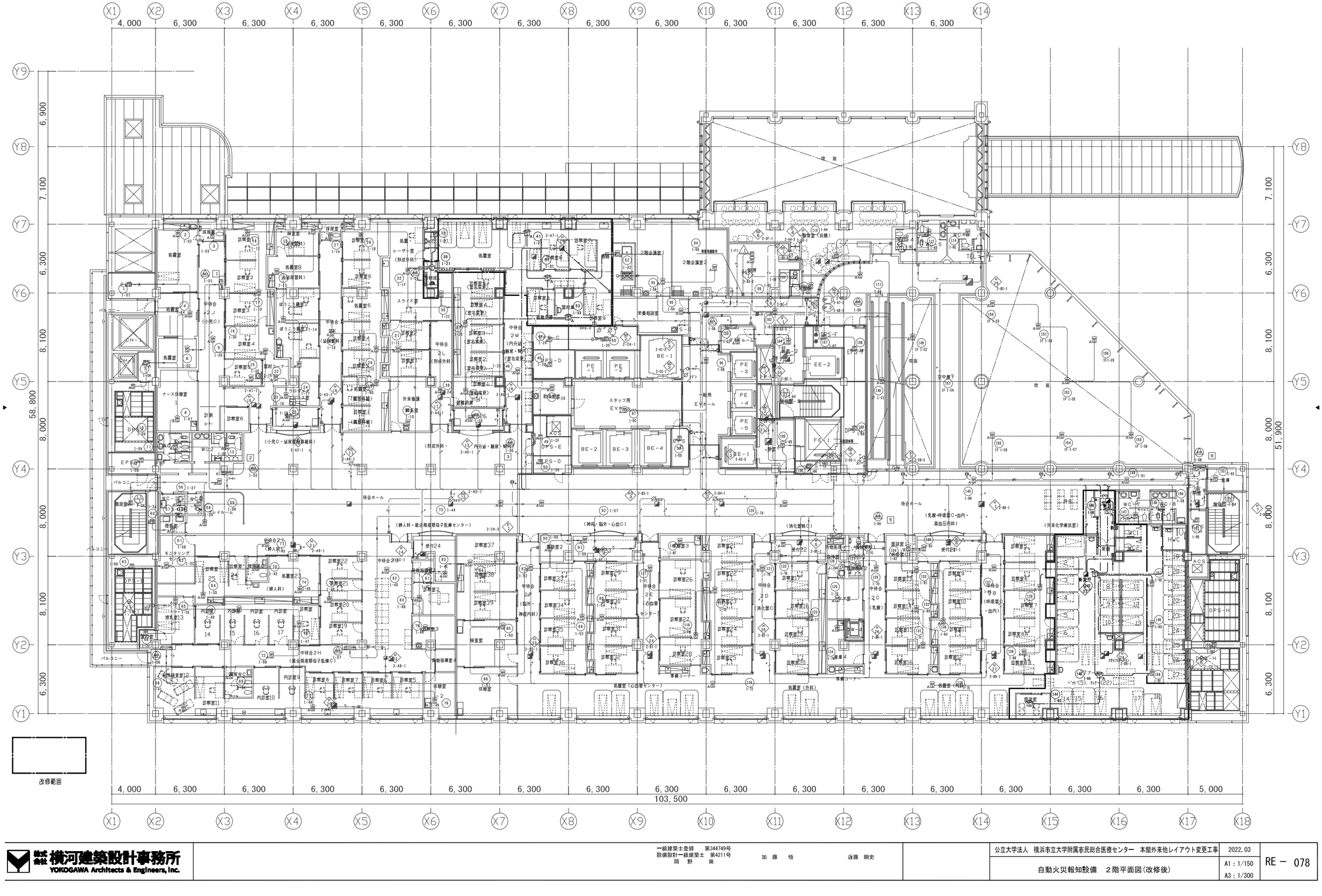
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録 第34749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野 栞
加藤 悟
坂藤 剛史

公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事
自動火災報知設備 系統図（2）【改修後】

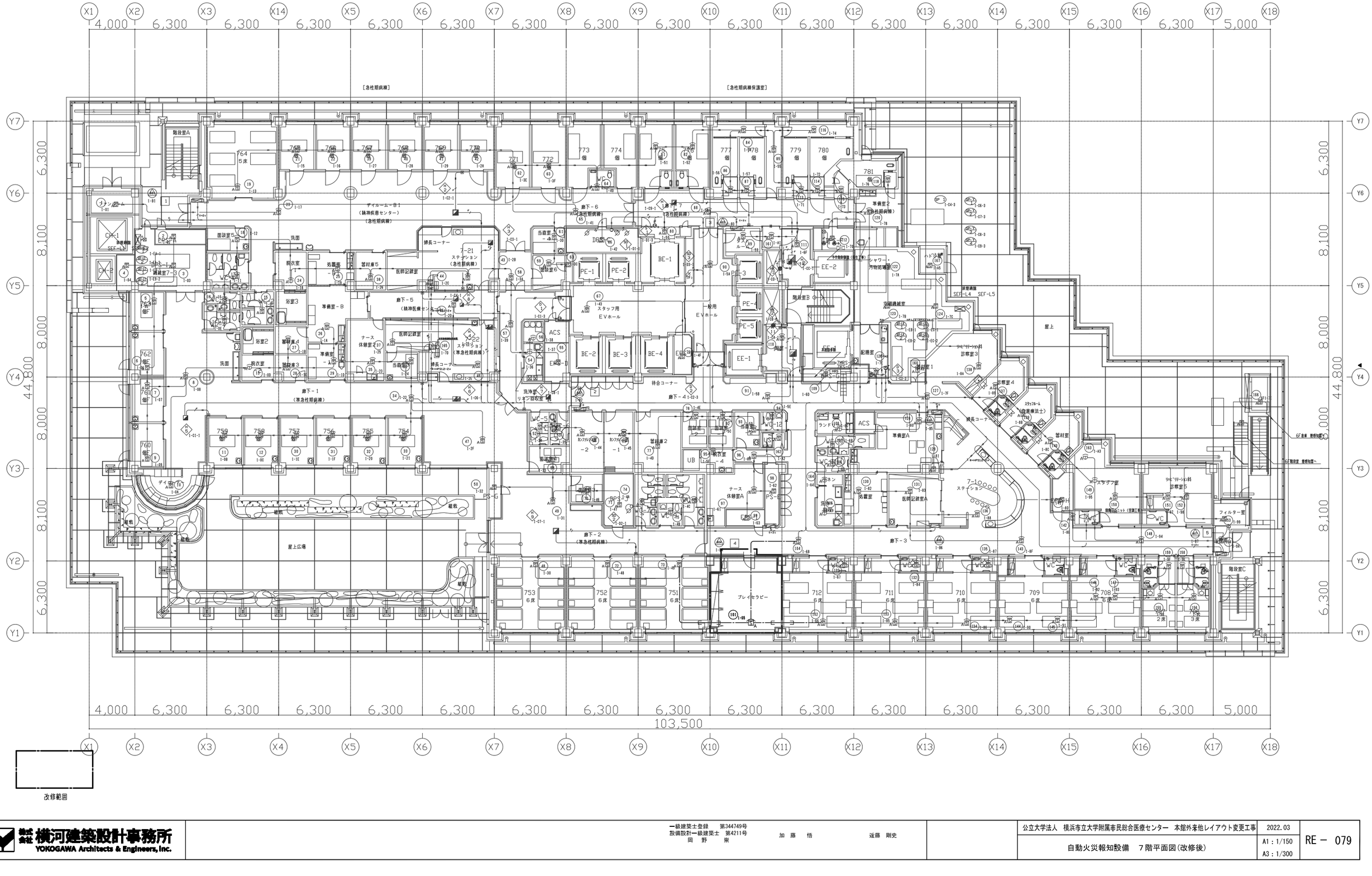
2022.03
A1：N/S
A3：N/S

RE－076


X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14
4,000 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300
Y9 Y8 Y7 Y6 Y5 Y4 Y3 Y2 Y1
6,900 7,100 6,300 8,100 8,000 8,000 8,100 6,300
58,800
精神科緊急診察室
PS DS
看護部
放射線当直室
医事当直室
WC
会議室1
家族控室
スライディングウォール
救急棟
救命救急待合ホール
救命救急事務室
会議室2
EV
EVホール
TELコーナー
ドライエリア
連絡通路屋根
RD
搬送
バックヤード
給気塔
ベンチシート
通路
コンビニエンスストア
カフェテリア(丹)
メディカルモール
本部トレンチピット
再来棟
風除室
車寄
歩道
車道
緑山
総合案内
初診受付 診療相談
本館受付
ATM
売店
院内保育所
ICT0.5-2
自販機コーナー
診察室1〜8
休憩室1〜2
処置室1〜4
中待合1H(整形外科)
中待合1F(精神科・児童)
記録室
既設
新設
EPS-A
CH-1
CH-2
DPS-A
バルコニー
階段室A-1
階段室A-2
PS-A
PS-C
PS-D
PS-E
PS-H
DPS-H
PE-1〜5
BE-1〜4
EE-1〜2
FE-1
ES
EPS
UP
DW
US
スタッフ用
一般用EVホール
上部空中廊下
エントランスホール：待合室
ドライエリア
ATM
ATM
ATM



株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第344749号 設備設計一級建築士 第4211号 岡野 崇	加藤 悟	近藤 剛史	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事 自動火災報知設備 2階平面図(改修後)	2022.03 A1：1/150 A3：1/300	RE－ 078


X1 X2 X3 X14 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14 X15 X16 X17 X18
4,000 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 6,300 5,000
103,500
Y7 Y6 Y5 Y4 Y3 Y2 Y1
6,300 8,100 8,000 44,800
［急性期病棟］
［急性期病棟保護室］
廊下－1（準急性期病棟）
廊下－2（準急性期病棟）
廊下－3
廊下－4
廊下－5（精神医療センター）
廊下－6（急性期病棟）
廊下－7（急性期病棟）
ナースステーション（準急性期病棟）
ステーション（急性期病棟）
デイルーム－B1（精神疾患センター）（急性期病棟）
デイルーム－A
デイルーム－B
デイルーム－C
デイルーム－D
デイルーム－E
デイルーム－F
デイルーム－G
デイルーム－H
デイルーム－I
デイルーム－J
デイルーム－K
デイルーム－L
デイルーム－M
デイルーム－N
デイルーム－O
デイルーム－P
デイルーム－Q
デイルーム－R
デイルーム－S
デイルーム－T
デイルーム－U
デイルーム－V
デイルーム－W
デイルーム－X
デイルーム－Y
デイルーム－Z
デイルーム－AA
デイルーム－AB
デイルーム－AC
デイルーム－AD
デイルーム－AE
デイルーム－AF
デイルーム－AG
デイルーム－AH
デイルーム－AI
デイルーム－AJ
デイルーム－AK
デイルーム－AL
デイルーム－AM
デイルーム－AN
デイルーム－AO
デイルーム－AP
デイルーム－AQ
デイルーム－AR
デイルーム－AS
デイルーム－AT
デイルーム－AU
デイルーム－AV
デイルーム－AW
デイルーム－AX
デイルーム－AY
デイルーム－AZ
デイルーム－BA
デイルーム－BB
デイルーム－BC
デイルーム－BD
デイルーム－BE
デイルーム－BF
デイルーム－BG
デイルーム－BH
デイルーム－BI
デイルーム－BJ
デイルーム－BK
デイルーム－BL
デイルーム－BM
デイルーム－BN
デイルーム－BO
デイルーム－BP
デイルーム－BQ
デイルーム－BR
デイルーム－BS
デイルーム－BT
デイルーム－BU
デイルーム－BV
デイルーム－BW
デイルーム－BX
デイルーム－BY
デイルーム－BZ
デイルーム－CA
デイルーム－CB
デイルーム－CC
デイルーム－CD
デイルーム－CE
デイルーム－CF
デイルーム－CG
デイルーム－CH
デイルーム－CI
デイルーム－CJ
デイルーム－CK
デイルーム－CL
デイルーム－CM
デイルーム－CN
デイルーム－CO
デイルーム－CP
デイルーム－CQ
デイルーム－CR
デイルーム－CS
デイルーム－CT
デイルーム－CU
デイルーム－CV
デイルーム－CW
デイルーム－CX
デイルーム－CY
デイルーム－CZ
デイルーム－DA
デイルーム－DB
デイルーム－DC
デイルーム－DD
デイルーム－DE
デイルーム－DF
デイルーム－DG
デイルーム－DH
デイルーム－DI
デイルーム－DJ
デイルーム－DK
デイルーム－DL
デイルーム－DM
デイルーム－DN
デイルーム－DO
デイルーム－DP
デイルーム－DQ
デイルーム－DR
デイルーム－DS
デイルーム－DT
デイルーム－DU
デイルーム－DV
デイルーム－DW
デイルーム－DX
デイルーム－DY
デイルーム－DZ
デイルーム－EA
デイルーム－EB
デイルーム－EC
デイルーム－ED
デイルーム－EE
デイルーム－EF
デイルーム－EG
デイルーム－EH
デイルーム－EI
デイルーム－EJ
デイルーム－EK
デイルーム－EL
デイルーム－EM
デイルーム－EN
デイルーム－EO
デイルーム－EP
デイルーム－EQ
デイルーム－ER
デイルーム－ES
デイルーム－ET
デイルーム－EU
デイルーム－EV
デイルーム－EW
デイルーム－EX
デイルーム－EY
デイルーム－EZ
デイルーム－FA
デイルーム－FB
デイルーム－FC
デイルーム－FD
デイルーム－FE
デイルーム－FF
デイルーム－FG
デイルーム－FH
デイルーム－FI
デイルーム－FJ
デイルーム－FK
デイルーム－FL
デイルーム－FM
デイルーム－FN
デイルーム－FO
デイルーム－FP
デイルーム－FQ
デイルーム－FR
デイルーム－FS
デイルーム－FT
デイルーム－FU
デイルーム－FV
デイルーム－FW
デイルーム－FX
デイルーム－FY
デイルーム－FZ
デイルーム－GA
デイルーム－GB
デイルーム－GC
デイルーム－GD
デイルーム－GE
デイルーム－GF
デイルーム－GG
デイルーム－GH
デイルーム－GI
デイルーム－GJ
デイルーム－GK
デイルーム－GL
デイルーム－GM
デイルーム－GN
デイルーム－GO
デイルーム－GP
デイルーム－GQ
デイルーム－GR
デイルーム－GS
デイルーム－GT
デイルーム－GU
デイルーム－GV
デイルーム－GW
デイルーム－GX
デイルーム－GY
デイルーム－GZ
デイルーム－HA
デイルーム－HB
デイルーム－HC
デイルーム－HD
デイルーム－HE
デイルーム－HF
デイルーム－HG
デイルーム－HH
デイルーム－HI
デイルーム－HJ
デイルーム－HK
デイルーム－HL
デイルーム－HM
デイルーム－HN
デイルーム－HO
デイルーム－HP
デイルーム－HQ
デイルーム－HR
デイルーム－HS
デイルーム－HT
デイルーム－HU
デイルーム－HV
デイルーム－HW
デイルーム－HX
デイルーム－HY
デイルーム－HZ
デイルーム－IA
デイルーム－IB
デイルーム－IC
デイルーム－ID
デイルーム－IE
デイルーム－IF
デイルーム－IG
デイルーム－IH
デイルーム－II
デイルーム－IJ
デイルーム－IK
デイルーム－IL
デイルーム－IM
デイルーム－IN
デイルーム－IO
デイルーム－IP
デイルーム－IQ
デイルーム－IR
デイルーム－IS
デイルーム－IT
デイルーム－IU
デイルーム－IV
デイルーム－IW
デイルーム－IX
デイルーム－IY
デイルーム－IZ
デイルーム－JA
デイルーム－JB
デイルーム－JC
デイルーム－JD
デイルーム－JE
デイルーム－JF
デイルーム－JG
デイルーム－JH
デイルーム－JI
デイルーム－JJ
デイルーム－JK
デイルーム－JL
デイルーム－JM
デイルーム－JN
デイルーム－JO
デイルーム－JP
デイルーム－JQ
デイルーム－JR
デイルーム－JS
デイルーム－JT
デイルーム－JU
デイルーム－JV
デイルーム－JW
デイルーム－JX
デイルーム－JY
デイルーム－JZ
デイルーム－KA
デイルーム－KB
デイルーム－KC
デイルーム－KD
デイルーム－KE
デイルーム－KF
デイルーム－KG
デイルーム－KH
デイルーム－KI
デイルーム－KJ
デイルーム－KK
デイルーム－KL
デイルーム－KM
デイルーム－KN
デイルーム－KO
デイルーム－KP
デイルーム－KQ
デイルーム－KR
デイルーム－KS
デイルーム－KT
デイルーム－KU
デイルーム－KV
デイルーム－KW
デイルーム－KX
デイルーム－KY
デイルーム－KZ
デイルーム－LA
デイルーム－LB
デイルーム－LC
デイルーム－LD
デイルーム－LE
デイルーム－LF
デイルーム－LG
デイルーム－LH
デイルーム－LI
デイルーム－LJ
デイルーム－LK
デイルーム－LL
デイルーム－LM
デイルーム－LN
デイルーム－LO
デイルーム－LP
デイルーム－LQ
デイルーム－LR
デイルーム－LS
デイルーム－LT
デイルーム－LU
デイルーム－LV
デイルーム－LW
デイルーム－LX
デイルーム－LY
デイルーム－LZ
デイルーム－MA
デイルーム－MB
デイルーム－MC
デイルーム－MD
デイルーム－ME
デイルーム－MF
デイルーム－MG
デイルーム－MH
デイルーム－MI
デイルーム－MJ
デイルーム－MK
デイルーム－ML
デイルーム－MM
デイルーム－MN
デイルーム－MO
デイルーム－MP
デイルーム－MQ
デイルーム－MR
デイルーム－MS
デイルーム－MT
デイルーム－MU
デイルーム－MV
デイルーム－MW
デイルーム－MX
デイルーム－MY
デイルーム－MZ
デイルーム－NA
デイルーム－NB
デイルーム－NC
デイルーム－ND
デイルーム－NE
デイルーム－NF
デイルーム－NG
デイルーム－NH
デイルーム－NI
デイルーム－NJ
デイルーム－NK
デイルーム－NL
デイルーム－NM
デイルーム－NN
デイルーム－NO
デイルーム－NP
デイルーム－NQ
デイルーム－NR
デイルーム－NS
デイルーム－NT
デイルーム－NU
デイルーム－NV
デイルーム－NW
デイルーム－NX
デイルーム－NY
デイルーム－NZ
デイルーム－OA
デイルーム－OB
デイルーム－OC
デイルーム－OD
デイルーム－OE
デイルーム－OF
デイルーム－OG
デイルーム－OH
デイルーム－OI
デイルーム－OJ
デイルーム－OK
デイルーム－OL
デイルーム－OM
デイルーム－ON
デイルーム－OO
デイルーム－OP
デイルーム－OQ
デイルーム－OR
デイルーム－OS
デイルーム－OT
デイルーム－OU
デイルーム－OV
デイルーム－OW
デイルーム－OX
デイルーム－OY
デイルーム－OZ
デイルーム－PA
デイルーム－PB
デイルーム－PC
デイルーム－PD
デイルーム－PE
デイルーム－PF
デイルーム－PG
デイルーム－PH
デイルーム－PI
デイルーム－PJ
デイルーム－PK
デイルーム－PL
デイルーム－PM
デイルーム－PN
デイルーム－PO
デイルーム－PP
デイルーム－PQ
デイルーム－PR
デイルーム－PS
デイルーム－PT
デイルーム－PU
デイルーム－PV
デイルーム－PW
デイルーム－PX
デイルーム－PY
デイルーム－PZ
デイルーム－QA
デイルーム－QB
デイルーム－QC
デイルーム－QD
デイルーム－QE
デイルーム－QF
デイルーム－QG
デイルーム－QH
デイルーム－QI
デイルーム－QJ
デイルーム－QK
デイルーム－QL
デイルーム－QM
デイルーム－QN
デイルーム－QO
デイルーム－QP
デイルーム－QQ
デイルーム－QR
デイルーム－QS
デイルーム－QT
デイルーム－QU
デイルーム－QV
デイルーム－QW
デイルーム－QX
デイルーム－QY
デイルーム－QZ
デイルーム－RA
デイルーム－RB
デイルーム－RC
デイルーム－RD
デイルーム－RE
デイルーム－RF
デイルーム－RG
デイルーム－RH
デイルーム－RI
デイルーム－RJ
デイルーム－RK
デイルーム－RL
デイルーム－RM
デイルーム－RN
デイルーム－RO
デイルーム－RP
デイルーム－RQ
デイルーム－RR
デイルーム－RS
デイルーム－RT
デイルーム－RU
デイルーム－RV
デイルーム－RW
デイルーム－RX
デイルーム－RY
デイルーム－RZ
デイルーム－SA
デイルーム－SB
デイルーム－SC
デイルーム－SD
デイルーム－SE
デイルーム－SF
デイルーム－SG
デイルーム－SH
デイルーム－SI
デイルーム－SJ
デイルーム－SK
デイルーム－SL
デイルーム－SM
デイルーム－SN
デイルーム－SO
デイルーム－SP
デイルーム－SQ
デイルーム－SR
デイルーム－SS
デイルーム－ST
デイルーム－SU
デイルーム－SV
デイルーム－SW
デイルーム－SX
デイルーム－SY
デイルーム－SZ
デイルーム－TA
デイルーム－TB
デイルーム－TC
デイルーム－TD
デイルーム－TE
デイルーム－TF
デイルーム－TG
デイルーム－TH
デイルーム－TI
デイルーム－TJ
デイルーム－TK
デイルーム－TL
デイルーム－TM
デイルーム－TN
デイルーム－TO
デイルーム－TP
デイルーム－TQ
デイルーム－TR
デイルーム－TS
デイルーム－TT
デイルーム－TU
デイルーム－TV
デイルーム－TW
デイルーム－TX
デイルーム－TY
デイルーム－TZ
デイルーム－UA
デイルーム－UB
デイルーム－UC
デイルーム－UD
デイルーム－UE
デイルーム－UF
デイルーム－UG
デイルーム－UH
デイルーム－UI
デイルーム－UJ
デイルーム－UK
デイルーム－UL
デイルーム－UM
デイルーム－UN
デイルーム－UO
デイルーム－UP
デイルーム－UQ
デイルーム－UR
デイルーム－US
デイルーム－UT
デイルーム－UU
デイルーム－UV
デイルーム－UW
デイルーム－UX
デイルーム－UY
デイルーム－UZ
デイルーム－VA
デイルーム－VB
デイルーム－VC
デイルーム－VD
デイルーム－VE
デイルーム－VF
デイルーム－VG
デイルーム－VH
デイルーム－VI
デイルーム－VJ
デイルーム－VK
デイルーム－VL
デイルーム－VM
デイルーム－VN
デイルーム－VO
デイルーム－VP
デイルーム－VQ
デイルーム－VR
デイルーム－VS
デイルーム－VT
デイルーム－VU
デイルーム－VV
デイルーム－VW
デイルーム－VX
デイルーム－VY
デイルーム－VZ
デイルーム－WA
デイルーム－WB
デイルーム－WC
デイルーム－WD
デイルーム－WE
デイルーム－WF
デイルーム－WG
デイルーム－WH
デイルーム－WI
デイルーム－WJ
デイルーム－WK
デイルーム－WL
デイルーム－WM
デイルーム－WN
デイルーム－WO
デイルーム－WP
デイルーム－WQ
デイルーム－WR
デイルーム－WS
デイルーム－WT
デイルーム－WU
デイルーム－WV
デイルーム－WW
デイルーム－WX
デイルーム－WY
デイルーム－WZ
デイルーム－XA
デイルーム－XB
デイルーム－XC
デイルーム－XD
デイルーム－XE
デイルーム－XF
デイルーム－XG
デイルーム－XH
デイルーム－XI
デイルーム－XJ
デイルーム－XK
デイルーム－XL
デイルーム－XM
デイルーム－XN
デイルーム－XO
デイルーム－XP
デイルーム－XQ
デイルーム－XR
デイルーム－XS
デイルーム－XT
デイルーム－XU
デイルーム－XV
デイルーム－XW
デイルーム－XX
デイルーム－XY
デイルーム－XZ
デイルーム－YA
デイルーム－YB
デイルーム－YC
デイルーム－YD
デイルーム－YE
デイルーム－YF
デイルーム－YG
デイルーム－YH
デイルーム－YI
デイルーム－YJ
デイルーム－YK
デイルーム－YL
デイルーム－YM
デイルーム－YN
デイルーム－YO
デイルーム－YP
デイルーム－YQ
デイルーム－YR
デイルーム－YS
デイルーム－YT
デイルーム－YU
デイルーム－YV
デイルーム－YW
デイルーム－YX
デイルーム－YY
デイルーム－YZ
デイルーム－ZA
デイルーム－ZB
デイルーム－ZC
デイルーム－ZD
デイルーム－ZE
デイルーム－ZF
デイルーム－ZG
デイルーム－ZH
デイルーム－ZI
デイルーム－ZJ
デイルーム－ZK
デイルーム－ZL
デイルーム－ZM
デイルーム－ZN
デイルーム－ZO
デイルーム－ZP
デイルーム－ZQ
デイルーム－ZR
デイルーム－ZS
デイルーム－ZT
デイルーム－ZU
デイルーム－ZV
デイルーム－ZW
デイルーム－ZX
デイルーム－ZY
デイルーム－ZZ
764 5床
753 6床
752 6床
751 6床
712 6床
711 6床
710 6床
709 6床
708 6床
7-1 ステーション
7-21 ステーション
7-22 ステーション
PE-1
PE-2
PE-3
PE-4
PE-5
BE-1
BE-2
BE-3
BE-4
EE-1
EE-2
EE-3
EE-4
EE-5
EE-6
EE-7
EE-8
EE-9
EE-10
EE-11
EE-12
EE-13
EE-14
EE-15
EE-16
EE-17
EE-18
EE-19
EE-20
EE-21
EE-22
EE-23
EE-24
EE-25
EE-26
EE-27
EE-28
EE-29
EE-30
EE-31
EE-32
EE-33
EE-34
EE-35
EE-36
EE-37
EE-38
EE-39
EE-40

機械設備工事特記仕様書

1．工事種目（●印を付けたものを適用する）

建物別及び屋外 ＼ 工事種目	病院			
● 空気調和設備	一式			
● 換気設備	一式			
● 排煙設備	一式			
● 自動制御設備	一式			
● 衛生器具設備	一式			
● 給水設備	一式			
● 排水設備	一式			
● 給湯設備	一式			
● 消火設備	一式			
○ 厨房設備				
○ ガス設備				
○ 排水処理設備				
● 医療ガス設備	一式			
○ 床暖房設備				

2．指定部分　　●無　　○有（　　工期：令和　　年　　月　　日）

3．共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）平成31年版、同公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）平成31版及び、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）平成31年度版による。
電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項は、電気設備は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）平成31年度版及び国土交通大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）平成31年度版により、建築工事は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年度版による。
但し耐震に関する基準は建設住宅局建築指導課監修の「建築設備・昇降機耐震診断基準及び改修指針」（1996年版）及び同上監修の「建築設備耐震設計・施工指針」（2014年版）による。

4．CADデータの受け渡し
（1） CADデータの利用については、利用目的を明確化し、目的外の利用及び第三者への譲渡・転貸を禁止する。
（2） CADデータの受け渡しには、それぞれ著作権の所有を明示し、契約書を取り交わす。
・ Auto CAD ファイル形式（DWG・LT2013以上）
・ DXFファイル方式（R14以上）
・ DRA-CAD
・ 協議による

5．特記仕様書
（1） 特記仕様書記載事項の中で、設計内容に該当しないものは除外する。
（2） 章は●印を適用し、○印のものは適用しない。
（3） 項目の番号に○印のついたものを適用する。
（4） 特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
※印と⊙印の付いた場合は、ともに適用する。
・印のものは、適用しない。

章	項　目	特　記　事　項
● 一般共通事項	①監督職員の読み替え	標準仕様書にある「監督職員」は、契約書に規定する監督職員とする。 本文「1.1.2用語の定義」は、下記に読み替える。 1.1.2 用語の定義(1)　「監督職員」とは、契約書に規定する、監督職員をいい、請負者に通知された総括監督員、主任監督員及び監督員を総称していう。
	②官公庁への手続	本工事に必要な官公庁その他への手続は請負者が行う。 それらに要する費用は本工事に含む。
	③申請・検査手続への協力	発注者が行う、建築基準法に基づく計画変更申請・中間検査・完了検査（許可・確認申請等を含む）、その他建築関係法令に基づく申請・検査、および各種補助金等にかかわる申請・検査等に必要な手続き・資料作成（申請書・図面・積算書等）に協力すること。
	④完了検査等手数料	建築基準法に基づく計画変更申請・中間検査・完了検査等（許可・認定申請等を含む）の手数料負担者（請負者の希望による設計変更に起因する計画変更申請を除く） ※発注者　　・請負者
	5 昇降機確認申請	昇降機の確認申請は、昇降機設備専門業者が建築主の代理者として行い、申請およびこれにかかわる検査に要する費用は、請負者の負担とする。
	⑥工事実績情報の登録	※適用する　（提出先：（財）日本建設情報総合センター）　(1.1.4) 設計図書は、主要な部位・事項についての設計意図を示すものであり、必ずしも工事の完成に必要なすべての情報を網羅するものではない。
	⑦設計図書等の取扱い	請負者は、設計図書に示された情報をもとに、製造者などの特定を経て、工程や下地などを考慮のうえ、責任を持って生産設計、製作、施工を行い、工事の適切な遂行と完成に必要なすべてのものを供給する。
	⑧他工事との取合	※工事区分表に示すものとする。 ※設備機器類の位置、取り合いなどの検討が出来る図面を作成して、監督職員の承諾を受ける。図面の縮尺は1/50程度とする。
	⑨軽微な変更	現場の納り及び取合いなどから生じる、材料の寸法、形状、数量等の軽微な変更については、請負金額の範囲内で処理する。
	⑩設計変更	建築主の希望により、標準仕様書1.1.8（疑義に対する協議等）に該当しない設計変更、追加工事を委嘱された時には、あらかじめ見積書を提出して監督職員の承諾を受けた上で工事に着手する。 この場合は特約のない限り各工事種目共、契約時の単価により監督職員の承諾する数量で請負金額の増減を行い、総合仮設及び経費については契約時の率にて増減する。
	⑪特許に関する注意	材料、機構または工法等が、第三者の所有する特許に触れる場合は、あらかじめその権利の使用に対する必要な手続きを完了した後、請負者の費用負担として、これを採用する。決してその権利を侵害するような行為をしてはならない。万一、その特許権を侵害するような事態が生じた場合はその動機の故意と不注意のいかんにかかわらず、請負者は自己の負担で、これを解決しなければならない。

	⑫施工図等	工事の施工上、監督職員の承諾を必要とする製作図（以下「施工図」等）は請負者が遅滞なく作成し監督職員はこれを閲査の上、受理印を押印して返却する。 なお、返却後1週間以内に監督職員が書面をもって異議の申し立てを行わない場合には施工図等は承諾されたものとみなし、請負者はその施工図等に基づいて工事を行う事ができる。施工にあたり別途関連工事の請負者と協力して総合図を作成し、監督員の承諾を得ること。
	⑬工事報告	※工事月報（月末締、工事写真及び工事出来高表等添付）3部を監督職員の指示により作成し提出する。（提出は月初め5日までとする） ・工事半月報を提出する。
	⑭主任技術者等	下記資格を証明する資料を監督職員に提出する。 資格の区分1） （イ）建設業法（昭和24年法律第100号）による技術検定（以下「技術検定」という。）のうち、1級の管工事施工管理の検定種目に合格した者 （ロ）技術士法（昭和58年法律第25号）による第二試験のうち、技術部門を機械部門（選択科目を「流体機械」又は「暖冷房及び冷凍機械」とするものに限る。）、水道部門又は衛生工学部門に合格した者 資格の区分2） （イ）技術検定のうち、1級又は2級の管工事施工管理の検定種目に合格した者 （ロ）資格の区分1）の資格を有する者
	⑮電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。 ・要　　・不要
	⑯技能士の適用	※配管施工（配管工事）　※建築板金施工（ダクト製作および取付け） ※熱絶縁施工（保温工事）　※冷凍空気調和機器施工（冷凍空調機器の据付）
	⑰災害防止	作業場の内外を問わず、工事実施にともなう危険防止・騒音防止・火災防止・風水害防止等のため、建築基準法・労働基準法・消防法・電気工作物規則その他関係法規に従って、常に遺漏のないよう適切な方策を講ずる。他に損害を与えた場合は、請負者はその責を負わなければならない。
	⑱火災保険	本工事の物件に対する火災保険は、工事請負契約約款記載の該当事項によるが、請負者はあらかじめ火災保険の契約内容について、監督職員の同意を得なければならない。
	⑲発生材の処理	※ 構外搬出適切処理 ・現場にて再利用を図るもの　（　　） ・引き渡しを要するもの　（　　） ・再資源化を図るもの　（　　） ・特別監理産業廃棄物の種類及び処理方法は以下の内容とする。 種類（　　）　処理方法（　　）
	⑳支給材料	支給材料の引き渡しを受ける場合は、原則として監督職員立合いのうえ検査し、検査後はその保管を行う。
	㉑機材等	※ 設備機材等は設計図書指定による。設計図書指定のない場合は（社）公共建築協会の定める「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって所要の品質性能を有することの評価を受けたものを使用する。この場合合評価書の写しを監督職員へ提出し、承諾を受ける。 ※ 別表－1に機材等名が記載された製造業者等は次の1)から6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会　他）が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。 ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3）安定的な供給が可能であること。 4）法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。 5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6）販売、保守等の営業体制が整えられていること。なお、システムとして機能するものにあってはシステムの構築能力があり、現場での施工体制が整えられていること。
	㉒見本の提出	設計図書に定められた各材料ごとに、複数種の見本を提出し、材質、仕上げの程度、色、納等について監督職員の指示を受ける。
	23 見本施工	特に見本施工を要するもの ・モックアップルーム 施工前にモックアップルームを作成し、建築主、施設利用者、監督員、受注者立会いのもと、使用材料、納まり、寸法、建具、家具、電気・空調・衛生設備等の検討確認を行い施工を行うこと。モックアップルームには本工事に含まれる家具、造作の他、電気、空調、衛生設備機器を仮設置する。 作成範囲： 設置場所： 設置期間：
	㉔特定建設資材の再資源化等について	※本工事は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成２６年６月４日法律第５５号改正）の対象建設工事であり、分別解体、特定建設資材の再資源化等について適切な処理を行う。ただし、工事契約後にやむを得ない事情により予定した条件により難い場合は監督職員と協議する。分別解体・再資源化等の完了時に、以下の事項を書面にて監督職員に報告する。 ① 再資源化等が完了した年月日 ② 再資源化等をした施設の名称及び住所 ③ 再資源化等に要した費用 1）分別解体の方法 工程：・新築 ・増築 ・修繕 ・模様替 作業内容：建築設備工事 ・あり ・なし 分別解体の方法：※手作業,機械作業併用 ・手作業 2）特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設 特定建設資材廃棄物の種類：・コンクリート ・コンクリート及び鉄から成る建設資材 ・木　材 ・アスファルト,コンクリート 再資源化等をする施設の名称：***** 所在地：*****
		※ 本工事は「建設副産物情報交換システム」を活用する。 総合施工計画作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合、速やかに当該システムにデータ入力を行う。また、同システムにより工事着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、工事完了時に同計画書の実施報告書（書式は同一）を作成し、監督職員に提出する。

	㉕完成写真	※ 建築工事特記仕様書による。
	㉖完成図	工事完成後、60日以内に監督員の指示に従い完成図を作成の上提出する。 ただし、部分完成の場合は除く。 1.提出図書は標準仕様書 第1編7節 によるほか、監督員の指示によるもの。 2.完成図の提出は、下記の仕様による。 ※ CADデータ　：Auto CADデータ（・およびJW_CADデータ）およびDXFデータをDVD-Rにて2部提出。 ※ PDFデータ　：解像度を600dpiとし、オリジナルCADデータより直接書き出したもの（ただし表紙のみ施工者の押印したものをスキャニング）をDVD-Rにて2部提出。 ・ 原図　　：1. による訂正完成原図一式 （A1サイズとする） ・ マイクロフィルム　：35ｍｍフィルムを使用し、リストを付けロールにて1部提出。（監督員の指定する業者にて作成の事。） 3.製本は表紙及び工事名称、竣工年月、建築主、設計、監理、施工者名の文字入りとする ※ A3版縮小図(黒表紙，白焼，確認申請平面図の区画図はカラー刷り） 1部 （監督員の指定する体裁とする事） （複写図・白焼） ※ A1版見開き製本(複写図・白焼)　2部　・A1版見開き製本（青図）2部 ※ A3版縮小見開き製本(複写図・白焼) 5部　・A3版縮小見開き製本（青図）5部 ・ A4版又はB5版製本(黒表紙金文字入原紙大青図折込)　1部 ・ 監督員の指示による図面(施工図等)のA1版見開き製本(青図)　1部 4.国土交通省「営繕工事電子納品要領」に準じる電子成果品について。 ※ 不要　　・ 必要 5.監督員の指定する施工図等のAuto CAD（又はDXF）データ及びPDFデータをDVD-Rにて2部提出。
	㉗完成時提出書類	完成写真、完成図とは別に下記書類を合本又はファイリングの上、2部提出する。 1.竣工届、竣工引渡書、受領書 2.確認通知書(写)、諸官庁届出一切の許認可書類及び写し 3.特記仕様書に示する種材料の保証書及び写し 4.各種材料・機器試験報告書、保証書 5.取扱い説明書、部品(工具)、引渡書(一覧表) 6.メーカーリスト表 7.受注者等の竣工後の連絡先 8.協力業者名簿 9.保全に関する資料 ※建築物等の利用に関する説明書作成は「建築物等の利用に関する説明書作成の手引きに」（国土交通省　平成25年3月版）による。 ※建築主への説明を実施すること。 ⊙保全マニュアル ・長期修繕計画書
	㉘著作権	設計者が創造するデザインや建物は著作権法で保護されており、主に建物及び図面については設計者が著作権を有する。建物引き渡し後もその著作権は設計者が有する。
	㉙仮使用	本工事に伴い、施工建物または、既設建物部分に仮使用の発生が生じる場合、請負者は監督職員の指示に従い安全計画書を作成し必要な措置を講ずるものとする。
	㉚瑕疵調査	工事目的物を建築主へ引き渡したのち、工事請負契約書に定める瑕疵担保の期間内に、監督職員の指示に基づき工事全般について瑕疵および消耗に関する調査を行う。
	31 場外検査立会い	※別表-1による。
	32 監督職員事務所（機械単独工事の場合）	※設けない　・設ける（・20㎡程度　・35㎡程度　・　　程度）
	33 監督職員事務所の備品など（機械単独工事の場合）	イ）監督職員事務所には次の備品を置くこと。数量は監督職員の指示による。 ・ 量数の更衣室　・便所　※流し　※冷暖房設備　※電話　※机　※いす ※会議テーブル　・書棚　・見本棚　・図面架　※ロッカー ・ A3カラー複合機（プリンター、コピー、スキャナー、ファックス機能付き） ・ A1カラープリンター（請負者と兼用可） ※白板　・製図板　・デジタルカメラ　・ゴム長靴　・雨がっぱ　・安全ベルト ・携帯灯具　・冷蔵庫　・電子レンジ　・電気ポット　・掛時計　※各種文房具 ※その他監督員の指示するもの ロ）監督員事務所には次のOA環境を備えること。 ※パソコン一式　セット（・うち1セットはノートパソコンとする） OS：※Windows 7 Professional 64bit CPU：※Core i5 以上　・Core i7 以上 メモリ：※8GB以上　・4GB以上 HDD：※500GB 以上　・1TB 以上 光学ドライブ：※DVDスーパーマルチドライブ ディスプレイ：（デスクトップ型）※21インチ FHD 以上 （ノート型）※15インチ HD+ 以上　・17インチ HD+ 以上 グラフィック性能：※導入するソフトのメーカー標準動作性能を満たすもの その他：・その他監督員の指示するもの ※ソフト（バージョン等は監督員の指示によるが、基本的に最新バージョンとする） ・Outlook　※Word　※Excel　・PowerPoint ・AutoCAD　※AutoCAD LT　・Vectorworks　・Revit　・GLOOBE ※Acrobat Standard　・Photoshop　・Illustrator ※セキュリテ◎◎ウイルス）対策ソフト（McAfee VIrusScan Enterprise 同等程度） ※その他監督員の指示するもの ・インターネット回線への接続（光回線）（プロバイダー及び回線使用料を含む）
● 共通工事	①工事用水	構内既存の施設　※利用出来ない　⊙利用出来る（※有償　・無償）
	②工事用電力	構内既存の施設　※利用出来ない　⊙利用出来る（※有償　・無償） 本受電から引き渡しまでの使用料金　基本料金　※請負者　・発注者 使用料金　※請負者　・発注者
	③工事用仮設物	構内につくることが　※できる　⊙できない
	④足場・さん橋類	※別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。 ⊙本工事で設置とする。 ・改修標準仕様書第1編2.2.1によるほか下記による。 ・内部仮設足場等（・　種・　種） ・外部仮設足場等（・　種・　種）
	5 建設発生土の処理	※建設発生土（残土）は、場外搬出（適正処分）とする。 ・監督職員が支持する構内の場所に敷ならしとする。
	6 埋め戻し土・盛土	※根切り土の中の良質土　・山砂の類
	⑦運転操作説明板	系統図、機器等の取り扱い方及び重要な定期点検項目を書いたアクリル樹脂製の板を機械室に設ける。説明板の大きさは監督員と協議の上決定する。

	⑧機材の承諾図	国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の機械設備工事機材承諾図様式集（令和元年版）　によるほか、監督職員の指示による。
	⑨電源周波数	⊙50Hz　・60Hz
	⑩容量等の表示	※機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 ※電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。
	11 建築物導入部の変位吸収方法	配管の建築物導入部の変位吸収方法は、標準図（建築物導入部の変位吸収配管要領）による。 ⊙(a)フレキシブルジョイントを使用　・(b)ボールジョイントを使用 ・(c)スリーケッション
	⑫配管溶接部の非破壊検査	配管溶接部の非破壊検査は　・不要　⊙要（標準仕様書 第2編 2.5.17.12 による） ※非破壊検査の適用範囲は、標準仕様書による。 ※放射線透過検査の判定基準は、WPS-008-97（水道用鋼管現場溶接継手部の非破壊検査基準）によること。
	⑬絶縁継手	取付け箇所は図示による。
	⑭地中埋設標等	（1）地中埋設標　⊙要（図示の箇所）　・不要 （2）埋設表示用テープ　⊙要（排水管を除く）　・不要
	⑮はつり	既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、ダイヤモンドカッターを用いる。 また、その際、配筋、埋設配管等を切断しないように×線撮影等の調査を行うこと。
	⑯施工調査	※下記によるほか、改修標準仕様書第1編1.5.1及び1.5.2による。 事前調査 調査項目　・ 調査範囲　・図示　・ 調査方法　・図示　・
	⑰試験	※ 各種配管の試験は、新設配管に適用する。 ※ 新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。
	⑱撤去	※ 撤去する保温材やガスケット、パッキン等にアスベストが含有されている恐れがあるものは、アスベスト含有の有無を調査し、含有されていた場合は適切に撤去,処分すること。
	⑲総合調整	総合調整に先立ち、総合調整計画書を提出する。 対象は下記による。その他、特殊設備類は図示による。 ※風量調整　※水量調整　※温度、湿度調整　※気流じんあい調整 ※騒音測定　※振動測定　※初期運転状態の記録 ※冷熱源：機器能力、水量、騒音、振動、電気特性、補機との連動 ※空調機：能力、出入口温湿度、風量、静圧、電流値、騒音振動、空気清浄度 ※室内状態：全室風量測定、全室温湿度測定、騒音測定（指定箇所） ※送排風機：風量、静圧（全圧）、電流値、騒音振動、回転数 ※ポンプ類：水量、揚程、電流値、騒音振動 ※タンク及びヘッダー類：漏水、水圧、防錆 ※自動制御：耐電圧及び作動、全制御項目及び測定項目 ※給排水給湯：出水量、飲料水水質、雑用水水質、排水状態、水圧、騒音振動、漏水の有無 ※ガス設備：ガス圧、ガス漏れの有無 ※消火設備：ポンプ機能、放出テスト状態、警報作動試験、防災盤との連動 ※室差圧測定（・陰圧室　・　　）
	20 塩害仕様	※屋外設置機器及び外気導入部には、塩害対策を行うこと。 詳細は下記による。 （1）機器　・塩害仕様　⊙重塩害仕様 （2）外気、排気ガラリチャンバー　・ステンレス製　⊙重耐塩塗装 （3）外気取入ダクト　・ステンレス製　⊙重耐塩塗装 （4）空気調和機の外気取入れセクション　・ステンレス製　・重耐塩塗装 （5）
	㉑機器の仕様	※図示によるほか標準仕様書による（国土交通省仕様） ・図示によるほか製造者標準仕様とする
● 非構造部材・建築設備機器及び同架台等の共通仕様	①非構造部材	a.屋根葺材（長尺金属板葺き　・折板葺　・粘土瓦葺）　・外装材　・屋外に面する帳壁及び屋内外のすべての非構造部材の支持構造部及び建築物の構造耐力上主要な部分に緊結する部位は、 施行令第83～88条の規定による固定荷重・積載荷重・積雪荷重・風圧力・地震力・層間変位を考慮し、 施行令第82条による組合せ応力に対して、構造耐力上安全であることとする。 また、避難の支障となる損傷がないものとする。 b.支持金物（取付ボルトを含む）は、該当各章の規定により、ステンレス・亜鉛めっき、 錆止め塗装等の防錆処理を施したものとする。
	②設備機器及び同架台等	a.建築設備（昇降設備を除く）の支持構造部及び構造本体との緊結金物は、次による。 1）施行令第83～88条の規定による固定荷重・積載荷重・積雪荷重・風圧力・地震力・層間変位を考慮し、 施行令第82条による組合せ応力に対して、構造耐力上安全であることとする。 2）耐震の措置は、本工事既要書『1.設計条件等　3.耐震設計条件のb 2)』による。 また、機器本体の耐震性能は、製造者により確認されているものとする。 3）建築設備の支持構造部及び構造本体との緊結金物等は、所定の防錆処理を行う。 4）給湯設備は前述「a 1)～3)」及び平12建告第1388号 第5による。 b.屋上から突出する水槽、塔突、冷却塔その他これらに類するものの支持構造部及び建築物の構造耐力上主要な部分に緊結する部位は、次による。 1）「1.設計条件等　3.耐震設計条件」に規定した荷重による応力に対し、構造耐力上安全なものとする。 ただし、採用する荷重は、平12建告第1389号に定める規定値を下回ってはならない。 2）支持構造部及び緊結金物の防錆仕様は、前項「a 3)」と同一とする。 c.煙突の屋上突出部の高さは、鉄製の補強がない場合、900mm以下とする。また、室内の煙突部分の鉄筋のかぶり厚さは50mm以上とする。 d.建築物に設ける給水、排水その他の配管設備その他これらに類するものの支持構造部及び建築物の構造耐力上主要な部分に緊結する部位は、次による。 1）風圧・土圧・水圧・地震その他の震動及び衝撃に対して、安全上支障のない構造とする。 2）風圧力及び地震力により建築物に生ずる層間変形に対しても追従でき、安全上の支障のない構造とする。 3）建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設けるなど、有効な管の損傷防止のための措置を講ずる。 4）管の伸縮その他の変形により当該管に変形が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可とう継手を設けるなど、有効な損傷防止のための措置を講ずる。 5）管を支持又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いるなど、有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずる。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　　阿瀬貴裕　　丸山　信

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RM － 001
機械設備　特記仕様書（1）	A1：－ A3：－	

● 空気調和設備

① 設計温湿度

下記条件は，建築設備設計基準（令和３年度）横浜地区の値を参照

	外気条件		室内 一般系統		室内		室内	
	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）
夏季	34.0℃	59.4%	26 ℃	50 %	℃	%	℃	%
冬季	2.0 ℃	44.9%	22 ℃	- %	℃	%	℃	%

② 機器付属の制御盤

標準仕様書第2編 1.2.2 による。ただし、下記の項目は本仕様による。
⊙故障表示及び故障表示用無電圧接点並びに端子を設ける。
・往復動冷凍機、パッケージ形空気調和機、遠心冷凍機、吸収冷凍機及び直炊き吸収冷温水機には、ポンプインターロック用端子を設ける。
・往復動冷凍機には、冷凍機操作用の遠方、手元切り換えスイッチを設ける。
・遠心冷凍機の主開閉器は気中とする。
⊙電動機停止時には電動機及び進相コンデンサは無電圧となるように主回路に電磁接触器を設ける。
⊙空気調和機内設置のモータは全閉型とする。
⊙ボイラー、チラー、冷温水機ユニット、パッケージ空調機には運転時間計、及び表示用端子を取り付ける。
⊙インバーター機器には、高調波対策としてDCリアクトル、アクティブフィルターを設置する。
⊙進相コンデンサの容量が電力会社の電気供給規定にないものは、定格能力時における改善後の力率を90%以上となるように選定する。

3 オイルタンク

オイルタンクは ・調製タンク
・二重殻タンク ※SF型（鋼板製、外殻FRP）
・FF型（内外ともFRP）
オイルタンクを設置する躯体等は ※建築工事 ・本工事 とする。

4 ばい煙濃度計 ※設ける ・設けない

5 ばいじん量測定口 ※設ける（測定口は80φ以上とし、煙道の直線部に取り付ける。）

6 煙突 ・別途工事 ・本工事（機器付属） ・建築工事

7 煙道 ・鋼板製（・6.0t ・4.5t） ・ステンレス鋼板製（・ t）

⑧ 風道

使用ダクトは ⊙低圧ダクト ・高圧1ダクト ・高圧2ダクト
※長方形ダクトはアングルフランジ工法、又はコーナーボルト工法とする。
※屋外露出ダクトは（※SUS鋼板製 ⊙ガルバリウム鋼板製）とする。
・ダクトはグラスウール製を使用して良い。使用範囲は標準仕様書による。

⑨ 風量測定口 取り付け箇所は（・図示した位置 ・送風機吐出ダクト又は吸い込みダクト） とする。
⊙外気取り入れダクト ・空調機出口チャンバーの分岐ダクト）

⑩ チャンバー

※内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外寸を示す。
※空気調和機、温風暖房機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及び風道系で消音内張りしたチャンバーには点検口を設ける。
※点検口の大きさは図示による。
※外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーには排水管（呼び径２０）を設け、屋外又は間接排水口に導く。

⑪ 制気口及びダンパー

・制気口ボックスは、グラスウール製としても良い。
（範囲：一般居室、 ）
※外気が浸入する恐れのある部分の空調吹出口は、結露防止型とする。

⑫ 防煙ダンパー

標準仕様書第3編 1.15.8 によるほか、下記による。
※自動閉鎖機構はソレノイド（瞬時通電式）又は電動式とし、自動復帰機構は電動式とする。定格入力は DC24V、0.7A 以下とする。
※煙感知器、連動制御器及び配管配線（煙感知器から連動自動制御器を経て防煙ダンパーに至るまで）は（※電気設備工事 ・ ）とする。

⑬ 弁類

⊙JIS 5 kgf/cm ・JIS 10 kgf/cm
・蒸気ヘッダー弁はベローシール弁とする。
※65A以上の冷温水・冷却水用弁装置の仕切弁はバタフライ弁とする。
※鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。
※ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。
※ファンコイルユニットと冷温水管の接続部（往・還）には、ボール弁を取付ける。

14 温度計 取付け箇所は図示による。

15 圧力計 取付け箇所は図示による。

16 瞬間流量計又は瞬間流量計取付用タッピング

下記の管に取り付ける。尚、タッピングは 32A とする。
・冷凍機の冷水管及び冷却水管（送り又は返り）に（・流量計 ・タッピング）を設ける。
・直焚き吸収冷温水機の冷温水管及び冷却水管(送り又は返り)に(・流量計 ・タッピング)を設ける。
・空気調和機の冷温水管（送り又は返り）に（・流量計 ⊙タッピング）を設ける。
・冷温水ヘッダーの各送り管に（⊙流量計 ⊙タッピング）を設ける。

17 油面制御装置 フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。

18 遠隔油量指示計

・設ける
遠隔油量指示計はフロートの作動による抵抗変化式液面計又は磁歪式液面計とする。

⑲ つり金物

機械室内配管のつり金物は下記による。

機械室名		熱源機械室	機械室		
防振	シングル		○		
つり金物	ダブル				
施工範囲		冷温水管、温水管、冷水管			

⑳ 保温及び消音内張り

標準仕様書第2編 3.1.4 による。ただし、下記の部分は本仕様による。
※返り風道の保温要（保温の厚さ25mm）
※外気風道の保温要（保温の厚さ25mm）（・空調室の天井内 ⊙全て）
※換気用風道の保温要、但し（保温の厚さ25mm）（⊙全長 ・外壁より1m）
※全熱交換器の室外側ダクト（OA,EA）は、全長に保温を行うこと。
・火気使用系統排気風道の保温（ロックウール ※50mm ）
⊙湯沸室系統換気風道の保温（ロックウール ※50mm ・25mm）
⊙風道のインペイ部分の保温材は、保温帯を使用してよい（亀甲金網押え）。

※風道の保温の外装は下記による。

屋内	倉庫・書庫	⊙アルミガラスクロス＋金網 ・ガラスクロス ・着色亜鉛鉄板
	各階機械室	⊙アルミガラスクロス＋金網 ・ガラスクロス ・着色亜鉛鉄板
露出	中央機械室	⊙アルミガラスクロス＋金網 ・着色亜鉛鉄板 ・アルミニウム板
	居室・廊下など	・着色亜鉛鉄板 ・アルミニウム板 ・ステンレス鋼板
屋外露出及び浴室		・亜鉛鉄板 ・着色亜鉛鉄板 ・ステンレス鋼板
厨房などの多湿箇所		⊙ガルバリウム鋼板

※配管の保温の外装は下記による。
⊙給水、給湯、排水、消火配管等も同様とする。

屋外露出及び浴室	・亜鉛鉄板 ・着色亜鉛鉄板 ・ステンレス鋼板
厨房などの多湿箇所	⊙ガルバリウム鋼板・化粧保温カバー
機械室内露出	⊙アルミガラスクロス＋金網 ・アルミ箔＋金網 ・着色亜鉛鉄板
インペイ部分	⊙アルミガラスクロス＋金網 ・アルミ箔＋金網 ・着色亜鉛鉄板

・共同溝内の保温の外装材は （※ステンレス鋼板製 ・ ）とする。
⊙冷水及び冷温水の吊りバンドには合成樹脂製の支持受けを使用する。
⊙建物内の空気抜き管の保温は標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。
⊙空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は標準仕様書第2編3.1.5の排水管の項による。
⊙屋内複管（PS内、機械室露出、多湿箇所）の塗装は不要とする。
・蒸気（往・還）用の弁類、フランジには保温（容易に着脱可能なもの）を設ける。
・蒸気（還）管には保温（・全面 ⊙FL+2000程度まで）を行う。
※隠ぺいダクトのフランジ部（補強を含む）は厚さ25mmの保温を重ね巻きする。
※アルミガラスクロス仕上げの保温は、アルミガラス化粧保温筒（露出部分は原紙入り）を使用してもよい。
※管及びダクトの保温材はグラスウールを使用しても良い。
（但し防火区画貫通部、及び多湿箇所を除く）

㉑ その他

⊙空調機トラップは、フロートボール式(蒸気加湿系のトラップはSUS製)とする。
⊙冷媒管用ラックは歩行用（⊙ステンレス製 ・ガルバニウム鋼板製）とする。
・冷却塔の天板には手すり(・SUS製 ・溶融亜鉛メッキ）を設置する。
⊙ファンコイルユニット及び、パッケージエアコン用のドレン管で、機器から第一接続箇所までは、断熱ドレンホースを使用してもよい。

● 自動制御設備

① システム構成その他 図示による。

② 電気計装工事の配線

※使用する電線類はEM電線とし、規格は標準仕様書第4編表4.1.11の使用する電線類の規格による。（機器、盤類は除く）
※屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。
※天井内隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。

● 換気

① 風道

※使用ダクト
（⊙低圧ダクト ・高圧1ダクト ・高圧2ダクト（・ｱﾝｸﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ工法・ｺｰﾅｰﾎﾞﾙﾄ工法））
・下記の部分は１番手厚いものを使用する。
範囲（※厨房用排気ダクト ・ ）
※屋外露出ダクトは（※SUS鋼板製 ・ガルバリウム鋼板製）とする。
・制気口ボックスは、グラスウール製としても良い。
（範囲：一般居室、 ）

② 風量測定口 取り付け位置は（・図示した位置 ⊙送風機吐出ダクト又は吸込みダクト
⊙外気取り入れダクト）とする。

③ 防煙ダンパー 空気調和設備の防煙ダンパーの項による。

4 ピストンダンパー 空気調和設備のピストンダンパーの項による。

⑤ 多湿箇所の風道範囲

※範囲は（・厨房 ・浴室 ⊙フォーク通路 ）
※多湿箇所の排気ダクトは標準図によりシールを施工する。
※ダクトには水抜管を設ける。

⑥ ベントキャップ ※仕様は、SUS製、外風雨対策型、水切り付、指定色焼付塗装仕上げとする。

● 排煙設備

① 風道 ⊙亜鉛鉄板 ・普通鋼板製（厚さ1.6t） ・コンクリート

② 排煙口の形式

⊙天井取り付け （・1枚形 ・ ）
・壁取り付け （・表面スリット形 ・ ）

③ 排煙口開放装置 ・手動 ⊙手動及び遠隔操作可能なもの

④ 排煙風量測定 建築設備定期検査業務指導書(日本建築設備安全センター)の排煙風量の検査方法に準ずる。

● 衛生器具備備

① 大便器洗浄弁 節水形のバキュームブレーカー付とする。

② 大便器自動洗浄弁

・タッチ式 ⊙非接触センサー式
感知部と洗浄弁間の渡り配管配線は（⊙衛生工事 ・空調（自動制御）工事 ） とする。

③ 大・小便器洗浄弁 ・中水対応洗浄弁 水源は雑用水（・井水 ・雨水利用水 ・中水）

4 小便器洗浄弁 ⊙個別本体組込み型 ・別置集合型

⑤ 汚物流し洗浄弁 ・非接触センサー式 ⊙レバーハンドル式

⑥ 温水洗浄便座 ⊙温水貯湯型 ・温水瞬間型)とする。 なお、水源は上水とする。

⑦ 洗面器・手洗器 洗面器、手洗器のオーバーフロー穴、ポップアップは無いものとする。

8 化粧鏡 車いす利用者の洗面器の化粧鏡（ ・平形（450w×1000h 程度） ・傾斜鏡 ）
なお、鏡は防食タイプとする。

⑨ 止水栓 流し台等に設ける水栓の給水、給湯管には止水栓（水栓の付属品ではない）を設ける。

10 しぶん洗浄栓 （・スパウト式 ・ホース式）とする。 なお、水源は上水とする。

● 給水設備

① 量水器 ⊙親メーター（⊙貸与品 ・ ）
⊙子メーター（⊙買取り ・ ）
計量方式は（⊙現地表示式 ・遠隔表示式 ）とする。

② タンク

⊙受水槽、高架水槽の天板には手すり(・SUS製 ⊙溶融亜鉛メッキ）を設置する。
・高架水槽の底板の高さが床面から2m以上のものは点検歩廊を設ける。

③ 量水器桝 ・水道事業者指定品（・貸与品 ・買取り） ⊙標準図MC形

④ 弁

・水道直結部分 JIS（⊙10kgf/cm² ・ ）
・その他の部分 JIS（⊙ 5kgf/cm² ・10kgf/cm²）

⑤ つり金物 機械室内の配管つり金物は下記による。

機械室名		機械室			
防振	シングル	○			
つり金物	ダブル				
施工範囲					

⑥ 管の埋設深さ

管の地中埋設深さは、車路部分（※600mm ・750mm ・1200mm）以上、
それ以外は（※300mm ・450mm ・凍結深度 mm）以上とする。

⑦ 保温

標準仕様書第2編3.1.5による。但し、下記の部分は本仕様とする。
・調板製高置水槽の保温（⊙不要 ・要）
・鋼板製受水槽の保温 （⊙不要 ・要）
・屋外露出管（弁類を含む）は防凍保温を行うものとし、仕様は空気調和設備の項による。

8 引き込み納付金等 ・要（・別途工事 ・本工事） ・不要

⑨ 水栓柱 ・合成樹脂製 ・人研ぎ製 ⊙ステンレス製（円柱） ・アルミニウム合金製

⑩ スリーブ 等

※土中埋設する鋼管類が地中梁及び地中壁を貫通する部分(水密を要さない部分に限る)には、硬質塩化ビニル管(VU)（JIS K6741）のスリーブを設ける。
※外壁の地中部分で水密を要する部分のスリーブは
（・つば付鋼管 ⊙VU管(止水リング付)）とする。

⑪ 地中埋設標 ・要（⊙共通仕様書による ・ ） ・不要

⑫ 水槽の災害対策

・緊急遮断弁装置（制御盤共）（・⊙電気式 ・機械式） ・給水車対応水位調整板
・給水車対応補給水口 ⊙災害時取水口

● 排水設備

① 洗面器等の排水管 洗面器及び手洗い器に直結する排水管寸法は、器具トラップより1サイズアップとする。
流し床上部分の配管は、VP（又はHT）管としても良い。

② 満水試験継手 ※標準仕様書による ・図示箇所に取り付ける

③ 保温 排水錆鉄管の保温はロックウール保温帯を使用してもよい。

④ グリーストラップ グリーストラップの蓋は防臭型（・⊙SUS製 ・アルミ製）とする。

④ 試験 衛生器具などの取り付け完了後に行う試験は、煙試験又は通水試験とする。

5 放流納付金 ・要（・別途工事 ・本工事） ・不要

● 給湯設備

① 電触防止継手 ※取り付ける。

② 弁 JIS（⊙5kgf/cm² ・10kgf/cm²）

③ ガス給湯器 使用ガス（・都市ガス ⊙液化石油ガス）

④ 電気給湯器 ⊙貯湯式 ・瞬間式

⑤ 給湯器の給水管接続 湯沸器と給水管の接続には、ステンレス製フレキシブルチューブ（ステンレス用ガスケット）を使用してもよい。

⑥ 保温

標準仕様書第2編3.1.5による。但し、下記の部分は本仕様による。
・湯沸器から水栓までのコンクリート壁埋込配管は（・防水麻布巻き ・被覆銅管を使用）とする。
・膨張水槽及び減圧水槽の保温は（・要 ・ ）とする。

⑦ 給湯器の転倒防止 ※給湯器本体の満水時の質量（支持部材含む）が15kg 超のものは、H24年建設省告示第1447号に規定する構造方法により転倒防止策を行うこと。

○ ガス設備

① ガス種別 ⊙都市ガス （発熱量 45 MJ/m³ ） 供給業者：
負担金 （⊙無 ・有： 円 税込み ）
・液化石油ガス（発熱量 50.2 MJ/kg）

② 管種 ※都市ガス供給会社指定品（責任施工）

3 ポンベ ・別途（・10kg ・20kg ・50kg）× 00 本。

4 集合装置 標準図（液化石油ガス容器廻り配管要領）による。 00 本組。

5 転倒防止等 標準図（液化石油ガス容器廻り配管要領）の（ ⊙(a)壁に支持できる場合
・(b)壁に支持できない場合 ） による。

6 メーター ・貸与品 ・小メーターは買い取り

⑦ 塗装 ⊙本工事 ・別途工事

8 はつり ・本工事 ・別途工事

9 スリーブ ・本工事 ・別途工事

10 ガス漏れ警報器 ・本工事（図示による） ・別途工事（電気設備工事）

11 漏洩検知装置 ・要 ・不要

12 電気防食 ・要 ・不要

● 消火設備

① 屋内消火栓 ※機器表による ・HB-1A ・HB-1B ・HB-2A ・HB-2B ・HB-4A ・1号易操作性消火栓

② ホース掛け ・くし形 ⊙リール形

③ 消火栓弁 ※10kgf／cm²

④ 消火栓BOX

⊙屋内消火栓及び、補助散水栓BOXは消火器BOXを併設する。
⊙屋内消火栓及び、補助散水栓BOXの表面仕上げは、指定色とする。
⊙手すりにかかる屋内消火栓、及び補助散水栓BOXは、（火報分離）。
※屋外に面する場所に設置する消火栓BOXの材質はステンレス鋼板製とする。

⑤ 保温

標準仕様書第2編3.1.5による。但し、下記の部分は本仕様による。
・呼水槽の保温は（・要 ・不要 ）とする。
保温仕様は標準仕様書第2編3.1.4 01（イ）VIによる。
⊙スプリンクラー及び泡消火配管の保温は（⊙不要 ・要）とする。
⊙屋内消火栓、連結送水管、連結散水管の保温は（・不要 ⊙要）とする。
・屋外露出管（弁類を含む）は防凍保温を行うものとし、仕様は空気調和設備の項による。

⑥ その他 ⊙スプリンクラー設備において、ヘッド及び巻き出し配管は実数の10%予備を見込む。

● 医療ガス設備

1 供給設備

液化酸素供給装置（⊙定置式 ・可搬式）
圧縮空気供給装置 形式（・空気圧縮機方式 ・ボンベ方式 ⊙ガス混合装置方式）
制御方式（・自動交互 ・自動交互追従）

2 吸引装置 吸引ポンプ（⊙・水封ロータリー式 ・油回転式）

3 余剰麻酔ガス排出装置 排出動力部（・エアーエジェクター方式 ⊙ブロア方式）

④ 器具 アウトレット（※図示による ・ニードルバルブ ・コック式 ・流量調整器付属形
・壁取り付け形 ・ホース取り付け形）

⑤ 配管材料

酸素、笑気、窒素、圧縮空気ガス用配管 （※図示による ・着色ポリエチレン被覆銅管）
吸引配管 （※図示による ・鋼管 ・鋼管）
余剰ガス配管 （・鋼管 ・鋼管）

⑥ 区域別遮断弁

※区域別遮断弁箱には、供給区域がわかるようにすること。
・区域別遮断弁は、緊急導入口付きとすること。

⑦ 配管分岐取り出し 改修工事の配管分岐、切替え時等において、工事範囲外の医療ガスの供給が停止することがないようにバックアップをとること。

⑧ その他 アウトレットの配置に関して、標準仕様書以外の配置を行う場合は、施主への説明とその結果を記録に残すと共に、スペースなどの確認を行うこと。

● その他

⊙共通事項

下記内容は、関連する項目全て適用する。

※屋外基礎のアンカーボルトは、ステンレス製とする。
※屋外露出の支持金物は、ステンレス製とする。
※ピット・トレンチ内の支持金物は、ステンレス製とする。
※空調機・外調機の外気導入セクションの内面は樹脂コーティングを施したものとする。
※施工要領として、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針」（令和元年版）及び国土交通省住宅局建築指導課編集の「建築設備設計・施工上の運用指針」（2013年版）に準ずること。
※屋外の油配管は土中埋設とせず、ピットを設け配管する。
また、建物導入部には変位吸収措置をとること。
※フォーク通路を通過するダクトは塩化ビニルダクトとする。
（その系統のボックス、ダンパー等は塩化ビニルコーティング鋼板製とする。）
※低温室内を通過するダクトにおいて、外気の流通する恐れのある系統は結露対策としてダンパー類は高気密仕様、接続部はシール等で隙間ができない接続方法とする。
※フォーク通路に設置する消火栓ボックスは結露による腐食を防止するため、低温室側の壁面に固定しないこと。また、耐食性の高い仕上げとすること。

⊙病院用途関連

※屋外の医療ガス配管は、土中埋設とせず、ピットを設け配管する。
また、建物導入部には変位吸収措置をとること。
※クリーンエリアの空調機（外調機含む）はVベルト属飛散防止の為、直駆動方式とし、インバーター制御等の風量制御機能付とする。
※ダクトの材質は下記による。
ステンレスダクト（ｼｰﾙ有）・・・・・厨房系統、水治療室、浴室、シャワー室（US除く）
塩ビコーティングダクト（ｼｰﾙ有）・・解剖室系統、病理検査系統、RI排気系統の
排気ダクト屋外露出部分
特殊排水処理槽系統(感染系・中和・ﾃﾞｨｽﾎﾟｰｻﾞｰ)
その系統のボックス、ダンパー等はそれぞれの材質とする。
MRIヘリウム放出ダクト、オートクレーブ排蒸管はSUS管とする。
※放射線等の防護区画（床・天井スラブ、壁）を貫通するダクト及び配管等の貫通処理は、（⊙区画の片側１ｍ部分に2mm鉛巻を行う ・別図（放射線区画貫通要領図）による）
※停電断水等が必要となる場合には、事前に施設担当者と綿密に打合せを行い、詳細計画を立て承認後施工すること。
※各室の空気清浄度クラスは 別表-2 により測定を行う。

⊙改修工事関連

※本工事は既設建物を使用しながら行う工事であるため、増築改修手順に応じた仮設・盛替を行うこと。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野 崇 阿瀬貴裕 丸山 信

機器表 （撤去）

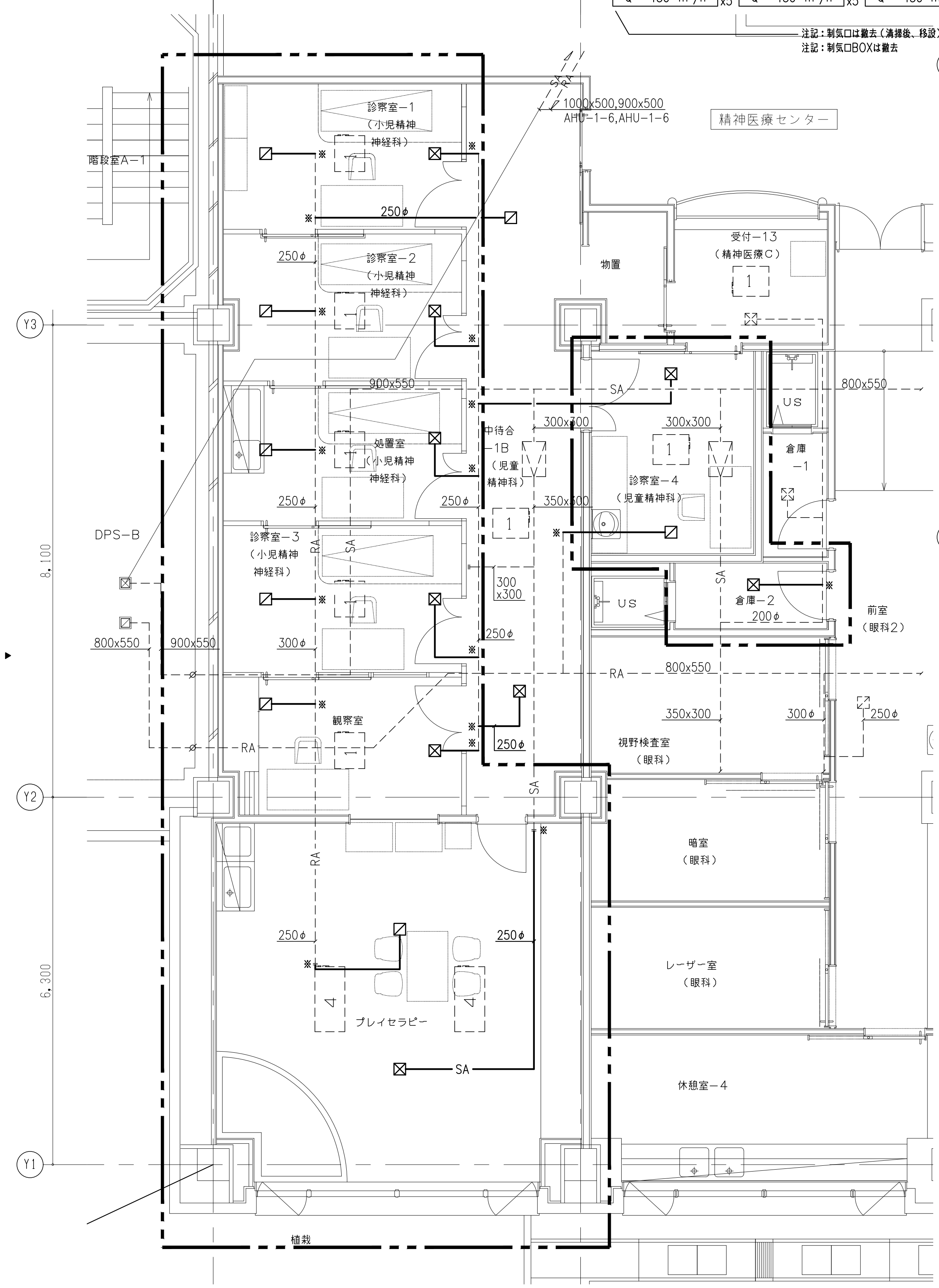
機器番号	機器名称	機器仕様	電力量（50Hz） φ	V	kW	起動方式	台数	設置場所	備考
U−FCU−1	ファンコイルユニット	型　式 ： 天井カセット型（2方向）	1	100	41W	L−S	26		
		コイル種類： 冷水＋温水						1階　小児精神科	
		冷房能力 ： 930 kcal／h （DB 26℃ 顕熱）					（4）	診察室−1〜4	
		： 1,080 kcal／h （DB 26℃ 全熱）					（1）	処置室	
		冷 水 量 ： 4.0 L／min （冷水入口温度 7℃）					（1）	観察室	
		暖房能力 ： 1,080 kcal／h （DB 22℃ 全熱）						1階　精神科	
		温 水 量 ： 4.0 L／min （温水入口温度 50℃）					（2）	診察室−8	
		送 風 量 ： 320 m3／h					（1）	検査室	
		フィルター： NBS 65%					（2）	カウンセリング室−1・2	
		付 属 品 ： 化粧パネル、定流量弁、電動弁、フレキシブルチューブ、					（1）	中待合 1F	
		デジタルコントローラー、予備フィルター					（1）	受付−14	
		その他標準付属品一式					（1）	面談室−1	
								2階　皮膚科	
							（1）	診察室5	
							（1）	写真室	
								2階　化学療法室	
							（3）	診察室1〜3	
							（2）	診察室4A・4B	
							（1）	中待合 2A	
							（4）	外来化学療法室	
U−FCU−2	ファンコイルユニット	型　式 ： 天井カセット型（2方向）	1	100	55W	L−S	3		
		コイル種類： 冷水＋温水						2階　皮膚科	
		冷房能力 ： 1,350 kcal／h （DB 26℃ 顕熱）					（1）	処置室	
		： 1,580 kcal／h （DB 26℃ 全熱）					（1）	診察室7	
		冷 水 量 ： 6.0 L／min （冷水入口温度 7℃）					（1）	光線治療室	
		暖房能力 ： 1,540 kcal／h （DB 22℃ 全熱）							
		温 水 量 ： 6.0 L／min （温水入口温度 50℃）							
		送 風 量 ： 405 m3／h							
		フィルター： NBS 65%							
		付 属 品 ： 化粧パネル、定流量弁、電動弁、フレキシブルチューブ、							
		デジタルコントローラー、予備フィルター							
		その他標準付属品一式							
U−FCU−3	ファンコイルユニット	型　式 ： 天井カセット型（2方向）	1	100	77W	L−S	4		
		コイル種類： 冷水＋温水						2階　化学療法室	
		冷房能力 ： 2,060 kcal／h （DB 26℃ 顕熱）					（1）	受付	
		： 2,370 kcal／h （DB 26℃ 全熱）					（1）	廊下	
		冷 水 量 ： 9.0 L／min （冷水入口温度 7℃）					（1）	ベッド18	
		暖房能力 ： 2,120 kcal／h （DB 22℃ 全熱）					（1）	処置室（内科）	
		温 水 量 ： 9.0 L／min （温水入口温度 50℃）							
		送 風 量 ： 630 m3／h							
		フィルター： NBS 65%							
		付 属 品 ： 化粧パネル、定流量弁、電動弁、フレキシブルチューブ、							
		デジタルコントローラー、予備フィルター							
		その他標準付属品一式							
U−FCU−4	ファンコイルユニット	型　式 ： 天井カセット型（2方向）	1	100	78W	L−S	2	1階　小児精神科	
		コイル種類： 冷水＋温水						プレイセラピー	
		冷房能力 ： 2,830 kcal／h （DB 26℃ 顕熱）							
		： 3,280 kcal／h （DB 26℃ 全熱）							
		冷 水 量 ： 12.0 L／min （冷水入口温度 7℃）							
		暖房能力 ： 2,630 kcal／h （DB 22℃ 全熱）							
		温 水 量 ： 12.0 L／min （温水入口温度 50℃）							
		送 風 量 ： 850 m3／h							
		フィルター： NBS 65%							
		付 属 品 ： 化粧パネル、定流量弁、電動弁、フレキシブルチューブ、							
		デジタルコントローラー、予備フィルター							
		その他標準付属品一式							
U−FCU−5	ファンコイルユニット	型　式 ： 天井カセット型（2方向）	1	100	136 W	L−S	1	2階　皮膚科	
		コイル種類： 冷水＋温水						処置室	
		冷房能力 ： 4,120 kcal／h （DB 26℃ 顕熱）							
		： 5,220 kcal／h （DB 26℃ 全熱）							
		冷 水 量 ： 21.0 L／min （冷水入口温度 7℃）							
		暖房能力 ： 3,580 kcal／h （DB 22℃ 全熱）							
		温 水 量 ： 21.0 L／min （温水入口温度 50℃）							
		送 風 量 ： 1,150 m3／h							
		フィルター： NBS 65%							
		付 属 品 ： 化粧パネル、定流量弁、電動弁、フレキシブルチューブ、							
		デジタルコントローラー、予備フィルター							
		その他標準付属品一式							
U−FCU−7	ファンコイルユニット	型　式 ： 天井カセット型（2方向）	1	100	55W	L−S	1	7階　6床（713）	
		コイル種類： 冷水＋温水							
		冷房能力 ： 1,575 kcal／h （DB 26℃ 顕熱）							
		： 2,160 kcal／h （DB 26℃ 全熱）							
		冷 水 量 ： 9.0 L／min （冷水入口温度 7℃）							
		暖房能力 ： 2,460 kcal／h （DB 22℃ 全熱）							
		温 水 量 ： 9.0 L／min （温水入口温度 50℃）							
		送 風 量 ： 405 m3／h							
		フィルター： NBS 65%							
		付 属 品 ： 化粧パネル、定流量弁、電動弁、フレキシブルチューブ、							
		デジタルコントローラー、予備フィルター							
		その他標準付属品一式							

機器表 （新設）

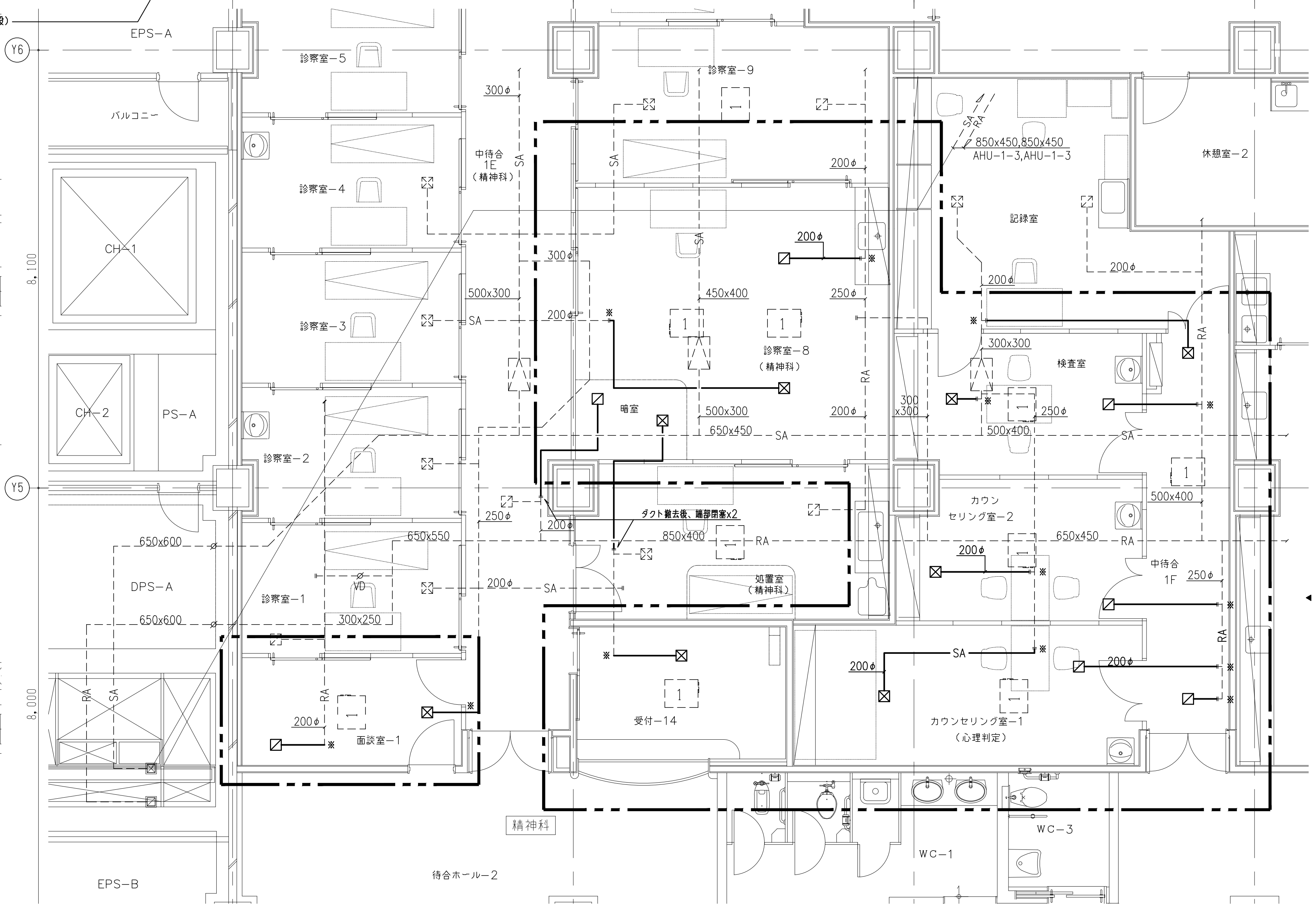
機器番号	機器名称	機器仕様	電力量（50Hz） φ	V	kW	起動方式	台数	設置場所	備考
U−FCU−1	ファンコイルユニット	型　式 ： 天井カセット型（2方向）	1	100	63W	L−S	25		
		コイル種類： 冷水＋温水						1階　皮膚科	
		冷房能力 ： 1.09 kW （DB 26℃ 顕熱）					（5）	診察室−1〜5	
		： 1.26 kW （DB 26℃ 全熱）						1階　小児精神科	
		冷 水 量 ： 4.0 L／min （冷水入口温度 7℃）					（2）	児精1・2	
		暖房能力 ： 1.26 kW （DB 22℃ 全熱）					（3）	検査1〜3	
		温 水 量 ： 4.0 L／min （温水入口温度 50℃）					（2）	中待合 1F	
		送 風 量 ： 320 m3／h					（1）	受付−14	
		フィルター： NBS 65%						2階　内分泌・糖尿・腎内科	
		付 属 品 ： 化粧パネル、定流量弁、電動弁、フレキシブルチューブ、					（1）	診察室8	
		デジタルコントローラー、予備フィルター					（1）	器材庫	
		その他標準付属品一式						2階　化学療法室	
							（1）	受付	
							（1）	面談室	
							（8）	廊下	
U−FCU−2	ファンコイルユニット	型　式 ： 天井カセット型（2方向）	1	100	68W	L−S	3		
		コイル種類： 冷水＋温水						2階　内分泌・糖尿・腎内科	
		冷房能力 ： 1.57 kW （DB 26℃ 顕熱）					（1）	診察室7	
		： 1.84 kW （DB 26℃ 全熱）					（1）	診察室9	
		冷 水 量 ： 6.0 L／min （冷水入口温度 7℃）					（1）	診察室6	
		暖房能力 ： 1.80 kW （DB 22℃ 全熱）							
		温 水 量 ： 6.0 L／min （温水入口温度 50℃）							
		送 風 量 ： 405 m3／h							
		フィルター： NBS 65%							
		付 属 品 ： 化粧パネル、定流量弁、電動弁、フレキシブルチューブ、							
		デジタルコントローラー、予備フィルター							
		その他標準付属品一式							
U−FCU−3	ファンコイルユニット	型　式 ： 天井カセット型（2方向）	1	100	88W	L−S	4		
		コイル種類： 冷水＋温水						2階　化学療法室	
		冷房能力 ： 2.40 kW （DB 26℃ 顕熱）					（1）	スタッフステーション	
		： 2.76 kW （DB 26℃ 全熱）					（3）	廊下	
		冷 水 量 ： 9.0 L／min （冷水入口温度 7℃）							
		暖房能力 ： 2.47 kW （DB 22℃ 全熱）							
		温 水 量 ： 9.0 L／min （温水入口温度 50℃）							
		送 風 量 ： 630 m3／h							
		フィルター： NBS 65%							
		付 属 品 ： 化粧パネル、定流量弁、電動弁、フレキシブルチューブ、							
		デジタルコントローラー、予備フィルター							
		その他標準付属品一式							
U−FCU−4	ファンコイルユニット	型　式 ： 天井カセット型（2方向）	1	100	114 W	L−S	3		
		コイル種類： 冷水＋温水						1階　皮膚科	
		冷房能力 ： 3.30 kW （DB 26℃ 顕熱）					（2）	処置室	
		： 3.82 kW （DB 26℃ 全熱）					（1）	光線治療室	
		冷 水 量 ： 12.0 L／min （冷水入口温度 7℃）							
		暖房能力 ： 3.06 kW （DB 22℃ 全熱）							
		温 水 量 ： 12.0 L／min （温水入口温度 50℃）							
		送 風 量 ： 850 m3／h							
		フィルター： NBS 65%							
		付 属 品 ： 化粧パネル、定流量弁、電動弁、フレキシブルチューブ、							
		デジタルコントローラー、予備フィルター							
		その他標準付属品一式							
U−FCU−5	ファンコイルユニット	型　式 ： 天井カセット型（2方向）	1	100	179 W	L−S	1	2階　内分泌・糖尿・腎内科	
		コイル種類： 冷水＋温水						処置室	
		冷房能力 ： 4.80 kW （DB 26℃ 顕熱）							
		： 6.07 kW （DB 26℃ 全熱）							
		冷 水 量 ： 21.0 L／min （冷水入口温度 7℃）							
		暖房能力 ： 4.17 kW （DB 22℃ 全熱）							
		温 水 量 ： 21.0 L／min （温水入口温度 50℃）							
		送 風 量 ： 1,150 m3／h							
		フィルター： NBS 65%							
		付 属 品 ： 化粧パネル、定流量弁、電動弁、フレキシブルチューブ、							
		デジタルコントローラー、予備フィルター							
		その他標準付属品一式							
U−FCU−7	ファンコイルユニット	型　式 ： 天井カセット型（2方向）	1	100	68W	L−S	1	7階　プレイセラピー	
		コイル種類： 冷水＋温水							
		冷房能力 ： 1.84 kW （DB 26℃ 顕熱）							
		： 2.52 kW （DB 26℃ 全熱）							
		冷 水 量 ： 9.0 L／min （冷水入口温度 7℃）							
		暖房能力 ： 2.87 kW （DB 22℃ 全熱）							
		温 水 量 ： 9.0 L／min （温水入口温度 50℃）							
		送 風 量 ： 405 m3／h							
		フィルター： NBS 65%							
		付 属 品 ： 化粧パネル、定流量弁、電動弁、フレキシブルチューブ、							
		デジタルコントローラー、予備フィルター							
		その他標準付属品一式							

(U-AHU-1-6系統)	(U-AHU-1-6系統)	(U-AHU-1-6系統)	(U-AHU-1-6系統)
診察室1~3,処置室,観察室	診察室1~3,処置室,観察室	中待合-1B	中待合-1B
吹出口 VH	吸込口 H	吹出口 VH	吸込口 H
SA 200 × 200	RA 200 × 200	SA 300 × 300	RA 300 × 300
BOX 300×300×275	BOX 300×300×275	BOX 400×400×310	BOX 400×400×310
内貼 GW25t	内貼 GW25t	内貼 GW25t	内貼 GW25t
Q= 150 m^3/h x5	Q= 150 m^3/h x5	Q= 450 m^3/h	Q= 450 m^3/h

注記：制気口は撤去（清掃後、移設）
注記：制気口BOXは撤去



1階 小児精神科詳細図



(U-AHU-1-6系統)	(U-AHU-1-6系統)
プレイセラピー	プレイセラピー
吹出口 VH	吸込口 H
SA 350 × 350	RA 350 × 350
BOX 450×450×310	BOX 450×450×310
内貼 GW25t	内貼 GW25t
Q= 550 m^3/h	Q= 550 m^3/h

(U-AHU-1-6系統)	(U-AHU-1-6系統)	(U-AHU-1-6系統)
診察室-4	診察室-4	倉庫-2
吹出口 VH	吸込口 H	吹出口 VH
SA 200 × 200	RA 200 × 200	SA 200 × 200
BOX 300×300×275	BOX 300×300×275	BOX 300×300×275
内貼 GW25t	内貼 GW25t	内貼 GW25t
Q= 150 m^3/h	Q= 150 m^3/h	Q= 100 m^3/h

注記：制気口は撤去（清掃後、移設）、制気口BOXは撤去

(U-AHU-1-3系統)	(U-AHU-1-3系統)	(U-AHU-1-3系統)	(U-AHU-1-3系統)
診察室-8	診察室-8	暗室	暗室
吹出口 VH	吸込口 H	吹出口 VH	吸込口 H
SA 300 × 300	RA 300 × 300	SA 200 × 200	RA 200 × 200
BOX 400×400×310	BOX 400×400×310	BOX 300×300×275	BOX 300×300×275
内貼 GW25t	内貼 GW25t	内貼 GW25t	内貼 GW25t
Q= 400 m^3/h	Q= 400 m^3/h	Q= 100 m^3/h	Q= 100 m^3/h

1階 精神科詳細図

(U-AHU-1-3系統)	(U-AHU-1-3系統)
面談室-1	面談室-1
吹出口 VH	吸込口 H
SA 200 × 200	RA 200 × 200
BOX 300×300×275	BOX 300×300×275
内貼 GW25t	内貼 GW25t
Q= 150 m^3/h	Q= 150 m^3/h

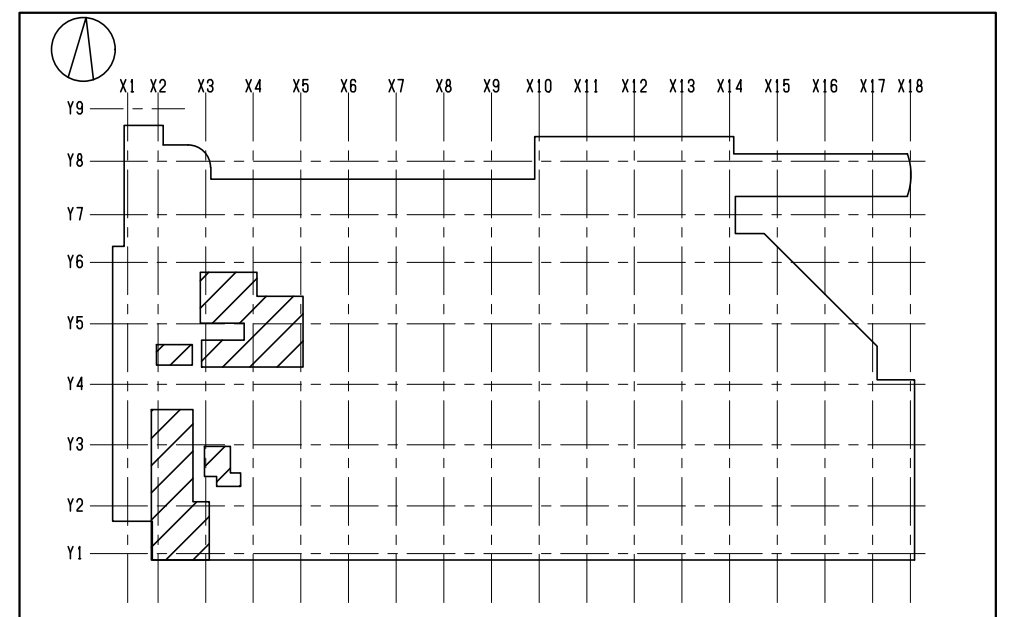
注記：制気口は撤去（清掃後、移設）、制気口BOXは撤去

(U-AHU-1-3系統)	(U-AHU-1-3系統)	(U-AHU-1-3系統)	(U-AHU-1-3系統)	(U-AHU-1-3系統)
検査室	検査室	中待合 1F	中待合 1F	受付-14
吹出口 VH	吸込口 H	吹出口 VH	吸込口 H	吹出口 VH
SA 200 × 200	RA 200 × 200	SA 200 × 200	RA 200 × 200	SA 200 × 200
BOX 300×300×275	BOX 300×300×275	BOX 300×300×275	BOX 300×300×275	BOX 300×300×275
内貼 GW25t	内貼 GW25t	内貼 GW25t	内貼 GW25t	内貼 GW25t
Q= 150 m^3/h	Q= 150 m^3/h	Q= 100 m^3/h	Q= 100 m^3/h	Q= 100 m^3/h

注記：制気口は撤去（清掃後、移設）、制気口BOXは撤去

(U-AHU-1-3系統)	(U-AHU-1-3系統)	(U-AHU-1-3系統)	(U-AHU-1-3系統)
カウンセリング室-2	カウンセリング室-2	カウンセリング室-1	カウンセリング室-1
吹出口 VH	吸込口 H	吹出口 VH	吸込口 H
SA 200 × 200	RA 200 × 200	SA 250 × 250	RA 250 × 250
BOX 300×300×275	BOX 300×300×275	BOX 350×350×275	BOX 350×350×275
内貼 GW25t	内貼 GW25t	内貼 GW25t	内貼 GW25t
Q= 200 m^3/h	Q= 200 m^3/h	Q= 250 m^3/h	Q= 250 m^3/h

注記 1. [―・―]：改修範囲を示す。
2.図中、ダクトの施工区分は下記の通りとする。
1）－－－－（点線部）は、既設機器・ダクトを示す。
2）―――（実線部）は、撤去機器・ダクトを示す。
3.1階の階高は6,000Hとする。
4.特記無きダクトサイズは150φとする。
5.※：既設ダクト切断箇所を示す。

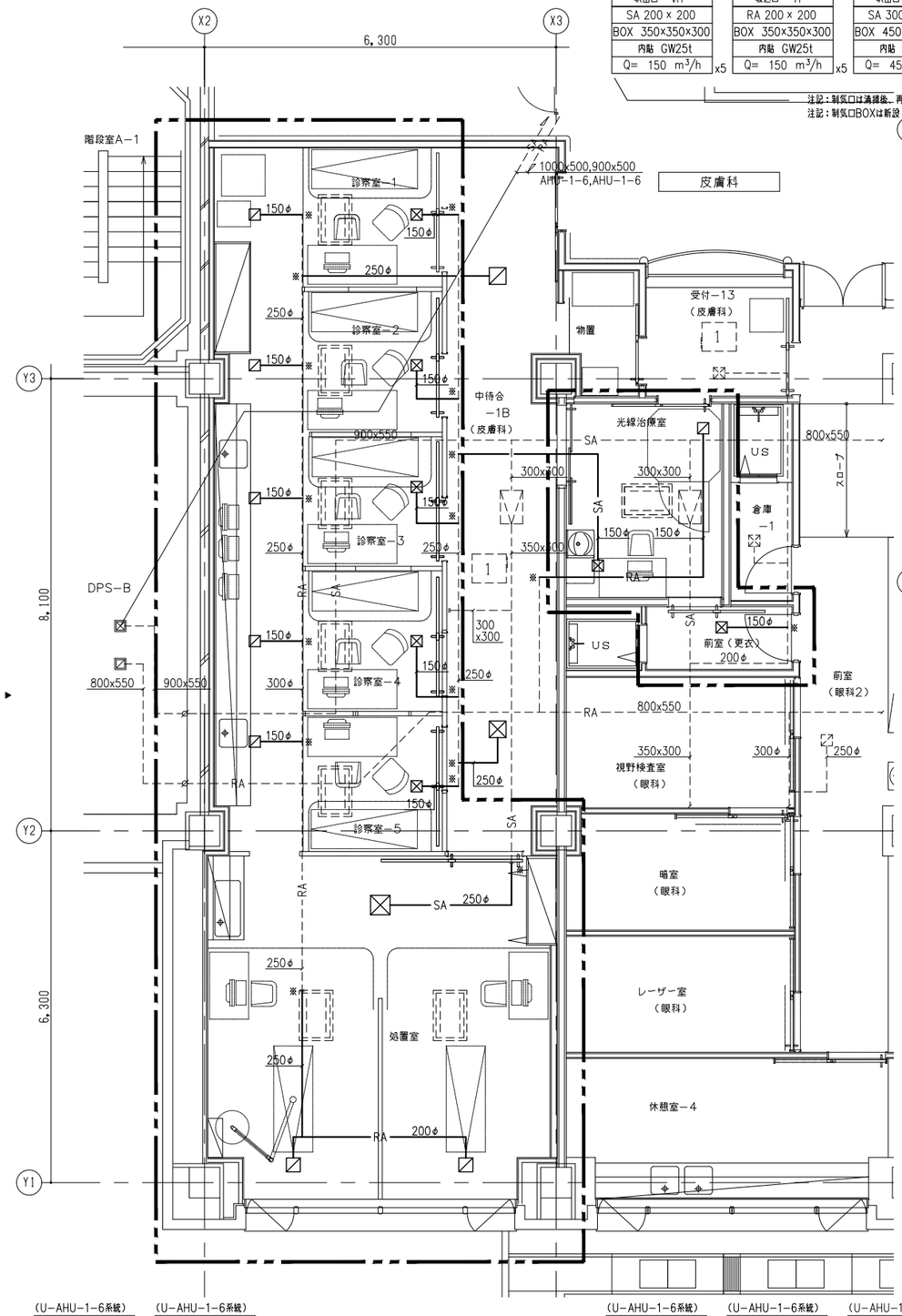


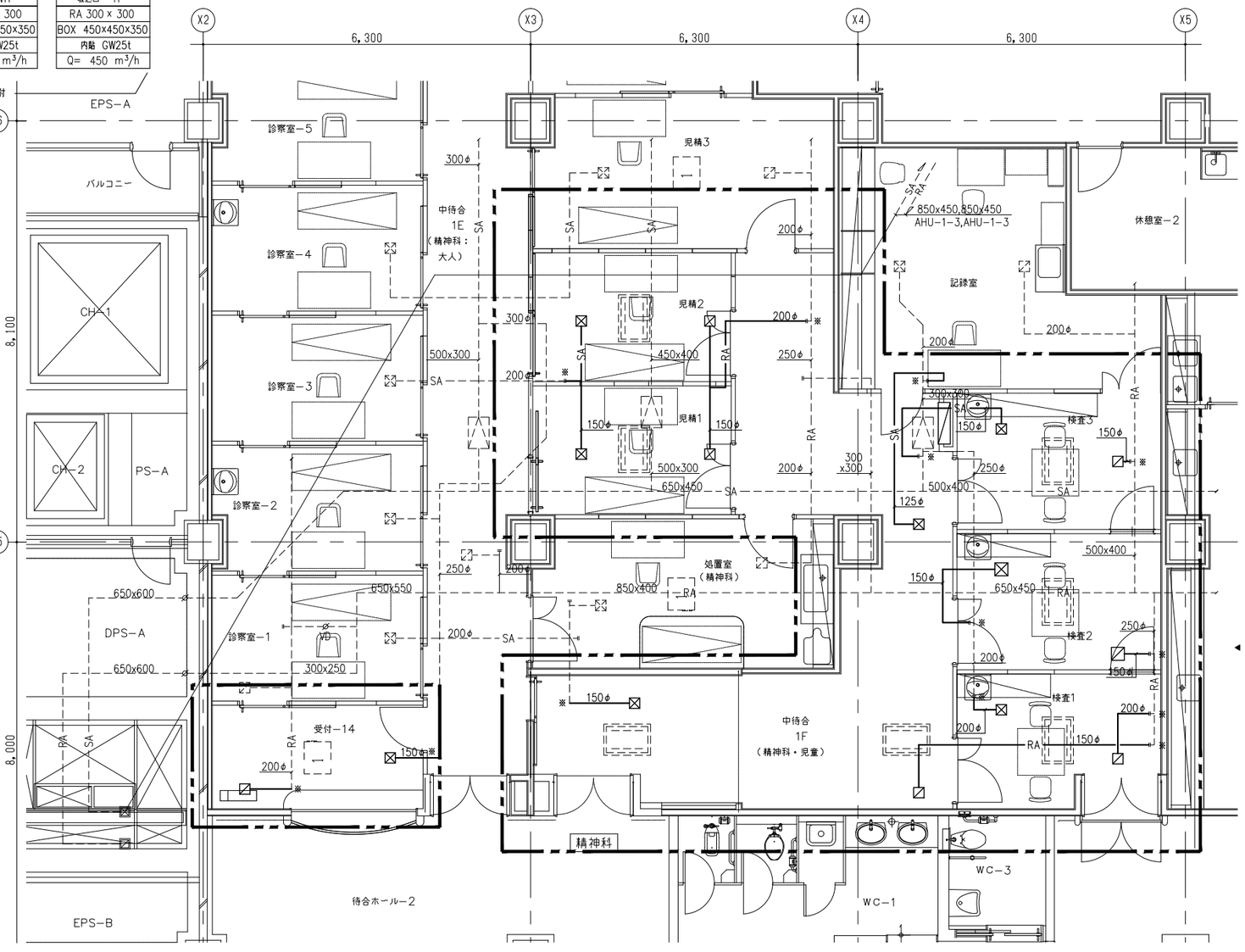
KEY PLAN

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野 崇　阿瀬貴裕　丸山 信

公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事
空調設備 1階ダクト平面図（改修前）
2022.03
A1：1/ 50
A3：1/100
RM - 004





（U−AHU−1−6系統）

診察室1～5
吹出口　VH
SA 200 x 200
BOX　350x350x300
内貼　GW25t
Q=　150　m³/h

x5

（U−AHU−1−6系統）

診察室1～5
吸込口　H
RA 200 x 200
BOX　350x350x300
内貼　GW25t
Q=　150　m³/h

x5

（U−AHU−1−6系統）

中待合−1B
吹出口　VH
SA 300 x 300
BOX　450x450x350
内貼　GW25t
Q=　450　m³/h

（U−AHU−1−6系統）

中待合−1B
吸込口　H
RA 300 x 300
BOX　450x450x350
内貼　GW25t
Q=　450　m³/h

注記：制気口は清掃後、再取付
注記：制気口BOXは新設

（U−AHU−1−6系統）

処置室
吹出口　VHS
SA 350 x 350
BOX　500x500x350
内貼　GW25t
Q=　550　m³/h

（U−AHU−1−6系統）

処置室
吸込口　HS
RA 250 x 250
BOX　400x400x300
内貼　GW25t
Q=　280　m³/h

x2

1階　皮膚科詳細図

（U−AHU−1−6系統）

光線治療室
吹出口　VHS
SA 200 x 200
BOX　350x350x300
内貼　GW25t
Q=　150　m³/h

（U−AHU−1−6系統）

光線治療室
吸込口　HS
RA 200 x 200
BOX　350x350x300
内貼　GW25t
Q=　150　m³/h

（U−AHU−1−6系統）

前室（更衣）
吹出口　VH
SA 200 x 200
BOX　350x350x300
内貼　GW25t
Q=　100　m³/h

注記：制気口は清掃後、再取付。制気口BOXは新設

（U−AHU−1−3系統）

児精1
吹出口　VHS
SA 200 x 200
BOX　350x350x300
内貼　GW25t
Q=　200　m³/h

（U−AHU−1−3系統）

児精1
吸込口　HS
RA 200 x 200
BOX　350x350x300
内貼　GW25t
Q=　200　m³/h

（U−AHU−1−3系統）

児精2
吹出口　VHS
SA 200 x 200
BOX　350x350x300
内貼　GW25t
Q=　200　m³/h

（U−AHU−1−3系統）

児精2
吸込口　HS
RA 200 x 200
BOX　350x350x300
内貼　GW25t
Q=　200　m³/h

1階　小児精神科詳細図

（U−AHU−1−3系統）

受付−14
吹出口　VH
SA 200 x 200
BOX　350x350x300
内貼　GW25t
Q=　150　m³/h

（U−AHU−1−3系統）

受付−14
吸込口　H
RA 200 x 200
BOX　350x350x300
内貼　GW25t
Q=　150　m³/h

注記：制気口は清掃後、再取付。制気口BOXは新設

（U−AHU−1−3系統）

検査3
吹出口　VHS
SA 200 x 200
BOX　350x350x300
内貼　GW25t
Q=　150　m³/h

（U−AHU−1−3系統）

検査3
吸込口　HS
RA 200 x 200
BOX　350x350x300
内貼　GW25t
Q=　150　m³/h

（U−AHU−1−3系統）

中待合 1F
吹出口　VHS
SA 200 x 200
BOX　350x350x300
内貼　GW25t
Q=　100　m³/h

（U−AHU−1−3系統）

中待合 1F
吸込口　HS
RA 200 x 200
BOX　350x350x300
内貼　GW25t
Q=　200　m³/h

（U−AHU−1−3系統）

中待合 1F
吹出口　VH
SA 200 x 200
BOX　350x350x300
内貼　GW25t
Q=　200　m³/h

注記：制気口は清掃後、再取付。制気口BOXは新設

（U−AHU−1−3系統）

検査2
吹出口　VHS
SA 200 x 200
BOX　350x350x300
内貼　GW25t
Q=　200　m³/h

（U−AHU−1−3系統）

検査2
吸込口　HS
RA 200 x 200
BOX　350x350x300
内貼　GW25t
Q=　200　m³/h

（U−AHU−1−3系統）

検査1
吹出口　VHS
SA 250 x 250
BOX　400x400x300
内貼　GW25t
Q=　250　m³/h

（U−AHU−1−3系統）

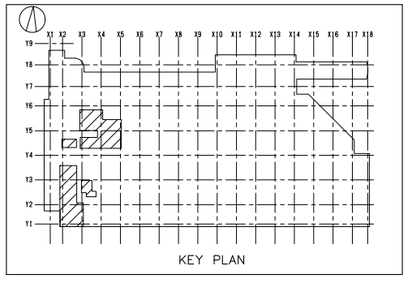
検査1
吸込口　HS
RA 250 x 250
BOX　400x400x300
内貼　GW25t
Q=　250　m³/h

注記　1.　：改修範囲を示す。

2.図中、ダクトの施工区分は下記の通りとする。
1）－－－－（点線部）は、既設機器・ダクトを示す。
2）――（実線部）は、新設機器・ダクトを示す。

3.1階の階高は6,000Hとする。

4.※：既設ダクト接続箇所を示す。



株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　　阿瀬貴裕　　丸山　信

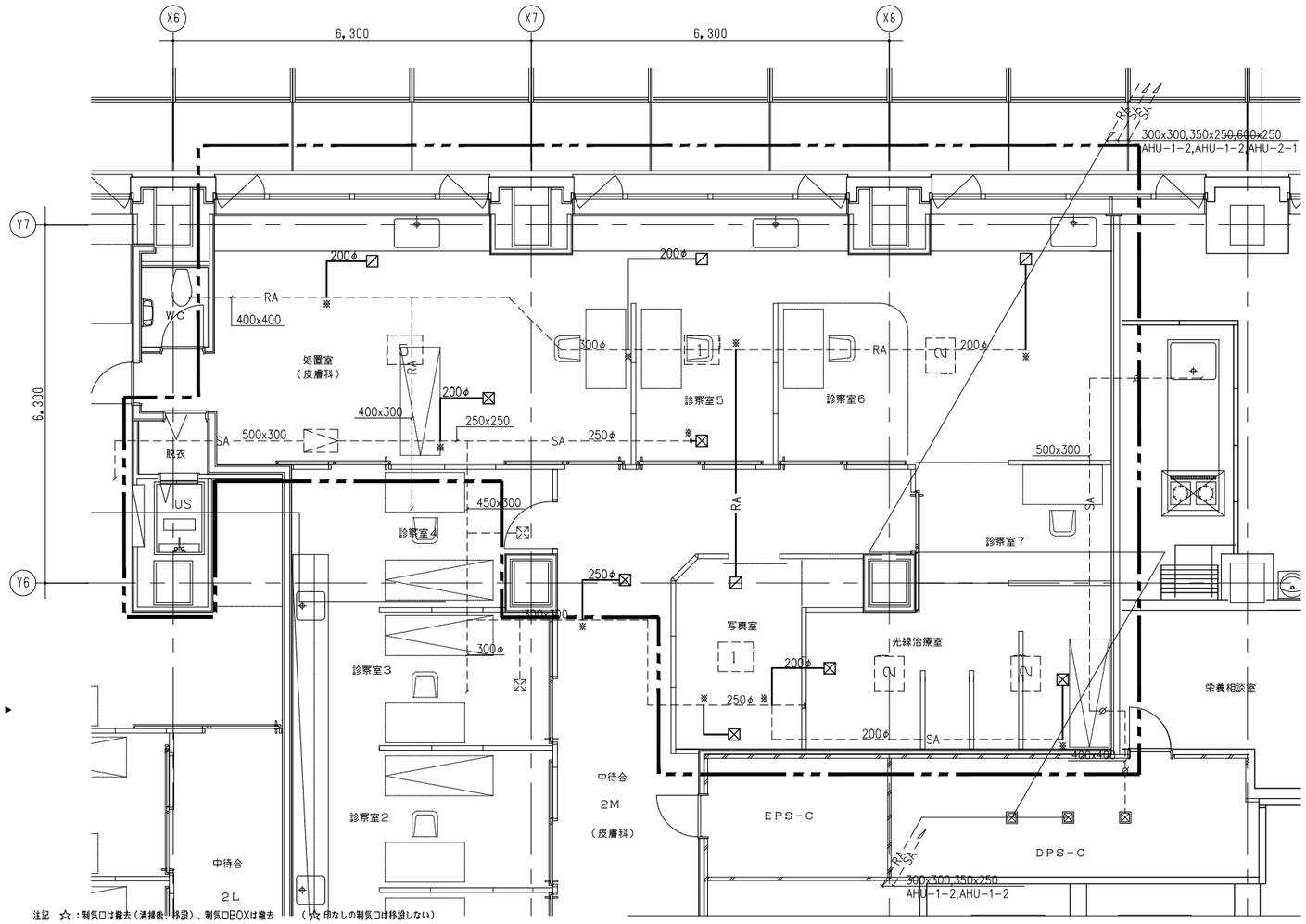
公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

空調設備　1階ダクト平面図（改修後）

2022.03

A1：1/50
A3：1/100

RM − 005



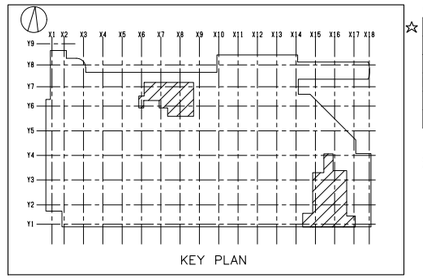
2階　皮膚科詳細図

注記　☆：制気口は撤去（清掃後、移設）、制気口BOXは撤去　（☆ 印なしの制気口は移設しない）

(U-AHU-2-2系統)	(U-AHU-2-2系統)	(U-AHU-2-2系統)	(U-AHU-2-2系統)
処置室	処置室	診察室5	診察室5
吹出口　VH	吸込口　H	吹出口　VH	吸込口　H
SA 300 x 300	RA 300 x 300	SA 300 x 300	RA 300 x 300
BOX 400x400x310	BOX 400x400x310	BOX 400x400x310	BOX 400x400x310
内貼 GW25t	内貼 GW25t	内貼 GW25t	内貼 GW25t
Q= 420 m³/h	Q= 400 m³/h	Q= 420 m³/h	Q= 400 m³/h

(U-AHU-2-2系統)	(U-AHU-2-2系統)	(U-AHU-2-2系統)	(U-AHU-2-2系統)
診察室-6	光線治療室	写真室	写真室
吸込口　H	吹出口　VH	吹出口　VH	吸込口　H
RA 300 x 300	SA 250 x 250	SA 200 x 200	RA 200 x 200
BOX 400x400x310	BOX 350x350x275	BOX 300x300x275	BOX 300x300x275
内貼 GW25t	内貼 GW25t	内貼 GW25t	内貼 GW25t
Q= 400 m³/h	Q= 280 m³/h x2	Q= 100 m³/h	Q= 100 m³/h

☆ (U-AHU-2-2系統)
中待合 2M
吹出口　VH
SA 350 x 350
BOX 450x450x310
内貼 GW25t
Q= 650 m³/h



注記　1. [ ]：改修範囲を示す。

2.図中、ダクトの施工区分は下記の通りとする。
1）－－－－（点線部）は、既設機器・ダクトを示す。
2）――――（実線部）は、撤去機器・ダクトを示す。

3.2階の階高は5,850Hとする。

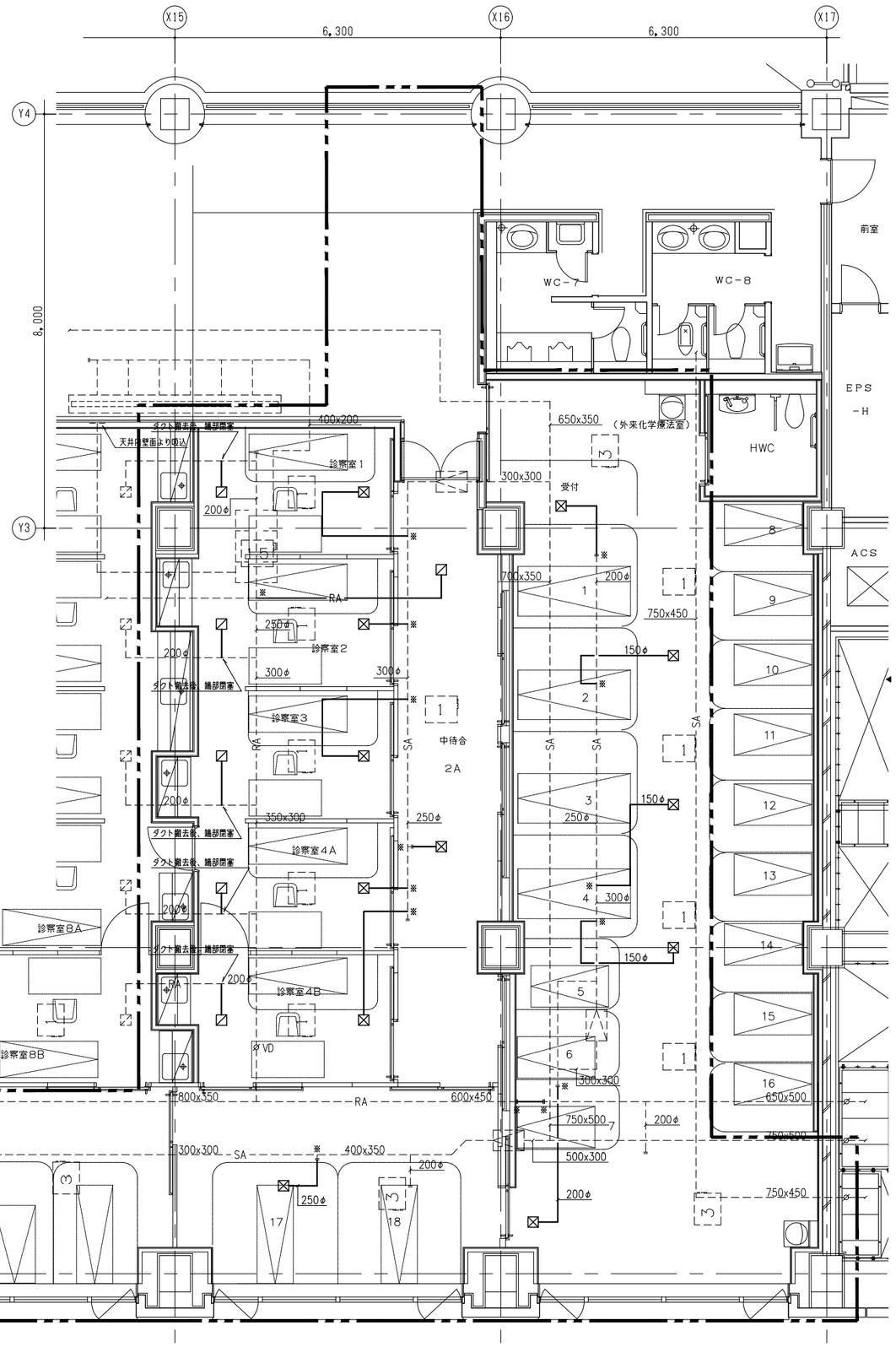
4.特記無きダクトサイズは150φとする。

5.※：既設ダクト切断箇所を示す。

注記　☆：制気口は撤去（清掃後、移設）、制気口BOXは撤去　（☆ 印なしの制気口は移設しない）

☆ (U-AHU-2-3系統)	(U-AHU-2-3系統)	(U-AHU-2-3系統)	☆ (U-AHU-2-3系統)
受付、外来科学療法室	中待合 2A	中待合 2A	処置室
吹出口　VH	吹出口　VH	吸込口　H	吹出口　VH
SA 200 x 200	SA 200 x 200	RA 200 x 200	SA 200 x 200
BOX 300x300x300	BOX 300x300x275	BOX 300x300x275	BOX 300x300x275
内貼 GW25t	内貼 GW25t	内貼 GW25t	内貼 GW25t
Q= 300 m³/h x5	Q= 150 m³/h	Q= 150 m³/h	Q= 150 m³/h

☆ (U-AHU-2-3系統)	(U-AHU-2-3系統)	☆ (U-AHU-2-3系統)	(U-AHU-2-3系統)
診察室1~4A	診察室1~4A	診察室4B	診察室4B
吹出口　VH	吸込口　H	吹出口　VH	吸込口　H
SA 200 x 200	RA 200 x 200	SA 200 x 200	RA 200 x 200
BOX 300x300x275	BOX 300x300x275	BOX 300x300x275	BOX 300x300x275
内貼 GW25t	内貼 GW25t	内貼 GW25t	内貼 GW25t
Q= 163 m³/h x4	Q= 163 m³/h x4	Q= 150 m³/h	Q= 150 m³/h



2階　化学療法室詳細図

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

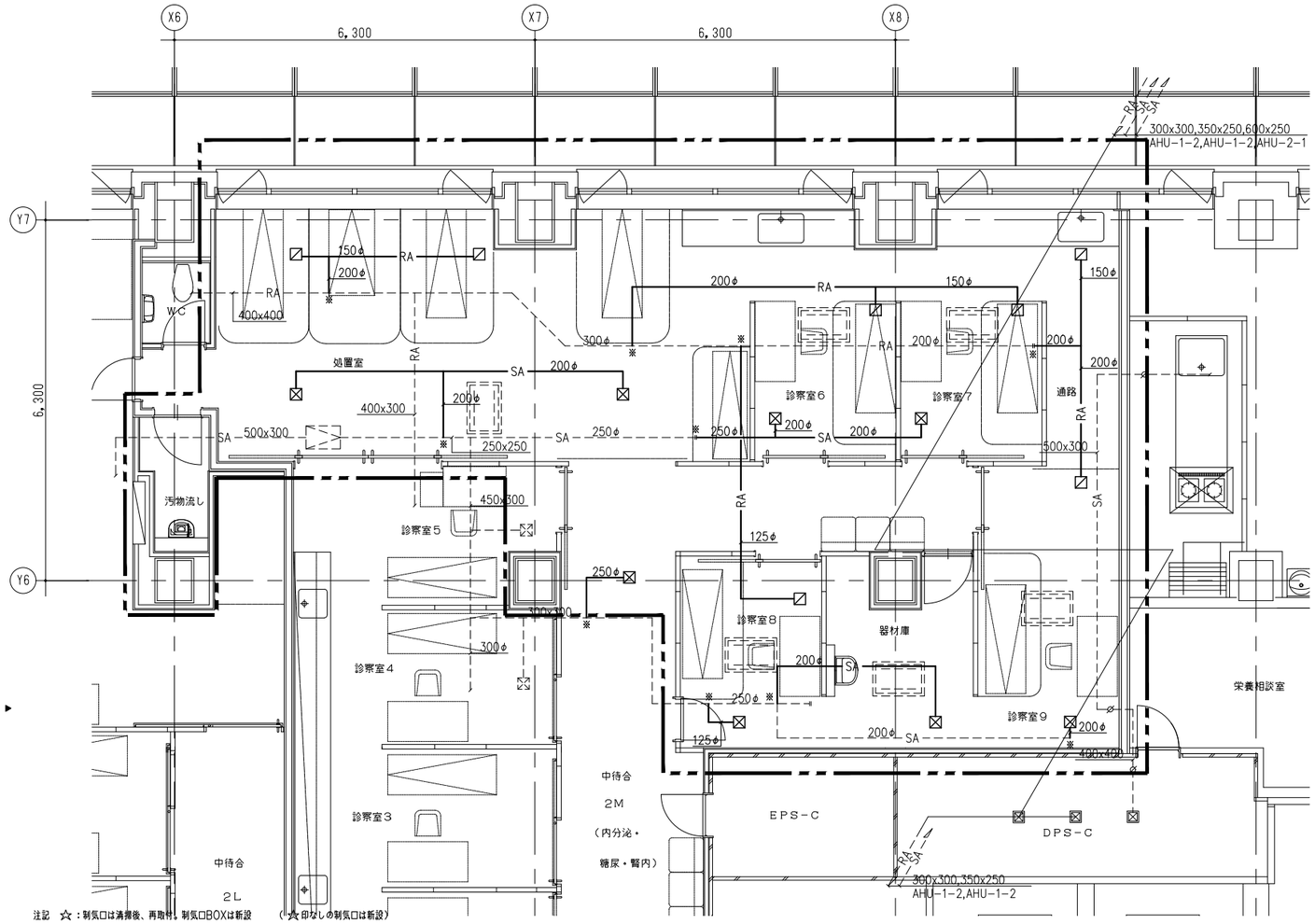
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　阿瀬貴裕　丸山　信

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

空調設備　2階ダクト平面図（改修前）

2022.03
A1：1/ 50
A3：1/100

RM－006

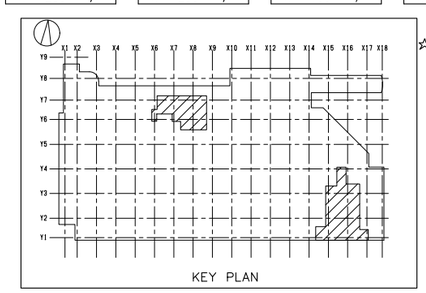


注記　☆：制気口は清掃後、再取付。制気口BOXは新設　（☆印なしの制気口は新設）

(U-AHU-2-2系統)	(U-AHU-2-2系統)	(U-AHU-2-2系統)	(U-AHU-2-2系統)	(U-AHU-2-2系統)
処置室	処置室	診察室6・7	診察室6・7	通路
吹出口 VHS	吸込口 HS	吹出口 VHS	吸込口 HS	吸込口 HS
SA 200 x 200	RA 200 x 200	SA 200 x 200	RA 200 x 200	RA 200 x 200
BOX 350x350x300	BOX 350x350x300	BOX 350x350x300	BOX 350x350x300	BOX 350x350x300
内貼 GW25t	内貼 GW25t	内貼 GW25t	内貼 GW25t	内貼 GW25t
Q= 210 m³/h x2	Q= 200 m³/h x2	Q= 210 m³/h x2	Q= 200 m³/h x2	Q= 120 m³/h

(U-AHU-2-2系統)	(U-AHU-2-2系統)	(U-AHU-2-2系統)	(U-AHU-2-2系統)	(U-AHU-2-2系統)
診察室9	診察室9	☆ 診察室8	☆ 診察室8	器材庫
吹出口 VHS	吸込口 HS	吹出口 VH	吸込口 H	吹出口 VHS
SA 250 x 250	RA 250 x 250	SA 200 x 200	RA 200 x 200	SA 250 x 250
BOX 400x400x300	BOX 400x400x300	BOX 350x350x300	BOX 350x350x300	BOX 400x400x300
内貼 GW25t	内貼 GW25t	内貼 GW25t	内貼 GW25t	内貼 GW25t
Q= 280 m³/h	Q= 280 m³/h	Q= 100 m³/h	Q= 100 m³/h	Q= 280 m³/h

2階　内分泌・糖尿・腎内科詳細図



☆ (U-AHU-2-2系統)
中待合 2M
吹出口 VH
SA 350 x 350
BOX 500x500x350
内貼 GW25t
Q= 650 m³/h

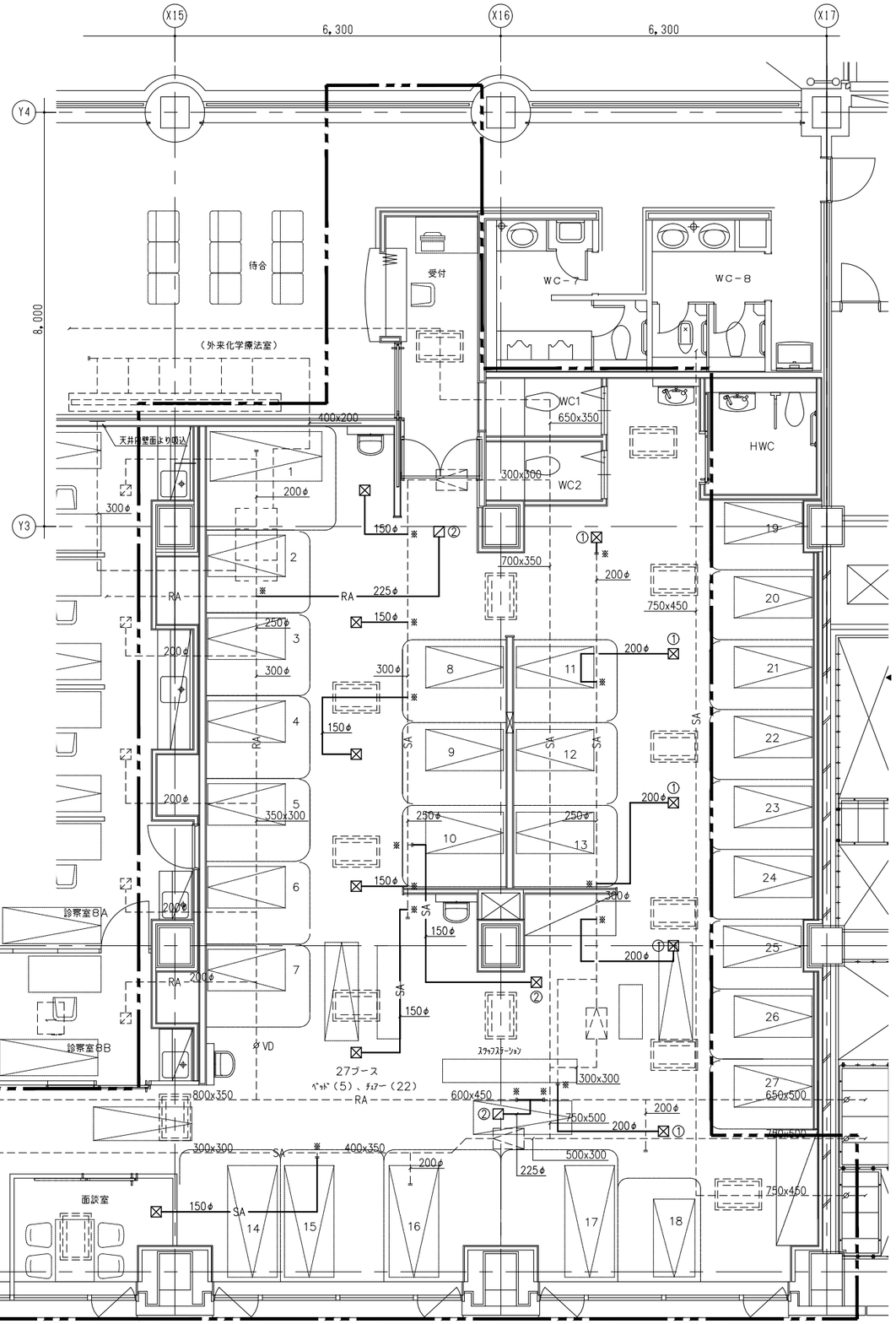
注記：制気口は清掃後、再取付。制気口BOXは新設

注記　1. [ ]：改修範囲を示す。

2.図中、ダクトの施工区分は下記の通りとする。
1）－－－－（点線部）は、既設機器・ダクトを示す。
2）――――（実線部）は、新設機器・ダクトを示す。

3.2階の階高は5,850Hとする。

4.※：既設ダクト接続箇所を示す。



注記　☆：制気口は清掃後、再取付。制気口BOXは新設　（☆印なしの制気口は新設）

☆ (U-AHU-2-3系統)	☆ (U-AHU-2-3系統)	(U-AHU-2-3系統)
① 外来科学療法室	② 外来科学療法室	② 外来科学療法室
吹出口 VH	吹出口 VH	吸込口 HS
SA 200 x 200	SA 200 x 200	RA 300 x 300
BOX 350x350x300	BOX 350x350x300	BOX 450x450x350
内貼 GW25t	内貼 GW25t	内貼 GW25t
Q= 300 m³/h x5	Q= 150 m³/h	Q= 476 m³/h x2

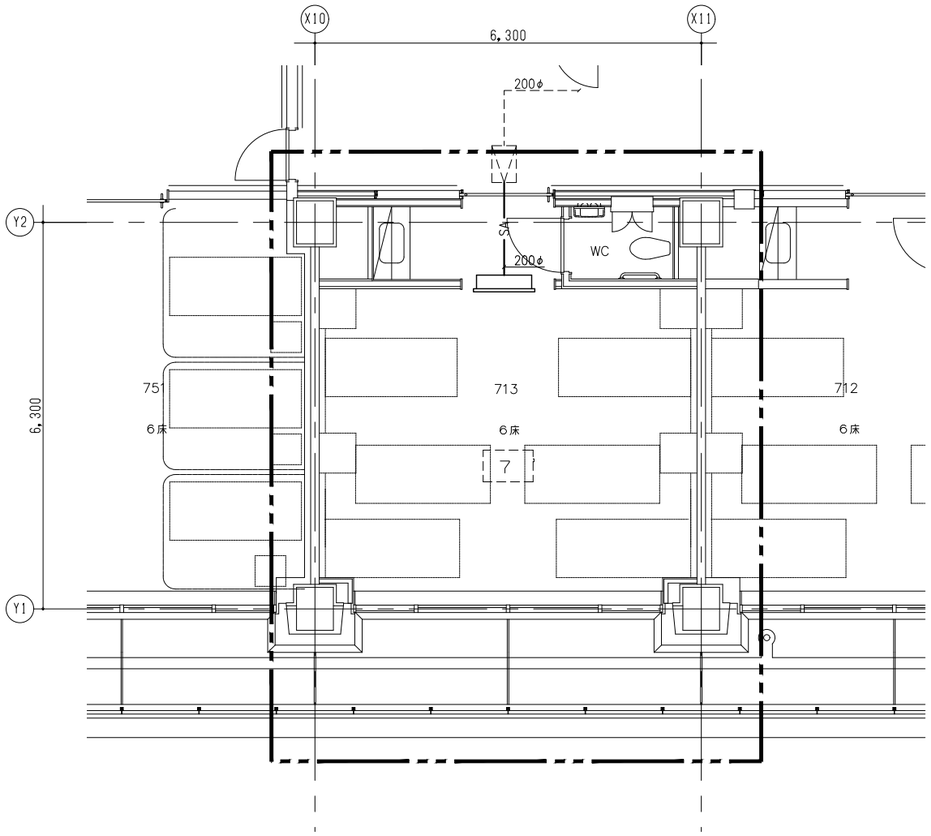
☆ (U-AHU-2-3系統)	☆ (U-AHU-2-3系統)	☆ (U-AHU-2-3系統)
外来科学療法室	外来科学療法室	面談室
吹出口 VH	吹出口 VH	吹出口 VH
SA 200 x 200	SA 200 x 200	SA 200 x 200
BOX 350x350x300	BOX 350x350x300	BOX 350x350x300
内貼 GW25t	内貼 GW25t	内貼 GW25t
Q= 163 m³/h x4	Q= 150 m³/h	Q= 150 m³/h

2階　化学療法室詳細図

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　　阿瀬貴裕　　丸山　信

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事		2022.03	RM－007
空調設備　2階ダクト平面図（改修後）		A1：1/ 50 A3：1/100	



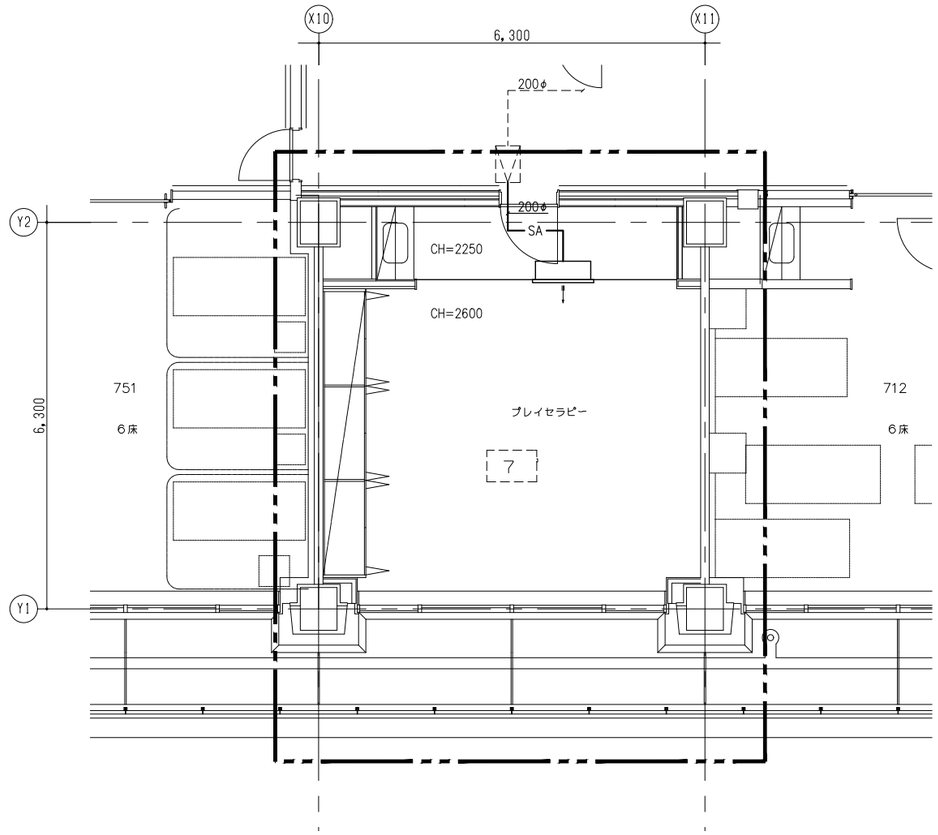
7階　6床（713）詳細図（改修前）

（U-AHU-7-01系統）

6床（713）
吹出口 CL-2
SA　1000 L
BOX 1000×200×300
内貼 GW25t
Q= 300 m³/h

注記：制気口は撤去（清掃後、移設）
注記：制気口BOXは撤去

注記 1. □ ：改修範囲を示す。
2.図中、ダクトの施工区分は下記の通りとする。
1）－－－－（点線部）は、既設機器・ダクトを示す。
2）――――（実線部）は、撤去機器・ダクトを示す。
3.7階の階高は4,700Hとする。
4.特記無きダクトサイズは150φとする。
5.※：既設ダクト切断箇所を示す。



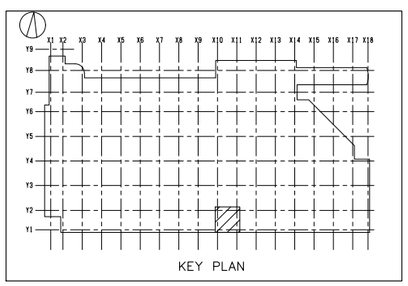
7階　プレイセラピー詳細図（改修後）

（U-AHU-7-01系統）

プレイセラピー
吹出口 CL-2
SA　1000 L
BOX 1150×200×300
内貼 GW25t
Q= 300 m³/h

注記：制気口は清掃後、再取付
注記：制気口BOXは新設

注記 1. □ ：改修範囲を示す。
2.図中、ダクトの施工区分は下記の通りとする。
1）－－－－（点線部）は、既設機器・ダクトを示す。
2）――――（実線部）は、新設機器・ダクトを示す。
3.7階の階高は4,700Hとする。
4.※：既設ダクト接続箇所を示す。



KEY PLAN

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

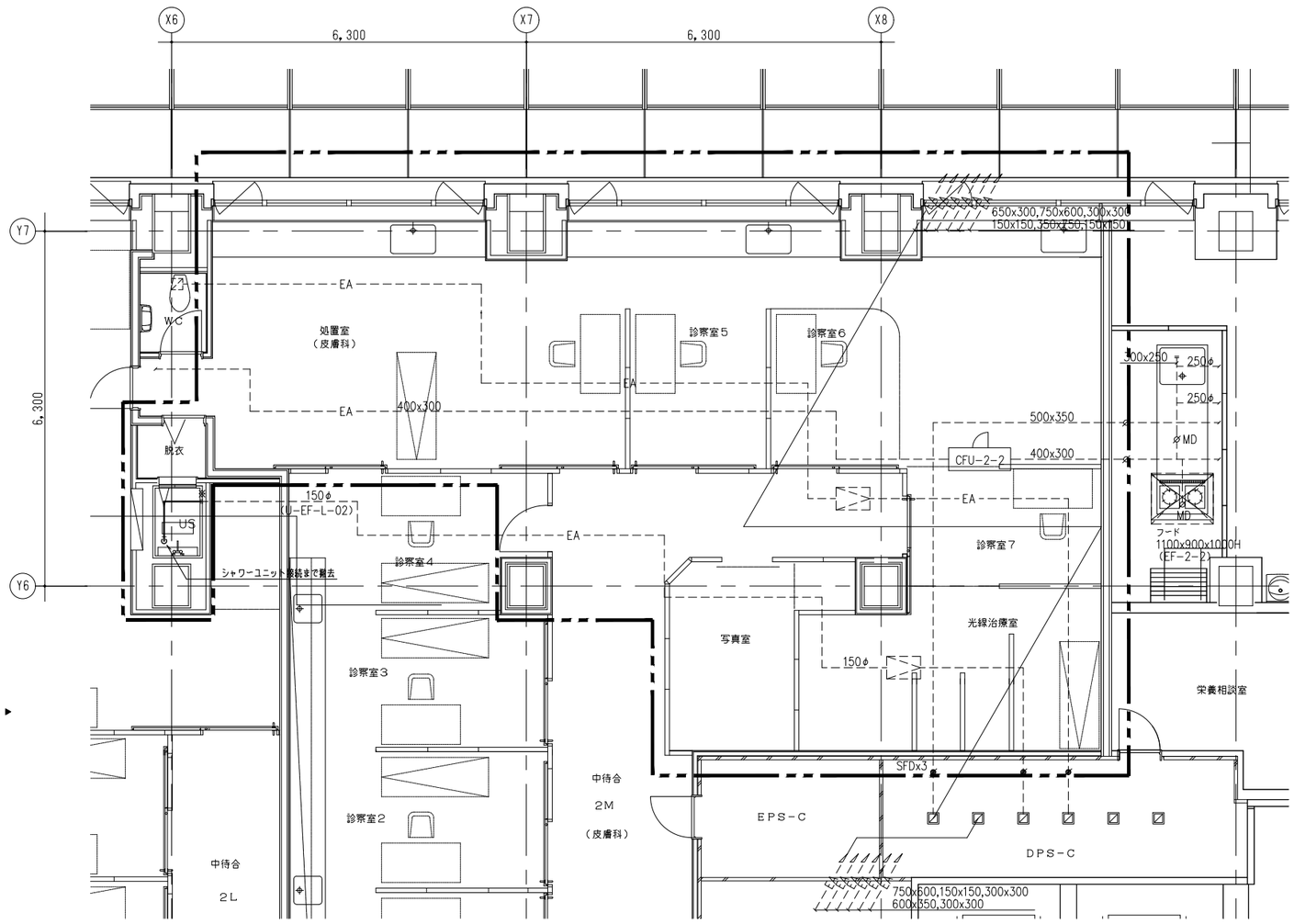
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　　阿瀬貴裕　　丸山　信

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

空調設備　7階ダクト平面図（改修前・改修後）

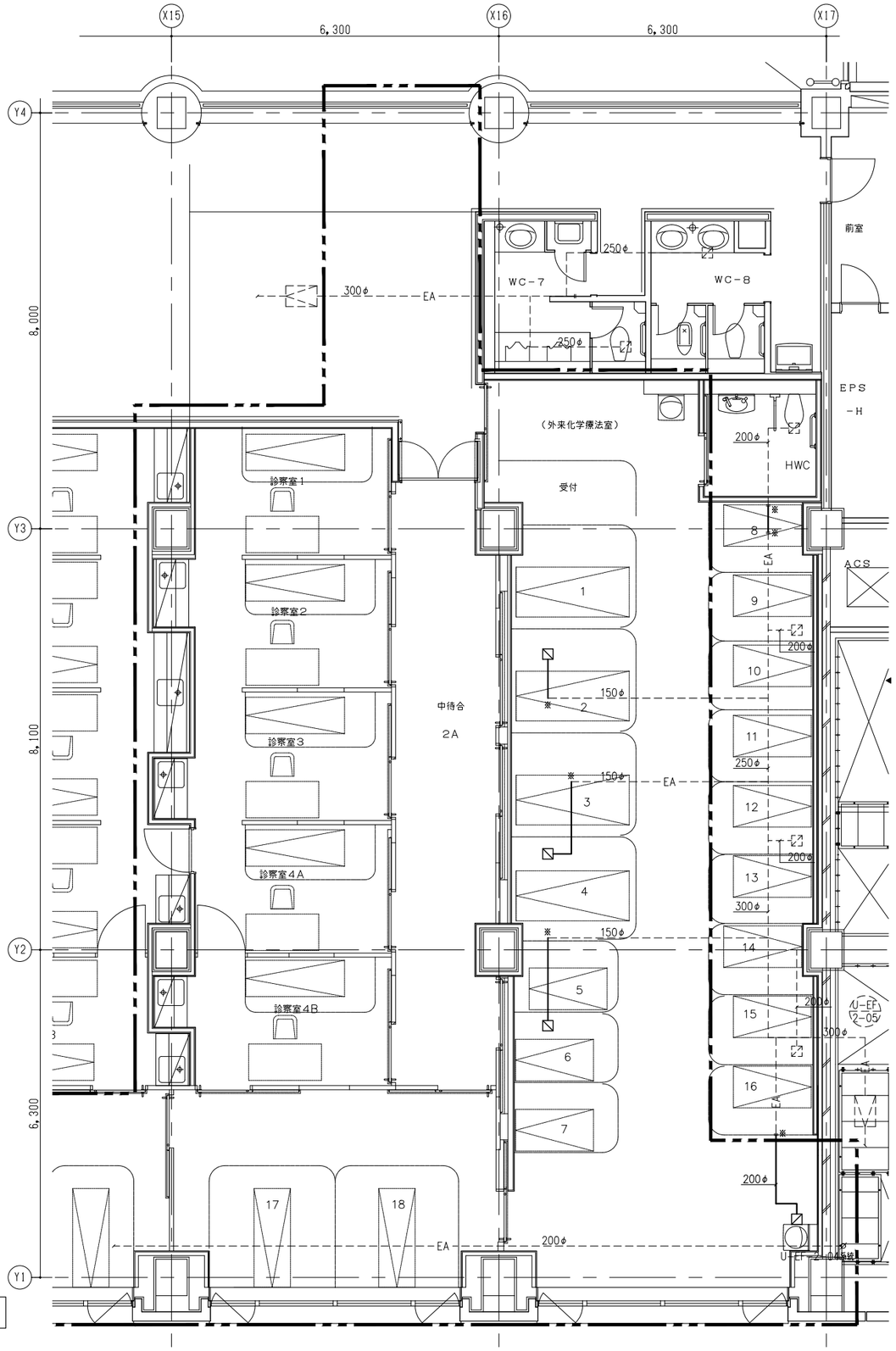
2022.03
A1：1/ 50
A3：1/100

RM － 008



2階　皮膚科詳細図

U-EF-L-02
排 風 機：片吸込シロッコファン（床置形）
能　　力：# 1 x 800m3/h x 650Pa
電気容量：3φ400V 0.4kW

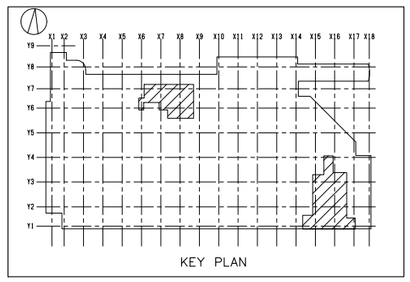


U-EF-2-05
排 風 機：消音形キャビネットファン
能　　力：#1 2/3 x 1,500m3/h x 150Pa
電気容量：3φ200V 0.388kW

(U-EF-2-05系統)	(U-EF-2-05系統)	(U-EF-2-05系統)
外来化学療法室	外来化学療法室	HWC
吸込口　H	吸込口　H	吸込口　H
EA 200 x 200	EA 200 x 200	EA 200 x 200
BOX 300x300x300	BOX 300x300x300	BOX 300x300x300
内貼　－	内貼　－	内貼　－
Q= 193 m3/h x4	Q= 193 m3/h x3	Q= 150 m3/h

注記：制気口は撤去（清掃後、移設）
注記：制気口BOXは撤去

2階　化学療法室詳細図



KEY PLAN

注記 1. [ ]：改修範囲を示す。
2.図中、ダクトの施工区分は下記の通りとする。
1）－－－－（点線部）は、既設機器・ダクトを示す。
2）――――（実線部）は、撤去機器・ダクトを示す。
3.2階の階高は5,850Hとする。
4.特記無きダクトサイズは150φとする。
5.※：既設ダクト切断箇所を示す。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

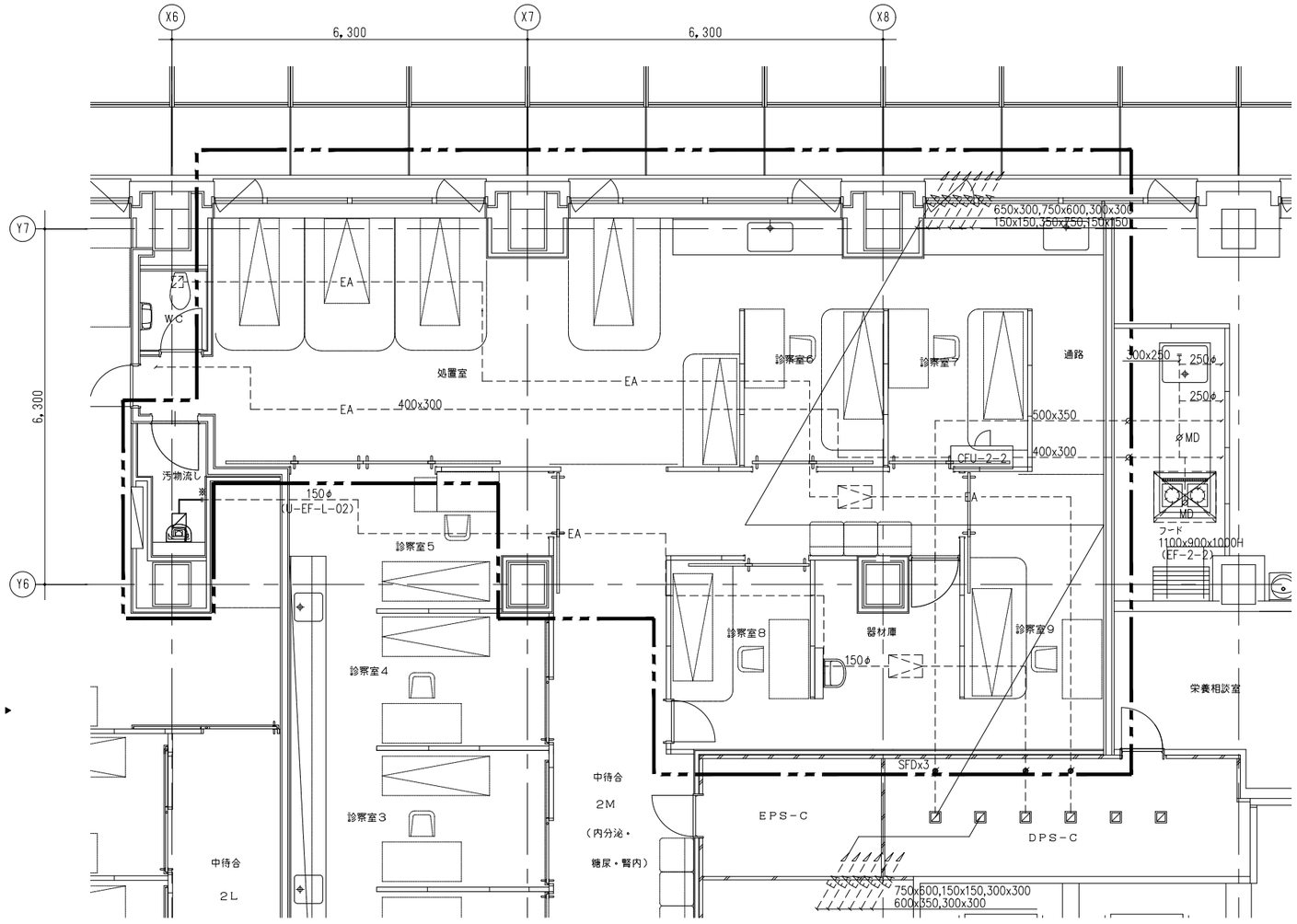
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　阿瀬貴裕　丸山　信

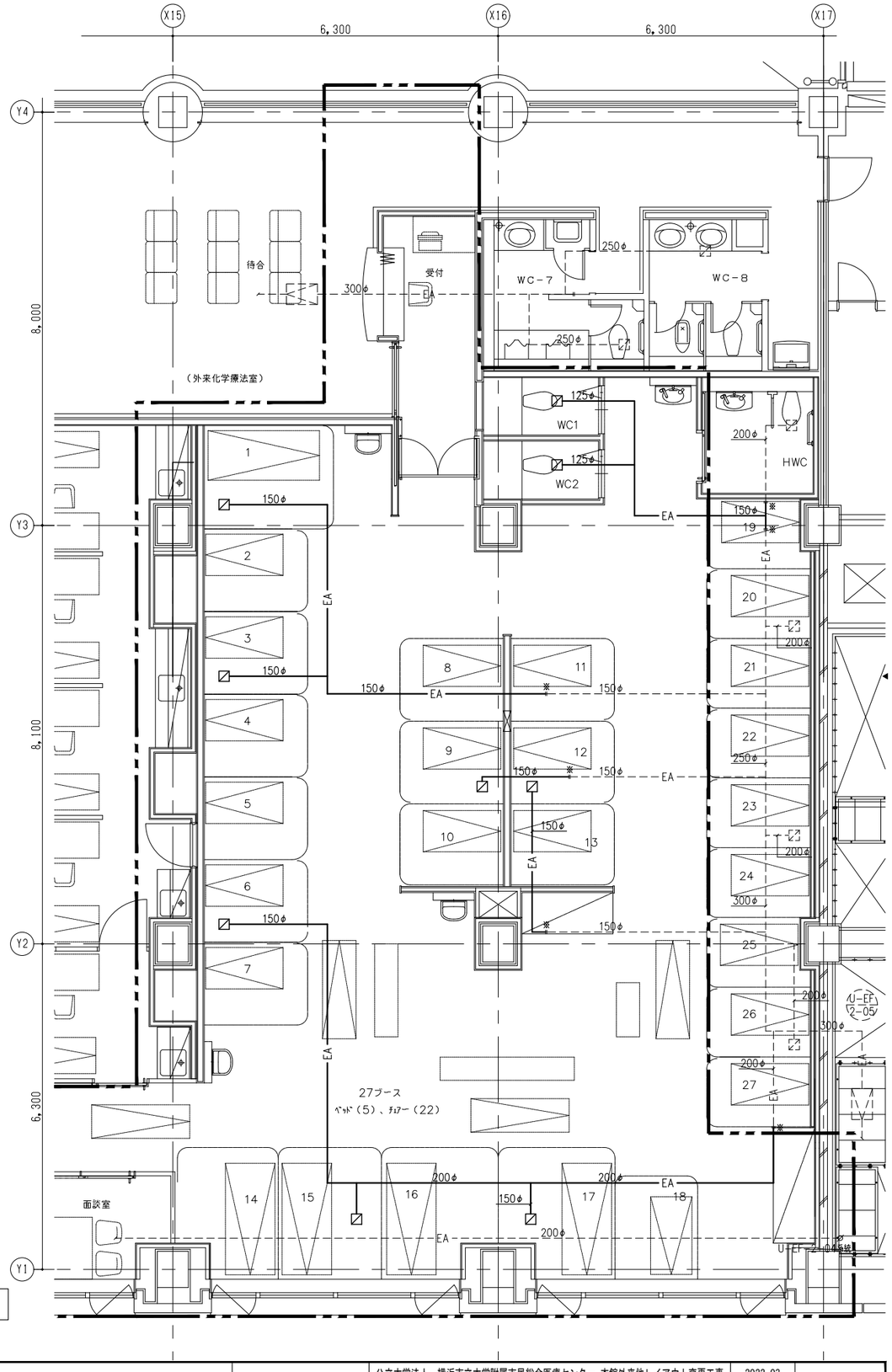
公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

換気設備　2階ダクト平面図（改修前）

2022.03
A1：1/ 50
A3：1/100

RM － 009





(U-EF-L-02系統)

汚物流し
吸込口 HS
EA 200 x 200
BOX 350x350x300
内貼 −
Q= 130 m³/h

U-EF-L-02
排 風 機：片吸込シロッコファン（床置形）
能　力：# 1 x 800m3/h x 650Pa
電気容量：3φ400V 0.4kW

2階　内分泌。糖尿。腎内科詳細図

U-EF-2-05
排 風 機：消音形キャビネットファン
能　力：#1 2/3 x 1,500m3/h x 150Pa
電気容量：3φ200V 0.388kW

(U-EF-2-05系統)

外来化学療法室
吸込口 HS
EA 200 x 200
BOX 350x350x300
内貼 −
Q= 120 m³/h

x3

(U-EF-2-05系統)

外来化学療法室
吸込口 H
EA 200 x 200
BOX 350x350x300
内貼 −
Q= 120 m³/h

x4

注記：制気口は清掃後、再取付
注記：制気口BOXは新設

(U-EF-2-05系統)

外来化学療法室
吸込口 H
EA 200 x 200
BOX 300x300x300
内貼 −
Q= 120 m³/h

x3

(U-EF-2-05系統)

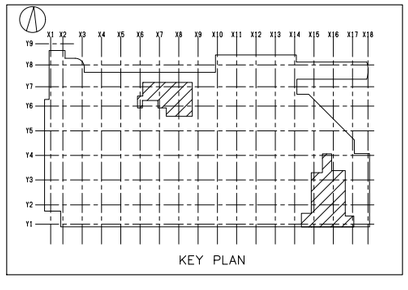
HWC
吸込口 H
EA 200 x 200
BOX 300x300x300
内貼 −
Q= 140 m³/h

(U-EF-2-05系統)

WC1
吸込口 HS
EA 200 x 200
BOX 350x350x300
内貼 −
Q= 80 m³/h

(U-EF-2-05系統)

WC2
吸込口 HS
EA 200 x 200
BOX 350x350x300
内貼 −
Q= 80 m³/h



注記 1. [ ]：改修範囲を示す。

2.図中、ダクトの施工区分は下記の通りとする。
1）－－－－（点線部）は、既設機器・ダクトを示す。
2）――――（実線部）は、新設機器・ダクトを示す。

3.2階の階高は5,850Hとする。

4.※：既設ダクト接続箇所を示す。

2階　化学療法室詳細図

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

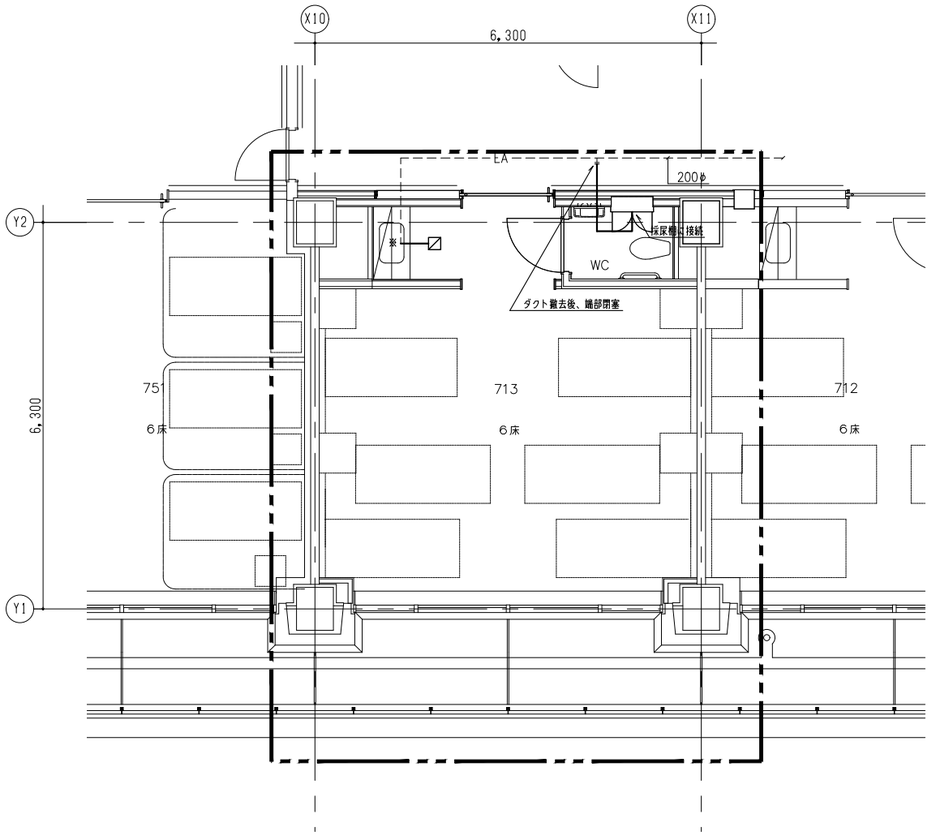
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　　阿瀬貴裕　　丸山　信

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

換気設備　2階ダクト平面図（改修後）

2022.03
A1：1/ 50
A3：1/100

RM − 010



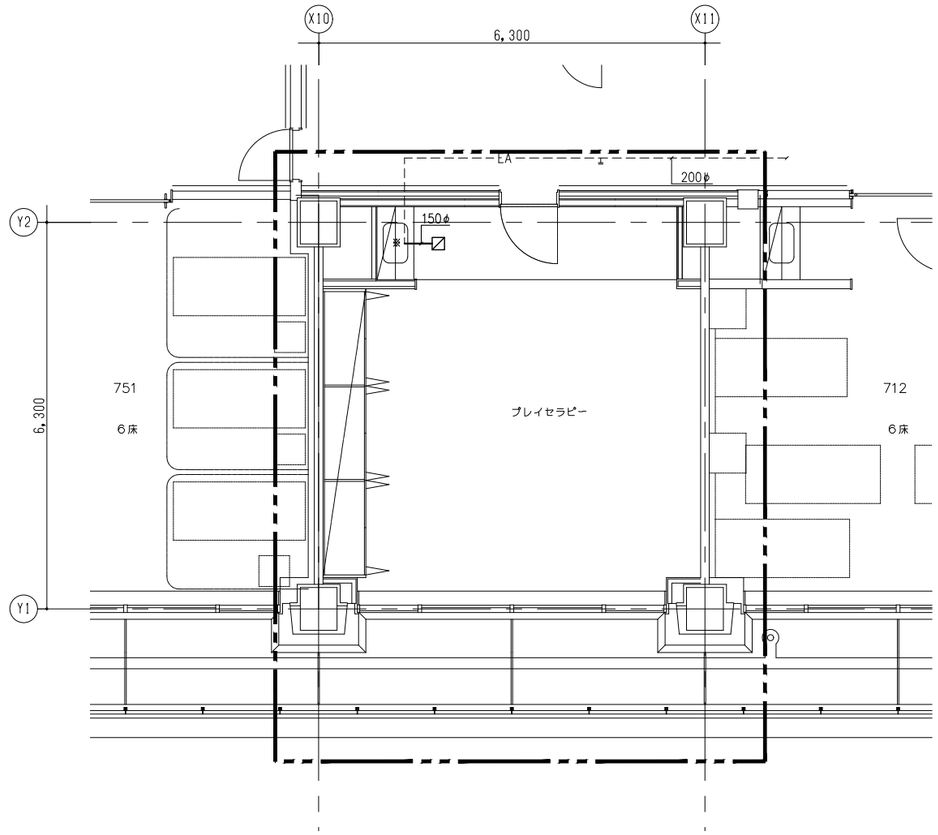
7階　6床（713）詳細図（改修前）

（U-EF-7-01系統）

6床（713）
吸込口　H
EA 200 x 200
BOX　300×300×275
内貼　GW25t
Q=　150　m³/h

注記：制気口は撤去（清掃後、移設）
注記：制気口BOXは撤去

注記　1. □：改修範囲を示す。
2.図中、ダクトの施工区分は下記の通りとする。
1）－－－－（点線部）は、既設機器・ダクトを示す。
2）――――（実線部）は、撤去機器・ダクトを示す。
3.7階の階高は4,700Hとする。
4.特記無きダクトサイズは150φとする。
5.※：既設ダクト切断箇所を示す。



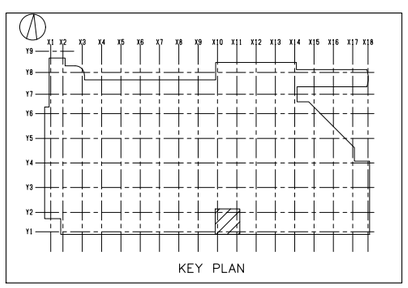
7階　プレイセラピー詳細図（改修後）

（U-EF-7-01系統）

プレイセラピー
吸込口　H
EA 200 x 200
BOX　350×350×300
内貼　－
Q=　150　m³/h

注記：制気口は清掃後、再取付
注記：制気口BOXは新設

注記　1. □：改修範囲を示す。
2.図中、ダクトの施工区分は下記の通りとする。
1）－－－－（点線部）は、既設機器・ダクトを示す。
2）――――（実線部）は、新設機器・ダクトを示す。
3.7階の階高は4,700Hとする。
4.※：既設ダクト接続箇所を示す。



株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

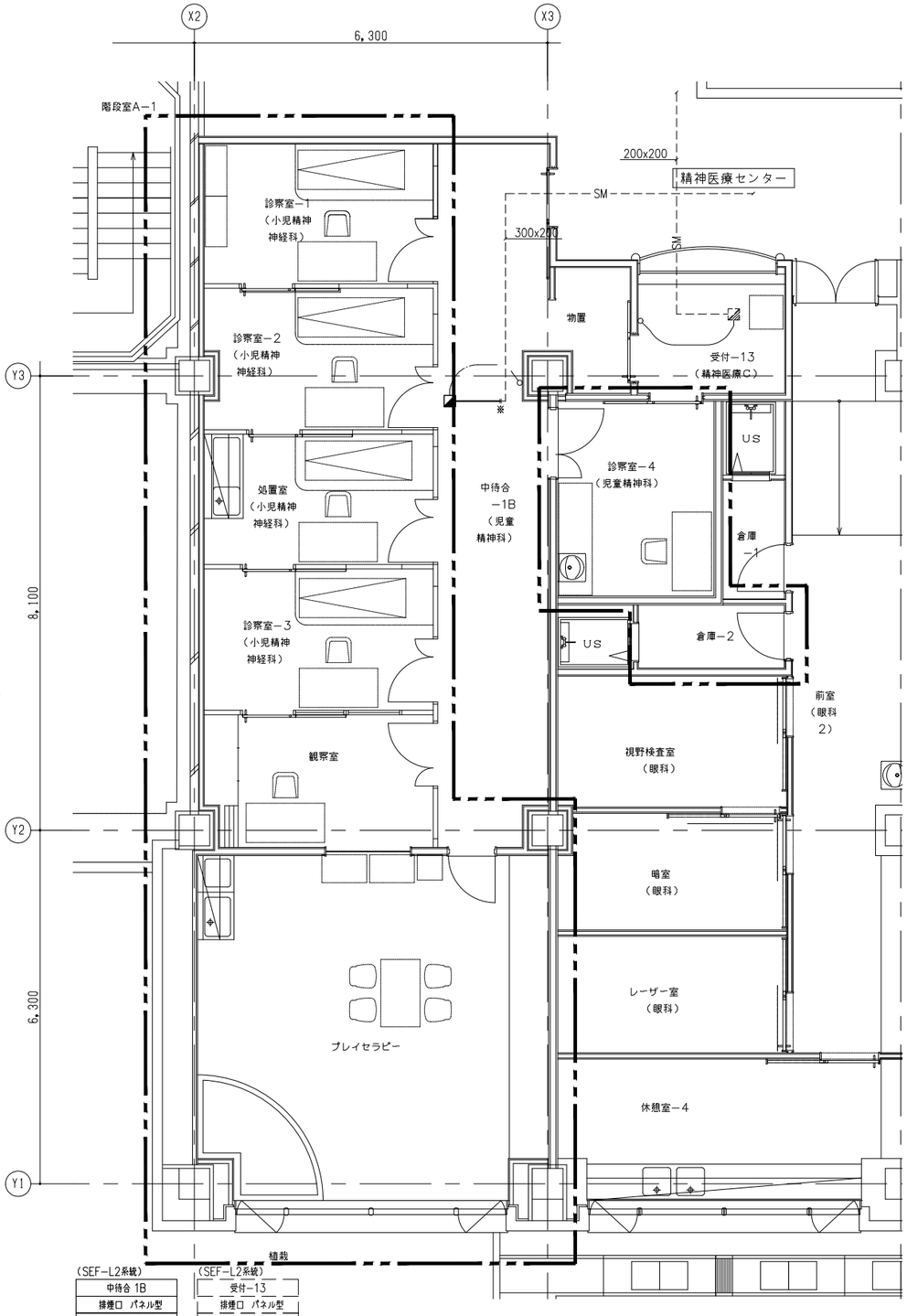
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　　阿瀬貴裕　　丸山　信

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

換気設備　7階ダクト平面図（改修前・改修後）

2022.03
A1：1/ 50
A3：1/100

RM － 011

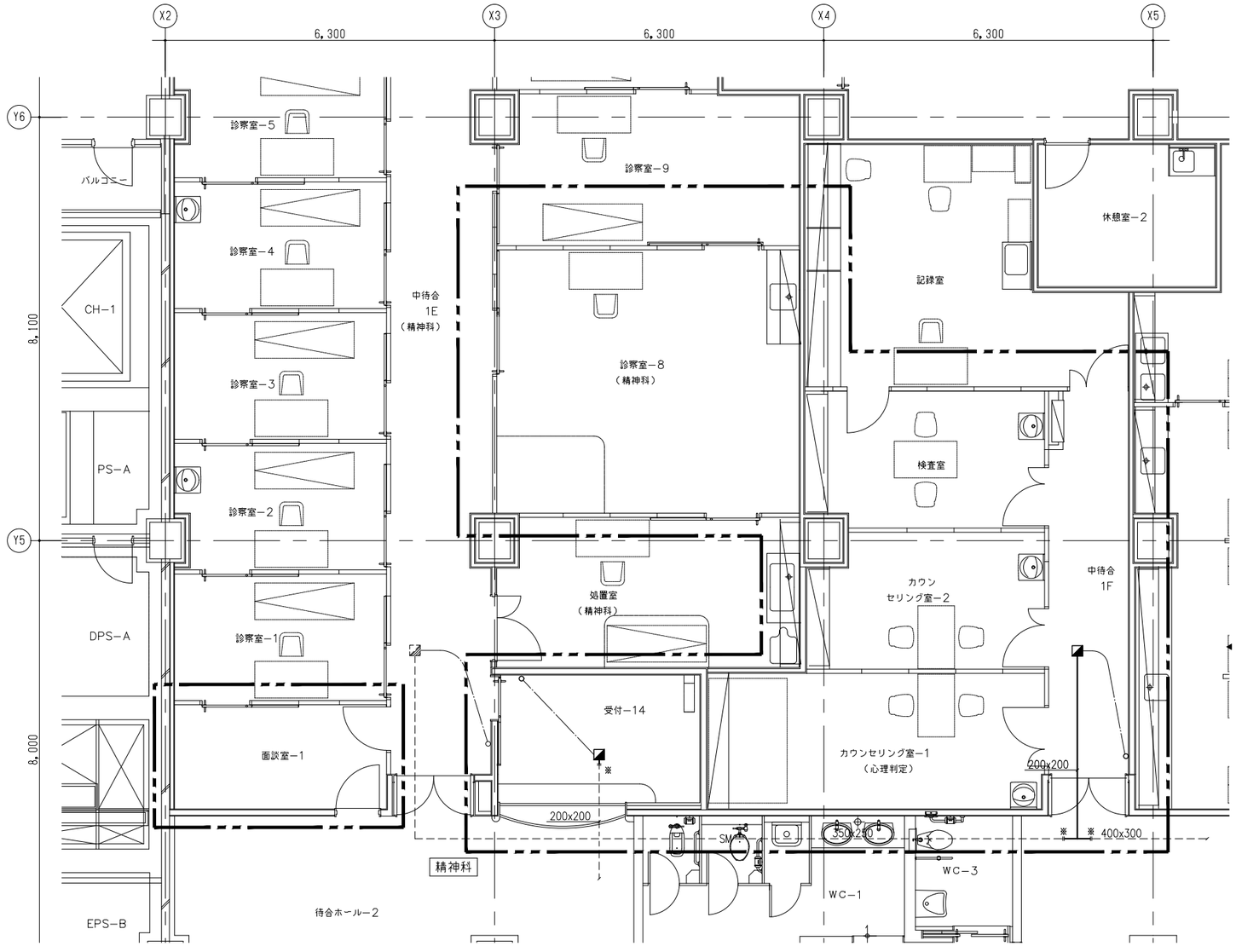


（SEF－L2系統）	
中待合 1B	
排煙口 パネル型	
SM 300 × 300	
BOX 500×500×400	
内貼 －	
Q= 1,700 m³/h	
（排煙面積： 28.0 m²）	

（SEF－L2系統）	
受付－13	
排煙口 パネル型	
SM 300 × 300	
BOX 500×500×400	
内貼 －	
Q= 500 m³/h	
（排煙面積： 7.0 m²）	

注記：排煙口は撤去（清掃後、移設）
注記：排煙口BOXは撤去

1階　小児精神科詳細図



（SEF－L2系統）	
中待合 1E	
排煙口 パネル型	
SM 300 × 300	
BOX 500×500×400	
内貼 －	
Q= 2,300 m³/h	
（排煙面積： 38.0 m²）	

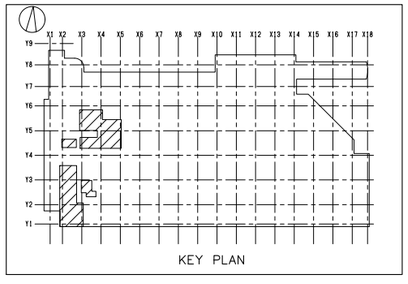
（SEF－L2系統）	
受付－14	
排煙口 パネル型	
SM 300 × 300	
BOX 500×500×400	
内貼 －	
Q= 700 m³/h	
（排煙面積： 11.0 m²）	

（SEF－L2系統）	
中待合 1F	
排煙口 パネル型	
SM 300 × 300	
BOX 500×500×400	
内貼 －	
Q= 900 m³/h	
（排煙面積： 14.0 m²）	

注記：排煙口は撤去（清掃後、移設）
注記：排煙口BOXは撤去

1階　精神科詳細図

注記 1. [ ]：改修範囲を示す。
2.図中、ダクトの施工区分は下記の通りとする。
1）－－－－（点線部）は、既設機器・ダクトを示す。
2）――（実線部）は、撤去機器・ダクトを示す。
3.1階の階高は6,000Hとする。
4.※：既設ダクト切断箇所を示す。
5.排煙口の同時開放は下記とする。
小児精神科：中待合1Bとデイケア室
精神科：中待合1F,1G,1H　受付11~15



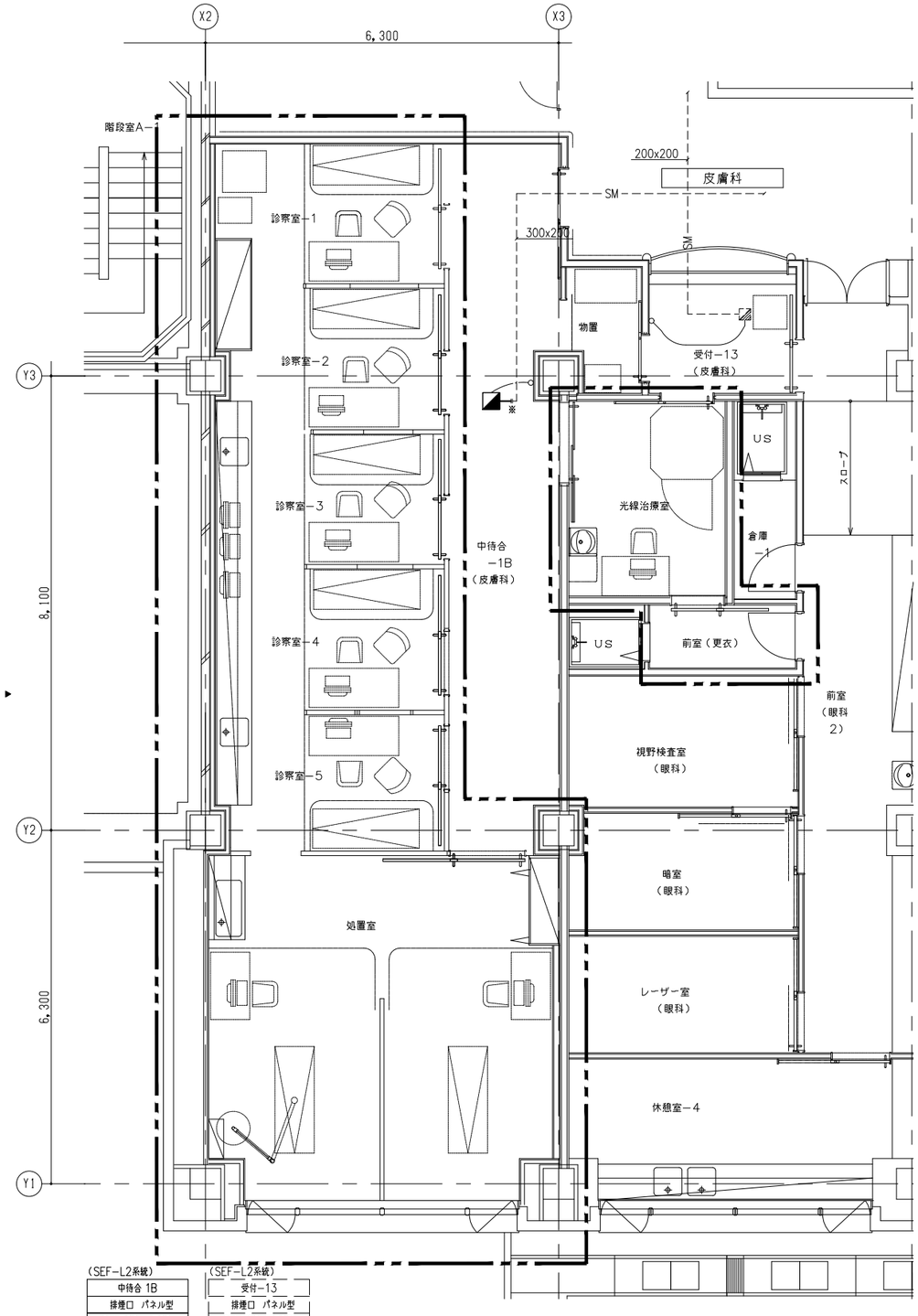
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　阿瀬貴裕　丸山　信

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

排煙設備　1階ダクト平面図（改修前）

2022. 03
A1：1/ 50
A3：1/100

RM－012

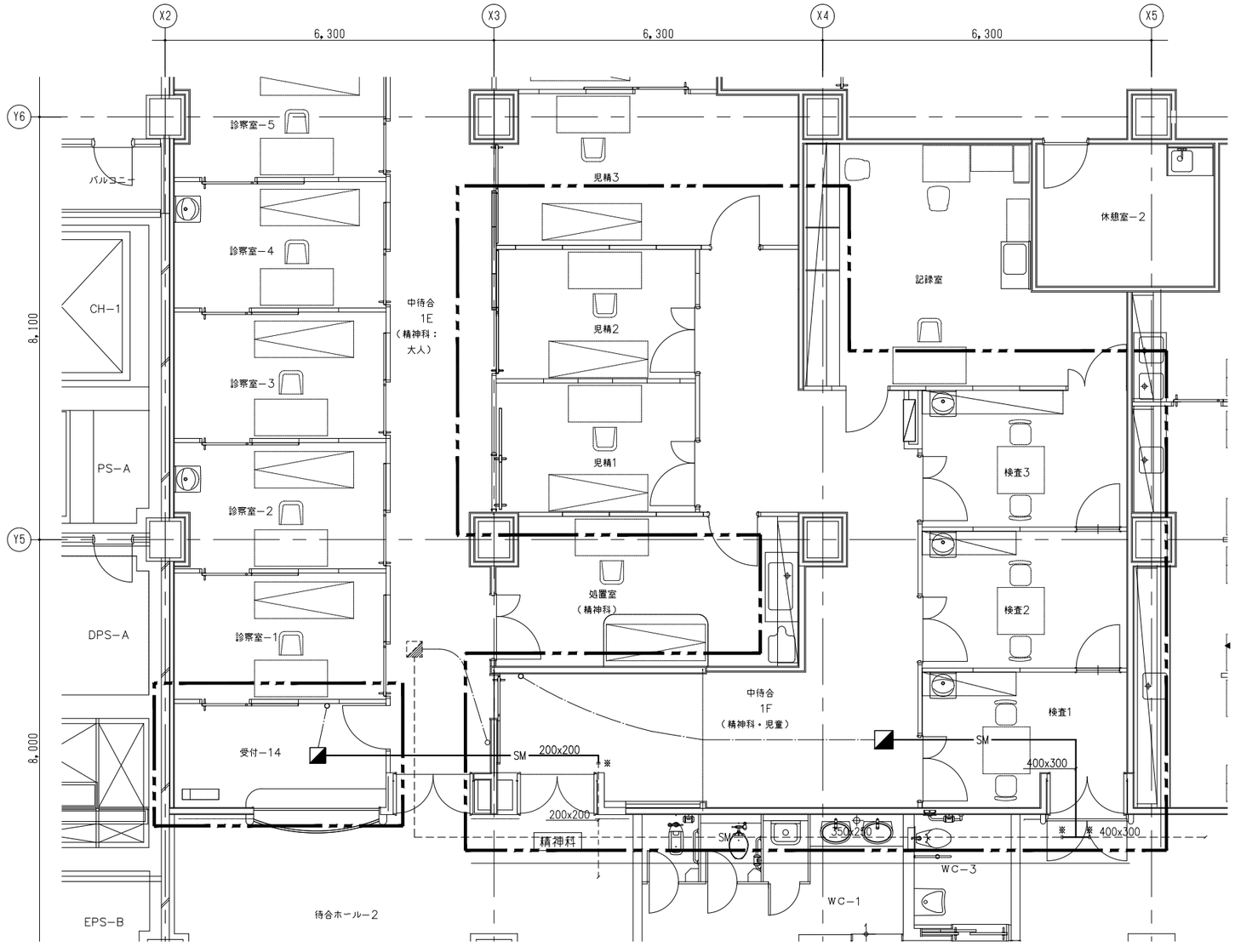


(SEF−L2系統)
中待合 1B
排煙口 パネル型
SM 300 × 300
BOX 500×500×400
内貼 −
Q= 1,700 m³/h
（排煙面積： 28.0 m²）

(SEF−L2系統)
受付−13
排煙口 パネル型
SM 300 × 300
BOX 500×500×400
内貼 −
Q= 500 m³/h
（排煙面積： 7.0 m²）

注記：排煙口は満掃後、再取付
注記：排煙口BOXは新設

1階 皮膚科詳細図



(SEF−L2系統)
中待合 1E
排煙口 パネル型
SM 300 × 300
BOX 500×500×400
内貼 −
Q= 2,300 m³/h
（排煙面積： 38.0 m²）

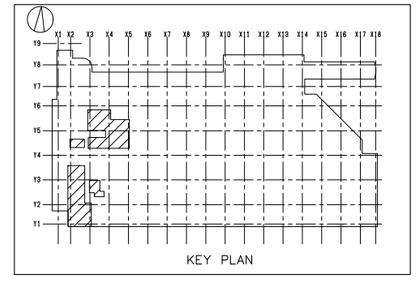
(SEF−L2系統)
受付−14
排煙口 パネル型
SM 300 × 300
BOX 500×500×400
内貼 −
Q= 600 m³/h
（排煙面積： 9.0 m²）

(SEF−L2系統)
中待合 1F
排煙口 パネル型
SM 350 × 350
BOX 550×550×400
内貼 −
Q= 2,800 m³/h
（排煙面積： 46.0 m²）

注記：排煙口は満掃後、再取付
注記：排煙口BOXは新設

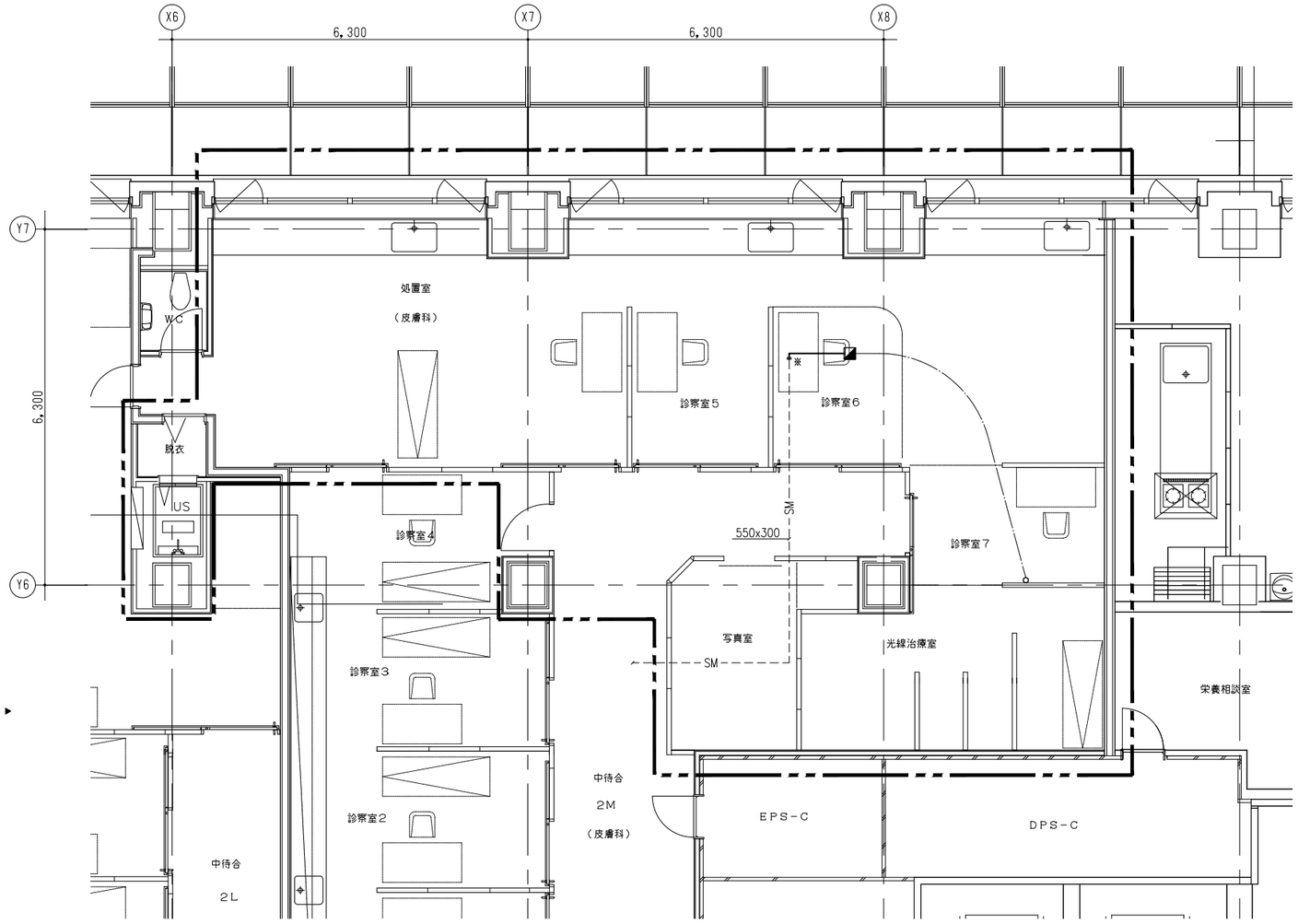
1階 小児精神科詳細図

注記 1. ：改修範囲を示す。
2.図中、ダクトの施工区分は下記の通りとする。
1）−−−−（点線部）は、既設機器・ダクトを示す。
2）———（実線部）は、新設機器・ダクトを示す。
3.1階の階高は6,000Hとする。
4.※：既設ダクト接続箇所を示す。



KEY PLAN

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第344749号 設備設計一級建築士 第4211号 岡野 崇　阿瀬貴裕　丸山 信	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事 排煙設備 1階ダクト平面図（改修後）	2022.03 A1：1/ 50 A3：1/100	RM − 013



2階　皮膚科詳細図

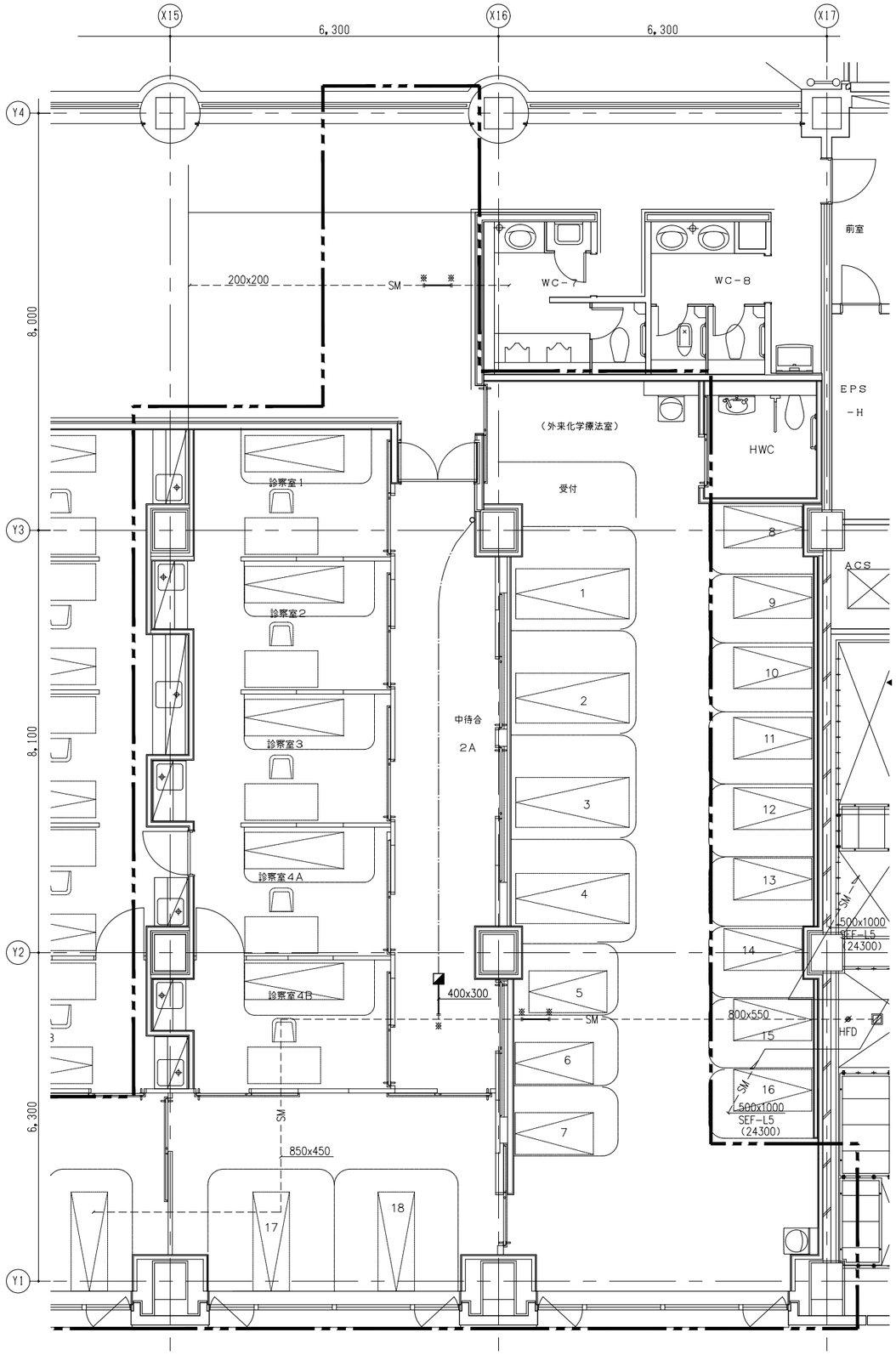
（SEF-L2系統）

診察室-6・他
排煙口　パネル型
SM 450 × 450
BOX　650×650×400
内貼　－
Q= 6,000 m³/h

（排煙面積： 97.0 m²）

注記：排煙口は撤去（清掃後、移設）

注記：排煙口BOXは撤去



（SEF-L5系統）

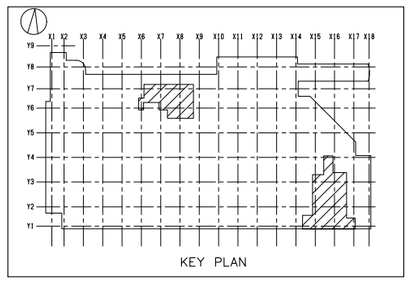
中待合 2A
排煙口　パネル型
SM 350 × 350
BOX　550×550×400
内貼　－
Q= 3,050 m³/h

（排煙面積： 50.8 m²）

注記：排煙口は撤去（清掃後、移設）

注記：排煙口BOXは撤去

2階　化学療法室詳細図



KEY PLAN

注記 1. ：改修範囲を示す。

2.図中、ダクトの施工区分は下記の通りとする。

1）－－－－（点線部）は、既設機器・ダクトを示す。

2）――――（実線部）は、撤去機器・ダクトを示す。

3.2階の階高は5,850Hとする。

4.※：既設ダクト切断箇所を示す。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　　阿瀬貴裕　　丸山　信

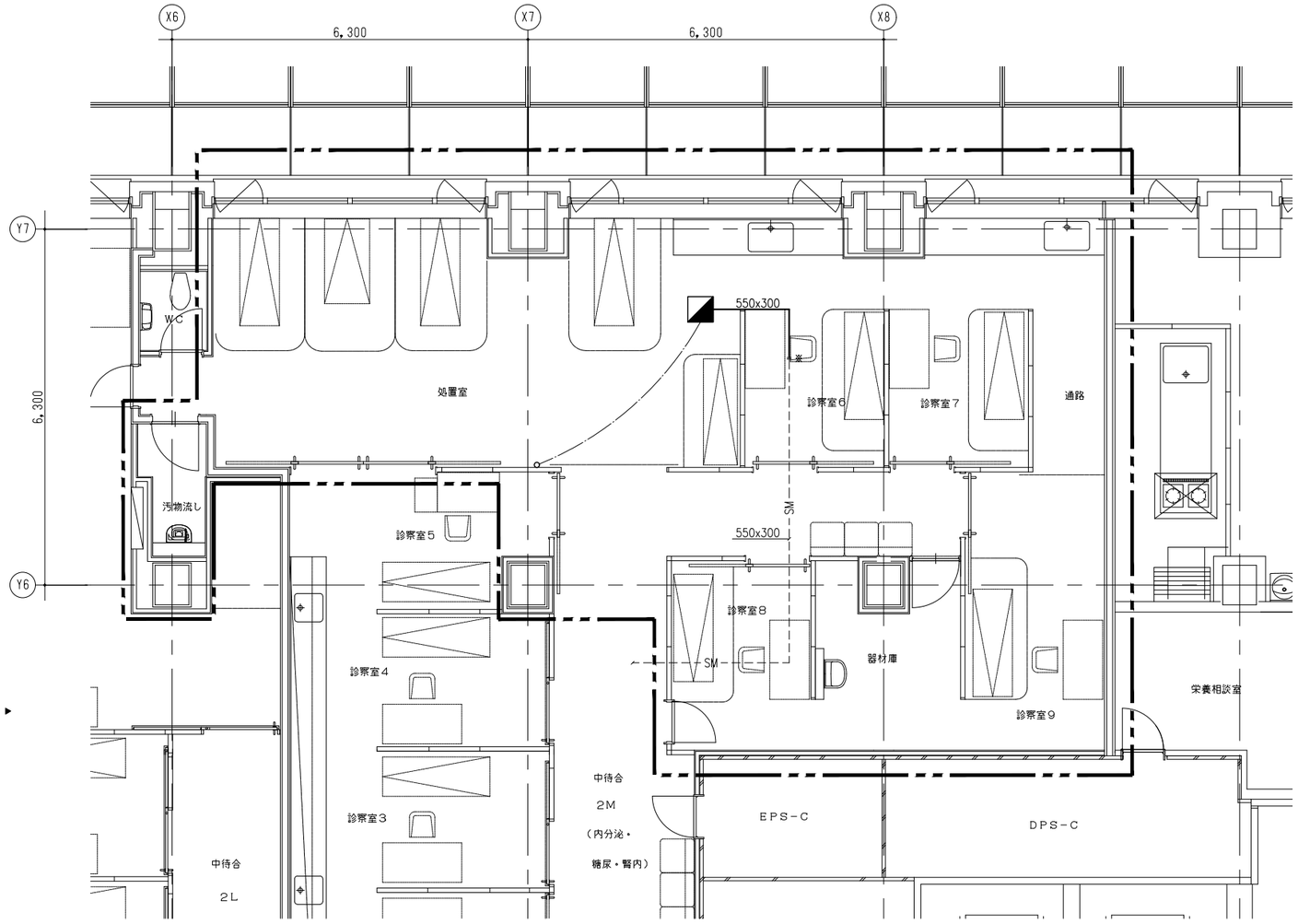
公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

排煙設備　２階ダクト平面図（改修前）

2022.03

A1：1/ 50
A3：1/100

RM － 014



2階　内分泌・糖尿・腎内科詳細図

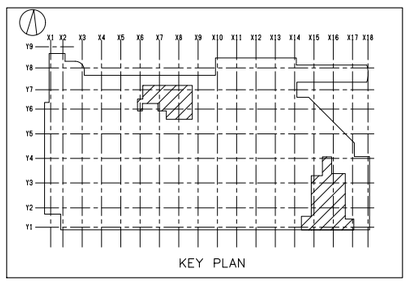
（SEF-L2系統）

処置室
排煙口　パネル型
SM 450 x 450
BOX　650x650x400
内貼　－
Q= 4,500 m³/h

（排煙面積： 74.6 m² ）

注記：排煙口は清掃後、再取付

注記：排煙口BOXは新設



注記 1. [ ]：改修範囲を示す。

2.図中、ダクトの施工区分は下記の通りとする。
1）－－－－（点線部）は、既設機器・ダクトを示す。
2）――――（実線部）は、新設機器・ダクトを示す。

3.2階の階高は5,850Hとする。

4.※：既設ダクト接続箇所を示す。

（SEF-L2系統）

受付
排煙口　パネル型
SM 300 x 300
BOX　500x500x400
内貼　－
Q= 500 m³/h

（排煙面積： 8.0 m² ）

（SEF-L5系統）

① 外来化学療法室
排煙口　パネル型
SM 350 x 350
BOX　550x550x400
内貼　－
Q= 2,600 m³/h

（排煙面積： 42.0 m² ）

注記：排煙口は清掃後、移設

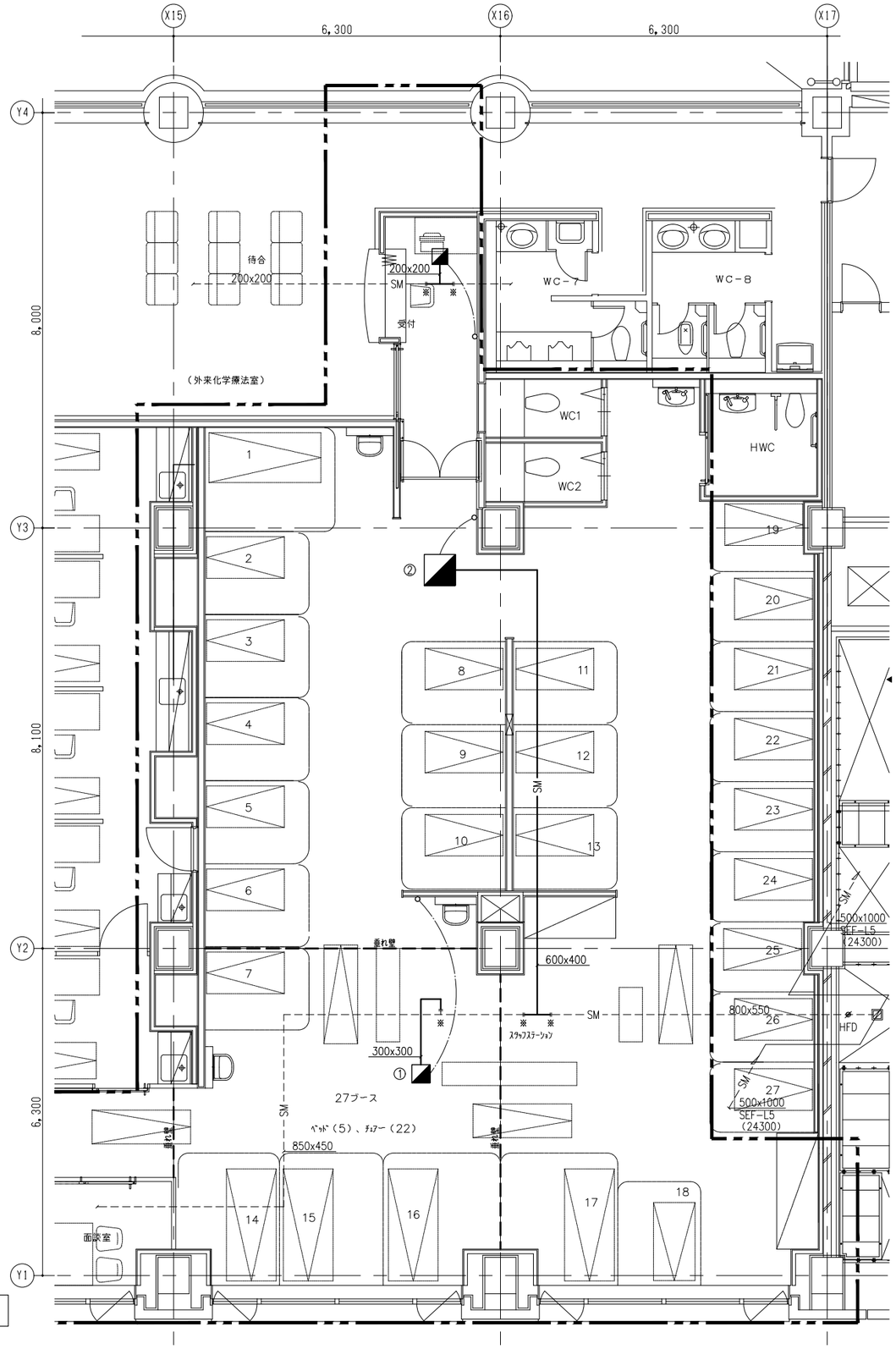
注記：排煙口BOXは新設

（SEF-L5系統）

② 外来化学療法室
排煙口　パネル型
SM 600 x 600
BOX　800x800x400
内貼　－
Q= 9,600 m³/h

（排煙面積：159.0 m² ）

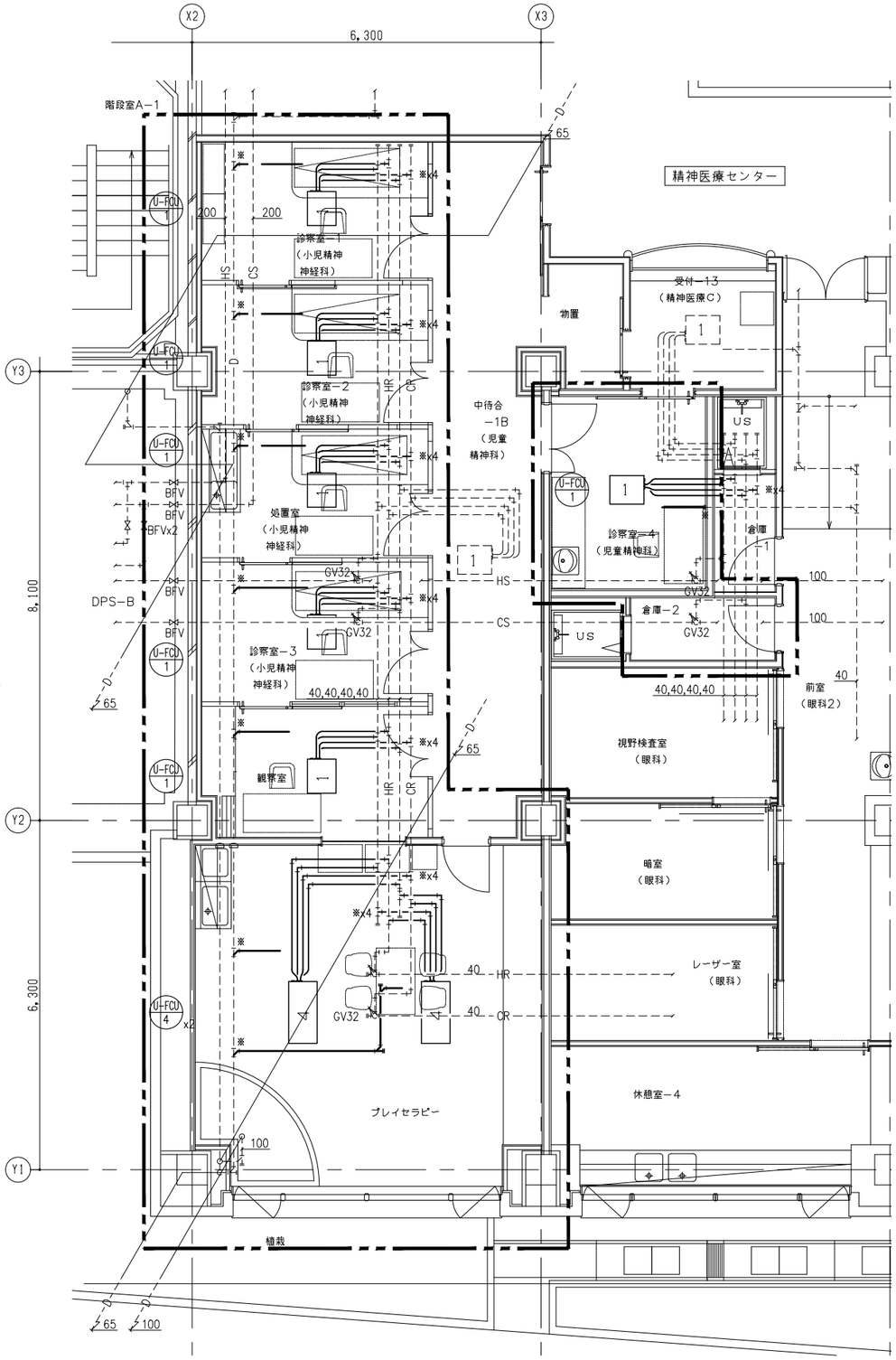
2階　化学療法室詳細図



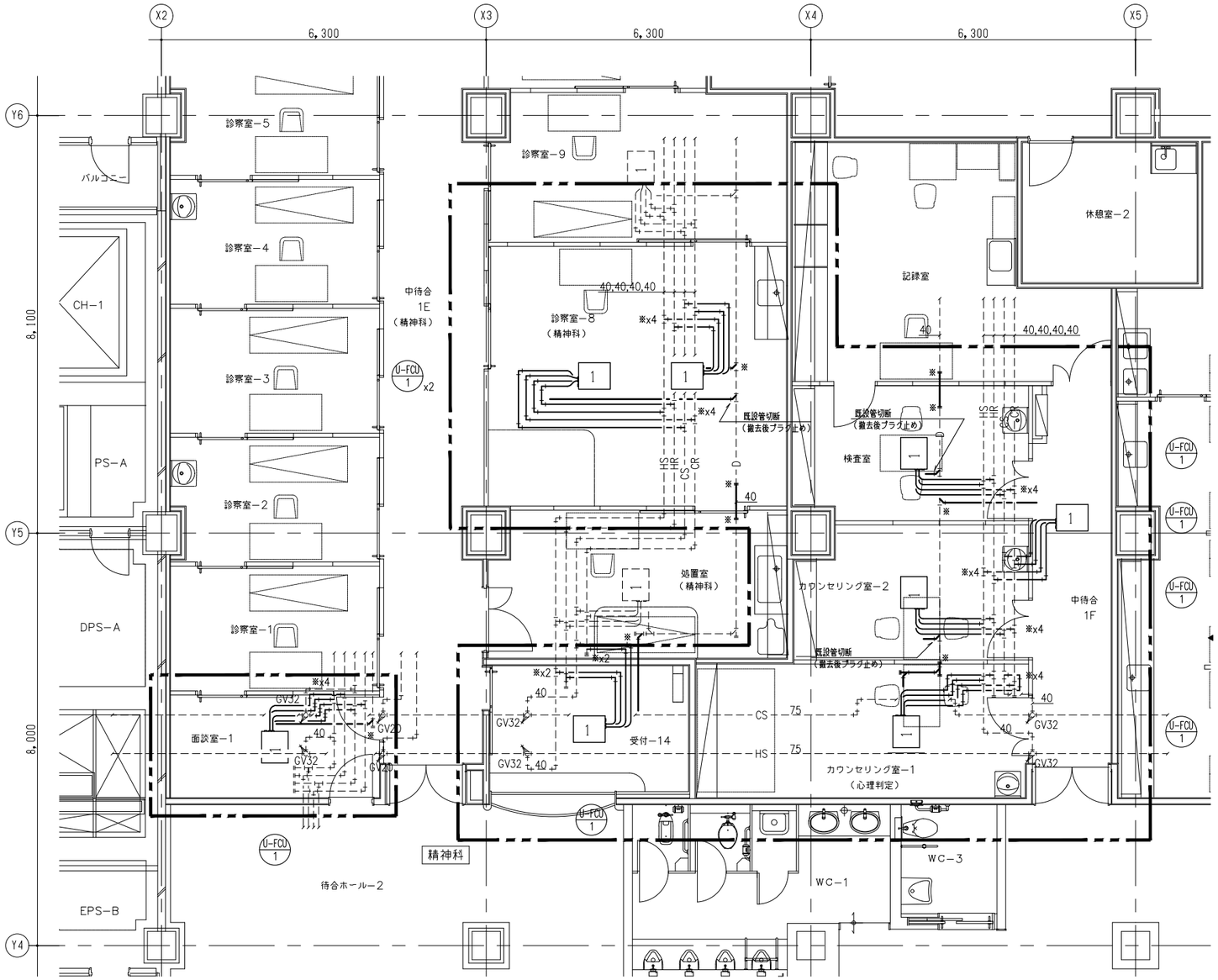
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　阿瀬貴裕　丸山　信

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事		2022. 03	RM－015
排煙設備　2階ダクト平面図（改修後）		A1：1/ 50 A3：1/100	



1階　小児精神科詳細図



1階　精神科詳細図

注記 1. ［　］：改修範囲を示す。

2.図中、配管の施工区分は下記の通りとする。
1）－－－－（点線部）は、既設機器・配管を示す。
2）――――（実線部）は、撤去機器・配管を示す。

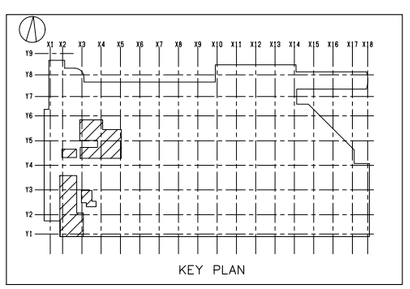
3.1階の階高は6,000Hとする。

4.特記無きHS・HR・CS・CRは、20suとする。

5.特記無きドレン管は、32Aとする。

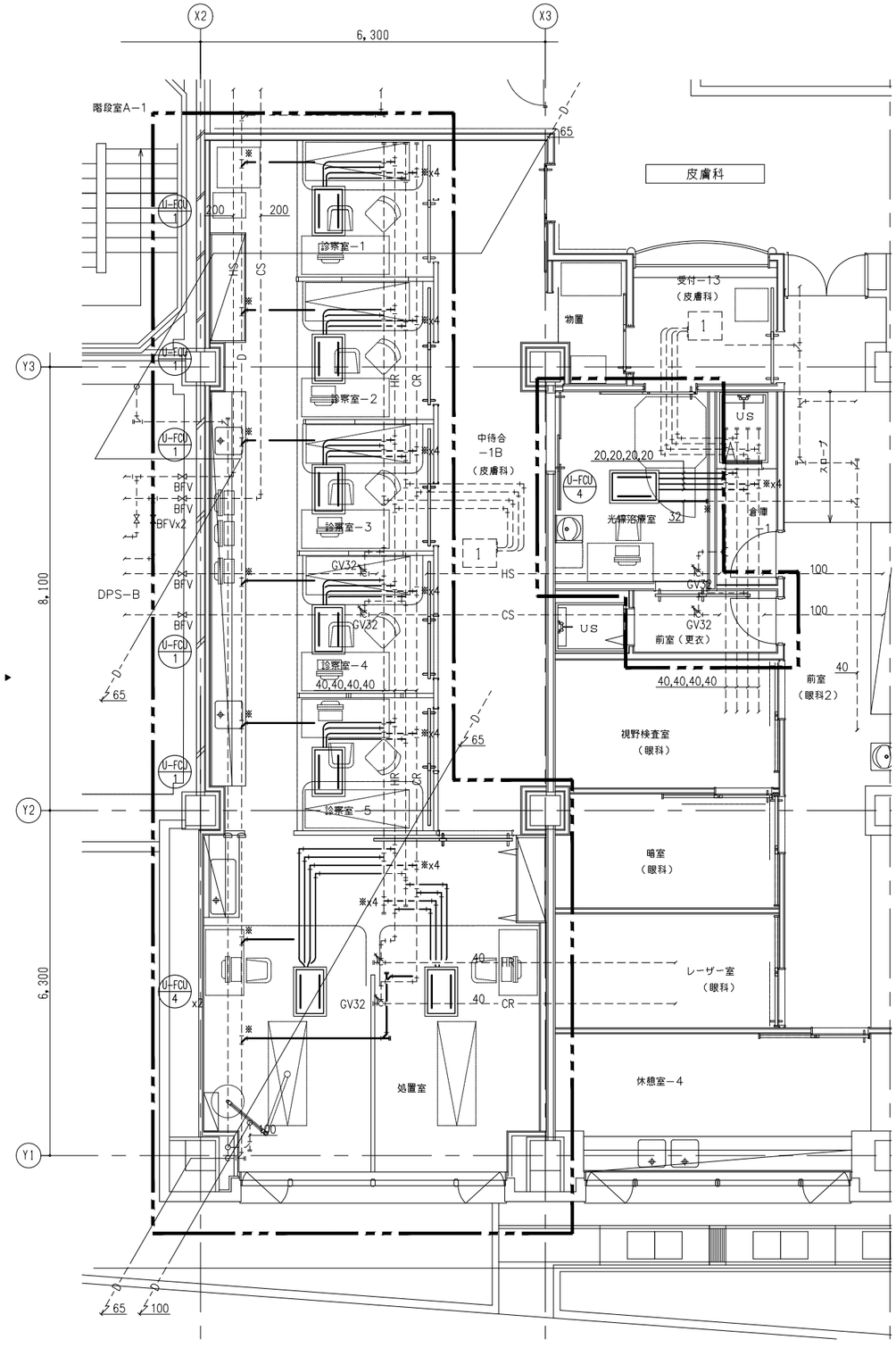
6.※：既設管切断箇所を示す。（冷水・温水は凍結工事共）

7.明記なき配管は天井配管とする。

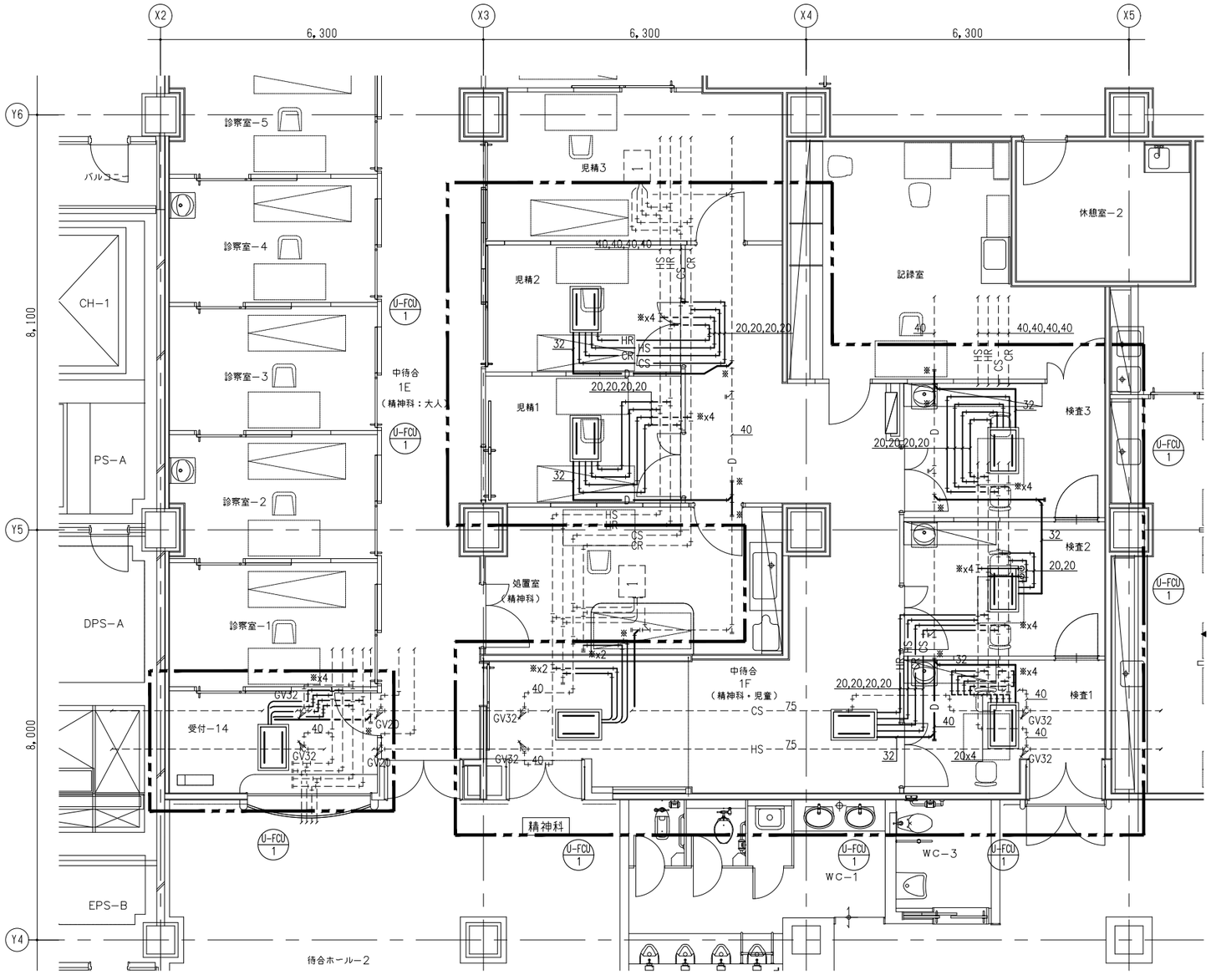


KEY PLAN

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡野　崇　阿瀬貴裕　丸山　信	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事 空調設備　1階配管平面図（改修前）	2022.03 A1：1/ 50 A3：1/100	RM − 016



1階　皮膚科詳細図

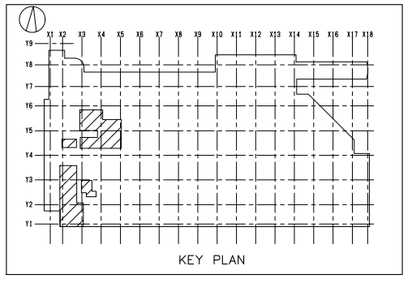


1階　小児精神科詳細図

注記 1. [ ]：改修範囲を示す。

2.図中、配管の施工区分は下記の通りとする。
1）－－－－（点線部）は、既設機器・配管を示す。
2）――（実線部）は、新設機器・配管を示す。

3.1階の階高は6,000Hとする。
4.特記無きHS・HR・CS・CRは、20suとする。
5.特記無きドレン管は、32Aとする。
6.※：既設管接続箇所を示す。
7.明記なき配管は天井配管とする。



KEY PLAN

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

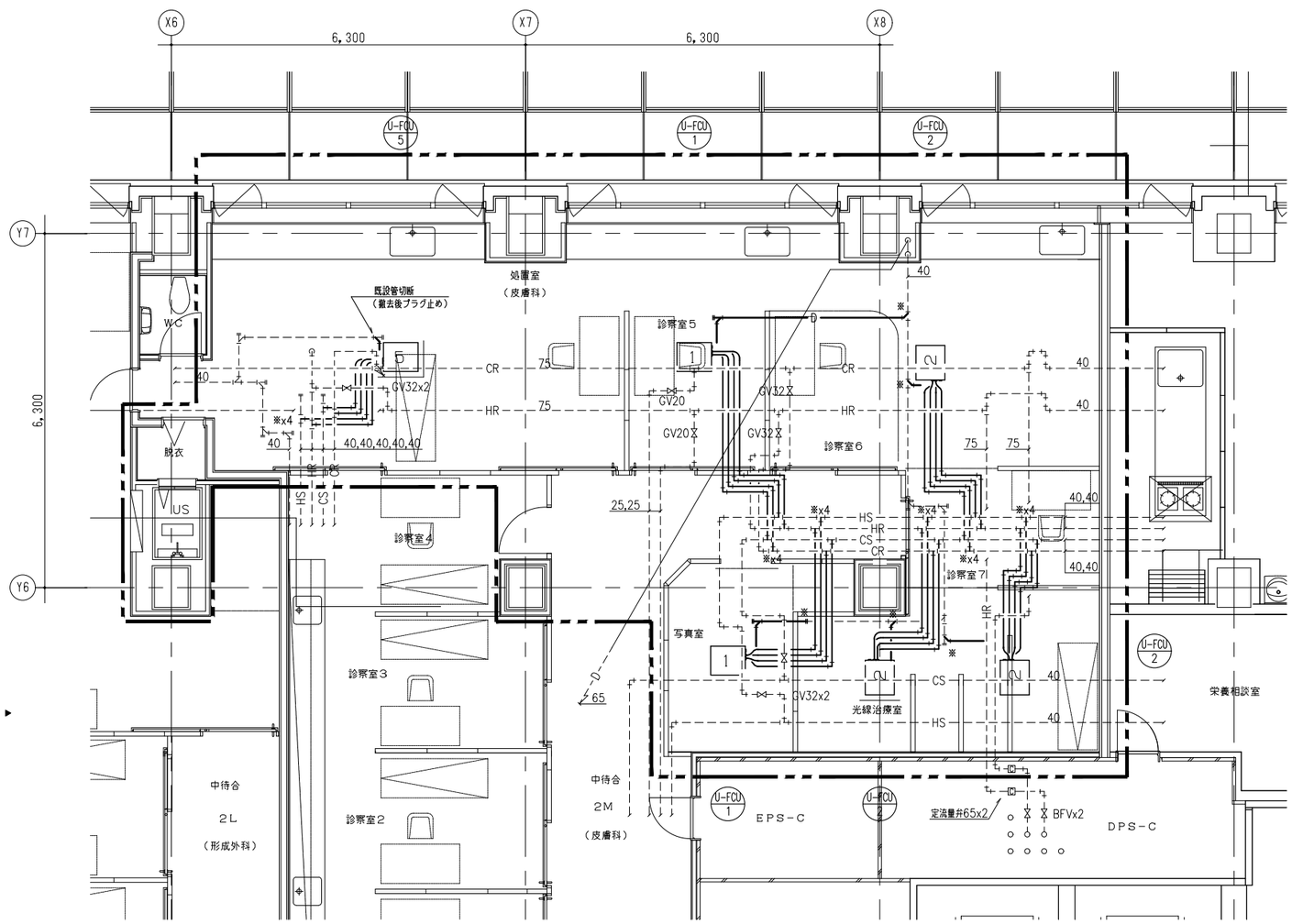
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　阿瀬貴裕　丸山　信

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

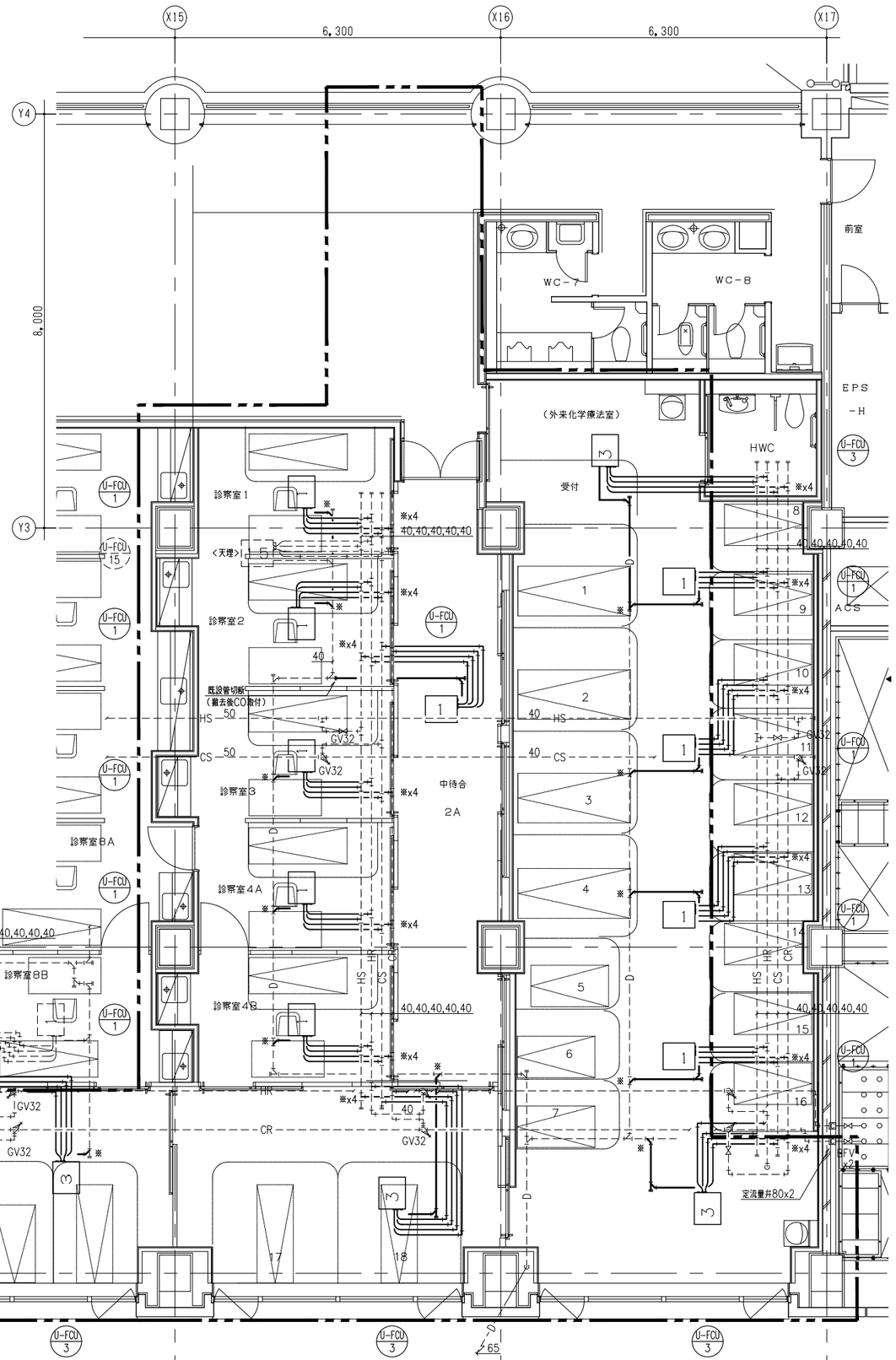
空調設備　1階配管平面図（改修後）

2022.03
A1：1/ 50
A3：1/100

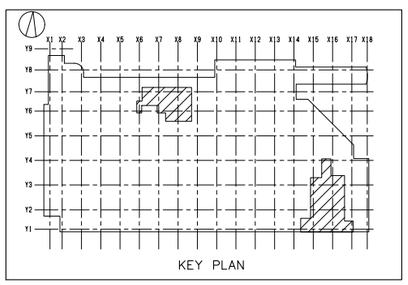
RM − 017



2階　皮膚科詳細図



2階　化学療法室詳細図



KEY PLAN

注記 1. [ ]：改修範囲を示す。
2.図中、配管の施工区分は下記の通りとする。
1）－－－－（点線部）は、既設機器・配管を示す。
2）――――（実線部）は、撤去機器・配管を示す。
3.2階の階高は5,850Hとする。
4.特記無きHS・HR・CS・CRは、20suとする。
5.特記無きドレン管は、32Aとする。
6.※：既設管切断箇所を示す。（冷水・温水は凍結工事共）
7.明記なき配管は天井配管とする。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　　阿瀬貴裕　　丸山　信

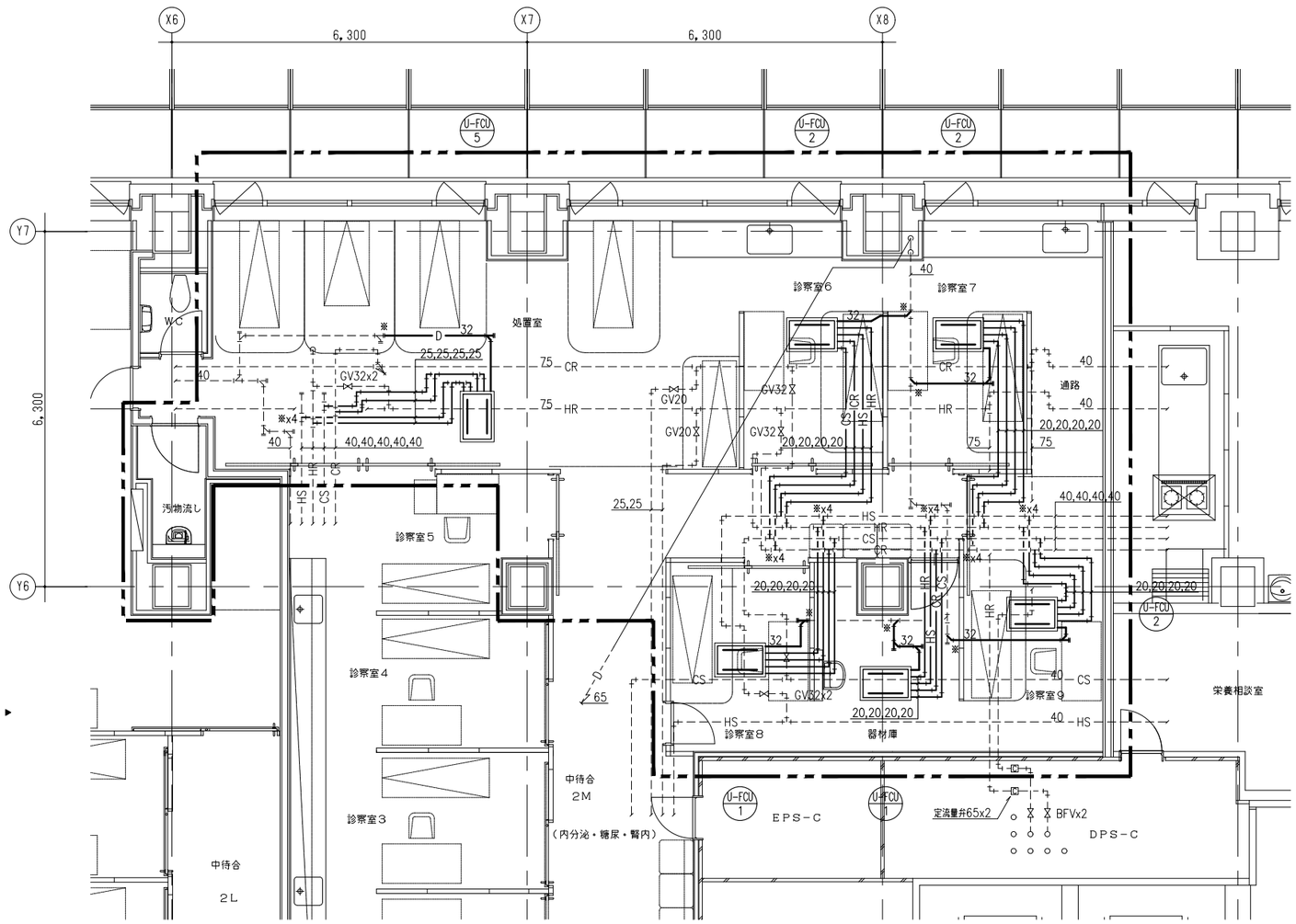
公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

空調設備　２階配管平面図（改修前）

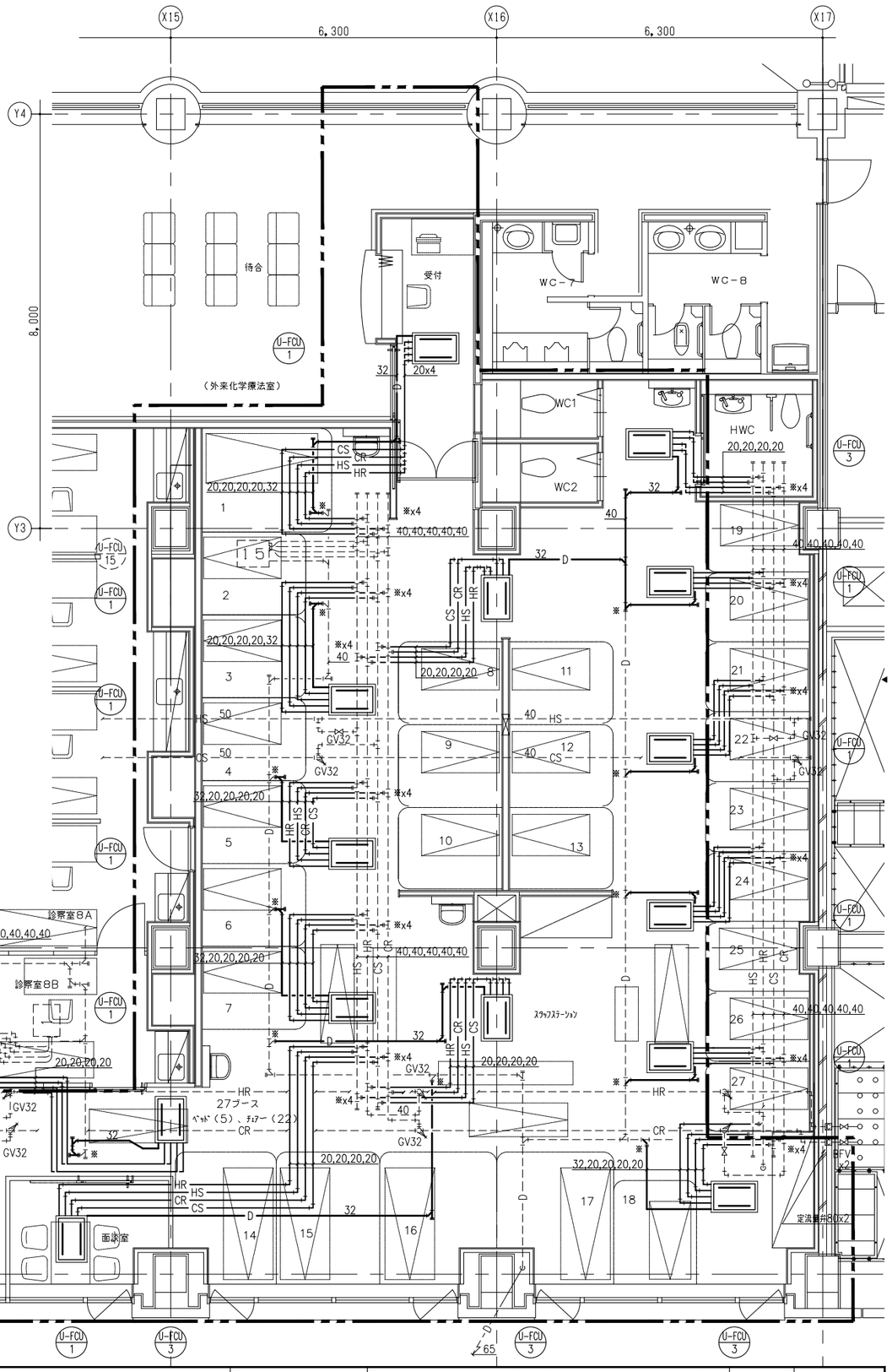
2022.03

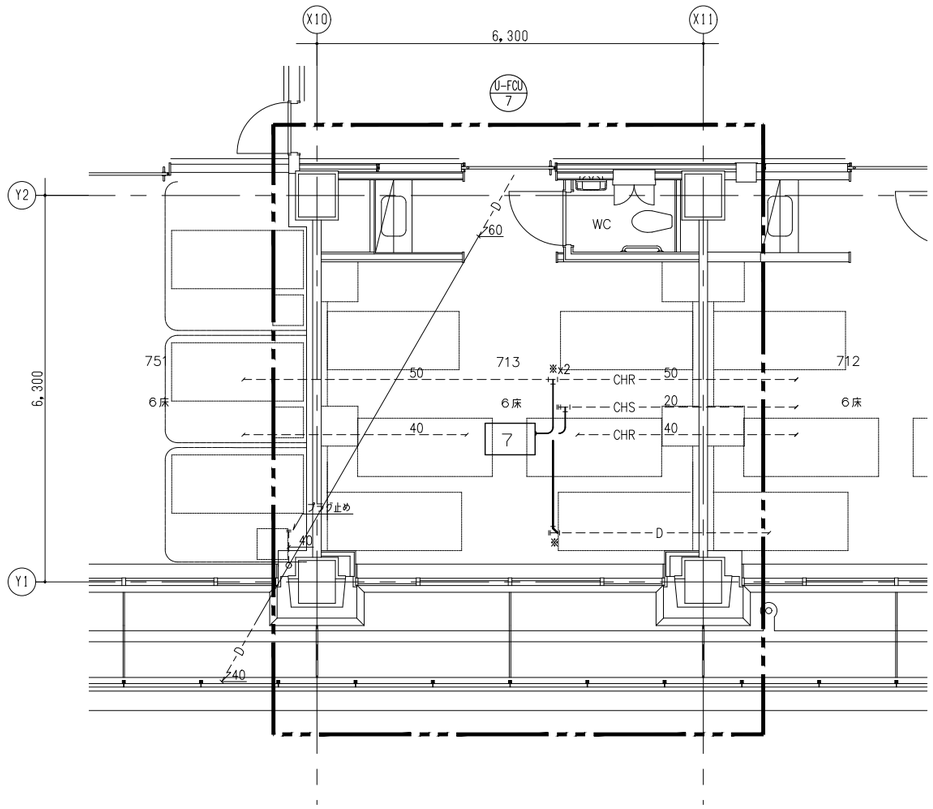
A1：1/50
A3：1/100

RM－018

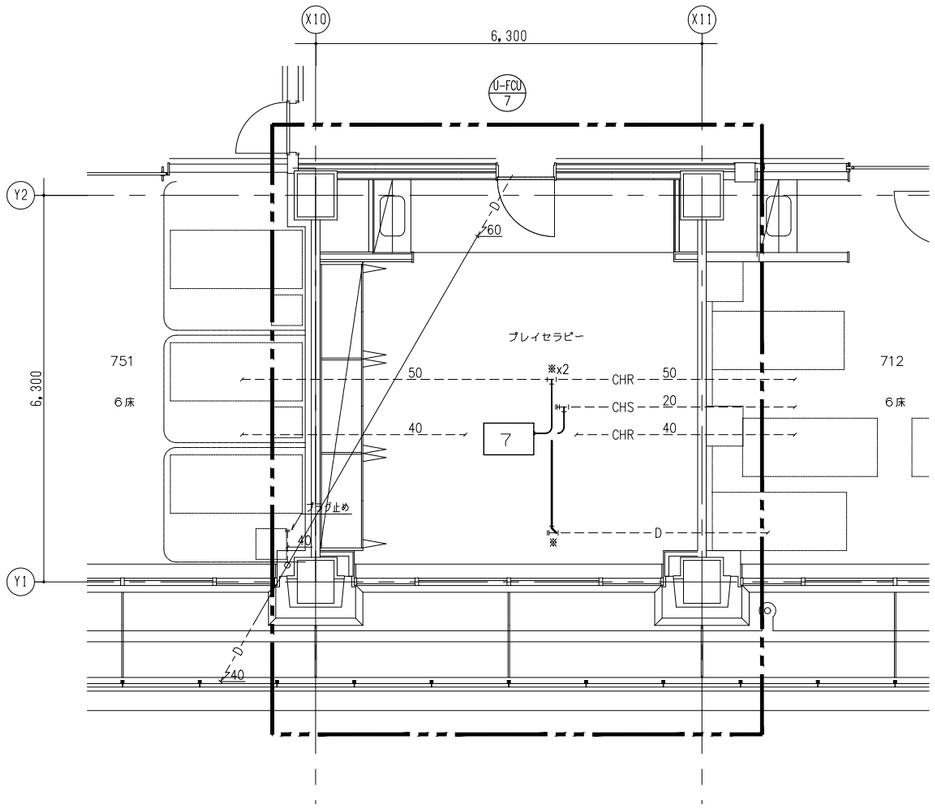


2階　内分泌・糖尿・腎内科詳細図


X15
X16
X17
6,300
6,300
Y4
Y3
Y2
Y1
8,000
6,300
待合
受付
（外来化学療法室）
WC-7
WC-8
WC1
WC2
HWC
診察室8A
診察室8B
面談室
27ブース
ﾍﾞｯﾄﾞ（5）、ﾁｪｱｰ（22）
ｽﾜｯﾌﾟｽﾃｰｼｮﾝ
U-FCU 15
U-FCU 1
U-FCU 3
U-FCU 1
U-FCU 1
U-FCU 1
U-FCU 1
U-FCU 3
U-FCU 3
U-FCU 3
U-FCU 1
U-FCU 1
U-FCU 1
U-FCU 1



7階　6床（713）詳細図（改修前）



7階　プレイセラピー詳細図（改修後）

注記 1. ［　］：改修範囲を示す。

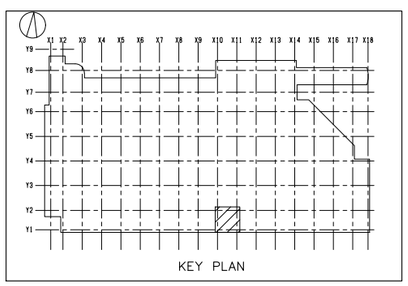
2.図中、配管の施工区分は下記の通りとする。
1）－－－－（点線部）は、既設機器・配管を示す。
2）――――（実線部）は、撤去機器・配管を示す。

3.7階の階高は4,700Hとする。
4.特記無きHS・HR・CS・CRは、20suとする。
5.特記無きドレン管は、32Aとする。
6.※：既設管切断箇所を示す。（冷水・温水は凍結工事共）
7.明記なき配管は天井配管とする。

注記 1. ［　］：改修範囲を示す。

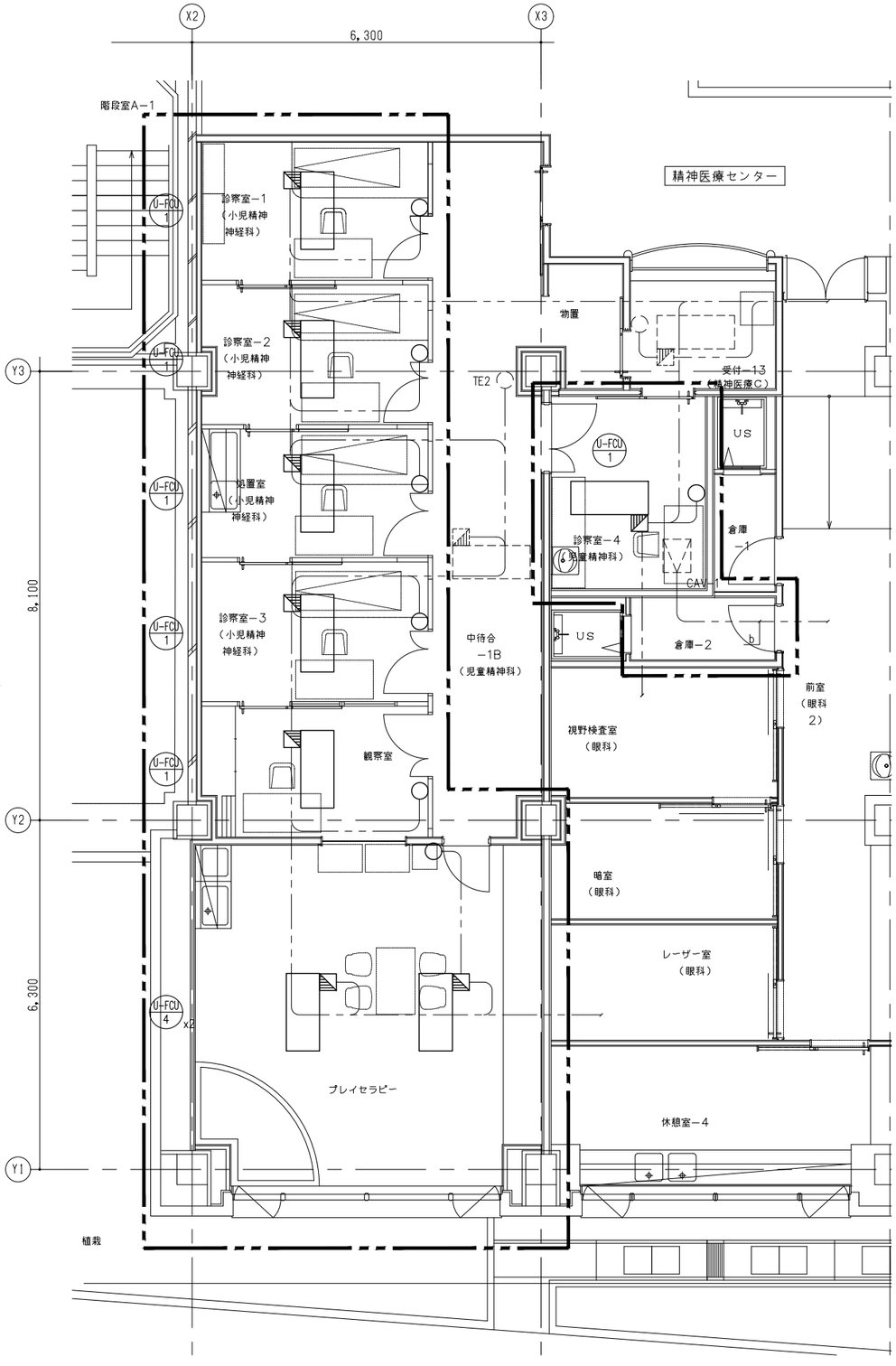
2.図中、配管の施工区分は下記の通りとする。
1）－－－－（点線部）は、既設機器・配管を示す。
2）――――（実線部）は、新設機器・配管を示す。

3.7階の階高は4,700Hとする。
4.※：既設管接続箇所を示す。
5.明記なき配管は天井配管とする。

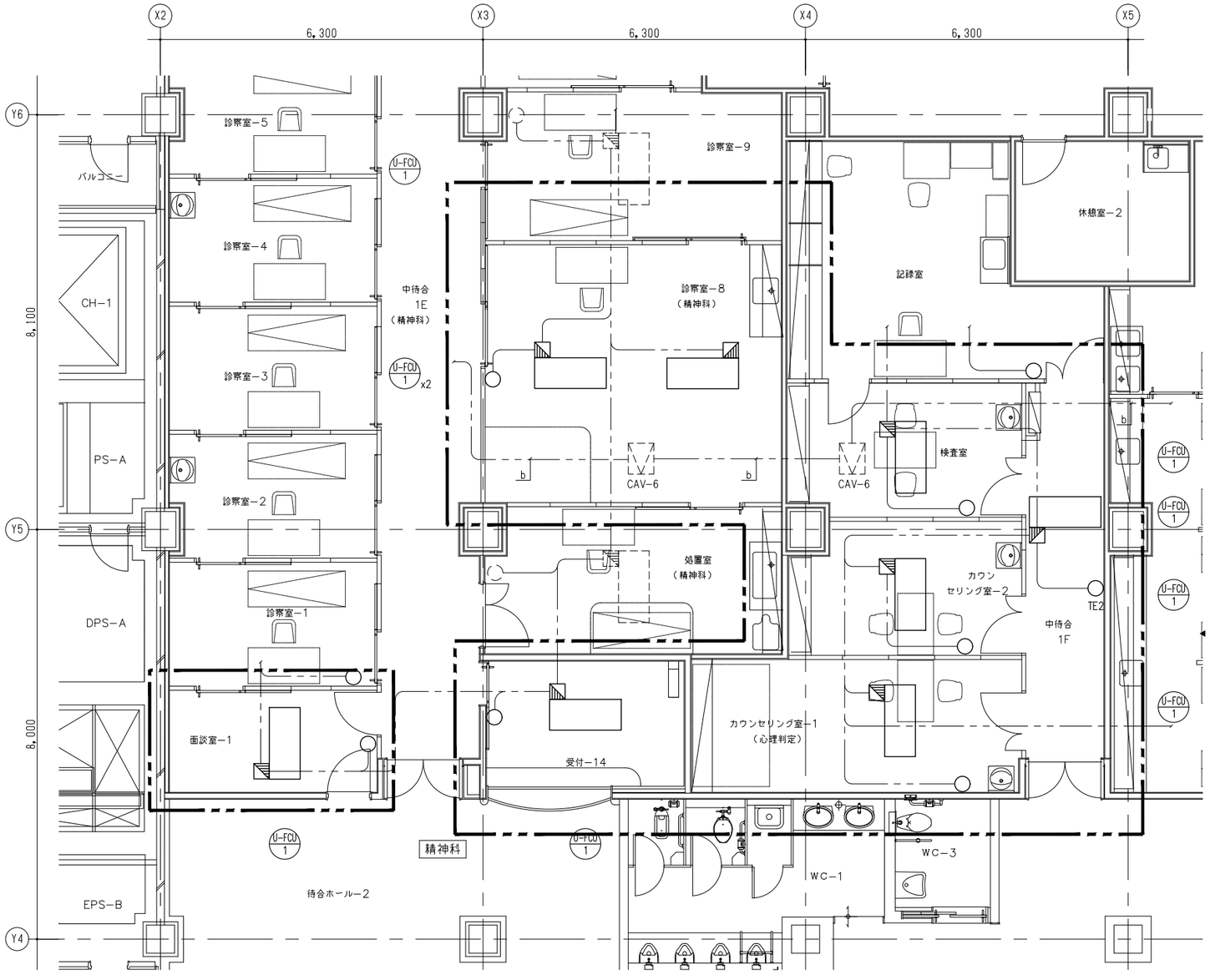


KEY PLAN

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡野　崇　　阿瀬貴裕　　丸山　信	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RM － 020
		空調設備　7階配管平面図（改修前・改修後）	A1：1/ 50 A3：1/100	

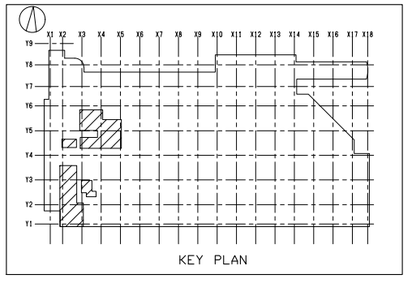


1階　小児精神科詳細図

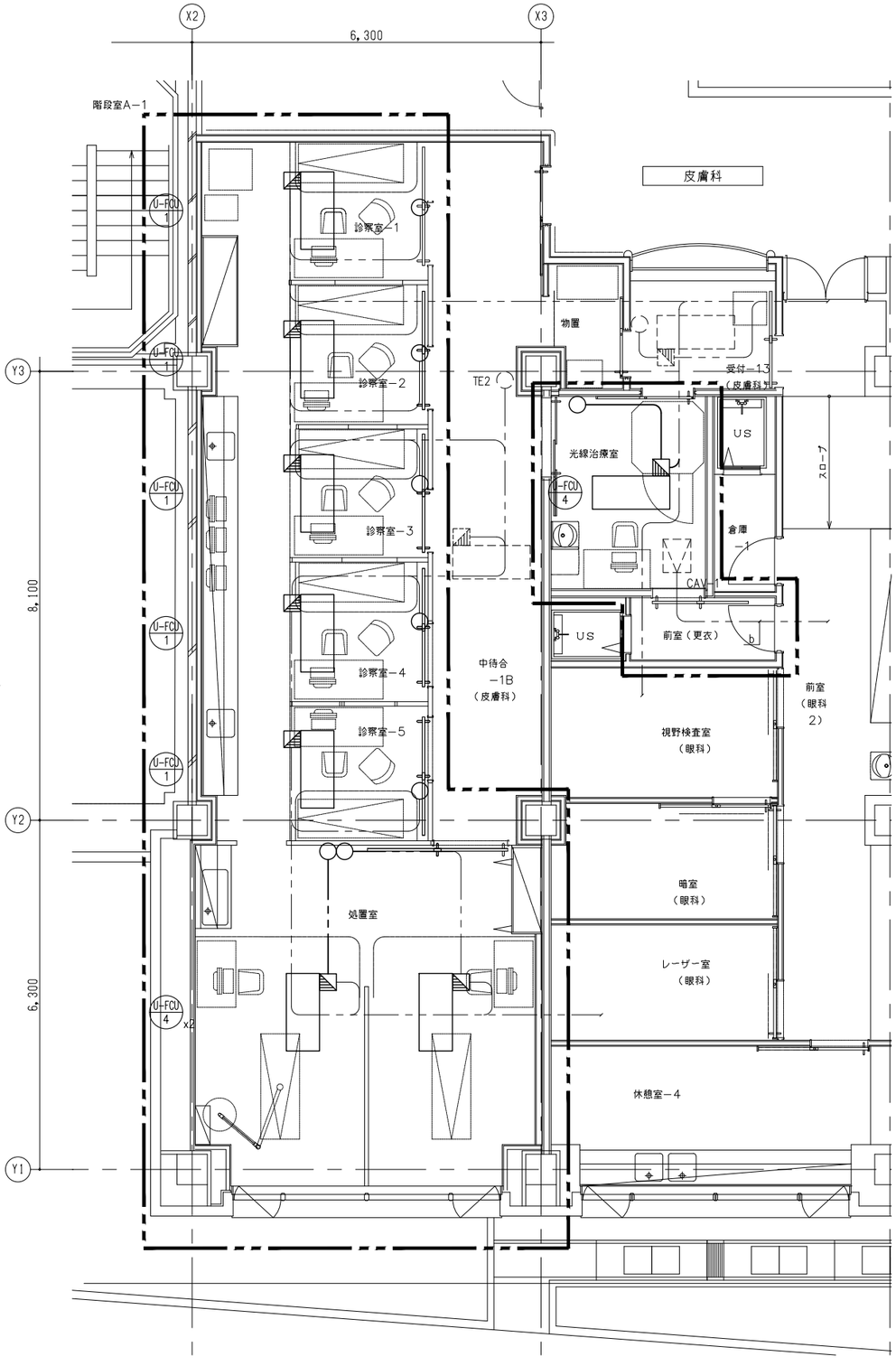


1階　精神科詳細図

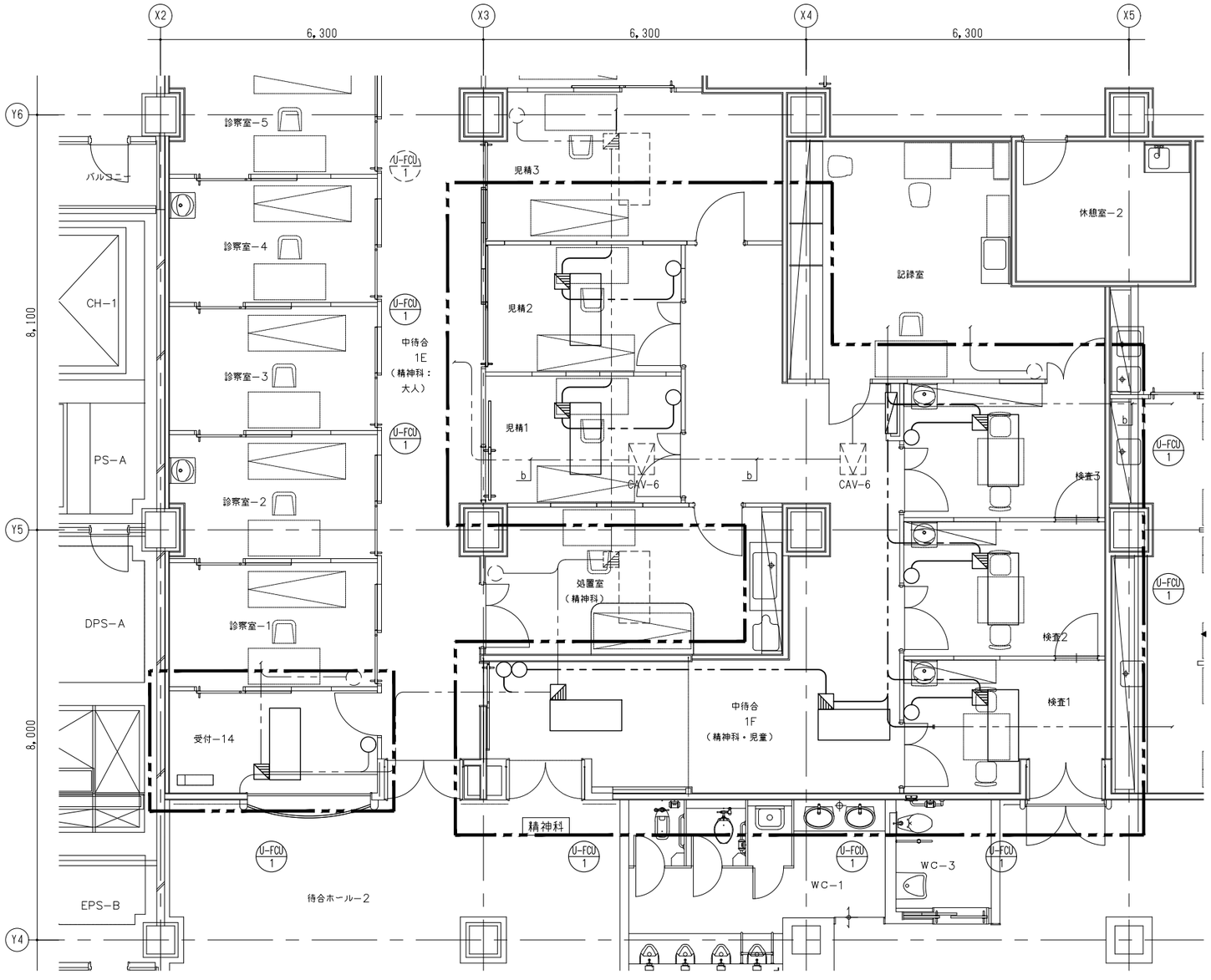
注記 1. □ : 改修範囲を示す。
2.自動制御機器は全て再利用とする。
3.1階の階高は6,000Hとする。



株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡野　崇　阿瀬貴裕　丸山　信	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RM－021
		自動制御設備　1階平面図（改修前）	A1：1/50 A3：1/100	

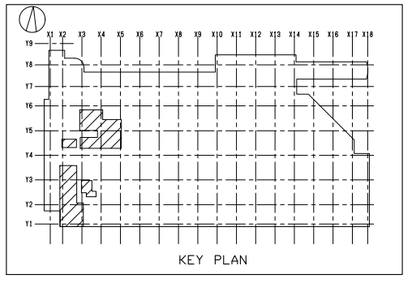


1階　皮膚科詳細図



1階　小児精神科詳細図

注記 1. □ : 改修範囲を示す。
2. 自動制御機器は全て再利用とする。
3. 1階の階高は6,000Hとする。



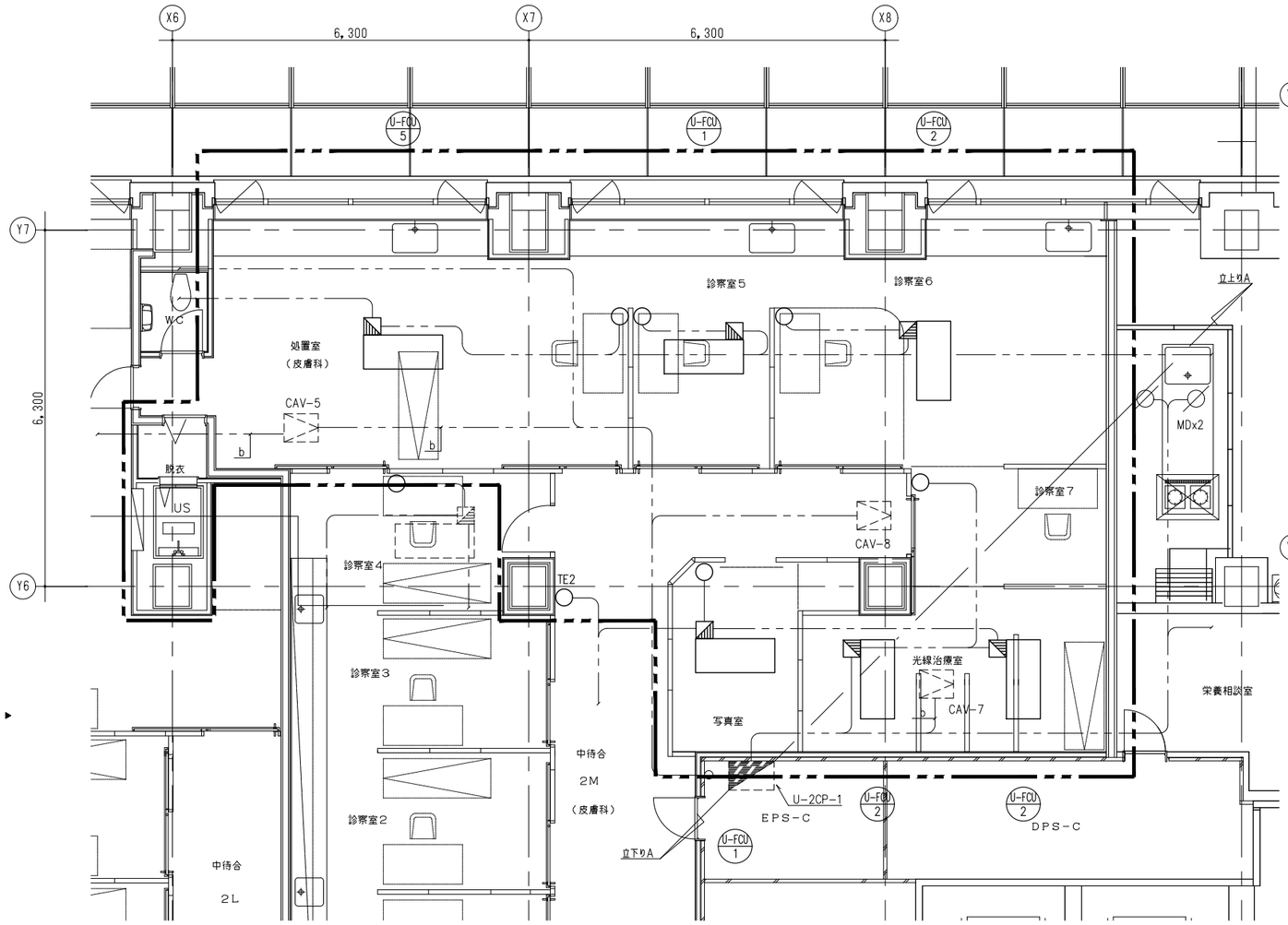
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　阿瀬貴裕　丸山　信

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

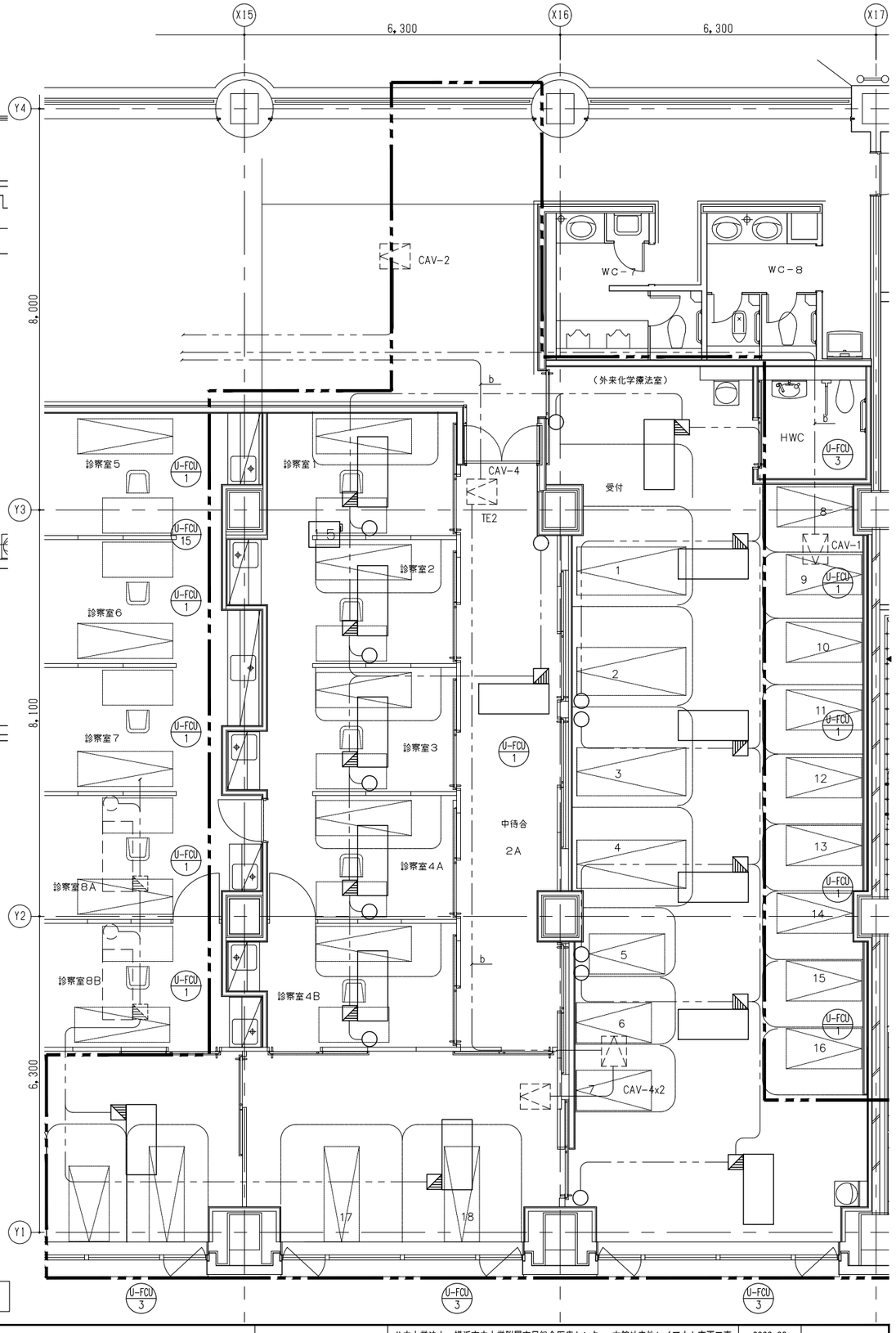
自動制御設備　1階平面図（改修後）

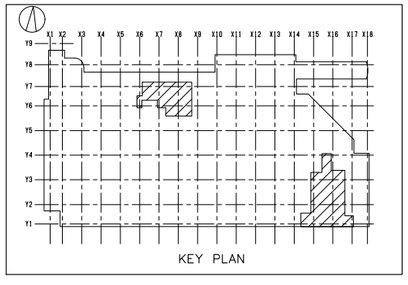
2022.03
A1：1/ 50
A3：1/100

RM－022



2階　皮膚科詳細図



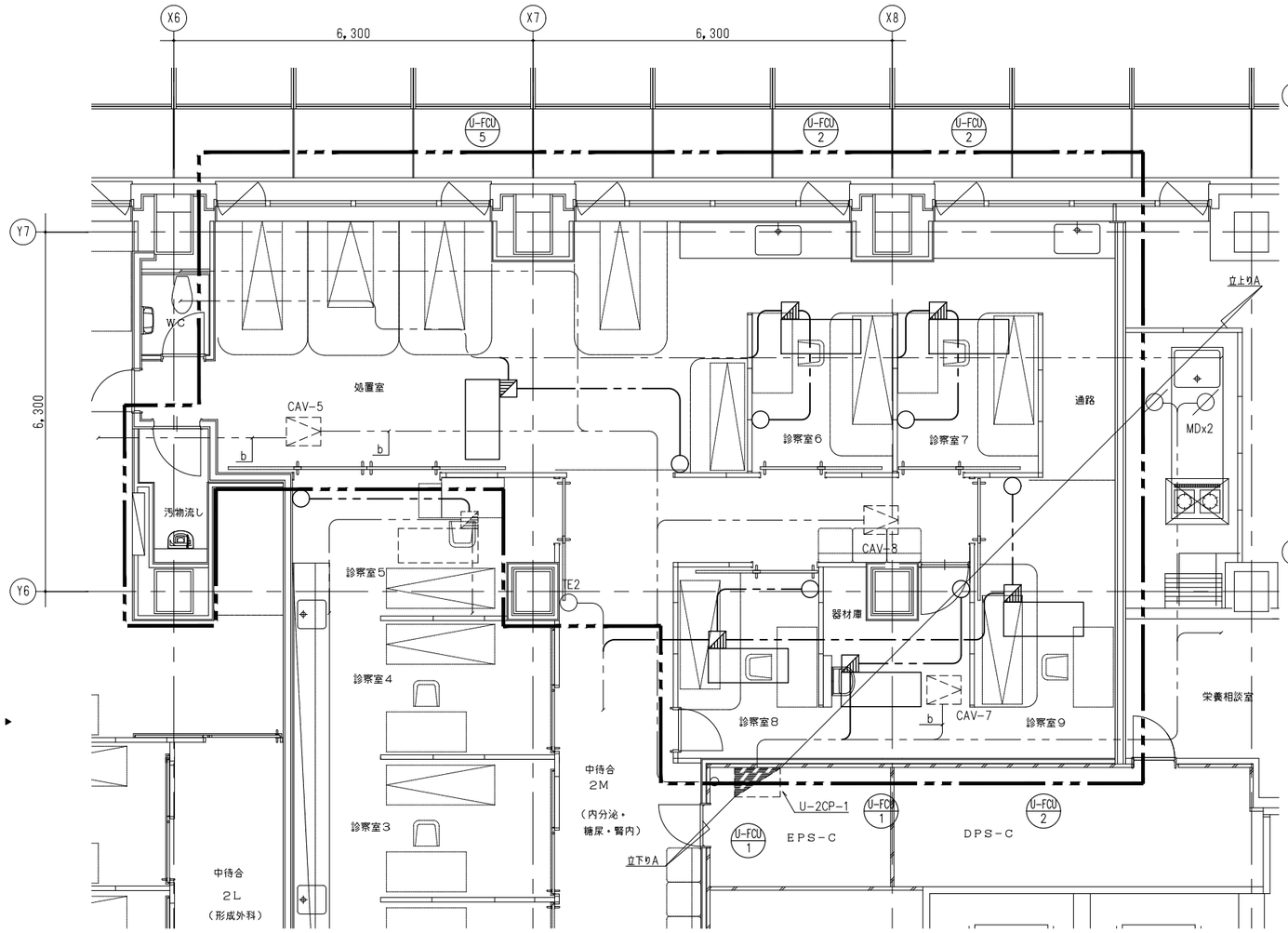


KEY PLAN

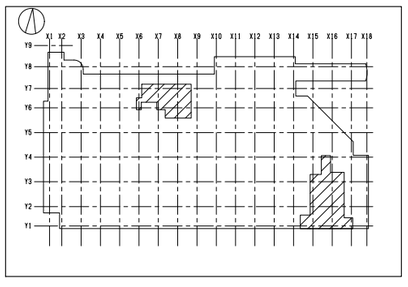
注記 1. ：改修範囲を示す。
2.自動制御機器は全て再利用とする。
3.2階の階高は5,850Hとする。

2階　化学療法室詳細図

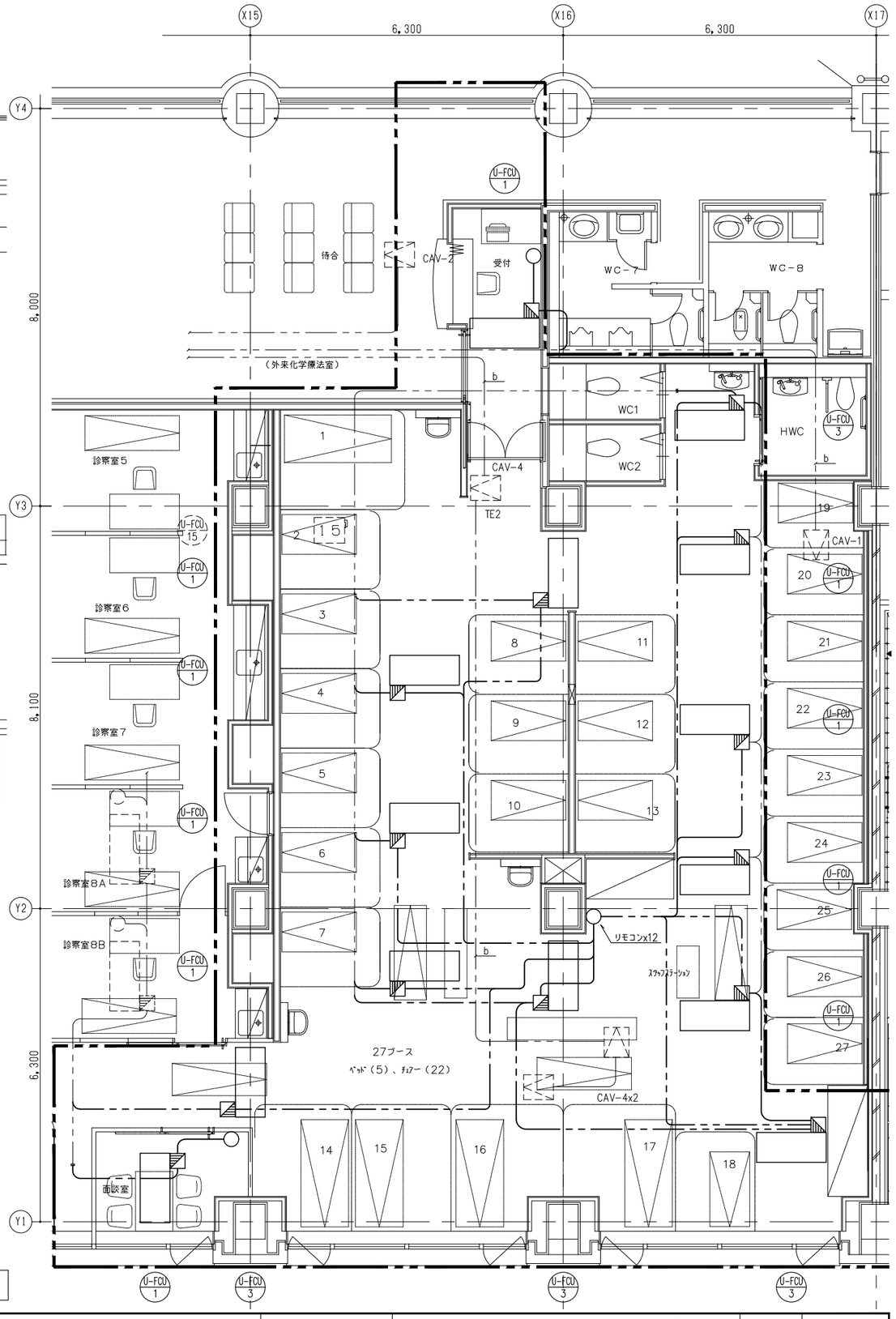
株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡野　崇　阿瀬貴裕　丸山　信	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事 自動制御設備　2階平面図（改修前）	2022.03 A1：1/ 50 A3：1/100	RM － 023



2階　内分泌・糖尿・腎内科詳細図

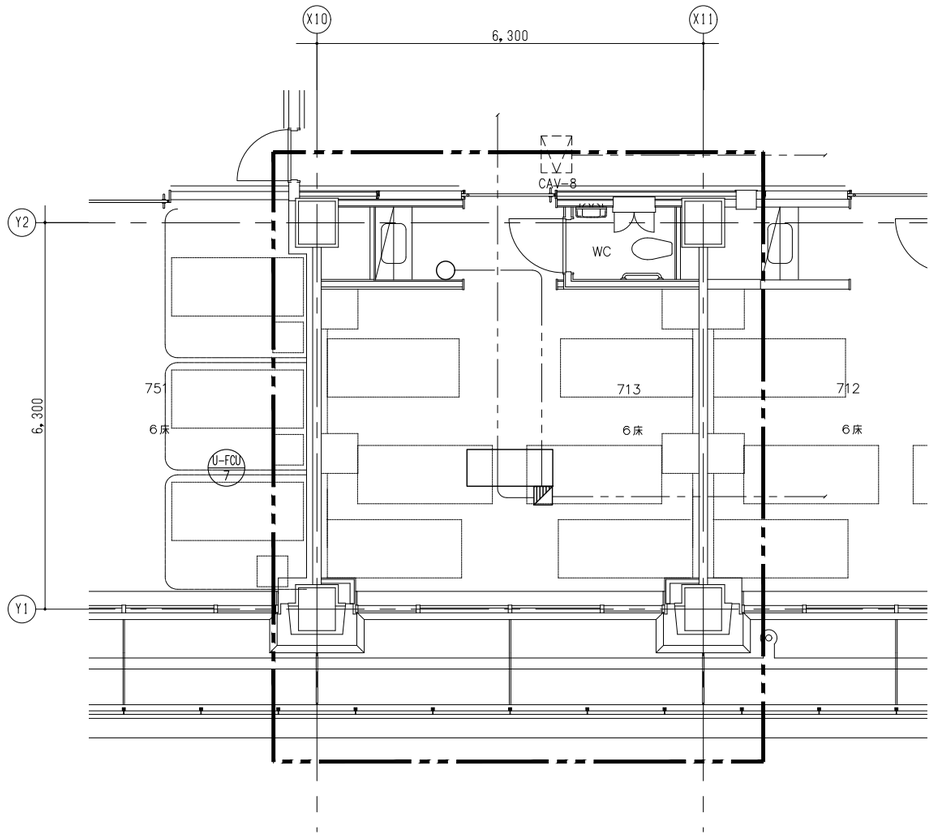


注記 1. [ ]：改修範囲を示す。
2.自動制御機器は全て再利用とする。
3.2階の階高は5,850Hとする。



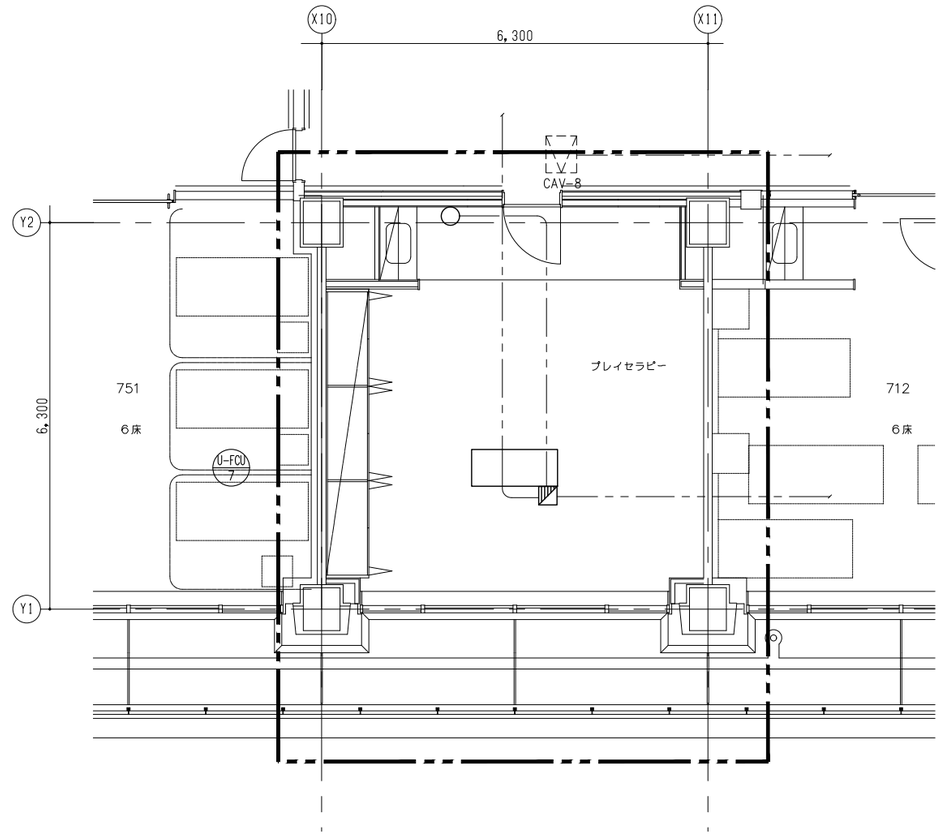
2階　化学療法室詳細図

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡野　崇　阿瀬貴裕　丸山　信	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事 自動制御設備　2階平面図（改修後）	2022.03 A1：1/ 50 A3：1/100	RM－024



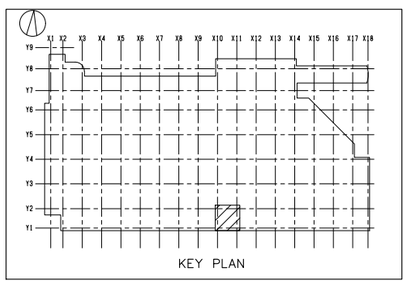
7階　6床（713）詳細図（改修前）

注記 1. ：改修範囲を示す。
2.自動制御機器は全て再利用とする。
3.7階の階高は4,700Hとする。



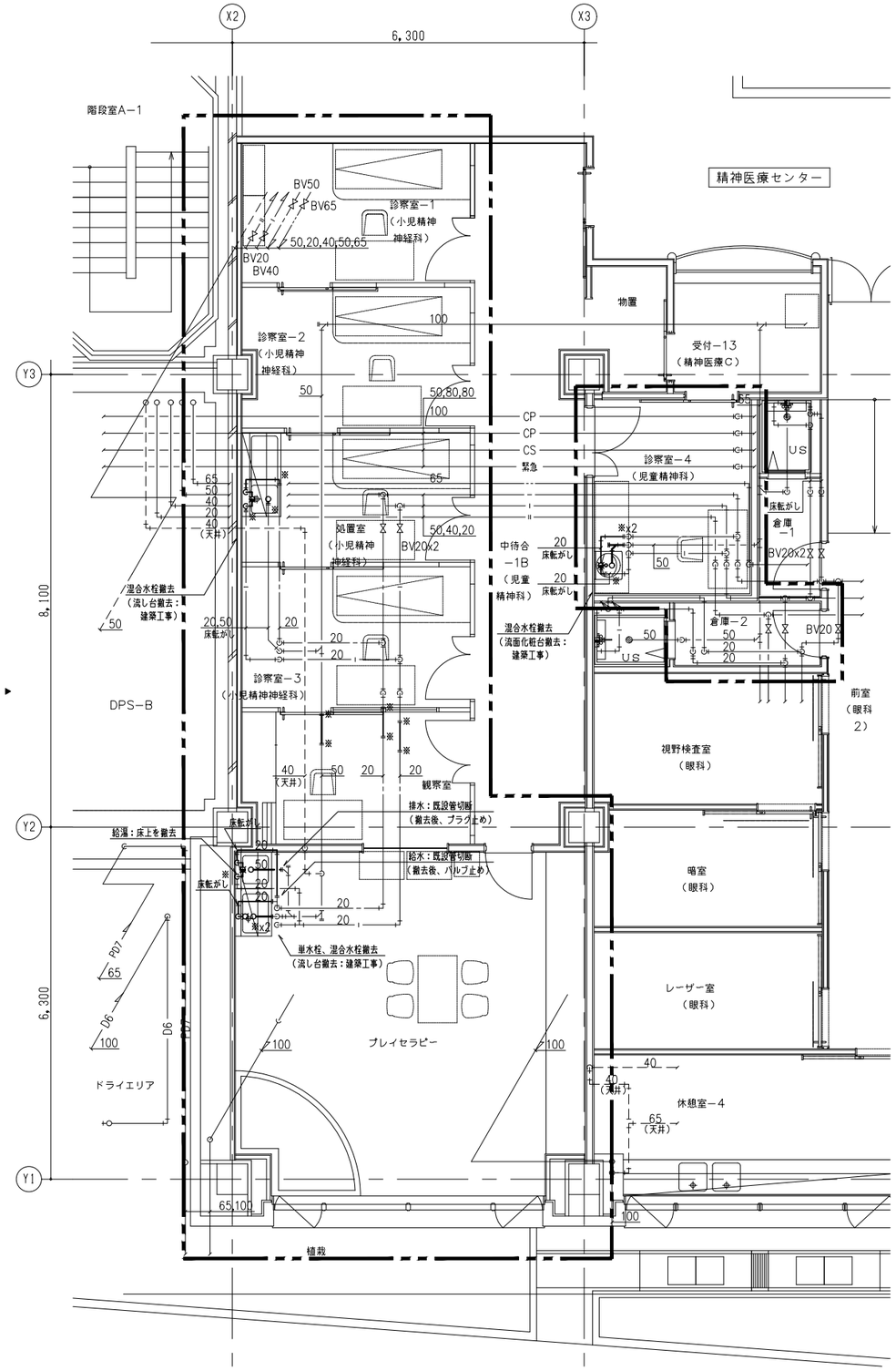
7階　プレイセラピー詳細図（改修後）

注記 1. ：改修範囲を示す。
2.自動制御機器は全て再利用とする。
3.7階の階高は4,700Hとする。

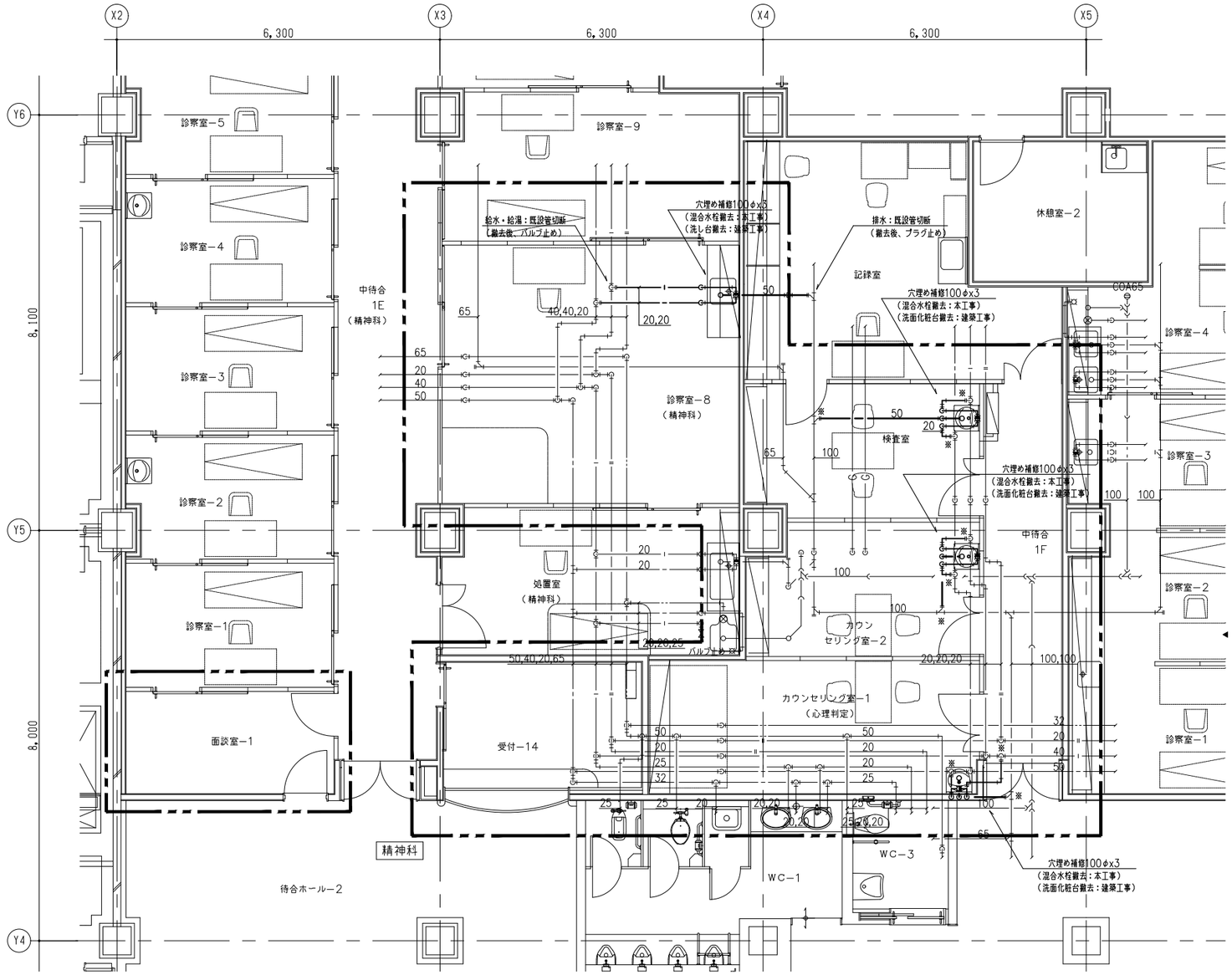


KEY PLAN

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡　野　崇　　阿　瀬　貴　裕　　丸　山　信	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RM － 025
		自動制御設備　７階平面図（改修前・改修後）	A1：1/ 50 A3：1/100	



1階　小児精神科詳細図



1階　精神科詳細図

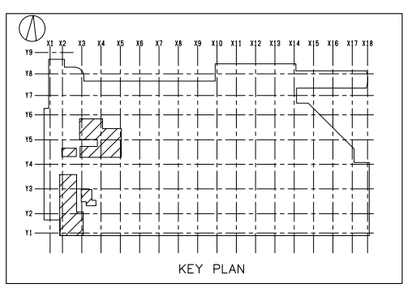
注記 1. ：改修範囲を示す。

2.図中、配管の施工区分は下記の通りとする。
1）――（細線部）は、既設機器・配管を示す。
2）――（太線部）は、撤去機器・配管を示す。

3.1階の階高は6,000Hとする。

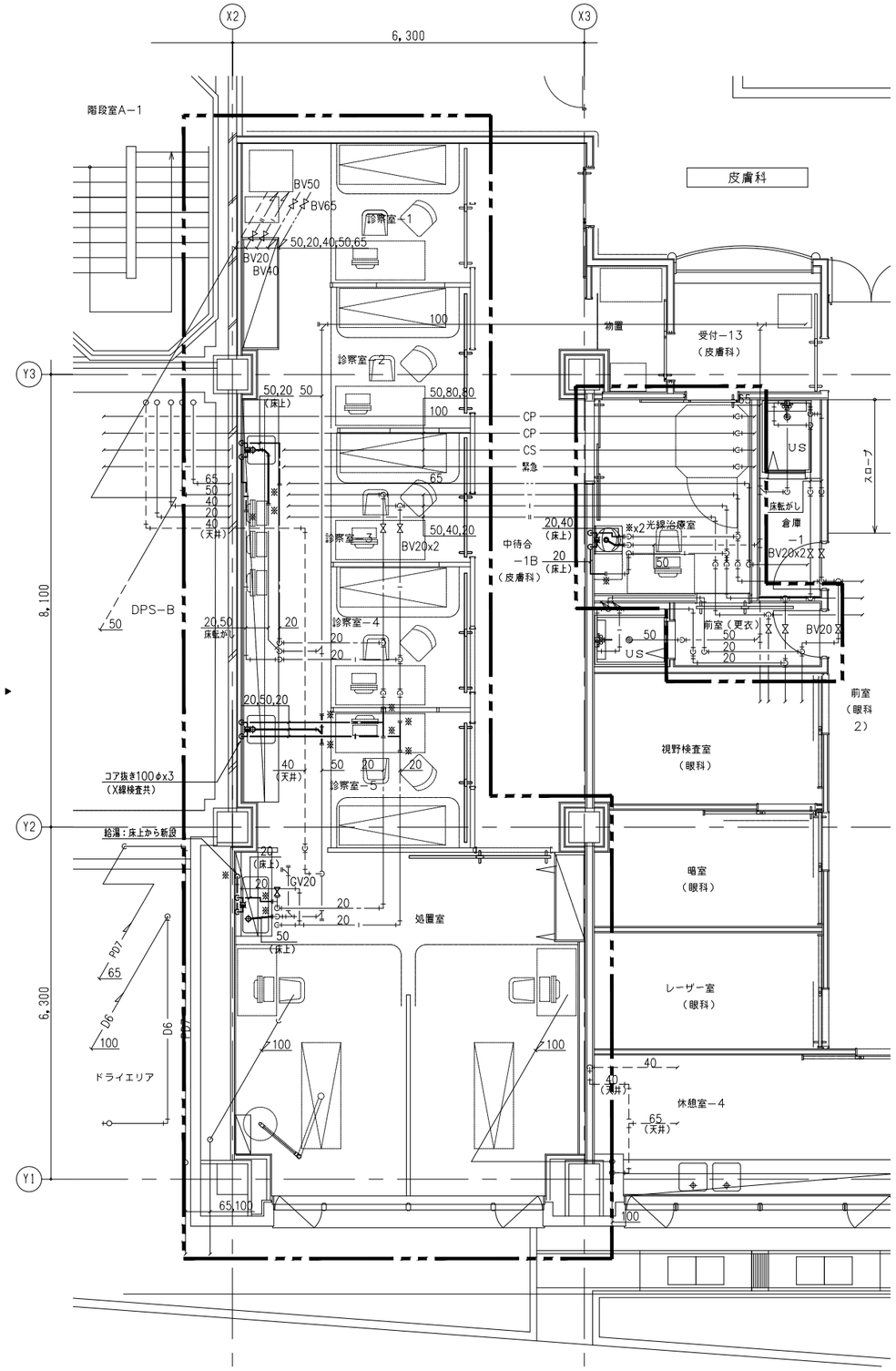
4.※：既設管切断箇所を示す。（給水・給温は凍結工事共）

5.明記なき配管は床下配管とする。

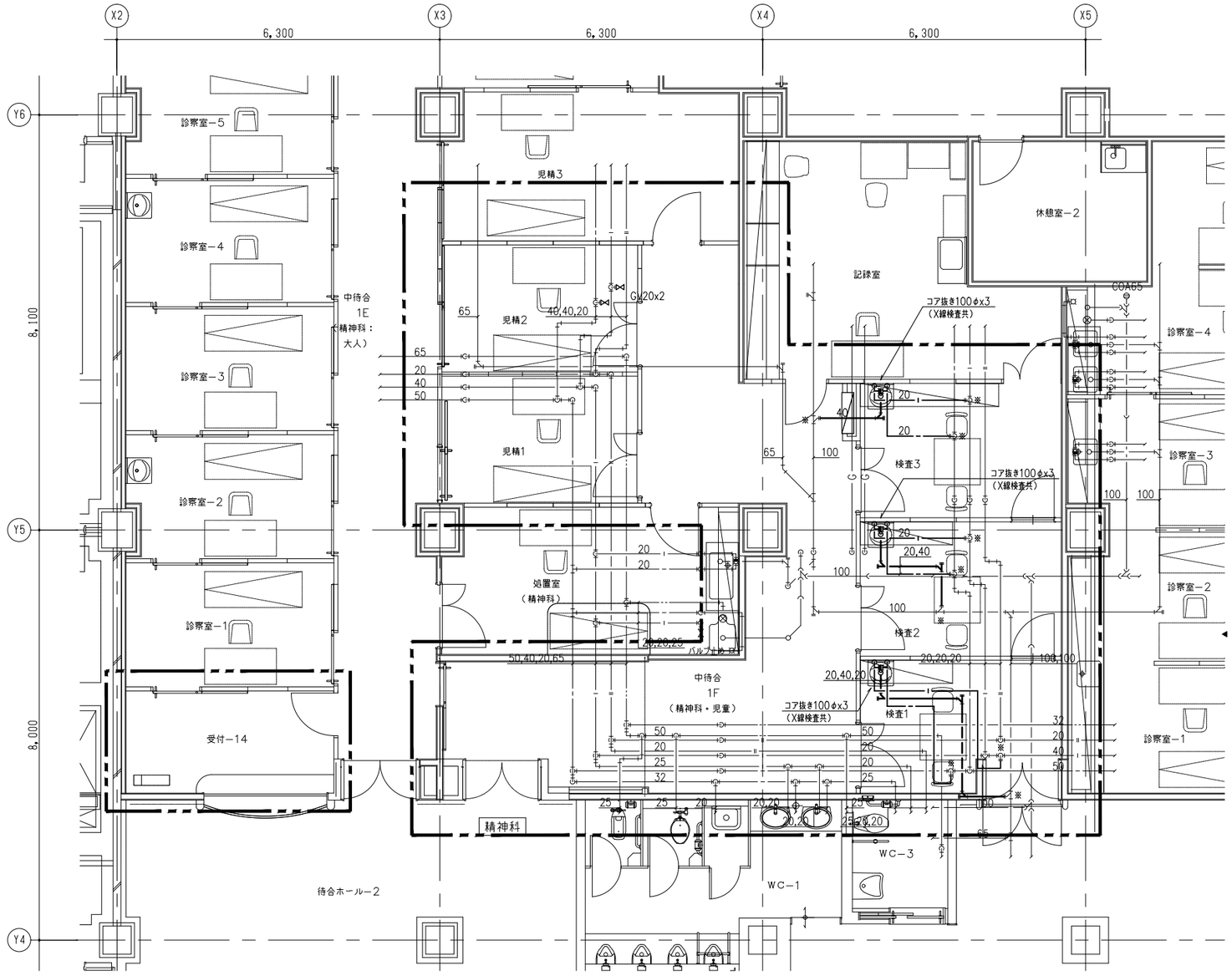


KEY PLAN

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡野　崇　阿瀬貴裕　丸山　信	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事 衛生設備　1階平面図（改修前）	2022.03 A1：1/ 50 A3：1/100	RM − 026



1階　皮膚科詳細図

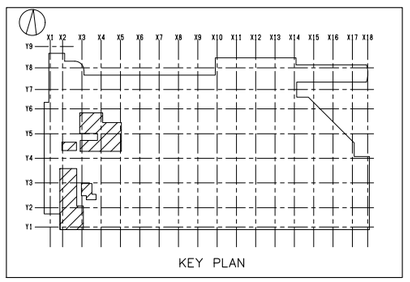


1階　小児精神科詳細図

新設器具表　※各接続金具、その他標準付属品は一式込みとする。　※鏡、手すりなどは建築工事とする。

器具名	品番（参考型番 TOTO）	付属品	皮膚科 処置室	皮膚科 光線治療室		小児精神科 検査1〜3		合計	備考（AC100V）
センサー式レバー	TEK34UPAS		3					3	4W
混合水栓									
洗面化粧台	（建築工事）	LDA606BYR、自動混合水栓付		(1)		(3)		(4)	0.6W
流し台	（建築工事）		(3)					(3)	

注記 1. ：改修範囲を示す。
2.図中、配管の施工区分は下記の通りとする。
1）――（細線部）は、既設機器・配管を示す。
2）――（太線部）は、新設機器・配管を示す。
3.1階の階高は6,000Hとする。
4.※：既設管接続箇所を示す。
5.明記なき配管は床下配管とする。



KEY PLAN

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

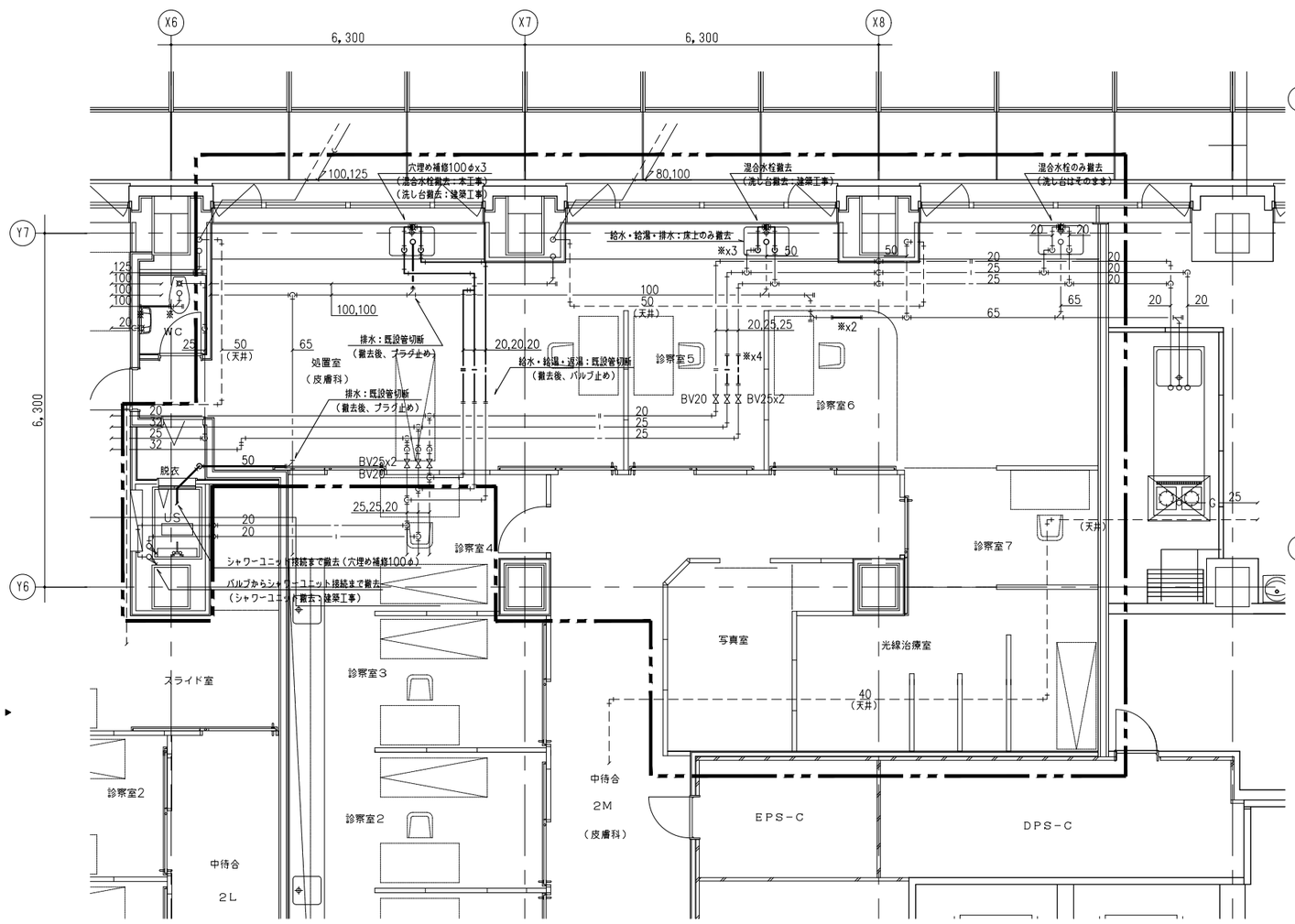
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　　阿瀬貴裕　　丸山　信

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

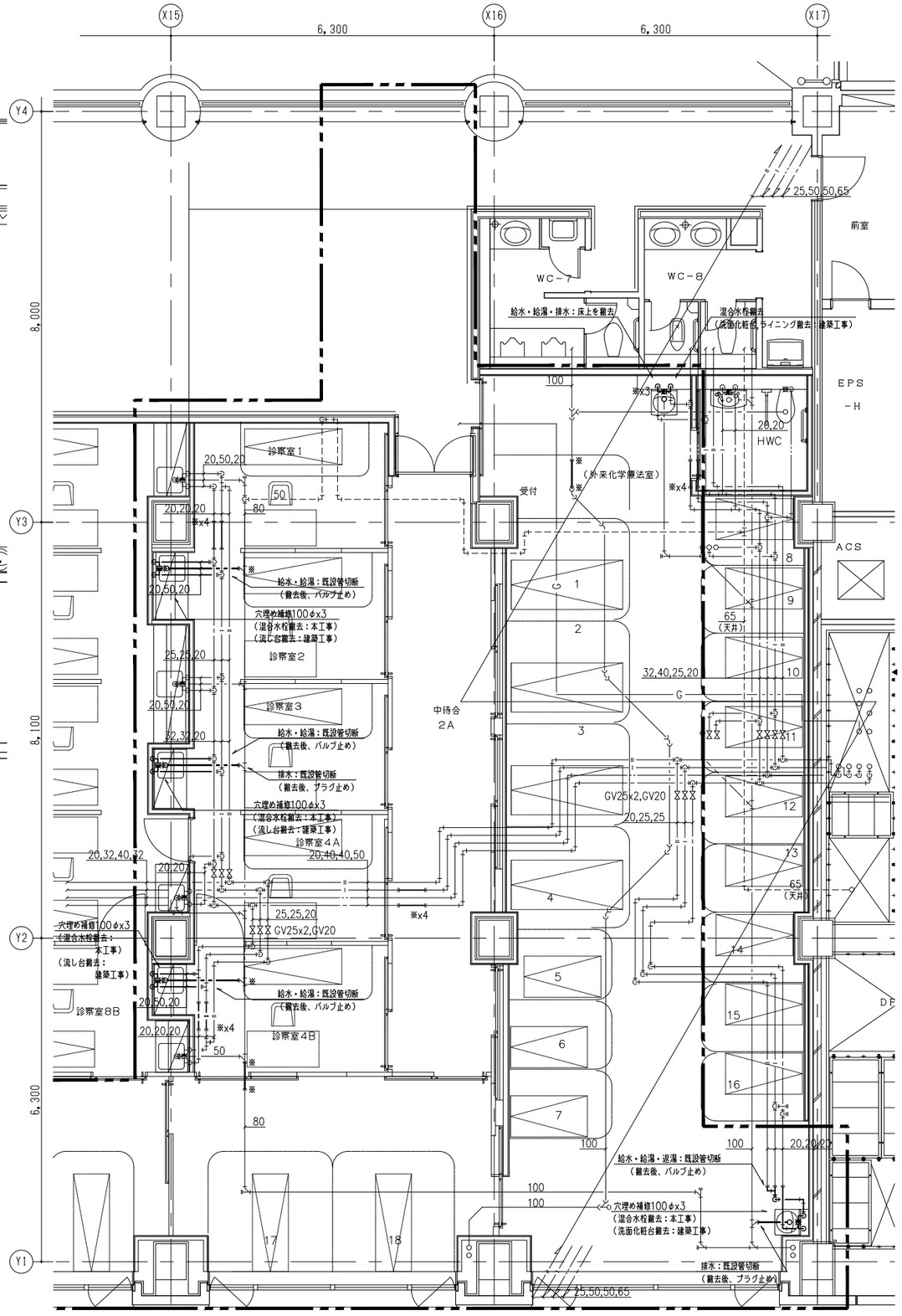
衛生設備　1階平面図（改修後）

2022.03
A1：1/ 50
A3：1/100

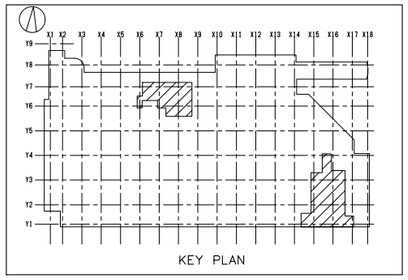
RM − 027



2階　皮膚科詳細図



2階　化学療法室詳細図



注記 1. ［ ］：改修範囲を示す。

2.図中、配管の施工区分は下記の通りとする。
1）――（細線部）は、既設機器・配管を示す。
2）――（太線部）は、撤去機器・配管を示す。

3.2階の階高は5,850Hとする。

4.※：既設管切断箇所を示す。（給水・給湯は凍結工事共）

5.明記なき配管は床下配管とする。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

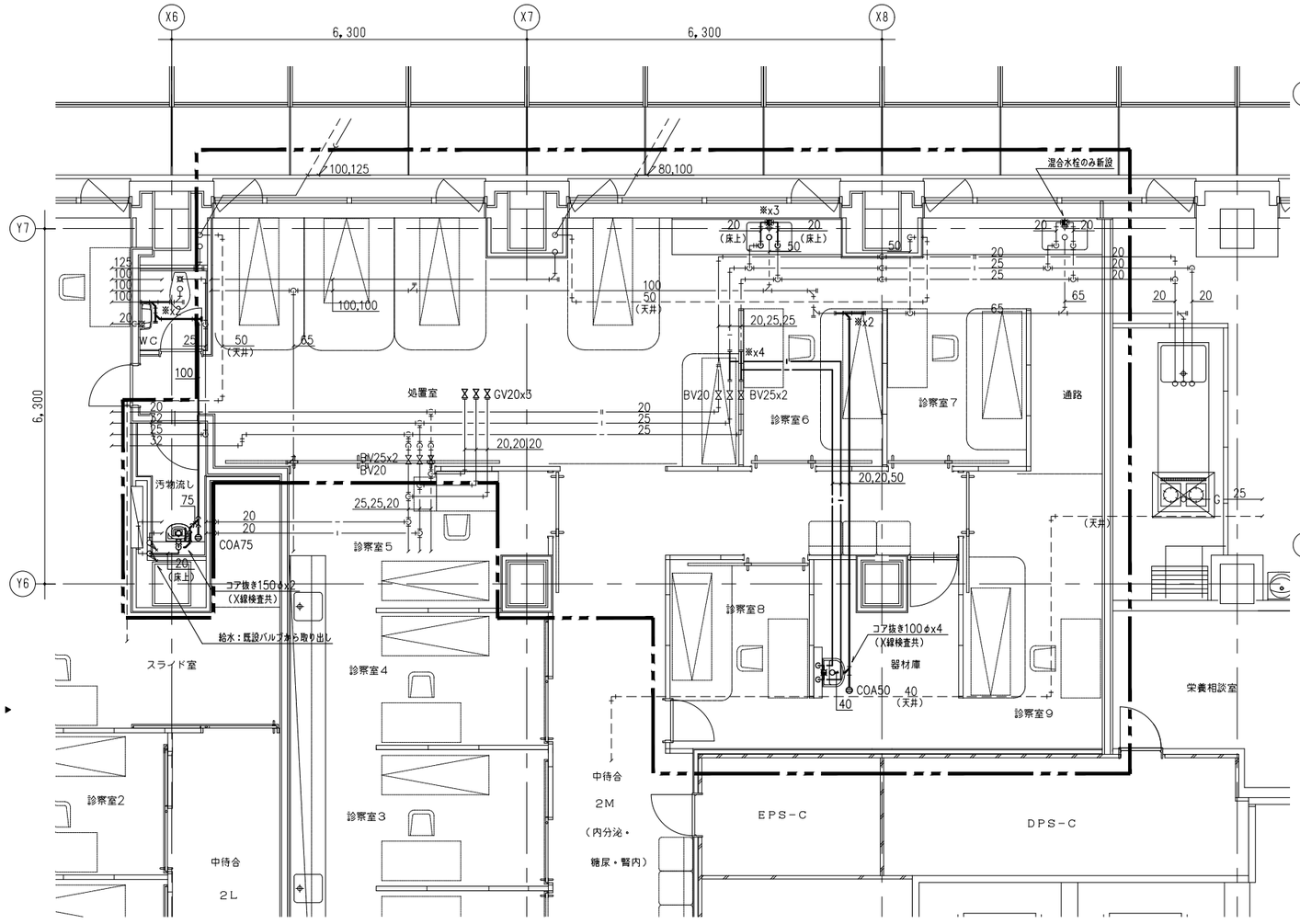
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　阿瀬貴裕　丸山　信

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

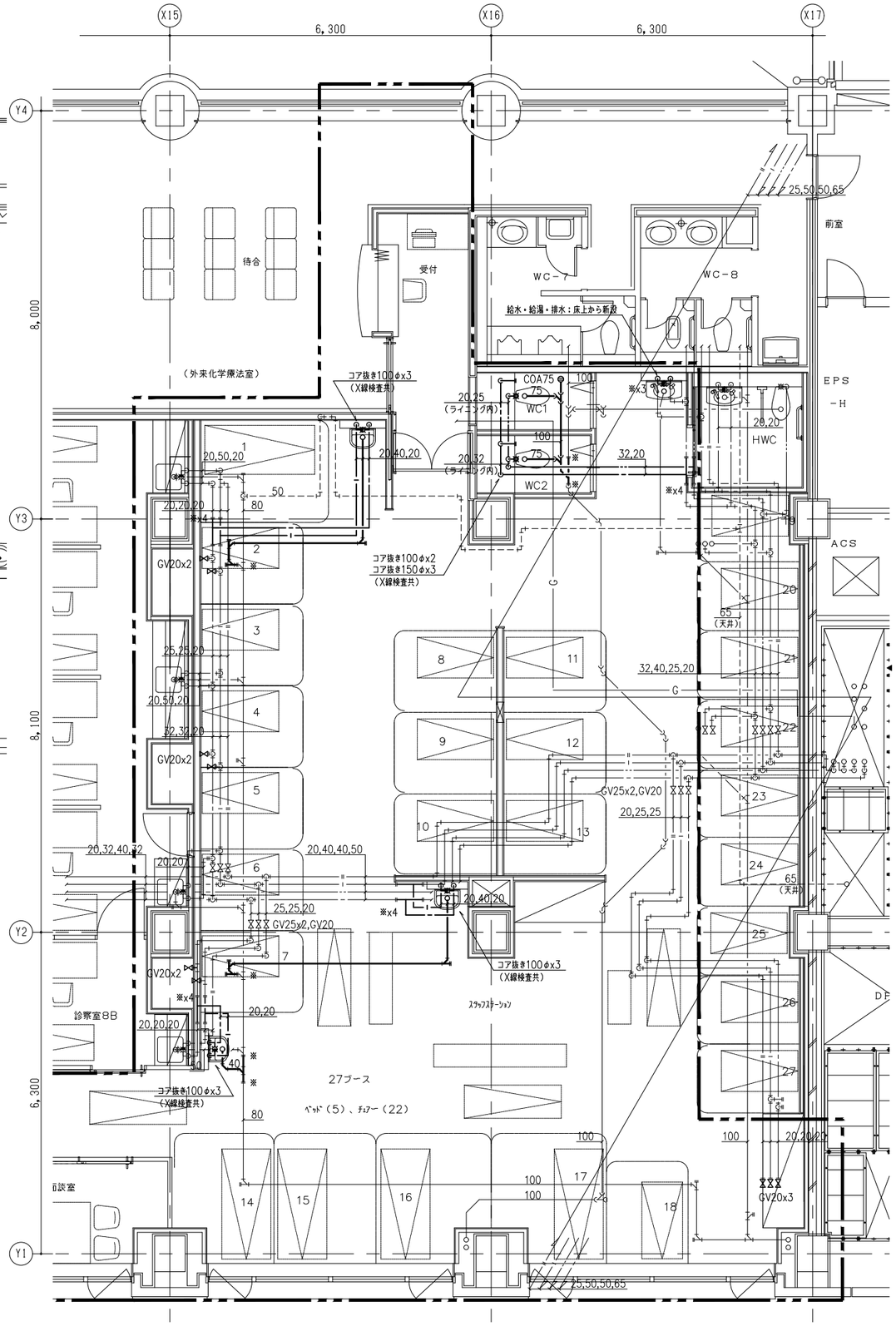
衛生設備　２階平面図（改修前）

2022.03
A1：1/ 50
A3：1/100

RM－028



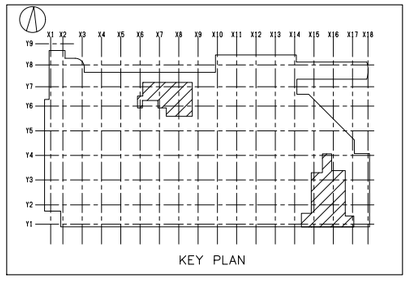
2階　内分泌・糖尿・腎内科詳細図



2階　化学療法室詳細図

新設器具表　※各接続金具、その他標準付属品は一式込みとする。　※鏡、手すりなどは建築工事とする。

器具名	品番（参考型番 TOTO）	付属品	内分泌 汚物流し	内分泌 処置室	内分泌 器具庫	化学療法室	化学療法室 WC1	化学療法室 WC2	合計	備考 (AC100V)
洋風大便器（壁掛）	UAXC3CSN	TCF5830AUS（ウォシュレット）,YH702（棚付二連紙巻器）					1	1	2	1,262W
汚物流し（壁掛）	UAS23B	ライニング付（ロータンク式,タッチスイッチ,レバー式自在水栓付）	1						1	
センサー式レバー	TEK34UPAS			2					2	4W
混合水栓										
スタッフ用手洗器	LS850EPA	自動混合水栓付			1	3			4	0.6W
洗面器（壁掛）	L270CM	TEN87G1（自動混合水栓）,TLK05202J（水石けん入れ）				1			1	0.6W
流し台	（建築工事）			(1)					(1)	



注記 1. [ ]：改修範囲を示す。
2. 図中、配管の施工区分は下記の通りとする。
1）——（細線部）は、既設機器・配管を示す。
2）——（太線部）は、新設機器・配管を示す。
3. 2階の階高は5,850Hとする。
4. ※：既設管接続箇所を示す。
5. 明記なき配管は床下配管とする。

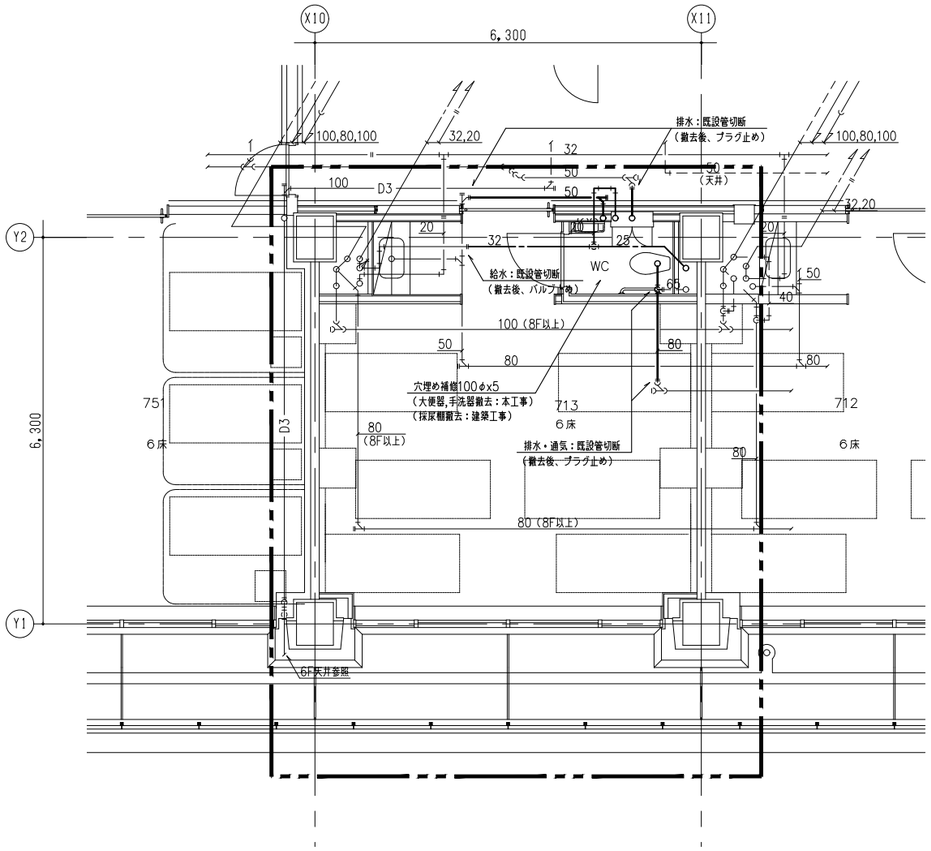
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　阿瀬貴裕　丸山　信

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

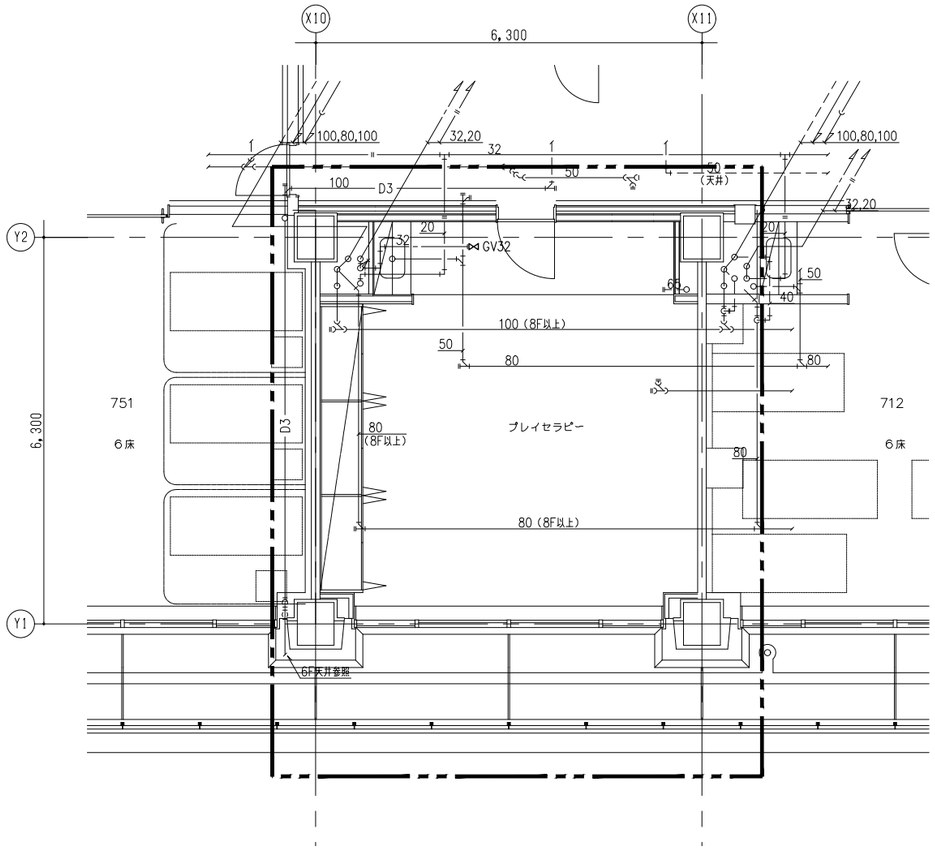
衛生設備　2階平面図（改修後）

2022. 03
A1：1/ 50
A3：1/100

RM－029



7階　6床（713）詳細図（改修前）



7階　プレイセラピー詳細図（改修後）

注記 1. ：改修範囲を示す。

2.図中、配管の施工区分は下記の通りとする。
1）――――（細線部）は、既設機器・配管を示す。
2）――――（太線部）は、撤去機器・配管を示す。

3.7階の階高は4,700Hとする。

4.※：既設管切断箇所を示す。（給水・給温は凍結工事共）

5.明記なき配管は床下配管とする。

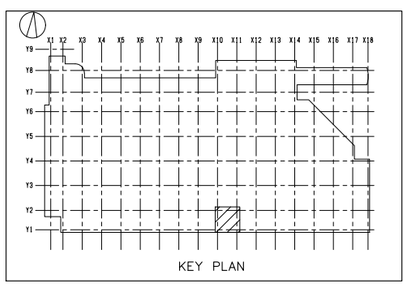
注記 1. ：改修範囲を示す。

2.図中、配管の施工区分は下記の通りとする。
1）――――（細線部）は、既設機器・配管を示す。
2）――――（太線部）は、新設機器・配管を示す。

3.7階の階高は4,700Hとする。

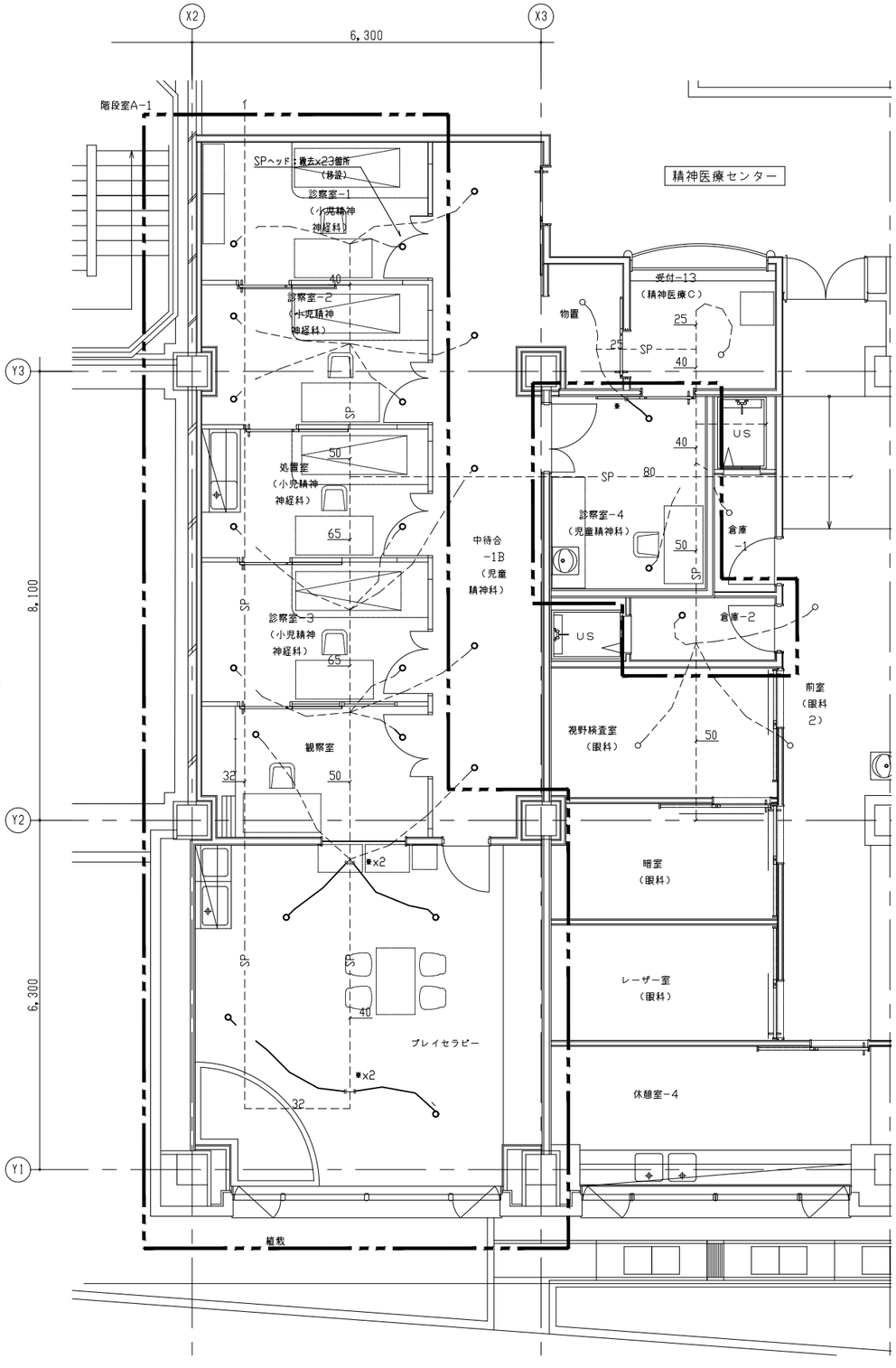
4.※：既設管接続箇所を示す。

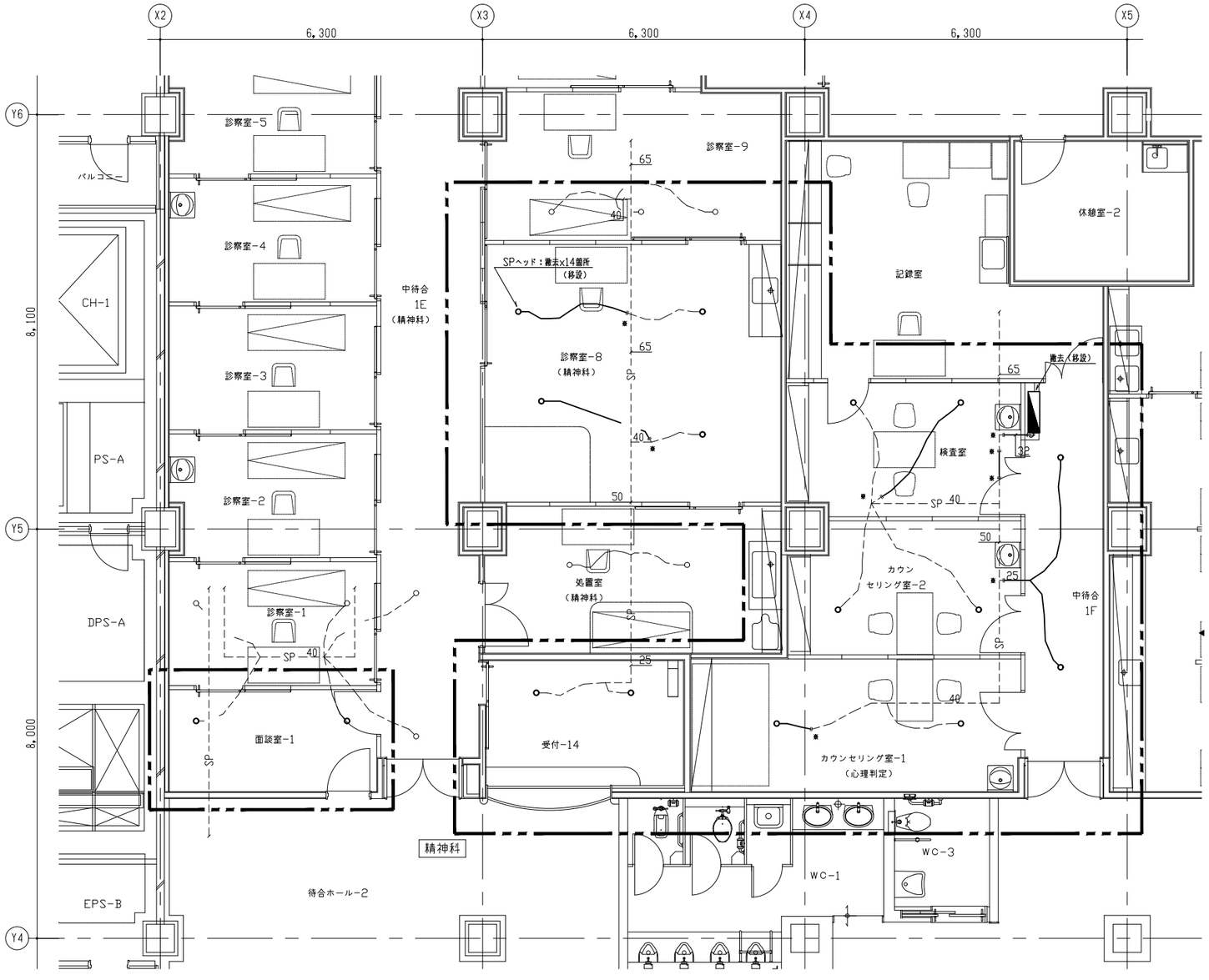
5.明記なき配管は床下配管とする。



KEY PLAN

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡野　崇　　阿瀬貴裕　　丸山　信	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RM － 030
		衛生設備　7階平面図（改修前・改修後）	A1：1/ 50 A3：1/100	





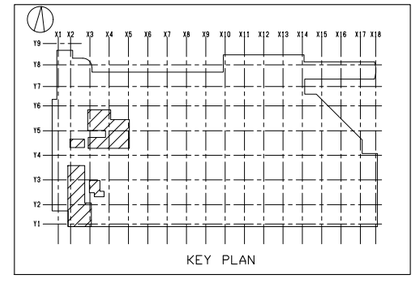
注記 1. [ ]：改修範囲を示す。

2.図中、配管の施工区分は下記の通りとする。
1）－－－－（点線部）は、既設機器・配管を示す。
2）――――（実線部）は、撤去機器・配管を示す。

3.1階の階高は6,000Hとする。

4.✱：既設管切断箇所を示す。

5.明記なき配管は天井配管を示す。



株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　阿瀬貴裕　丸山　信

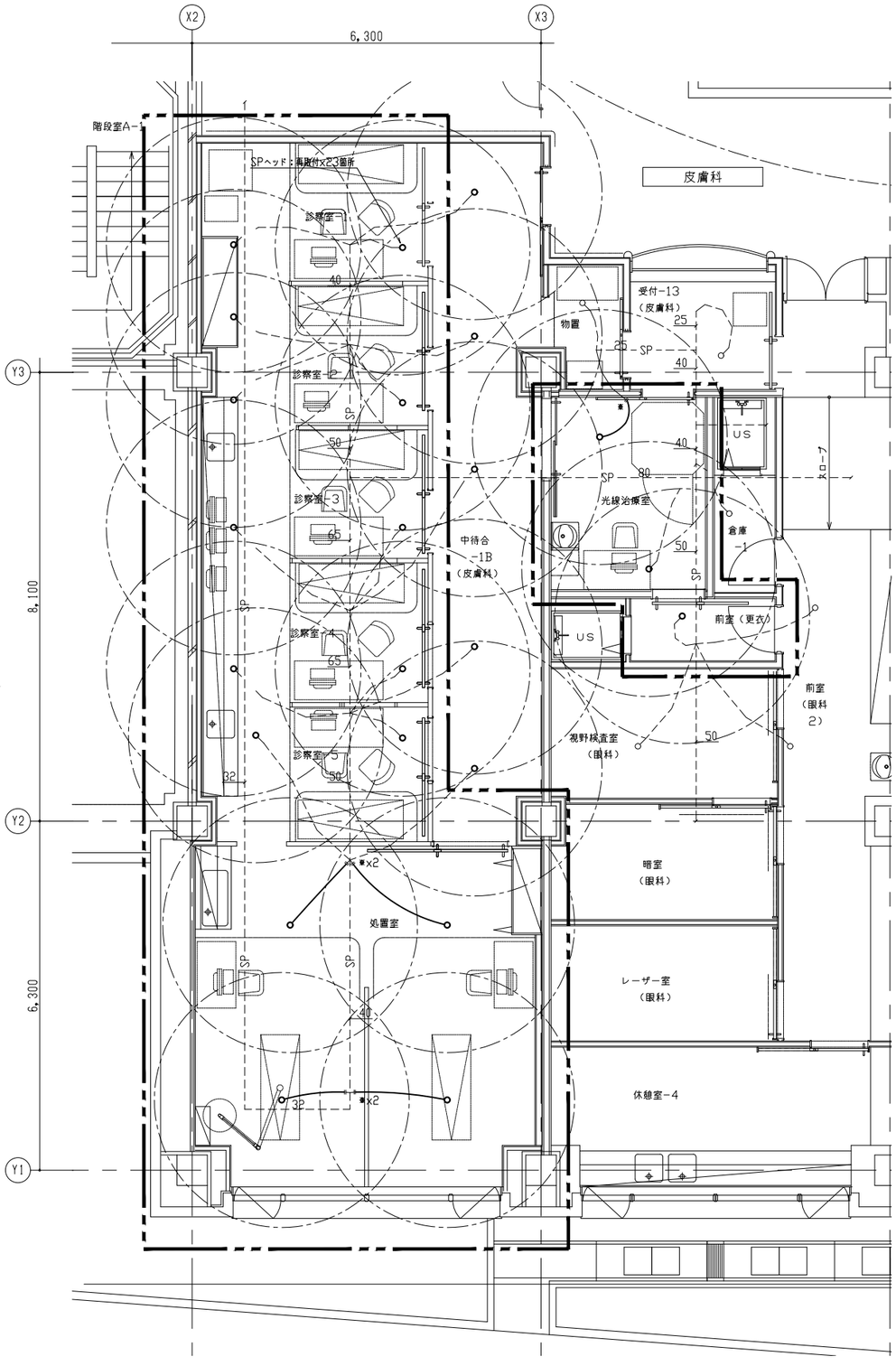
公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

消火設備　1階平面図（改修前）

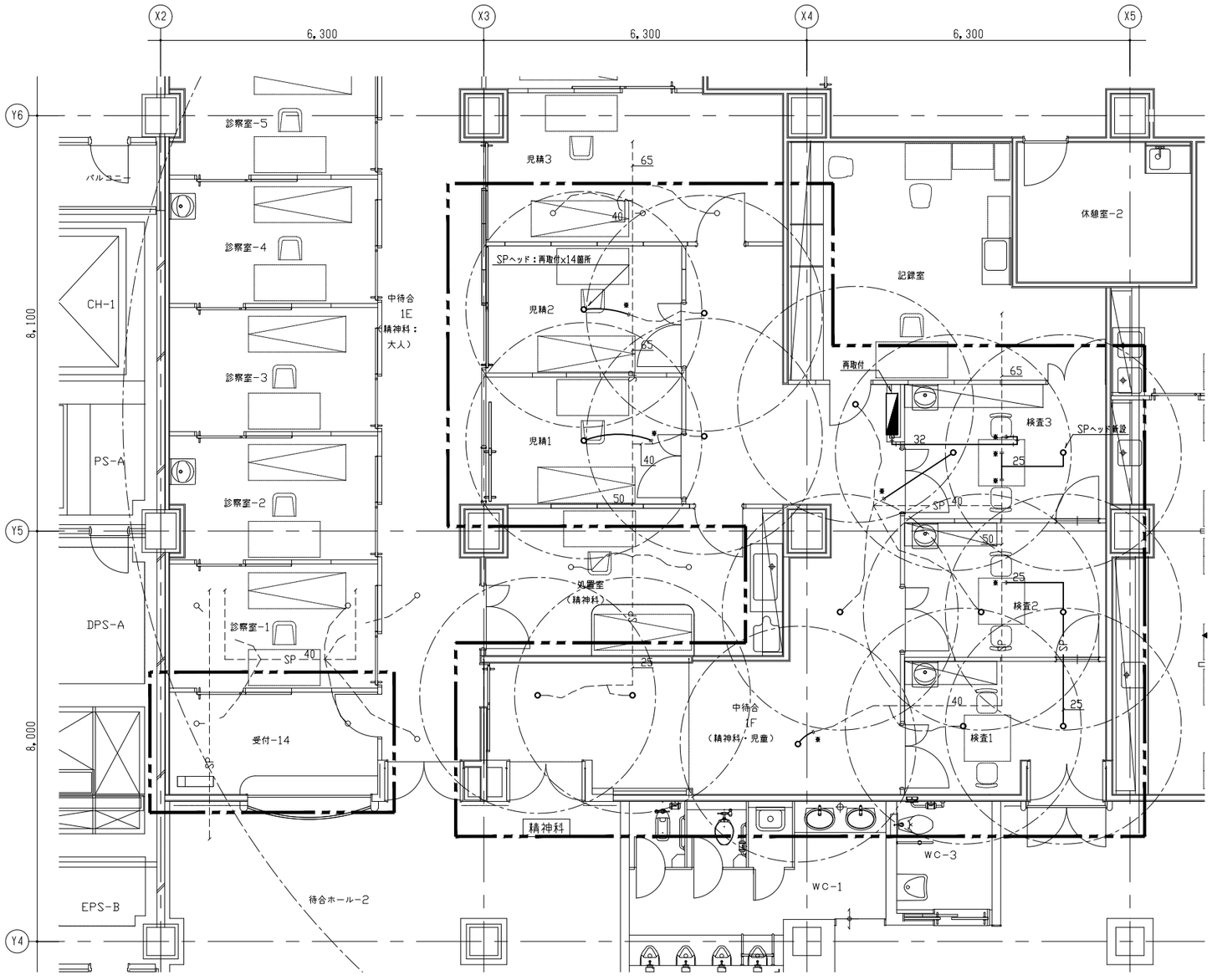
2022.03

A1：1/ 50
A3：1/100

RM－031



1階　皮膚科詳細図



1階　小児精神科詳細図

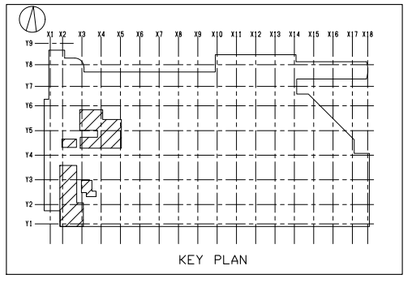
注記 1. ［　］：改修範囲を示す。

2.図中、配管の施工区分は下記の通りとする。
1）－－－－（点線部）は、既設機器・配管を示す。
2）――――（実線部）は、新設機器・配管を示す。

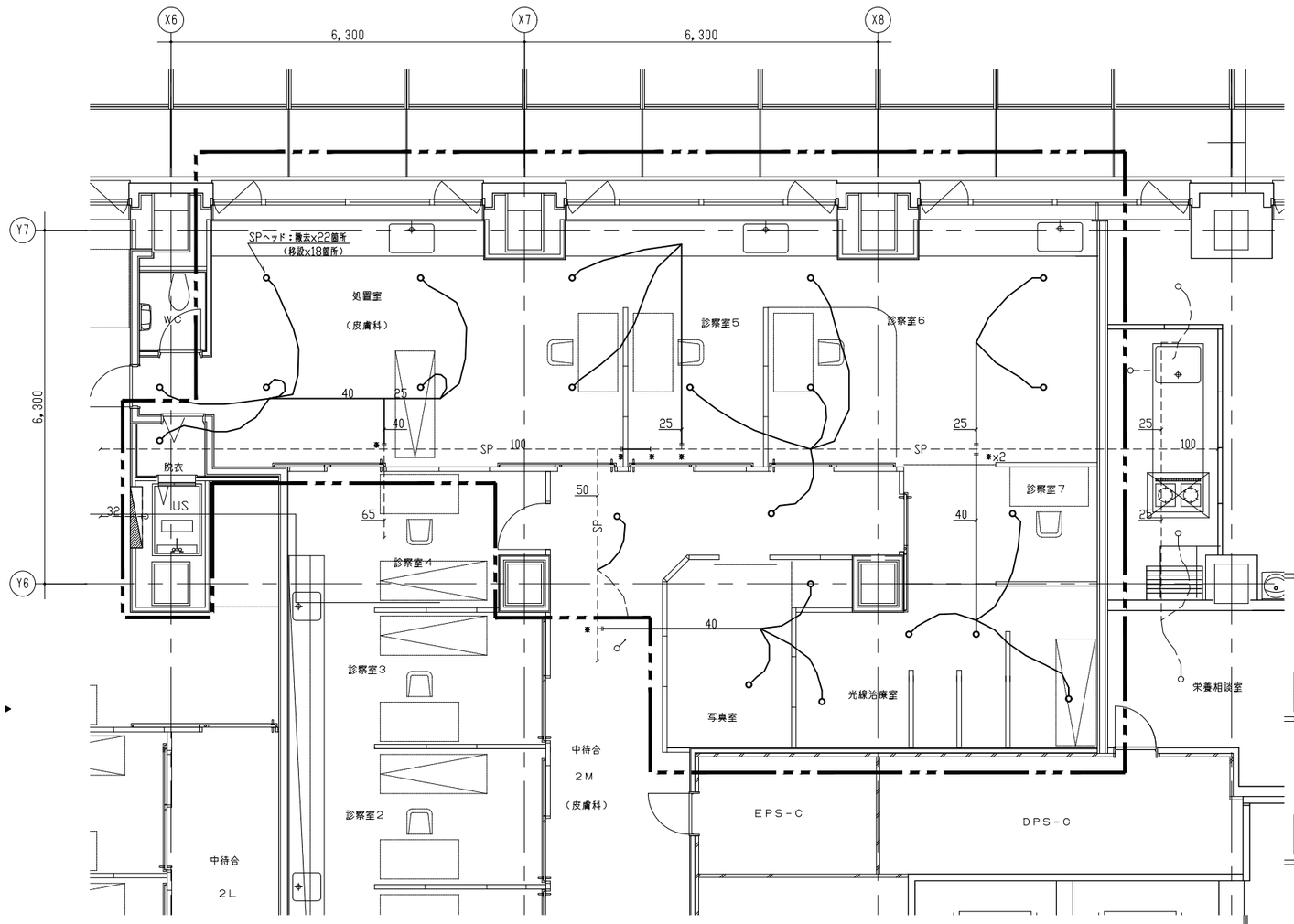
3.1階の階高は6,000Hとする。

4.＊：既設管接続箇所を示す。

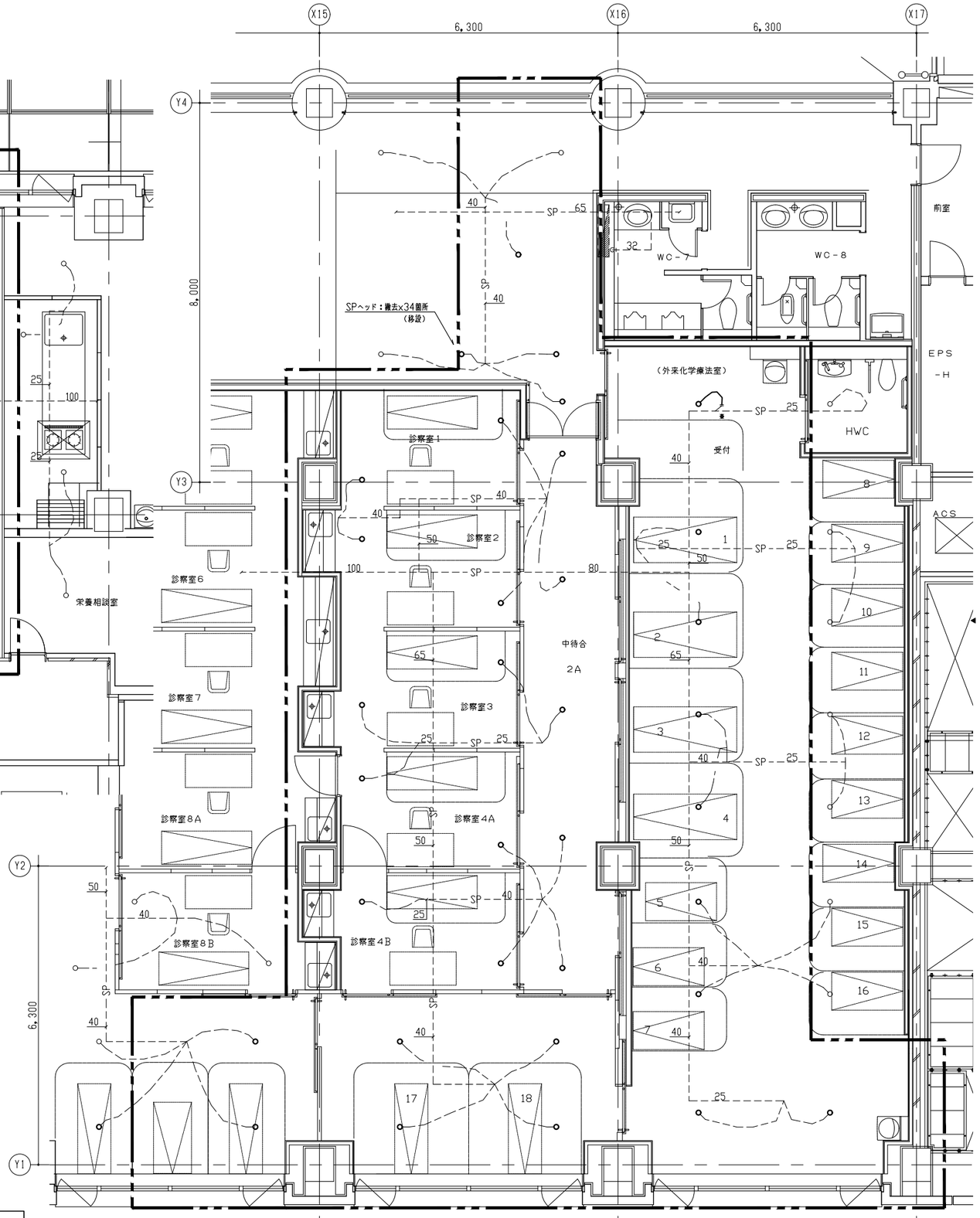
5.明記なき配管は天井配管を示す。



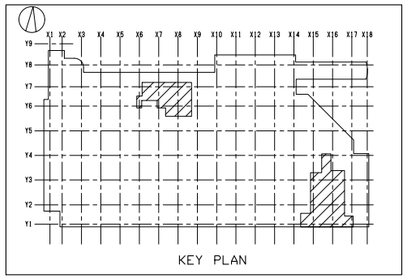
株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡野　崇　阿瀬貴裕　丸山　信	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事 消火設備　1階平面図（改修後）	2022.03 A1：1/ 50 A3：1/100	RM － 032



2階　皮膚科詳細図



2階　化学療法室詳細図



KEY PLAN

注記 1. ［　　］：改修範囲を示す。

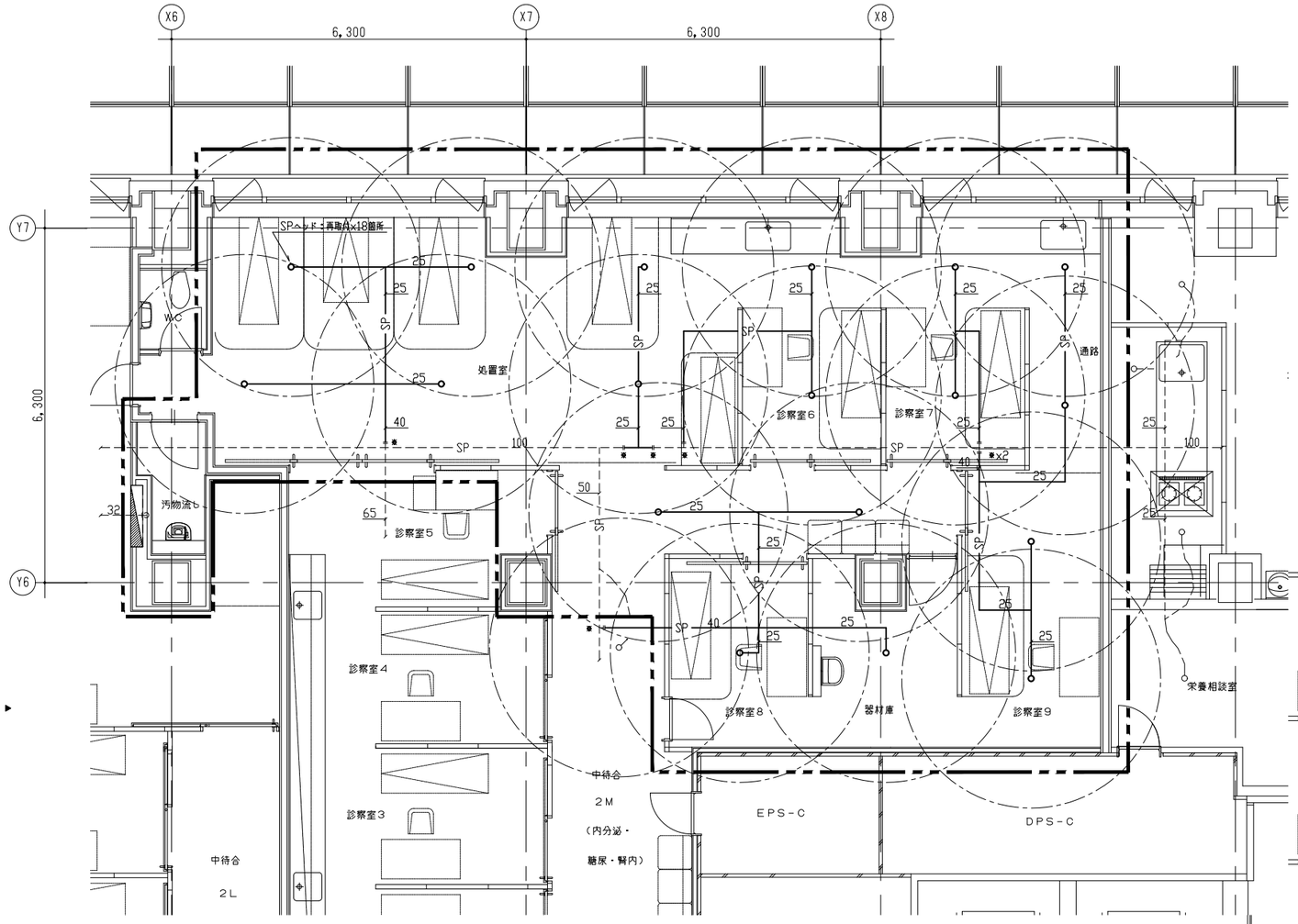
2.図中、配管の施工区分は下記の通りとする。
1）－－－－（点線部）は、既設機器・配管を示す。
2）――――（実線部）は、撤去機器・配管を示す。

3.1階の階高は5,850Hとする。

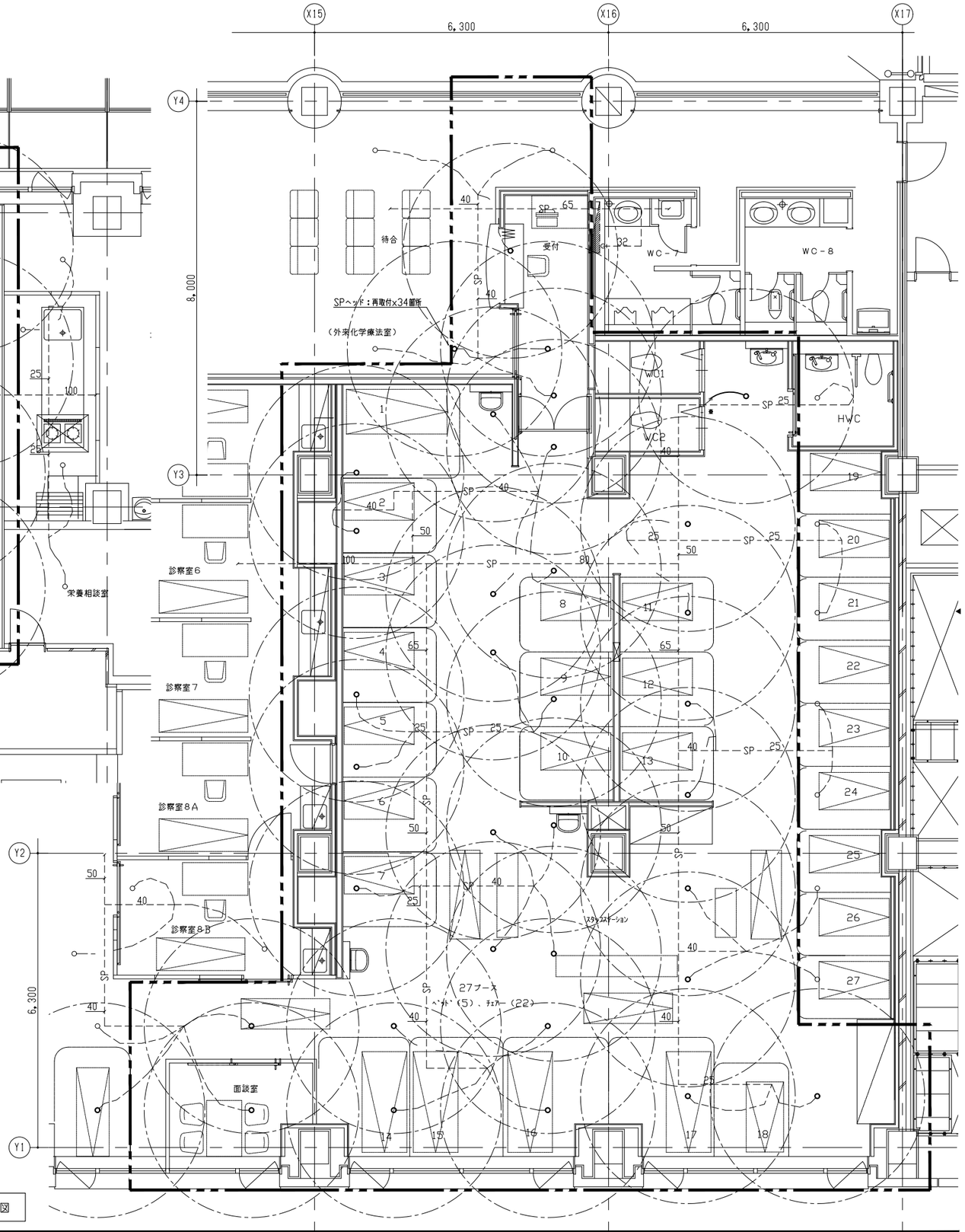
4.＊：既設管切断箇所を示す。

5.明記なき配管は天井配管を示す。

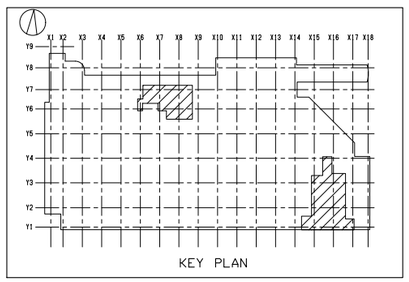
株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡野　崇　阿瀬貴裕　丸山　信	公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事 消火設備　2階平面図（改修前）	2022.03 A1：1/ 50 A3：1/100	RM － 033



2階　内分泌・糖尿・腎内科詳細図



2階　化学療法室詳細図



注記 1. [ ]：改修範囲を示す。

2.図中、配管の施工区分は下記の通りとする。
1）－－－－（点線部）は、既設機器・配管を示す。
2）——（実線部）は、新設機器・配管を示す。

3.2階の階高は5,850Hとする。

4.✱：既設管接続箇所を示す。

5.明記なき配管は天井配管とする。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

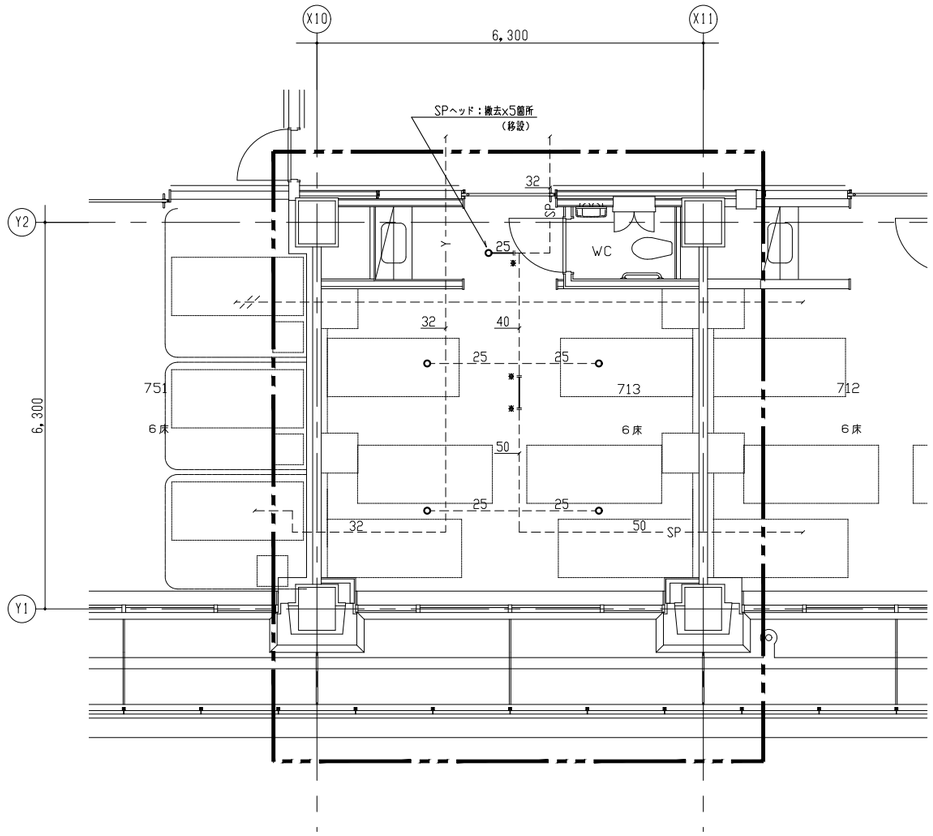
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　阿瀬貴裕　丸山　信

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

消火設備　2階平面図（改修後）

2022.03
A1：1/ 50
A3：1/100

RM－034



7階　6床（713）詳細図（改修前）

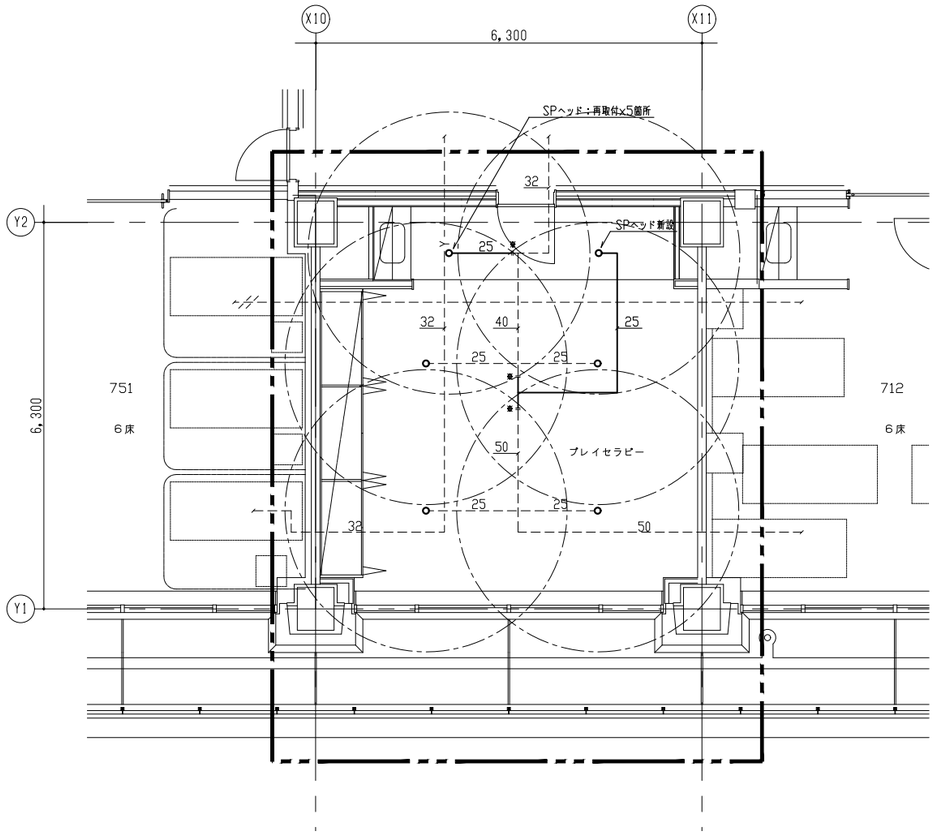
注記 1. [ ]：改修範囲を示す。

2.図中、配管の施工区分は下記の通りとする。
1）－－－－（点線部）は、既設機器・配管を示す。
2）――――（実線部）は、撤去機器・配管を示す。

3.7階の階高は4,700Hとする。

4.✱：既設管切断箇所を示す。

5.明記なき配管は天井配管とする。



7階　プレイセラピー詳細図（改修後）

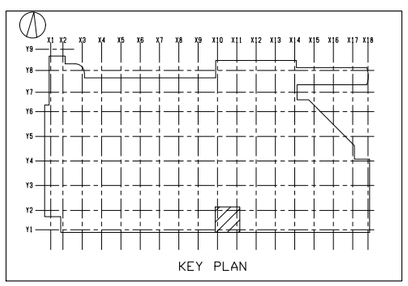
注記 1. [ ]：改修範囲を示す。

2.図中、配管の施工区分は下記の通りとする。
1）－－－－（点線部）は、既設機器・配管を示す。
2）――――（実線部）は、新設機器・配管を示す。

3.7階の階高は4,700Hとする。

4.✱：既設管接続箇所を示す。

5.明記なき配管は天井配管とする。



KEY PLAN

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　　阿瀬貴裕　　丸山　信

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

消火設備　7階平面図（改修前・改修後）

2022.03

A1：1/ 50
A3：1/100

RM－035

医　療　ガ　ス　配　管　設　備　仕　様　書

1．設　備　概　要

1－1　酸素配管設備
酸素の供給は、同一フロア既設主管より分岐し、これより図示された各部屋の配管端末器へガスを供給する。
供給源は既設を利用する。

1－2　治療用空気配管設備
空気の供給は、同一フロア既設主管より分岐し、これより図示された各部屋の配管端末器へガスを供給する。
供給源は既設を利用する。

1－3　吸引配管設備
吸引の供給は、同一フロア既設主管より分岐し、これより図示された各部屋の配管端末器へ供給する。
供給源は既設を利用する。

1－4　区域別遮断弁（シャットオフバルブ）
区域別遮断弁は、ボックス内に黄銅製ボールバルブを設け、バルブの開閉操作が迅速に出来る構造とし、
取付高はバルブの中心でＦＬ＋１５００ｍｍを標準とする。

1－5　配管端末器（アウトレット）
配管端末器はガスの種別による着色が施されていて、保守点検用バルブ機能付きとする。
また、異なる種類のガスの誤接続を防止するためのガス別特定の構造とする。
配管端末器の種類は、壁取付型がある。

2．配　管　工　事

2－1　配管材料

ガスの種類	配　　管	継　手　仕　様	備　　考
酸　　素 治療用空気 吸　　引	りん脱酸銅継目無管 （ＪＩＳ　Ｈ　３３００　Ｃ１２２０Ｔ　Ｌタイプ） ガスの使用区分に応じた着色熱収縮性チューブを 被覆したものとする。	左記銅管による形成品 ＪＩＳ　Ｈ　３４０１　銅及び銅合金の管継手 ＪＩＳ　Ｈ　３２５０　銅及び銅合金棒Ｃ１１００， Ｃ３６０２，Ｃ３７１２，Ｃ３７７１	支持金具と銅管が直接接触しないよう 銅管用吊金具を使用する。

2－2　配管の支持間隔

呼称管径（ｍｍ）	＜２０	２０～５０	＞５０
支持間隔　（ｍ）	１．５　以内	２．０　以内	３．０　以内

曲部及び分岐箇所は必要に応じて支持する。

2－3　配管の識別表示
隠蔽部は着色熱収縮性チューブ被膜銅管を使用する。各識別色は下記による。

配　　管	酸　　素	治療用空気	吸　　引
色　　別	緑	黄	黒

2－4　配管のろう付け
銅管のろう付け作業は、配管内部の酸化防止措置として、配管内に不活性ガス（窒素ガス）を送気しながら行うものとする。

2－5　配管方式
配管は、壁露出型機器への壁立下配管（ダクト付）を除き、天井内隠蔽壁内埋込配管とする。

2－6　既設配管への接続
既設配管への接続工事については、事前に供給停止区域、閉止するバルブ、仮設供給方法について打ち合わせをすること。

3．検　査　・　試　験

3－1　配管系統検査
配管工事完了後、各配管ごとに系統に誤りのないことを確認する。

3－2　配管気密試験
気密試験の圧力及び時間は下表による。
但し既設管との接続部は、吸引を除く配管で標準送気圧力での検知液による発泡漏れ試験とし、吸引は煙を吸い込ませる漏煙試験とする。

配　管　名	配管気密試験			総合気密試験（排気を除く）		
	圧　力 ＭＰａ	時　間 ｈ	使用ガス	圧　力 ＭＰａ	時　間 ｈ	使用ガス
酸　　素	1	24	窒素又は 清浄な脱脂 空気	0.4	24	窒素又は 清浄な脱脂 空気又は 吸引圧
治療用空気	1	24		0.4	24	
吸　　引	0.5	2		−0.05又は0.1	2	

3－3　配管内清浄度検査
施工した配管内に微小物質の有無について検査する。但し、吸引配管は除く。

4．工　事　区　分

4－1　建築工事
・点検口
・天井解体、復旧

凡　例

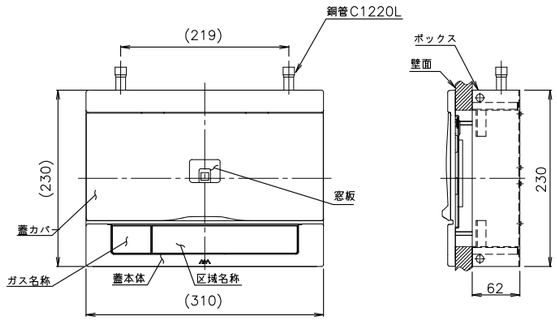
凡　例

記　号	名　　称	備　　考
⋈	区域別遮断弁	埋込型・露出型
Ⓞ	酸素壁取付式配管端末器	埋込型・露出型
Ⓐ	空気壁取付式配管端末器	露　出　型
Ⓥ	吸引壁取付式配管端末器	埋込型・露出型
⓪	酸素天井吊下式配管端末器	
Ⓥ	吸引天井吊下式配管端末器	
⋈	系統バルブ	
―Ｏ―	酸　素　配　管	ＪＩＳ Ｈ３３００ Ｃ１２２０Ｔ
―Ａ―	空　気　配　管	ＪＩＳ Ｈ３３００ Ｃ１２２０Ｔ
―Ｖ―	吸　引　配　管	ＪＩＳ Ｈ３３００ Ｃ１２２０Ｔ
-----	既　設　配　管	
--●--	既　設　配　管　に　接　続	

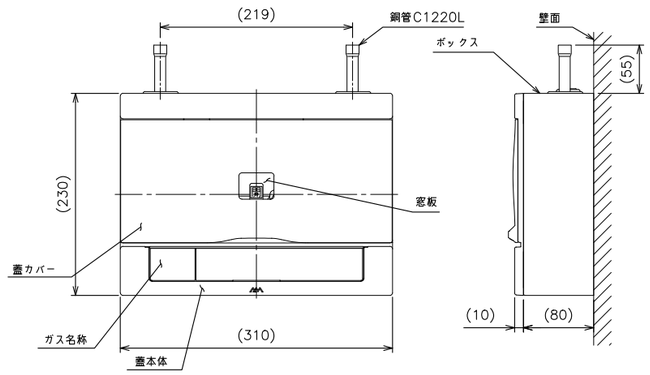
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡　野　　崇　　阿　瀬　貴　裕　　丸　山　　信

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事
医療ガス設備　仕様書・凡例
2022.03
A1：－
A3：－
RM － 036

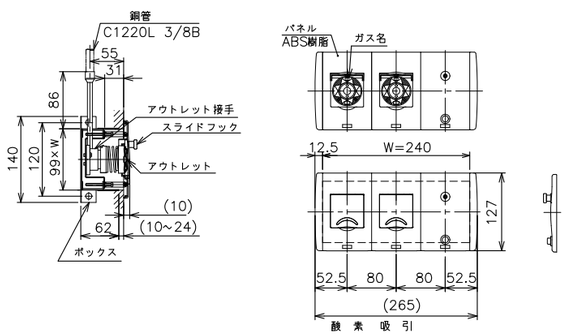
壁埋込型区域別遮断弁



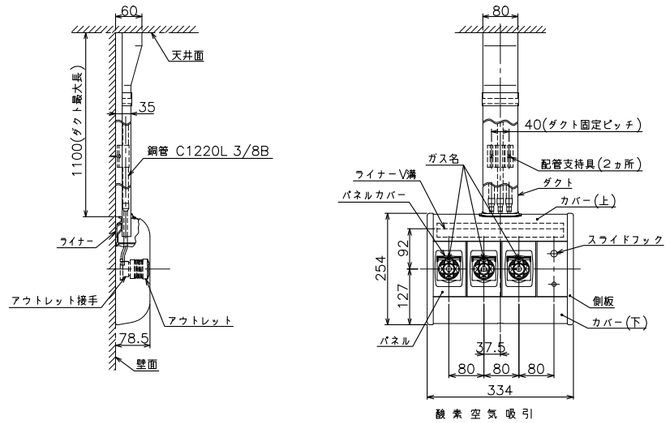
壁露出型区域別遮断弁

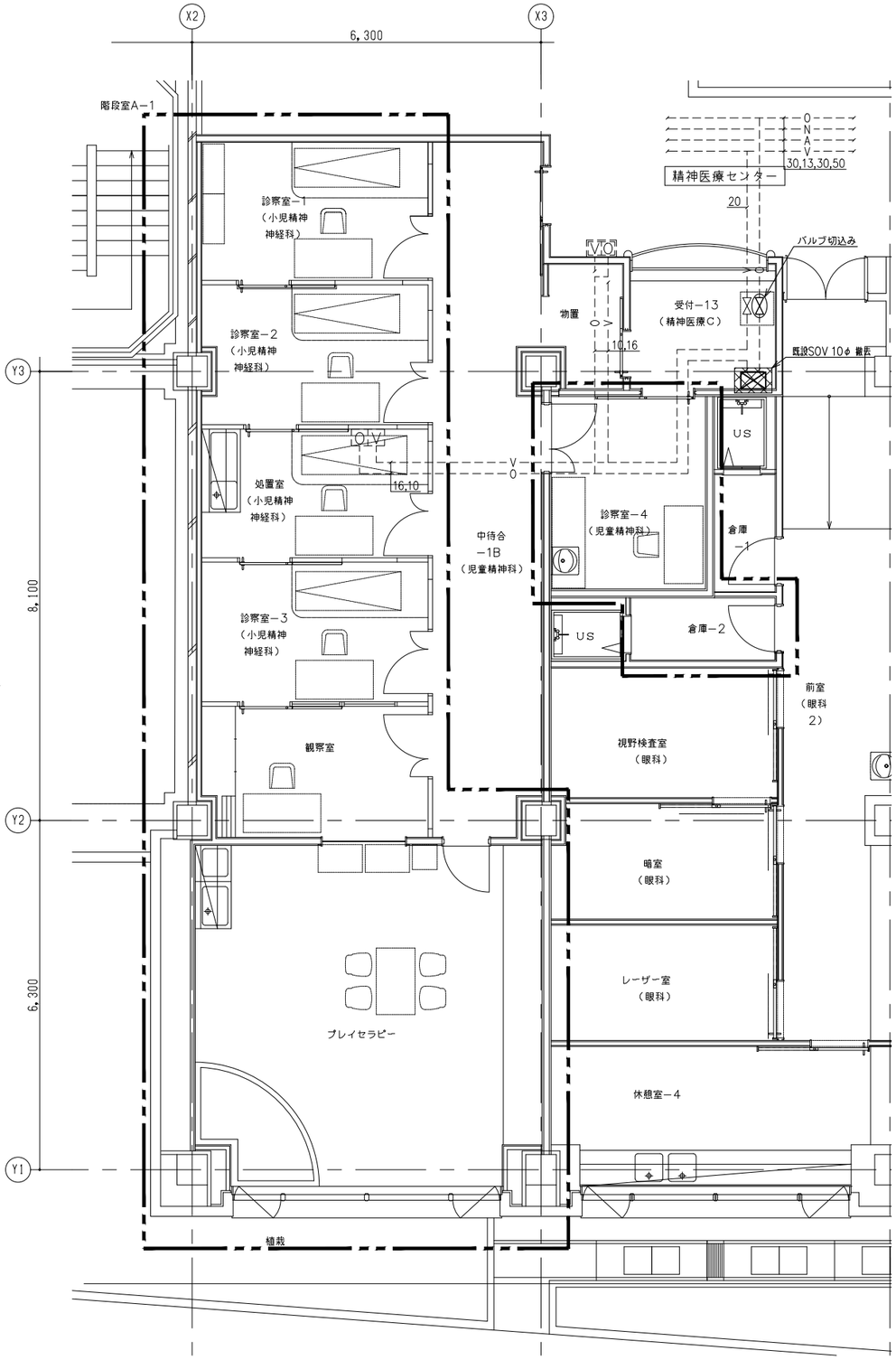


壁埋込型配管端末器

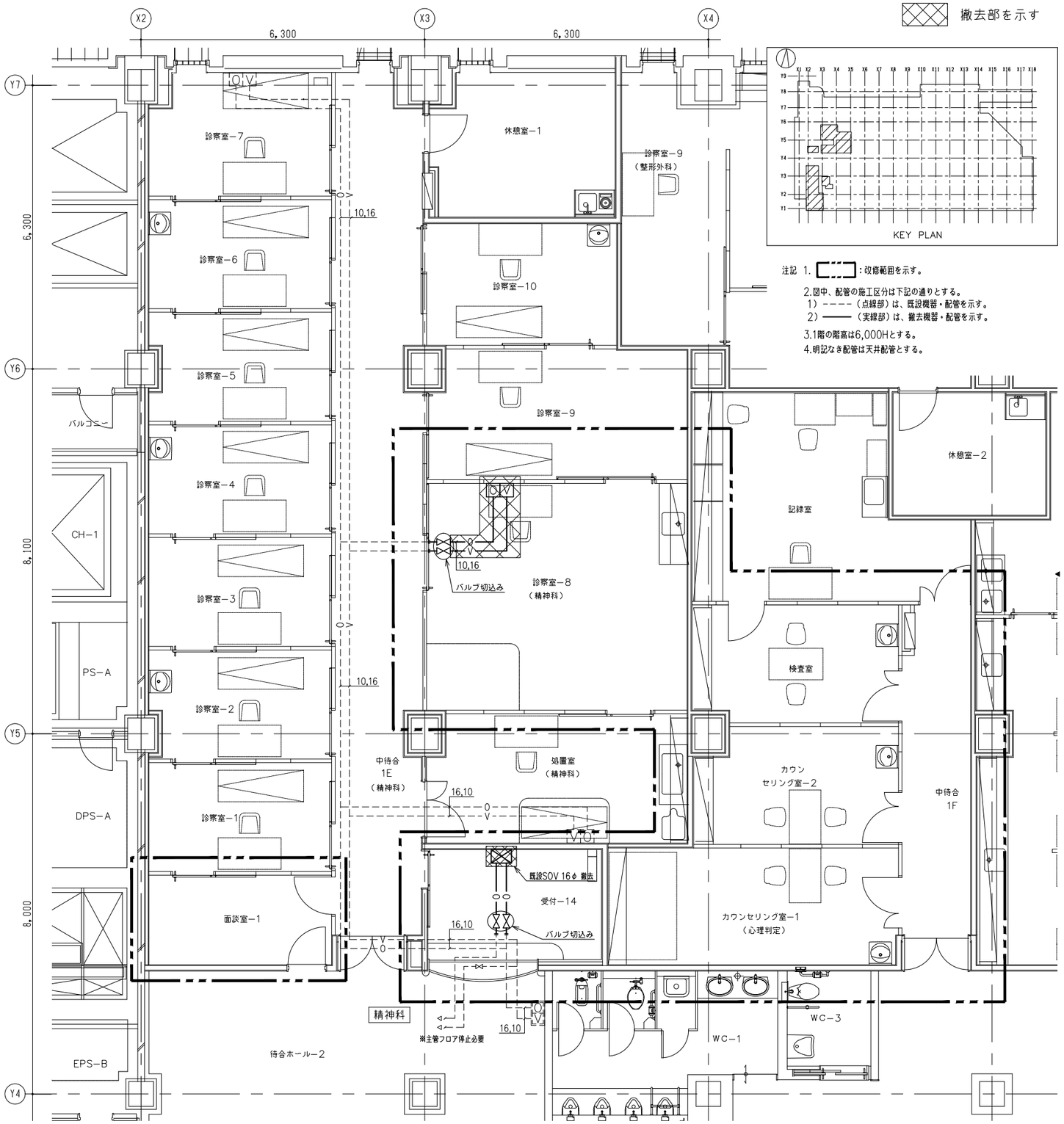


露出配管端末器（ダクト付）





1階　小児精神科詳細図



1階　精神科詳細図

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　阿瀬貴裕　丸山　信

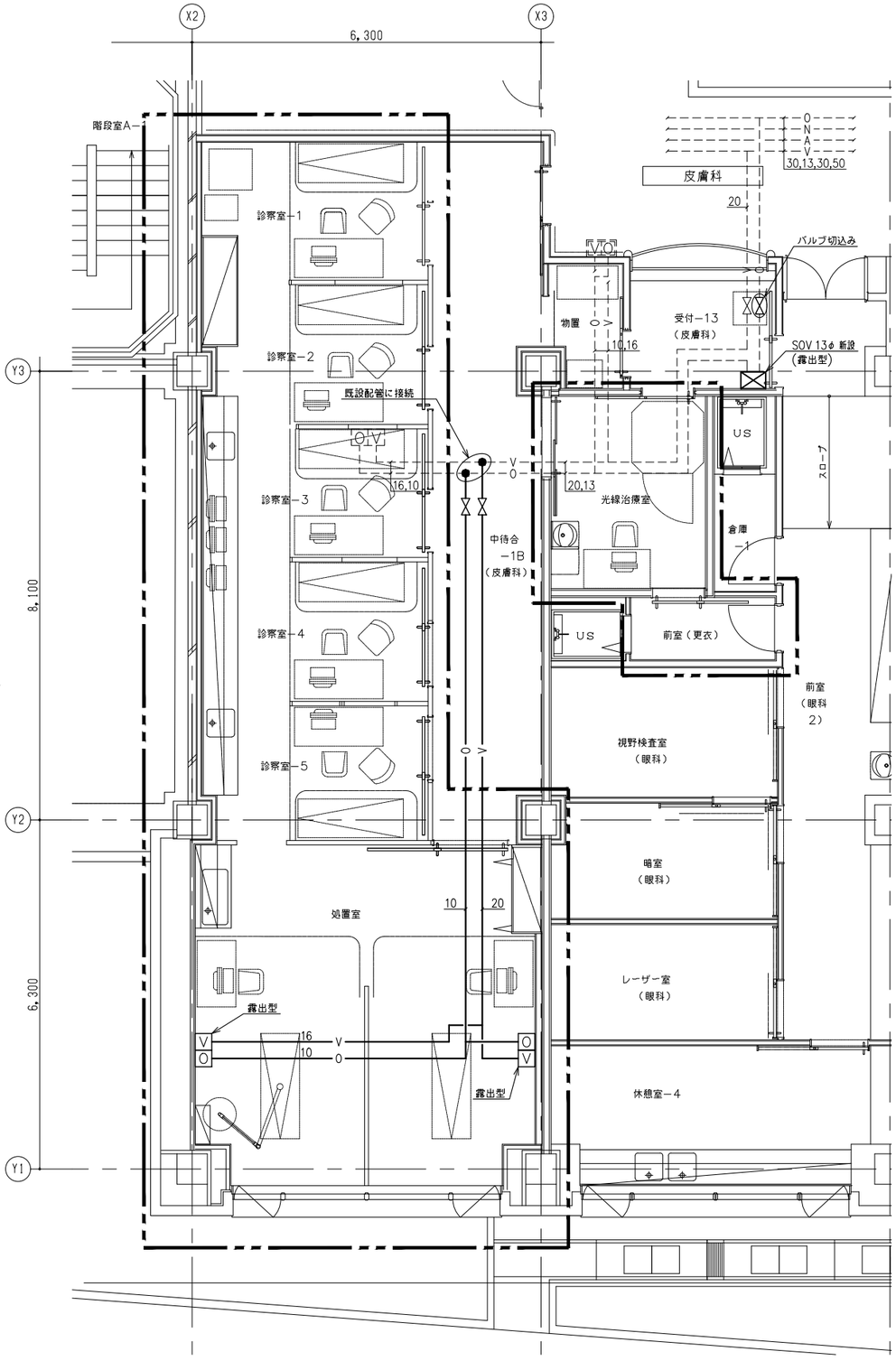
公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

医療ガス設備　1階平面図（改修前）

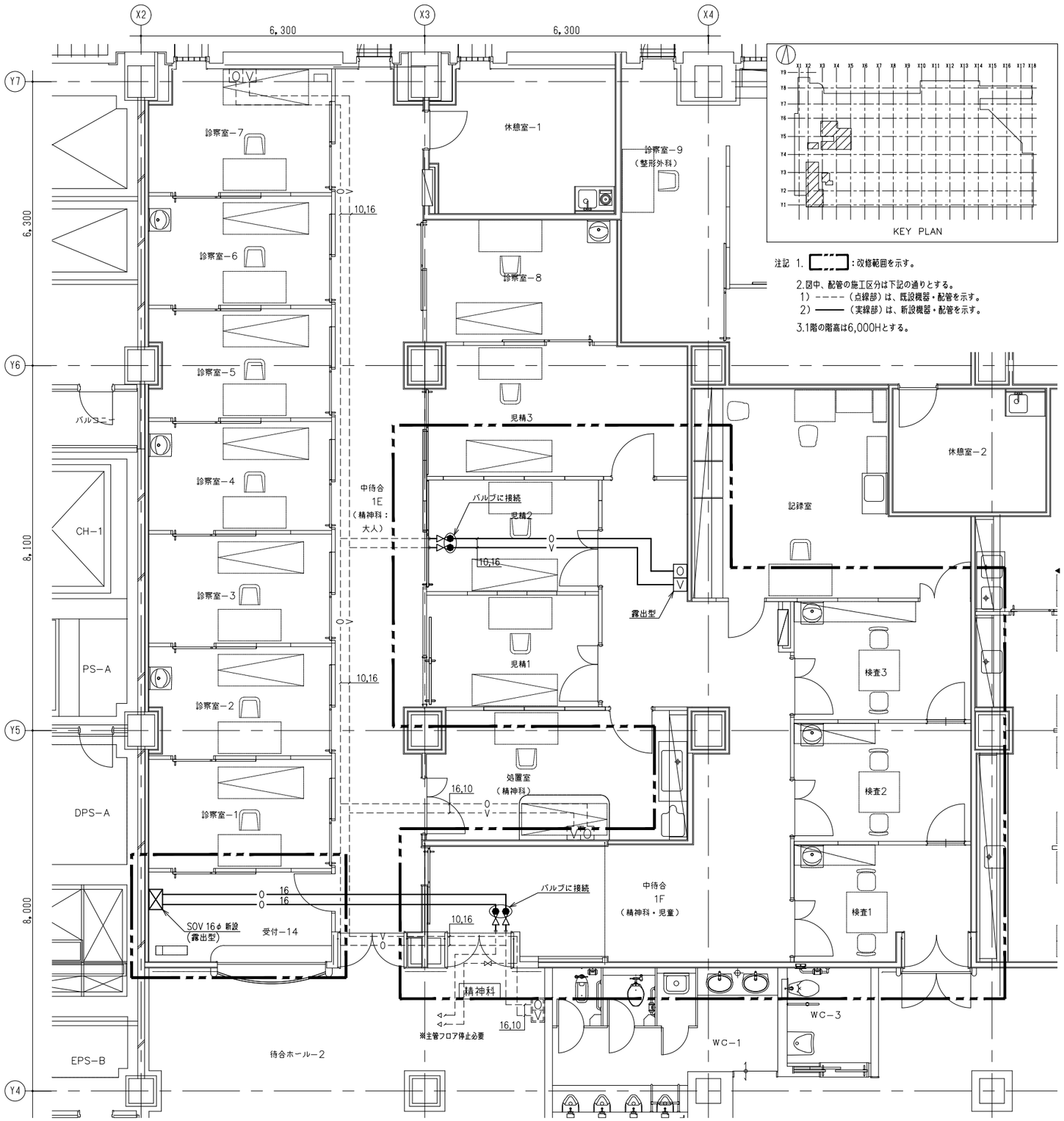
2022.03

A1：1/ 50
A3：1/100

RM － 038



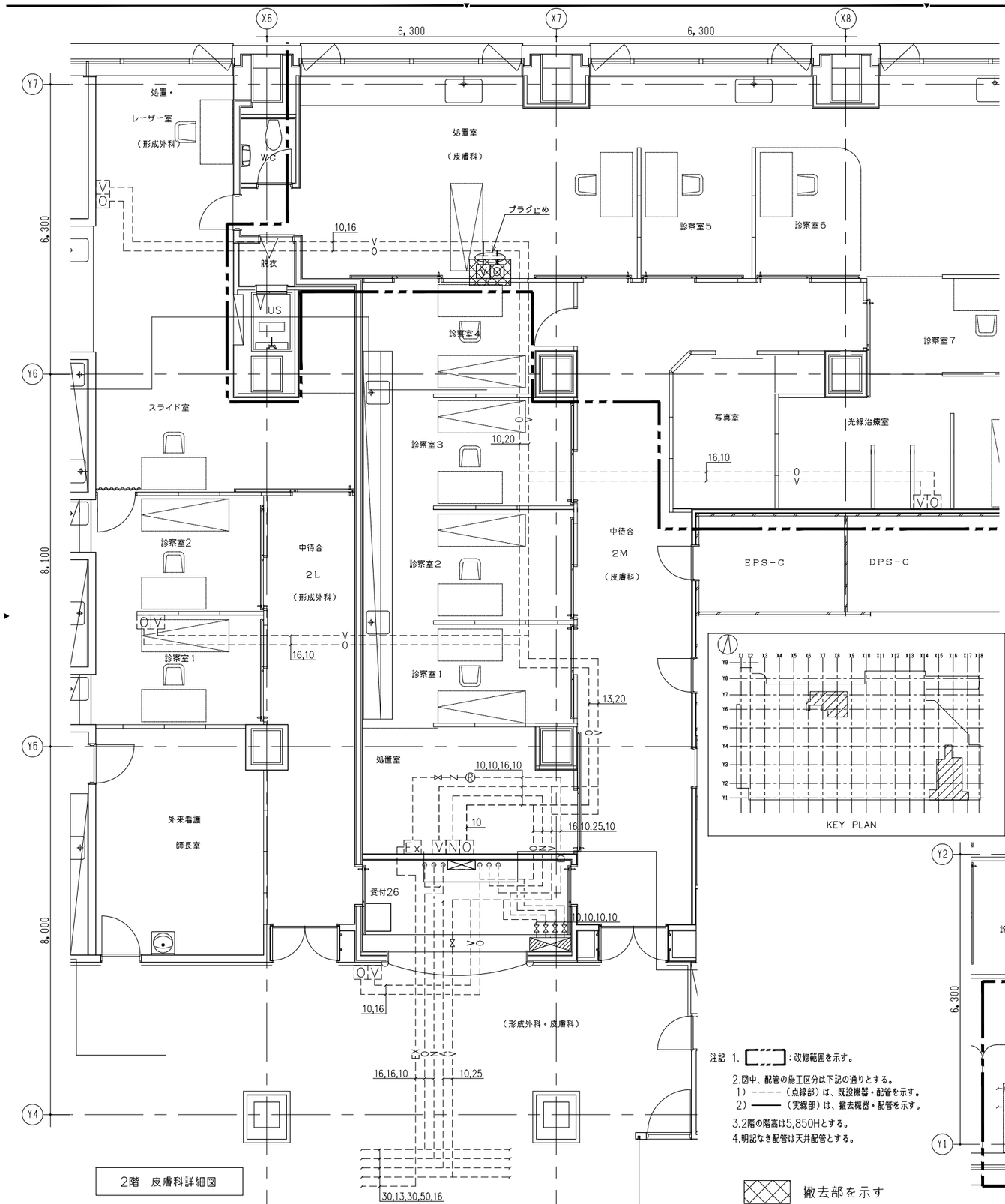
1階　皮膚科詳細図



1階　小児精神科詳細図

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　阿瀬貴裕　丸山　信

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RM − 039
医療ガス設備　1階平面図（改修後）	A1：1/ 50 A3：1/100	



注記 1. [ ]：改修範囲を示す。

2.図中、配管の施工区分は下記の通りとする。

1）- - - -（点線部）は、既設機器・配管を示す。

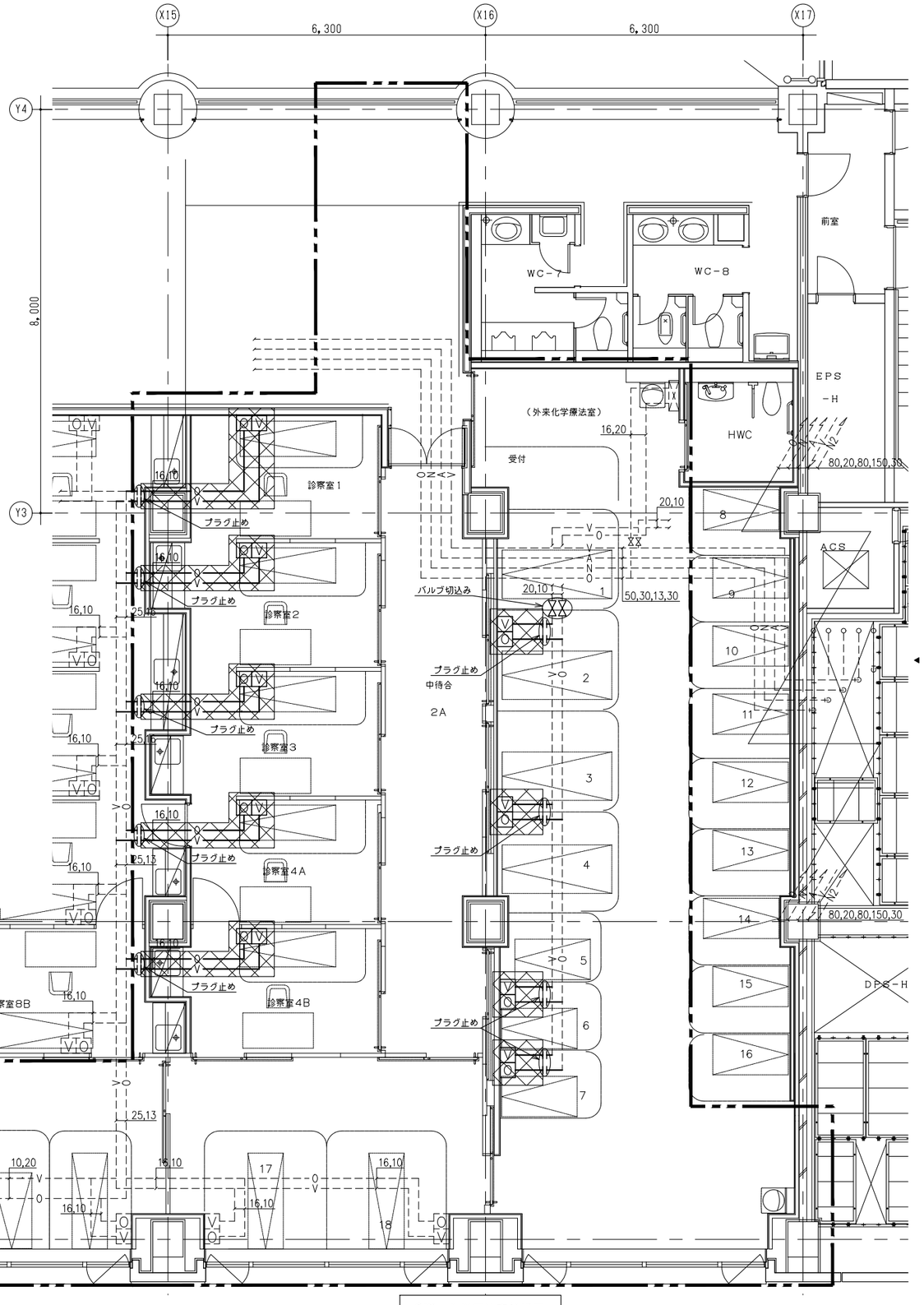
2）——（実線部）は、撤去機器・配管を示す。

3.2階の階高は5,850Hとする。

4.明記なき配管は天井配管とする。

撤去部を示す

2階　皮膚科詳細図

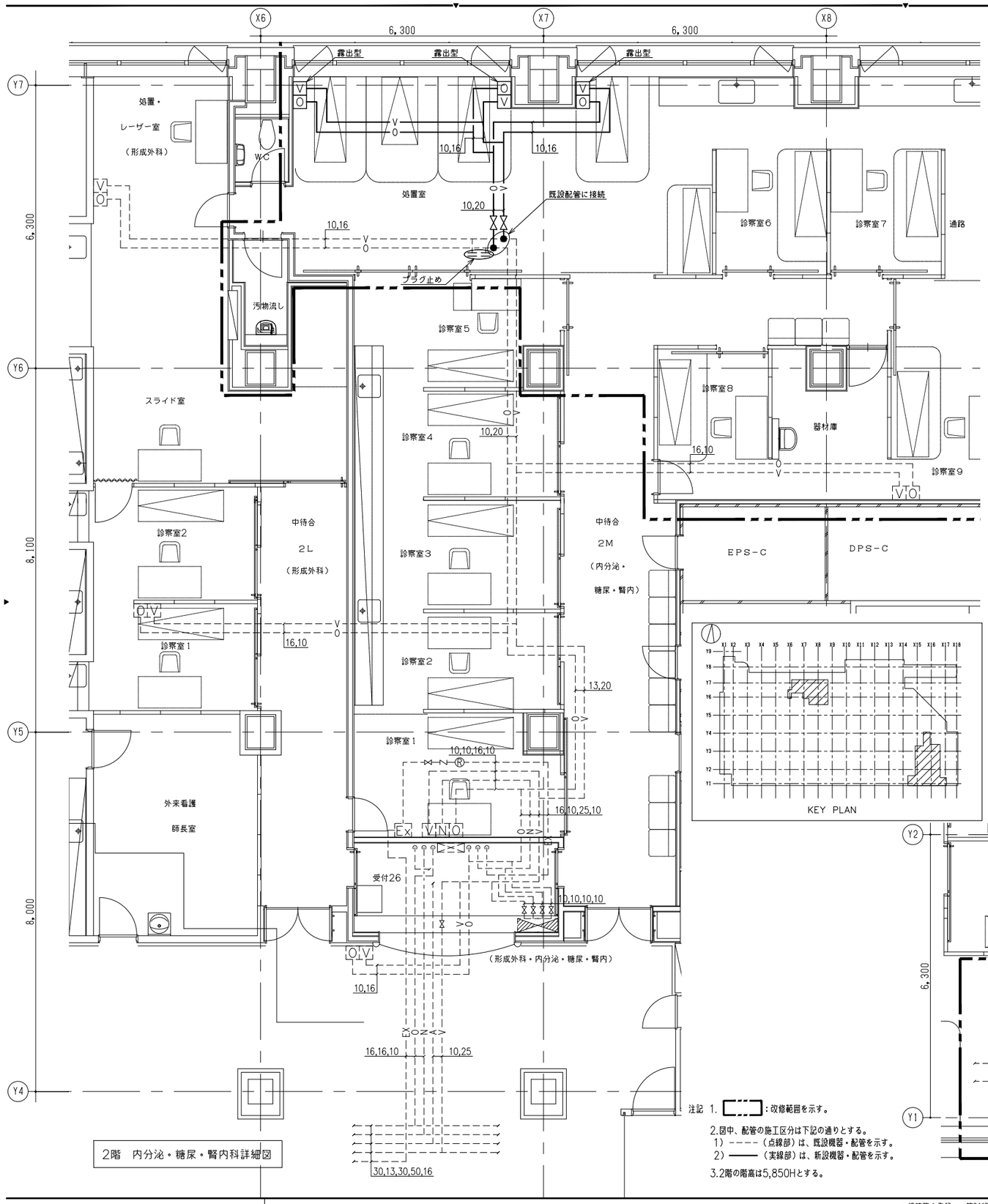


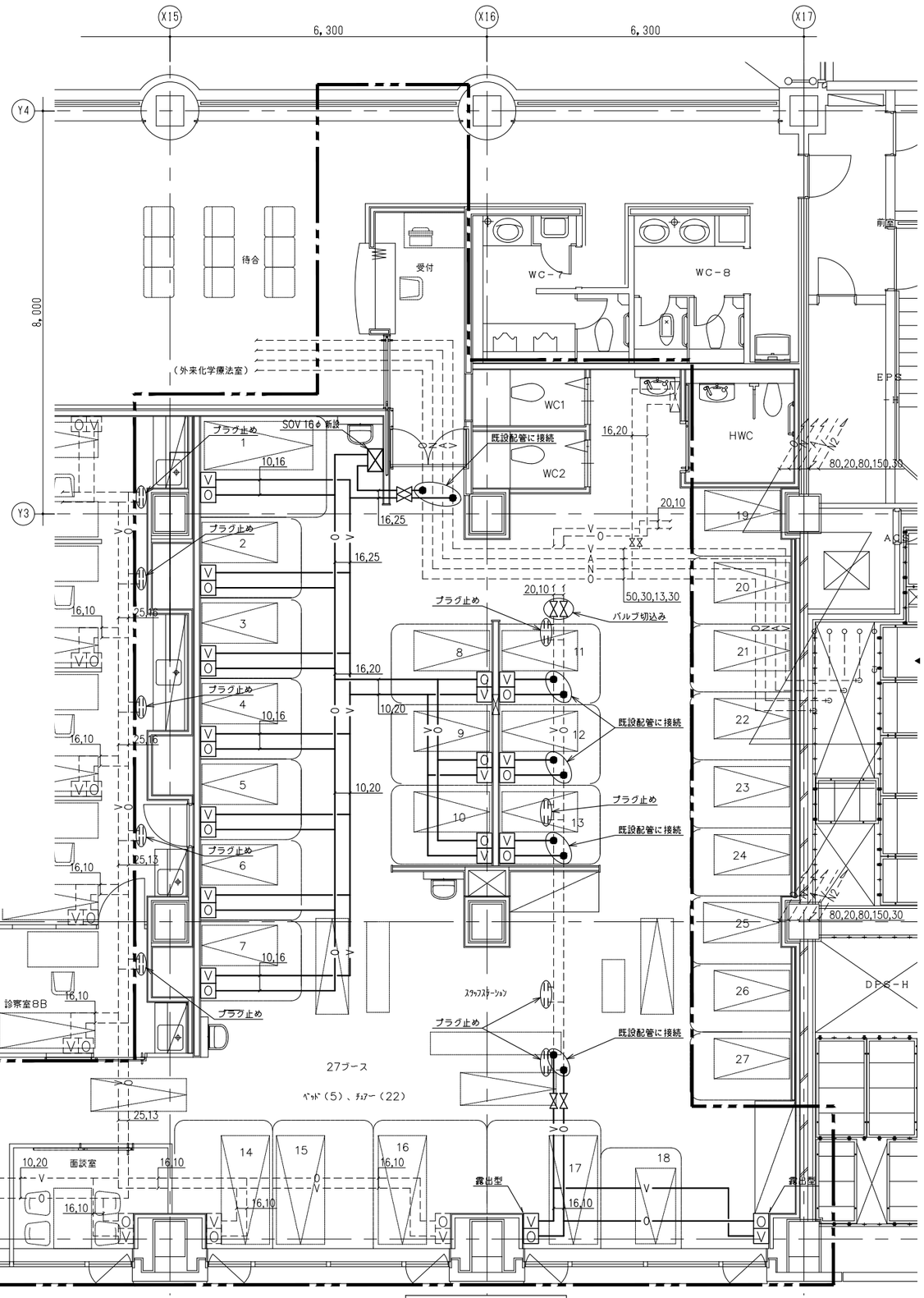
2階　化学療法室詳細図

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　阿瀬貴裕　丸山　信

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事	2022.03	RM－040
医療ガス設備　2階平面図（改修前）	A1：1/ 50 A3：1/100	





注記 1. ▭ : 改修範囲を示す。

2.図中、配管の施工区分は下記の通りとする。
1）- - - -（点線部）は、既設機器・配管を示す。
2）——（実線部）は、新設機器・配管を示す。

3.2階の階高は5,850Hとする。

2階　内分泌・糖尿・腎内科詳細図

2階　化学療法室詳細図

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　阿瀬貴裕　丸山　信

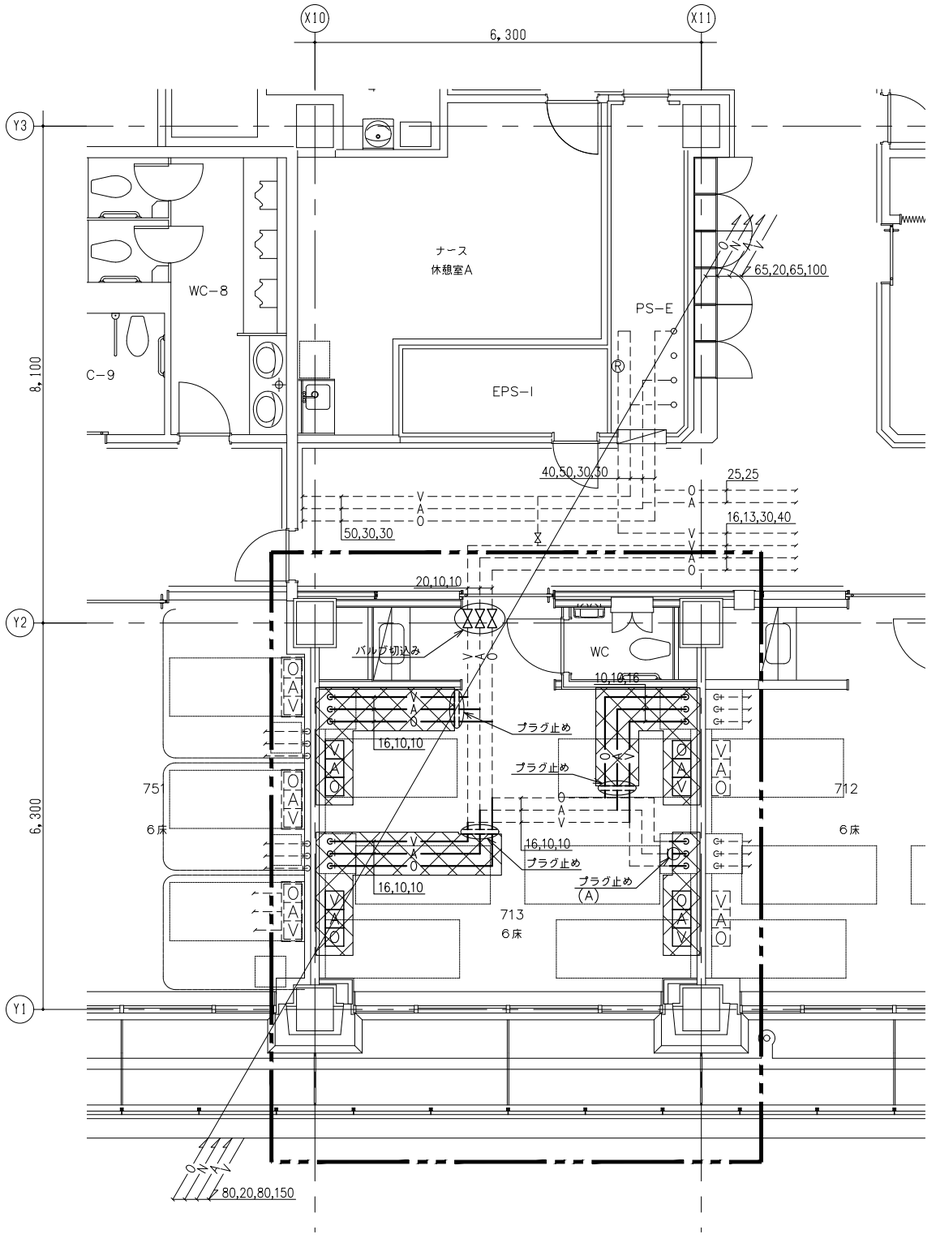
公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

医療ガス設備　２階平面図（改修後）

2022. 03

A1：1/ 50
A3：1/100

RM－041



7階　6床（713）詳細図（改修前）

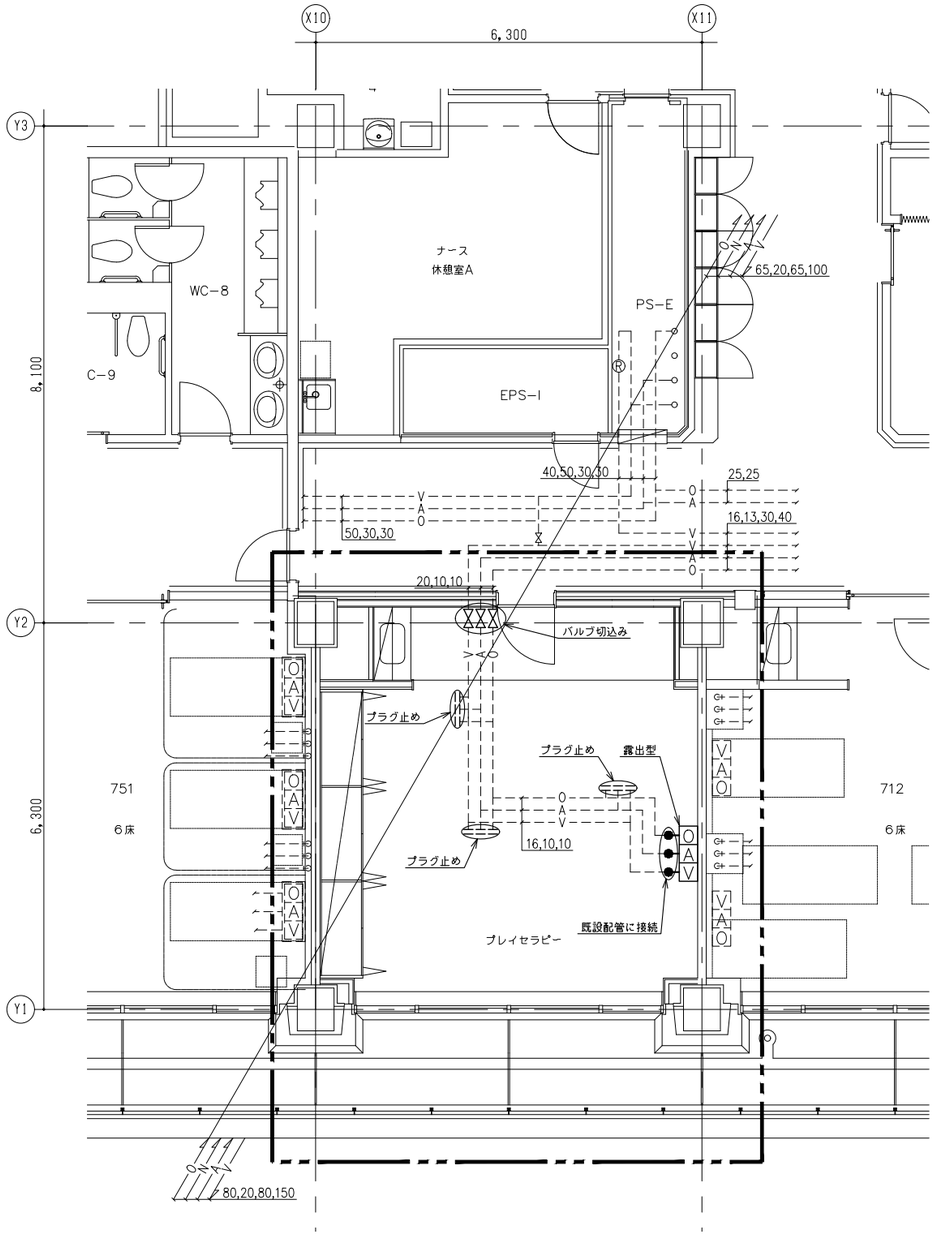
注記 1. ▭ : 改修範囲を示す。

2.図中、配管の施工区分は下記の通りとする。
1）- - - -（点線部）は、既設機器・配管を示す。
2）——（実線部）は、撤去機器・配管を示す。

3.7階の階高は4,700Hとする。

4.明記なき配管は天井配管とする。

撤去部を示す

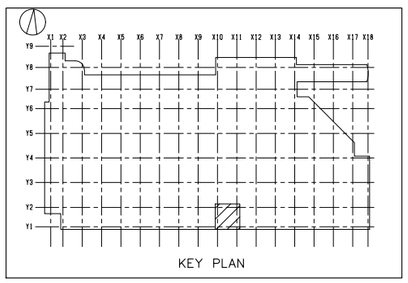


7階　プレイセラピー詳細図（改修後）

注記 1. ▭ : 改修範囲を示す。

2.図中、配管の施工区分は下記の通りとする。
1）- - - -（点線部）は、既設機器・配管を示す。
2）——（実線部）は、新設機器・配管を示す。

3.7階の階高は4,700Hとする。



株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　　阿瀬貴裕　　丸山　信

公立大学法人　横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館外来他レイアウト変更工事

医療ガス設備　7階平面図（改修前・改修後）

2022.03
A1：1/ 50
A3：1/100

RM − 042